

---

# JD Edwards EnterpriseOne 壳掛管理 8.11 SP1 PeopleBook

---

2005 年 8月

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 8.11 SP 1 PeopleBook  
SKU E1\_APPS811SP1AAR-B JPN  
Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

本プログラム（ソフトウェアおよび文書）には、知的財産が含まれています。本プログラムは、使用および公開に関する制約が明記されたライセンス契約に従うことを条件として提供され、著作権、特許権などの知的財産権法および産業財産権法により保護されています。本プログラムのリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは、他の独立したソフトウェアとの相互運用性の確保に必要とされる範囲または法的に規定された範囲を除き、禁じます。

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書の内容に問題があった場合は、当社まで書面によりご通知ください。また、当社は、本書の内容に全く誤りがないことを保証するものではありません。ライセンス契約に明示的に規定された場合を除き、形式、手段（電子的、機械的など）、および目的の如何にかかわらず、本プログラムを複写、複製、または転送することを禁じます。

本プログラムが、アメリカ合衆国政府、またはその代理として本プログラムを使用する者に提供される場合には、以下の条項が適用されます。

## U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are “commercial computer software” or “commercial technical data” pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software—Restricted Rights (June 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

本プログラムは、原子力、航空、大量輸送、医療などの本質的に危険を伴う用途を目的として作成されていません。危険を伴う用途に本プログラムを使用する場合の障害対策、バックアップ、および冗長構成などの適切な措置を講じた安全性の確保は、ライセンス供与を受けた者の責任とし、これらの用途に使用された場合のいかなる損失や障害について、当社は一切責任を負いません。

本プログラムには、Web サイトへのリンクが含まれており、サードパーティのコンテンツ、製品、およびサービスへのアクセスが発生する場合があります。サードパーティの Web サイトの運用およびそのコンテンツについて、Oracle は一切責任を負いません。これらのコンテンツの使用上の全ての責任は、使用者が負うこととします。サードパーティから製品またはサービスを購入する場合は、その購入者とサードパーティの間の直接取引になります。(a) サードパーティの製品またはサービスに関する品質、(b) サードパーティとの契約におけるいかなる条件の遵守（製品またはサービスの提供、また、購入された製品またはサービスに関する保証義務など）について、Oracle は一切責任を負いません。サードパーティとの取引に伴ういかなる損失や障害について、Oracle は一切責任を負いません。

Oracle、JD Edwards、PeopleSoft、Retek は米国 Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。その他の会社名および製品名は所有各社の商標です。

## オープン ソースの利用について

Oracle は、オープンソースまたはシェアウェアのソフトウェアの使用または配布について責任を負いません。また、これらのソフトウェアまたはドキュメンテーションの使用によるいかなる損失や障害についても一切責任を負いません。Oracle の PeopleSoft 製品には以下のオープンソースソフトウェアが使用される場合があります、これらには下記の免責条項が適用されます。

この製品には、Apache Software Foundation 社 (<http://www.apache.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。Copyright (c) 1999-2000 The Apache Software Foundation. All rights reserved. このソフトウェアは現状のまま提供されており、商品性や特定の目的への適合性に対する保証はもとより、明示的にも暗示的にも、一切の保証はありません。Apache Software Foundation 社およびその共同提供者は、いかなる損害に対しても責任を負いません。これは、その損害が、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、または必然的であるか否かを問いません。また、代替品の購入や代替サービスの利用、有用性およびデータや利益の損失、業務の中断に対する保証もいたしません。本ソフトウェアの使用によるあらゆる損害の発生に対して、契約の記載や、重大な過失などによる権利侵害の有無にかかわらず、また、そのような損害の可能性について報告を受けていたとしても、Apache Software Foundation 社は一切責任を負いません。



# 目次

## はじめに

この PeopleBook について .....	xxxix
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識.....	xxxix
JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎.....	xxxix
印刷・製本されたドキュメンテーションの入手.....	xxxix
印刷・製本されたドキュメンテーションの注文.....	xxxix
追加情報.....	xxxix
表記規則.....	xxxix
表記規則.....	xxxix
注意事項の表示.....	xxxix
国、地域、業種の表記.....	xxxix
通貨コード.....	xxxix
ご意見・ご要望をお寄せください.....	xxxix
全ての PeopleBook で使用する共通フィールド.....	xxxix

## まえがき

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 – まえがき.....	xli
対象の製品.....	xli
アプリケーションの基礎.....	xli

## 第 1 章

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 – はじめに.....	1
売掛管理の概要.....	1
売掛管理のビジネス プロセス.....	1
売掛管理の統合.....	2
(Rapid Start) Accounts Receivable Business Processes.....	3
売掛管理の導入.....	4
グローバル導入ステップ.....	4
売掛管理の導入ステップ.....	4

## 第 2 章

売掛管理システムの設定.....	7
売掛管理システムの設定について.....	7

売掛管理固定情報の設定.....	8
売掛管理固定情報について.....	9
拡張固定情報について.....	9
システム固定情報について.....	10
会社固定情報について.....	10
事前設定.....	10
売掛管理の固定情報の設定に使用するフォーム.....	11
拡張売掛管理固定情報の設定.....	11
売掛管理システム制御の設定.....	12
売掛管理会社制御の設定.....	13
売掛管理のユーザー定義コード (UDC) の設定.....	14
売掛管理の自動採番.....	23
(BRA) Next Numbers for Remessa.....	24
(CHN) Next Numbers for JinSui Processing.....	25
売掛管理 AAI (自動仕訳) の設定.....	25
売掛管理 AAI について.....	25
AAI の検索順序について.....	26
売掛管理 AAI について.....	27
売掛管理の支払条件の設定.....	30
損金処理のための活動コードの設定.....	30
損金活動コードについて.....	30
損金活動コードの設定に使用するフォーム.....	30
損金活動コードの設定.....	30
(ARG) Setting Up to Print Invoices and Shipment Notes.....	32
Understanding General Resolution 3434.....	32
Understanding Bar Codes for Argentina Invoices.....	32
Prerequisites.....	34
Forms Used to Set Up to Print Invoices, Shipment Notes, and Perception Certificates.....	34
Adding the CIF Code.....	35
Adding Record Type \$C.....	35
Relating Issue Places to Address Book Records.....	37
Setting Up Print Program Versions.....	37
(ARG) Setting Up to Print Perception Certificates.....	37
Understanding the Printing of Perception Certificates.....	37
Setting Processing Options for Perception Report – 03B (R76A8050).....	38
Setting Up Activity Codes.....	38
Setting Up Tax Categories.....	38
Setting Up Perception Codes.....	39
(CHE) Setting Up to Print ESR Payment Slips.....	39
(CHN) Setting Up Matching Versions for Invoice Printing.....	39

(FIN) Calculating the Finnish Reference Number.....	39
Understanding the Finnish Reference Number.....	40
Setting Up the Reference Number Business Function.....	41
 <b>第 3 章</b>	
<b>顧客マスター情報の設定.....</b>	<b>43</b>
顧客マスター情報について.....	43
この章で使用する共通フィールド.....	43
顧客マスター レコードの入力.....	43
顧客マスター レコードについて.....	44
事前設定.....	44
顧客マスター情報の入力と改訂に使用するフォーム.....	45
顧客マスター情報 (P03013) の処理オプションの設定.....	45
顧客マスター MBF 処理オプション (P0100042) の処理オプションの設定.....	46
(ARG) Setting Processing Options for Additional A/B Information (P760101A).....	47
顧客マスター レコードの作成.....	47
(ARG) Entering Additional Customer Master Information for Argentina.....	51
(ARG) Entering Customer Withholding Information for Argentina.....	51
(BEL) Entering Customer Information for Parent Companies.....	52
顧客マスター カテゴリ コードの割り当て.....	52
顧客マスター カテゴリ コードについて.....	52
住所録からのカテゴリ コードの自動更新について.....	53
有効日付カテゴリ コードについて.....	53
有効日付カテゴリ コードの更新プログラムについて.....	54
有効日付カテゴリ コードの削除について.....	55
顧客マスター カテゴリ コード値の割り当てに使用するフォーム.....	55
住所録のカテゴリ コードによる顧客マスターの更新.....	56
顧客マスター カテゴリ コードの追加.....	56
有効日付カテゴリ コードの追加.....	56
有効日付カテゴリ コードによる顧客マスター レコードの更新.....	57
有効日付カテゴリ コードの更新 (R03012A) のデータ選択とデータ順序の設定.....	57
有効日付カテゴリ コードの更新 (R03012A) の処理オプションの設定.....	57
有効日付カテゴリ コードの削除.....	57
有効日付カテゴリ コードの除去 (R03012B) の処理オプションの設定.....	57
顧客マスター レコードの改訂と削除.....	58
顧客マスター レコードの改訂について.....	58
顧客マスター レコードの削除について.....	58
カスタマ セルフサービス プログラムの利用.....	60
カスタマ セルフサービス プログラムについて.....	60

カスタマ セルフサービスによる顧客マスター情報の更新に使用するフォーム.....	61
カスタマ セルフサービス プログラムの利用.....	61

## 第 4 章

<b>受取手形の設定</b> .....	<b>63</b>
手形の設定について.....	63
UDC の設定について.....	63
AAI の設定について.....	66
手形タイプ別 AAI.....	68
支払手段のデフォルト設定について.....	69
自動採番の設定について.....	70
(ESP) Setting Up Draft Stamps for Spain.....	70
Understanding Draft Stamps.....	70
Forms Used to Set Up Fees for Draft Stamps.....	71
Setting Up Fees for Draft Stamps.....	71
銀行/支店情報の検証.....	72
銀行/支店情報の検証について.....	72
銀行口座例外レポートの印刷.....	73
銀行口座例外レポートの処理オプションの設定.....	73

## 第 5 章

<b>自動入金処理の設定</b> .....	<b>75</b>
自動入金処理の設定について.....	75
銀行勘定について.....	76
自動入金のマッピングについて.....	77
自動入金処理のためのシステム設定.....	78
アルゴリズムの定義.....	78
アルゴリズムについて.....	78
既知請求書照合 - 金額あり (R03B50D) の処理オプションの設定.....	86
既知請求書照合 - 金額なし (R03B50E) の処理オプションの設定.....	91
残高繰越照合 (R03B50B) の処理オプションの設定.....	93
請求書選択照合 (R03B50A) の処理オプションの設定.....	94
組合せ請求書照合 (R03B50F) の処理オプションの設定.....	97
実行リストの定義と改訂.....	99
実行リストについて.....	99
実行リストの定義と改訂に使用するフォーム.....	100
実行リストの定義.....	100
自動入金処理のための顧客の設定.....	101

## 第 6 章

与信/回収管理の設定.....	103
与信/回収管理について.....	103
この章で使用する共通フィールド.....	104
事前設定.....	105
与信/回収期間パターンの設定.....	105
与信/回収期間パターンについて.....	105
与信/回収期間パターンの設定に使用するフォーム.....	106
与信/回収期間パターンの追加.....	106
活動コードの設定.....	108
活動コードについて.....	108
活動コードの設定に使用するフォーム.....	109
活動タイプ コードの追加.....	109
延滞方針の設定.....	110
延滞方針について.....	110
延滞方針の設定に使用するフォーム.....	112
延滞方針の定義.....	112
延滞利息金指示の設定.....	114
延滞通知指示の設定.....	115
計算書/延滞通知のレター テキストの設定.....	118
計算書/延滞通知レター テキストについて.....	118
計算書/延滞通知のレター テキストの設定に使用するフォーム.....	118
計算書/延滞通知のレター テキストの入力.....	118
与信保険契約の設定.....	119
与信保険契約について.....	119
事前設定.....	120
与信保険契約の設定に使用するフォーム.....	121
与信保険契約の設定.....	121
与信/回収管理者の設定.....	123
与信/回収管理者について.....	123
与信/回収管理者の UDC 設定.....	124
顧客への与信/回収情報の割り当て.....	124
顧客の与信/回収情報について.....	124
顧客への与信/回収情報の割り当てに使用するフォーム.....	125
顧客への与信情報の割り当て.....	125
顧客への回収情報の割り当て.....	127
方針に関連付けられている顧客の検討.....	129
与信/回収のワークフロー メッセージの有効化.....	129
与信/回収管理者へのワークフロー メッセージの有効化.....	129
与信限度額の承認のためのワークフロー メッセージの有効化.....	130

## 第 7 章

請求書の処理.....	131
請求書処理について.....	131
請求書入力.....	132
請求書バッチ.....	133
総勘定元帳への転記.....	133
(BRA) Invoice Processing for Brazil.....	134
(ITA) Invoices for Free Goods.....	134
請求書の使い方.....	134
標準請求書入力について.....	135
請求書入力マスター ビジネス関数について.....	137
貸借不一致の請求書について.....	138
クレジット メモについて.....	138
スピード請求書について.....	138
未転記の請求書の改訂について.....	139
事前設定.....	140
請求書の処理に使用するフォーム.....	141
標準請求書入力 (P03B11) の処理オプションの設定.....	142
スピード請求書入力 (P03B11SI) の処理オプションの設定.....	142
請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011) の処理オプションの設定.....	143
請求書の検索.....	145
標準請求書の入力.....	147
勘定科目のモデル仕訳の選択.....	150
貸借不一致の請求書入力.....	150
クレジット メモの入力.....	150
割引付き請求書の入力.....	151
スピード請求書の入力.....	152
(CHL) Setting Up Invoice Dates for Chile.....	152
Understanding Invoice Dates for Chile.....	153
Forms Used to Change the Invoice Date.....	153
Changing the Invoice Date.....	153
Setting Processing Options for Lot of Printing Date (P76H3B53).....	153
定期請求書の処理.....	154
定期請求書について.....	154
定期請求書の改訂について.....	155
再作成処理について.....	155
定期請求書処理に使用するフォーム.....	156
定期請求書入力.....	156
オンラインでの定期請求書の照会.....	157
定期請求書レポートの印刷.....	158

定期請求書レポート (R03B305) のデータ順序の設定.....	158
定期請求書レポート (R03B305) の処理オプションの設定.....	158
定期請求書の改訂.....	159
定期請求書の再作成.....	159
定期請求書の再作成 (R03B8101) の処理オプションの設定.....	160
(ARG) Processing Invoices with Legal Numbers for Argentina.....	160
Understanding Invoices with Legal Numbers.....	160
Understanding Related Credit Notes.....	160
Prerequisites.....	161
Forms Used to Process Invoices with Legal Numbers.....	162
Setting Processing Options for PO – Invoice Entry (P03B11) – ARG – 03B (P76A03B1).....	162
Entering Invoices with Automatic Legal Numbers.....	163
Entering Invoices with Manual Legal Numbers.....	164
Entering Related Credit Notes.....	164
(CHL and PER) Processing Invoices for Chile and Peru.....	165
Understanding Invoice Requirements for Chile and Peru.....	165
Prerequisites.....	165
Forms Used to Process Invoices.....	166
Setting Processing Options for Chilean Add Invoices —PO (P76H3B11).....	166
Entering Related Credit Notes.....	167
(VEN) Assigning Control Numbers to Invoices for Venezuela.....	167
Understanding Invoice Control Numbers.....	167
Forms Used to Assign Control Numbers to Invoices.....	168
Assigning Invoice Control Numbers.....	168
(POL and RUS) Working with Invoices for Poland and Russia.....	168
Understanding Invoices.....	168
Forms Used to Work with Invoices.....	171
Running Add Invoice – PO.....	171
Setting Processing Options for Add Invoice – PO.....	171
Entering Additional Information for Invoices.....	172
Adding Related Invoices.....	172
Setting Processing Options for Print Invoice (R7430030).....	173
請求書の改訂と転記.....	173
請求書および請求書支払項目の削除について.....	173
請求書の転記処理について.....	174
転記済み請求書の改訂について.....	178
請求書の無効化について.....	178
スピード リリースについて.....	179
請求書の改訂に使用するフォーム.....	179
未転記請求書の検討と改訂.....	180

請求書の転記.....	181
転記済み請求書の改訂.....	181
転記済み請求書の無効化.....	181
転記済み請求書の支払項目の無効化.....	182
スピード リリース (P03B114) の処理オプションの設定.....	182
スピード リリースを使用した個々の請求書の更新.....	183
スピード リリースを使用した請求書のグループの更新.....	183
(Rapid Start) Processing Customer Invoices.....	184
Prerequisites.....	185
Processing Invoices.....	185
Preconfigured Processing Options for Enter, Review, and Revise Invoices (P03B2002).....	187
Preconfigured Processing Options for Invoice Entry (P03B11).....	187
Preconfigured Processing Options for Default Invoice MBF (P03B0011).....	188
Preconfigured Processing Options for Default Journal Entry MBF Options (P0900049).....	188
Preconfigured Processing Options for Enter Speed Invoices (P03B11SI).....	189
Preconfigured Processing Options for Process Recurring Invoices – All Frequencies (R03B8101).....	190
Preconfigured Processing Options for Batch Options for Invoice Journal Review (P0011).....	190
Preconfigured Processing Options for Invoice Journal – Batch# or Batch Date (R03B305).....	190
Preconfigured Processing Options for Canada and United States AR Speed Status Update version (P03B114).....	190
Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print and Reprint A/R Invoices (R03B505).....	191
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print A/R Invoices (R03B505).....	191
 <b>第 8 章</b>	
<b>バッチ請求書の処理.....</b>	<b>193</b>
バッチ請求書の処理について.....	193
バッチ請求書取引のマッピングについて.....	194
バッチ請求書の改訂.....	194
バッチ請求書の改訂について.....	194
事前設定.....	195
バッチ請求書の改訂に使用するフォーム.....	196
バッチ請求書の改訂 (P03B11Z1) の処理オプションの設定.....	196
バッチ請求書の追加.....	198
バッチ請求書の処理.....	198
バッチ請求書の処理について.....	198
Understanding Invoice Batches for Argentina (ARG).....	200
処理中のエラーについて.....	200
処理時間について.....	201



事前設定.....	202
バッチ請求処理の実行.....	203
[バッチ請求処理] (R03B11Z1A) の処理オプションの設定.....	203
Setting Processing Options for PO – Invoice Batch Processor – ARG – 03B (R76A03BZ).....	205
バッチ請求書の転記.....	206
処理済みバッチ請求書の除去.....	207
除去処理について.....	207
処理済みバッチ請求書の除去プログラムの実行.....	207

## 第 9 章

<b>入金処理.....</b>	<b>209</b>
入金入力方法について.....	209
この章で使用する共通フィールド.....	210
入金処理のステップについて.....	213
日付および伝票タイプについて.....	214
入金日付と元帳日付.....	214
伝票タイプ.....	215
入金入力または手形入力の入力タイプ コードについて.....	217
単純請求書照合 (入力タイプ 10) について.....	219
割引を伴う請求書照合 (入力タイプ 10) について.....	220
再請求を伴う請求書照合 (入力タイプ 11 と 16) について.....	220
少額消込を伴う請求書照合 (入力タイプ 10 と 15) について.....	221
損金を伴う請求書照合 (入力タイプ 17) について.....	222
複数の入力タイプ コードを使った請求書の照合について.....	224
マイナスの入金について.....	224
(DEU) Understanding Encashments.....	226
標準的な入金入力.....	226
標準的な入金入力について.....	227
入金入力または手形入力時に更新されるフィールドについて.....	227
未充当入金について.....	232
事前設定.....	233
標準的な入金入力に使用するフォーム.....	233
入金入力の処理オプションの設定 (P03B102).....	233
未充当入金の入力.....	240
(ARG) Setting Processing Options for PO Receipt Entry (P76A103D).....	241
(ARG) Entering Manual Receipts for Argentina.....	242
未決済請求書の検索.....	242
未決済請求書の表示方法について.....	242
事前設定.....	244

未決済請求書の検索に使用するページ.....	244
顧客の全ての未決済請求書のロード.....	244
顧客の特定の未決済請求書の選択.....	245
未決済請求書の送金別選択.....	246
入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込.....	248
請求書に対して消し込む未充当入金について.....	248
請求書に対して消し込むクレジット メモについて.....	248
事前設定.....	249
入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込に使用するフォーム.....	250
入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込.....	250
未充当入金と請求書の消込.....	251
クレジット メモと請求書の消込.....	251
総勘定元帳入金の処理.....	252
総勘定元帳入金について.....	252
総勘定元帳入金の入力に使用するフォーム.....	252
総勘定元帳入金の入力.....	252
総勘定元帳入金による未充当入金の作成.....	253
単独レコード入力.....	253
単独レコードについて.....	253
事前設定.....	255
単独レコードの入力に使用するフォーム.....	256
請求書照合を伴う単独取引の入力.....	256
請求書照合を伴わない単独取引の入力.....	257
スピード入金入力.....	258
スピード入金について.....	258
事前設定.....	260
スピード入金入力に使用するフォーム.....	260
スピード入金入力 (P03B0001) の処理オプションの設定.....	260
未充当入金 (入力タイプ (TI) コード 1) の入力.....	264
繰越残高入金 (入力タイプ (TI) コード 2) の入力.....	264
仮入金 (入力タイプ (TI) コード 3) の入力.....	265
仮入金の顧客への割り当て.....	265
総勘定元帳入金 (入力タイプ (TI) コード 4) の入力.....	265
入金の改訂.....	266
入金の改訂について.....	266
入金の改訂に使用するフォーム.....	267
未転記入金の改訂.....	267
入金の承認および転記.....	268
入金の転記について.....	268
入金転記処理によって作成される自動仕訳について.....	271

入金の承認と転記に使用されるフォーム.....	272
転記プログラムによる入金の転記.....	272
入力仕訳の検討プログラムによる入金の転記.....	272
入金の削除および無効化.....	272
入金の削除および無効化について.....	272
事前設定.....	273
入金の削除および無効化に使用するフォーム.....	273
入金の削除または無効化.....	273
入金の請求書支払項目の削除または無効化.....	273
入金の残高不足 (NSF) としての指定.....	274
残高不足の指定について.....	274
事前設定.....	274
入金を残高不足 (NSF) として指定するのに使用するフォーム.....	275
入金の残高不足 (NSF) としての指定.....	275
(Rapid Start) Processing Manual Receipts.....	275
Prerequisites.....	275
Processing Manual Receipts.....	276
Preconfigured Processing Options for AR Speed Status Update version (P03B114).....	277
Preconfigured Processing Options for Canada, and United States Standard Receipts Entry – 5.00 Auto, 25.00 Manual (P03B102).....	277
Preconfigured Processing Options for Great Britain Receipts Entry (P03B102).....	280
Preconfigured Processing Options for Speed Receipts Entry (P03B0001).....	283
Preconfigured Processing Options for Receipts Journal – Enter Batch Number/Batch Date (R03B311).....	284
Preconfigured Processing Options for Receipts Deposit Journal (R03B408).....	285
Preconfigured Processing Options for Batch Options for Receipts Journal Review (P0011).....	285
Preconfigured Processing Options for Australia, Canada, France, New Zealand, and United States Cash Receipt Posting (R09801).....	285
Preconfigured Processing Options for Great Britain Cash Receipts Post (R09801).....	286
 <b>第 10 章</b>	
<b>売掛金元帳情報の処理.....</b>	<b>289</b>
売掛金元帳照会について.....	289
カスタマ セルフサービスについて.....	290
住所録からの顧客情報の更新.....	290
顧客の住所録情報について.....	291
住所録からの売掛金更新プログラムの実行.....	291
住所録からの売掛金更新 (R03B802) の処理オプションの設定.....	291
請求書の検討.....	292
請求書の改訂履歴について.....	292

基準日機能について.....	292
入金または手形入力結果について.....	293
請求書の検討に使用するフォーム.....	295
売掛金元帳照会 (P03B2002) の処理オプションの設定.....	295
売掛金元帳明細の検討.....	296
(ARG) Reviewing Summarized Current Account Information.....	297
入金入力結果の検討.....	297

## 第 11 章

<b>自動入金処理.....</b>	<b>299</b>
自動入金処理について.....	299
顧客入金情報のアップロード.....	300
顧客入金情報のアップロードについて.....	301
(DNK, FIN, NOR, SWE) Understanding the Upload of Customer Payment Information for the Nordic Countries.....	301
(DNK) Uploading Customer Payment Information for Denmark.....	301
(DNK) Setting Processing Options for Automatic Receipts Denmark (R74M001).....	302
(FIN) Uploading Customer Payment Information for Finland.....	303
(FIN) Setting Processing Options for Automatic Receipts Finland (R74V001).....	304
(NOR) Uploading Customer Payment Information for Norway.....	306
(NOR) Setting Processing Options for Automatic Receipts Norway (R74O001).....	306
(SWE) Uploading Customer Payment Information for Sweden.....	308
(SWE) Setting Processing Options for Automatic Receipts Sweden BG OCR (R74W001), Automatic Receipts Sweden PG OCR (R74W002), and Automatic Receipts Sweden BG AA (R74W003).....	308
(DNK, NOR, SWE) Uploading Information to the F03B13Z1 Table.....	310
Understanding the Copy Bank File to Interface File A/R Program.....	310
Running the Copy Bank File to Interface File A/R Program.....	311
Setting Processing Options for Copy Bank File to Interface File A/R (R74W0010).....	311
(CHE) Uploading ESR Payment Information to the F03B13Z1 Table.....	312
Understanding the Upload ESR Payments Program.....	312
Prerequisites.....	312
Forms Used to Upload ESR Payment Information to the F03B13Z1 Table.....	312
Setting Processing Options for Upload ESR Payments (R03B803).....	313
Uploading ESR Payment Information.....	313
入金レコードの自動作成.....	313
入金レコードの自動作成について.....	314
事前設定.....	315
入金見出しの更新プログラムの実行.....	315
入金見出しの更新 (R03B551) の処理オプションの設定.....	315

(ARG) Setting Processing Options for PO – Update Receipt Register from Electronic Input–AR – 03B (R76A551D).....	322
自動入金と請求書の自動突き合わせ.....	322
自動入金処理について.....	323
事前設定.....	324
請求書の自動突合せプログラムの実行.....	324
請求書の自動突合せ (R03B50) の処理オプションの設定.....	324
自動入金の検討、改訂、および追加.....	325
自動入金の検討プログラムについて.....	325
自動入金の照会、改訂、および追加に使用するフォーム.....	327
自動入金の検討および改訂.....	327
自動入金の追加.....	328
バッチのアップロード状況の変更.....	329
自動入金と請求書の手動突き合わせ.....	330
自動入金の除去.....	330
自動入金の除去プログラムについて.....	330
自動入金の除去プログラムの実行.....	331
自動入金の除去 (R03B0041A) の処理オプションの設定.....	331

## 第 12 章

<b>受取手形の処理.....</b>	<b>333</b>
受取手形について.....	333
(JPN) 日本における受取手形の処理.....	334
(ITA) Accounts Receivable Draft Processing in Italy.....	334
(ESP) Accounts Receivable Draft Processing in Spain.....	334
受取手形のタイプについて.....	334
受取手形の処理ステップについて.....	335
手形の振り出し.....	335
手形の受取.....	335
手形の取立 (任意).....	336
手形の回収.....	337
手形処理と総勘定元帳について.....	337
手形の振り出し.....	338
手形付き請求書について.....	339
手形付き計算書について.....	339
支払期日別手形計算書について.....	339
事前設定.....	339
手形付き請求書の印刷.....	340
請求書の印刷 (手形あり) (R03B5051) のデータ選択とデータ順序の設定.....	340
請求書の印刷 (手形あり) (R03B5051) の処理オプションの設定.....	340

手形付き計算書の印刷.....	341
計算書データの再作成 (R03B500X) のデータ選択とデータ順序の設定.....	341
計算書データの再作成 (R03B500X) の処理オプションの設定.....	341
計算書の印刷 (手形あり) (R03B506) の処理オプションの設定.....	345
支払期日別計算書の印刷.....	345
(ESP) Originating Drafts for Spain.....	346
Understanding Spanish Draft Origination.....	346
Understanding the Print Receipt with Letter Program.....	347
Understanding the Print Drafts from Invoices Program.....	347
Prerequisites.....	348
Grouping Invoices for Drafts.....	348
Setting Processing Options for Invoice Group by Draft (R03B5052).....	348
Printing Drafts with Letters.....	349
Setting Processing Options for Print Receipt with Letter (R74S500).....	349
Printing Drafts from Invoices.....	350
Setting Processing Options for Print Drafts from Invoices (R74S502).....	350
(ESP) Reprinting Drafts.....	351
Understanding Draft Reprinting.....	351
Prerequisites.....	352
Reprinting Drafts by Receipt with Letters.....	352
Setting Processing Options for Print Draft (R1) by Receipt with Letter (R74S520).....	352
Reprinting Drafts by Receipt.....	353
Setting Processing Options for Print Draft (R1) by Receipt (R74S521).....	353
Reprinting Drafts based on Stamp Fees.....	353
Setting Processing Options for Print Drafts from R1 by Efecto (R74S522).....	353
手形の受取.....	354
手入力手形について.....	354
未充当手形について.....	359
事前承認手形について.....	360
手形の改訂について.....	361
事前設定.....	362
手形の受取に使用するフォーム.....	363
手形入力 (P03B602) の処理オプションの設定.....	363
未充当手形の入力.....	370
手形と突き合わせる未決済請求書の検索.....	372
手形と請求書の突き合わせ.....	372
未充当入金と請求書の突き合わせ.....	372
クレジット メモと請求書の突き合わせ.....	374
単独レコード入力.....	374
事前承認手形処理.....	375

事前承認手形 (R03B671) のデータ順序の設定.....	375
事前承認手形 (R03B671) の処理オプション.....	375
受取手形の承認と転記.....	377
手形の承認と転記について.....	378
手形の転記によって作成される仕訳について.....	378
手形の承認と転記に使用されるフォーム.....	383
受取手形を転記するための転記プログラムの実行.....	383
手形仕訳の検討プログラムからの手形の転記.....	383
手形の削除および無効化.....	384
手形の状況について.....	384
手形の削除および無効化について.....	384
事前設定.....	385
手形の削除と無効化に使用するフォーム.....	385
手形状況の変更.....	385
手形の削除または無効化.....	386
手形の取立.....	387
手形の取立について.....	387
割引手形と偶発債務について.....	388
Understanding Italian Draft Remittance Formats (ITA).....	389
Understanding Spanish Remittance Formats (ESP).....	389
Understanding Draft Remittance for France (FRA).....	390
オンライン手形明細について.....	392
手形の取立に使用するフォーム.....	392
受取手形の明細の作成.....	392
手形の取立プログラムの実行.....	393
手形の取立 (R03B672) のデータ選択の設定.....	393
手形の取立 (R03B672) の処理オプションの設定.....	394
(ITA) Setting Processing Options for A/R Magnetic RIBA Draft Remittance Tape Format (R03B672IT).....	396
(ITA) Setting Processing Options for A/R Magnetic RID Draft Remittance Tape Format (R03B672IR).....	397
(ESP) Setting Processing Options for Draft Remittance File Format AEB 19 – Spain (R74S6729).....	398
(ESP) Setting Processing Options for Draft Remittance File Format AEB 32 – Spain (R74S6722).....	399
(ESP) Setting Processing Options for Draft Remittance File Format AEB 58 – Spain (R74S6728).....	400
手形の残高不足 (NSF) 指定.....	401
NSF 手形について.....	401
NSF 手形通知レポートについて.....	402
手形を残高不足 (NSF) として指定するために使用するフォーム.....	403
手形の NSF (全額または部分) 指定.....	403
NSF 手形通知レポートの印刷.....	404
NSF 手形通知レポート (R03B574) の処理オプションの設定.....	404

手形の回収.....	405
手形の回収について.....	405
手形の回収 (状況更新) プログラムの実行.....	406
手形の回収 (状況更新) (R03B680) の処理オプション.....	406
(Rapid Start FRA) Processing Accounts Receivable Drafts.....	408
Prerequisites.....	409
Processing Accounts Receivable Drafts.....	409
Preconfigured Processing Options for Statement Print with Drafts by Due Date (R03B500X).....	410
Preconfigured Processing Options for Statement Print with Drafts (R03B506).....	411
Preconfigured Processing Options for Draft Entry Processing Option (P03B602).....	412
Preconfigured Processing Options for AR Batch Draft Creation – Final Mode (R03B671).....	415
Preconfigured Processing Options for Batch Options for Drafts Journal Review (P0011).....	416
Preconfigured Processing Options for Post AR Drafts (R09801).....	416
Preconfigured Processing Options for AR Draft Remittance (R03B672).....	417
Preconfigured Processing Options for Text File Processor (P007101).....	418
Preconfigured Processing Options for AR Draft Collection – Final (R03B680).....	419
Preconfigured Processing Options for Enter Customer Draft (P03B602).....	420

## 第 13 章

自動引落とし処理.....	425
自動引落としについて.....	425
事前設定.....	427
自動引落としバッチの作成と処理.....	427
自動引落としバッチについて.....	427
事前設定.....	429
自動引落としバッチの作成と処理に使用するフォーム.....	429
自動引落としの処理 (P03B571) の処理オプションの設定.....	429
自動引落としバッチの作成 (R03B571) の処理オプションの設定.....	430
自動引落としバッチの作成.....	433
最終モードでの自動引落としバッチの処理.....	433
自動引落としバッチの承認と転記.....	433
自動引落としの承認と転記について.....	433
自動引落としバッチの承認と転記に使用するフォーム.....	434
自動引落としを転記する転記プログラムの実行.....	434
[自動引落とし仕訳の検討] メニューからの自動引落としの転記.....	434
自動引落としのフォーマット.....	434
自動引落としのフォーマットについて.....	434
自動引落としのフォーマットに使用するフォーム.....	438
(AUT) Setting Processing Options for Austrian Bank Diskette Format and Statement (R03B575AD).....	438



(BEL) Setting Processing Options for Automatic Debits Belgian Format 128 (R03B575BD).....	438
(FRA) Setting Processing Options for Automatic Debits French Format (R03B575FD).....	439
(DEU) Setting Processing Options for German Bank File Format and Statement Diskette (R03B575DD).....	439
(IRL) Setting Processing Options for Ireland Domestic Debit Bank Format (R03B575IE).....	440
(NLD) Setting Processing Options for Automatic Debits Dutch Format (R03B575DH).....	440
(CHE) Setting Processing Options for Create Swiss Bank Diskette Format (R03B575SD).....	441
(GBR) Setting Processing Options for Great Britain Bank File and Statement Diskette (R03B575GB).....	442
自動引落としバッチのフォーマット.....	442
銀行への自動引落としバッチの転送.....	444
銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー プログラムについて.....	444
銀行への自動引落としバッチの転送に使用するフォーム.....	445
銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー (P0457D) の処理オプションの設定.....	445
フォーマット済み自動引落としバッチのコピー.....	446
自動引落としの除去.....	447
自動引落としの除去処理について.....	447
自動引落としの除去に使用するフォーム.....	447
自動引落としバッチの除去.....	447

## 第 14 章

売掛管理システムの EDI トランザクションの処理.....	449
売掛管理システムの EDI について.....	449
この章で使用する共通フィールド.....	449
EDI 入金データについて.....	450
EDI 受信データの転送.....	457
受信データの転送について.....	457
入荷通知の更新プログラムの実行.....	458
入荷通知の更新 (R47111) の処理オプションの設定.....	458
EDI 受信データの構成要素の検索と改訂.....	459
EDI 入荷通知 (受信) の照会プログラムについて.....	459
制御情報について.....	460
EDI 受信データの構成要素の検索と改訂に使用するフォーム.....	461
EDI 入荷通知 (受信) の照会 (P47110) の処理オプションの設定.....	461
EDI 受信データのトランザクションの改訂.....	462
EDI 受信トランザクションの振込データの改訂.....	462
EDI 受信振込データの支払データの改訂.....	463
EDI 受信支払データの送金データの改訂.....	464
EDI 受信データの制御情報の改訂.....	465
振込用 EDI 制御情報の改訂.....	465

支払用 EDI 制御情報の改訂.....	466
送金用 EDI 制御情報の改訂.....	466
EDI 受信データの構成要素の追加.....	466
事前設定.....	466
EDI 受信データの構成要素の追加に使用するフォーム.....	467
EDI 受信トランザクションの追加.....	467
EDI 受信トランザクションへの振込データの追加.....	467
EDI 受信振込データへの支払データの追加.....	468
EDI 受信支払データへの送金データの追加.....	468
EDI 受信データの除去.....	468
EDI 受信データの除去処理について.....	468
EDI 入荷通知 (受信) の除去プログラムの実行.....	468

## 第 15 章

<b>損金処理.....</b>	<b>469</b>
損金処理について.....	469
この章で使用する共通フィールド.....	471
損金の入力.....	471
損金の入力について.....	471
請求書に関連した損金について.....	472
入金に関連した損金について.....	472
事前設定.....	473
損金の入力に使用するフォーム.....	473
請求書に関連した損金の入力.....	473
入金に関連した損金の入力.....	474
損金の調査および解決.....	474
損金の解決について.....	474
事前設定.....	476
損金の解決に使用するフォーム.....	476
損金への活動コードの適用.....	476
損金へのクレジット メモの適用.....	477
(Rapid Start) Processing Customer Deductions.....	478
Processing Customer Deductions.....	478
Preconfigured Processing Options for Enter Deductions without Receipt (P03B2002).....	479
Preconfigured Processing Options for Enter Deductions with Receipt (P03B102).....	480
Preconfigured Processing Options for Review and Post Deduction Batches (P0011).....	482
Preconfigured Processing Options for Cash Receipt Posting (R09801).....	483
損金処理の無効化.....	484
損金処理の無効化について.....	484

損金処理を無効にするために使用するフォーム.....	485
損金活動の無効化.....	485
損金の無効化.....	485

## 第 16 章

<b>請求書の印刷.....</b>	<b>487</b>
売掛金請求書の印刷.....	487
請求書の印刷について.....	487
(ARG) Understanding Argentinean Invoices.....	488
(CHE) Understanding ESR Payment Slips.....	488
請求書の印刷プログラムの実行.....	489
請求書の印刷 (R03B505) の処理オプションの設定.....	489
Setting Processing Options for PO Invoice Print (R76A03B5).....	490
国際支払指示 (IPI) が添付された請求書の印刷.....	491
国際支払指示について.....	491
事前設定.....	492
IPI 付き請求書の印刷プログラムの実行.....	492
IPI 付き請求書の印刷 (R03B5053) の処理オプションの設定.....	492
(CHN) Processing JinSui Invoices.....	495
Understanding Invoices for JinSui.....	495
Prerequisites.....	495
Forms Used to Process JinSui Invoices.....	496
Running the Print Invoices from A/R Program.....	496
Setting Processing Options for Create Chinese GUI interface file from A/R (R75C03B1).....	496
Running the Cancel Invoice Print Program.....	497
Setting Processing Options for Cancel Invoice Print (R75C09Z1).....	497
Running the Download JinSui Return File into JDE Program.....	497
(DNK, FIN, NOR, SWE) Printing Interest Invoices for Nordic Countries.....	497
Understanding Interest Invoices.....	498
Running the Invoice Print Sweden – 03B Program.....	498
Setting Processing Options for Invoice Print Sweden – 03B (R74W0030).....	498
(RUS) Generating Amount Difference Invoices.....	498
Understanding Amount Difference Invoices.....	499
Printing the Amount Difference Invoice.....	499
Setting Processing Options for Amount Difference Generation (R74R3010).....	499

**第 17 章**

<b>計算書の処理</b> .....	<b>501</b>
計算書の処理について.....	501
計算書の作成.....	502
計算書の作成について.....	502
事前設定.....	504
計算書データの再作成プログラムの実行.....	504
計算書データの再作成 (R03B500X) の処理オプションの設定.....	504
計算書の印刷プログラム (R03B5001) の処理オプションの設定.....	508
計算書の利用.....	509
計算書の検討について.....	509
計算書の検討に使用するフォーム.....	511
計算書の検討プログラム (P03B202) の処理オプションの設定.....	511
計算書の明細の検討.....	511
計算書の再印刷.....	512
計算書の再設定.....	512
(JPN) 鑑請求書の利用.....	512
鑑請求書について.....	512
事前設定.....	513
鑑請求書の印刷.....	513
鑑請求書プログラム (R03B5001JP) の処理オプションの設定.....	513
計算書/延滞通知の除去.....	514
計算書/延滞通知の除去について.....	514
計算書/延滞通知の除去プログラムの実行.....	515
計算書/延滞通知の除去プログラム (R03B5010) の処理オプションの設定.....	515

**第 18 章**

<b>与信および回収管理</b> .....	<b>517</b>
顧客勘定情報の更新.....	517
与信分析データの再作成プログラムについて.....	517
事前設定.....	518
与信分析データの再作成プログラムの実行.....	518
与信分析データの再作成 (R03B525) の処理オプション.....	519
与信および回収処理のための顧客勘定の管理.....	523
与信/回収処理について.....	524
事前設定.....	524
与信および回収処理のための顧客勘定の管理に使用するフォーム.....	525
顧客勘定の取引活動ログの印刷.....	525
活動ログの印刷 (R03B31) の処理オプションの設定.....	525

顧客活動の検討.....	525
顧客活動の追加.....	526
顧客活動ログの除去プログラムの実行.....	526
顧客勘定情報の検討.....	526
顧客勘定の残高情報について.....	526
取引状況集計について.....	527
顧客勘定情報の検討に使用するフォーム.....	528
[取引残高照会] フォームを使った顧客勘定情報の検討.....	528
特定の日付時点における顧客勘定情報の検討.....	528
[取引状況集計] フォームを使用した顧客勘定の検討.....	529
親/子勘定残高の検討.....	530
親/子勘定残高について.....	530
事前設定.....	531
親/子勘定残高の検討に使用するフォーム.....	531
親勘定に対する子勘定および関連する孫勘定情報の表示.....	531
顧客勘定の処理.....	531
顧客勘定の回収処理について.....	532
ワークフローを使った顧客勘定の管理について.....	532
顧客勘定の処理に使用するフォーム.....	534
[取引残高照会] フォームを使った顧客勘定の処理.....	534
ワークフロー管理を使用した顧客勘定の処理.....	534
回収レポートの印刷.....	535
回収レポートについて.....	535
回収レポート プログラムの実行.....	535
回収レポート (R03B461) の処理オプションの設定.....	535
与信情報の検討と改訂.....	536
与信情報の改訂について.....	536
与信情報の検討と改訂に使用するフォーム.....	536
与信情報の改訂.....	536
(Rapid Start) Processing Statements and Managing Collections.....	538
Processing Statements and Managing Collections.....	538
Preconfigured Processing Options for Update AR from Address Book (R03B802).....	540
Preconfigured Processing Options for Statement Notification Refresh (R03B500X).....	541
Preconfigured Processing Options for Statement Print Program (R03B5001).....	542
Preconfigured Processing Options for Review Statement (P03B202).....	542
Preconfigured Processing Options for Credit Analysis Refresh – Update F03B15 Table (R03B525).....	543
Preconfigured Processing Options for Open A/R Summary Analysis (R03B155).....	544
Preconfigured Processing Options for Print Activity Log (R03B31).....	544
Preconfigured Processing Options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16).....	545
Preconfigured Processing Options for Collection Report (R03B461).....	545

Preconfigured Processing Options for Great Britain Delinquency Notices (R03B525).....	545
Preconfigured Processing Options for Great Britain Delinquency Notice Print (R03B20).....	547
信用報告テープの作成.....	547
信用報告テープについて.....	547
信用報告テープの要件について.....	548
事前設定.....	554
Experian 信用報告テープの作成プログラムおよび Creditel 信用報告テープの作成プログラムの 実行.....	554
Experian および Dun & Bradstreet 信用報告テープの作成 (R03B920) の処理オプションの設定.....	554
Creditel 信用報告テープの作成 (R03B920C) の処理オプションの設定.....	555
(FRA) Managing Bad Debts for France.....	555
Understanding Bad Debts.....	555
Forms Used to Manage Bad Debts for France.....	557
Entering an Unrecoverable Loss.....	557
 <b>第 19 章</b>	
<b>延滞通知と延滞利息金の処理.....</b>	<b>559</b>
延滞通知の作成.....	559
延滞通知の作成について.....	559
事前設定.....	562
延滞通知の印刷プログラムの実行.....	563
延滞通知の使い方.....	563
延滞通知の処理に使用するフォーム.....	564
延滞通知の印刷 (R03B20) の処理オプションの設定.....	564
階層化延滞通知の印刷 (R03B21) の処理オプションの設定.....	565
延滞通知の検討 (P03B202) の処理オプションの設定.....	566
延滞通知の検討.....	566
年齢調べカテゴリによる集計請求書情報の検討.....	567
延滞通知の検討、承認、却下.....	568
延滞通知の再印刷.....	569
延滞利息金の作成.....	570
延滞利息金の生成について.....	570
事前設定.....	571
(ARG) Understanding Interest for Delinquent Payments for Argentina.....	572
延滞利息金の作成プログラムの実行.....	572
延滞利息金の作成 (R03B525) の処理オプションの設定.....	572
(ARG) Setting Processing Options for PO Interest Invoice (R76A03B2).....	572
延滞利息金明細 (R03B22) の処理オプションの設定.....	572
延滞利息金 (R03B221) の処理オプションの設定.....	573

延滞利息金の処理.....	574
延滞利息金の削除について.....	574
延滞利息金の処理に使用するフォーム.....	574
延滞利息金の検討 (P03B22) の処理オプションの設定.....	574
延滞利息金の検討、承認、却下.....	574
延滞利息金の削除.....	575
延滞利息金の除去 (R03B222) の処理オプションの設定.....	575
 <b>第 20 章</b>	
<b>顧客分析のための売掛管理統計の更新.....</b>	<b>577</b>
売掛管理統計について.....	577
統計情報の更新.....	578
統計実績更新プログラムについて.....	578
期間統計計算について.....	579
期間統計の年齢調べ情報について.....	583
事前設定.....	585
統計実績更新プログラムの実行.....	585
統計実績更新 (R03B16A) の処理オプションの設定.....	585
統計情報の分析.....	587
統計情報について.....	587
事前設定.....	587
統計情報の分析に使用するフォーム.....	588
統計情報の検討.....	588
顧客勘定の期間別統計の検討.....	589
実績の年次締め処理.....	589
実績の年次締めについて.....	589
事前設定.....	590
実績の年次締めプログラムの実行.....	590
実績の年次締め (R03B161) の処理オプションの設定.....	590
統計実績レコードの除去.....	590
統計実績の除去について.....	590
統計除去データの再転記プログラムの実行.....	591
統計除去データの再転記 (R03B163) の処理オプションの設定.....	591
(Rapid Start) Analyzing Accounts Receivable.....	591
Analyzing Accounts Receivable.....	592
Preconfigured Processing Options for Open A/R Summary with Aging – Company 00001 (R03B413A).....	593
Preconfigured Processing Options for Open AR Details with Remarks (R03B4201A).....	594
Preconfigured Processing Options for Open A/R Details with Aging (R03B4201B).....	594

Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand AR Summary by Company with Currency (R03B413B).....	595
Preconfigured Processing Options for Australian and New Zealand Build Netting Report (R03B465).....	596
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Netting Report (R03B466).....	596

## 第 21 章

<b>払戻し処理</b> .....	<b>599</b>
払戻しについて.....	599
事前設定.....	599
払戻しの作成.....	599
払戻しの作成について.....	600
払戻しの作成プログラムの実行.....	603
払戻しの作成 (R03B610) の処理オプションの設定.....	603
払戻しの転記.....	604
払戻しの転記について.....	605
事前設定.....	605
払戻しの転記プログラムの実行.....	605

## 第 22 章

<b>売掛金と買掛金の相殺</b> .....	<b>607</b>
売掛金/買掛金相殺について.....	607
この章で使用する共通フィールド.....	607
事前設定.....	608
売掛金と買掛金の相殺.....	608
売掛金/買掛金相殺処理について.....	608
売掛金相殺の会計入力例.....	610
売掛金および買掛金相殺に使用するフォーム.....	612
[手動相殺機能] (P03B455) の処理オプションの設定.....	612
売掛金相殺取引の入力.....	615
買掛金相殺取引の入力.....	617
売掛金/買掛金相殺取引の処理.....	618
売掛金/買掛金相殺取引の改訂について.....	618
売掛金/買掛金相殺取引の処理に使用するフォーム.....	619
売掛金/買掛金相殺取引に関連付けられた伝票の確認.....	619
売掛金/買掛金相殺取引の無効化と削除.....	621



## 第 23 章

<b>売掛管理レポートの印刷.....</b>	<b>623</b>
相殺レポートの印刷.....	623
相殺レポートについて.....	623
売掛金相殺ワークファイルについて.....	624
売掛金/買掛金の相殺レポートの印刷.....	624
年齢調べ相殺レポートについて.....	625
事前設定.....	625
相殺レポート ファイルの作成プログラムの実行.....	625
相殺レポート ファイルの作成 (R03B465) の処理オプションの設定.....	625
売掛金/買掛金の相殺レポートの印刷.....	626
年齢調べ相殺レポートの印刷.....	626
年齢調べ相殺レポート (R03B466) の処理オプションの設定.....	626
顧客/仕入先残高レポートの印刷.....	628
顧客/仕入先残高ワークテーブルについて.....	628
顧客残高レポートと仕入先残高レポートについて.....	630
顧客/仕入先残高ワークテーブルの作成.....	631
仕入先残高の自動生成 (R7404001) の処理オプションの設定.....	631
顧客残高の自動生成 (R7403B001) の処理オプション.....	632
顧客/仕入先残高レポートの印刷.....	632
顧客/仕入先残高レポート (R7404002) の処理オプションの設定.....	632
キャッシュ フローの予測.....	633
資金予測データのリフレッシュ プログラムについて.....	633
資金予測データのリフレッシュ プログラムの実行.....	634

## 第 24 章

<b>売掛管理データの整合性の確認.....</b>	<b>635</b>
売掛金整合性レポートについて.....	635
売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別) レポートの実行.....	636
売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別) レポートについて.....	636
売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別) レポートの印刷.....	637
売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別) レポート (R03B701) の処理オプションの設定.....	637
売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別) レポートの実行.....	638
売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別) レポートについて.....	638
売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別) レポートの印刷.....	641
売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別) レポート (R03B707) の処理オプションの設定.....	641
売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別) レポートのデータ選択とデータ順序の設定.....	643
売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポートの実行.....	643
売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポートについて.....	643

売掛金元帳 – 総勘定元帳入金レポートの印刷.....	644
売掛金元帳 – 総勘定元帳入金レポート (R890911BI) の処理オプションの設定.....	644
(Rapid Start) Processing Accounts Receivable Period End.....	644
Prerequisite.....	645
Processing Accounts Receivable Period End.....	645
Preconfigured Processing Options for Batch Header to Transaction (R007031).....	646
Preconfigured Processing Options for Canada and the United States for Transaction to Batch Header (R007021).....	647
Preconfigured Processing Options for Batches Out of Balance – AR Only (R007032).....	649
Preconfigured Processing Options for A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701).....	649
Preconfigured Processing Options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI).....	649
Preconfigured Processing Options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707).....	650
Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Unrealized Gain/Loss (R03B426).....	651
Preconfigured Processing Options for Statistics Annual Close (R03B161).....	651

## 第 25 章

請求書および入金の除去.....	653
請求書および入金の除去について.....	653
事前設定.....	654
請求取引の除去.....	654
請求取引の除去プログラムについて.....	654
請求取引の除去プログラムの実行.....	655
請求取引の除去 (R03B800) および入金取引の除去 (R03B801) の処理オプションの設定.....	655
(BRA) Purging Invoice Transactions for Brazil.....	655
(BRA) Understanding the Invoice Purge Process for Brazil.....	655
(BRA) Running the Purge A/R Additional Information – Brazil Program.....	655
(BRA) Setting Processing Options for Purge A/R Additional Information – Brazil (R7603B11).....	656
Display.....	656
入金取引の除去.....	656
入金取引の除去プログラムについて.....	656
入金取引の除去プログラムの実行.....	656

## 付録 A

バッチ請求書処理のためのフィールドのマッピング.....	657
バッチ請求書テーブル (F03B11Z1) のフィールドのマッピング.....	657
必須フィールド.....	657
バッチ請求書処理 (割引あり) の必須フィールド.....	663
任意フィールド.....	667

無視されるフィールド.....	685
ユーザー予約フィールド.....	687
仕訳アップロード テーブル (F0911Z1) のフィールドのマッピング.....	688
必須フィールド.....	688
収益性分析システムを使用したバッチ請求書処理の必須フィールド.....	691
(ARG) Mapping Fields in the Taxes – Tax Amounts by Invoice Suffix Batch Entry A – 03B Table (F76A19Z1) for Argentina.....	692
(CHL and PER) Mapping Fields in the F76H3B10 EDI Tag File —CHI – 03B table (F76H3B1Z) for Chile and Peru.....	695
Required Fields.....	695
Optional Fields.....	697
(CHL and PER) Mapping Fields in the F76H3B15 EDI Tag File —CHI —03B table (F76H3B5Z) for Chile and Peru.....	699

## 付録 B

自動入金処理のためのフィールドのマッピング.....	703
自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) のフィールドのマッピング.....	703
必須フィールド.....	703
任意フィールド、無視されるフィールド、自動更新フィールド.....	709

## 付録 C

EnterpriseOne 売掛管理の標準ワークフロー.....	717
EnterpriseOne 売掛管理の標準ワークフロー.....	717
与信限度額変更の承認.....	717

## 付録 D

EnterpriseOne 売掛管理レポート.....	719
EnterpriseOne 売掛管理レポート.....	719
標準レポート.....	719
分析レポート.....	719
EnterpriseOne 売掛管理レポート (アルファベット順).....	720
EnterpriseOne 売掛管理の主要レポート.....	723
R03B155 – 未決済売掛金集計分析.....	723
未決済売掛金集計分析 (R03B155) の処理オプション.....	723
R03B165 – 履歴傾向分析レポート.....	724
R03B166 – 年齢調べ傾向分析レポート.....	725
R03B167 – 入金傾向分析レポート.....	725
R03B168 – 請求書傾向分析レポート.....	725

R03B1691 – 統計計算（会社別）レポート.....	726
R03B1692 – 統計計算（与信管理者別）レポート.....	726
R03B1693 – 統計計算（回収管理者別）レポート.....	726
R03B305 – 請求仕訳帳.....	726
請求仕訳帳（R03B305）のデータ選択.....	727
R03B311 – 入金仕訳帳.....	727
入金仕訳帳（R03B311）の処理オプション.....	728
R03B408 – 入金明細.....	729
入金明細（R03B408）の処理オプション.....	729
R03B560 – 自動入金明細.....	729
自動入金明細（R03B560）の処理オプション.....	729
R03B413A – 未決済売掛金明細（集計）レポート.....	729
未決済売掛金明細（集計）（R03B413A）の処理オプション.....	730
R03B4201A – 未決済売掛金（備考）レポート.....	731
未決済売掛金（備考）レポート（R03B4201A）の処理オプション.....	731
R03B4201B – 未決済売掛金（年齢調べ）レポート.....	732
未決済売掛金（年齢調べ）レポート（R03B4201B）の処理オプション.....	732
R74P03B61 – (POL) AR Trial Balance Report.....	735
Prerequisite.....	736
Processing Options for AR Trial Balance (R74P03B61).....	736
R74R5005 – (RUS) Cash Receipt Note Report.....	737
Processing Options for Cash Receipt Note Report (R74R5005).....	737
R74S540 – (ESP) Stamp Fees Report.....	738
Processing Options for Stamp Fees Report (R74S540).....	738
R76A0024 – (ARG) Credit Invoice Ledger.....	738
<b>EnterpriseOne 用語集.....</b>	<b>739</b>
<b>索引 .....</b>	<b>751</b>

# この PeopleBook について

PeopleBook には、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの導入と使用に必要な情報が提供されています。

ここでは、以下の事項について説明します。

- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎
- 印刷・製本されたドキュメンテーションの入手
- 追加情報
- 表記規則
- ご意見・ご要望について
- PeopleBook で使用する共通フィールド

---

**注:** PeopleBook には、システムで使用されている全てのフィールドについて説明されているわけではありません。アプリケーションで共通して使用される主なフィールドは、共通フィールドとしてまとめて説明しています。全てのアプリケーションで共通するフィールドはこの PeopleBook に、各アプリケーションで共通するフィールドは、それぞれの製品ライン、PeopleBook、またはその章やセクションごとに、共通フィールドとしてまとめて説明されています。それ以外に説明が必要だと思われるものについては、処理や業務を実行する具体的なページの説明と併せて、フィールドやチェック ボックスの説明をそれぞれ記載しています。

---

---

## JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを使用するにあたって必要な知識

この PeopleBook の内容を十分に理解して活用するには、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基本的な使い方を熟知する必要があります。

また、JD Edwards EnterpriseOne の入門トレーニング コースを少なくとも 1 つ修了していることが推奨されます。

この PeopleBook では、ユーザーが JD Edwards EnterpriseOne システムを操作でき、メニューやページ、フォームなどを使って情報を追加、更新、削除できることを前提としています。また、Web ブラウザと、Microsoft Windows または Microsoft Windows NT の操作に習熟していることも必要です。

ここでは、JD Edwards EnterpriseOne システムを操作できることを前提としているため、操作手順についての説明は省略しています。この PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne システムを効果的に使用するために必要な情報や、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入するために必要な情報を提供します。

---

## JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎

各アプリケーションの PeopleBook では、JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションを導入して使用するための情報を提供しています。

また、システムを設定したり設計するときに必要となる情報が、製品ラインで共通する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている場合もあります。ほとんどの製品ラインについて『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』が用意されています。それぞれの PeopleBook のまえがきに、関連する『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』の情報が記載されています。

『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』で取り上げている項目は、製品ラインのどのアプリケーションにも当てはまる、あるいはその多くに共通する重要なものばかりです。JD Edwards EnterpriseOne システムを導入する場合、製品ラインの中から 1 つのアプリケーションだけを導入する、いくつかのアプリケーションを組み合わせで導入する、または製品ライン全体を導入する、といういずれの場合でも、この『JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 PeopleBook』に書かれている内容を十分に理解しておくことが必要です。基礎的な内容を理解することが、導入タスクに着手する出発点となります。

---

## 印刷・製本されたドキュメンテーションの入手

このセクションでは、印刷・製本されたドキュメンテーションの注文について説明します。

### 印刷・製本されたドキュメンテーションの注文

PeopleBooks CD-ROM に収録されているドキュメンテーションは、印刷・製本された形のものも用意されています。印刷・製本されたドキュメンテーションは、以下のいずれかの方法でご注文いただけます。

- Web サイト
- 電話（米国およびカナダのみ）
- 電子メール

#### Web サイト

PeopleSoft の Web サイトである Customer Connection から注文できます。Ordering PeopleBooks リンクをクリックすると、PeopleBooks Press の Web サイトにアクセスすることができます。このサイトは、PeopleSoft と印刷会社 MMA Partners 社が共同で運営しています。ご注文の際、クレジット カード、郵便為替、銀行小切手、または注文書をご利用いただけます。

#### 電話（米国およびカナダのみ）

877 588 2525 (MMA Partners 社) までご連絡ください。

#### 電子メール

peoplebookspress@mmapartner.com (MMA Partners 社) までご連絡ください。

#### 関連項目:

PeopleSoft Customer Connection  
<https://www.peoplesoft.com/corp/en/login.jsp>

## 追加情報

PeopleSoft Customer Connection Web サイトから、以下の情報を入手できます。

情報	ナビゲーション
アプリケーションのメンテナンス情報	[Updates + Fixes]
ビジネスプロセス マップ	[Support]、[Documentation]、[Business Process Maps]
データモデル	[Support]、[Documentation]、[Data Models]
エンタープライズ インテグレーション ポイント (EIP) のカタログ	[Support]、[Documentation]、[Enterprise Integration Point (EIP) Catalog]
ハードウェア要件とソフトウェア要件	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Hardware and Software Requirements]
インストール ガイド	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Installation Guides and Notes]
PeopleBook ドキュメンテーションのアップデート	[Support]、[Documentation]、[Documentation Updates]
サポートポリシー	[Support]、[Support Policy]
製品出荷予定	[Support]、[Roadmaps + Schedules]
リリースノート	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]、[Upgrade Documentation and Software]、[Release Notes]
テーブルのロード順序	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Table Loading Sequences]
トラブルシューティング情報	[Support]、[Troubleshooting]
アップグレード関連のドキュメンテーション	[Implement, Optimize + Upgrade]、[Upgrade Guide]

## 表記規則

このセクションでは、以下の事項について説明します。

- 表記規則
- 注意事項の表示
- 国、地域、業種の表記
- 通貨コード

## 表記規則

PeopleBook は、次の表記規則に従って記述されています。

表記規則	説明
太字	PeopleCode の関数名、メソッド名、言語要素や、関数呼び出しで、そのまま記述すべき PeopleCode の予約語は太字で記述しています。
斜体	PeopleCode の構文で、プレースホルダとなる引数部分は斜体になっています。
キー + キー	キーを組み合わせる操作を示しています。キー名とキー名の間にプラス記号がある場合は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押すという意味です。たとえば、Alt + W は、Alt キーを押しながら W キーを押すことを表します。
Monospace font (固定幅のフォント)	PeopleCode のプログラムや、その他のコードの例の表記には、この固定幅のフォントを使用しています。
...(省略記号)	PeopleCode の構文で、先行要素の任意の繰り返しを示します。
{ }(中かっこ)	PeopleCode の構文で、2 つの選択肢のうちいずれか一方を選択することを示します。選択肢は縦棒 ( ) で区切られています。
[ ](角かっこ)	PeopleCode の構文で、省略できる要素を示します。
&(アンパサンド)	PeopleCode の構文で、アンパサンドが頭に付いたパラメータはインスタンス化されたオブジェクトであることを示します。  また、PeopleCode の変数は必ずアンパサンドが頭に付きます。

## 注意事項の表示

PeopleBook では、注意事項が以下のような形式で示されています。

### 注

JD Edwards EnterpriseOne システムを使って作業するときに注意すべき事項が書かれています。

注: 注意事項は、このような形式で示しています。



システムが正しく機能するために必ず守るべき大切な事柄は、“重要:”と示されています。

---

**重要:** 重要な注意事項は、このような形式で示しています。

---

## 警告

JD Edwards EnterpriseOne システムの導入にあたって、特に注意しなければならない重要な事柄は、“警告:”と示されています。“警告:”と書かれた部分には十分な注意を払ってください。

---

**警告:** 警告は、このような形式で示しています。

---

## 相互参照

相互参照は、“参照:”、または“関連項目:”という形で示しています。すぐ前で説明した情報に関連する他のドキュメンテーションが相互参照として示されています。

## 国、地域、業種の表記

特定の国、地域、業種にのみ関連する情報については、国や地域名などをかっこ書きで付記して示しています。このような国や地域の表示は、通常はセクションの見出しに付記されますが、注意事項などに付記されることもあります。日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています。

特定の国を対象とした見出しの例: 「従業員の採用 (FRA)」

特定の地域を対象とした見出しの例: 「減価償却の設定 (中南米)」

### 国の表記

国際標準化機構 (ISO) が定める国コードを使って表記しています。

### 地域の表記

地域を表す名称で表記しています。以下に例を示します。

- アジア太平洋
- ヨーロッパ
- 中南米
- 北米

### 業種の表記

業種を表す名称か略称を使って表記しています。以下に例を示します。

- USF (米国連邦政府)
- E&G (教育/公的機関)

## 通貨コード

金額は、ISO が定める通貨コードを使って表記しています。

---

## ご意見・ご要望をお寄せください

PeopleBook についてのご意見、ご要望を下記にお寄せください。

〒154-0005  
東京都世田谷区三宿 1-13-1  
東映三宿ビル 5 階

日本ピープルソフト株式会社  
エンタープライズ ランゲージ サービス マネジャー宛

TEL: 03-5251-8768

または、ETSJPN\_US@ORACLE.COM へ電子メールでご連絡ください。

いただいた電子メール全てにご返答のできない場合もありますが、弊社では皆様のご意見やご要望に留意し、貴重な情報として今後の参考にさせていただきます。

---

## 全ての PeopleBook で使用する共通フィールド

以下 Enterprise の用語です。

指定日	どの日付までのデータが、レポートまたはプロセスの対象となるかを指定します。
ビジネスユニット	業務上、区分された上位レベルの組織の ID です。ビジネスユニットを利用して、1 つの大きな組織の中に地域別または部門別に複数のユニットを定義することができます。
名称	30 文字までのテキストを入力できます。
有効日	テーブル行が有効になる日付、またはアクションが開始される日付です。たとえば、元帳を 6 月 30 日に締める場合、元帳締めの有効日は 7 月 1 日となります。データを表示、変更できる時期も有効日により管理されます。この情報を使用するページやバッチ処理では、現在行が使用されます。
1 回限り、常時、実行しない	<p>“1 回限り”を選択すると、次のバッチ処理実行時にリクエストが実行されます。バッチ処理が実行されると、処理頻度は自動的に“実行しない”に設定されます。</p> <p>“常時”を選択すると、バッチ処理が実行されるたびに毎回リクエストが実行されます。</p> <p>“実行しない”を選択すると、バッチ処理が実行されてもこのリクエストは実行されません。</p>
プロセス モニター	このリンクをクリックすると、プロセス リスト ページに移動して、送信したプロセス リクエストのステータスを確認できます。
レポート マネージャ	このリンクをクリックすると、レポート リスト ページに移動して、レポート内容の表示、レポート ステータスの確認、レポートと配信リストの詳細を表示する内容詳細メッセージの照会を行うことができます。

リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件のセットを表す ID です。
実行	このボタンをクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所、およびプロセスの出力フォーマットを指定できます。
セットID	コントロール テーブル情報のセット、つまり、テーブルセットを表す ID です。テーブルセットを使用すると、コントロール テーブル情報や処理オプションをビジネス ユニット間で共有できます。これにより、データの重複やシステムのメンテナンス作業を減らすことができます。ビジネスユニット内のレコード グループにセットID を割り当てると、レコード グループ内の全てのテーブルは、そのビジネスユニットと、そのレコード グループに同じセットID を割り当てているその他のビジネス ユニットとの間で共有されます。たとえば、複数のビジネスユニットで共通する職務コードのグループを定義して共有することができます。職務コードを共有する各ビジネス ユニットには、そのレコードについて同じセットID が割り当てられます。
略称	15 文字までのテキストを入力できます。
ユーザー ID	トランザクションを実行するユーザーを表す ID です。
以下 EnterpriseOne の用語です。	
住所番号	エンティティのマスター レコードを識別する固有の番号です。住所番号は、顧客、仕入先、会社、従業員、応募者、加入者、テナント、などの ID として使用できます。アプリケーションによっては、ページ上の住所番号フィールドが、顧客番号、仕入先番号、会社番号、従業員番号、応募者番号、加入者番号、などに相当する場合もあります。
仮定通貨コード	取引金額を表示する際に使用する通貨を指定する 3 文字のコードです。このコードを指定することにより、取引の入力時に実際に使用された通貨ではなく、指定した通貨に基づいて取引金額を参照することができます。
バッチ番号	システムによって処理される取引のグループを識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが手動でバッチ番号を割り当てるか、自動採番プログラム (P0002) によって自動的に割り当てることもできます。
バッチ日付	バッチが作成された日付です。このフィールドを空白のままにすると、自動的にシステム日付がバッチ日付として指定されます。
バッチ状況	<p>バッチの転記状況を示すユーザー定義コード (UDC) 98/IC の値を表示します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白: バッチが転記されていないか、承認待ちです。</p> <p>A: バッチの転記が承認され、貸借も一致していますが、まだ転記されていません。</p> <p>D: バッチが正常に転記されました。</p> <p>E: バッチにエラーが発生しました。転記の前にエラーを修正する必要があります。</p> <p>P: バッチの転記処理中です。転記処理が完了するまで、バッチにアクセスすることはできません。転記中にエラーが発生した場合は、バッチ状況コードが E に変更されます。</p>

U: ほかのユーザーがこのバッチを使用しているか、バッチが開かれている間に電源障害が発生したために、バッチが一時的に使用できなくなっています。

事業所	倉庫、作業、プロジェクト、作業所、支店、工場など、配送業務や製造業務が行われる場所や単位を表すコードです。システムによっては、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
ビジネスユニット	個別に費用がトラッキングされる各エンティティを表すコードです。システムによっては、事業所とも呼ばれます。
カテゴリコード	各カテゴリを表すコードです。カテゴリコードは、ユーザー定義コードで、トラッキングや申告など、組織の業務要件に合わせてカスタマイズできます。
会社	組織、資金、報告主体などを識別するコードです。会社コードは、F0010に定義済みである必要があり、このコードで表される単位ごとに、完全な貸借対照表を備えている必要があります。
通貨コード	取引の通貨を表す3文字のコードです。EnterpriseOneでは、国際標準化機構 (ISO) に準拠した通貨コードを提供しています。通貨コードは F0013 テーブルに格納されています。
伝票会社	<p>伝票に関連付けられた会社番号です。この番号は、伝票番号、伝票タイプ、元帳日付と併せて使用され、当初伝票を一意に識別します。</p> <p>会社と会計年度によって次の番号を割り当てる場合、この会社番号に基づいて、その会社の次の番号が自動的に抽出されます。</p> <p>同じ伝票番号と伝票タイプが複数の当初伝票に割り当てられていても、伝票会社番号を使用すれば、目的の当初伝票を表示することができます。</p>
伝票番号	伝票、請求書、仕訳入力、タイムシートなどの当初伝票を識別する番号です。入力ページでは、ユーザーが当初伝票番号を割り当てるか、自動採番プログラムによって自動的に割り当てることもできます。
伝票タイプ	<p>取引のソースおよび目的を表すユーザー定義コード 00/DT の値 (2文字) です。伝票、請求書、仕訳入力、タイムシートなどがあります。EnterpriseOneでは、伝票タイプに以下のプレフィックスが予約されています。</p> <p>P: 買掛伝票</p> <p>R: 売掛伝票</p> <p>T: 時間/給与伝票</p> <p>I: 在庫伝票</p> <p>O: 購買伝票</p> <p>S: 受注伝票</p>
有効日付	<p>住所、品目、取引、レコードなどがアクティブになる日付です。このフィールドは、プログラムによって意味が変わります。たとえば、以下のような日付を表すことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 住所変更が有効になる日付</li><li>• 賃貸契約が有効になる日付</li><li>• 価格が有効になる日付</li><li>• 為替換算レートが有効になる日付</li></ul>

- 税率が有効になる日付

**会計期間、会計年度**

元帳の期間、年度を表す番号です。多くのプログラムでは、このフィールドを空白のままにできます。その場合、会社固定情報プログラム (P0010) で定義された現在の会計期間と会計年度が自動的に使用されます。

**元帳日付**

取引の転記先の会計期間を示すための日付です。取引に対してこの日付が入力されると、その会社に割り当てられている会計期間パターンと比較して、適切な会計期間および会計年度が抽出されます。日付の検証も併せて行われます。



# JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 – まえがき

この章では、以下の内容について説明します。

- 対象の製品
- アプリケーションの基礎

---

## 対象の製品

この PeopleBook では、以下の製品についての情報も記載されています。

- JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理
- JD Edwards EnterpriseOne 価格管理
- JD Edwards EnterpriseOne 収益性分析
- JD Edwards EnterpriseOne 契約/サービス請求管理
- JD Edwards EnterpriseOne 基本設定 – 住所録
- JD Edwards EnterpriseOne 一般会計
- JD Edwards EnterpriseOne 不動産管理
- JD Edwards EnterpriseOne 受注管理
- JD Edwards EnterpriseOne サービス管理

---

## アプリケーションの基礎

システムの設定や設計に必要な基本情報は、この PeopleBook の姉妹編とも言える『PeopleSoft EnterpriseOne Financial Management Solutions 8.11 SP1 Application Fundamentals PeopleBook』に記載されています。





# 第 1 章

## JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理 – はじめに

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、以下の内容について説明します。

- 売掛管理の概要
- 売掛管理のビジネス プロセス
- 売掛管理の統合
- (Rapid Start) Accounts Receivable business processes
- 売掛管理の導入

---

### 売掛管理の概要

売掛管理部門では、顧客に販売した商品やサービスに対する請求書の処理、およびそれらの顧客からの支払の処理を行い、企業のキャッシュフローを管理する上で重要な役割を果たします。さらに、売掛管理部門では顧客の支払傾向に関する統計データを集めるために入金履歴のトラッキングが必要になる場合もあります。顧客をよく理解することによって、顧客サービスの向上と正確なキャッシュフロー管理が実現できます。

JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理システムは、効果的な資金管理に必要な柔軟性を備えており、企業のキャッシュフロー管理を効率的にサポートします。リアルタイムな情報を入手し、与信限度額の更新や回収フォロー、入金消込などの意思決定をすばやく行うことができます。

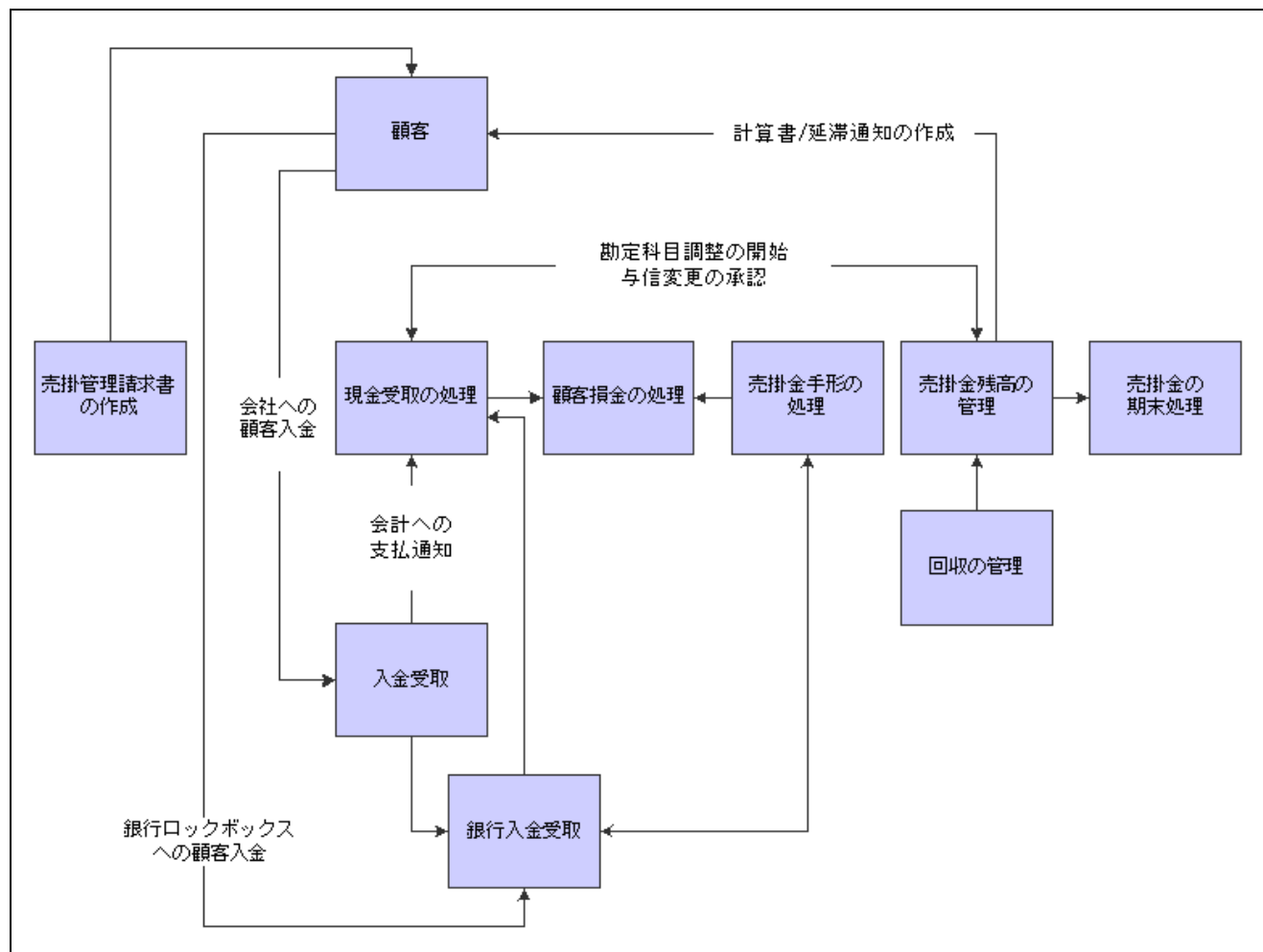
売掛管理システムを導入すると、売掛管理部門全体の日常業務の合理化が可能になります。入金処理を簡素化してスピーディに進めることができ、最新の情報を共有することで、請求、与信、回収の各部門間のコミュニケーションが向上します。

JD Edwards EnterpriseOne ソフトウェアは、多国籍企業が異なる通貨、言語、税法などに対応するために必要な柔軟性を備えています。

---

### 売掛管理のビジネス プロセス

次のプロセス フローは、売掛管理のビジネス プロセスを表しています。



## 売掛管理の統合

売掛管理システムは、以下の JD Edwards EnterpriseOne システムと統合されます。

- ・ 契約/サービス請求管理
- ・ 一般会計
- ・ 不動産管理
- ・ 受注管理
- ・ サービス管理

売掛管理システムは、JD Edwards EnterpriseOne の他のシステムと連動して機能し、全ての情報を総勘定元帳と売掛金元帳に取り込みます。統合における留意事項については、この PeopleBook の導入に関する章で説明します。サードパーティアプリケーションとの統合についての補足情報は、PeopleSoft Customer Connection Web サイトを参照してください。

## (Rapid Start) Accounts Receivable Business Processes

Rapid Start for Australia, Canada, France, Great Britain, New Zealand, and the United States includes all the functionality available in the PeopleSoft EnterpriseOne systems to perform the business processes. For the Accounts Receivable system, Rapid Start also includes preconfigured data that is specifically set up for these business processes:

- Invoice customer
- Process customer payments
- Manage accounts receivable balances

This table lists the business processes, scenarios, and process steps for Accounts Receivable and refers you to the detailed information for each business process. The information in this table applies to all countries that use Rapid Start, except where noted:

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Invoice customer.	Process customer invoices.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter invoices.</li> <li>2. Process recurring invoices.</li> <li>3. Review, revise and post invoices.</li> <li>4. Print invoices.</li> </ol>	参照: 第 7 章、「請求書の処理」、「(Rapid Start) Processing Customer Invoices」、184ページ
Process customer payments.	Process manual receipts.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter various types of receipts.</li> <li>2. Review receipts.</li> <li>3. Post receipts.</li> </ol>	参照: 第 9 章、「入金処理」、「(Rapid Start) Processing Manual Receipts」、275ページ
(Rapid Start FRA) Process customer payments.	Process drafts.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Enter various types of drafts.</li> <li>2. Process drafts.</li> </ol>	参照: 第 12 章、「受取手形の処理」、「(Rapid Start FRA) Processing Accounts Receivable Drafts」、408ページ
Process customer payments.	Process customer deductions.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Generate deductions from invoices and receipts.</li> <li>2. Resolve deduction.</li> </ol>	参照: 第 15 章、「損金処理」、「(Rapid Start) Processing Customer Deductions」、478ページ
Manage accounts receivable balances.	Process statements and manage collections.	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Generate customer statements.</li> <li>2. Review customer statements.</li> <li>3. Update statistical data.</li> </ol>	参照: 第 18 章、「与信および回収管理」、「(Rapid Start) Processing Statements and Managing Collections」、538ページ

Business Process	Scenario	Process Steps	Reference
Manage accounts receivable balances.	Analyze accounts receivable.	1. Print standard reports. 2. Print analytical reports.	参照: 第 20 章、「顧客分析のための売掛管理統計の更新」、「(Rapid Start) Analyzing Accounts Receivable」、591 ページ
Manage accounts receivable balances.	Process accounts receivable period end.	1. Run integrity reports. 2. Run processes to reset statistical information.	参照: 第 24 章、「売掛管理データの整合性の確認」、「(Rapid Start) Processing Accounts Receivable Period End」、644 ページ

## 売掛管理の導入

このセクションでは、売掛管理システムを導入するために必要なステップについての概要を説明します。

導入プランの作成段階では、導入のガイドやトラブルシューティング情報など、提供される全ての情報を活用するようにしてください。これらのリソースの一覧は、『この PeopleBook について』のまえがきに、各リソースの最新バージョンの入手方法と共に掲載されています。

### グローバル導入ステップ

次のリストは、JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理のグローバル導入の推奨手順です。

手順	参照
1. 会社、会計期間パターン、およびビジネスユニットを設定します。	
2. 勘定科目と勘定科目表を設定します。	
3. 一般会計固定情報を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」
4. 通貨コードと為替レートなど、多通貨処理の設定をします。	
5. 元帳タイプ規則を設定します。	JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」、「一般会計システムの元帳タイプ規則の設定」
6. 住所録レコードを入力します。	

### 売掛管理の導入ステップ

次のリストは、JD Edwards EnterpriseOne 売掛管理の推奨導入手順です。

手順	参照
1. 売掛管理固定情報、ユーザー定義コード(UDC)、自動採番、AAI(自動仕訳)、支払条件を設定します。	<u>第 2 章、「売掛管理システムの設定」、7ページ</u>
2. 顧客マスター情報と顧客銀行情報を設定します。	<u>第 3 章、「顧客マスター情報の設定」、43ページ</u>
3. (BRA) Set up electronic banking for Brazil.	
4. 自動入金処理のアルゴリズム、実行リスト、顧客マスターレコードを設定します。	<u>第 5 章、「自動入金処理の設定」、75ページ</u>
5. 与信および回収の期間パターン、活動コード、延滞方針、利息金指示、信用保険、与信管理者/回収管理者を設定します。	<u>第 6 章、「与信/回収管理の設定」、103ページ</u>
6. 請求書と入金のパッチ承認と転記セキュリティを設定します。承認者と入力者を設定します。	
7. 手形および損金処理を設定します。	<u>第 2 章、「売掛管理システムの設定」、7ページ</u>



## 第 2 章

# 売掛管理システムの設定

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、EnterpriseOne 売掛管理 (AR) のシステム設定 (システム セットアップ) の概要と、以下の方法について説明します。

- 売掛管理の固定情報の設定
- 売掛管理のユーザ一定義コード (UDC) の設定
- 売掛管理の自動採番の設定
- 売掛管理の AAI (自動仕訳) の設定
- 売掛管理の支払条件の設定
- 損金処理のための活動コードの設定
- (ARG) Set up to print invoices and shipment notes
- (ARG) Set up to print perception certificates
- (CHE) Set up to print Einzahlungsschein (ESR) payment slips
- (CHN) Set up matching versions for invoice printing
- (FIN) Calculate the Finnish reference number

---

## 売掛管理システムの設定について

売掛管理システムを使用する前に、処理に必要な情報を定義する必要があります。たとえば、業種別処理や有効日付カテゴリ コードの使用、転記のバッチ処理実行時の管理者承認の要/不要、少額消込、損金、再請求の理由コードの定義、支払条件の設定などを選択します。売掛管理システムの設定によって、業務要件を満たすようにシステムをカスタマイズしたり、デフォルト値を指定して処理にかかる時間を節約することができます。

次の表には、売掛管理システムに設定する必要がある情報がまとめられています。

機能	内容
固定情報	<p>以下のようなシステム設定の基本的な項目を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• トランザクションのバッチ内の金額および伝票数と、ユーザーが別に入力した値の合計の一致検証を実行するかどうか</li> <li>• トランザクションのバッチ処理について、転記前に管理者の承認を必須にするかどうか</li> <li>• 自動相殺の実行（バッチ単位または個別）</li> <li>• 年齢調べレポートとオンライン照会での年齢調べ方法、経過日数および間隔</li> <li>• 顧客の延滞通知と計算書を自動処理するかどうか</li> </ul>
拡張売掛管理固定情報	<p>業種別処理または有効日付カテゴリコードを使用するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 業種別処理:1つの顧客と複数の業務にわたって取引がある場合、製品、部門、地域などでその顧客を区別することができます。</li> <li>• 有効日付カテゴリコード:カテゴリコードを使用する場合、このオプションを選択するとカテゴリコードに有効日付を割り当てることができます。</li> </ul>
支払条件	支払期日や割引額、割引期日など、顧客への請求書のさまざまな支払条件を設定します。
AAI	売掛金勘定や一時仮勘定、デフォルト銀行勘定など、システムが自動的に更新する勘定科目を定義します。
UDC	伝票タイプや理由コードなどを業務要件に合わせてカスタマイズします。
自動採番	伝票番号の自動採番を設定します。
顧客銀行情報	自動入金処理、手形処理、EDI、自動引落しに必要なさまざまなタイプの銀行口座情報を定義します。

## 売掛管理固定情報の設定

このセクションでは、売掛管理の固定情報、拡張固定情報、システム固定情報、会社固定情報の概要、必要条件の一覧、および以下の方法について説明します。

- 売掛管理の拡張固定情報の設定
- 売掛管理のシステム制御の設定
- 売掛管理の会社固定情報の設定



## 売掛管理固定情報について

会社の業務要件に応じて売掛管理システムの基本的な動作方法を固定情報として設定することができます。売掛管理固定情報の設定に際しては、年齢調べ情報などの業種別の情報と、システム全体の制御方法の設定を行います。たとえば、請求書や入金 of 転記に対する管理者承認の要/不要や、売掛金のバッチを転記した際の自動仕訳の作成方法を指定できます。

売掛管理固定情報の設定時には、売掛金を業種別に処理するかどうか、有効日付カテゴリコードを使用するかどうかを指定する必要があります。

売掛管理固定情報の設定は、ログアウトしてシステムを再起動すると有効になります。

売掛管理固定情報は F0009 テーブルと F0010 テーブルに保存されます。

---

**重要:** システムの設定完了後は、システム固定情報を変更しないでください。やむを得ず変更する場合は、固定情報はシステム処理の中核であるため、この情報に関する十分な知識をもった担当者が作業を行うようにしてください。また、権限を付与されたユーザーのみが固定情報にアクセスし、管理するようにしてください。

---

## 拡張固定情報について

拡張売掛管理固定情報を使用して、業種別処理と有効日付カテゴリコードの使用を指定します。

### 業種別処理

複数の業種を扱う顧客と取引がある場合は、それらの顧客との取引を業種別に処理するようにシステムを設定することができます。製品、部門、地域などによって業種を区別することができます。住所録レコードは 1 顧客あたり 1 件しか設定しませんが、[会社] フィールドを使用して、顧客の扱う業種あたり 1 つの顧客レコードを作成できます。これにより、与信限度額や回収方針などの売掛管理情報の処理や、支払条件や税情報のデフォルト設定を各顧客に対して会社（業種）別に行うことができます。

たとえば、小売店に生鮮食料品、冷凍食品、紙製品などを卸売販売する会社 “Wholesale Super Foods” があるとします。紙製品を注文した顧客と生鮮食料品や冷凍食品を注文した顧客では、支払条件や税情報が異なります。業種別処理では、各業種（この場合は製品群）を個別の会社として設定します。これによって、各会社のレコードを顧客別に管理することができます。

顧客レコードの入力時に、各業種に対応する住所録レコードを複数作成する必要はありません。その代わりに、業種に関連付けた顧客レコードに会社を割り当てます。Wholesale Super Foods 社の例では、会社 00001 を紙製品、会社 00002 を生鮮食料品に指定します。顧客から紙ナプキンとペーパー タオルの注文があった場合、会社 00001 に対して請求書を入力すると、支払条件 1/10、30 日以内払い（支払期日は 30 日後、10 日以内に支払われた場合は 1% の割引）がデフォルトとして使用されます。同じ顧客が生鮮食料品を注文した場合に、会社 00002 に対して請求書を入力すると、デフォルトの支払条件 “受取時払い” が指定されます。業種別処理を設定することにより、請求書に入力した会社に基づいて、デフォルトの支払条件、通貨、会計処理情報が自動的に指定されます。

業種別処理を設定しない場合、システム内では会社 00000 のレコードが 1 つだけ F03012 テーブルで管理されます。

### 有効日付カテゴリコード

価格管理システムを使用している場合は、[拡張売掛管理固定情報] フォームで [有効日付カテゴリコード] チェック ボックスをオンにすることができます。価格管理システムでは、顧客カテゴリコードを使用して、顧客グループの指定や、顧客ベースで使用する価格設定を行います。この有効日付カテゴリコードのオプションを選択すると、1 つの顧客に対して有効日別に複数組のカテゴリコードを設定することができます。これによって、価格管理システムで、各顧客グループに指定された有効日に基づいて価格設定を調整できるようになります。

[有効日付カテゴリ・コード] チェック ボックスをオンにすると、顧客マスター アプリケーションの [ロー] メニューと [フォーム] メニューにカテゴリ コードを有効日付別に設定できるオプションが表示されます。このチェック ボックスをオフにすると、これらのメニューは表示されません。

有効日付カテゴリ コードを使用する場合は、顧客レコードにカテゴリ コードの値を入力できません。代わりに、有効日付カテゴリ コード レコードにそれらを入力して、顧客レコードを更新するプログラムを実行します。

参照: 第 3 章、「顧客マスター情報の設定」、「顧客マスター カテゴリコードの割り当て」、52 ページ

## システム固定情報について

以下の固定情報は、売掛管理システムで全ての会社の処理に影響します。そのため、これらの固定情報は、“会社 00000” のみに設定します。

- [バッチ制御必須]

バッチに入力する伝票の件数とそれらの金額を指定するには、このチェック ボックスをオンにします。この固定情報を有効にすると、バッチに関する情報を入力するためのバッチ入力フォームが表示されます。このフォームによって、実際に入力した情報と事前に指定した情報を比較できるため、入力ミスを最小限に抑えることができます。

- [管理者承認]

このチェック ボックスをオンにすると、入力した全ての請求書と入金バッチには“保留”の状況が割り当てられ、転記前のバッチ承認が必須になります。

- [一般会計インターフェイス]

一般会計システムを使用している場合はこのチェック ボックスをオンにします。一般会計システムを使用していて、このチェック ボックスをオンにしなかった場合は、借方または貸方のみの片側仕訳が作成されるため、整合性レポートを作成できなくなります。

- [集計方式]

総勘定元帳に取引を転記する際に、各バッチに 1 件の相殺入力を作成するには“B”を、各取引に 1 件の相殺入力を作成するには“Y”を、各支払項目に 1 件の相殺入力を作成するには“S”を選択します。

## 会社固定情報について

売掛管理固定情報の設定では、入金管理オプションとデフォルトの年齢調べ情報を業種別に指定できます。この固定情報によって、計算書と延滞通知を印刷するかどうか、自動入金処理を実行するかどうか、回収処理のために個別の年齢調べカテゴリと日付を使用するかどうかを指定できます。

売掛管理固定情報を選択すると、一般会計システムで設定されている会社が表示されます。この時点では、各会社には会社 00000 のデフォルト値が設定されています。したがって、会社 00000 とは異なる設定が必要な会社については、その会社の固定情報を変更するだけで済みます。

入金管理オプションのデフォルト設定は会社レベルで行いますが、顧客情報を設定する際にこれらの設定を顧客レベルで変更することができます。売掛管理システムの多くのレポートやバッチ処理では、固定情報のデフォルト値にかかわらず、処理オプションで年齢調べ情報を指定できます。

## 事前設定

権限を付与されたユーザーのみが売掛管理固定情報にアクセスできるようにしてください。

## 売掛管理の固定情報の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[売掛管理固定情報]	W0000D	<p>[売掛管理システム・セットアップ](G03B41)、[売掛管理固定情報]</p> <p>[システム・セットアップ] フォームの [売掛管理固定情報] をクリックします。</p> <p>[売掛管理固定情報の処理] フォームで会社を選択し、[選択] をクリックします。</p>	<p>システム制御と会社制御を設定します。システム制御を設定する際には、[売掛管理固定情報の処理] フォームで会社 “00000” を選択してください。</p>
[拡張売掛管理固定情報]	W0000C	<p>[売掛管理固定情報] フォームで、[フォーム] メニューから [拡張売掛管理] を選択します。</p>	<p>業種別処理や有効日付カテゴリコードを使用するかどうかを指定します。</p> <p>このフォームにアクセスするには、[売掛管理固定情報の処理] フォームで会社 “00000” を選択してください。</p>

## 拡張売掛管理固定情報の設定

[拡張売掛管理固定情報] フォームにアクセスするには、[売掛管理固定情報の処理] フォームで会社 00000 を選択します。

[拡張売掛管理固定情報] フォーム

### [売掛管理]

業種別処理を使用しない場合はこのオプション ボタンをオンにします。

警告: 設定が完了し、売掛管理システムの使用が開始された後には、このオプションを変更しないでください。

**[OneWorld 売掛管理システム - 会社別処理]**

業種別処理の機能を使用する場合は、このオプション ボタンをオンにします。業種別処理の機能を使用すると、会社番号別に顧客レコードを設定し、請求、与信、回収情報の処理を柔軟に行うことができます。

警告: 設定が完了し、売掛管理システムの使用が開始された後には、このオプションを変更しないでください。

**[有効日付カテゴリ・コード]**

有効日付カテゴリ コードを使用する場合はこのチェック ボックスをオンにします。

## 売掛管理システム制御の設定

[売掛管理固定情報の処理] フォームで会社 00000 を選択し、[売掛管理固定情報] フォームにアクセスします。

[売掛管理固定情報] フォーム

**[バッチ制御必須]**

このチェック ボックスをオンにすると、各バッチの取引合計を確認する追加のフォームが表示されます。このチェック ボックスをオンにすると、請求書、入金、手形の入力時に追加のフォームが表示されます。バッチに含める予定の伝票総数/総額を入力します。各バッチの入力を完了してアプリケーションを閉じると、入力される予定だった値の合計と実際に入力した値の合計に差異がある場合、その差異が表示されます。

**[管理者承認]**

売掛管理のバッチについて転記前に管理者の承認を必須に設定するには、このチェック ボックスをオンにします。バッチには“保留”の状況が割り当てられ、管理者の承認がなければバッチを転記できなくなります。このチェック ボックスをオフにすると、バッチには“承認”の状況が割り当てられ、管理者承認は必須ではなくなります。

**[一般会計インターフェイス]**

売掛金取引の入力時に総勘定元帳を更新する場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオフにすると、F0911 テーブルは更新されません。

**[集計方式]**

コードを入力して、請求書、領収書、手形などを総勘定元帳に転記する際に、取引明細テーブル (F0911) に相殺入力 (伝票タイプ AE) がどのように作成されるかを指定します。システムの処理により、実績金額 (AA) 元帳と外貨 (CA) 元帳のみに対する相殺入力を作成されます。相殺入力の値は以下のいずれかを選択します。

B: バッチ内の全ての取引が国内通貨の場合は、各バッチに対して、科目別に相殺入力が 1 つ作成されます。転記プログラムでは、1 つ以上の外貨または代替通貨を含む取引のバッチを転記することができないため、この方法では多通貨処理を実行できません。

Y: 各伝票に対して、科目別に相殺入力が 1 つ作成されます。

S: 各支払項目に対して、科目別に相殺入力が 1 つ作成されます。

---

**注:** [一般会計固定情報] フォームの [会社間決済] フィールドの値が 3 の場合、集計方法は S または Y にする必要があります。それ以外の値を指定すると、バッチの転記時にエラーが返されます。

---

## 売掛管理会社制御の設定

[売掛管理固定情報] フォームにアクセスします。

**[延滞通知]**

顧客に割り当てたポリシーに設定した通知指示に基づいて、会社向けの延滞通知書を印刷するには、このチェック ボックスをオンにします。

---

**注:** このオプションは、顧客マスター情報プログラム (P03013) と売掛管理固定情報プログラム (P0000) の両方にあります。売掛管理固定情報プログラムでは、このオプションによって、特定の会社に対して入力した請求書に関する通知を印刷するかどうかを指定します。顧客マスター情報プログラムでは、このオプションによって、顧客用に通知を印刷するかどうかを指定します。

---

**[自動入金]**

自動入金処理プログラムを使用して売掛管理システム内の入金を処理する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

自動入金処理を実行するには、売掛管理固定情報で、顧客と会社の両方でこのオプションを有効 (チェック ボックスをオンに) にしておく必要があります。

**[計算書の印刷]**

会社の計算書を印刷する場合はこのチェック ボックスをオンにします。

---

**注:** このオプションは、顧客マスター情報プログラム (P03013) と売掛管理固定情報プログラム (P0000) の両方にあります。売掛管理固定情報プログラムでは、このオプションによって、特定の会社に対して入力した請求書に関する計算書を印刷するかどうかを指定します。顧客マスター情報プログラムでは、このオプションによって、特定の顧客に対して入力した請求書に関する計算書を印刷するかどうかを指定します。

---

**[基準日]**

請求書が割り当てられる年齢調べカテゴリの決定に使用される日付を入力します。システム内では年齢調べ日付と、[年齢調べ基準日] フィールド (AGE) で定義した請求書日付、計算書日付、支払期日、または元帳日付との比較が行われ、次に [計算方法] フィールド (AGEM) の値が使用され、更新する年齢調べカテゴリが決定されます。計算方法 1 (経過日数) を使用する場合、売掛管理固定情報の [経過日数] フィールド (CRDY、AGR1、

AGR2、AGR3、AGR4、AGR5、AGR6、AGR7) で年齢調べカテゴリが定義されます。

このフィールドがブランクの場合には、現在の日付が使用されます。

**注:** この日付は受注管理システムでも与信チェックに使用されます。与信チェックを常に最新の日付で行うには、このフィールドをブランクにしてください。

#### [計算方法]

請求書の割り当てに使用される年齢調べカテゴリを指定するためのコードを入力します。[基準日] フィールド (DAG) の日付と [年齢調べ基準日] フィールド (AGE) の値を使用して各請求書の経過日数が計算され、このコードで指定されている年齢調べカテゴリにそれらの請求書が割り当てられます。有効値は以下のとおりです。

- 1: 経過日数。経過日数の各フィールドで指定した年齢調べカテゴリに請求書が割り当てられます。年齢調べカテゴリはユーザー定義が可能です。
- 2: 会計期間。会社の会計期間パターンで定義されている会計期間が年齢調べカテゴリとして使用されます。
- 3: カレンダー。各カレンダー月が年齢調べカテゴリとして使用されます。

#### [年齢調べ基準日]

年齢調べの計算に使用される請求書レコードの日付を指定するコードを入力します。請求書レコードの日付と [基準日] フィールド (DAG) の比較によって経過日数が計算され、[計算方法] フィールド (AGEM) で指定した方法に基づいて年齢調べカテゴリが更新されます。有効値は以下のとおりです。

- I: 請求書日付
- D: 支払期日
- G: 元帳日付
- S: 計算書日付

#### [開始] および [~]

年齢調べカテゴリの日数を定義する数値を入力します。システム内では、[開始] フィールドに入力した値と AGR1 の値が使用されます。最新かつ最初の年齢調べカテゴリの定義には、[~] フィールドと CRDY および AGR2 の値が使用されます。

## 売掛管理のユーザー定義コード (UDC) の設定

EnterpriseOne システム全体において、UDC のみを受け付けるフィールドは多数あります。たとえば、請求書の入力では、UDC によって請求書の伝票タイプが指定されます。システムでは UDC テーブルに定義されていない UDC は受け付けられません。一部の UDC はハードコード化されていて、それらを変更することは推奨されません。また、一部の UDC には、特定の機能を実行するための特殊取扱コードが含まれています。以下の売掛管理システムの UDC の説明には、新規コードの追加、既存コードの変更、プログラム内でのコードの使用に関する詳細情報が含まれています。

### 住所録与信メッセージ (00/CM)

顧客の与信状況を通知するコードを割り当てることができます (00/CM)。これらの与信メッセージは、システム全体で使用されます。以下に例を示します。

- 1: 与信限度額超過

- 2: 購買オーダー必要
- 3: メンテナンス契約上にある
- 7: 与信保留
- B:不良債権の恐れあり
- C:現金取引のみ

### 割引理由コード (00/DE)

入金または手形の入力時に、トラッキングを目的として、または、複数の割引勘定を設定するために、割引理由コードを割り当てることができます。AAI 項目 RKDxxx (xxx は理由コード) を設定すると、システム内の処理では、この AAI と関連付けられている勘定科目が使用されます。

税率/税域別に割引をトラッキングする場合には、税率/税域コードと同じ割引理由コードを使用してください。割引理由コードの例を以下に示します。

- ADJ:調整済み割引
- ONT:オンタリオ州の税率/税域
- QUE:ケベック州の税率/税域
- UE:割引期日を過ぎて無効になった割引

注: 割引理由コードを使用しない場合、この UDC の値として空白が設定されていることを確認してください。空白が有効な UDC の値として設定されていない場合、入金または手形の入金時に割引を設定しようとするエラーが返されます。

### 伝票タイプ コード (00/DT)

取引の入力時には、指定した UDC に基づいて請求書やクレジット メモなどの伝票タイプが割り当てられます。伝票タイプには、伝票番号および会社と併せて、売掛管理システムと一般会計システム内の各取引を関連付ける機能があります。UDC テーブル 00/DT で設定できる伝票タイプは、以下の 2 種類です。

- 請求書伝票タイプ コード
- 入金伝票タイプ コード

### 請求書伝票タイプ コード (00/DI)

請求書伝票タイプによって請求書のタイプが識別されます。UDC テーブル 00/DI に、請求書の入力時に使用する各伝票タイプに対応するコードを設定する必要があります。伝票タイプがハードコード化されている場合は、その伝票タイプの請求書に別の伝票タイプを割り当てることはできません。

UDC 00/DI に設定する全ての伝票タイプは、UDC 00/DT にも設定する必要があります。請求書伝票タイプとクレジット メモ伝票タイプのデフォルトは、請求書入力 MBF 処理オプション プログラム (P03B0011) で設定します。

次の表には、請求書伝票タイプの一覧と各タイプの説明が示されています。

伝票タイプ	説明
請求書 (RI)	請求書を入力するとこの伝票タイプが割り当てられます。
定期請求書 (RR)	請求書を入力して支払回数と定期頻度を指定すると、このハードコード化された伝票タイプが割り当てられます。

伝票タイプ	説明
クレジットメモ (RM)	クレジットメモを作成するとこの伝票タイプが割り当てられます。
再請求 (RB)	一部しか支払われていない請求書に対して入金プログラムで再請求と指定すると、このハードコード化された伝票タイプで請求書が作成されます。
延滞利息金 (RF)	延滞利息金を作成すると、このハードコード化された伝票タイプで請求書が作成されます。延滞利息金は延滞手数料と呼ばれる場合もあります。
仮受金 (未充当入金) (RU)	請求書と突合せをしない入金を入力すると、このハードコード化された伝票タイプで請求書が作成されます。
受取手形 (R1)	手形を入力すると、このハードコード化された伝票タイプで請求書が作成されます。

### 入金伝票タイプ (00/DT)

入金伝票タイプは突合せ伝票タイプと呼ばれる場合もあります。入金伝票タイプは、単独で使うことはできません。仮入金以外は、対応する当初伝票と突き合わせる（消し込む）必要があります。たとえば、領収書は照合伝票であり、必ず当初伝票として対応する請求書があります。全ての突合せ伝票タイプはハードコード化されています。

請求書伝票タイプとは異なり、入金伝票タイプ コードは UDC テーブル 00/DT のみで設定します。

入金を入力時および転記時に突合せ伝票として使用できる伝票タイプは以下のとおりです。

伝票タイプ	説明
入金 (RC)	入金を入力すると、この伝票タイプが割り当てられます。
逆仕訳または無効仕訳 (RO)	転記済みの入金を無効にすると、この伝票タイプが割り当てられます。
配賦調整 (RS)	入金の金額が 0 で、クレジットメモを請求書と突き合わせた場合にこの伝票タイプが割り当てられます。
残高不足 (RV)	入金を NSF (残高不足) に指定すると、この伝票タイプが割り当てられます。

### IPI – 住所行の表示順序 (00/IA)

IPI – 住所行の表示順序 UDC (00/IA) は、IPI (国際支払指示) でオーダー元の顧客の第 2 住所行に含める郵便番号、市、国の値の組み合わせを指定します。

これらの値は、ハードコード化されており、IPI の要件に準拠しています。IPI の要件は、欧州銀行業務標準化委員会 (European Committee for Banking Standards: ECBS) によって発行されています。



### IPI - 支払人 (00/IC)

IPI - 支払人用 UDC (00/IC) には、IPI に関連する銀行手数料の支払元を指定する値が含まれます。これらの値は、ハードコード化されており、IPI の要件に準拠しています。IPI の要件は、欧州銀行業務標準化委員会によって発行されています。

### IPI - フォームの種類 (00/IF)

“IPI - フォームの種類” UDC (00/IF) には、使用可能なフォーマット済み IPI フォームの種類を示すハードコード化された値が含まれています。この UDC の値は、IPI の要件に準拠しています。IPI の要件は、欧州銀行業務標準化委員会によって発行されています。

### IPI - 言語と国 (00/IL)

IPI の UDC の値は、ほとんどがハードコード化されています。ただし、IPI - 言語と国 UDC (00/IL) テーブルの値は、設定する必要があります。

IPI は英語で印刷する必要がありますが、第 2 言語も含めることができます。第 2 言語を指定するには、“IPI - 言語と国” UDC (00/IL) テーブルに値を設定します。IPI フォームは、第 2 言語で印刷することが義務付けられている国もありますが、任意の国もあります。IPI の要件は、欧州銀行業務標準化委員会によって発行されています。

“IPI - 言語と国” UDC を設定する際には、[特殊取扱コード] フィールドに言語 UDC (01/LP) テーブルの値を入力してください。この [特殊取扱コード] フィールドの値によって、IPI フォームに印刷する第 2 言語が決定されます。IPI フォームに第 2 言語を印刷する必要がない場合は、[特殊取扱コード] フィールドに「E」（英語）を入力してください。通常は、顧客の銀行の所在地国の言語を使用します。

1 つの国に設定できる言語は、1 つのみです。たとえば、銀行がベルギーにある銀行の場合、第 2 言語を指定する必要がありますが、フランス語、ドイツ語、オランダ語の選択肢があります。UDC 00/IL では、ベルギーで使用するそれらの言語のうちの 1 つしか設定できず、各言語の値を設定することはできません。

次の表には、各国に設定できる言語の例が示されています。

コード	記述 01	記述 02	特殊取扱コード
AT	オーストリア	O-ドイツ語	G
BE	ベルギー	R-フランス語、オランダ語、ドイツ語のいずれか	F
CH	スイス	O-ドイツ語、フランス語、イタリア語のいずれか	F
DE	ドイツ	R-ドイツ語	G
DK	デンマーク	指定なし-デンマーク語	DN
ES	スペイン	R-スペイン語	S
FI	フィンランド	R-フィンランド語とスウェーデン語	FN
FR	フランス	R-フランス語	F
GB	イギリス	なし	E

## IPI – 支払明細 (00/IP)

“IPI – 支払明細” UDC (00/IP) テーブルの値によって、IPI の支払明細セクションに表示されるデータが決定されます。これらの値は、ハードコード化されており、IPI の要件に準拠しています。IPI の要件は、欧州銀行業務標準化委員会によって発行されています。

## 支払状況コード (00/PS)

支払状況コード (00/PS) は、承認済み、保留、入金済みなどの、請求書の状況を示します。システムによって割り当てられた状況を変更する必要がある場合は、手動で支払状況コードを割り当てます。以下の支払状況コードはハードコード化されています。

- A: 支払承認済み
- D: 手形受取済み
- E: 手形 – 期限切れ未回収
- G: 預入済み決済前手形
- H: 支払承認保留中
- P: 全額支払済み
- R: 留保金

## 支払手段コード (00/PY)

支払手段コード (00/PY) を使用して、さまざまな支払方法を指定することができます。請求書に支払手段コードを割り当てることによって、請求書を処理方法で区別することができます。売掛管理システムで使用する支払手段コードの例を以下に示します。

- A: 自動引落し
- D: 受取/支払手形（請求書別）
- F: 計算書別手形
- T: 電子資金決済

## 与信管理者コード (01/CR) と回収管理者コード (01/CM)

与信限度額などの与信情報を更新/承認する責任者を指定するコードと、延滞利息金や延滞通知などの回収情報を承認する責任者を指定するコードを割り当てることができます。このコードで指定されている責任者にワークフロー メッセージが送信されるようにするには、その管理者の住所番号を UDC の [記述 02] フィールドで指定する必要があります。

---

**注:** 与信管理者の UDC (01/CR) にも、ブランクを有効な値として設定してください。ブランクのコードを設定するには、[記述 01] フィールドにピリオドなどの何らかの文字を入力する必要があります。

---

## Dun & Bradstreet 格付コード (01/DB)

顧客の Dun & Bradstreet 格付を示すコード (01/DB) を割り当てることができます。以下に例を示します。

- BA1: 優良
- BA2: 良
- BA3: 可
- BA4: 条件付

### 使用言語コード (01/LP)

請求書や計算書などに使用する言語を識別するコード (01/LP) を割り当てることができます。以下に例を示します。

- ブランク (デフォルト): 英語
- F: フランス語
- G: ドイツ語

### Experian 信用格付コード (01/TR)

顧客の Experian 信用格付を示すコード (01/TR) を割り当てることができます。以下に例を示します。

- AAA: 優良
- BBB: 良好

### 年齢調べ表現形式コード (03B/AG および H00/AG)

この UDC (03B/AG と H00/AG) を使用して、売掛金の年齢調べレポートで使用する用語を指定することができます。

UDC 03B/AG の例を以下に示します。

- 1: 超過
- 2: 前
- 3: 将来
- 4: 現行

UDC H00/AG の例を以下に示します。

- D: 支払期日
- G: 元帳日付
- I: 請求書日付
- S: 計算書日付

### 再請求理由コード (03B/CB)

請求書に対して再請求を入力する場合、その理由を示す再請求理由コード (03B/CB) を割り当てする必要があります。以下に例を示します。

- DA: 問題のある金額
- DD: 割引不可額
- SP: 支払不足
- SU: 分割未充当入金

### 回収理由コード (03B/CL)

回収理由コード (03B/CL) を割り当て、請求書の支払延滞理由を説明することができます。以下に例を示します。

- BK: 顧客倒産
- DP: 顧客からのクレーム

- NP: 延滞/支払なし

### 損金理由コード (03B/CR)

損金を作成する際には、理由を示す損金理由コード (03B/CR) を割り当てる必要があります。以下に例を示します。

- DA: 金額に対するクレーム
- DG: 破損品
- GR: 返品
- PD: 価格設定の問題
- SS: 出荷不足
- UD: その他クレーム

### 延滞支払コード (03B/PL)

延滞支払コード (03B/PL) は、支払期日までに顧客から入金があったかどうかを示します。与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行すると、入金明細テーブル (F03B14) の支払延滞フィールド (PDLT) にこのコードが割り当てられます。有効値は以下のとおりです。

- 0: 期日前入金
- 1: 入金遅延

### アクティビティ優先度コード (03B/PR)

アクティビティ優先度コード (03B/PR) で、与信/回収管理のために必要な活動項目が表示される順序を指定します。最も優先度が高い活動項目には優先度 1 を割り当てます。以下のアクティビティ優先度コードは、ハードコード化されています。

- 1: 優先度 1
- 2: 優先度 2
- 3: 優先度 3
- 4: 優先度 4
- 5: 優先度 5

### 小額消込の理由コード (03B/RC)

請求書の一部を消し込んで費用として処理 (損失計上) する際には、請求金額の調整を示すための理由コード (03B/RC) を割り当てる必要があります。割り当てる理由コードは、借方に計上する勘定科目を検索する際にシステムが使用する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) に対応します。以下に例を示します。

- BD: 不良債権
- CN: 譲歩
- DA: 問題のある金額
- MW: 小額消込
- RV: 改訂 (入力ミス)
- TF: 問題のある税額/運送費
- VD: 無効 - 重複入力

- WO: その他の少額消込

F03B16 テーブルと F03B16S テーブルの少額消込フィールド (MWO) の少額消込を累計する場合は、各理由コードの [特殊取扱コード] フィールドに 1 を入力します。[特殊取扱コード] フィールドを空白のままにすると、関連する不良債権金額 (BDBT) フィールドの金額が累計されます。

与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行すると、これらの消込金額が更新されます。

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理 AAI (自動仕訳) の設定」、25 ページ

### 標準入金および手形入力タイプ コード (03B/RE)

入力タイプ コード (03B/RE) は、入金および手形の請求書への突合せ方法を示します。以下のコードは、標準入金プログラムおよび手形入力プログラム用にハードコード化されています。

- 10: 単一請求書照合
- 11: 照合 (割引分再請求)
- 15: 照合 (少額消込)
- 16: 照合 (再請求)
- 17: 照合 (損金)
- 25: 単独少額消込
- 26: 単独再請求
- 27: 単独損金
- 30: 部分 NSF (残高不足) - 手形
- 36: 部分 NSF 再請求 - 手形

### スピード入金タイプ入力コード (03B/SA)

スピード入金入力タイプ コードは (03B/SA) は、スピード入金入力による入金に使用する入力方法を指定します。以下のスピード入金入力タイプ コードは、ハードコード化されています。

- 1: 未充当/仮受金
- 2: 繰越残高入金
- 3: 仮入金
- 4: 総勘定元帳

### (CHE) Upload Text Program (03B/UP)

You set up the Upload Text Program UDC to specify the program that you use to upload text files from the Text File Processor program (P007101) to the F03B13Z1 table. To upload text files for ESR payment slip processing, specify R03B803 (Upload ESR Payments).

### 無効/残高不足理由コード (03B/VR)

無効理由コード (03B/VR) は、入金を無効にしたり NSF (残高不足) として処理する理由を示します。以下に例を示します。

- DSP: 問題
- ECK: エラー チェック
- NSF: 残高不足入金

- PNS: 部分 NSF (残高不足)
- RF: 払戻し
- VOD: 無効入金

### 置換文字 (04/RC)

転送するテキストファイルに銀行が認識しない文字や特殊文字が含まれている場合は、UDC 04/RC で置換文字を設定できます。

ほとんどの UDC と異なり、この UDC に指定するコードはシステム内の処理では使用されません。システム内の処理には [記述 01] フィールドの先頭文字が使用され、[記述 02] フィールドの先頭文字に置き換えられます。たとえば、文字 Z を数値 0 に置き換えることができます。[記述 02] フィールドに値を入力しなかったり、誤ってフィールドの 2 番目のスペースに値を入力したりした場合は、[記述 01] フィールドで指定した文字がブランクに置換されます。

このテーブルは、P0457D プログラムで該当する処理オプションがオンになっている場合にのみ使用されます。

システム内の処理では、UDC 04/RC で [記述 01] フィールドに指定した文字のテキストファイルが検索されます。次に、それらの文字は、[記述 02] フィールドに指定した代替文字に置換されます。これによって、テキストファイルに含まれている使用不可能な文字が使用可能な文字に置き換えられます。たとえば、銀行のシステムではウムラウト文字が認識されない場合には、ä を "ae"、"ö" を "oe" などの 2 文字に置換できます。

**注:** ドイツ向けのプログラム "German Bank File Format and Statement Diskette" と "銀行テープの作成 - ドイツ" を使用している場合にのみ、1 文字を 2 文字に置換することができます。他のプログラムで置換文字 UDC を使用する場合、[記述 01] フィールド内の文字は、[記述 02] フィールドの先頭文字のみに置換されます。

1 文字を 1 文字の代替文字で置換するか、複数の代替文字で置換するかを選択できます。複数の代替文字を使用しても、文字列長は変わりません。たとえば、元の文字列が 3 文字であれば、置換された後の文字列も 3 文字です。全ての代替文字を挿入すると変更後の文字列長が規定の範囲を超える場合は、自動的に文字列内の特定の文字が省略されます。

1 つの文字から複数の文字への置換がどのように行われるかを以下の例で説明します。

置換	元の文字列	変更された文字列	結果
A を FG で置換	ABC	FGB	フィールド長を 3 に保つために、C が文字列から削除されます。
A を FG で置換	ABCxxx (x はブランク)	FGBCxx (x はブランク)	フィールド長を 6 に保つために、末尾のブランクが文字列から削除されます。
B を FGHI で置換	ABC	AFG	フィールド長を 3 に保つために、最初の 2 文字だけが置き換えられます。

### 特殊文字 (04/SC)

転送するテキスト ファイルに銀行が認識しない文字や特殊文字が含まれている場合は、それらを UDC 04/SC に追加し、銀行ファイルのディスクへのコピー プログラム (P0457D) の処理オプションで指定されている値と置き換えることができます。

ほとんどの UDC と異なり、この UDC に指定したコードはシステム内の処理では使用されません。システムでは、[記述 01] フィールドに定義した文字が使用されます。[記述 01] フィールドには最大で 30 文字指定できます。さらに文字を入力する必要がある場合は、別のコードを追加して、そのコードの [記述 01] フィールドに追加の文字を指定できます。全てのコードの [記述 01] フィールドの全ての値が、処理オプションで指定されている値で置換されます。

たとえば、[記述 01] フィールドに「!@#%\$」と入力し、対応する処理オプションの値に「/」を入力すると、システムの内部処理によってテキスト ファイル内の !、@、#、\$、% の全てのインスタンスが「/」で自動的に置き換えられます。

---

注: 文字を空白に置き換えるには、処理オプションの置換文字を空白にします。置換文字を使用しない場合は、UDC 04/SC にコードを一切設定しないでください。

---

### (JPN) 入金タイプ (日本) (75/RE)

UDC を設定して、印刷する合計請求書 (鑑) に含める各入金タイプを指定します。たとえば、以下のようなタイプの入金に対してコードを設定できます。

- RA - A - 調整
- RC - C - 現金受取
- RK - A - 現金
- RO - A - 逆仕訳または無効
- RV - A - 資金不十分
- RA - A - 再請求
- R1 - D - 手形

#### 関連項目:

EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

第 7 章、「請求書の処理」、131 ページ

第 6 章、「与信/回収管理の設定」、「与信/回収管理者の設定」、123 ページ

---

## 売掛管理の自動採番

プログラムでは、自動採番テーブル (F0002) から番号が取得される際に、自動採番テーブル内の適切なシステムに対応する行が参照されます。自動採番テーブルのデータが壊れた場合や、誤ってレコードを削除した場合には、その行で関連するプログラムの自動採番の番号を設定する必要があります。次の表には、売掛管理システム (03B) 用の自動採番レコードの作成に必要な情報が記載されています。

行番号	内容	機能
1.0	請求書番号	手動入力した請求書または受注管理システムで作成された請求書の伝票番号を採番します。
2.0	未充当入金	未充当入金を入力すると作成される RU 請求書レコード (F03B11) の伝票番号を採番します。
3.0	再請求番号	無効割引分やその他の支払不足分を顧客に再請求すると作成される RB 請求書レコード (F03B11) の伝票番号を採番します。
4.0	計算書番号	トラッキング目的で計算書に表示される番号を採番します。
5.0	入金番号	F03B13 テーブルと F03B14 テーブルの RC 入金レコードの伝票番号を採番します。  注: 処理オプションで入金番号の自動割り当てを設定する必要があります。
6.0	手形番号	手形を入力すると作成される R1 請求書レコード (F03B11) の伝票番号を採番します。
7.0	クレジットメモ	手動入力または受注管理システムで作成された、金額がマイナスの請求書の伝票番号を採番します。
8.0	活動 ID	顧客勘定取引活動ログ テーブル (F03B31) の活動明細レコードをトラッキングするための内部番号を採番します。
9.0	不使用	なし
10.0	支払 ID	F03B13 テーブルと F03B14 テーブルの入金レコードをトラッキングするための内部番号を採番します。

## (BRA) Next Numbers for Remessa

Remessa is the remittance process for accounts receivable in which you send customer account information to a bank through an electronic media or the internet for collection purposes. After the bank receives the customer account information, the bank sends the customer a collection document called a boleto. The boleto indicates the amount that is owed to you. The customer uses the boleto to determine the amount that must be remitted to you.

You must set up next numbers in system 76 for remessa so that each transaction that you send to the bank is uniquely identified.



## (CHN) Next Numbers for JinSui Processing

JinSui is a third-party software. To perform JinSui processing, you must set up next numbers for system 75 (ASEAN Localization), row 1 before you run the Print Invoice from A/R program (R03B505).

---

## 売掛管理 AAI（自動仕訳）の設定

このセクションでは、売掛管理 AAI および AAI の検索順序の概要と、使用可能な売掛管理 AAI について説明します。

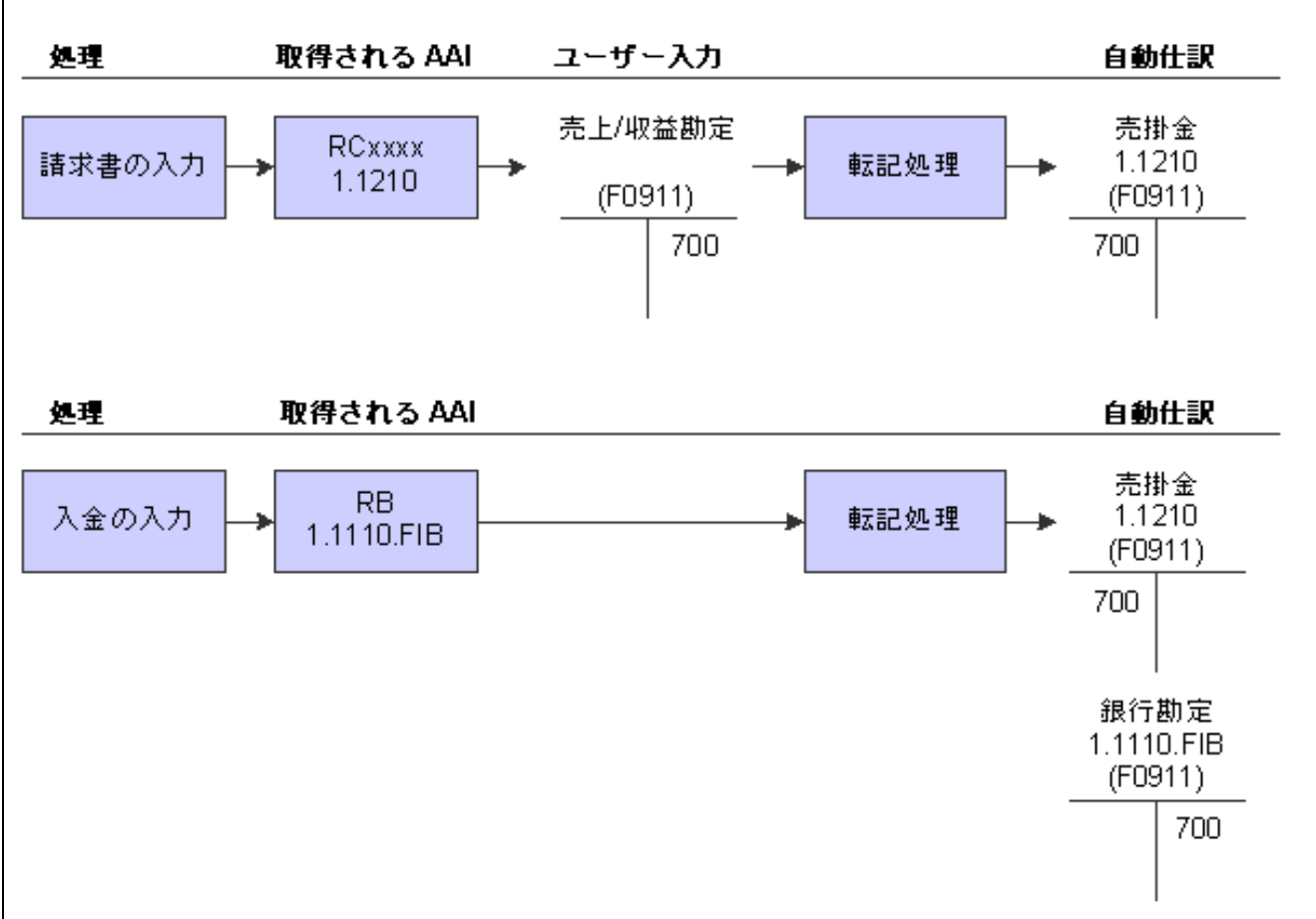
### 売掛管理 AAI について

仕訳入力が必要な取引を作成すると、システム内では適切な勘定科目コードが特定されます。このとき、AAI テーブルで各取引に対応するコードが検索されます。たとえば、請求書の転記時に借方に計上する売掛金勘定や、入金 of 転記時の借方に計上する銀行勘定が AAI によって決まります。

RC などの AAI 項目の名称はハードコード化されています。売掛管理システムで使用される AAI は全て R で始まります。たとえば、RC は売掛金勘定用、RB は入金を記録する銀行勘定用の AAI です。各 AAI には、勘定科目表にあるビジネスユニット、主科目、補助科目（任意）から構成される勘定科目コードを設定します。

AAI 項目 RA、RC、RKD、RFC、RFD でビジネスユニットを定義しない場合には、請求書のセキュリティビジネスユニットが使用されます。セキュリティビジネスユニットとは、顧客の住所録レコードに割り当てられるビジネスユニットで、請求書入力時のデフォルトとして使用されます。AAI でビジネスユニットを指定しない場合には、請求書のビジネスユニットに AAI で指定した主科目が連結され、勘定科目コードとして使用されます。この処理により、柔軟な AAI 設定と、ビジネスユニット別の勘定科目のトラッキングが可能になります。

次の図は、請求書および入金処理時の売掛管理システムによる AAI の使用を示しています。



請求書/入金処理時の AAI

取引を入力するたびに、以下の情報が検索されます。

- 会社番号
- 元帳クラス

AAI テーブルで、会社と AAI 項目の組み合わせに対して設定されている勘定科目コードが検索されます。その組み合わせに対応する勘定科目コードがあった場合は、その勘定科目が使用されます。該当する勘定科目コードがない場合は、会社 00000 に設定された勘定科目が使用されます。

AAI の検索順序について

各 AAI には、勘定科目コードの検索に使用される階層的な検索順序が割り当てられています。以下の例は、元帳クラスを使用する場合と使用しない場合に、どのように売掛金勘定の勘定科目コードが検索されるかを示しています。

例 1:元帳クラスを指定した場合の売掛金勘定の検索順序

会社 00001 の請求書に元帳クラス TRAD を入力した場合、以下の階層順序に基づいて売掛金勘定が検索されます。

1. 会社 00001 の AAI 項目 RCTRAD で売掛勘定が検索されます。
2. 会社 00001 の AAI 項目 RCTRAD が見つからない場合、会社 00000 の AAI 項目 RCTRAD が検索されます。

3. 会社 00000 の AAI 項目 RCTRAD が見つからない場合は、エラー メッセージが表示されます。

### 例 2:元帳クラスを指定しない場合の売掛金勘定の検索順序

会社 00001 の請求書を元帳クラスを指定せずに（元帳クラス フィールドが空白）入力した場合、以下の階層順序に基づいて売掛金勘定が検索されます。

1. 会社 00001 の AAI 項目 RCxxxx で売掛金勘定が検索されます。
2. 会社 00001 の AAI 項目 RCxxxx が見つからない場合、会社 00000 の AAI 項目 RCxxxx が検索されます。
3. 会社 00000 の AAI 項目 RCxxxx が見つからない場合は、エラー メッセージが表示されます。

## 売掛管理 AAI について

このセクションでは、使用可能な売掛管理 AAI について説明します。

### 銀行勘定 (RB)

AAI 項目 RB（銀行勘定）は、入金レコードで銀行勘定が指定されていない場合に使用されるデフォルトの銀行勘定を指定します。この AAI の設定は必須ではありません。使用する銀行勘定は、入金レコードの会社番号に基づいて取得されます。会社に AAI 項目が設定されていない場合は、会社 00000 の AAI 項目 (RB) に設定された銀行勘定が使用されます。

この AAI には、ビジネスユニットの設定は必須ではありません。ビジネスユニットを空白にすると、入金入力時に顧客の住所録レコードのビジネスユニットが使用されます。

### 売掛金勘定 (RCxxxx)

入金があるまでの保留勘定または仮勘定として機能する売掛金（クラス）勘定です。この AAI 項目 RC によって、転記時に更新する売掛金勘定が指定されます。伝票タイプ AE（自動仕訳）でこのレコードが自動的に作成されます。

RC クラスは、顧客別に設定できます。請求書の入力時には、顧客レコードからクラス コードが取得されます。請求書に手動でコードを指定することも可能です。この AAI 項目にはビジネスユニットを設定する必要はありません。以下の RC 項目を設定します。

- 会社 00000 のデフォルト AAI 項目
- 業種別 AAI 項目
- 会社 00000 の RCxxxx (xxxx は元帳クラス)
- 業種別の元帳クラス
- その他の売掛金のデフォルト AAI 項目

次の表には、RC 項目の設定方法が示されています。

項目	記述	会社	ビジネスユニット	主科目	補助科目	順序 No.
RC	デフォルト売掛金勘定		100	1210		3.110
RC	会社 200 の売掛金勘定	200	200	1210		3.110

項目	記述	会社	ビジネスユニット	主科目	補助科目	順序 No.
RCNOTE	デフォルト売掛金(手形)勘定		150	1210		3.110
RCNOTE	会社 200 の売掛金勘定	200	250	1210		3.110
RCUSD	業種別の通貨	70	70	1210		3.110

請求書のビジネスユニットと主科目の組み合わせを使用して正しい売掛金勘定が検索されます。その勘定科目の組み合わせ(ビジネスユニット + 主科目)が見つからない場合は、エラー メッセージが表示されます。

### 未充当入金 (RCUC)

AAI 項目 RCUC は、請求書には転記せずに特定の顧客に対して未充当入金を転記した場合に作成される自動仕訳のデフォルトの勘定科目を定義します。

同じ売掛金勘定を使用する会社には、会社 00000 のデフォルト AAI 項目を設定し、会社 00000 の売掛金勘定とは異なる勘定科目を使用する会社には、業種別に AAI を指定します。この設定は必須です。

注: RCUC を設定しない場合、RCxxxx はデフォルトとして使用されません。

この AAI の設定時には、ビジネスユニットの指定を省略できます。[ビジネスユニット] フィールドを空白にすると、顧客の住所録レコードのビジネスユニットが使用されます。

### 仮入金 (RCLC)

AAI 項目 RCLC は、顧客を指定せずに入金を転記した場合に計上するデフォルトの資産勘定を定義します。このデフォルト設定を利用すると、入金を迅速に入力することができます。仮入金は、後で請求書、顧客、計算書と照合されます。仮入金には、AAI 項目 RCLC の設定は必須です。RCLC を設定しない場合、RCxxxx はデフォルトとして使用されません。この AAI の設定時には、ビジネスユニットを指定する必要があります。

### 少額消込 (RAxx)

AAI 項目 RAxx は、少額消込に使用する費用勘定を指定します。xx コードは、UDC 03B/RC で定義され、少額消込の理由コード (BD (不良債権) など) を示します。

同じ費用勘定を使用する会社には、会社 00000 のデフォルト AAI 項目を設定し、会社 00000 の費用勘定とは異なる勘定科目を使用する会社には、業種別に AAI を指定します。この AAI の設定時には、ビジネスユニットの指定を省略できます。[ビジネスユニット] フィールドを空白にすると、少額消込を行う請求書のビジネスユニットが使用されます。

### 割引実施額 (RKDxxx)

AAI 項目 RKDxxx (xxx は入金または手形の割引理由コード) は、実施した割引を計上する勘定科目を定義します。以下の階層に基づいて、適切な AAI が検索されます。

1. 入金または手形の対象となる請求書の会社の RKDxxx (xxx は割引理由コード)
2. 見つからない場合、会社 00000 の RKDxxx (xxx は割引理由コード)
3. 割引理由コードが空白の場合、入金または手形の対象となる請求書の会社の RKD

#### 4. 請求書の会社に対して RKD が設定されていない場合、会社 00000 の RKD

この AAI は、割引を伴う入金または手形の転記時に作成される自動仕訳で使用されます。転記プログラムを実行するまで割引は計上されません。

同じ割引勘定を使用する会社には、会社 00000 のデフォルト AAI 項目を設定し、それ以外の割引勘定を使用する会社には、業種別に AAI を指定します。この AAI の設定時には、ビジネスユニットの指定を省略できます。

### 延滞利息金 (RFC と RFD)

延滞利息金には、収益と売掛金を認識する、以下の 2 つの AAI を使用します。

- RFC: 延滞利息金を適用する場合に貸方にする収益勘定を指定します。
- RFD: 延滞利息金を適用する場合に借方にする債権勘定を指定します。

最終モードで延滞利息金を作成すると、これらの勘定科目が借方と貸方に計上されます。

会社 00000 に対してデフォルト AAI 項目の RFC と RFD を設定します。業種別に延滞利息金を記録する場合は、各会社には個別の RFC と RFD を設定します。この AAI の設定時には、ビジネスユニットの指定を省略できます。

### 損金 (RN)

AAI 項目 RN は、請求額と合わない入金や不明な入金を一時的に計上する仮勘定を指定するのに使用できます。[ビジネスユニット] フィールドをブランクにすると、損金のある請求書のビジネスユニットが使用されます。

### 手形 (RD1x - RD5x)

AAI 項目 RD1x ~ RD5x は、手形の処理に使用します。異なる勘定科目を使用する会社については、手形 AAI を業種別に設定してください。同じ勘定科目を使用する会社については、AAI を個別に設定する必要はありません。システム内の処理では、業種別の AAI が見つからない場合、会社 00000 の AAI が自動的に割り当てられます。

参照: 第 4 章、「受取手形の設定」、63ページ

### 相殺 (NC)

相殺の AAI 項目 (NC) は、相殺決済取引が完了するまでの仮勘定として使用します。たとえば、クレジットメモ (伝票タイプ RM) 分を顧客に返金する場合には、払戻しの作成プログラム (R03B610) を実行します。システムによって以下の処理が行われます。

1. (借) 売掛金 (RC)/(貸) 仮勘定 (NC)
2. (借) 仮勘定 (NC)/(貸) 買掛金 (PC)
3. (借) 買掛金 (PC) - 買掛金の支払時

費用勘定がないため、相殺勘定 NC が費用勘定として使用されます。

手動相殺プログラム (P03B455) を使用した売掛金または買掛金の相殺処理の実行時にもこの AAI が使用されます。

## 売掛管理の支払条件の設定

支払条件は、支払期日を指定するために買掛管理システムと売掛管理システムで使用されます。必要に応じて、割引率と割引期日も指定できます。

## 損金処理のための活動コードの設定

このセクションでは、損金活動コードの概要と、その設定方法について説明します。

**関連項目:**

第 15 章、「損金処理」、「損金の調査および解決」、474ページ

### 損金活動コードについて

顧客からの入金時には、説明もなく請求額より少ない金額が入金されたり、破損品があったなどの理由で入金額が減額されている場合があります。顧客の支払時に減額された金額は“損金”と呼ばれます。

損金の調査と解決を行う前に、活動コードを追加して、損金の解決のためにシステム内で使用される活動のタイプを指定することができます（システムでは回収管理者や与信管理者による顧客への対応を“活動”と呼びます）。

売掛管理システムにはデフォルトの活動コードが用意されています。しかし、組織のニーズに合わせて、追加のコードを設定することもできます。たとえば、追加の少額消込処理コードを設定して、特定の消込理由コードと関連付けることができます。

活動コードを使用して、以下のような処理を実行することができます。

- 調査タスクの監査証跡の作成
- 損金の解決

システム内の処理では、活動コードを使用して活動が損金に割り当てられます。各活動によって F03B41 テーブルにレコードが作成されます。

損金活動コードは、F03B42 テーブルに保存されます。

### 損金活動コードの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[損金活動コードの入力]	W03B42B	[与信/回収活動セットアップ] (G03B411)、[損金活動マスター]  [損金活動コードの処理] フォームで、[追加] をクリックします。	損金活動コードを設定して、損金の解決に使用される活動のタイプを指定します。

### 損金活動コードの設定

[損金活動コードの入力] フォームにアクセスします。

損金活動マスター - 損金活動コードの入力	
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)	
損金活動コード *	CB
記述	Deduction Chargeback
備忘日数	0
再請求理由コード	DA 問題のある金額
少額消込理由コード	
割引理由コード	デフォルト割引理由コード
<input type="checkbox"/> 損金の取消 <input type="checkbox"/> 割引として処理 <input type="checkbox"/> クレジット・メモとして処理	

[損金活動コードの入力] フォーム

**[損金活動コード]** 損金の解決に使用される、特定の指示を示すコードを入力します。このフィールドへの入力必須です。

**[備忘日数]** 備忘日付の計算のために、システム内の処理で活動日に追加される日数を入力します。

**[再請求理由コード]** 入金入力中に請求書に対して再請求が生成された理由を示すコードを入力します。通常は、以下のような再請求理由コードを使用します。

DA: 問題のある金額

DD: 無効割引 (割引不可) 額

注: UDC テーブルでblankが定義されていても、ここではblankを値として使用できません。

**[少額消込理由コード]** 少額消込として処理する理由を示すコードです。通常は、以下のような理由コードを使用します。

BD: 不良債権

DC: 破損品

MW: 少額消込

TF: 税または送料のクレーム

**[損金の取消]** このチェック ボックスをオンにすると、損金を取り消す活動が作成されます。作成した活動を使用すると、損金レコードはクローズされ、損金の金額分だけ請求書が未決済に戻ります。

**[割引として処理]** このチェック ボックスをオンにすると、損金を割引として解決する活動が作成されます。

**[クレジット・メモとして処理]** このチェック ボックスをオンにすると、損金とクレジット メモを突き合わせる活動が作成されます。

注: [記述]、[備忘日数]、[再請求理由コード]、および [少額消込理由コード] の各フィールドを空白にして、“追加情報の要求” 活動を使用して損金を解決することもできます。

## (ARG) Setting Up to Print Invoices and Shipment Notes

This section provides an overview of General Resolution 3434 and bar codes, lists prerequisites discusses how to:

- Add the CIF code.
- Add record type \$C.
- Relate issue places to address book records.
- Set up print program versions.

### Understanding General Resolution 3434

Article 11 of General Resolution 3434 stipulates that the commercial address that appears on the invoice or equivalent document must be the business or physical location where the invoice is issued.

In the case of shipment notes or equivalent documents, the location where goods are issued (warehouse or depot) must be the business address. The address of the place where goods are dispatched must be the same as the issue place address.

CIF codes relate the issue place with an address book record, which stores the address and other data about the issue place.

Setting up this relationship causes the invoice printing programs to retrieve the issue place address instead of the company address.

If this relationship is not defined, the business address is printed instead of the issue place address.

To set up the issue place relationship, complete these steps:

1. Add the CIF code.
2. Add record type \$C.
3. Relate the issue place to the address book record.

### Understanding Bar Codes for Argentina Invoices

When you generate a legal document with a document type of A, B, E, or M, you must print a bar code on the document. The bar code includes the

- C.U.I.T number
- AFIP legal document type
- Issue place
- C.A.I. number
- C.A.I. due date
- Check digit

When you set up the ARG – Item ARGP – Allowed Values UDC (76/B1), you must specify Y in the Special Handling Code field for document types A, B, E, and M. A value of Y indicates that the document type requires the system to print the bar code information.



When you run the Print Invoices (R42565) program or the Invoice Print (R03B505) program, the system calls the Print Invoice / Shipment Note – ARG – 42 (R76A566) program. The Print Invoice / Shipment Note – ARG – 42 program calls the N76A510 (Bar Code String Generator) business function to print the bar code as well as the numeric equivalent of the bar code.

---

**注:** You must install the Interleaved 2 of 5 ITF font for the bar code. PeopleSoft EnterpriseOne software does not provide this font.

---

### **Bar Code String Generator – ARG – 42 (N76A510)**

The Bar Code String Generator – ARG – 42 business function obtains the data required for the bar code from these fields, and then generates a check digit:

- C.U.I.T number (11 numeric characters obtained from data item TAX in the F76AUI20 table).
- AFIP legal document type (two numeric characters obtained from the first two characters in data item VINV in the F76A09 table).
- Issue place (four numeric characters obtained from data item ACEM in the F76AUI20 table).
- C.A.I. number (14 numeric characters obtained from data item ACAI in the F76AUI20 table).
- C.A.I. due date (eight numeric characters obtained from data item CXPJ in the F76AUI20 table).

The business function concatenates the values of the five data fields in the order listed and then adds the check digit to the end of the string to produce the numeric value of the bar code. To calculate the check digit, the system:

1. Sums the characters in the odd number positions (positions 1, 3, 5, and so on), beginning from the left of the string of characters.
2. Multiplies the sum obtained in the first step by 3.
3. Sums the characters in the even number positions (positions 2, 4, 6, and so on), beginning from the left of the string of characters.
4. Sums the values obtained in steps 2 and 3.
5. Determines the check digit to be the lowest number which, when added to the value that was determined in step 4, equals a multiple of 10.

### **Example: Generation of Numeric Bar Code**

Suppose the values for the five data fields are:

- C.U.I.T number: 23467812399
- AFIP legal document type: 03
- Issue place: 1222
- C.A.I. number: 65432165432111
- C.A.I. due date: 06062005

The business function concatenates the characters to produce this string:

234678123990312226543216543211106062005

The business function applies the algorithm:

1. Sums the characters in the odd positions to produce a value of 69.

2. Multiplies 69 by 3 to equal 207.
3. Sums the characters in the even positions to produce a value of 58.
4. Sums 207 and 58 to equal 265.
5. Determines the check digit to be five because five is the lowest number, which when added to 265, returns a number which is divisible by 10.
6. Produces a numeric value for the bar code that is equal to the original string with the check digit of five added to the end of the string for a value of: 2346781239903122265432165432111060620055.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Create a record for each issue place in the Address Book Revisions program (P01012).
- Add issue place codes to UDC 76A/LE.

## Forms Used to Set Up to Print Invoices, Shipment Notes, and Perception Certificates

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Supplemental Database Setup	W00091B	CIF Supplemental Data (G01312), Supplemental Data Setup	Locate supplemental data types.
Supplemental Database Setup	W00091A	On the Work With Supplemental Database Setup form, click Add.	Add the CIF code.
Data Type Revisions	W00091D	On Work the With Supplemental Database Setup form, select the address book record, and then select Work With Data Type from the Row menu.  On the Work With Data Types form, click Add.	Add record type \$C.
General Description Entry	W00092C	CIF Supplemental Data (G01312), Supplemental Data  On the Work With Supplemental Data form, enter the address book number of the issue place in the header area, and then click Find.  Select the row with data type \$C, and then click Select.	Relate issue places to address book records.

# Adding the CIF Code

Access the Supplemental Database Setup form.

Supplemental Data Setup - Supplemental Database Setup

OKCancelTools

Supplemental Database CodeABAddress Book

Select Key FieldsDD AliasRow Description

☐ Business Unit

☐ Company

☐ Generic Alphanumeric Key 1

☐ Generic Alphanumeric Key 2

☒ Generic Numeric Key 1

AN8

Address Book

☐ Generic Numeric Key 2

☐ Execute Data Selection

Function Name

Supplemental Database Setup form

Supplemental Database Code

Enter AB in this field to specify Address Book.

Generic Alphanumeric Key 1

Select this option to use the data that you enter in the Generic Alphanumeric Key 1 field as a key field for supplemental data.

If you select this option, you must enter a valid data dictionary alias in the corresponding DD Alias (SAL1) field. Before you can use the data dictionary alias, you must set up the alias in UDC Valid Alphanumeric Aliases (00/S2).

When you select Generic Alphanumeric Key 1, and you enter a valid alias, the field appears with the data dictionary name as a key field on the Work With Supplemental Data form. If you enter data in the corresponding Row Description (SBD1) field, the data that you enter appears as the key field name on the Work With Supplemental Data form.

DD Alias (data dictionary alias)

Enter AN8 in this field to specify the address number alias.

# Adding Record Type \$C

Access the Data Type Revisions form.

Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

35

### Supplemental Data Setup - Data Type Revisions

OK

Cancel

Form

Tools

SDB Code

AB

Display Mode

C

Display Sequence

Type Data

\$C

Data Class

Search Type

Description

UDC Headings/Validation

UDC

Product Code

76A

Record Type

LE

Remark Headings/Validation

Remark 1

System Code

Record Type

Remark 2

System Code

Record Type

Remark 3

Column Headings

Amount 1

Amount 2

Quantity

Effective From

Effective Thru

User Date

User Days

User Address

User Document

User Time

Data Type Revisions form

#### Type Data

Enter \$C in this field to group data by categories.

This is a required field for setting up any data type. You can use an existing data type, or you can create a new data type by entering one or two characters for the code.

#### Product Code

Enter 76A in this field to identify the system for the UDC that is related to the data type. This field works with the Record Type field to identify the code type table that the system uses to verify the data type. When you leave both fields blank, the system does not verify the data type.

For example, a valid code for data type SKILL (skills) must exist in the table for system 08 and code type SK. If you enter a skill code that is not in the table, the system displays an error message.

This field applies only to the code format (C) data types.

#### Record Type

Enter LE in this field.

The Record Type and Product Code fields work together to associate a UDC table to the UDC (alias GDC1) field. The system uses the UDC table to verify data that you enter in the UDC (alias KY) field on the General Description Entry form.

For example, if you enter 08 in the Product Code field and SK in the Record Type field, the data that you enter in the UDC (alias KY) field on the General Description Entry form must exist in UDC table 08/SK.

If you leave the Record Type and Product Code fields blank, you can enter any data in the data entry field for the UDC (alias KY) column on the General Description Entry form.

This is an optional field for setting up supplemental data types in code format.

## Relating Issue Places to Address Book Records

Access the General Description Entry form.

<b>User Def Code</b>	Enter the issue place code for each issue place.
<b>Effective Date</b>	Enter the effective date for each issue place.
<b>Remark</b>	Enter the address book number for each issue place.

---

**注:** The data that you enter in the Remark (alias RMK) field depends on how you set up the Remark 1 (alias GDC2) and corresponding System Code (alias SY1) and Record Type (alias RT1) fields on the Data Type Revisions form. If you associated the Remark 1 (alias GDC3) field with a record, the data that you enter in the Remark (alias RMK) field must be a value in the associated record. If you did not associate the Remark 1 (alias GDC3) field with a record, the system accepts any data (within the size constraints) that you enter in the Remark (RMK) field.

---

## Setting Up Print Program Versions

To print invoices for Argentina, you must set up these versions:

- Identically named versions of the Invoice Print program (R03B505) and the PO Invoice Print program (R76A03B5).
- XJDE0001 and ZJDE0001 versions of the Print Invoice / Shipment Note – ARG – 42 program (R76A566) and the Generate Invoice / Shipment Note WF – ARG – 42 program (R76A567).

---

## (ARG) Setting Up to Print Perception Certificates

This section provides an overview of printing perception certificates and discusses how to:

- Set processing options for Perception Report – 03B (R76A8050).
- Set up activity codes.
- Set up tax categories.
- Set up perception codes.

## Understanding the Printing of Perception Certificates

The system uses the Perception Report – ARG – 03B program (R76A8050) to print perception certificates without a legal number when you print the invoices that correspond to the perception certificates.

These programs call the Perception Report ARG – 03B program:

- PO Invoice Print (R76A03B5).
- PO Invoice/Shipment Note Print (R76A565).

To print perception certificates, you must complete the Perception tab of the processing options for the PO Invoice Print program (R76A03B5) or the PO Invoice/Shipment Note Print program. You must also set up the customer number of the invoice subscription in the processing options for the Perception Report – 03B program.

To comply with General Resolution 738/99, you must set up regulations, tax categories, and perception codes when you print perception certificates.

## Setting Processing Options for Perception Report – 03B (R76A8050)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### General

This processing option specifies the customer number of the invoice subscription.

**Suscriptor Address Number** Specify the customer number of the invoice subscription.

## Setting Up Activity Codes

Use UDC 76A/CR to set up the activity codes under which the company can operate. Enter the codes and corresponding descriptions in conformity with General Resolution 738/99.

---

**重要:** This description is the concept of the perception certificate.

---

This table provides an example of how you might set up UDC 76A/CR:

Codes	Description 01	Special Handling	Hard Coded
493	Importaciones		N
663	Importación de carnes		N

## Setting Up Tax Categories

Use UDC 76A/CI to set up tax category codes in conformity with General Resolution 738/99.

This table provides an example of how you might set up UDC 76A/CI:

Codes	Description 01	Special Handling	Hard Coded
217	Impuesto a las ganancias		N
767	Impuesto al valor agregado		N

## Setting Up Perception Codes

You must associate the tax codes from UDC 76A/TC with the perception activity codes from UDC 76A/CR and the tax categories from UDC 76A/CI. You set up this association in UDC 76A/PE. You specify the tax codes in the Codes field, the activity code in the Description 01 field, and the tax category in the Description 02 field, as shown in this example:

Codes	Description 01	Description 02	Special Handling	Hard Coded
FTIMP01	663	767		N
IVA21PIA	248	767		N
IVAPER	248	767		N
PER	663	217		N
PER1	265	767		N
PER2	267	767		N
PRU	463	217		N
REB-PER	663	217		N

Setting up activity codes, tax categories, and perception codes is necessary for printing perception certificates and running the SICORE report.

---

## (CHE) Setting Up to Print ESR Payment Slips

Create a version of the Print Invoices program (R42565) or the Invoice Print program (R03B505) that calls the Maintain ESR Reference Number business function (B03B0220).

---

## (CHN) Setting Up Matching Versions for Invoice Printing

Before you run the Print Invoice from A/R program (R03B505), you must set up matching versions for the GUI Interface file from A/R program (R75C03B1) and the Print Invoice from A/R program (R03B505).

You can set up versions by either copying or adding versions. The other programs retrieve processing options from the GUI Interface file from A/R program.

---

## (FIN) Calculating the Finnish Reference Number

This section provides an overview of the Finnish reference number and discusses how to set up the reference number business function.

## Understanding the Finnish Reference Number

In Finland, companies use reference numbers to identify the invoices that are sent to customers. The customers then include the reference numbers on their payments, which enables the payments to be transferred to the invoicing company's bank account that is reserved for payments with a reference number.

Invoicing companies can formulate their own reference numbers. The reference number must include one or more of these numbers:

- Company number
- Invoice number
- Customer number

You do not need to include all three numbers, but you must include at least one of these numbers in the reference number. It is recommended that you use the invoice number.

---

**注:** For periodically recurring payments, such as rents, the item number should not form part of the reference number.

---

A short reference number reduces the risk of entry errors. However, a reference number should not be shorter than four digits (three digits plus the check digit). The maximum length for a reference number is 20 digits (19 digits plus the check digit).

### Check Digits

The last digit of the reference number is always a check digit. The check digit provides a means of validating the reference number to prevent erroneous data from being entered.

The check digit is calculated in this manner:

1. Each digit in the basic reference number (for example, the invoice number) to be verified is multiplied by the weights 7, 3, and 1 from right to left.

That is, the right-most digit is multiplied by 7, the next digit to the left is multiplied by 3, the next digit to the left is multiplied by 1, the next digit to the left is multiplied by 7, and so on until the first digit has been multiplied.

2. The results of the multiplications are added together.
3. The sum is rounded up to the nearest 10, and then the sum is subtracted from the rounded number.

The resulting difference is the check digit, which becomes the last digit of the reference number. If the resulting difference is 10, the check digit is 0.

### Example: Calculation of the Check Digit

This example illustrates the calculation of a check digit.

Reference number (invoice number): 4 5 3 2 1 2 3 4

1. Assign weights from right to left:

Digit	Digit	Digit	Digit	Digit	Digit	Digit	Digit
4	5	3	2	1	2	3	4
3	7	1	3	7	1	3	7



2. Multiply each digit of the reference number by the corresponding weight:

Digit	Digit	Digit	Digit	Digit	Digit	Digit	Digit
4	5	3	2	1	2	3	4
3	7	1	3	7	1	3	7
12	35	3	6	7	2	9	28

3. Add the resulting numbers:  $12 + 35 + 3 + 6 + 7 + 2 + 9 + 28 = 102$ .  
 4. Round up the sum to the nearest 10: 110.  
 5. Subtract the sum from the rounded number:  $-102$ .  
 6. The difference is the check digit: 8.

The full reference number is: 4 5 3 2 1 2 3 4 8.

## Setting Up the Reference Number Business Function

The system provides this business function that calculates Finnish reference numbers, including the check digit:

Field	Value
Object Name	N74V0001
Description	Generate Reference Number Finland
Object Type	Minor business rule
Location	Client/Server
Language	NER

This business function is not attached to any program. To use this business function, you must add a call to the business function from the program with which you want the reference number to be calculated.

## Data Structure

This table specifies the data structure of the Generate Reference Number Finland business function:

Name	Description	Req/Opt (Required /Optional)	I/O/Both
szCompany	Company	Opt (optional)	Input
mnAddressNumber	Customer number	Opt	Input
MnDocVoucherInvoiceE	Invoice number	Opt	Input

Name	Description	Req/Opt (Required /Optional)	I/O/Both
xzReferenseNumber	Reference number	Req (required)	Output
mnLengthCompanyNumber	Length of company number (1-3 characters)	Opt	Input
mnLengthAddressNumber	Length of customer number (1-8 characters)	Opt	Input
mnLengthInvoiceNumber	Length of invoice number (1-8 characters)	Opt	Input
szErrorMessage	Error text	Req	Output
DocumentPosInRefNumber	Position of company number in the reference number	Opt	Input
AddressPosInRefNumber	Position of customer number in the reference number	Opt	Input
InvoicePosInRefNumber	Position of the invoice number in the reference number	Opt	Input

**注:** Although these items are optional, the reference number must include at least one of these items:

Company

Customer number

Invoice number

## 第 3 章

# 顧客マスター情報の設定

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、顧客マスター情報の概要と、以下の方法について説明します。

- 顧客マスター レコードの入力
- 顧客マスター カテゴリ コードの割り当て
- 顧客マスター レコードの改訂と削除
- カスタム セルフサービスの利用

---

## 顧客マスター情報について

顧客マスター レコードには、受注オーダー、売掛金取引、および与信と回収情報を処理するために必要な情報と指示が含まれています。たとえば、顧客マスター レコードを使用して、顧客の与信限度額を設定したり、延滞通知を送付するかどうか、計算書を印刷するかどうかを指定することができます。

顧客レコードに入力した情報は、以下のテーブルに保存されます。

- 業種別顧客マスター (F03012)  
特に指定しない限り、[顧客マスターの改訂] フォームに入力した情報は全てこのテーブルに保存されます。
- 住所組織構造マスター (F0150)  
顧客レコードに設定した親/子関係はこのテーブルに保存されます。

## この章で使用する共通フィールド

顧客番号 (顧客 No.)

自動採番 (P0002) で割り当てられた番号が表示されます。JD Edwards EnterpriseOne の住所録システムの顧客を識別する番号です。

---

警告: 住所録レコードを作成する前にその顧客の住所録レコードがないことを確認してください。住所録レコードとそれに対応する取引を結合する機能はありません。

---

---

## 顧客マスター レコードの入力

このセクションでは、顧客マスター レコードの概要と、以下の方法について説明します。

- 顧客マスター情報 (P03013) の処理オプションの設定
- 顧客マスター MBF 処理オプション (P0100042) の処理オプションの設定
- (ARG) Set processing options for Additional A/B Information (P760101A)
- 顧客マスター レコードの作成
- (ARG) Enter additional customer master information for Argentina
- (ARG) Enter customer withholding information for Argentina
- (BEL) Enter customer information for parent companies

#### 関連項目:

第 6 章、「与信/回収管理の設定」、「顧客への与信/回収情報の割り当て」、124ページ

第 5 章、「自動入金処理の設定」、「自動入金処理のための顧客の設定」、101ページ

## 顧客マスター レコードについて

商品やサービスに対する請求を顧客に行う前に、顧客マスター レコードを入力する必要があります。各顧客マスター レコードは、システムの中で住所番号と呼ばれる番号で一意に識別されます。顧客マスター 情報プログラム (P03013) を使って住所録レコードを直接入力するか、または住所録プログラム (P01012) を使用することができます。顧客マスター レコードを入力する前に、顧客の住所録レコードが設定されている必要があります。

顧客マスター レコードを入力する際には、以下の情報を指定します。

- 請求書と手動入金処理の情報
- 勘定科目情報
- 自動入金処理の情報
- 税情報
- 通貨情報
- 受注オーダーを処理するための請求情報および出荷情報
- 与信および回収情報
- 受注オーダーを電子的に処理するための EDI (電子データ交換) 情報
- カテゴリ コード情報

## 事前設定

業種別処理に関する情報を検討して、顧客情報を会社別に設定する必要があるかどうかを決定します。

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理固定情報の設定」、8ページ

## 顧客マスター情報の入力と改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[顧客マスターの処理]	W03013A	[顧客および請求書の入力] (G03B11)、[顧客マスター情報]	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客マスターレコードの検索と削除を行います。</li> <li>検討および改訂対象の顧客マスターレコードを選択します。</li> </ul>
[顧客マスターの改訂]	W03013B	[顧客マスターの処理] フォームで、[追加] をクリックします。	顧客マスターレコードの作成と改訂を行います。
A/B Additional Information – Revision	W760101AB	On the Customer Master Revision form, complete the steps to enter a standard customer record and then click OK.  The system displays this form if the user preferences contain a Localization Country code of AR (Argentina).	Enter country-specific information for Argentinean customers.  Argentinean customer information is saved in the A/B Tag Table – ARG 04 table (F760101A table).
A/B Withholding Information – Revision	W760101AC	On the A/B Additional Information – Revision form, click OK.	Enter customer withholding information for Argentinean customers.
[住所の処理]	W01012B	[日次処理] (G0110)、[住所録の改訂]	<ul style="list-style-type: none"> <li>住所録レコードの検索と削除を行います。</li> <li>改訂対象の住所録レコードを選択します。</li> </ul>
[住所録の改訂]	W01012A	[住所の処理] フォームで親にする顧客を選択し、[ロー] メニューから [住所録の改訂] を選択します。	複数の住所に同じ消費税登録番号が設定されている場合に、親に設定する顧客を指定します。このコードにより、特定の住所に対する全ての売上情報と消費税情報が指定され、レポートに印刷されます。

## 顧客マスター情報 (P03013) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 入力

[顧客マスターの改訂] フォームで [税ID] フィールドを表示するかどうかを指定します。このフィールドをグレー表示 (入力不可) に指定することもできます。

#### 1. 税 ID

顧客レコードの追加時に [税ID] フィールドを表示するかどうかを指定します。このフィールドを非表示にすることもできます。非表示にすると、入力できません。有効値は以下のとおりです。

ブランク: [税ID] フィールドを表示する。

- 1: [税ID] フィールドを表示しない。
- 2: [税ID] フィールドをグレー表示する。

## デフォルト

[検索タイプ] および [住所録通貨コード] フィールドに割り当てるデフォルト値を指定します。

- 1. 検索タイプ**  
[顧客マスターの処理] フォームの [検索タイプ] フィールドのデフォルト値を指定します。虫眼鏡ボタンをクリックすると、使用できる検索タイプを表示できます。空白にすると、\* (アスタリスク) がデフォルト値として使用され、全ての住所録レコードが検索されます。
- 2. 通貨コード**  
[住所録通貨コード] フィールドのデフォルト値を指定します。この処理オプションを空白にした場合は、[顧客マスターの改訂] フォームの [住所録通貨コード] フィールドを空白にすると、[住所録の改訂] フォームの [ビジネスユニット] フィールドに割り当てられている会社の通貨コードが使用されます。  
  
[住所録通貨コード] フィールドを [顧客マスターの改訂] フォームに表示するには、一般会計固定情報プログラム (P0000) で多通貨の設定を有効にする必要があります。

## 顧客マスター MBF バージョン

使用するプログラムのバージョンを指定します。

- 1. 顧客マスター MBF (P0100042) バージョン**  
使用する顧客マスター MBF 処理オプション プログラム (マスター ビジネス関数) のバージョンを指定します。空白にした場合、ZJDE0001 が使用されます。
- 2. 住所録 (P01012) バージョン**  
使用する住所録プログラム (P01012) のバージョンを指定します。空白にした場合、ZJDE0001 が使用されます。

## 顧客マスター MBF 処理オプション (P0100042) の処理オプションの設定

顧客マスター レコードのカテゴリ コードに入力した値を住所録の対応するカテゴリ コードに自動的に追加するには、顧客マスターのマスター ビジネス関数 (MBF) (P0100042) の処理オプションを設定する必要があります。この処理オプションは、新しい住所録レコードを入力する際にカテゴリ コードの値を追加した場合にのみ機能します。

顧客マスター レコードのカテゴリ コードは、住所録レコードにはコピーされません。

住所録レコードが既にある場合、新規または変更されたカテゴリ コードの値はコピーされません。住所録カテゴリ コードの変更を顧客マスター レコードに反映するには、カテゴリ コードから顧客マスターへのコピー プログラム (R01050) を実行する必要があります。

住所録カテゴリ コードは、住所録マスター (F0101) に保存されます。顧客マスター カテゴリ コードは、業種別顧客マスター (F03012) に保存されます。

## 送信

送信インタオペラビリティ処理を使用する際のレコードの検索および書き込み方法を指定します。

- 1. トランザクション タイプ**  
インタオペラビリティ機能を使う場合のトランザクション タイプを指定します。空白にした場合、送信インタオペラビリティ処理は実行されません。

## 2. 変更トランザクションの 書き込み

変更するトランザクションについて、変更前トランザクションを書き込むかどうかを指定します。変更前トランザクションとは変更前に書き込まれたレコードのことです。これに対し、変更後トランザクションとは変更後に書き込まれたレコードのことです。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 変更後トランザクションのみを書き込む。

1: 変更前と変更後の両方のトランザクションを書き込む。

## デフォルト

住所録レコードに追加したカテゴリ コードの値を自動的に顧客レコードに反映するかどうかを指定します。

### 1. デフォルトのカテゴリ コード

顧客レコードのカテゴリ コードのデフォルト値を住所録レコードのカテゴリコードから取り込むかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 住所録レコードからデフォルト値を取り込まない。

1: 住所録レコードからデフォルト値を取り込む。

---

**注:** 顧客レコードのデフォルト カテゴリ コードを住所録レコードから取り込むことができるのは、住所録レコードを新規に追加する場合のみです。既存の住所録レコードのカテゴリ コードの値を変更しても、顧客レコードには反映されません。

---

## (ARG) Setting Processing Options for Additional A/B Information (P760101A)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### General

This processing option specifies whether the system allows duplicate tax identification.

#### PO Item

Specify whether the system allows duplicate tax identification. Values are:

Blank: The system does not allow duplicate tax identification.

1: The system allows duplicate tax identification.

## 顧客マスター レコードの作成

[顧客マスターの改訂] フォームにアクセスします。

顧客マスター情報 - 顧客マスターの改訂

顧客マスターの処理 顧客マスターの改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

顧客No. 3555 [Pro Bike Shop](#)

詳細住所No.

会社 00000

タブを選択: 1-請求書

支払条件  Net 30 Days ☐ 請求書保留

支払手段  デフォルト 請求書送付先  C 顧客名 (AN8)

代替支払人 3555 [Pro Bike Shop](#)

親住所No.

☐ 自動入金 (Y/N) 自動入金実行リスト

通貨コード

住所録通貨コード USD U.S. Dollar 最低入金率  0

[顧客マスターの改訂] フォーム

## [顧客No.]

指定した顧客の名前がフィールドの横に表示されます。顧客名のリンクをクリックすると、その顧客の[住所録の改訂]フォームが表示されます。

## [詳細住所No.]

住所録レコードを識別するユーザー定義の名前または番号を入力します。この詳細住所番号を使って顧客レコードを検索したり請求書を入力するには、住所録固定情報で定義した記号を詳細住所番号の前に付けます。入力または照会プログラムで、詳細住所番号が顧客の住所番号に自動的に変換されます。

## [会社]

顧客マスターのデフォルト情報を適用する会社を指定します。請求書の入力や与信/回収情報の処理では、会社別に設定した情報が使用されます。

会社に対して顧客マスターレコードを設定しない場合は、会社 00000 に対して定義した情報が使用されます。特定の会社の顧客マスターの情報を追加するときに、会社 00000 に情報が存在しない場合は、会社 00000 の顧客マスターレコードが自動的に作成され、その特定の会社に対して入力した情報が使用されます。

## [請求書]

[請求書] タブを選択します。

## [支払条件]

顧客のデフォルトの支払条件を示すコードを入力します。支払条件により、支払期日、割り引き額、割り引き期日が決まります。これらは、請求書の作



成時に自動的に割り当てられます。最も頻繁に使用する支払条件にはブランクコードを設定してください。支払条件には次のようなものがあります。

ブランク: 15 日以内支払

1: 30 日以内支払 (10 日以内に支払った場合 1% 割引)

2: 30 日以内支払 (10 日以内に支払った場合 2% 割引)

D: 受取り時払い

N: 30 日以内支払

P: 25 日付け

#### [支払手段]

顧客のデフォルトの支払手段を示すユーザー定義コード (00/PY) を入力します。支払手段を使用して、顧客による支払方法を指定します。たとえば、次のように設定します。

C: 小切手

D: 手形

T: 電子資金決済

この情報は、請求書の入力時にデフォルト値として使用されます。

#### [請求書送付先]

請求書に印刷する請求先の名前と住所を示すコードを入力します。有効なコードは次のとおりです。

C: 顧客名 (AN8)

N: 印刷しない。不動産管理システム (15) では、この値は無視されます。同システムでは、請求レコードまたは賃貸契約レコードからの [請求書の印刷] フィールド (INVP) の値が使用されます。

P: 親番号 (PA8)

R: 代替支払人 (ARPY)

1: 第 1 住所番号 (AN81)

2: 第 2 住所番号 (AN82)

3: 第 3 住所番号 (AN83)

4: 第 4 住所番号 (AN84)

5: ファクター/代替支払先 (AN85)

6: 第 5 住所番号 (AN86)

---

注: 代替支払人フィールドで顧客レコードに設定する“支払人”を除き、各コードは住所録レコードで設定する関連住所情報に対応しています。

---



---

注: タイプ B (請求) で設定した人名録レコードがある場合、請求先の名称は、人名録レコードから取り込まれます。

---

#### [請求書保留]

請求書の手動入力を不可にする場合にオンにします。オンにした場合、スピード請求書入力 (P03B11SI) または請求書入力 (P03B11) を使用して請求書を入力しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

請求書が受注管理システムで作成される場合、このフィールドは無視されます。

**【代替支払人】**

顧客に対して入力する売掛金元帳レコード (F03B11) の支払人番号フィールド (PYR) に割り当てられた個人または会社の住所番号を入力します。ブランクの場合、顧客の番号が支払人として割り当てられます。

顧客への請求書の入力後にこのフィールドの値を変更した場合は、住所録からの売掛管理更新プログラム (R03B802) を実行して請求書レコードの値を更新する必要があります。この値は、入金入力プログラムまたは手形入力プログラムの [支払人] フィールド (ALKY) のデフォルトとしては使用されません。ただし、この支払人の値を使用して支払の請求書レコードを選択することができます。

**【親住所No.】**

顧客の親会社の住所番号を入力します。請求書や計算書、延滞通知を印刷する場合に、複数の顧客を 1 つの親会社に関連付けて、取引を確認することができます。

**【自動入金(Y/N)】**

自動入金処理プログラムを使用して売掛管理システム内の入金を処理する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

---

注: 自動入金処理を実行するには、売掛管理固定情報で、顧客と会社の両方の [自動入金] チェック ボックスをオンにしておく必要があります。

---

**【自動入金実行リスト】**

自動入金処理中に顧客に対して実行されるアルゴリズムの順序を指定する実行リストの名称を入力します。

**【通貨コード】**

顧客に対して入力する請求書に自動的に割り当てられるデフォルトの通貨を示すコードを入力します。この値は、請求書の入力時に変更することができます。このフィールドをブランクにしておき、各取引の通貨コードを自分で割り当てすることもできます。

**【住所録通貨コード】**

住所録に保存されている金額の通貨コードを入力します。たとえば、与信限度額や今年度請求額、前年度請求額などの金額が対象となります。ここで指定する通貨コードは、トランザクション履歴の記録や保存に使用されます。このフィールドをブランクにすると、処理オプションの [通貨コード] で指定されている値が使用されます。この処理オプションをブランクにした場合は、[住所録の改訂] フォームの [ビジネスユニット] フィールドに割り当てられた会社の通貨コードが使用されます。

**【最低入金率】**

支払時支払グループの支払済み請求書が達する必要がある規定値をパーセントで入力して、どの時点に対応する支払用伝票を自動的にリリースするかを指定します。0 ~ 100 までの整数を入力します。

---

注: このフィールドをブランクにした場合、または「0」を入力した場合は、入金金額にかかわらず、少なくとも 1 回の現金入金が支払時支払グループの請求書に適用されているときに、支払後支払自動リリース プログラム (R03B470) を実行すると、支払時支払グループに関連付けられた伝票が自動的にリリースされます。

---

**【勘定科目情報】**

【勘定科目情報】 タブを選択して、デフォルトの勘定科目情報を入力します。

**【元帳クラス】**

請求書の転記時に元帳クラスとして使用する売掛金勘定を決定するコードを入力します。AAI 項目 RC とこの値を組み合わせ、売掛金勘定が検索

されます。たとえば、元帳クラスに「TRAD」と入力すると、AAI 項目 RCTRAD が検索され、元帳クラスに使用される売掛金勘定が特定されます。このフィールドの値には英数字を使用できます。または、主科目と同じコードを使用することもできます。このフィールドを空白にすると、RC に設定された売掛金勘定が使用されます。

入金入力や手形入力プログラムの処理オプションで未充当金の使用を指定すると、このフィールドの元帳クラスを使って勘定科目が検索されます。処理オプションで指定されていない場合は、RCUC で設定された勘定科目が使用されます。

取引入力時にこのフィールドの値を上書きすることができます。

---

**注:** 元帳クラスに 9999 は使用しないでください。この値は、転記プログラムの予約コードで、仕訳を作成しないように設定されています。

---

**[モデル仕訳伝票タイプ  
/No./会社]**

顧客に対して使用するモデル仕訳を入力します。

モデル仕訳を指定する場合は、デフォルトの勘定科目コードを指定しないでください。両方指定してもデフォルトの勘定科目は無視され、モデル仕訳が使用されます。

**[勘定科目コード]**

請求書の入力時にデフォルトの収益勘定として使用される総勘定元帳の勘定科目を入力します。勘定科目は、標準形式 (ビジネスユニット、主科目、補助科目) で入力する必要があります。その他の形式で入力しても認識されません。

モデル仕訳とデフォルトの勘定科目コードを入力した場合、モデル仕訳が使用されます。

## (ARG) Entering Additional Customer Master Information for Argentina

Access the A/B Additional Information – Revision form.

**A/B Legal Document Type  
– Argentina** (address book  
legal document type –  
Argentina)

Enter the legal document type (CUIT, DNI, DNRP, and so forth) for the customer.

**Tax ID**

Enter the tax identification code for the customer. The system verifies the number and prints the separators in their correct format, according to the value of TAXC (Person/Corporation Code). If no value exists for TAXC, the system uses the Corporate Entity.

## (ARG) Entering Customer Withholding Information for Argentina

Access the A/B Withholding Information – Revision form.

**Profit Withholding Concept  
– Argentina**

Enter the concept that the system uses as a default when you enter an invoice for the customer.

(BEL) Entering Customer Information for Parent Companies

The Belgian authorities allow only one VAT listing per VAT registration number for the Quarterly and Yearly VAT report.If multiple customers have identical VAT registration numbers within the PeopleSoft EnterpriseOne system, a parent company must report the consolidated information for all its customers to the Belgian authorities.

Access the Address Book Revision form.

**Add'l Ind Tax ID** Enter 2 in this field.This causes all sales and VAT information for multiple customers with the same VAT numbers to be reported as part of this parent customer record.

顧客マスター カテゴリ コードの割り当て

このセクションでは、顧客マスター カテゴリ コード、住所録からのカテゴリ コードの自動更新、有効日付カテゴリ コード、有効日付カテゴリ コードの更新プログラム、および有効日付カテゴリ コードの削除の概要と、以下の方法について説明します。

- 住所録のカテゴリ コードによる顧客マスターの更新
- 顧客マスター カテゴリ コードの追加
- 有効日付カテゴリ コードの追加
- 有効日付カテゴリ コードによる顧客マスター レコードの更新
- 有効日付カテゴリ コードの更新 (R03012A) のデータ選択とデータ順序の設定
- 有効日付カテゴリ コードの更新 (R03012A) の処理オプションの設定
- 有効日付カテゴリ コードの削除
- 有効日付カテゴリ コードの削除 (R03012B) の処理オプションの設定

関連項目:

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

顧客マスター カテゴリ コードについて

カテゴリ コードは、システム処理とレポート作成用に顧客マスター レコードをグループにまとめる目的で使用します。たとえば、顧客に特定の地域を示すカテゴリ コード値を割り当て、計算書または請求書の処理のためにそれらの顧客を選択することができます。

顧客マスター レコードにカテゴリ コードを割り当てるには、3 つの方法があります。

方法	用途
[顧客マスターの改訂] フォームの [フォーム] メニューを使ってカテゴリコードを追加する	[フォーム] メニューの [カテゴリ・コード] を選択して、いつでも顧客マスターレコードにカテゴリコードを手動で追加することができます。

方法	用途
住所録から自動的にカテゴリコードを更新する	顧客マスター MBF 処理オプションプログラム (P0100042) の処理オプションを設定すると、住所録レコードに入力したカテゴリコードの値で顧客マスターレコードが更新されます。この更新は、住所録レコードを追加した場合にのみ行われます。  住所録カテゴリコードの値の変更を顧客マスターレコードに反映するには、カテゴリコードから顧客マスターへのコピープログラム (R01050) を実行する必要があります。
有効日付カテゴリコードを入力して、有効日付カテゴリコードの更新プログラム (R03012A) を実行する	有効日付カテゴリコードを使用する場合、バッチアプリケーションを実行して、その値で顧客マスターレコードを更新する必要があります。

顧客マスター レコードには最高 30 個のカテゴリ コード値を割り当てることができます。

**注:** 請求書を入力すると、顧客マスター レコードの最初の 10 個のカテゴリ コードが、売掛金元帳 (F03B11) の請求書レコードの対応するカテゴリ コードのフィールドにコピーされます。請求書の入力後に顧客マスター カテゴリ コードの値を追加または変更した場合は、住所録からの売掛管理更新プログラム (R03B802) を実行して、請求書のカテゴリ コードの値を更新する必要があります。

## 住所録からのカテゴリ コードの自動更新について

住所録カテゴリ コードに対して行った変更と顧客マスター カテゴリ コードの同期を保つには、カテゴリコードから顧客マスターへのコピー プログラム (R01050) を実行する必要があります。これにより、住所録カテゴリ コードの値が顧客マスター レコードの対応するカテゴリ コードにコピーされます。業種別処理を使用している場合は、データ選択で会社を指定しない限り、全ての会社の全顧客マスター レコードにカテゴリ コードがコピーされます。

処理オプションを使用して、更新するカテゴリ コードを指定できます。また、データ選択を使用して、更新する顧客マスター レコードを絞り込むことができます。

既に入力済みの請求書のカテゴリ コードの値を更新するには、住所録からの売掛管理更新プログラム (R03B802) を実行する必要があります。

## 有効日付カテゴリ コードについて

将来の日付で有効になる新しいカテゴリ コードの値を割り当てるには、有効日付カテゴリ コードを使用します。価格管理システム (45) を使用している場合は、この有効日付カテゴリ コードを使って、価格を割り当てる顧客グループを作成することができます。価格設定が変更されるたびに、新しいカテゴリ コードの値に基づいて顧客グループが自動的に更新されるようにすることができます。

有効日付カテゴリ コードを有効にするには、売掛管理固定情報で設定を行います。

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「拡張売掛管理固定情報の設定」、11 ページ

この設定を行うときには、[顧客マスターの改訂] フォームで [フォーム] メニューから [カテゴリ・コード] を選択してカテゴリ コードの値を追加することはできません。代わりに [有効日付カテゴリ] を選択してください。有効日付カテゴリ コードに入力した値を顧客マスターのカテゴリ コードに反映するには、有効日付カテゴリ コードの更新プログラム (R03012A) を実行します。

有効日付カテゴリ コードの値を変更すると、有効日付使用フィールドは“N”に更新されます。有効日付カテゴリ コードの更新プログラム (R03012A) を実行するまで、新しいカテゴリ コードの値は顧客マスターに反映されません。入力済みの請求書に新しいカテゴリ コードの値を表示するには、住所録からの売掛管理更新プログラム (R03B802) を実行する必要があります。

有効日付カテゴリ コードを削除して有効日付カテゴリ コードの更新プログラムを実行しても、カテゴリ コードの値はブランクになりません。値を削除するには、その値をブランクにした後で更新プログラムを実行する必要があります。有効日付カテゴリ コードは、削除すると、システム内から完全に消去されます。

有効日付カテゴリ コードは、顧客有効日付カテゴリ コード テーブル (F03012A) に保存されます。有効ではなくなったカテゴリ コードを削除するには、有効日付カテゴリ コードの除去プログラム (R03012B) を実行します。

有効日付カテゴリ コードを追加すると、顧客有効日付カテゴリ コード テーブル (F03012A) にレコードが作成されます。[有効日付カテゴリ・コードの改訂] フォームでは、有効日付が異なる複数のレポートを同時に入力することができます。有効日付カテゴリ コードのレコードを追加すると、そのレコードの有効日付使用フィールドは、レコードが未使用であることを示す“N”に更新されます。有効日付カテゴリ コードの更新プログラムを実行すると、有効日付カテゴリ コードレコードの値が業種別顧客マスター (F03012) の顧客レコードのカテゴリ コードにコピーされ、有効日付使用フィールドは“Y”に更新されます。

**重要:** 入力した有効日付カテゴリ コードの各レコードには、前のレコードとの関連性はありません。このため、各レコードには全ての必要な情報を入力してください。たとえば、カテゴリ コード 1 にはあらかじめ値が設定されている場合に、カテゴリ コード 2 に値を設定して新しいレコードを追加するとします。この場合、その新しいレコードにカテゴリ コード 1 の値をもう一度入力する必要があります。そうしなければ、新しいレコードのカテゴリ コード 1 はブランクになります。

## 有効日付カテゴリ コードの更新プログラムについて

有効日付カテゴリ コードを追加した後は、有効日付カテゴリ コードの更新プログラム (R03012A) を実行して、入力した値を顧客有効日付カテゴリ コード テーブル (F03012A) から業種別顧客マスター (F03012) にコピーする必要があります。

このプログラムを実行すると、処理オプションに入力した日付とカテゴリ コードに対して入力した有効日が比較されます。処理オプションの日付が有効日付と同じか後の場合、顧客レコードのカテゴリ コードの値が更新され、有効日付使用フィールドは“Y”に更新されます。

次の表は、有効日付使用フィールドの値の意味を示しています。

有効日付使用の値	説明
N	新しいカテゴリコードレコードが入力されたか、または既存のレコードが変更され、有効日付カテゴリコードの更新プログラムはまだ実行されていない。顧客マスターレコードは、このカテゴリコードの値にまだ更新されていない。
Y	有効日付カテゴリコードの更新プログラムが既に実行されており、顧客マスターレコードは表示されている全ての値に更新済み。

また、更新された顧客マスター レコードとその新しい値を示すレポートも作成されます。

新しい有効日付カテゴリ コードが使用された場合、以前使用されたカテゴリ コードの有効日付使用フィールドは“N”に変更されません。これにより、過去に行われた更新の履歴が残ります。有効日付カテゴリ コードは、除去プログラムを実行するまでシステムで保持されます。

既に入力済みの請求書のカテゴリ コードの値を更新するには、住所録からの売掛管理更新プログラム (R03B802) を実行する必要があります。

## 有効日付カテゴリ コードの削除について

カテゴリ コード レコードが有効ではなくなった場合は、有効日付カテゴリ コードの除去プログラム (R03012B) を実行してシステムから削除することができます。このプログラムを実行すると、次の条件を満たすカテゴリ コードが全て削除されます。

- 有効日付使用フィールドの値が “Y”
- カテゴリ コード レコードの有効日付が除去プログラムの処理オプションで指定した日付と同じかそれより前
- カテゴリ コード レコードが現在有効でない

たとえば、有効日付が 2005 年 6 月 1 日と 15 日の 2 件のカテゴリ コード レコードがある場合に、2005 年 6 月 30 日を使って除去プログラムを実行すると、6 月 15 日のレコードはまだ有効であるため削除されません。6 月 1 日のレコードはもう有効ではないため削除されます。

また、削除された顧客番号とカテゴリ コード レコードのレポートが作成されます。カテゴリ コード レコードは、F03012A テーブルから削除されます。

## 顧客マスター カテゴリ コード値の割り当てに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[顧客マスターの処理]	W03013A	[顧客および請求書の入力] (G03B11)、[顧客マスター情報]	既存の顧客マスターレコードにアクセスします。
[顧客マスターの改訂]	W03013B	[顧客マスターの処理] フォームで、顧客を選択して [選択] をクリックします。	各顧客マスターレコードの確認または変更を行います。
[カテゴリ・コード]	W03013D	[顧客マスターの改訂] フォームで、[フォーム] メニューから [カテゴリ・コード] を選択します。	カテゴリコードを顧客マスターレコードに手動で追加します。  注: [フォーム] メニューの [カテゴリ・コード] が使用不可になっている場合は、[拡張売掛管理固定情報] フォームの [有効日付カテゴリ・コード] がオンになっています。
[有効日付カテゴリ・コードの改訂]	W03012AA	[顧客マスターの改訂] フォームで、[フォーム] メニューから [有効日付カテゴリ] を選択します。	有効日付カテゴリコードを顧客マスターレコードに追加します。  このフォームにアクセスする前に、[拡張売掛管理固定情報] フォームの [有効日付カテゴリ・コード] がオンになっていることを確認してください。

## 住所録のカテゴリコードによる顧客マスターの更新

[住所録上級/技術的操作] メニュー (G0131) から [カテゴリ・コードから顧客マスターへのコピー] を選択します。

## 顧客マスター カテゴリコードの追加

[カテゴリ・コード] フォームにアクセスします。

顧客マスター情報 - カテゴリ・コード

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

顧客No. 3001 Global Enterprises

会社 00000

カテゴリ・コード 1-14 カテゴリ・コード 15-30

カテゴリ・コード01	100	Buenos Aires Branche	カテゴリ・コード08		.
カテゴリ・コード02		.	カテゴリ・コード09	456	Value Added Reseller
カテゴリ・コード03	350	Division 6	カテゴリ・コード10		.
カテゴリ・コード04		.	カテゴリ・コード11		.
カテゴリ・コード05		.	カテゴリ・コード12		.
カテゴリ・コード06		.	カテゴリ・コード13		.
カテゴリ・コード07		.	カテゴリ・コード14		.

[カテゴリ・コード] フォーム

[カテゴリ・コード01] ~ [カテゴリ・コード30]

レポートや宛名ラベルなどの作成に使用する住所録レコードをグループ化するコードを入力します。カテゴリコードは、ユーザー定義コード (システム 01、タイプ 01 ~ 30) です。カテゴリコードは、たとえば次のように使用します。

[カテゴリ・コード01]: 所在地または支店

[カテゴリ・コード02]: 販売担当者

[カテゴリ・コード03]: 製品

[カテゴリ・コード04]: 信用調査係

## 有効日付カテゴリコードの追加

[有効日付カテゴリ・コードの改訂] フォームにアクセスします。

[有効日付]

入力したカテゴリコードの値が有効になる日付を入力します。カテゴリコードの値は、有効日付カテゴリコードの更新プログラムを実行すると、業種別顧客マスター (F03012) に反映されます。



注: 有効日付カテゴリ コードの更新プログラムを実行してプログラムの条件を満たすまでは、有効日付使用フィールドは "N" になります。

## 有効日付カテゴリ コードによる顧客マスター レコードの更新

[住所録上級/技術的操作] メニュー (G0131) から [有効日付カテゴリ・コードの更新] を選択します。

### 有効日付カテゴリ コードの更新 (R03012A) のデータ 選択とデータ順序の設定

このプログラムには、次のデータ選択があらかじめ設定されています。

BC EFTF (有効日付フラグ) が Y と等しくない

この選択は変更したり削除したりしないでください。選択条件を追加することは可能です。

このプログラムには、次のデータ順序があらかじめ設定されています。

1. 住所 No.
2. 会社
3. 有効開始日付

データ順序は変更しないでください。

### 有効日付カテゴリ コードの更新 (R03012A) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

#### デフォルト

有効日付カテゴリ コードの更新に使用するデフォルト日付を指定します。

#### 1. 基準日

有効日付カテゴリ コード レコードの検索に使用する日付を指定します。顧客レコードのカテゴリ コードは、有効日付カテゴリ コード レコードに指定された値に更新されます。入力した日付以前のレコードが検索されます。ブランクにすると、システム日付が使用されます。

### 有効日付カテゴリ コードの削除

[住所録上級/技術的操作] メニュー (G0131) から [有効日付カテゴリ・コードの除去] を選択します。

### 有効日付カテゴリ コードの除去 (R03012B) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

#### デフォルト

有効日付カテゴリ コード レコードを選択するのに使用する日付を指定します。

#### 1. 基準日

顧客有効日付カテゴリ コード テーブル (F03012A) からレコードを削除する際に使用する日付を指定します。入力した日付以前のレコードで、現在有

効ではない全てのレコードが削除されます。ブランクにすると、システム日付が使用されます。

## 顧客マスター レコードの改訂と削除

このセクションでは、顧客マスター レコードの改訂と削除の概要について説明します。

### 顧客マスター レコードの改訂について

顧客マスター情報はいつでも変更することができます。売掛管理システムでは、顧客マスターの情報をスピーディに変更できるように、顧客マスター レコードに直接アクセスするための [フォーム] メニューが多くのフォームに備わっています。

請求書が入力済みの場合は、顧客マスター レコードを改訂する前に、以下の点に留意する必要があります。

請求書を入力すると、F03B11 テーブルにレコードが作成され、顧客マスター レコードからさまざまなタイプの顧客情報が保存されます。このため、顧客マスターの以下の情報を変更した場合は、住所録からの売掛管理更新プログラム (R03B802) を実行するまで、請求書にはその変更は反映されません。

- 代替支払人
- 親住所 No.
- 請求書送付先
- 計算書送付先
- 計算書の印刷
- 回収レポート
- カテゴリ コード 1 ~ 10

また、住所録レコード内の名称を変更した場合は、住所録からの売掛管理更新プログラムを実行してその名称を請求書に反映させる必要があります。住所録レコード内の名称は、作成する請求書や計算書に印刷されるため、R03B802 プログラムは頻繁に実行してください。

### 顧客マスター レコードの削除について

顧客マスター レコードを削除すると、以下のテーブルにその顧客のトランザクションがないかどうかを検証されます。トランザクションが 1 つでもある場合、その顧客マスター レコードは削除できません。まず、以下のテーブルからレコードを削除した後、顧客マスター レコードを削除してください。

テーブル	名称
F0150	住所組織構造マスター
F03B11	売掛金元帳
F03B13	入金見出し
F03B29	与信保険

テーブル	名称
F0411	買掛金元帳
F060116	従業員マスター情報
F08901	参加者ファイル
F0911	取引明細
F0902	勘定残高(住所番号が補助元帳として使用されている場合)
F1501B	賃貸契約マスター見出し
F1797	サービス/ワランティ管理住所録情報
F4013	オーダー処理相互参照
F4102	事業所品目
F4211	受注明細
F4311	購買明細
F4801	作業オーダー マスター
F5201	契約マスター

転記済みの請求書や受注オーダーが存在するために顧客マスター レコードを削除できない場合は、次の方法で取引を入力できないようにすることができます。

- ・ 請求書: [顧客マスターの改訂] フォームの [請求書保留] フィールド (HDAR) をオンにして、その顧客に対して新しい請求書を入力できないようにします。
- ・ 受注オーダー: [請求情報] フォームの [オーダー保留コード] フィールドを更新して、受注オーダーを入力できないようにします。

顧客レコードを削除すると、F03012 テーブル以外に、以下で示すテーブルからもレコードが削除されます。

テーブル	名称
F0030	銀行/支店マスター
F0101	住所録マスター
F01092	補足データベース - コード
F01093	補足データベース - 説明
F0111	住所録 - 人名録
F0115	住所録 - 連絡先電話番号

テーブル	名称
F0116	日付別住所
F01815	住所録検索マスター
F0401	仕入先マスター

## カスタマ セルフサービス プログラムの利用

このセクションでは、カスタマ セルフサービス プログラムの概要と、その使用方法について説明します。

### カスタマ セルフサービス プログラムについて

カスタマ セルフサービス プログラム (P03013SS) を使用すると、顧客自身が顧客マスター情報をオンラインで確認でき、与信限度額の変更をリクエストすることができます。顧客は、以下の顧客マスター レコードの情報を確認することができます。

- 税情報
- 請求書情報
- 与信情報
- 回収情報
- 請求情報

顧客がカスタマ セルフサービス プログラムを使用して与信限度額の変更をリクエストすると、割り当てられた与信管理者にワークフロー メッセージが送信されます。与信管理者は、そのリクエストを承認または却下します。リクエストが承認された場合、それに応じて、顧客マスター レコードの与信限度額が更新されます。

与信限度額変更の承認 (CREDLIMIT) ワークフローにより、顧客によって与信限度額の変更がリクエストされ、承認が必要であることを通知するメッセージが与信管理者に送信されます。このメッセージが送信されるようにするには、以下の設定タスクを実行する必要があります。

- 顧客に対する与信管理者の割り当て
- その与信管理者に有効な住所番号が設定されていることの確認
- 住所録の改訂プログラムの [電子メール/インターネットの改訂] フォームで、その与信管理者の内部アドレスを追加
- CREDLIMIT ワークフローのアクティブ化

顧客に与信管理者を割り当てていない場合、[与信限度額の変更要求] ボタンは使用不可になり、顧客による変更のリクエストは行えません。与信管理者は割り当て済みで、CREDLIMIT ワークフローをアクティブにしていない場合は、通知のみのワークフロー メッセージが該当する与信管理者に送信されます。このメッセージは、顧客が与信限度額の変更をリクエストしたという情報のみを与信管理者に通知するだけで、承認要求は通知されません。与信管理者に内部アドレスが設定されていない場合は、[電子メール/インターネットの改訂] フォームで該当する与信管理者に対して設定されている電子メール アドレスに通知メッセージが送信されます。

参照: [第 6 章、「与信/回収管理の設定」](#)、「顧客への与信/回収情報の割り当て」、124ページ

参照: 第 6 章、「与信/回収管理の設定」、「与信/回収のワークフローメッセージの有効化」、129ページ

## カスタマ セルフサービスによる顧客マスター情報の更新に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[カスタマ・セルフサービス]	W03013SSA	[セルフサービス・アプリケーション] (4/G01101)、[カスタマ・セルフサービス]	顧客マスター情報の確認と与信限度額の変更要求を行います。
[与信限度額]	W03013SSC	[カスタマ・セルフサービス] フォームで [与信限度額の変更要求] ボタンをクリックします。	与信限度額の変更額を入力します。
[送信メッセージ]	W03013SSB	与信限度額の変更要求フォームで [要求与信限度額] フィールドに金額を入力し、[OK] をクリックします。	[OK] をクリックして、与信限度額の変更リクエストを送信します。

## カスタマ セルフサービス プログラムの利用

[カスタマ・セルフサービス] フォームにアクセスします。

カスタマ・セルフサービス

開じる(L)

会社名:Megan住所録No.:5961687

Tax Information

税IDタイプ税目コード

税ID追加税ID

Invoice Information

支払条件Net 30 Days親

代替支払人通貨コード

請求書送付先Customer Number (AN8)

Credit Information

与信限度額Unlimited顧客レコード作成日付

与信限度額の変更要求

Collection Information

計算書送付先Customer Number (AN8)

Billing Information

最大オーダー値最小オーダー値

配送指示1貨物/運賃取扱コード

「カスタマ・セルフサービス」フォーム

[カスタマ・セルフサービス] フォームで確認用に表示されるフィールドは、[顧客マスターの改訂] フォームで表示されるものと同じです。

[与信限度額の変更要求] ボタンをクリックして、与信限度額の変更をリクエストします。顧客に対して与信管理者を割り当てていない場合は、このボタンは使用不可になります。

参照: 第 3 章、「顧客マスター情報の設定」、「顧客マスターレコードの入力」、43ページ

## 第 4 章

# 受取手形の設定

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、手形の設定、UDC (ユーザー定義コード) の設定、AAI (自動仕訳) の設定、支払手段のデフォルト設定、自動採番の設定の概要と、以下の方法について説明します。

- (ESP) Set up draft stamps for Spain
- 銀行/支店情報の検証

---

## 手形の設定について

手形の処理では、専用のユーザー定義コード (UDC) と自動仕訳 (AAI) が使用されます。また、ほとんどの会社では、銀行手数料の負担を避けるため、手形を処理する顧客の銀行口座情報を設定します。支払手段によって、手形を処理する顧客とそれ以外の顧客を区別したり、自社から手形を発行する顧客と顧客側で手形を発行する顧客を区別することができます。また、銀行口座情報がある顧客とそれ以外の顧客も支払手段によって区別することができます。

---

## UDC の設定について

UDC は売掛管理システム全般にわたって使用されます。このセクションでは、手形処理に使用する UDC について、新規コードの追加や既存のコードの変更や、プログラムでの使用方法の詳細を説明します。

### 手形状況コード (03B/DS)

手形状況コードはハードコード化されています。手形の処理状況によって、F03B13 テーブルの手形レコードは以下のいずれかの状況に更新されます。

コード	コード記述	用途の説明
4	受取済み手形	手形入力プログラムを使用して手形を入力するか、事前承認手形プログラム (R03B671) を実行して手形を作成すると、手形はこの状況に更新されます。
3	現金化または割引手形として取立	手形取立プログラム (R03B672) を実行し、手形の現金化や割引手形での取立を指定すると、手形はこの状況に更新されます。

コード	コード記述	用途の説明
2	偶発債務を伴う取立	手形取立プログラムを実行し、偶発債務での手形の取立を指定すると、手形はこの状況に更新されます。
0	決済	手形の回収(状況更新)プログラム(R03B680)を実行すると、手形はこの状況に更新されます。

### 支払手段コード (00/PY)

手形処理での支払手段の使用は必須ではありません。支払手段を使用すると、レポート作成と会計処理のために手形を分類することができます。たとえば、自社で発行した手形と顧客が発行した手形を区別する場合や、銀行口座情報がある顧客とない顧客を区別する場合に、手形にそれぞれ異なる支払手段を割り当てることができます。手形に割り当てた支払手段を RD1x、RD2x、RD3x、RD4x (x は支払手段) などの AAI 項目と併用し、支払手段に基づいて個別の勘定科目を割り当てすることも可能です。

次の表は、手形処理用に設定されている支払手段の例を示しています。これらのコードを使用することも、別のコードを設定することもできます。

コード	コード記述	手形処理での推奨使用法
D	請求書別手形	請求書別に手形を印刷する際にデータ選択でできるように、作成する請求書にこの支払手段を割り当てます。
F	計算書別手形	計算書別に手形を印刷する際にデータ選択でできるように、作成する請求書にこの支払手段を割り当てます。
1	銀行口座番号が記載された自社作成手形	手形入力(自社)プログラム(P03B602)を使用して入力した手形に顧客の銀行口座情報があることを示すために、手形にこの支払手段を割り当てます。
2	銀行口座番号が記載された顧客発行手形	手形入力(顧客)プログラム(P03B602)を使用して入力する顧客作成手形にこの支払手段を割り当てて、顧客の銀行口座情報が記載されていることを示すことができます。



コード	コード記述	手形処理での推奨使用法
3	銀行口座番号が記載されていない 自社作成手形	手形入力(自社)プログラムを使用して入力する手形にこの支払手段を割り当てて、手形に顧客の銀行口座情報が記載されていないことを示すことができます。
4	銀行口座番号が記載されていない 顧客発行手形	手形入力(顧客)プログラムを使用して入力する手形にこの支払手段を割り当てて、顧客の銀行口座情報が記載されていないことを示すことができます。

注: 支払手段は他のシステムでも使用されるため、この表にあるコードの記述は UDC (00/PY) の記述と異なる場合があります。

### 支払状況コード (00/PS)

支払状況コードはハードコード化されています。請求書が手形処理のどの段階にあるかによって、F03B11 テーブルの請求書レコード (伝票タイプ RI) と手形レコード (伝票タイプ R1) は以下のいずれかの支払状況に更新されます。

コード	コード記述	手形処理の段階	用途の説明
A	支払承認済み	請求書の作成	顧客が手形で支払う前提で請求書を作成すると、この支払状況コードが請求書に割り当てられます。
P	全額支払済み	手形の受取と回収	手形を受け取ると、請求書はこの支払状況に更新されます。また、手形を回収した場合も手形がこの支払状況に更新されます。
D	手形受取済み	手形の受取	手形を受け取ると、手形はこの支払状況に更新されます。
#	明細に登録済	手形登録	手形を登録すると、手形はこの支払状況に更新されます。
G	預入済み決済前手形	手形の取立	手形を銀行に持ち込んで、手形の情報を更新すると、手形はこの支払状況に更新されます。

### (ARG) Bank Codes (76A/BK) and Clearing Codes (76A/CL)

In addition to the standard UDC setup, set up UDC table 76A/BK and 76A/CL for Argentinean drafts.

In addition, you can set up these optional UDC tables for Argentinean drafts:

- Stamp Fees (03B/RB)
- Charge Back Reason Codes (03B/CB)
- Draft Status – Argentina (76A/DS)

---

注: If the payment instrument is cash, these UDCs must each have blank as a value.

---

### (JPN) 手形状況コード (75/PS)

この UDC は、日本の手形の処理状況を識別するために設定します。以下のコードを設定します。

- #: 選択済み
- D:受取済み
- G:振出済み
- P:支払済み (割引手形)
- R:更新 (割引手形)

### (ESP) Draft Print Program (03B/DP)

Set up each draft print program that you use in conjunction with the Invoice Group by Draft program (R03B5052). These draft print programs are available for Spain:

- R74S500 (Print Receipt with Letter)
- R74S502 (Print Drafts from Invoices)

### 関連項目:

EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

---

## AAI の設定について

AAI を使用して、仕訳入力を自動的に作成するプログラムのための規則を定義します。会社別の手形 AAI は、固有の勘定科目を使用する会社のみに対して設定します。同じ勘定科目を使用する会社に対して個別に AAI を設定する必要はありません。会社で AAI が見つからない場合は、デフォルトの会社 00000 の AAI が使用されます。手形処理で使用する AAI の設定は、売掛管理システムの他の AAI と同じ方法で行います。

手形処理には以下の AAI が使用されます。x は支払手段を示します。

### 受取手形 (RD1x)

AAI 項目 RD1x には、手形の受取時に借方に計上する受取手形勘定を定義します。処理オプションの設定を上書きしない限り、受取手形勘定 (RD1x) が借方に、売掛金勘定 RCxxxx (xxxx は元帳クラス) が貸方に自動的に仕訳されます。

次の図は、手形受取時の仕訳作成に使用される AAI を示しています。

手形の入力	
RD1x	RCXXXX RCUC

AAI 項目 RD1x による手形入力の T 字勘定

手形の取立時には、取立手形勘定 (RD2x、RD3x、RD4x) が借方に、売掛金勘定 (RD1x) が貸方に仕訳されます。

### 取立手形 (RD2x)

AAI 項目 RD2x には、現金化のための取立処理時に借方に計上する取立手形勘定を定義します。処理オプションの設定を上書きしない限り、取立手形勘定 (RD2x) が借方に、受取手形勘定 (RD1x) が貸方に仕訳されます。

次の図は、手形取立時の仕訳作成に使用される AAI を示しています。

手形の取立 (持込み)	
RD2x	RD1x

AAI 項目 RD2x による手形取立の T 字勘定

手形を回収すると、銀行勘定 (RB) が借方に、取立手形勘定 (RD2x) が貸方に仕訳されます。

次の図は、手形回収時の仕訳作成に使用される AAI と勘定科目を示しています。

手形の回収	
銀行勘定科目	RD2x

AAI 項目 RD2x による手形回収の T 字勘定

### 割引取立手形 (RD3x)

AAI 項目 RD3x には、割引手形として取立処理を行う際に借方に計上する割引取立手形を定義します。手形の取立処理時に、処理オプションで割引手形勘定を設定する必要があります。割引取立手形勘定 (RD3x) が借方に、受取手形勘定 (RD1x) が貸方に自動的に仕訳されます。

手形を回収すると、銀行勘定 (RB) が借方に、割引取立手形勘定 (RD3x) が貸方に仕訳されます。

### 偶発債務 (RD4x)

AAI 項目 RD4x には、割引手形として取立処理を行う際に貸方に計上する偶発債務勘定を定義します。これは、割引手形を処理する場合に、満期日が到来するまで偶発債務として計上しておく必要がある場合に必要です。手形の取立処理時に、処理オプションで偶発債務勘定を設定する必要があります。割引取立手形勘定 (RD3x) が借方に、受取手形勘定 (RD1x) が貸方に仕訳されます。また、処理オプションに基づいて、取立の銀行勘定または登録処理で使用された銀行勘定が借方に計上され、処理オプションを変更しない限り偶発債務勘定 (RD4x) が貸方に計上されます。

手形の決済時には、偶発債務勘定 (RD4x) の借方仕訳と割引取立手形勘定 (RD3x) の貸方仕訳が自動的に作成されます。

### 無効/残高不足 (RD5)

AAI 項目 RD5 には、手形を無効または残高不足 (NSF) として処理した場合に作成される新しい手形に対する受取手形勘定を指定します。無効または NSF に指定したときの手形状況によって、AAI 項目 RD5 に関連付けられた勘定科目が借方に、受取手形勘定 (RD1x) または取立手形勘定 (RD2x または RD3x) のいずれかが貸方に計上されます。

## 手形タイプ別 AAI

以下の各表には、手形処理の各ステップで、各種の手形に対して使用される AAI が示されています。表中の AAI 項目には、支払手段を表す x が含まれています。

### 標準の手形

次の表には、標準の手形に使用される AAI が示されています。

ステップ	借方勘定科目	AAI 項目	貸方勘定科目	AAI 項目
受取	受取手形	RD1x	売掛管理	RC
取立	取立手形	RD2x	受取手形	RD1x
回収	銀行勘定科目	RB	取立手形	RD2x

### 割引手形

次の表には、割引手形に使用される AAI が示されています。

ステップ	借方勘定科目	AAI 項目	貸方勘定科目	AAI 項目
受取	受取手形	RD1x	売掛管理	RC
取立	割引取立手形	RD3x	受取手形	RD1x
回収	銀行勘定科目	RB	割引取立手形	RD3x

### 偶発債務を伴う割引手形

次の表には、偶発債務を伴う割引手形に使用される AAI が示されています。

ステップ	借方勘定科目	AAI 項目	貸方勘定科目	AAI 項目
受取	受取手形	RD1x	売掛管理	RC
取立	割引取立手形	RD3x	受取手形	RD1x
取立	銀行勘定科目	RB	偶発債務手形	RD4x
回収	偶発債務手形	RD4x	割引取立手形	RD3x

### 各ステップで作成される手形レコード

手形を処理すると、入金明細テーブル (F03B14) に、使用した状況別にレコードが作成されます。略式 ID フィールド (AID2) の値は、手形用の AAI から特定される勘定科目 ID に更新されます。手形の状況ごとに新しいレコードが作成されます。手形を転記すると、AID2 フィールドの略式 ID を使用して該当する勘定科目の仕訳が作成されます。手形で支払われる各請求書に対して作成されたレコード (F03B14 テーブル内) と区別するため、手形処理の各ステップで作成される手形レコードの入金タイプ フィールド (TYIN) の値は D に更新されます。

たとえば、2 件の請求書に対して支払われる手形を入力すると、F03B14 テーブルには 3 件のレコードが作成されます。このうちの 2 件は請求書の支払の記録に使用され、もう 1 件は手形の受取の記録に使用されます。このレコードの TYIN フィールドの値は D に更新され、AID2 フィールドの値は AAI 項目 RD1x から特定された略式 ID に更新されます。

この手形の取立処理を行うと、偶発債務を伴うかどうかによって、F03B14 テーブルに以下の 2 件または 3 件のレコードが作成されます。

- 受取手形勘定を相殺 (貸方計上) するレコード
- 取立手形勘定を更新するレコード
- 偶発債務勘定を更新するレコード (取立に偶発債務が伴う場合)

各レコードの TYIN フィールドの値は D に更新され、AID2 フィールドの値は AAI 項目 RD3x から特定された略式 ID に更新されます。

この手形の回収時には、以下の処理が実行されます。

- F03B14 テーブルにレコードが追加作成されます。
- TYIN フィールドの値が D に更新されます。
- 取立レコード (取立が未処理の場合は AAI 項目 RB) で指定された銀行勘定科目コードで銀行勘定フィールド (GLBA) の値が更新されます。

## 支払手段のデフォルト設定について

手形で支払われる請求書とそれ以外の請求書を区別するために、顧客マスターでデフォルトの支払手段を設定することができます。請求書で変更しない限り、請求書レコードは顧客マスターで指定した支払手段に更新されます。手形処理では、支払手段を使用して、手形と共に請求書を印刷する顧客と計算書を印刷する顧客を区別することができます。

また、銀行口座情報がある手形とそれ以外の手形も支払手段によって区別することができます。手形入力プログラムの処理オプションでは、この区別を行うために支払手段を設定することができます。F03B11 テーブルの請求書レコード (伝票タイプ R1) と F03B13 テーブルの入金レコードは、処理オプションで指定された支払手段に更新されます。

UDC 00/PY に設定されている手形用の支払手段であれば、いずれの支払手段も選択することができます。支払手段はハードコード化されていません。

以前に入力した請求書の支払手段を更新する場合は、スピード リリース プログラム (P03B114) を使用して、特定の顧客の全請求書を対象として、または請求書別に更新することができます。

#### 関連項目:

第 3 章、「顧客マスター情報の設定」、「顧客マスターレコードの入力」、43ページ

---

## 自動採番の設定について

手形処理時には、以下の自動採番機能によって伝票番号が割り当てられます。

- 小切手番号 (システム 03B、行 5): 入金用の自動採番です。
- 未充当金 (システム 03B、行 2): 伝票タイプ RU に対して会社別、会計年度別の自動採番を設定できます。
- 再請求番号 (システム 03B、行 3): 伝票タイプ RB に対して会社別、会計年度別の自動採番を設定できます。
- 支払 ID (システム 03B、行 10):
- 手形番号 (システム 03B、行 6): 伝票タイプ R1 に対して会社別、会計年度別の自動採番を設定できます。

#### 関連項目:

第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理の自動採番」、23ページ

---

## (ESP) Setting Up Draft Stamps for Spain

This section provides an overview of draft stamps and discusses how to set up fees for draft stamps.

### Understanding Draft Stamps

Spanish law allows you to collect payment on multiple invoices by combining those invoices on a draft. The government collects a fee on drafts by requiring that the draft be printed on special paper with a government stamp. Spanish businesses pay the fee by purchasing the stamped paper. The amount of the fee depends on the amount of the draft. The government provides various stamps that correspond to the different fees.

To process drafts in the Accounts Receivable system, you need to set up a fee table. The fee table lists the fees for various draft amounts. You can set up more than one fee table and distinguish one from another by currency code, months outstanding, or effective date. For example, you might set up one fee table for drafts that are due within six months and another fee table for drafts with a due date that is more than six months away.

When a draft amount exceeds the upper limit on the fee table, the government increases the fee amount in proportion to the increase in the draft amount.

You should set up fees for draft stamps when you begin using the Accounts Receivable system to process drafts. You can revise the table of fees if the government changes the fees.

The system stores fee tables in these tables:

- Stamps (Timbres) Fee Detail (F74S502).
- Stamps (Timbres) Fee Header (F74S505).

## Forms Used to Set Up Fees for Draft Stamps





フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Stamp (Timbre) Fees	W74S505A	Spanish Draft Processing (G74S03B161), Maintenance of Stamp Fees.	Locate Spanish stamp fees.
Stamp (Timbre) Fees Detail	W74S505B	On the Work With Stamp (Timbre) Fees form, click Add.	Set up fees for Spanish draft stamps.

## Setting Up Fees for Draft Stamps

Access the Stamp (Timbre) Fees Detail form.

**Maintenance of Stamp Fees - Stamp (Timbre) Fees Detail** i ?

OK Delete Cancel Tools

---

Currency Code ★  *Euro*

Months Outstanding  Effective Date ★

---

**Records 1 - 6** Customize Grid ☐

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Check Amount	Stamp ★ Fee	Additional Fee Amt	For Each Amt
<input type="checkbox"/>		4,000.00	10.00		
<input type="checkbox"/>		8,000.00	20.00		
<input type="checkbox"/>		15,000.00	40.00		
<input type="checkbox"/>		30,000.00	80.00		
<input type="checkbox"/>		<input type="text" value="60,000.00"/>	<input type="text" value="160.00"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>					

Stamp (Timbre) Fees Detail form

<b>Currency Code</b>	Enter the code that identifies the currency of the fees.
<b>Months Outstanding</b>	Enter the number of months between the draft emission date and the draft due date.
<b>Effective Date</b>	Enter the date on which stamp fees become effective.
<b>Check Amount</b>	<p>Enter the upper limit of the receipt amounts to which the fee applies. For example, if you enter a check amount of 4000 on the first line with a corresponding stamp fee of 10, all receipts less than or equal to 4000 will require a stamp fee of 10.</p> <p>The check amount you enter also becomes the lower limit for the next line. For example, if you enter a check amount of 4000 on the first line and a check amount of 8000 on the second line, all receipts that are greater than 4000 and less than or equal to 8000 require the stamp fee that corresponds to the 8000 check amount.</p>
<b>Stamp Fee</b>	<p>Enter the fee amount (Timbre) paid to the government when a draft (Efecto) is created. The fee is based on these factors:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• The amount of the draft receipt.</li> <li>• The number of days between the draft origination date and the draft due date.</li> <li>• The currency code.</li> <li>• The effective date.</li> </ul>
<b>Additional Fee Amt</b> (additional fee amount)	Enter the additional fee amount that will be added to the original fee amount obtained from the fee table. An additional fee amount is added when the draft amount is beyond the upper limit that is listed on the table.
<b>For Each Amt</b> (for each amount)	Enter the additional draft amount for which you have to pay an additional fee. For example, if you must pay a 3 euro fee for each additional 1000 euros of the draft amount, you would enter 1000 in this field and enter 3 in the Additional Fee Amount field.

---

**注:** You complete the Check Amount and Stamp Fee fields for each row in the fee table. You complete the Additional Fee Amt and For Each Amt fields only for last row in the fee table.

---

## 銀行/支店情報の検証

このセクションでは、銀行/支店情報の検証の概要と、以下の方法について説明します。

- 銀行口座例外レポートの印刷
- 銀行口座例外レポートの処理オプションの設定

### 銀行/支店情報の検証について

銀行口座例外レポート (R00314) を使用して、各顧客の銀行/支店コードの有効性を確認することができます。レポートには銀行/支店マスター (F0030) の情報が印刷されます。

このレポートには以下の 2 つのバージョンがあります。



- 銀行検証 – 国別:このバージョンでは、銀行/支店番号が国別の規則に準拠していない顧客銀行口座レコードを印刷します。
- 銀行検証 – B タイプ銀行:このバージョンでは、銀行/支店番号がタイプ “B” のレコードに関連付けられていない顧客銀行口座レコードを印刷します。

このレポートでは、住所番号が設定されていない口座番号は無視されます。

このレポートを実行してもデータは更新されません。例外レポートを実行して、例外のレコードが検出された場合には、以下のいずれかの処理を行う必要があります。

- 銀行口座参照プログラム (P0030A) を使用して、顧客の銀行/支店コードを修正します。
- 住所別銀行口座プログラム (P0030A) を使用して銀行口座レコードを設定し、未設定の B レコードを追加します。

## 銀行口座例外レポートの印刷

[手形の取立/回収] メニュー (G03B162) で [銀行口座例外レポート] を選択します。

## 銀行口座例外レポートの処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 妥当性検査

#### 銀行妥当性検査

銀行/支店コードの検証基準として、銀行タイプまたは国別の検証規則のいずれかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 適用可能な国別の規則 (現時点ではイタリア、日本、フランスの規則) に基づいて銀行/支店コードの検証が行われます。

B: 銀行タイプの方法に基づいて銀行/支店コードの検証が行われます。



## 第 5 章

# 自動入金処理の設定

この章では、自動入金処理、銀行勘定、自動入金マッピングの設定の概要と、以下の方法について説明します。

- 自動入金処理のためのシステム設定
- アルゴリズムの定義
- 実行リストの定義と変更
- 自動入金処理のための顧客の設定

## 自動入金処理の設定について

顧客の入金を自動的に処理するには、事前に以下の設定を行う必要があります。

設定ステップ	説明
システムの設定	売掛管理固定情報プログラム (P0000) で、自動入金処理を行う各会社の [自動入金] チェックボックスをオンにします。
アルゴリズムの定義	<p>入金を顧客の売掛金勘定と照合する方法を決定するアルゴリズムを定義します。</p> <p>以下のアルゴリズムは、システムで標準提供されています。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 既知請求書照合 (金額あり)</li><li>• 既知請求書照合 (金額なし)</li><li>• 残高繰越照合</li><li>• 請求書選択照合</li><li>• 組合せ請求書照合</li></ul>
実行リストの定義	<p>アルゴリズムの定義の完了後に、それらを実行する順序を指定する実行リストを定義します。実行リストの定義を完了したら、顧客の支払形態に基づいてそのリストを顧客に割り当てます。</p> <p>この設定を行うユーザーは、顧客の支払慣習を熟知している必要があります。それによって、顧客からの入金を効率的かつ正しく処理することができます。</p>

設定ステップ	説明
顧客の設定	顧客レコードの[自動入金 (Y/N)] チェックボックスをオンにする必要があります。さらに、入金処理時に割り当て可能なデフォルトの実行リストとは異なるアルゴリズムを使用する場合は、その実行リストを顧客に割り当てる必要があります。
自動入金アップロードテーブル (F03B13Z1) への情報のマッピング	<p>銀行からの顧客入金情報を売掛管理システムに転送するには、事前に銀行情報を F03B13Z1 テーブルの各フィールドにマッピングしておく必要があります。この設定は、以下のいずれかの方法で行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>銀行で使用されている媒体 (テープ、フロッピー ディスク、CD など) から入金情報をアップロードするカスタムプログラムの作成</li> <li>EDI (電子データ交換) によるロックボックス処理</li> <li>テキストファイル処理プログラム (P007101) を使用した入金情報の転送</li> </ul>

## 銀行勘定について

F03B13Z1 テーブルの情報と入金見出しの更新 (画面上は “入金明細の更新”) プログラム (R03B551) の処理オプションの設定によっては、会社の銀行の銀行勘定レコードの入力が必要になる場合があります。

次の表は、入力されたフィールドと、入金見出しの更新プログラム (R03B551) の処理オプションのデフォルト タブにある銀行勘定の略式 ID オプションの値に基づいて、システム内で銀行勘定情報がどのような条件の下でどのように使用されるかを示しています。

テーブルのキー フィールドは以下のとおりです。

- GLBA = 銀行勘定科目
- EHBK = 口座番号 (自社)
- EHTN = 銀行/支店 (自社)

**注:** 銀行勘定略式 ID の検索には、口座番号のフィールドと銀行/支店情報のフィールドの両方が使用されます。EHBK に値を入力した場合は、EHTN にも値を入力する必要があります。

F03B13Z1 テーブルのフィールドの組み合わせ	銀行勘定の略式 ID の処理オプション	銀行勘定の必要条件	結果
GLBA – 値 EHBK – 対象外 EHTN – 対象外	該当なし	なし	GLBA に値が入力されている場合、EHBK、EHTN および処理オプションの値は無視されます。  GLBA で指定された銀行勘定科目に情報が更新されます。
GLBA – ブランク EHBK – 値 EHTN – 値	該当なし	銀行勘定レコード(レコードタイプ G)が銀行/支店マスター (F0030) に格納されている必要があります。  顧客の銀行口座に対する必要条件はありません。	銀行勘定の略式 ID の検索には EHBK と EHTN の値が使用されます。
GLBA – ブランク EHBK – ブランク EHTN – ブランク	値	なし	処理オプションで指定した値が使用されます。

注: これらのフィールドと処理オプションに対して上記以外の組み合わせを使用した場合はエラーが返され、自動入金処理を行うことができません。

### 顧客銀行口座の必要条件

自動入金処理を行う各顧客の銀行口座情報の設定に関する必要条件はありません。ただし、顧客銀行口座 (CBNK) と顧客銀行/支店 (TNST) フィールドに値がある場合、その値を使って銀行/支店マスター (F0030) で住所番号が検索され、入金見出しテーブル (F03B13) の支払人フィールド (PYR) でその住所番号が使用されます。最初に支払人の銀行レコード (レコードタイプ P) の取得が試行され、見つからない場合は、顧客の銀行レコード (レコードタイプ C) が使用されます。

銀行口座レコードが見つからない場合は、請求書レコードの支払人や顧客番号などの別の条件を使って支払人フィールドが更新されます。

## 自動入金のマッピングについて

自動入金処理には、F03B13Z1 テーブルと F03B13 テーブルが使用されます。自動入金アップロード テーブルには銀行テーブルからロードされた情報が格納されるため、銀行で入力された情報が含まれています。入金見出しの更新プログラム (R03B551) を実行すると、F03B13Z1 テーブルから F03B13 テーブルと F03B14 テーブルにレコードが作成されます。

入金と請求書の突き合わせを正しく行うには、入金と請求書の突合せプログラム (R03B50) の実行のために F03B13Z1 テーブルから取得する必要のあるデータのタイプを確認しておく必要があります。

参照: 付録 B, 「自動入金処理のためのフィールドのマッピング」, 703 ページ

**関連項目:**

第 11 章、「自動入金処理」、「自動入金の検討、改訂、および追加」、325ページ

---

## 自動入金処理のためのシステム設定

自動入金処理を行う各会社に対しては、売掛管理固定情報で [自動入金] チェック ボックスをオンにする必要があります。会社 00000 に対してこのチェック ボックスをオンにできますが、それによって全ての会社の自動入金処理が有効になるわけではありません。

**関連項目:**

第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理会社制御の設定」、13ページ

---

## アルゴリズムの定義

このセクションでは、アルゴリズムの概要を示し、以下の設定方法について説明します。

- 処理オプション: 既知請求書照合 - 金額あり (R03B50D)
- 処理オプション: 既知請求書照合 - 金額なし (R03B50E)
- 処理オプション: 残高繰越照合 (R03B50B)
- 処理オプション: 請求書選択照合 (R03B50A)
- 処理オプション: 組合せ請求書照合 (R03B50F)

**関連項目:**

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Development Tools: Report Design Aid および PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Development Tools: Report Printing Administration Technologies

第 5 章、「自動入金処理の設定」、「実行リストの定義と改訂」、99ページ

## アルゴリズムについて

入金と請求書の照合を自動的に行うには、アルゴリズムを定義する必要があります。アルゴリズムとは、限られた処理ステップの中で特定の問題を解決するためにあらかじめ定義された一連の指示です。処理対象の顧客情報の量に基づいて、自動入金処理時の入金と請求書の照合方法を指示するアルゴリズムを定義します。

以下の 5 つのアルゴリズムは、システムに標準提供されています。各アルゴリズムは 1 つのバッチ バージョンとして提供されています。

アルゴリズム	名称
既知請求書照合 - 金額あり (R03B50D)	顧客から請求書を特定する情報が提供され、請求書突き合わせる金額が指定されます。

アルゴリズム	名称
既知請求書照合 - 金額なし (R03B50E)	顧客から請求書を特定する情報が提供されますが、突き合わせる金額は指定されません。
残高繰越照合 (R03B50B)	顧客から具体的な情報は提供されません。入金を請求書の新旧またはその逆順に突き合わせます。
請求書選択照合 (R03B50A)	顧客から具体的な情報は提供されません。支払期日に基いて、1 件の請求書または現在の残高との突き合わせが行われます。
組合せ請求書照合 (R03B50F)	顧客から具体的な情報は提供されません。入金と、組み合わされた請求書との突き合わせが行われます。照合のパターンを特定するために選択される請求書の件数を定義します。

既存のバージョンをそのまま使用することも、既存のバージョンの処理オプション、データ選択、データ順序を変更して、新しいバージョンを作成することもできます。

アルゴリズムは、入金消込アルゴリズム実行リスト テーブル (F03B50) に保存されます。

### アルゴリズムのデータ選択とデータ順序

アルゴリズムのデータ選択またはデータ順序の変更では、処理対象として選択される入金とその順序のみを変更できます。たとえば、特定の日付、特定の顧客または顧客のグループの入金を処理するように設定できます。

照合処理で選択される請求書を指定するには、請求書選択照合レポートの請求書選択/読み込み (F03B11) グループ セクションと関連するデータ選択を変更する必要があります。これには、レポート設計ツール (RDA) を使用します。たとえば、再請求や延滞利息金処理によって作成された請求書のみが処理されるように指定できます。

照合処理で選択される請求書の順序を指定するには、請求書選択照合レポートの請求書選択/読み込み (F03B11) グループ セクションと関連するデータ順序を変更する必要があります。この設定は、対象のバージョンを RDA で開いて行います。たとえば、他の請求書を処理する前に、再請求や延滞利息金によって作成された請求書を処理することができます。

**重要:** RDA でのデータ選択やデータ順序の変更は、バッチ プログラムとその設計に詳しい担当者が行ってください。レポートに不適切な変更を加えると、プログラムが正しく動作しなくなる場合があります。

### 既知請求書照合 - 金額あり (R03B50D)

入金と請求書の突き合わせの最も標準的な方法は、既知請求書照合 (金額あり) アルゴリズムの使用です。このアルゴリズムは、支払対象の請求書と、各請求書に突き合わせる金額を顧客が指定する場合に使用します。この情報は、自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) から検索されます。

この方法を使用して、50,000.00 の入金を以下のように消し込むことができます。

- 請求書 123 に 20,000.00 を突き合わせて消込
- 請求書 124 に 15,000.00 を突き合わせて消込
- 請求書 125 に 15,000.00 を突き合わせて消込

請求書番号と金額は F03B13Z1 テーブルで指定されているため、正しい金額が正しい請求書と突き合わせられます。請求書の支払項目が既知である場合、入金は指定された支払項目と突き合わせられます。

## 既知請求書照合 - 金額なし (R03B50E)

既知請求書照合 (金額なし) アルゴリズムは、顧客によって請求書が指定され、各請求書と突き合わせる金額が指定されていない場合に使用します。指定された請求書と突き合わせる金額が入金額に一致しない場合に使用する限度額を処理オプションで指定します。このアルゴリズムを使用するには、自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) で請求書番号を指定する必要があります。

## 残高繰越照合 (R03B50B)

残高繰越照合の方式を使用すると、請求書を順番に入金と突き合わせるすることができます。一番古い請求書または最新の請求書に対して入金を突き合わせるすることができます。支払期日に基づいて最初の請求書が自動的に決定されます。また、顧客と支払人、または支払人のみで突き合わせるように指定できます。この方式では、顧客の未決済請求書が読み込まれ、入金額が 0 になるか、処理する請求書がなくなるまで、各請求書と入金の突き合わせ処理が行われます。

入金額が請求書の全額に満たない場合は、部分入金が適用されます。全ての未決済請求書と突き合わせても入金の全額に満たない場合は、未充当入金レコードが作成されます。

この方式には、新しい請求書から突き合わせる後入先出法 (LIFO) と、古い請求書から突き合わせる先入先出法 (FIFO) の 2 つのデモ バージョンがあります。

## 請求書選択照合 (R03B50A)

請求書選択照合は、入金と特定の請求書または請求書の現在高の突き合わせに使用します。最初の請求書の金額と入金額が比較され、割引が適用されるかどうかの確認が行われます。次に入金不足許容限度額と過入金許容限度額の処理オプションで指定された限度額が加算されるか、または差し引かれます。最初の請求書の金額との差額が許容限度額内の場合、その請求書は消し込まれ、次の入金の処理に移ります。最初の請求書金額との差額が許容限度を超える場合は、同じ顧客の最初の請求書と 2 番目の請求書の金額が合計され、入金額と比較されます。この処理は、請求書の合計金額が、定義された許容限度額の範囲内で、支払われるまで続行されます。請求額の累計と入金額の累計は、割引と許容限度額を考慮に入れた上で完全に一致する必要があります。一致しない場合はどの請求書に対しても支払は行われません。残高繰越照合 (R03B50B) と異なり、部分入金として処理されたり、差額分の未充当入金が作成されることはありません。

最初の請求書と現在の請求書合計のみが比較されます。その他の比較は考慮されません。単独の請求書または請求書の合計 (累計) と入金額が一致すると、処理は停止されます。そして、選択した請求書に対して入金の消し込みが行われます。

支払期日によって最初に読み込まれる請求書が決まります。

処理オプションの設定によって、入金を以下の項目と突き合わせるすることができます。

- 合計未決済金額
- 合計未決済金額から割引可能額を差し引いた金額
- 合計未決済金額から割引実施額を差し引いた金額

## 例:請求書選択照合アルゴリズム - 未決済金額の照合

この例では、処理オプションを以下のように設定した場合に、請求書選択照合アルゴリズムによって請求書がどのように消し込まれるかを説明します。

- 突合せ: 未決済請求額
- 入金不足許容額: 10
- 過入金許容額: 10

入金額: 220



請求書 No.	請求書の未決済金額
112	100
113	200

最初に請求書 112 と入金の突き合わせが試行されます。金額が一致しないため、請求書 112 と 113 の入金の突き合わせが試行されます。この場合も金額が一致せず、許容限度額 10 の範囲内でもないため、どの請求書も支払が行われません。

入金額: 100

請求書 No.	請求書の未決済金額
278	100
285	200
290	300

最初に請求書 278 と入金の突き合わせが試行されます。金額が一致するため、この請求書の入金の消込が行われ、処理が停止されます。

入金額: 300

請求書 No.	請求書の未決済金額
335	100
362	200

最初に請求書 335 と入金の突き合わせが試行されます。金額が一致しないため、請求書 335 と 362 の入金の突き合わせが試行されます。入金額がこの 2 つの請求書の金額と一致するため、両方の請求書に対して支払が行われます。

#### 例:請求書選択照合アルゴリズム - 割引可能額差引き後の未決済金額の照会

この例では、処理オプションを以下のように設定した場合に、請求書選択照合アルゴリズムによって請求書がどのように消し込まれるかを説明します。

- 突合せ:割引可能額差引き後の未決済額
- 入金不足許容額: 10
- 過入金許容額: 10

入金額: 297

請求書 No.	請求書の未決済金額	割引額
587	100	1
695	200	2

最初に請求書 587 と入金の突き合わせが試行されます。金額が一致しないため、請求書 587 と 695 に対する入金の突き合わせが試行されます。この場合も金額が一致しませんが、差額の 3 は許容限度額 10 の範囲内であるため、両方の請求書に対して支払が行われます。

### 組合せ請求書照合 (R03B50F)

特定の組み合わせの請求書を消し込む場合は、“組合せ請求書照合”の方式を使用します。処理オプションの設定によって、最大 10 件までの請求書を複数組み合わせで突き合わせを行うことができます。このタイプの照合処理は入金別にしか実行できません。この照合アルゴリズムでは、指定した数の請求書で金額が一致しなかった場合、処理は続行されず、請求書の次のグループの処理は行われません。

除外による照合の処理オプションを設定して、この照合方式で別の処理を実行することができます。除外処理では、支払対象とならない請求書を特定して、それ以外の請求書に対して入金が突き合わされます。これは、未払いとなる請求書が少なく、ほとんどの請求書に対して入金が行われる場合に便利です。入金額と合計勘定残高の差額が計算され、その差額と一致する請求書の組み合わせが検索されます。一致する請求書の組み合わせが見つかった場合、その組み合わせに含まれる請求書を除く全ての請求書に対して突き合わせが行われます。

除外による突き合わせを行う場合、新しい日付の請求書が先に除外対象となるように請求書日付の降順でソートすることを検討してください。

### 例:組合せ請求書照合

以下の例では、請求書の組み合わせと入金の突き合わせに、組合せ請求書照合アルゴリズムがどのように使用されるかを説明します。処理オプションのパフォーマンス タブで、選択する請求書の件数を 6 に指定し、請求書組合せ制限を 3 に指定します。

請求書 No.	金額
122	100.00
123	200.00
124	450.00
125	50.00
126	100.00

合計金額が 700.00 の入金がある場合、まず、最初の請求書が参照され、以下の順序で請求書の突き合わせが試行されます。

請求書 No.	金額	一致/不一致
122	100.00	不一致
123	200.00	不一致
123 + 122	300.00	不一致
124	450.00	不一致
124 + 122	550.00	不一致

請求書 No.	金額	一致/不一致
124 + 123	650.00	不一致
124 + 122 + 123	750.00	不一致
125	50.00	不一致
125 + 122	150.00	不一致
125 + 123	250.00	不一致
125 + 122 + 123	350.00	不一致
125 + 124	500.00	不一致
125 + 124 + 122	600.00	不一致
125 + 124 + 123	700.00	一致/不一致

このアルゴリズムの処理オプションでは、組み合わせに使用する請求書を 10 件まで選択できます。1 つの組み合わせには最大 10 件の請求書を含めることができます。

**重要:** 処理の完了には相当の時間を要します。この処理には時間がかかるため、他の照合方法を全て試みた後で、実行リストの最後にこの組合せ請求書照合アルゴリズムを使用することをお勧めします。

### 例:請求書の許容限度額を超えた場合

この例では、入金額が、既知請求書照合（金額あり）アルゴリズムの処理オプションで指定された請求書の許容限度額を超過している場合に、F03B13Z1 テーブルの情報に基づいて、どのように入金と請求書の突き合わせが行われるかを説明します。

金額	設定
入金番号 445 = 850.00	
請求書許容限度額 = 10.00	許容限度額を超えた場合は、一部支払済み請求書として処理されます。
入金許容限度額 = 25.00	入金額が不足している場合は、再請求が作成されます。

売掛金元帳 (F03B11) は以下ようになります。

請求書 No.	未決済金額	小切手金額 (CKAM)	消込金額 (F03B13Z1 の AG フィールド)
222	200.00	850.00	200.00
223	300.00	0	300.00

請求書 No.	未決済金額	小切手金額 (CKAM)	消込金額 (F03B13Z1 の AG フィールド)
224	600.00	0	550.00
クレジットメモ 1	200.00-	0	200.00-

支払われた請求書の中で、最初の請求書のみ的小切手（入金額）フィールドに値を入力してください。システムによる処理は以下のとおりです。

- 請求書 222 が全額支払われ、請求書の未決済金額が 0 になり、支払状況が P に変更されます。
- 請求書 223 が全額支払われ、請求書の未決済金額が 0 になり、支払状況が P に変更されます。
- 請求書 224 は請求書の許容限度額を超えているため、50.00 は未決済のままとなります。支払状況は A のままです。
- クレジットメモ 1 が全額支払われ、請求書の未決済金額が 0 になり、支払状況が P に変更されます。

請求書の未決済金額と消込金額の比較によって、入金不足が検証されます。次に、入金全体に対する消込金額の合計が入金額と等しいかどうかチェックされます。等しくない場合、入金許容限度額に従って入金が処理されます。

### 例:入金の許容限度額を超えた場合

この例では、入金額が、既知請求書照合（金額あり）アルゴリズムの処理オプションで指定された入金の許容限度額を超過している場合に、F03B13Z1 テーブルの情報に基づいて、どのように入金と請求書の突き合わせが行われるかを説明します。

金額	設定
入金番号 446 = 700.00	
請求書許容限度額 = 10.00	許容限度額を超えた場合は、一部支払済み請求書として処理されます。
入金許容限度額 = 10.00	入金額が不足している場合は、再請求が作成されます。

売掛金元帳 (F03B11) は以下のようになります。

請求書 No.	未決済金額	小切手金額 (CKAM)	消込金額 (F03B13Z1 の AG フィールド)
300	1,000.00	700.00	1,000.00
クレジットメモ 2	100.00-	0	100.00-

この例では、銀行から誤った情報が送信されたと仮定します。小切手金額（入金額）は 700.00 ですが、請求書の消込に必要な金額は 900.00（未決済金額 1000.00 - クレジットメモ 100.00）です。入金の許容限度額は 10.00 に設定されているため、許容限度額を 200.00 超過していると見なされ、再請求が作成されます。

システム内では、以下の処理が行われます。

- 請求書 300 が全額支払われ、請求書の未決済金額が 0 になり、支払状況が P に変更されます。

- クレジット メモ 2 が全額支払われ、請求書の未決済金額が 0 になり、支払状況が P に変更されます。
- 200.00 の再請求が作成されます。

顧客が請求書の一部を支払う場合は、金額を以下のように変更します。

請求書 No.	未決済金額	小切手金額 (CKAM)	消込金額 (F03B13Z1 の AG フィールド)
300	1000.00	700.00	800.00
クレジット メモ 2	100.00–	0	100.00–

消込金額は 700.00 で小切手金額 (入金額) と等しいため、許容限度額には影響しません。請求書 300 の消込金額は 800.00 であり、未決済金額の 1000.00 より 200.00 少ないため、部分入金として処理され、200.00 が未決済で残されます。

### 例:支払項目が複数ある請求書と入金の突き合わせ

既知請求書照合 (金額あり) アルゴリズムを使用して、支払項目が複数ある請求書と入金を突き合わせる場合、F03B13Z1 テーブルで支払項目を指定する必要があります。支払項目を指定しなかった場合は、残高繰越照合アルゴリズム (R03B50B) によって各支払項目が処理されます。

この例では、突き合わせる入金額 (100.00) が最初の支払項目の未決済金額より少ないため、最初の支払項目のみが処理されます。

金額	設定
入金番号 447 = 100.00	
請求書許容限度額 = 10.00	許容限度額を超過した場合は、一部支払済み請求書として処理されます。
入金許容限度額 = 25.00	入金額が不足している場合は、再請求が作成されます。

売掛金元帳 (F03B11) は以下のようになります。

請求書 No.	支払項目	未決済金額
932	001	150.00
932	002	50.00–

自動入金の検討プログラム (P03B121) では以下のように表示されます。

請求書 No.	支払項目	未決済金額	小切手金額 (CKAM)	消込金額 (F03B13Z1 の AG フィールド)
932		150.00	100.00	150.00
932		50.00–		–50.00

請求書番号 932 の請求書は、請求書全体ではなく最初の支払項目のみが支払済みとされ、最初の支払項目に対して 50.00 の再請求が作成されます。2 番目の支払項目は未決済として残ります。

既知請求書照合（金額あり）アルゴリズム（R03B50D）を使用して請求書 932 の同じ入金を全額消し込むには、F03B13Z1 テーブルで支払項目番号を指定する必要があります。自動入金の検討プログラムでは次のように表示されます。

請求書 No.	支払項目	未決済金額	小切手金額 (CKAM)	消込金額 (F03B13Z1 の AG フィールド)
932	001	150.00	100.00	150.00
932	002	50.00–		50.00–

システム内では、以下の処理が行われます。

- 請求書 932 の支払項目 001 が全額支払われ、請求書の未決済金額が 0 になり、支払状況が P に変更されます。
- 請求書 932 の支払項目 002 が全額支払われ、請求書の未決済金額が 0 になり、支払状況が P に変更されます。

## 既知請求書照合 – 金額あり (R03B50D) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 請求書の突き合わせ

以下の処理オプションで、割引を伴う請求書と入金の照合方法や、消込金額が請求書の未決済金額と異なる場合の過入金および入金不足の処理方法を指定します。

#### 1. 割引認識方法

全ての割引を処理するか、または有効な割引のみを処理するかを指定します。入金の元帳日付が割引期日以前の場合のみ、割引が有効になります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 全ての割引が処理されます。

1: 有効な割引のみが処理されます。

#### 2. 割引理由コード

割引が行われる際に使用される割引理由コードを指定します。ユーザー定義コード 00/DE にある割引理由コードを入力してください。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxx (xx は理由コード) も設定してください。

#### 3. 猶予日数

割引の有効期間を延長する日数を指定します。

#### 4. 入金不足許容額

請求書レベルで発生した入金不足の償却に適用される限度額を指定します。自動入金アップロード レコード (F03B13Z1) の総額フィールド (AG) と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合は、少額消込として自動的に処理されます。

複数の通貨を使用する場合、入金不足の請求書の少額消込処理の限度額には、請求書や会社の通貨コードではなく、入金の通貨コードが使用されます。請求書の自動照合プログラム (R03B50) を使用して自動入金処理を実行する場合は、このプログラムに入金通貨別のバージョンを設定し、データ選択で通貨コードを指定します。

- 5. 入金不足理由コード** 入金不足分が限度額以内の請求書に対して作成される少額消込レコードに割り当てる理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。
- 6. 入金不足処理** 入金不足限度額を超過している請求書の処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 再請求レコードが作成されます。  
1: 部分入金が行われます。  
2: 損金を作成されます。
- 再請求理由コード** 請求書の入金不足分が少額消込処理の限度額を超過している場合に作成される再請求に割り当てる理由コードを指定します。入金不足処理の処理オプションを空白にした場合のみ、この処理オプションを使用します。有効な再請求理由コードはユーザー定義コード 03B/CB に定義されています。再請求が作成された請求書に割り当てられている勘定科目(元帳クラス)が使用されます。
- 損金理由コード** 請求書の入金不足分が少額消込処理の限度額を超過している場合に作成される損金に割り当てる理由コードを指定します。請求書突合せタブの処理オプション“入金不足処理”で 2 を指定した場合のみ、この処理オプションを使用します。有効な損金理由コードはユーザー定義コード 03B/CR に定義されています。使用する損金仮勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RN も設定する必要があります。
- 8. 過入金許容額** 請求書レベルで発生した過入金の処理に適用される限度額を指定します。F03B13Z1 テーブルで、総額フィールド (AG) と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、少額消込として自動的に処理されます。  
プラスの金額を入力します。  
複数通貨を使用する場合、過入金の請求書の消込限度額には、請求書や会社の通貨コードではなく、入金の通貨コードが使用されます。請求書の自動照合プログラム (R03B50) を使用して自動入金処理を実行する場合は、このプログラムに入金通貨別のバージョンを設定し、データ選択で通貨コードを指定します。
- 9. 過入金理由コード** 請求書の入金過剰分が限度額を超えていない場合に作成される少額消込レコードに割り当てる理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。
- 10. 過入金処理** 過入金限度額を超過している請求書の処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 未充当入金を作成されます。  
1: 過剰消込 (請求書の未決済金額は返金額を示すマイナスの値になります)

## 入金の突き合わせ

以下の処理オプションでは、入金額が請求書と突き合わせる合計金額と異なる場合の過入金および入金不足の処理方法を指定します。

### 1. 入金不足許容額

入金レベルで発生した入金不足の償却に適用される限度額を指定します。F03B13Z1 テーブルで、入金額（小切手金額フィールド“CKAM”）と請求書の消込金額（総額フィールド“AG”）の差額がここで指定した金額以下の場合、その差額の単独の少額消込が作成されます。

---

**注:** 1 件の請求書のみに対する入金の場合、その請求書は自動的に少額消込として処理され、単独の少額消込は作成されません。

---

たとえば、限度額が 25.00 の場合、合計 1000.00 の 2 件の請求書（各請求書は 500.00）に対して 980.00 の入金があれば、入金不足分の 20.00 は自動的に少額消込として処理されます。請求書の未決済金額と消込金額は同じであるため、請求書レベルでの少額消込処理は行われません。

請求書と入金の差額の少額消込は、特定の状況で発生します。たとえば、未決済金額がそれぞれ 100.00 USD の 2 件の請求書に対して、192.00 USD の入金があったとします。限度額は、請求書と入金のいずれにも 5.00 を設定しています。

8.00 の差額を補うために、各請求書に対して 98.00、合計 196.00 を充当します。合計 4.00 の請求書レベルでの少額消込は以下のように行われます。

- 請求書 1 に対する入金額 = 98.00（請求書レベルの少額消込額 2.00）
- 請求書 2 に対する入金額 = 98.00（請求書レベルの少額消込額 2.00）

消し込んだ金額は 196.00 ですが、実際には 192.00 しか入金されていないため、まだ 4.00 の差額があります。そのため、次にこの 4.00 の少額消込が入金レベルで行われます。

複数通貨を使用する場合は、このプログラムの通貨別のバージョンを作成します。この処理オプションでは特定の通貨ごとに指定します。使用されるのは入金通貨です。

### 少額消込理由コード

入金不足分に対して入金レベルで作成される少額消込レコードに割り当てる理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAXx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

### 2. 入金不足処理

入金レベルで発生し、設定した許容額を超過している入金不足の処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 再請求レコードが作成されます。

1: 損金レコードが作成されます。

---

**注:** 複数の請求書に対する支払の場合、単独の再請求または損金レコードが作成されます。

---

### 再請求理由コード

入金不足分が少額消込処理の限度額を超過している場合に作成される再請求に割り当てる理由コードを指定します。処理オプション“入金不足処理”をブランクにした場合のみ、この処理オプションを使用します。有効な再請求理由コードはユーザー定義コード 03B/CB に定義されています。



---

**注:** 単独の再請求レコードが作成される場合、元帳クラス フィールドはブランクになります。1 件のみの請求書に対して入金があり、再請求レコードが作成される場合は、元の請求書に割り当てられた相手勘定科目が使用されます。

---

### 損金理由コード

入金レベルでの入金不足に対して作成される損金に割り当てる理由コードを指定します。入金突合せタブで処理オプション “入金不足処理” に 1 を設定した場合のみ、この処理オプションを使用します。有効な損金理由コードはユーザー定義コード 03B/CR に定義されています。使用する損金仮勘定科目を指定するには、それに対応する AAI 項目 RN も設定する必要があります。

### 3. 過入金許容額

入金レベルで発生した過入金の処理に適用される限度額を指定します。F03B13Z1 テーブルで、入金額（小切手金額フィールド “CKAM”）と請求書の消込金額（総額フィールド “AG”）の差額がここで指定した金額以下の場合、残額は少額消込として自動的に処理されます。プラスの金額を入力してください。

---

**注:** 複数の請求書に対する入金の場合、単独の少額消込が作成されます。

---

たとえば、980.00 の請求に対して 1000.00 の入金があり、許容額が 25.00 に設定されている場合には、差額の 20.00 は少額消込として自動的に処理されます。

差額がここで指定した金額を超える場合は、未充当入金レコードが作成されます。

たとえば、950.00 の請求に対して 1000.00 の入金があり、許容額が 25.00 に設定されている場合には、50.00 の未充当入金レコードが作成されます。

複数通貨を使用する場合は、このプログラムの通貨別のバージョンを作成します。この処理オプションでは特定の通貨ごとに指定します。使用されるのは入金通貨です。

### 4. 過入金理由コード

入金レベルで過入金があった場合に少額消込に割り当てる理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

### 金額突き合わせ

以下の処理オプションでは、重複する請求書番号の処理方法や、請求書突合せタブで指定した許容限度額を照合対象の請求書の選択に使用するかどうかを指定します。

#### 1. 重複請求書の突合せ

重複した請求書番号を処理するかどうかを指定します。F03B13Z1 テーブルで支払項目を指定せず、請求書に複数の支払項目が含まれている場合、同じ請求書番号を持つ全ての請求書レコードは重複と見なされます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 重複する請求書は処理されません。請求書の重複が見つかった場合、入金の突き合わせはどの請求書に対しても行われません。

1: 支払対象となる請求書が金額によって識別されます。未決済金額が入金額と最も近い請求書に対して入金が入金突合せされます。

## 2. 許容額

処理対象の請求書レコードの選択に、請求書突合せタブで指定した許容額を使用するかどうかを指定します。指定した許容額を超過している請求書の処理が不要な場合は、このオプションを使用して処理時間を短縮できます。

ブランク: 請求書レコードの選択には、指定された許容額は適用されません。全ての請求書が処理されてから、指定した許容額に基づいて、入金不足や過入金の処理を行うかどうかが決まります。

1: 指定した許容額が使用されます。請求書の金額が許容額を超えている場合は、処理が停止され、その請求書には入金が突き合わされません。

## 照合優先順位

以下の処理オプションでは、売掛金元帳テーブル (F03B11) での請求書レコードの検索方法を指定します。有効な値は 1 ~ 5 であり、1 が最も高い優先順位を表します。このタブでは以下の項目に優先順位を設定できます。

- 請求書番号
- 受注オーダー番号
- 顧客参照番号
- 計算書番号
- 出荷番号

照合優先順位タブの全ての処理オプションに値を入力する必要はありません。複数のオプションを設定する場合は、各オプションに異なる値を指定してください。

### 請求書番号、受注オーダー番号、顧客参照番号、計算書番号、出荷番号

自動入金処理で請求書の選択に使用される検索方法の優先順位を指定します。有効値は以下のとおりです。

- 1: 最高優先度: この検索方法が最初に使用されます。
- 2: 高優先度: この検索方法が 2 番目に使用されます。
- 3: 中優先度: この検索方法が 3 番目に使用されます。
- 4: 低優先度: この検索方法が 4 番目に使用されます。
- 5: 最低優先度: この検索方法が最後に使用されます。

検索方法フィールドをブランクにした場合、その検索方法は使用されず、指定した他の検索方法のみを使用して検索が行われます。5 つのフィールドを全てブランクにした場合、全ての検索方法が表示されている順序で使用され、請求書が検索されます。

## 割引

この処理オプションでは、請求書の未決済金額から割引額を差し引いた金額が F03B13Z1 テーブルに充当される金額よりも小さい場合の割引の処理方法を指定します。差額分の少額消込を作成する代わりに、割引額をゼロに調整することができます。

たとえば、以下のような内容で処理を行うとします。

- 請求書番号 5: 100.00
- 割引額: 5.00
- 入金額: 97.00

処理オプション“割引額の減額”に 1 を入力すると、請求書に 97.00 が突き合わされ、割引額が 5.00 から 3.00 に減らされます。

このオプションを空白にすると、請求書には 95.00、割引額には 5.00 が突き合わされ、2.00 の少額消込が作成されます。

### 割引額の減額

請求書の未決済金額から割引額を差し引いた金額より入金額が大きい場合に割引額を調整するかどうかを指定します。

たとえば、未決済金額 100.00 USD、割引額 5.00 USD の請求書に対して 97.00 USD の入金があったとします。割引額を 3.00 に減額して 97.00 の全額を消し込むか、95.00 を消し込んで 2.00 を少額消込として処理することができます。

有効値は以下のとおりです。

空白: 割引実施額は減額されず、差額の少額消込が作成されます。

1: 割引実施額は減額され、少額消込は作成されません。

## 既知請求書照合 - 金額なし (R03B50E) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 請求書の突き合わせ

以下の処理オプションでは、割引を伴う請求書と入金の消込方法を指定します。

#### 1. 割引認識方法

全ての割引を処理するか、または有効な割引のみを処理するかを指定します。入金の元帳日付が割引期日以前の場合のみ、割引が有効になります。有効値は以下のとおりです。

空白: 全ての割引が処理されます。

1: 有効な割引のみが処理されます。

#### 2. 割引理由コード

割引が行われる際に使用される割引理由コードを指定します。ユーザー定義コード 00/DE にある割引理由コードを入力してください。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxx (xx は理由コード) も設定してください。

#### 3. 猶予日数

割引の有効期間を延長する日数を指定します。

### 入金消込

以下の処理オプションでは、入金額が請求書と突き合わせる合計金額と異なる場合の過入金および入金不足の処理方法を指定します。

#### 1. 入金不足許容額

入金不足分を少額消込として処理できる限度額を指定します。F03B13Z1 テーブルで、入金額 (小切手金額フィールド“CKAM”) と支払われた請求書の合計未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、その差額 (残額) に対して単独の少額消込が作成されます。

---

注: 1 件の請求書のみに対する入金の場合、その請求書は消し込まれ、単独の少額消込は作成されません。

---

たとえば、許容額が 25.00 USD の場合、合計 1000.00 USD の請求書（各請求書は 500.00 USD）に対して 980.00 USD の入金があれば、入金不足分の 20.00 USD は少額消込として自動的に処理されます。

複数の通貨を使用する場合、入金不足の請求書の少額消込処理の限度額には、請求書や会社の通貨コードではなく、入金の通貨コードが使用されます。請求書の自動照合プログラム (R03B50) を使用して自動入金処理を実行する場合は、このプログラムに入金通貨別のバージョンを設定し、データ選択で通貨コードを指定します。

## 少額消込理由コード

入金不足分が発生した場合に入金レベルで作成される少額消込に割り当てる理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAXx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

## 2. 入金不足処理

指定した許容額を超過している入金不足の処理方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 再請求レコードが作成されます。

1: 損金レコードが作成されます。

---

注: 複数の請求書に対する支払の場合、単独の再請求または損金レコードが作成されます。

---

## 再請求理由コード

入金不足分が少額消込処理の限度額を超過している場合に作成される再請求に割り当てる理由コードを指定します。処理オプション “入金不足処理” をブランクにした場合のみ、この処理オプションを使用します。有効な再請求理由コードはユーザー定義コード 03B/CB に定義されています。

---

注: 単独の再請求レコードが作成される場合、元帳クラス フィールドはブランクになります。1 件のみの請求書に対して入金があり、再請求レコードが作成される場合は、元の請求書に割り当てられた相手勘定科目が使用されます。

---

## 損金理由コード

入金不足に対して作成される損金に割り当てる理由コードを指定します。入金消込タブで処理オプション “入金不足処理” に 1 を設定した場合のみ、この処理オプションを設定します。有効な損金理由コードはユーザー定義コード 03B/CR に定義されています。使用する損金仮勘定科目を指定するには、それに対応する AAI 項目 RN も設定する必要があります。

## 3. 過入金許容額

過入金を少額消込として処理できる限度額を指定します。F03B13Z1 テーブルで、入金額（小切手金額フィールド “CKAM”）と支払われた請求書の合計未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、残額は少額消込として自動的に処理されます。プラスの金額を入力してください。

---

注: 複数の請求書に対する入金の場合、単独の少額消込が作成されます。

---

たとえば、980.00 の請求に対して 1000.00 の入金があり、許容額が 25.00 に設定されている場合には、差額の 20.00 は少額消込として自動的に処理されます。

差額がここで指定した金額を超える場合は、未充当入金レコードが作成されます。

たとえば、950.00 の請求に対して 1000.00 の入金があり、許容額が 25.00 に設定されている場合には、50.00 の未充当入金レコードが作成されます。

複数通貨を使用する場合、過入金の請求書の消込限度額には請求書や会社の通貨コードではなく、入金の通貨コードが使用されます。請求書の自動照合プログラム (R03B50) を使用して自動入金処理を実行する場合は、このプログラムに入金通貨別のバージョンを設定し、データ選択で通貨コードを指定します。

#### 4. 過入金理由コード

過入金が発生した場合に入金レベルで作成される少額消込に割り当てる理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAXx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

### 照合優先順位

以下の処理オプションでは、F03B11 テーブルでの請求書レコードの検索方法を指定します。有効な値は 1 ～ 5 であり、1 が最も高い優先順位を表します。このタブでは以下の項目に優先順位を設定できます。

- 請求書番号
- 受注オーダー番号
- 顧客参照番号
- 計算書番号
- 出荷番号

このタブの全ての処理オプションに値を入力する必要はありません。複数のオプションを設定する場合は、各オプションに異なる値を指定してください。照合優先順位タブの処理オプションを空白にした場合、以下のいずれかの処理が行われます。

- F03B13Z1 テーブルの請求書番号フィールド (RUD0C) が空白ではない場合、処理オプション “請求書番号” が使用されます。
- F03B13Z1 テーブルの請求書番号フィールド (RUD0C) が空白の場合、請求書と入金の照合は行われません。

**請求書番号、受注オーダー番号、顧客参照番号、計算書番号、出荷番号**

自動入金処理で請求書の選択に使用される検索方法の優先順位を指定します。

有効値は、空白、“1”、“2”、“3”、“4”、および “5” です。フィールドを空白にした場合、その検索方法は使用されず、指定した他の検索方法のみを使用して検索が行われます。5 つのフィールドを全て空白にした場合、全ての検索方法が表示されている順序で使用され、請求書が検索されます。

### 残高繰越照合 (R03B50B) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

#### 消込

以下の処理オプションでは、割引を伴う請求書と入金の照合方法を指定します。

1. 割引認識方法  
全ての割引を処理するか、または有効な割引のみを処理するかを指定します。入金元帳日付が割引期日以前の場合のみ、割引が有効になります。有効値は以下のとおりです。  
空白: 全ての割引が処理されます。  
1: 有効な割引のみが処理されます。
2. 割引理由コード  
割引が行われる際に使用される割引理由コードを指定します。ユーザー定義コード 00/DE にある割引理由コードを入力してください。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxx (xx は理由コード) も設定してください。
3. 猶予日数  
割引の有効期間を延長する日数を指定します。
4. 請求書照合モード  
自動入金処理の対象として選択される請求書を指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 支払人と顧客の情報が使用されます。売掛金元帳テーブル (F03B11) の入金レコードと同じフィールドの値を持つ請求書レコードのみが、入金見出しテーブル (F03B13) から選択されます。同じ値が入力されている必要があるフィールドは、請求書レコード (F03B11) の顧客フィールド (AN8) および支払人フィールド (PYR) と、入金レコードの住所番号フィールド (AN8) および支払人フィールド (PYR) です。  
たとえば、F03B11 の請求書レコードの顧客が 1001、支払人が 1002 の場合、F03B13 の入金レコードの住所番号は 1001、支払人は 1002 である必要があります。  
1: 支払人の情報のみが使用されます。支払人フィールド (PYR) の値が入金レコードの支払人フィールド (PYR) の値と同じである請求書レコードのみが入金見出しテーブルから選択されます。

## 請求書選択照合 (R03B50A) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 突き合わせ

以下の処理オプションでは、請求書照合を、未決済金額、割引可能額を差し引いた金額、または割引実施額を差し引いた金額のどれに基づいて実行するかを指定します。割引は、入金日付が割引期日と同じかそれより前の日付の場合に実施されます。請求書選択照合の処理を実行するには、いずれかのオプションを選択する必要があります。処理オプションをより多く選択すると、一致する請求書が見つかる可能性はその分だけ高くなります。

1. 未決済請求額  
未決済の請求書に対して入金を突き合わせる際に割引を無視するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 未決済金額から割引額を差し引いた金額に入金が突き合わされます。処理オプション 2 (割引可能額差引き後) または処理オプション 3 (割引実施額差引き後) のいずれかに値を入力する必要があります。  
1: 未決済金額に入金が充当され、割引は無視されます。
2. 割引可能額差引き後  
この処理オプションは、未決済金額から割引可能額を差し引いた金額と入金の突き合わせを行う場合に使用します。入金の突き合わせの前に、請求書の未決済金額から割引可能額が差し引かれます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 未決済金額と入金突き合わせ、割引は無視されます。ブランクを選択した場合、処理オプション“未決済請求額”には 1 を入力する必要があります。

1: 未決済金額から割引可能額を引いた金額に入金が突き合わせられます。

### 3. 割引可能額差引き後

この処理オプションは、未決済金額から割引実施額を差し引いた金額と入金の突き合わせを行う場合に使用します。入金の突き合わせの前に、請求書の未決済金額から割引実施額が差し引かれます。入金の元帳日付が割引期日以前の場合のみ、割引が有効になります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 未決済金額と入金突き合わせ、割引は無視されます。ブランクを選択した場合、処理オプション“未決済請求額”には 1 を入力する必要があります。

1: 未決済金額から割引実施額を引いた金額に入金が突き合わせられます。

### 4. 入金不足許容額

入金不足分を少額消込として処理できる限度額を指定します。F03B13Z1 テーブルで、入金額（小切手金額フィールド“CKAM”）と支払われた請求書の合計未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、その差額（残額）に対して単独の少額消込が作成されます。

---

注: 1 件の請求書のみに対する入金の場合、その請求書は消し込まれ、単独少額消込は作成されません。ここで指定する限度額は、個別の請求書の金額ではなく、請求書の累計に対して適用されます。

---

複数の通貨を使用する場合、入金不足の請求書の少額消込処理の限度額には請求書や会社の通貨コードではなく、入金の通貨コードが使用されます。請求書の自動照合プログラム (R03B50) を使用して自動入金処理を実行する場合は、このプログラムに入金通貨別のバージョンを設定し、データ選択で通貨コードを指定します。

### 5. 入金不足理由コード

入金不足分が発生した場合に入金レベルで作成される少額消込に割り当てる理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

### 6. 過入金許容額

過入金を少額消込として処理できる限度額を指定します。F03B13Z1 テーブルで、入金額（小切手金額フィールド“CKAM”）と支払われた請求書の合計未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、残額は少額消込として自動的に処理されます。プラスの金額を入力してください。

---

注: 複数の請求書に対する入金の場合、単独の少額消込が作成されます。

---

たとえば、980.00 の請求に対して 1000.00 の入金があり、許容額が 25.00 に設定されている場合には、差額の 20.00 は少額消込として自動的に処理されます。

差額がここで指定した金額を超える場合、未充当入金レコードが作成されます。

たとえば、950.00 の請求に対して 1000.00 の入金があり、許容額が 25.00 に設定されている場合には、50.00 の未充当入金レコードが作成されます。

複数通貨を使用する場合、過入金の請求書の消込限度額には請求書や会社の通貨コードではなく、入金通貨コードが使用されます。請求書の自動照合プログラム (R03B50) を使用して自動入金処理を実行する場合は、このプログラムに入金通貨別のバージョンを設定し、データ選択で通貨コードを指定します。

## 7. 過入金理由コード

過入金が発生した場合に入金レベルで作成される少額消込に割り当てる理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

## 消込

以下の処理オプションでは、突合せタブでのオプションの設定に基づいて、入金と請求書の突き合わせ方法を指定します。

### 1. 無効割引処理

無効な割引 (顧客が割引期日を過ぎてから割引額を差し引いて支払った場合) を処理する方法を指定します。この処理オプションは、突合せタブの処理オプション “割引可能額差引き後” で 1 を設定した場合のみ有効です。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 無効割引が許可されます。

1: 無効割引に対して少額消込が作成されます。

2: 無効割引に対して再請求が作成されます。

3: 部分入金として処理され、割引額は未決済として残されます。

4: 損金を作成されます。

### 少額消込理由コード

無効割引が発生した場合に作成される少額消込に割り当てる理由コードを指定します。処理オプション “無効割引処理” で 1 を設定した場合のみ、この処理オプションを設定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

### 再請求理由コード

無効割引が発生した場合に作成される再請求に割り当てる理由コードを指定します。処理オプション “無効割引処理” で 2 を設定した場合のみ、この処理オプションを設定します。有効な再請求理由コードはユーザー定義コード 03B/CB に定義されています。

---

注: 単独の再請求レコードが作成される場合、元帳クラス フィールドはブランクです。1 件のみの請求書に対して入金があり、再請求レコードが作成される場合は、元の請求書に割り当てられた相手勘定科目が使用されます。

---

### 損金理由コード

無効割引が発生した場合に作成される損金に割り当てる理由コードを指定します。処理オプション “無効割引処理” で 4 を設定した場合のみ、この処理オプションを設定します。有効な損金理由コードはユーザー定義コード 03B/CR に定義されています。使用する損金仮勘定科目を指定するには、それに対応する AAI 項目 RN も設定する必要があります。

### 3. 猶予日数

割引の有効期間を延長する日数を指定します。

### 4. 割引理由コード

割引が行われる際に使用される割引理由コードを指定します。ユーザー定義コード 00/DE にある割引理由コードを入力してください。指定する割



引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxx (xx は理由コード) も設定してください。

## 組合せ請求書照合 (R03B50F) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 突合せ

以下の処理オプションでは、請求書の照合時に割引とクレジット メモを考慮するかどうかを指定します。

#### 1. 請求額

この処理オプションを設定すると、入金と未決済請求書の突き合わせが行われ、割引は無視されます。有効値は以下のとおりです。

空白: 未決済金額から割引額を差し引いた金額に入金が突き合わせられます。処理オプション 2 (請求額 - 割引可能額) または処理オプション 3 (請求額 - 割引額) のいずれかに値を入力する必要があります。

1: 未決済金額に入金が充当され、割引は無視されます。

#### 2. 請求額 - 割引可能額

この処理オプションは、未決済金額から割引可能額を差し引いた金額と入金の突き合わせを行う場合に使用します。入金の突き合わせの前に、請求書の未決済金額から割引可能額が差し引かれます。有効値は以下のとおりです。

空白: 未決済金額と入金突き合わせ、割引は無視されます。空白を選択した場合、処理オプション “請求額” には 1 を入力する必要があります。

1: 未決済金額から割引可能額を引いた金額に入金が突き合わせられます。

#### 3. 請求額 - 割引額

この処理オプションは、未決済金額から割引実施額を差し引いた金額と入金の突き合わせを行う場合に使用します。入金の突き合わせの前に、請求書の未決済金額から割引実施額が差し引かれます。入金の元帳日付が割引期日以前の場合のみ、割引が有効になります。有効値は以下のとおりです。

空白: 未決済金額と入金突き合わせ、割引は無視されます。空白を選択した場合、処理オプション “請求額” には 1 を入力する必要があります。

1: 未決済金額から割引実施額を引いた金額に入金が突き合わせられます。

#### 4. 除外による照合

この処理オプションは、支払対象としない請求書を指定し、それ以外の全ての請求書に対して突き合わせ処理を行う場合に使用します。1 件の入金で多数の請求書に対する支払が行われる可能性がある場合に、この処理オプションを設定します。入金額と合計未決済金額の差額が計算され、合計額がその金額と一致する請求書の組み合わせが検索されます。一致する請求書の組み合わせが見つかった場合、その組み合わせに含まれない全ての請求書に対して入金の突き合わせが行われます。

たとえば、900.00 の入金があり、以下のような請求書があるとします。

- 請求書番号 100: 50.00
- 請求書番号 102: 150.00
- 請求書番号 103: 200.00
- 請求書番号 104: 500.00

- 請求書番号 105: 30.00

- 合計 930.00

請求書の合計金額は 930.00 と算出され、金額が 30.00 の請求書または合計すると 30.00 になる請求書の組み合わせが検索されます。30.00 の請求書が見つかった場合、入金額に達するまで各請求書の金額を順に加算するのではなく、見つかった請求書以外の、残りの請求書に対して入金突き合わせされます。

有効値は以下のとおりです。

ブランク: 除外による照合は実行されません。

1: 除外による照合が実行されます。

除外による照合を行う場合、新しい日付の請求書が先に除外対象となるように請求書日付の降順でソートします。

## 5. クレジット メモを含める

照合処理にクレジット メモを含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: クレジット メモを含めません。

1: クレジット メモを処理に含めます。

## 消込

以下の処理オプションでは、入金と請求書の突き合わせ方法を指定します。

### 1. 割引期日後処理

無効な割引（顧客が割引期日を過ぎてから割引額を差し引いて支払った場合）を処理する方法を指定します。この処理オプションは、突合せタブの処理オプション“請求額 - 割引額”で 1 を設定した場合のみ有効です。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 無効割引が許可されます。

1: 無効割引に対して少額消込が作成されます。

2: 無効割引に対して再請求が作成されます。

3: 部分入金として処理され、割引額分は未決済として残されます。

4: 損金が作成されます。

### 少額消込理由コード

無効割引が発生した場合に作成される少額消込に割り当てる理由コードを指定します。処理オプション“割引期日後処理”で 1 を設定した場合のみ、この処理オプションを設定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。使用する少額消込勘定を指定するには、それに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

### 再請求理由コード

無効割引が発生した場合に作成される再請求に割り当てる理由コードを指定します。処理オプション“割引期日後処理”で 2 を設定した場合のみ、この処理オプションを設定します。有効な再請求理由コードはユーザー定義コード 03B/CB に定義されています。

---

**注:** 単独の再請求レコードが作成される場合、元帳クラス フィールドはブランクです。1 件のみの請求書に対して入金があり、再請求レコードが作成される場合は、元の請求書に割り当てられた相手勘定科目が使用されます。

---

- 損金理由コード** 無効割引が発生した場合に作成される損金に割り当てる理由コードを指定します。処理オプション“割引期日後処理”で 4 を設定した場合のみ、この処理オプションを設定します。有効な損金理由コードはユーザー定義コード 03B/CR に定義されています。使用する損金仮勘定科目を指定するには、それに対応する AAI 項目 RN も設定する必要があります。
- 3. 猶予日数** 割引の有効期間を延長する日数を指定します。
- 4. 割引理由コード** 割引が行われる際に使用される割引理由コードを指定します。ユーザー定義コード 00/DE にある割引理由コードを入力してください。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxx (xx は理由コード) も設定してください。

## パフォーマンス

以下の処理オプションでは、組合せ照合で利用できる請求書の数を指定します。一度に選択される請求書の件数と、各組み合わせに利用できる請求書の件数を設定することができます。

- 1. 選択する請求書の件数** 組み合わせを決定する際に選択される請求書の件数 (最大 10 件まで) を指定します。この処理オプションは、処理オプション“請求書組合せ制限”と併用されます。
- たとえば、この請求書の最大件数を 6、この組み合わせ制限の値を 3 と指定すると、6 件の請求書が選択され、3 件の請求書をさまざまに組み合わせることにより一致する金額が検索されます。
- このフィールドをブランクにすると、10 件の請求書が選択されます。
- 2. 請求書組合せ制限** 検証に使用される 1 つの組み合わせに含めることができる請求書の件数を指定します。
- たとえば、請求書の最大件数を 6、この組み合わせ制限の値を 3 と指定すると、6 件の請求書が選択され、3 件の請求書をさまざまに組み合わせることにより一致する金額が検索されます。
- 処理オプション“選択する請求書の件数”で指定した件数を超えない件数を指定してください。この処理オプションをブランクにすると、処理オプション“選択する請求書の件数”で指定した件数が自動的に請求書組合せの上限となります。

## 実行リストの定義と改訂

このセクションでは、実行リストの概要と、実行リストの定義方法について説明します。

### 実行リストについて

アルゴリズムを定義した後は、自動入金処理でのアルゴリズムの処理順序を指定する必要があります。アルゴリズムとその処理順序は、各顧客とその支払慣習によって異なる場合があります。実行リストの定義によって、アルゴリズムの処理順序を指定することができます。

定義した実行リストは、自動入金処理の実行前にいつでも変更することができます。たとえば、以下のよう操作が可能です。

- アルゴリズムの処理順序の変更

- 処理される基本方式のバージョンの変更
- アルゴリズムの追加または削除

実行リストに関する情報は、入金消込アルゴリズム実行リスト テーブル (F03B50) に保存されます。

## 実行リストの定義と改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[アルゴリズム実行リストの処理]	W03B50A	[自動入金処理] (G03B13)、 [実行リストの定義]	実行リストを検索します。
[アルゴリズム実行リストの改訂]	W03B50C	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [アルゴリズム実行リストの処理] フォームで、[追加] をクリックして新しい実行リストを作成します。</li> <li>• [アルゴリズム実行リストの処理] フォームで、変更する実行リストを選択して、[選択] をクリックします。</li> </ul>	新規の実行リストを追加するか、または既存の実行リストを改訂します。

## 実行リストの定義

[アルゴリズム実行リストの改訂] フォームにアクセスします。

実行リストの定義 - アルゴリズム実行リストの改訂

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) ロー(R) ツール(T)

実行リスト

STANDARD

Standard Execution List

レコード 1-7

グリッドのカスタマイズ 標準1

	順序 No.	基本 * 方式	記述	アルゴリズム バージョン	バージョン名
<input checked="" type="radio"/>	1.00	R03B50D	既知請求書照合(金額付き)	XJDE0001	Match All Invoices
<input type="radio"/>	2.00	R03B50E	既知請求書照合(金額なし)	XJDE0001	Match All Invoices
<input type="radio"/>	3.00	R03B50A	請求書選択照合	XJDE0002	Exclude Chargebacks
<input type="radio"/>	4.00	R03B50A	請求書選択照合	XJDE0001	Match All Invoices
<input type="radio"/>	5.00	R03B50A	請求書選択照合	XJDE0003	Only Match Chargebacks
<input type="radio"/>	6.00	R03B50F	組合せ請求書照合	XJDE0001	Match All Invoices
<input type="radio"/>	7.00				

[アルゴリズム実行リストの改訂] フォーム

### [実行リスト]

プログラムの実行順序を定義するアルゴリズムのリストに割り当てる名前を入力します。

### 実行リストの記述

実行リストのユーザー定義名や説明を入力します。

### [順序 No.]

実行リスト内でのアルゴリズムの処理順序を示す数値が表示されます。

- [基本方式]** アルゴリズムのプログラム番号を入力します。プログラム番号とは、入金と請求書の照合を行うために、実行リストで使用される指示のセットです。UDC 03B/AL に設定されているプログラム番号を入力してください。
- [記述]** [基本方式] フィールドに入力したアルゴリズムに割り当てられている記述が表示されます。
- [アルゴリズム バージョン]** 実行リストの実行時に使用されるアルゴリズムのバージョンを入力します。

---

## 自動入金処理のための顧客の設定

顧客からの入金を自動的に処理するには、顧客マスター レコードの [自動入金 (Y/N)] チェック ボックスをオンにしておく必要があります。

また、顧客の支払慣習が標準的な形態と異なるために独自の実行リストが必要な場合は、該当する顧客レコードに対して実行リストを指定することができます。通常は、入金見出しの更新プログラム (R03B551) の処理オプションで、複数の顧客に適用できるデフォルトの実行リストを指定します。ただし、特定の顧客に対して独自の実行リストを作成し、その顧客への請求書に対しては異なるアルゴリズムを実行することもできます。

最後に、自動入金処理では、支払条件の指定は必須ではありませんが、自動入金処理を行う顧客別に支払条件を割り当てると、支払条件を使用して処理する対象を選択したり、レポートを作成することができます。

### 関連項目:

第 3 章、「顧客マスター情報の設定」、「顧客マスターレコードの作成」、47ページ



## 第 6 章

# 与信/回収管理の設定

この章では、与信/回収管理の概要、前提条件、および以下の作業を行う方法について説明します。

- 与信/回収期間パターンの設定
- 活動コードの設定
- 延滞方針の設定
- 計算書/延滞通知レター テキストの設定
- 与信保険契約の設定
- 与信/回収管理者の設定
- 顧客への与信/回収情報の割り当て
- 与信/回収のワークフロー メッセージの有効化

---

## 与信/回収管理について

与信や回収情報を効果的に管理することは、経理部門にとって必須事項です。売掛管理システムには、収入の回収、顧客勘定の管理、顧客の支払行動の追跡を行うための、さまざまな与信/回収機能が含まれています。

これらの機能には、顧客請求書の期日や与信限度額の超過などを自動的に通知する機能も含まれています。請求書の年齢調べまたは重要度レベルに応じて、さまざまな文章を使用して延滞通知を設定することができます。顧客とのビジネスに合わせた延滞処理方針を設定したり、延滞利息金を請求書の期日からの経過日数に応じて加算するか、固定金額として課すかを設定できます。

顧客の与信情報や回収情報をさまざまな方法で効果的に管理することができます。

### 与信情報

与信情報の管理では、各種の機能が集中するオンライン ロケーションから、さまざまな顧客情報にアクセスすることができます。たとえば、以下のような操作が可能です。

- 顧客の与信状況集計の検討と与信限度額の超過の識別
- 予定検討日付の顧客勘定科目の監視
- 与信限度額や与信検討日付の変更と更新
- 与信保険限度の設定
- 顧客に関する備考の入力と検討
- 与信に関して注意が必要な顧客の日次リストの作成
- 特定の与信管理者や販売地域、顧客担当者別の未処理および処理済み項目の履歴データの検討

- ・ 顧客の現在の年齢調べ情報の表示と検討

## 回収情報

回収情報の管理では、以下の処理が可能です。

- ・ 多様な売掛管理情報を利用した迅速な顧客勘定の分析と回収決定
- ・ 支払約束を追跡管理するための将来のメッセージの作成
- ・ カスタマイズした顧客リストを使用した回収問題やその他の情報の検討と記録
- ・ 請求書の印刷
- ・ 計算書の作成
- ・ 支払期日を過ぎている顧客勘定に対する延滞通知の作成
- ・ 支払期日を過ぎている請求書に対する延滞利息金の計算
- ・ 延滞通知と延滞利息金の検討と承認
- ・ 顧客の期間情報や実績情報の検討
- ・ 顧客の支払傾向や取引実績の検討と分析
- ・ 必要な回収作業を決定するための顧客の活動ログの検討
- ・ 外部機関用のレポートの作成

## この章で使用する共通フィールド

<b>回収管理者の承認必須</b>	<p>このチェック ボックスをオンにすると、以下の項目に保留の状況が割り当てられます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 延滞利息金: 延滞利息金を設定する場合</li><li>・ 延滞通知: 延滞通知指示を設定する場合</li></ul> <p>このチェック ボックスをオンにすると、延滞利息金や延滞通知の処理には回収管理者による事前の承認が必須になります。このチェック ボックスをオフにすると、延滞利息金と延滞通知に承認済みの状況が自動的に割り当てられます。</p> <hr/> <p><b>注:</b> 延滞利息金のレコード (伝票タイプ RF) は、延滞利息金が承認された後で F03B11 テーブルに作成されます。</p>
<b>通貨コード</b>	<p>延滞通知指示と延滞利息金指示の [最低金額] フィールドで指定する金額の通貨コードを入力します。</p>
<b>猶予日数</b>	<p>回収を行うために請求書の支払期日を延長する日数を入力します。通常は、支払期日に小切手を郵送してから受け取るまでに要する日数を指定します。</p> <p>この日数は、延滞利息金の初回計算時に使用されます。同じ請求書の 2 回目以降の計算には、前回延滞利息金計算日付フィールドの値が使用されます。</p>
<b>回収管理者への通知</b>	<p>このチェック ボックスをオンにすると、請求書の支払期日が過ぎている場合に与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行したときに、回</p>



### 一時与信メッセージ

収管理者にワークフロー メッセージが送信されます。このチェック ボックスがオフの場合、回収管理者にワークフロー メッセージは送信されません。

暫定的な与信状況を示すユーザー定義コード (UDC) を入力します。通常、このコードは、勘定の支払期日が過ぎた場合に手動で割り当てます。顧客に割り当てられている方針の延滞通知指示に基づいて、一時与信メッセージが自動的に更新されます。方針に含まれるこのオプションを有効にした場合、一時与信メッセージは自動的に与信メッセージにリセットされます。顧客レコードで、一時与信メッセージを手動で更新することもできます。

このフィールドを空白にすると、請求書が指定した年齢調べカテゴリに含まれる場合に、与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行したときに、与信メッセージ フィールドの値が割り当てられます。

一時与信メッセージは、売掛管理システムと受注管理システムの取引入力フォームに表示されます。

## 事前設定

UDC テーブル 03B/LT にレター タイプを指定する値を設定します。

## 与信/回収期間パターンの設定

このセクションでは、与信/回収期間パターンの概要と、与信/回収期間パターンの追加方法について説明します。

### 与信/回収期間パターンについて

特定の期間内に発生した顧客取引情報を検討する場合は、与信/回収期間パターンを設定する必要があります。期間パターンは、会計年度の開始日付とその会計年度の各期間の終了日付を示します。指定した期間パターンを使用して、統計情報の処理と表示が行われます。たとえば、以下の項目の計算には期間パターンが使用されます。

- 一定期間内に特定の顧客に請求した合計金額
- 支払遅延請求書の金額と件数
- 顧客の最高残高の金額と日付
- 売掛金回収平均日数 (DSO)
- 年齢調べ情報

システム内に保存されている請求書と入金 of 各会計年度とそれらの次の年度の与信/回収期間パターンを設定する必要があります。

期間パターンを使用すると、特殊なレポートの要件に合わせて、各期間を柔軟に設定することができます。期間パターンは必要な数だけ設定できます。たとえば、52 期間を設定しておく、週単位で顧客状況のレポートを作成できます。また、会計年度ではなくカレンダー年度で情報を検討することもできます。

顧客の与信/回収期間パターンの設定時に会社を指定しなかった場合は、与信/回収期間パターンの会社 00000 のデフォルト情報が使用されます。会社 00000 に対しては、期間パターンを設定する必要があります。各会社に対して期間パターンを設定する必要はありません。ただし、固有のレポート要件を持つ会社に対しては個別に期間パターンを設定します。

与信/回収期間パターンは、統計実績更新プログラム (R03B16A) を実行する場合にのみ使用されます。その他の全ての売掛管理プログラムでは、会社に対して設定された期間パターンが使用されます。与信/回収期間パターンは、与信/回収期間パターン テーブル (F03B08) に保管されます。

統計実績更新プログラムを実行した後は、与信/回収期間パターンを変更しないでください。期間パターンの変更は、統計除去データの再転記プログラム (R03B163) を実行して売掛金統計履歴テーブル (F03B16) と売掛金統計サマリ テーブル (F03B16S) のデータをリセットできる場合のみ行ってください。

参照: 第 20 章、「顧客分析のための売掛管理統計の更新」、「統計実績レコードの除去」、590ページ

## 与信/回収期間パターンの設定に使用するフォーム


フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[与信/回収期間パターンの処理]	W03B08A	[与信/回収処理セットアップ] (G03B411)、[与信/期間回収パターン]	与信/回収期間パターンを検索します。
[与信/回収期間パターンの設定]	W03B08C	[与信/回収期間パターンの処理] フォームで [追加] をクリックします。	会計期間パターンを設定して、会計年度の開始日付とその年度内の各期間の終了日付を指定します。

## 与信/回収期間パターンの追加

[与信/回収期間パターンの設定] フォームにアクセスします。

**与信/回収期間パターン - 与信/回収期間パターンの設定**

OK(O) 検索(I) 削除(D) キャンセル(L) ツール(T)



会社 \* 00001 Financial/Distribution Company

会計年度開始日付 \* 2004/01/01

会計年度 4

西暦上2桁 \* 20

☐ 現行年度

レコード 1 - 10 グリッドのカスタマイズ   

	終了日付	期間日数
<input checked="" type="radio"/>	2004/01/31	31
<input type="radio"/>	2004/02/29	29
<input type="radio"/>	2004/03/31	31
<input type="radio"/>	2004/04/30	30
<input type="radio"/>	2004/05/31	31
<input type="radio"/>	2004/06/30	30
<input type="radio"/>	2004/07/31	31
<input type="radio"/>	2004/08/31	31
<input type="radio"/>	2004/09/30	30
<input type="radio"/>	2004/10/31	31

[与信/回収期間パターンの設定] フォーム

**[会計年度開始日付]** 会計年度の初日を指定します。

**[会計年度]** 最後の会計期間の年度ではなく、最初の会計期間が終わる年度を会計年度として指定します。

たとえば、会計年度が 2005 年 10 月 1 日に始まり、2006 年 9 月 30 日に終了する場合は、「06」ではなく「05」と入力します。最初の会計期間の終了日は 2005 年 10 月 31 日です。

請求書金額の更新処理を実行すると、与信/回収期間パターンの会計年度は自動的に更新されます。

**[西暦上2桁]** 西暦の上 2 桁を入力します。たとえば、19 は 19 で始まる年度 (1998、1999 など)、20 は 20 で始まる年度 (2000、2001 など) を示します。

**[現行年度]** 会計年度を現行年度に指定するには、このチェック ボックスをオンにします。

現行年度に期間パターンを 1 つ指定する必要があります。

**[終了日付]** 指定した期間パターンの与信/回収期間が終了する日付を指定します。与信/回収期間パターンは、統計レポートの作成のみに使用されます。

**[期間日数]**

1 つの会計期間に含まれる日数を入力します。

このフィールドをblankにすると、入力した終了日付に基づいてその期間の日数が計算されます。

## 活動コードの設定

このセクションでは、活動コードの概要と、活動タイプ コードの追加方法について説明します。

### 活動コードについて

特定の活動が発生すると活動メッセージが自動的に作成されます。各メッセージはハードコード化されている活動タイプと関連付けられています。次の表は、活動タイプ、自動作成される活動メッセージ、メッセージを作成するプロセスの一覧です。

活動タイプ	活動メッセージ	プロセスの説明
20	与信検討必須	[顧客マスターの改訂] フォームの [与信検討日付] フィールドの期日が過ぎ、与信分析データの再作成プログラムが実行されると、このメッセージが作成されます。
21	与信限度額超過	未決済請求書の合計金額が [顧客マスターの改訂] フォームの [与信限度額] フィールドに入力された金額を超過し、与信分析データの再作成プログラムが実行されると、このメッセージが作成されます。
22	与信限度額更新	[顧客マスターの改訂] フォームの [与信限度額] フィールドの金額が変更されると、このメッセージが作成されます。  与信限度額の変更に承認が必要な場合は、変更が承認されるまでメッセージは作成されません。
30	支払約束	支払約束メッセージを手動で入力します。
40	延滞通知送付	延滞通知の処理と承認が完了するとこのメッセージが作成されます。
41	延滞通知却下	保留されていた延滞通知が却下されるとこのメッセージが作成されます。
42	計算書送付	発行される全ての計算書に対してこのメッセージが作成されます。

活動タイプ	活動メッセージ	プロセスの説明
50	延滞利息金適用	延滞利息金の処理と承認が完了するとこのメッセージが作成されます。
51	延滞利息金却下	保留されていた延滞利息金が却下されるとこのメッセージが作成されます。

その他の活動を追跡する必要がある場合は、新しい活動コードを作成し、必要に応じて活動メッセージを手動で追加できます。

## 活動コードの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[活動の設定]	W03B30B	[与信/回収処理セットアップ](G03B411)、[与信/回収活動コード]  [活動の設定処理] フォームで、[追加]をクリックします。	新規の活動コードを作成します。

## 活動タイプ コードの追加

[活動の設定] フォームにアクセスします。

**重要:** 新たに作成する活動コードの活動メッセージは自動的に処理されません。新規の活動コードを使用する活動に対しては、活動メッセージを手動で追加する必要があります。

参照: 第 18 章、「与信および回収管理」、「顧客活動の追加」、526 ページ

**[活動]** 顧客勘定取引活動ログに設定するメッセージを識別するコードを入力します。

以下の活動コードは、ハードコード化されています。

20: Credit Review Required (与信検討必須)

21: Over Credit Limit (与信限度額超過)

22: Credit Limit Updated (与信限度額更新)

30: Promise (支払約束メモ)

40: Delinquency Notice Sent (延滞通知送付)

41: Delinquency Notice Rejected (延滞通知却下)

42: Statement Sent (計算書送付)

50: Delinquency Fee Applied (延滞利息金適用)

51: Delinquency Fee Rejected (延滞利息金却下)

新規の活動タイプを作成する場合は、ハードコード化されている値を使用しないでください。

- [デフォルト優先度]** 計算書、延滞通知、延滞利息金などの処理時に表示される活動メッセージの順序を指定するコードを入力します。有効値は 1 から 5 であり、1 が最高優先度、5 が最低優先度を示します。
- [活動停止]** 現在まで使用されていた活動が今後使用されなくなる場合は、このチェック ボックスをオンにします。停止された活動タイプの活動は、顧客勘定取引活動ログ テーブル (F03B31) に作成されません。

## 延滞方針の設定

このセクションでは、延滞方針の概要を示し、以下の方法について説明します。

- 延滞方針の定義
- 延滞利息金指示の設定
- 延滞通知指示の設定

### 延滞方針について

支払期限を過ぎた請求について顧客に通知するには、延滞している顧客勘定の自動処理に使用される規則を設定する必要があります。各顧客グループに適用する複数の規則の組み合わせや、特定の顧客のみに適用する規則を定義できます。このようにユーザーが設定する規則の組み合わせを“方針”と呼びます。

方針とは、特定のグループに所属する顧客に対して一様に適用される共通の規則の組み合わせです。顧客グループに適用する規則は、複数のレベルで管理できます。顧客に対して共通に適用できる規則を使用して方針を設定すると、延滞金の処理に必要な設定の作業量を減らすことができます。

方針には、支払期限を過ぎた請求書に対して延滞利息金を課すタイミングや、延滞の各段階における通知の作成方法を指定できます。

方針の設定に際しては、最初に一般的な規則（デフォルトの規則）を定義してから、例外に対応するための特定の指示を定義してください。たとえば、以下のようなタイプの方針を定義できます。

方針タイプ	記述
標準方針	ほとんどの顧客に対して一様に適用可能なデフォルトの方針です。
標準方針 (例外あり)	特定のデフォルト情報を変更する指示の付いた標準方針です。この方針では、標準方針と異なる年齢調べカテゴリや規定値パーセントを指定できます。この方針は、リスクの高い顧客や新規の顧客などに適用します。
特定の会社または特定業種用の標準方針	会社別または業種別に異なる規則を適用することができます。これは、特定の会社のデフォルト情報を変更する指示の付いた標準方針です。

方針タイプ	記述
ハイリスク方針	特定の会社ではなく、特殊な取扱をする複数の顧客に対して設定できる方針です。この方針は、ハイリスクの顧客などの特殊な取扱いが必要な顧客の管理に使用できます。
優遇方針	延滞利息金が発生しない顧客向けの方針です。ある程度の日数の延滞が発生した場合は、丁寧な通知を送付できます。

方針に関する情報は、以下のテーブルに保管されます。

- 延滞方針 (F03B25)
- 売掛金延滞方針通知 (F03B26)
- 売掛金延滞方針詳細 - 利息金 (F03B27)

注: 会社 00000 に設定済みのデフォルト方針を手動または自動でを使用して顧客に方針を関連付けると、その方針は、その顧客に別の方針を関連付けるまで維持されます。デフォルト方針として使用するブランクの方針名を会社 00000 に対して設定してください。



## 延滞方針の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[延滞方針の処理]	W03B2501N	[与信/回収管理セットアップ](G03B411)、[延滞方針の定義]	延滞方針を表示し、設定する方針を選択します。
[延滞処理方針の定義]	W03B2501Q	[延滞方針の処理] フォームで、[追加]をクリックします。	新規の延滞方針の情報を定義します。
[延滞利息金指示の処理]	W03B2501V	[延滞方針の処理] フォームで[検索]をクリックして、表示された方針から延滞利息金指示を設定する方針を選択します。  [ロー]メニューから[利息金]を選択します。	既存の延滞利息金指示を特定します。
[延滞利息金指示]	W03B2501S	[延滞利息金指示の処理] フォームで、[追加]をクリックします。	方針の定義後、請求書の期日が超過した場合に、延滞利息金の計算に使用する延滞利息金指示を設定できます。延滞利息金は支払項目レベルで作成されます。  <u>参照: 第 19 章、「延滞通知と延滞利息金の処理」、「延滞利息金の作成」、570 ページ</u>
[延滞通知指示の処理]	W03B2501W	[延滞方針の処理] フォームで、規則を設定する方針を選択し、[ロー]メニューから[延滞通知]を選択します。	既存の延滞通知指示を特定します。
[延滞通知指示]	W03B2501R	[延滞通知指示の処理] フォームで、[追加]をクリックします。	請求書の期日が超過した顧客に送付する延滞通知を作成するための、延滞通知の規則を設定します。たとえば、年齢調べカテゴリや送信済みの通知の件数に基づいて、延滞通知の重要度を制御することができます。延滞通知は顧客レベルで作成され、1 通の通知には、その顧客の全ての期日超過請求書の情報が含まれます。

## 延滞方針の定義

[延滞処理方針の定義] フォームにアクセスします。



延滞方針の定義 - 延滞処理方針の定義	
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)	
  	
方針の詳細情報	
方針名	<input type="text" value="High Risk"/>
会社 *	<input type="text" value="00000"/>
記述	<input type="text" value="High Risk Policy"/>
集計再作成オプション	
<input checked="" type="checkbox"/> 一時与信メッセージのリセット	<input type="checkbox"/> 階層型延滞方針を使用

[延滞処理方針の定義] フォーム

**[方針名]**

いつの時点で請求書を期日超過と見なすかを決定する規則の組み合わせ、および実行する措置を特定する名称を入力します。方針には、延滞通知指示と延滞利息金指示に使用する年齢調べ情報が含まれます。顧客の支払慣習や業種に基づいて方針を設定し、顧客をグループ化することができます。

方針名は大文字でも小文字でも入力できますが、システム内の処理では大文字と小文字は区別されません。たとえば、PREMIER という方針を作成した後に、Premier という方針を作成しようとすると、重複キーに関するエラーが返されます。

**[会社]**

方針を適用する会社の住所録番号を入力します。

**[記述]**

方針の説明を入力します。

**[一時与信メッセージのリセット]**

与信分析データの再作成プログラム (R03B525) の実行時に顧客の全ての請求が全額支払済みとなった場合に、顧客の一時与信メッセージを顧客マスターに設定済みの元の値に戻すには、このチェック ボックスをオンにします。

顧客の全ての請求書が全額支払済み（顧客に未決済の請求書がない）の場合は、支払済み請求書（支払状況は“P”）を含むようにプログラムのデータ選択を変更する必要があります。この変更を行わなければ、顧客レコードの値はリセットされません。

**[階層型延滞方針を使用]**

このチェック ボックスをオンにすると、延滞通知の作成用に設定した延滞通知指示のみが使用されます。

たとえば、ある顧客には、年齢調べカテゴリ 3 のみを対象に設定した延滞通知指示を関連付けていて、その顧客には現在 2 件の未決済請求書があり、そのうちの 1 件である請求書 123 は期日前であり、もう 1 つの請求書 234 は年齢調べカテゴリ 4 であるとしします。いずれの請求書も年齢調べカテゴリ 3 に該当しないため、このチェック ボックスをオンにした場合、延滞通知は作成されません。

同じ例で、このチェック ボックスをオフにした場合、請求書 234 は年齢調べカテゴリ 3 に指定された日数を超過して期日超過しているので、延滞通知が作成されます。請求書は特定の要件を満たす必要はなく、支払期日から、年齢調べカテゴリ 3 に定義されている日数以上を超過しているだけで延滞通知の対象になります。

注: 1 つの延滞通知には、年齢調べカテゴリに関係なく、全ての期日超過の請求書が表示されます。

## 延滞利息金指示の設定

[延滞利息金指示] フォームにアクセスします。

延滞方針の定義 - 延滞利息金指示			
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)			
<div>    </div>			
<b>延滞処理方針</b>			
方針名	PREMIER	Premier Policy	
会社	00000	Worldwide Company	
<b>延滞利息金条件</b>			
有効開始日付	2005/01/01	有効終了日付	2009/12/31
経過計算開始日数	61	経過計算終了日数	90
猶予日数	15	<input type="checkbox"/> 遡及手数料	
通貨コード *	USD	最低金額	10.00
<b>延滞利息金処理</b>			
年率	1.000000	固定延滞利息金	0.00
利息金の間隔日数	30		
<input type="checkbox"/> 複合延滞利息金		<input checked="" type="checkbox"/> 回収管理者への通知	
<input checked="" type="checkbox"/> 未決済額に対して計算		<input checked="" type="checkbox"/> 回収管理者の承認必須	
<input type="checkbox"/> 期日後入金に対する延滞利息金の計算			

[延滞利息金指示] フォーム

**[有効開始日付]、[有効終了日付]** 延滞利息金が発効する日付と失効する日付を入力します。

**[経過計算開始日数]、[経過計算終了日数]** 方針で指定した延滞利息金が請求書に対して課金されるかどうかを判定するために使用される日数の範囲の起点と終点を入力します。延滞日数がこれらのフィールドで指定した日数の範囲内である場合は、延滞利息金が計算されます。

複数の延滞利息金指示を作成し、延滞日数の増加に応じて延滞利息金を増額することができます。延滞利息金を計算する開始日数と終了日数を指定して、指定した日数のみに対応した延滞利息金を作成するように設定できます。

たとえば、1 日目から 30 日目までの延滞利息率を 15% とし、31 日目から 60 日目までを 18% とする延滞利息金指示を設定できます。

**[遡及手数料]**

このチェック ボックスをオンにすると、請求書の支払期日に基づいて延滞利息金が計算されます。ただし、猶予日数が消化されるまで計算は開始されません。このオプションは初めて延滞利息金を計算する請求書に対してのみ有効です。2 回目以降の延滞利息金は「日付 - 計算済み最終料金」フィールドに基づいて計算され、猶予日数は考慮されません。

- [最低金額]** 延滞利息金レコードを作成するためにシステム内で計算される必要がある延滞利息金の最低金額を入力します。請求書の支払項目に対して、このフィールドで指定した金額未満の延滞利息金が計算された場合、延滞利息金レコードは作成されません。
- [年率]** 支払期日を過ぎた未決済の請求書の延滞利息金の計算に使用する利率を入力します。1 年の日数に基づいて、請求書の支払期日を超過した各日に利息金が配分されます。一日当たりの延滞利率は、以下の計算式で計算されます。
- $$(\text{利率} \div 365 \times 0.01) \times \text{請求書の未決済額} \times \text{期日を超過した日数}$$
- たとえば、年率が 15% であり、請求書の未決済額は 1000.00 で、期日を 20 日経過している場合、延滞利息金は 8.22 になります。
- 利率を指定しない場合、固定延滞利息金に指定された金額のみが使用されます。
- [固定延滞利息金]** 年率（指定した場合）と併せて延滞利息金の計算に使用される金額を入力します。年率が指定されていない場合は、このフィールドの金額が延滞利息金となります。
- [利息金の間隔日数]** 延滞利息金または延滞通知を次に作成するまでの日数を入力します。
- 延滞利息金の場合、“日付 - 計算済み最終料金” フィールド (LFCJ) の値と延滞利息金の作成日付から経過日数が計算され、次にその日数がこのフィールドの値と比較されて、請求書が新たな延滞利息金の対象かどうか判定されます。
- 延滞通知の場合、“督促状前回送付日” フィールド (RDDJ) の値と延滞利息金の作成日付から経過日数が計算され、次にその日数がこのフィールドの値と比較されて、請求書が新たな延滞通知の対象かどうか判定されます。
- [複合延滞利息金]** このチェック ボックスをオンにすると、前に作成された延滞利息金の未払い分が計算に加えられます。
- [未決済額に対して計算]** このチェック ボックスをオンにすると、未決済の延滞請求書に基づいて延滞利息金が計算されます。
- [期日後入金に対する延滞利息金の計算]** このチェック ボックスをオンにすると、期日を過ぎてから支払われた請求書の延滞利息金が計算されます。請求書レコードの入金完了日付フィールド (JCL) と支払期日フィールド (DDJ) が比較され、期日の超過日数に基づく日割りの利息金額が計算されます。

## 延滞通知指示の設定

[延滞通知指示] フォームにアクセスします。

延滞方針の定義 - 延滞通知指示					
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)					
<div> </div>					
<b>延滞処理方針</b>					
方針名	PREMIER	Premier Policy			
会社	00000	Worldwide Company			
<b>延滞通知条件</b>					
年齢調べカテゴリ/重要度	4	既定値(%)	25	猶予日数	
通貨コード *		最低金額	500.00	支払期限までの日数	0
延滞通知送付間隔	30	活動優先順位	5	優先度 5	
<b>延滞通知処理</b>					
レター名タイプ	LETTER1		>>	Late Payment	
<input checked="" type="checkbox"/> 回収管理者の承認必須 <input checked="" type="checkbox"/> 回収管理者への通知					
<input type="checkbox"/> 請求書保留 <input type="checkbox"/> 外部回収機関推奨 <input type="checkbox"/> 一時与信メッセージ					
<input checked="" type="checkbox"/> 回収管理者の検討必須					

[延滞通知指示] フォーム

**[年齢調べカテゴリ/重要度]**

年齢調べカテゴリまたは重要度レベルを示す数値を入力します。この年齢調べカテゴリまたは重要度レベルにある請求書に対して延滞通知が自動的に作成されます。

送信された催促状の数を使用して重要度レベルが判定されます。たとえば、督促状が 1 通送信済みである場合、重要度レベル 2 に設定された方針が検索されます。また、督促状が 2 通送信済みである場合は、重要度レベル 3 に設定された方針が検索されます（重要度レベルは督促状の数に比例します）。

延滞通知の印刷プログラムの処理オプション“重要度の決定”で、延滞通知の作成を決定するために年齢調べカテゴリと重要度のどちらを使用するかを設定します。

この処理オプションがブランク（年齢調べカテゴリを使用）の場合、このフィールドの数値は、期限超過の請求書が割り当てられる売掛管理固定情報または延滞通知印刷プログラムの処理オプションのいずれかに指定された日付範囲、会計期間、またはカレンダー月を表します。指定した年齢調べカテゴリに延滞請求書のある顧客は、延滞通知の対象となります。

この処理オプションの値が 1（延滞通知送付回数合計を使用）の場合、このフィールドの数値は、送付済み延滞通知の数に基づく重要度レベルを表します。たとえばこのフィールドの数値が 3 の場合、その請求書は、最初に 2 件の延滞通知が送付された後で、もう 1 件の延滞通知の対象となります。

**[規定値 (%) ]**

顧客の延滞通知の作成を決定するために使用されるパーセンテージの数値を入力します。指定した年齢調べカテゴリまたは重要度レベルに該当する、期限超過の未決済請求書の合計が、パーセント表示で顧客の未決済残高以上である場合、その顧客に対して延滞通知が作成されます。たとえば、年齢調べカテゴリ 1 の未決済請求書の合計が 1200、規定値 (%) が 20 の場合、延滞通知が作成されるには、顧客の未決済請求書の合計が 6000 以上である必要があります。

パーセンテージは整数で入力してください。

---

注: 別の年齢調べカテゴリに設定した延滞通知指示を使用して、延滞通知が作成される場合があります。たとえば、年齢調べカテゴリ 2 の未決済請求書の金額が、延滞通知の作成に必要な条件に適合する場合、その未決済請求書の支払項目が指定した最低金額を下回らない限り、年齢調べカテゴリ 1 の請求書も通知の対象に含まれます。

---

<b>[最低金額]</b>	延滞通知の対象となる請求書支払項目の未決済金額の最小値を指定します。未決済請求書支払項目の金額が指定した最低金額に満たない場合、その請求書は延滞通知に含まれません。
<b>[支払期限までの日数]</b>	与信分析データの再作成プログラムの処理オプションで定義した年齢調べ日付に追加する日数、または、延滞処理指示で指定した猶予日数に追加する日数を入力し、延滞通知に記載される支払期日を決定します。
<b>[延滞通知送付間隔]</b>	<p>同じ請求書に対して延滞利息金や延滞通知を次に作成するまでの日数を入力します。</p> <p>延滞利息金の場合、“日付 - 計算済み最終料金” フィールド (LFCJ) の値と延滞利息金の作成日付から経過日数が計算され、次にその日数がこのフィールドの値と比較されて、請求書が新たな延滞利息金の対象かどうか判定されます。</p> <p>延滞通知の場合、“督促状前回送付日” フィールド (RDDJ) の値と延滞利息金の作成日付から経過日数が計算され、次にその日数がこのフィールドの値と比較されて、請求書が新たな延滞通知の対象かどうか判定されます。</p>
<b>[活動優先順位]</b>	計算書、延滞通知、延滞利息金などの処理時に作成される活動メッセージの表示順序を指定するコードを入力します。有効値は 1 から 5 であり、1 が最高優先度、5 が最低優先度を示します。
<b>[レター名/タイプ]</b>	延滞方針の定義に割り当てるレターを指定します。レター テキスト テーブル (F03B28) に設定したレターを使用してください。このフィールドでは大文字と小文字が区別されるため、テーブルに作成したレター名 (たとえば “Letter1” など) をそのまま入力する必要があります。レター テキストは英語以外でも入力できます。
<b>[請求書保留]</b>	<p>このチェック ボックスをオンにすると、年齢調べカテゴリに未請求請求書がある場合に顧客マスターの対応フィールドが更新されます。このチェック ボックスがオンにされている場合は、請求書を手動で入力することができません。</p> <hr/> <p>注: 請求書が支払済みになってもこのチェック ボックスは自動的にオフにならないため、手動で変更する必要があります。</p> <hr/>
<b>[回収管理者の検討必須]</b>	<p>与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行するまで、顧客レコードは更新されません。</p> <p>期日超過の金額を含む顧客勘定について、回収管理者による検討を必須化するかどうかを指定します。このチェック ボックスをオンにすると、回収管理者に対してワークフロー メッセージが送信されます。このチェック ボックスをオフにすると、回収管理者に対してワークフロー メッセージは送信されません。</p>

**[外部回収機関推奨]**

外部の回収機関による回収を可能にするかどうかを選択します。このチェック ボックスをオンにすると、顧客を回収レポートに含めることを推奨するワークフロー メッセージが送信されます。顧客レコードの回収レポート オプション (COLL) を手動で更新する必要があります。

注: 回収レポート フィールドは請求書が支払済みになっても自動的にリセットされないため、手動で更新する必要があります。

## 計算書/延滞通知のレター テキストの設定

このセクションでは、計算書と延滞通知のレター テキストの概要を示し、計算書と延滞通知にレター テキストを入力する方法を説明します。

### 計算書/延滞通知レター テキストについて

計算書/延滞通知レター テキスト プログラム (P03B2801) を使用して、計算書や延滞通知に表示する文章を設定することができます。レター テキストは、ユーザー プロファイルで指定されている言語で印刷されます。

計算書を印刷する場合は、計算書データの再作成プログラム (R03B500X) の関連処理オプションで、印刷するテキストを指定します。たとえば、年末年始の挨拶文や、迅速な支払に対する感謝を表す文章を計算書に印刷することができます。

延滞通知を印刷する場合は、延滞方針の延滞通知指示に含まれる年齢調べカテゴリや重要度レベルにレターを割り当てて、印刷するテキストを指定します。年齢調べカテゴリにレター テキストを関連付けることによって、最も古い年齢調べカテゴリ (または最高重要度レベル) の請求書を含む延滞通知には、より強い文章を印刷することができます。

レターに関する情報は、以下のテーブルに保存されます。

- レター テキスト (F03B28)
- メディア オブジェクト ストレージ (F00165)

### 計算書/延滞通知のレター テキストの設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[レター文の処理]	W03B2801F	[与信/回収処理セットアップ] (G03B411)、[計算書/延滞通知レター・テキスト]	既存のレターの検索と削除を行うことができます。
[レター文]	W03B2801G	[レター文の処理] フォームで、[追加]をクリックします。	レター名と記述を作成します。
[メディア・オブジェクト・ビューア]	該当なし	[レター文] フォームで、[フォーム] メニューから [添付] を選択します。	レターとして使用する文章を指定します。

### 計算書/延滞通知のレター テキストの入力

[レター文] フォームにアクセスします。

レター文を設定するには、以下の手順に従います。

1. [レター文] フォームで、[レター名]、[記述]、[レター・タイプ]、[言語] の各フィールドに値を入力します。
2. テキストを指定するには、[フォーム] メニューから [添付] を選択します。
3. [メディア・オブジェクト・ビューア] のツールバーで [テキスト] をクリックし、必要なメッセージを入力します。

テキストの体裁にタブは使用しないでください。計算書や延滞通知に表示するテキストの体裁にはスペースを使用してください。

4. [保存] をクリックします。
5. [レター文] フォームで [OK] をクリックします。

#### [レター名]

F03B28 テーブルに定義済みのレターを識別する名称を入力します。このフィールドでは大文字と小文字が区別されるため、テーブルに作成したレター名（たとえば "Letter1" など）をそのまま入力する必要があります。レター テキストは英語以外でも入力できます。

#### [レター・タイプ]

計算書や遅延通知書に印刷するテキストの識別と編成に使用するコードを入力します。UDC 03B/LT に定義済みの値を指定してください。たとえば、以下のような用途でレター タイプを設定することができます。

- 延滞通知や計算書など、レター（テキスト）が使用される処理の識別
- 延滞通知に使用するレターと計算書に使用するレターの区別
- 優良顧客など、顧客別のレターの識別
- 重要度レベルの表示。たとえば、LETTER1 を最低重要度、LETTER5 を最高重要度の通知に使用します。

#### [言語]

フォームと印刷するレポートで使用する言語を示す UDC (01/LP) を入力します。指定する言語コードは、システム レベルまたはユーザー設定で定義済みである必要があります。

## 与信保険契約の設定

このセクションでは、与信保険契約の概要と、与信保険契約の設定方法を説明します。

### 与信保険契約について

未収債権を補償する保険を購入すると、与信/回収のシステムでそれらの保険を記録することができます。保険を記録すると、指定した保険のタイプ（方針タイプ）によって、レポートを使用するか、または取引を基準にして、顧客の保証与信限度額を監視できます。

標準保険（標準方針）では、複数の顧客を対象にすることができ、レポートを使用して継続的に保険を検討できます。単一保険（単一方針）では、指定した有効日付に基づいて単独の顧客またはプロジェクトが対象とされます。各保険の監視は取引ベースで行います。

1 つの保険会社について複数の保険を設定できます。これらの保険契約は、与信保険テーブル (F03B29) で購入時の通貨を使用して管理されます。購入した保険の補償率は会社別に確定され、顧客への債権の全額が補償されない場合もあります。

**注:** 業種レベルで顧客の与信保険契約を設定することはできません。

## 標準与信保険契約

複数の顧客または特定の顧客に対して 1 つの保険を使用する場合は、標準保険（標準方針）を設定します。標準保険を設定するには、特定の期間において顧客が負う債務を確定します。補償限度額が低すぎると判断した場合、または、高すぎると判断した場合には、保険会社と契約内容を調整して、補償額を更新することができます。

複数の標準保険を設定する際は、保険の対象となる顧客を個別に追跡する必要があります。これを行うには、添付ファイルを保険契約に追加し、カテゴリ コードを使用して顧客を一覧表示します。または、Excel スプレッドシートで個別に顧客を追跡します。

この保険契約は、レポートを使用して月次で方針の検討と検証を行うことができます。検討と検証の結果、必要に応じて、保険金額を保険会社と調整することができます。以下のレポートを使用して、標準保険の情報を検討できます。

- 売掛金明細 - 年齢調べ付き (R03B4201B)
- 未収債権集計分析 (R03B155)
- 外貨/国内通貨 - 年齢調べ付き (R03B429C)

## 単一与信保険契約

取引ベースで検討する顧客またはプロジェクトには単一保険（単一方針）を設定します。通常、単一保険は特定の期間を対象に購入されるため、有効期間を指定します。

保証与信限度額は、内部の与信限度額と同様に請求書の入力時にチェックされます。保険契約は、与信保険テーブルに保存されている保険会社の住所番号や保証限度額の更新時に、顧客に割り当てます。

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 保険会社の住所録レコードを作成します。
- 保険会社の仕入先レコードを作成します。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理 8.11 SP1 PeopleBook、「仕入先情報の入力」



## 与信保険契約の設定に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[与信保険の処理]	W03B2901A	[与信/回収処理セットアップ](G03B411)、[与信保険の処理]	与信保険契約を表示し、検討対象の契約を選択します。
[信用保険の定義]	W03B2901B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [信用保険の処理] フォームで、[追加]をクリックします。</li> <li>• [信用保険の処理] フォームで、保険契約を選択し、[選択]をクリックするか、または[ロー]メニューで[保険]を選択します。</li> </ul>	新規の与信保険契約を作成するか、または既存の与信保険契約を検討します。
[仕入先マスターの改訂]	W04012A	[信用保険の処理] フォームで保険契約を選択し、[ロー]メニューで[仕入先]を選択します。	保険会社の仕入先マスターを検討します。
[顧客マスターの処理]	W03013A	[信用保険の処理] フォームで保険契約を選択し、[ロー]メニューで[顧客]を選択します。	保険契約に関連付けられている顧客の顧客マスターを検討します。
[売掛金元帳照会の処理]	W03B2002A	[信用保険の処理] フォームで保険契約を選択し、[ロー]メニューで[売掛金元帳]を選択します。	保険契約に関連付けられている顧客の元帳情報を検討し、その顧客が与信保険の対象と見なされる理由を判断します。
[取引残高照会]	W03B218B	[信用保険の処理] フォームで保険契約を選択し、[ロー]メニューで[残高]を選択します。	保険契約に関連付けられている顧客の残高情報を検討し、その顧客が与信保険の対象と見なされる理由を判断します。

## 与信保険契約の設定

[信用保険の定義] フォームにアクセスします。

与信保険の処理 - 信用保険の定義

信用保険の処理 信用保険の定義

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

保険会社 \* 4445 Credit Insurance, Inc. 保険証書No. \* 4448-7845612  
 方針タイプ 2 単一方針  
 顧客No. 3002 Atlantic Corporation 会社 00000  
 有効開始日付 2005/01/01 有効期限 2005/01/31

補償金額 \* 150,000.00 通貨コード \* EUR Euro

保険料 12,500.00 単価  
 通貨コード EUR Euro 購入数量  
 補償範囲(%) 80.00

[信用保険の定義] フォーム

**[保険会社]**

保険会社の住所録番号を入力します。住所録番号によって保険契約と保険会社が関連付けられます。

**[保険証書No.]**

参照専用の番号を入力します。

**[方針タイプ]**

保証与信限度額を設定するための保険契約のタイプを指定するコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

1. 標準方針:複数の顧客に使用することができます。
2. 単一方針:単独の顧客に使用します。
3. 単一方針(与信チェックなし):保証与信限度額の代わりに標準与信限度額を確認する場合はこの方針を使用します。たとえば、保証与信限度額で指定した金額を超える金額を与信限度額にすることができます。これを行うには、与信保険の処理プログラムで設定した保証与信限度額より大きな金額を、顧客マスター プログラムで標準与信限度額として設定します。この場合、受注オーダーの入力時には標準与信限度額が確認され、保証与信限度額は無視されます。

**[有効開始日付]、[有効期限]**

保険契約が発効する日付と失効する日付を入力します。

**[補償金額]**

顧客が支払不能に陥った場合に、保険会社によって補償される金額の最高値を入力します。

**[通貨コード]**

補償金額の通貨を指定します。

**[保険料]**

保証与信限度額を定めた保険契約を結ぶために保険会社に支払う金額を入力します。

[通貨コード]	保険料の通貨を指定します。
[単価]	コストの合計を単位数量で割った金額を入力します。
[購入数量]	購入した単位数量を入力します。
[補償範囲(%)]	未決済で未払の売掛金が与信保険で補償される割合をパーセント単位で入力します。たとえば、50 を入力すると、回収できなくなった合計未決済額の 50% が保険で支払われることを意味します。このフィールドに入力する値は参照専用です。

## 与信/回収管理者の設定

このセクションでは、与信/回収管理者の概要と、与信/回収管理者用の UDC の設定方法を説明します。

### 関連項目:

EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

## 与信/回収管理者について

与信/回収の処理を特定の担当者が管理する場合は、与信/回収管理者を設定し、顧客レコードに割り当てることができます。各管理者は、担当顧客に関してのみ、データの照合とレポート作成を実行できます。また、顧客の与信限度額や支払期限の超過など、さまざまな与信/回収処理のワークフローメッセージを管理者に送信できます。

与信/回収管理者を設定するには、管理者を住所録に追加してから、UDC テーブルで管理者の設定を行います。UDC テーブルで使用するコードと管理者の住所番号を相互参照させ、このコードを顧客レコードに割り当てます。

1 人の担当者が与信管理と回収管理の両方を兼任する場合、住所録レコードを 2 つ作成する必要はありません。ただし、その管理者の住所録番号は、以下の UDC テーブルの両方に追加する必要があります。

- 01/CR (与信管理者)
- 01/CM (回収管理者)

UDC テーブルに与信/回収管理者を設定したら、UDC 値を顧客レコードに割り当てする必要があります。

参照: 第 6 章、「与信/回収管理の設定」、「顧客への与信/回収情報の割り当て」、124 ページ

**注:** 与信/回収管理者に CR1 または CM1 などの汎用コードを割り当てると、該当する UDC テーブルの [記述 02] フィールドの住所番号を変更することで、その管理者への参照を簡単に変更できます。これは、担当者が頻繁に変更される場合に役立ちます。フィールドに割り当てる値の横に管理者の氏名が表示されます。

たとえば、担当者の氏名を使用するように指定 (Dominique Abbott の場合は ABBOTT) すると、その人がポジションを離れた場合、データ ファイル ユーティリティを使用しなければ、全ての顧客マスター (F03012) を一括して新しい氏名に更新することはできません。しかし、CM1 などの汎用コードを使用した場合は、[記述 02] フィールドを簡単に変更でき、顧客マスターを更新する必要はありません。

## 与信/回収管理者の UDC 設定

与信管理者を設定する場合は UDC テーブル 01/CR にアクセスし、回収管理者を設定する場合は UDC テーブル 01/CM にアクセスします。

- |         |   |
|---------|---|
| [コード]   | 管理者を示す 10 桁の英数字コードを入力します。                         |
| [記述 01] | 管理者の名前を入力します。                                     |
| [記述 02] | 管理者の住所番号を入力します。住所番号を指定しない場合、ワークフロー メッセージは送信されません。 |

---

## 顧客への与信/回収情報の割り当て

このセクションでは、与信/回収情報の概要を示し、以下の方法について説明します。

- 顧客への与信情報の割り当て
- 顧客への回収情報の割り当て
- 保険契約に関連付けられている顧客の検討

## 顧客の与信/回収情報について

延滞利息金、延滞通知、ワークフロー メッセージを作成したり、与信情報を更新するには、さまざまな与信/回収情報を顧客レコードに割り当てる必要があります。これは、既存の顧客に対して行うほか、新規の顧客に与信/回収情報を入力する際にも行います。

顧客レコードには次の与信/回収情報を指定できます。

- 顧客の延滞方針  
手動で顧客に方針を割り当てない場合は、会社 00000 用のデフォルト方針（標準）が自動的に割り当てられます。
- 顧客の与信限度額
- 顧客勘定に割り当てられた与信/回収管理者
- 延滞通知の作成
- 延滞利息金の作成
- 外部回収機関への回収レポートに顧客を含めるかどうか
- 計算書の作成

延滞処理方針を設定して、それを顧客に割り当てた後、各方針にどの顧客が割り当てられているかを確認することができます。たとえば、[方針の相互参照] フォームを使用して、標準方針に関連付けられている顧客を表示することができます。

## 顧客への与信/回収情報の割り当てに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[顧客マスターの処理]	W03013A	[顧客および請求書の入力](G03B11)、[顧客マスター情報]	既存の顧客マスターの検索と削除を行います。
[顧客マスターの改訂]	W03013B	[顧客マスターの処理] フォームで、顧客を選択して[選択]をクリックします。	顧客に与信/回収情報を割り当てます。
[方針の相互参照]	W03B2502G	[与信/回収管理セットアップ](G03B411)、[延滞方針の定義]  [延滞方針の処理] フォームで延滞方針を選択し、[ロー]メニューで[相互参照]を選択します。	特定の回収方針に関連付けられた顧客の一覧を確認できます。

## 顧客への与信情報の割り当て

[顧客マスターの改訂] フォームにアクセスし、[与信] タブを選択します。

顧客マスター情報 - 顧客マスターの改訂

顧客マスターの処理 顧客マスターの改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

顧客No. 3333 [Continental Incorporated](#)

詳細住所No.

会社 00000

タブを選択: 2-与信

与信限度額	<input type="text" value="25,000.00"/>	与信検討日付	<input type="text"/>
与信管理者	<input type="text" value="CR02"/> 与信管理者 2	前回与信検討日付	<input type="text"/>
与信メッセージ	<input type="text"/>	顧客レコード作成日付	<input type="text" value="1998/10/12"/>
一時与信メッセージ	<input type="text"/>		
顧客情報設定者	<input type="text" value="BW5482707"/>	ABCコード - 売上	<input type="text" value="C"/> C級
最終与信チェック者	<input type="text"/>	ABCコード - 粗利益	<input type="text" value="C"/> C級
財務諸表受領日	<input type="text"/>	ABCコード - 平均日数	<input type="text" value="C"/> C級
Dun Bradstreet日付	<input type="text"/>		
Experian日付	<input type="text"/>		

[顧客マスターの改訂] - [与信] タブ

[与信限度額]	この顧客に対する掛売り販売の限度額を入力します。この金額を超えるとワークフロー メッセージが送信されます。与信管理プログラム全体でこの値が使用されます。与信限度額は子（顧客）レベルで管理され、親レベルでは管理されません。与信限度額の超過が発生すると、超過した顧客別にワークフロー メッセージが送信されます。与信限度額を設定または変更すると、その限度額は承認待ちであることを示すワークフロー メッセージが与信管理者に送られます。この与信限度額は、与信管理者が承認するまで顧客レコードには反映されません。
[与信管理者]	<p>与信限度額の入力や変更を承認する権限を持つ与信管理者のコードを入力します。住所録レコードで与信管理者を設定し、UDC テーブル 01/CR にコードを作成しておく必要があります。UDC の設定時には、[記述 02] フィールドにその与信管理者の住所番号を入力します。</p> <p>与信管理者を識別する UDC をこのフィールドに入力します。</p>
[与信メッセージ]	<p>顧客/仕入先の与信状況を示す UDC テーブル 00/CM の値を入力します。たとえば、以下の値を入力できます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1: 与信限度額超過</li><li>2: 購買オーダー必要</li><li>3: メンテナンス契約上がない</li></ol> <p>フォームの詳細セクションをクリックするとメッセージが表示されます。</p>
[顧客情報設定者]	顧客レコード作成者のユーザー ID が表示されます。ユーザー ID は自動的に入力されます。
[最終与信チェック者]	最後に与信情報を検討した人のユーザー ID が表示されます。与信限度額を入力または変更したユーザーのユーザー ID が自動的に入力されます。
[財務諸表受領日]	会社の信用価値を評価するための財務諸表が受領された日付を入力します。このフィールドに値を指定して、顧客からいつ財務諸表を受領したかを特定します。
[Dun Bradstreet日付]	Dun & Bradstreet 格付が提供された日付を入力します。
[Experian日付]	Experian 格付が提供された日付を入力します。
[与信検討日付]	顧客の与信情報の検討日を入力します。
[前回与信検討日付]	前回、与信管理者がこの顧客の支払記録を検証し、顧客勘定に支払状況を割り当てた日付を入力します。
[顧客レコード作成日付]	顧客レコードが作成された日付が表示されます。
[ABC コード - 売上]	顧客または在庫品目の販売活動のレベルを表す等級を入力します。この等級は 80 対 20 の法則（重要な成果の 80 % は企業努力の 20% に起因する）に基づいています。A（最高）から F（最低）までの等級があります。
[ABC コード - 粗利益]	<p>平均投資額によって品目の順位を表すコードを入力します。このコードは、手動または自動のいずれかで割り当てることができます。有効なコードは以下のとおりです。</p> <p>A:品目を第 1 の金額ランク（A 級）に割り当てます。</p> <p>B:品目を第 2 の金額ランク（B 級）に割り当てます。</p> <p>C:品目を第 3 の金額ランク（C 級）に割り当てます。</p>

D: 品目を ABC 分析の対象から除外します。

このフィールドをブランクにすると、ABC 分析プログラム (R4164) の実行時には、以下のような品目の価値に基づいてコードが割り当てられます。

- 平均投資総額をビジネスユニットの平均値で除算した値
- 投資額と算出された品目価値の合計との一致

#### [ABC コード - 平均日数]

顧客が請求額の支払に要した日数の平均に基づく等級を入力します。このコードは 80 対 20 の法則に基づいています。A (最高) から F (最低) までの等級があります。

## 顧客への回収情報の割り当て

[顧客マスターの改訂] フォームにアクセスし、[回収] タブを選択します。

顧客マスター情報 - 顧客マスターの改訂

顧客マスターの処理 顧客マスターの改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

顧客No. 3333 [Continental Incorporated](#)

詳細住所No.

会社 00000

タブを選択: 3-回収

回収管理者 CM02 Jane Maede

方針名/会社  00000 >> Standard Policy

損金管理者

計算書送付先 C 顧客名 (AN8) ☒ 回収レポート

計算書発行サイクル C ☒ 計算書の印刷

☒ 延滞利息金

☒ 延滞通知

[顧客マスターの改訂] - [回収] タブ

#### [回収管理者]

この顧客の回収管理の責任を負う回収管理者のコードを入力します。住所録レコードで回収管理者を設定し、UDC テーブル 01/CM にコードを作成しておく必要があります。UDC の設定時には、[記述 02] フィールドにその回収管理者の住所番号を入力します。

回収管理者を識別する UDC をこのフィールドに入力します。

#### [方針名/会社]

顧客に割り当てる延滞方針を選択します。請求書が期日超過であるかどうかの判断と実行する措置の決定に使用される、規則の組み合わせを示す延滞方針を入力します。方針には、延滞通知指示と延滞利息金指示に

使用する年齢調べ情報が含まれます。顧客の支払慣習や業種に基づいて方針を設定し、顧客をグループ化することができます。

延滞方針の定義プログラム (P03B2501) を使用して有効な方針を設定します。方針は延滞方針テーブル (F03B25) に保存されます。

延滞方針に関連付けられている会社が [方針名/会社] フィールドの右に表示されます。

#### [損金管理者]

損金管理の責任者の住所番号を入力します。住所番号の他に、名称や税 ID 番号を入力することができます。

名称を入力すると、対応するレコードが検索され、住所番号が表示されます。複数のレコードが見つかった場合は、全ての名称が表示され、正しいレコードを選択できます。

税 ID を入力する場合は、住所録固定情報プログラムで定義した特殊記号を税 ID の前に付けてください。税 ID に基づく住所番号が表示されます。

レコードが見つからない場合、0 (ゼロ) が表示されます。

#### [計算書の印刷]

顧客の計算書を印刷する場合はこのチェック ボックスをオンにします。

---

注: このオプションは、顧客マスター情報プログラム (P03013) と売掛管理固定情報プログラムの両方にあります。売掛管理固定情報プログラムでは、このオプションによって、特定の会社に対して入力した請求書に関する計算書を印刷するかどうかを指定します。顧客マスター情報プログラムでは、このオプションによって、特定の顧客に対して入力した請求書に関する計算書を印刷するかどうかを指定します。

---

#### [計算書送付先]

計算書に印刷する請求先住所を示すコードを入力します。有効値は以下のとおりです。

C: 顧客名 (AN8)

P: 親番号 (PA8)

R: 代替支払人 (ARPY)

1: 第 1 住所番号 (AN81)

2: 第 2 住所番号 (AN82)

3: 第 3 住所番号 (AN83)

4: 第 4 住所番号 (AN84)

5: ファクター/代替支払先 (AN85)

6: 第 5 住所番号 (AN86)

#### [計算書発行サイクル]

計算書の印刷のために顧客をグループ化するコードを入力します。たとえば、毎月 1 日発行のサイクル A、毎月 2 日発行のサイクル B などに設定された全ての顧客への計算書を印刷することができます。

このフィールドをブランクにすると、顧客名称の最初の文字が自動的に割り当てられます。

#### [回収レポート]

外部機関に送付する回収レポートにこの顧客の支払期日を超過した請求書を記載する場合は、このチェック ボックスをオンにします。



**[延滞通知]**

顧客に割り当てた延滞方針に設定済みの延滞通知指示に基づいて、この顧客への延滞通知書を印刷するには、このチェック ボックスをオンにします。

注: このオプションは、顧客マスター情報プログラム (P03013) と売掛管理固定情報プログラムの両方にあります。売掛管理固定情報プログラムでは、このオプションによって、特定の会社に対して入力した請求書に関する通知を印刷するかどうかを指定します。顧客マスター情報プログラムでは、このオプションによって、顧客用に通知を印刷するかどうかを指定します。

**[延滞利息金]**

この顧客に対して延滞利息金の処理を行う場合は、このチェック ボックスをオンにします。

## 方針に関連付けられている顧客の検討

[方針の相互参照] フォームにアクセスします。

**延滞方針の定義 - 方針の相互参照**

検索① 閉じる(L) フォーム(F) ツール(T)

方針名

会社

レコード 1 - 3 グリッドのカスタマイズ  

	住所 No.	名前	会社	会社名
<input checked="" type="radio"/>	42452	Cloud Nine-DAL	00200	Manufacturing/Distribution Co.
<input type="radio"/>	42452	Cloud Nine-DAL	00000	Worldwide Company
<input type="radio"/>	6074	Eastern Manufacturing Plant	00000	Worldwide Company

[方針の相互参照] フォーム

## 与信/回収のワークフロー メッセージの有効化

このセクションでは、以下の作業方法について説明します。

- 与信/回収管理者へのワークフロー メッセージの有効化
- 与信限度額の承認のためのワークフロー メッセージの有効化

### 与信/回収管理者へのワークフロー メッセージの有効化

与信限度額の入力や変更が行われると、与信管理者にワークフロー メッセージが自動的に送信されます。メッセージは、変更が承認待ちであることを示します。この与信限度の変更は、該当する与信管理者がこの変更を承認するまで [顧客マスターの改訂] フォームには反映されません。

また、与信分析データ再作成プログラムを実行すると、対象となる顧客に設定された方針に基づいて、回収管理者にワークフロー メッセージが自動的に送信されます。

与信/回収管理者がワークフロー メッセージを受信するためには、そのユーザーと与信/回収管理者のユーザー プロファイルを有効な住所番号と関連付ける必要があります。この関連付けを設定するには、ユーザー プロファイルの管理プログラム (P0092) でレコードを作成します。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: System Administration

また、顧客に関連付けられている与信管理者を UDC テーブル 01/CR に設定し、回収管理者を UDC テーブル 01/CM に設定する必要があります。UDC の [記述 02] フィールドには、与信/回収管理者の住所番号が含まれる必要があります。

## 与信限度額の承認のためのワークフロー メッセージの有効化

与信限度額の承認機能が適切に機能するには、ワークフロー状況の CREDLIMIT が有効になっている必要があります。

CREDLIMIT ワークフロー プロセスが有効になっていない場合、顧客マスターが新しい与信限度額で即座に更新されます。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Workflow Tools

## 第 7 章

# 請求書の処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、請求書処理の概要と、以下の方法について説明します。

- 請求書の処理
- (CHL) Set up invoice dates for Chile
- 定期請求書の処理
- (ARG) Process invoices with legal numbers for Argentina
- (CHL and PER) Process invoices for Chile and Peru
- (VEN) Assign control numbers to invoices for Venezuela
- (POL and RUS) Work with invoices for Poland and Russia
- 請求書の改訂と転記
- (Rapid Start) Process customer invoices

---

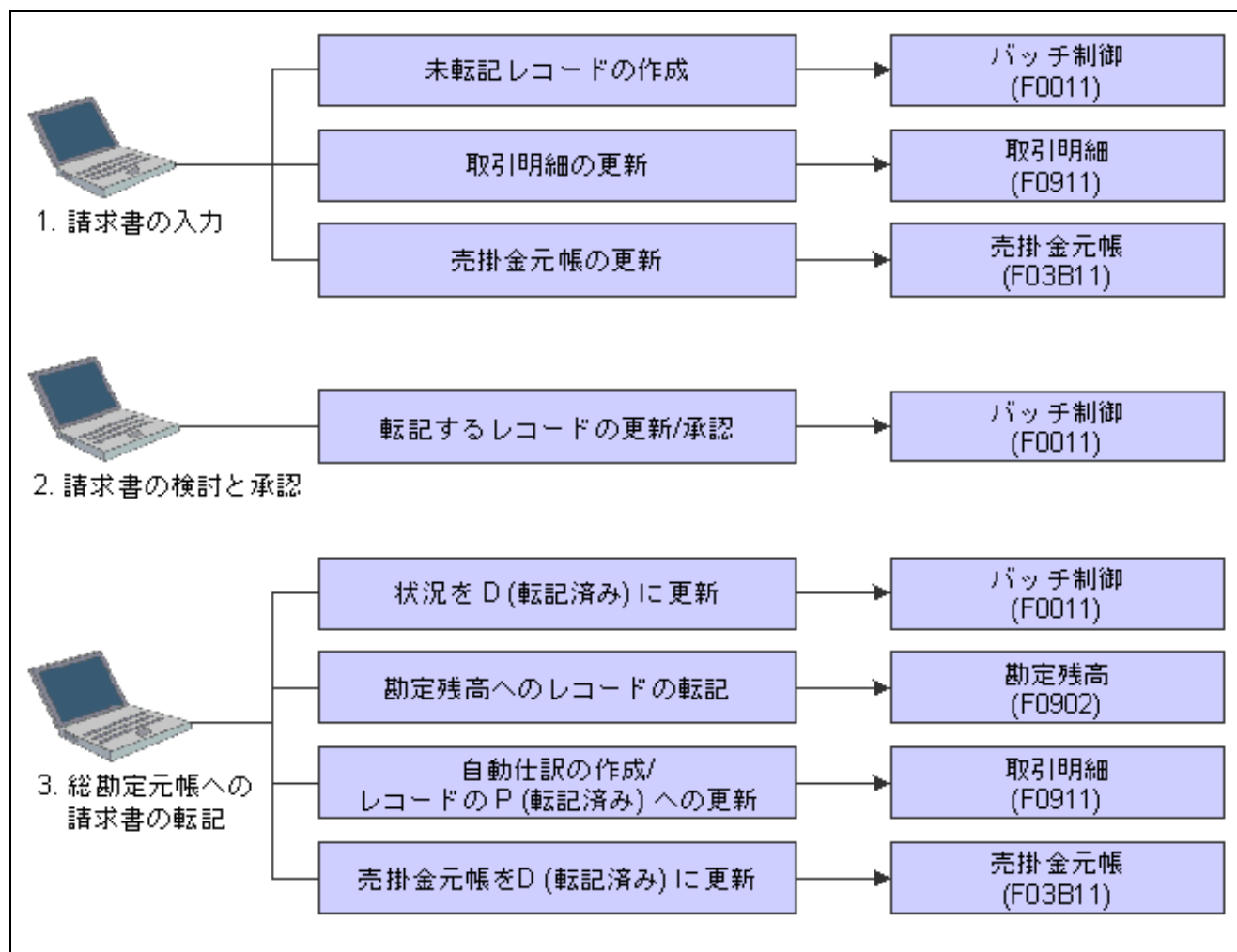
## 請求書処理について

売掛管理部門では、効率的に請求処理を進めることが非常に重要です。通常は、顧客から入金を受ける前に請求書を作成します。そのため、請求書のほとんどは受注管理など他システムで作成されます。しかし、売掛管理システムでも顧客請求書の入力や改訂が必要になることがあります。

請求書の処理には 3 つのステップがあります。EnterpriseOne の全てのシステムでは、取引のバッチを 3 つのステップで処理します。請求書処理の 3 ステップは次のとおりです。

1. 取引（請求書、入金、手形など）の入力
2. 転記のための取引の検討と承認
3. 総勘定元帳への取引の転記

次の図は、3 ステップ処理における処理の内容を示しています。



3 ステップの処理

## 請求書入力

必要に応じて、次の方法で請求書を入力することができます。

- 標準請求書入力 – 柔軟性があり多くの機能を備えています。
- スピード請求書入力 – 標準請求書入力に比べて、柔軟性が低く機能が少なくなります。しかし、請求書や勘定科目情報をすばやく入力できます。

標準請求書入力とスピード請求書入力の長所と短所を考慮して、どちらの方法を使うか決めてください。

請求書入力方法	長所と短所
標準請求書入力	<p>次のような処理が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 分割払いの作成</li> <li>• 複数支払項目の使用</li> <li>• 定期請求書の設定</li> <li>• 請求書の変更、削除、無効</li> <li>• モデル仕訳の作成と利用</li> <li>• 元帳クラスの一時変更</li> </ul> <p>請求書と勘定科目情報の入力にフォームを2つ使うため、請求書にすばやく入力することはできません。</p>
スピード請求書入力	<p>次のような処理が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入力プログラム1つで、請求書と勘定科目情報の両方を入力</li> <li>• 限られた請求書情報のスピーディな入力</li> </ul> <p>次のことは実行できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 分割払いの作成</li> <li>• 請求書の変更、削除、無効</li> <li>• 定期請求書の設定</li> <li>• 各請求書への複数の支払項目の入力</li> <li>• モデル仕訳の作成または利用</li> <li>• 元帳クラスの一時変更</li> </ul>

## 請求書バッチ

請求書を入力した後、総勘定元帳に転記する前に、各請求書の検討、承認、および改訂を行うことができます。請求書仕訳の検討プログラム (P0011) を使って、次のことができます。

- 請求書バッチの検討と承認
- 既存のバッチへの請求書の追加
- 各請求書の検討と改訂
- 関連する仕訳の検討と改訂

## 総勘定元帳への転記

請求書を検討、承認した後、総勘定元帳に転記します。転記用の請求書バッチを投入すると、次の処理が実行されます。

- 承認済みで未転記の請求書を選択し、各取引を検証します。
- 売掛金勘定と税勘定の自動仕訳を作成します。
- 勘定残高テーブル (F0902) へ承認済みの取引を転記します。

- 売掛金元帳 (F03B11)、請求書改訂履歴 (F03B112)、取引明細 (F0911) の各テーブルで請求書を転記済みに更新します。
- ワーク センターにワークフロー メッセージを送信します。
- 転記レポートまたは転記詳細エラー レポート (あるいはその両方) を印刷します。

## (BRA) Invoice Processing for Brazil

In Brazil, businesses remit customer invoice information, including interest rates for amounts that are past due, to banks for collection. Banks attempt to collect on the invoices and return collection information so that the businesses can update Accounts Receivable information.

You can use the base software to process invoices for customers. When you enter invoices, the system automatically associates the invoice with the additional information that the Brazilian bank requires to be collected on the invoice. This additional information is based on the A/R Brazilian Tag Maintenance country server and user-defined codes.

## (ITA) Invoices for Free Goods

Invoices for free goods have a zero value. In Italy, invoices for free goods must be entered into the system for fiscal and VAT reporting purposes.

When you enter invoices for free goods into the system, the first pay item represents the taxable amount with the relevant tax rate. You enter this pay item with a tax explanation code of V (VAT). The second pay item represents the gross amount (negative). To calculate the gross amount, add the first pay item taxable amount and the VAT amount. Enter the second pay item with a tax explanation code of E (exempt) with a tax rate of zero.

This table provides an example of an invoice for free goods:

Pay Item	Gross Amount	Taxable Amount	Tax Amount	Tax Rate Code	Tax Explanation Code
001		1000	200	IT20	V
002	-1200			IT00	E

The total invoice value is zero, and the invoice can be posted to update the Taxes table (F0018). The G/L distribution debits the Cost of Goods Sold account and credits a specific expense account for free goods.

To close the invoice, record a cash receipt through the Standard Receipt Entry program (P03B102).

## 請求書の使い方

このセクションでは、標準請求書、請求書入力マスター ビジネス関数、貸借不一致の請求書、クレジットメモ、スピード請求書、未転記請求書の改訂の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 標準請求書入力 (P03B11) の処理オプションの設定
- スピード請求書入力 (P03B11SI) の処理オプションの設定
- 請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011) の処理オプションの設定

- 請求書の検索
- 標準請求書入力
- モデル仕訳の選択
- 貸借不一致の請求書入力
- クレジット メモの入力
- 割引付き請求書の入力
- スピード請求書入力

## 標準請求書入力について

顧客に販売した商品やサービスに対して、請求書レコードを作成する必要があります。ほとんどの請求書は、受注管理、不動産管理、契約/サービス請求管理など他システムで作成されますが、売掛管理システムでもさまざまな請求書を入力することができます。請求書入力時には、顧客レコードに設定したデフォルト情報が使用されます。

請求書の情報を入力した後、勘定科目の情報を入力します。通常、収益勘定を貸方に入力します。請求書を転記すると、AAI で設定した売掛金勘定の仕訳が自動的に作成されます。

また、いつも同じ複数の勘定科目を入力する場合は、モデル仕訳を設定することができます。標準請求書では、基本的な情報を入力する以外に、その他の情報を入力、改訂することができます。たとえば、1 件の請求書に支払期日や税情報が異なる複数の明細行を入力したり、定期請求書を入力することができます。

---

**注:** 一部入金済みの請求書を入力することはできません。

---

請求書にはバッチ タイプ IB が割り当てられます。標準請求書を入力すると、売掛金元帳と取引明細テーブルにレコードが追加されます。請求書のバッチを転記すると、F0902 テーブルが更新され、次のテーブルの請求書の状況が転記済みに更新されます。

- F03B11
- 請求書改訂履歴 (F03B112) – 改訂がある場合
- F0911
- バッチ制御 (F0011)

請求書およびクレジット メモには、請求書入力 MBF 処理オプション プログラム (P03B0011) の処理オプションで指定した伝票タイプが割り当てられます。標準請求書入力プログラム (P03B11) の処理オプションで使用する MBF プログラムのバージョンを指定し、次に売掛金元帳照会 (P03B2002) の処理オプションで使用する標準請求書入力処理オプションのバージョンを指定してください。通常、請求書には伝票タイプ RI、クレジット メモには伝票タイプ RM が割り当てられます。

## カテゴリ コード

請求書を入力すると、F03B11 テーブルにある請求書レコードのカテゴリ コード フィールド (AR01 ~ AR10) は、会社番号に基づいた業種別顧客マスター (F03012) の値に自動的に更新されます。請求書に入力した会社のカテゴリ コードの値が設定されていない場合でも、会社 00000 に設定された値は使用されません。

業種別処理を使用しない場合は、常に会社 00000 の値が使用されます。

## デフォルト情報

顧客レコードでデフォルトの収益勘定またはモデル仕訳を指定すると、[勘定科目情報] フォームの詳細グリッドにはデフォルトの収益勘定が自動的に表示されます。[金額] フィールドには、請求書の総額がマイナスで表示されます。必要に応じてこの金額を変更することができます。

## 勘定科目 ID フィールドの更新

請求書を入力すると、F03B11 テーブルにある請求書レコードの勘定科目 ID (AID) フィールドは売掛金勘定の略式 ID に更新されます。この売掛金勘定は自動仕訳で使用されます。請求書で指定された元帳クラスと会社の AAI 項目 RC から勘定科目コードが検索されます。AAI にビジネスユニットが含まれていない場合、請求書の支払項目で指定されたビジネスユニットが使用されます。

## 比率を使った複数の勘定科目の配分

複数の勘定科目情報の金額を比率を使って配分するには、[勘定科目情報] フォームの見出しにある「パーセント」のチェック ボックスをオンにします。次に、詳細グリッドの % (パーセント) フィールドに比率を入力します。金額が自動的に計算されます。入力した比率の合計が 100 パーセントになるようにしてください。

比率は整数で入力してください。たとえば 25 パーセントの場合、「.25」ではなく「25.0」と入力します。

## モデルに基づく勘定科目情報の入力

入力処理を簡単にするために、モデル仕訳を設定して使用することができます。計上する勘定科目が同じ伝票および請求書がある場合、モデル仕訳を設定すると便利です。取引の勘定科目情報を入力するときにモデルを選択するか、仕入先または顧客レコードに対してデフォルトのモデルを設定することができます。

## 割引

早期の入金や支払に対する特典として割引付きの請求書を入力することができます。割引付きの請求書を入力すると、取引に設定した支払条件に従って割引額と支払期日が計算されます。

割引の入力には、3 つの方法があります。

- 支払条件の使用。支払条件を指定して、請求書を入力します。支払条件に従って、割引可能額と支払期日、割引期日が自動的に計算されます。自動計算された割引額をゼロに変更する場合は、割引を計算しない支払条件を設定し、[請求書入力] フォームでその支払条件を指定してください。

支払条件を変更して新たに割引額または期日を計算し直す場合は、次のフィールドをクリアして、自動計算された情報を削除してください。

- [割引可能額]
- [割引期日]
- [支払期日]

支払条件を変更してもこれらのフィールドをクリアしないと、割引情報は再計算されません。

- 割引額の入力。請求書入力時に割引可能額を指定します。同時に割引期日と支払期日を指定することもできます。
- 割引率の入力。請求書入力時に割引率を指定します。同時に割引期日と支払期日を指定することもできます。



## 添付

添付を入力することによって、請求書および勘定科目情報にコメントを追加できます。添付は社内参照のみに使用し、レポートや請求書、計算書には表示されません。たとえば、請求書の変更や無効に関する顧客の指示を入力することができます。

[売掛金元帳照会の処理] フォームまたは [請求書入力] フォームで、請求書の支払項目に添付を追加することができます。請求書レコードは [OK] をクリックするまで作成されないため、請求書の入力中は請求書の支払項目に対して添付を追加することはできません。また、[売掛金元帳照会の処理] で集計して表示されている請求書の支払項目にも添付を追加できません。

請求書の支払項目とは異なり、[勘定科目情報] フォームでは勘定科目の入力中に勘定科目に添付を追加することは可能です。これは、勘定科目情報入力時には伝票番号、タイプ、会社が既にレコードに割り当てられているためです。

追加できる添付ファイルの種類は次のとおりです。

- テキスト
- イメージ
- OLE
- ショートカット
- URL/ファイル

添付を追加すると、添付を追加した支払項目または勘定科目の明細行の左にペーパークリップのボタンが表示されます。添付の入力方法は、使用するプログラムやシステムにかかわらず同じです。

## 請求書入力マスター ビジネス関数について

マスター ビジネス関数 (MBF) の目的は、請求書や伝票、仕訳などの伝票入力に関する標準的なビジネス規則をシステム全体で共有することです。マスター ビジネス関数には処理オプションがあります。MBF の処理オプションを設定した後、入力プログラムの処理オプションで使用する MBF のバージョンを指定します。

請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011) は、次のプログラムを使って請求書が作成される場合に使用されます。

- 標準請求書入力 (P03B11)
- スピード請求書入力 (P03B11SI)
- バッチ請求書の処理 (R03B11Z1A)

さらに、次のシステムでは請求書が自動的に作成されます。

- 受注管理
- 契約/サービス請求管理
- 不動産管理

請求書 MBF を使用するプログラムでは、使用する MBF のバージョンを指定する必要があります。バージョンを指定しない場合、ZJDE0001 が使用されます。

## 貸借不一致の請求書について

通常、請求書を入力する場合、請求書と勘定科目情報の 2 つのフォームに入力します。取引を保存するには、この 2 つのフォームの金額を一致させる必要があります。[勘定科目情報] フォームに入力しないで終了した場合、請求書の情報は失われ、もう一度最初から取引を入力しなければなりません。

途中まで入力した内容を保存するために、貸借不一致のまま請求書を終了して、後で勘定科目情報を入力することができます。転記プログラムではバッチの全取引において貸借が一致していることが必須となるため、貸借不一致の取引を誤って転記することを防ぐことができます。

---

**重要:** 貸借不一致でも取引を転記できるように設定することは可能ですが、この手順を使用することはお勧めしません。貸借が一致しない取引を転記すると必要な勘定科目が全ては更新されず、整合性の問題が発生します。

---

参照: JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「バッチ見出しの管理」、「貸借不一致バッチの改訂」

## クレジット メモについて

顧客への超過請求分を計算書に反映させるには、クレジット メモを入力します。総額をマイナスで入力する以外は、請求書を入力するのと同じステップに従います。

請求書入力 MBF 処理オプション プログラムを使用して検索された伝票タイプの値が、クレジット メモに割り当てられます。通常は、伝票タイプ RM が割り当てられます。クレジット メモに自動採番される伝票番号は、請求書の伝票番号に使用される自動採番の番号とは異なります。また、クレジット メモの支払期日には元帳日付が使用されます。

支払条件が正しく設定されている場合、クレジット メモでも割引は自動的に計算されます。総額にはマイナス（貸方）の金額を入力するため、[割引可能額] フィールドもマイナスの金額になります。このマイナスの割引額を削除するには、[支払条件] フィールドを割引を計算しない支払条件に変更し、[割引可能額] フィールドの金額をクリアした後 [OK] をクリックします。

---

**注:** 標準請求書入力プログラムの処理オプションで使用する請求書入力 MBF 処理オプション プログラムのバージョンを指定し、次に売掛金元帳照会プログラムの処理オプションで使用する請求書入力プログラムのバージョンを指定してください。

---

## スピード請求書について

単純な内容の請求書を大量に入力する場合、標準請求書入力の代わりにスピード請求書入力を使用することができます。スピード請求書入力では、請求書と勘定科目情報を 1 つのフォームで入力します。支払項目が 1 つ、つまり支払期日および税率/税域が 1 つだけで定期的には作成しない請求書を入力する場合に、この方法を使用することをお勧めします。

スピード請求書入力では、請求書の改訂や削除はできません。

標準請求書と同様、スピード請求書の情報は、次のテーブルに保管されます。

- F03B11
- F0911
- F0011

---

注: スピード請求書入力では、[元帳クラス] フィールドは表示されません。顧客マスター レコードに元帳クラスが設定されている場合は、その値が自動的に取り込まれます。標準請求書でこの値を変更する必要がある場合は、標準請求書入力プログラムを使用してください。

---

## 未転記の請求書の改訂について

請求書を入力した後、請求書の修正が必要になることがあります。請求書の修正は標準請求書入力プログラムで行います。このプログラムには [売掛金元帳照会] または [請求書仕訳の検討] からアクセスします。

---

注: 未転記の請求書を改訂する前に、売掛金元帳照会の [カスタマー・セルフサービス] 処理オプションが選択されていないことを確認する必要があります。この処理オプションが選択されている場合は、請求書を変更することはできません。

---

全てのフィールドは変更できませんが、未転記で未入金の請求書では次のフィールドを変更することができます。

- [支払条件]

支払条件を変更する場合は、[割引可能額]、[割引期日]、[支払期日] の 3 つのフィールドをクリアし、新しい支払条件に基づいて自動的に再計算されるようにします。

- [総額]

未決済金額が自動的に再計算されます。

総額を変更する場合は、割引額の変更が必要かどうかも確認してください。総額を変更しても割引額は自動的に再計算されません。支払条件から割引額を自動的に再計算するには、[割引可能額] フィールドをクリアしてください。

総額を変更する場合は、課税対象額と税額の変更が必要かどうかも確認してください。総額を変更しても課税対象額と税額は自動的に再計算されません。税率/税域に基づいて課税対象額と税額を再計算するには、[課税対象] フィールドと [税額] フィールドをクリアしてください。

総額を変更すると、[勘定科目情報] フォームが表示されます。

- [備考]

- [割引可能額]

- [支払期日]

- [割引期日]

- [元帳クラス]

- [支払状況]

支払状況が "P" (支払済み) の場合は値を変更できません。

- [頻度]

- [支払回数]

その他のフィールドを変更する必要がある場合は、請求書を削除してもう一度入力する必要があります。

割引額など、特定の情報を複数の請求書で一度に変更するには、スピード リリース プログラム (P03B114) を使用します。

**重要:** 受注管理など他システムで作成された請求書を変更すると、元のシステムで請求書の変更を行うことを勧めるメッセージが表示された後、変更に基づいて再処理が行われます。請求書が作成された元のシステムのシステム コードは、OMOD (当初モジュール) フィールドに保管されます。

請求書を変更すると、金額のフィールドを変更していない場合でも、国内通貨建ての金額と税額が再計算されます。たとえば、税付き外貨建て請求書の備考を変更した場合、次の処理が行われます。

税額と総額が再計算されます。総額が課税対象額と税額の合計と等しくならない場合、会社別税規則で設定された許容範囲によって警告またはエラー メッセージが表示され、請求書を変更できないこともあります。

国内通貨建ての金額が再計算されます。国内通貨建ての総額、課税対象額、税額に対して異なる値が計算された場合、請求書と勘定科目間の貸借不一致や、2 つのシステム (受注管理と売掛管理など) の間での不整合の問題が生じる可能性があります。

## 関連項目:

第 7 章、「請求書の処理」、「スピードリリースについて」、179 ページ

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 顧客レコードを設定します。
- 売掛金元帳照会プログラムの処理オプションを正しく設定します。
- 次のプログラムの処理オプションを正しく設定します。
  - 標準請求書入力 (P03B11)
  - スピード請求書入力 (P03B11SI)
  - 請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011)
  - 仕訳入力 MBF 処理オプション (P0900049)

これらのプログラムの処理オプションを設定するには、[システム・アドミニストレーション・ツール] メニュー (GH9011) から [対話型バージョン] を選択します。

- AAI 項目 RC を設定します。
- (ITA) Set up the system for date validation.

## 請求書の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[売掛金元帳照会の処理]	W03B2002A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[顧客および請求書の入力](G03B11)、[請求書入力]</li> </ul> <p>請求書を追加する場合に、このナビゲーションを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[顧客および請求書の入力](G03B11)、[売掛金元帳照会]</li> </ul>	<p>請求書を検索、検討、削除します。</p> <p>顧客に対する請求書を入力する前に、その請求書が既に入力されていないかどうか確認することができます。重複して入力するのを防ぐために最初に請求書を検索し、必要に応じて修正や削除を行ったり無効にしたりします。</p>
[請求書入力]	W03B11A	<p>[顧客および請求書の入力](G03B11)、[請求書入力]</p> <p>[売掛金元帳照会の処理] フォームで、[追加] をクリックします。</p>	請求書の追加と改訂を行います。
[追加情報]	W03B11E	[請求書入力] フォームの [フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。	自動設定された [サービス / 税日付]、[ビジネスユニット]、[支払手段] の値を変更します。
[勘定科目情報]	W03B11C	[請求書入力] フォームに入力し、[OK] をクリックします。	勘定科目に請求書金額を計上します。
[モデル仕訳の検索および選択]	W03B11G	[勘定科目情報] フォームで、[フォーム] メニューから [モデル仕訳] を選択します。	<p>取引の勘定科目情報入力時に勘定科目情報のモデルを選択します。</p> <p>モデル選択後は、そのモデルを基準として使い、必要に応じて [勘定科目情報] フォームの金額を追加、変更します。必要に応じて他のフィールドの情報を置換またはクリアすることもできます。</p>
[追加情報]	W03B11F	[勘定科目情報] フォームで、[フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。	貸借不一致のまま請求書を終了します。勘定科目情報は後で入力します。
[メディア・オブジェクト・ビューア]	NA	[売掛金元帳照会の処理]、[請求書入力] または [勘定科目情報] フォームでレコードを選択し、[ロー] メニューから [添付] を選択します。	<p>添付を入力し、請求書にコメントを追加します。添付は社内でのみ参照されます。</p> <p>集計された請求書の支払項目には添付を追加できません。</p>
[スピード請求書入力]	W03B11SIA	[顧客および請求書の入力](G03B11)、[スピード請求書入力]	単純な内容の請求書を大量に入力します。



## 表示

フォームに税および購入オーダー フィールドを表示するかどうかを指定します。

1. 税フィールド [税率/税域]、[税目コード]、[税額]、および [課税対象額] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク : 表示しない。  
 1: 表示する。
2. 購買オーダー フィールド 購買オーダー No./タイプ/会社フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク : 表示しない。  
 1: 表示する。
3. サービス/税日付フィールド [サービス/税日付] フィールドを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク : 表示しない。  
 1: 表示する。

## バージョン

請求書追加時に使用するプログラムのバージョンを指定します。

1. 請求書入力 MBF バージョン (請求書入力マスタービジネス関数バージョン) 使用する請求書入力 MBF 処理オプション プログラム (P03B0011) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。
2. 仕訳入力 MBF バージョン 使用する仕訳入力 MBF 処理オプション プログラム (P0900049) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## デフォルト

マイナス金額を表示するかどうかを指定します。

1. マイナス金額の表示形式 マイナス金額をプラスの数字で表示するか、マイナスの数字で表示するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク : マイナスで表示する。  
 1: プラスで表示する。

## 請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## デフォルト

各フィールドで使用するデフォルト値を指定します。

1. サービス/税日付 [サービス/税日付] フィールドに設定される日付を指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク : 元帳日付。

1: 請求書日付。

---

**注:** この処理オプションで指定したデフォルト値は、請求書の入力時に変更することができます。

---

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| <b>2. 支払状況コード</b>       | [支払状況コード] フィールドに設定される値を指定します。この処理オプションを空白にすると、データ辞書の項目 PST (支払状況) に設定されている値が使用されます。                               |
| <b>3. 標準請求書伝票タイプ</b>    | 請求書に割り当てられる伝票タイプを指定します。ユーザー定義コード 00/DT と 00/DI に設定されている伝票タイプを指定してください。この処理オプションを空白にすると、伝票タイプ RI が使用されます。          |
| <b>4. クレジット メモ伝票タイプ</b> | クレジット メモに割り当てられる伝票タイプを指定します。ユーザー定義コードテーブル 00/DT と 00/DI に設定されている伝票タイプを指定してください。この処理オプションを空白にすると、伝票タイプ RM が使用されます。 |
| <b>5. クレジット メモ支払期日</b>  | <p>クレジット メモに使用する支払期日を指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白 : 元帳日付。</p> <p>1: 支払条件コードで指定された日付。</p>                         |

## 編集

入力された請求書日付をシステムが検証するための規則を指定します。

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <b>1. 請求書日付が今日の<br/>日付より大きい</b> | <p>請求書日付が今日の日付より後の場合、警告メッセージを表示する、エラーメッセージを表示する、メッセージを表示しないのいずれかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白 : 表示しない。</p> <p>1: 警告を表示する。</p> <p>2: エラーを表示する。</p> |
| <b>2. 請求書日付が元帳日付<br/>より大きい</b>  | <p>請求書日付が元帳日付より後の場合、警告メッセージを表示する、エラーメッセージを表示する、メッセージを表示しないのいずれかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白 : 表示しない。</p> <p>1: 警告を表示する。</p> <p>2: エラーを表示する。</p>  |

## 税金

外貨建て請求書に税 (税目コード V) を入力できるようにするかどうかを指定します。

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>1. 外貨建て取引における税</b> | <p>外貨建ての請求書に付加価値税 (税目コード V) を入力できるようにするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白 : 入力を不可にする。</p> <p>1: 入力を可にする。</p> |
|-----------------------|--|



## 通貨

為替レートを使用するための規則を指定します。

1. 為替レート日付  
為替レートを取り込む日付を指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank : 請求書日付。  
1: 元帳日付。
2. 有効日付の検証  
為替レートを取り込むのに使用する有効日付が入金入力で入力された元帳日付と同じ期間かチェックするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank : チェックしない。  
1: チェックする。為替レート テーブル (F0015) から取り込まれた為替レートの有効日付が請求書の元帳日付と同じ期間にない場合、警告が表示されます。
3. 為替レート許容限度額  
請求書入力時の為替レートの変更に対する許容範囲を指定します。計算された金額が指定した許容範囲内でない場合は、請求書入力時に警告メッセージが表示されます。  
たとえば、為替レートの変更を 5% まで認める場合は「5」と指定します。前回入力した為替レートと 6% 異なる値を入力すると、警告メッセージが表示されます。これにより、入力為替レートが妥当であるかが確認され、データ入力ミスと考えられる場合に警告されます。

## バージョン

実行する請求書インタオペラビリティ処理オプション プログラム (P03B0190) のバージョンを指定します。

1. インタオペラビリティ (P03B0190) バージョン  
使用する請求書インタオペラビリティ処理オプション プログラム (P03B0190) のバージョンを指定します。この処理オプションをblankにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 請求書の検索

[売掛金元帳照会の処理] フォームにアクセスします。

**売掛金元帳照会 - 売掛金元帳照会の処理**

選択(S) 検索(I) 追加(A) 削除(D) 閉じる(L) フォーム(F) ロー(R) レポート(P) ツール(T)

顧客: 3333 Continental Incorporated

親住所: 3004 Pacific Company, The バッチNo. \*

請求書No. \* ~ \* ☒ すべて ☐ 入金済み ☐ 未決済

日付範囲: ~ ☒ 請求書日付 ☐ 支払期日  
☐ 元帳日付 ☐ 計算書日付

基準日:  ☐ 定期請求書 ☐ 集計

レコード 1 - 10 グリッドのカスタマイズ

	伝票 No.	伝票 タイプ	伝票 会社	支払 項目	請求書 日付	総額	未決済 金額	割引 可能額	割引実施額
<input type="checkbox"/>	1018	R5	00001	001	2005/08/10	122.04	122.04		
<input type="checkbox"/>	9008	RB	00001	001	2005/08/10	37.71	37.71		
<input type="checkbox"/>	9009	RB	00001	001	2005/08/10	0.25	0.25		
<input type="checkbox"/>	3095	RF	00001	001	2005/08/31	685.11	685.11	6.85	
<input type="checkbox"/>	1007	RI	00001	001	2005/04/01	4,750.00	4,750.00	47.50	

[売掛金元帳照会の処理] フォーム

**[顧客]**

顧客の住所番号を入力します。

**[親住所]**

顧客の親会社の住所番号を入力します。

親と子両方の顧客レコードが表示されます。孫および次のレベルの親/子関係のレコードは表示されません。

**[バッチNo.]**

請求書を検証するバッチ番号を入力します。

**[請求書 No.]**

検証する請求書番号の範囲を入力します。

**[すべて]、[入金済み]、[未決済]**

請求書を表示するオプションを次の中から 1 つ選択します。

すべて：全ての請求書を表示する。

入金済み：入金済みの請求書のみを表示する。

未決済：未決済の請求書のみを表示する。

**注:** 基準日機能を使用するには [すべて] を選択してください。**[日付範囲]**

請求書を検証する日付範囲を入力します。

**[請求書日付]、[支払期日]、  
[元帳日付]、[計算書日付]**

[日付範囲] フィールドに入力する日付に使用する日付タイプをこれらのオプションの中から 1 つ選択します。

**[基準日]**

特定の時点での請求書を検討するために使用する日付を入力します。入金元帳日付と基準日と比較し、指定した日付時点で請求書が未決済と入金済みのどちらであったかを判断した結果をもとに請求書が表示されず。

基準日を使った検索で正しい結果を得るには、支払状況オプションは[すべて]を指定してください。

#### [定期請求書]

定期請求書を表示する場合に、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、支払回数や頻度などの定期情報が含まれる請求書のみ表示されます。

#### [集計]

請求書を集計モードで表示する場合に、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、複数の支払項目がある請求書は 1 件の集計レコードとして表示され、[支払項目] フィールドには、“\*”が表示されます。オフにした場合は、請求書支払項目は個別のレコードとして表示されます。

## 標準請求書の入力

[請求書入力] フォームにアクセスします。

**請求書入力 - 請求書入力** i ?

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(E) ロー(R) ツール(T)

伝票No./タイプ/会社   00070 バッチNo. ★ 133642

---

顧客 3333 Continental Incorporated

会社 00070 Luxe de France

請求書日付 2005/06/16 元帳日付 2005/06/30 ☒ 割引率

通貨 EUR 為替レート  支払条件 001 基本 EUR ☐ 外貨

---

**レコード 1 - 3** グリッドのカスタマイズ

	支払項目	総額	割引可能額	備考	支払期日	支払状況
<input type="radio"/>	001	4,450.00	44.50		2005/07/16	A
<input checked="" type="radio"/>	002	50.00				
<input type="radio"/>						

総額 4,450.00 割引 44.50 税額  課税対象

[請求書入力] フォーム

標準請求書を入力するには、次の手順に従います。

1. [請求書入力] で、伝票番号、伝票タイプ、伝票会社を割り当てるには、見出しの [伝票No./タイプ/会社] フィールドに値を入力します。このフィールドの入力は任意です。

伝票番号は自動採番によって割り当て、伝票タイプは請求書入力 MBF 処理オプション プログラムから、伝票会社は請求書に割り当てた会社番号から自動的に割り当てるようにすることをお勧めします。この情報は、請求書入力を終えて [OK] を押したときに割り当てられます。

2. 見出しの[顧客]、[会社]、[請求書日付]、[元帳日付] フィールドに入力します。
3. (省略可) 必要に応じて、[支払条件] フィールドの値を変更します。
4. [フォーム] メニューから [追加情報] を選択し、[追加情報] フォームにアクセスします。
5. (省略可) 必要に応じて [追加情報] のフィールドの値を変更した後、[OK] をクリックすると [請求書入力] フォームに戻ります。

6. [請求書入力] フォームの詳細グリッドで、[総額] フィールドに入力します。
7. (省略可) 詳細グリッドで、各支払項目に対して [備考]、[支払条件]、[ビジネスユニット]、[支払期日]、[元帳クラス] フィールドに入力します。

[支払条件] フィールドにはフォームの見出しと同じ値が表示されますが、全てまたは必要な支払項目に対して値を変更することができます。

---

注: 支払項目入力後に支払条件コードを変更した場合は、[割引可能額]、[支払期日]、[割引期日] フィールドの値が自動的に再計算されるように、各フィールドをクリアしてください。

---

8. [OK] をクリックして、[勘定科目情報] フォームにアクセスします。  
 入力にエラーがあると、そのフィールド (2 つ以上ある場合は最初のフィールド) がハイライトされます。エラーを表示するには、ヘルプ メニューからエラーの表示を選択します。  
 請求書情報入力後、明細行を入力し請求書金額を勘定科目に配賦します。請求書の全額を配賦しないとエラーが表示されます。
9. [勘定科目情報] フォームで、各勘定科目の詳細グリッドの [勘定科目コード] と [金額] フィールドに入力します。
10. (省略可) [摘要 -備考-] フィールドに入力し、[OK] をクリックします。

---

注: 収益性分析を使用している場合、コスト オブジェクトおよびオブジェクト タイプ フィールドにも入力する必要があります。

---

## [請求書入力]

[請求書入力] フォームでは、次のフィールドを使用します。

<b>[伝票No./タイプ/会社]</b> (伝票番号、伝票タイプ、伝票会社)	取引に割り当てられる伝票番号、伝票タイプ、伝票会社が表示されます。自動採番プログラム (P0002) を使って自動的に割り当てる代わりに、伝票番号を割り当てることができます。
---	---

<b>[顧客]</b>	請求書を入力する顧客の住所番号を入力します。
-------------	------------------------

<b>[会社]</b>	請求書を転記する会社の番号を入力します。
-------------	----------------------

---

注: 日付や AAI などのデフォルト値に会社 00000 を使用できます。取引入力には会社 00000 を使用できません。

---

<b>[請求書日付]</b>	請求書の日付を入力します。 ブランクにすると、[元帳日付] フィールドの日付が自動的に割り当てられます。
----------------	---

<b>[元帳日付]</b>	取引を転記する日付を入力します。 ブランクにすると、[請求書日付] フィールドの日付が自動的に割り当てられます。
---------------	---

<b>[支払条件]</b>	顧客レコードから割り当てられた支払条件が表示されます。
---------------	-----------------------------

<b>[総額]</b>	伝票の合計金額を入力します。税目コードの値によって、総額は税込みの金額になる場合もあります。支払後もこの総額は変わりません。取引を無効にした場合、[総額] フィールドの金額はクリアされます。
-------------	---

[請求書入力] の詳細グリッドで未決済金額を入力したり変更することはできません。未決済金額は自動的に計算されます。ただし、総額を変更した場合は、次の支払項目をクリックするか [OK] をクリックすると、未決済金額が再計算されます。

#### [備考]

摘要、説明、名前、または住所を入力します。請求書で入力した備考は、[勘定科目情報] フォームの [摘要 - 備考 -] フィールドに使用されます。

#### [支払期日]

支払の期日が表示されます。

入力した支払条件に基づいて自動的に計算されますが、手入力で指定することもできます。マイナスの金額で請求書 (クレジット メモ) を入力すると、支払条件にかかわらず元帳日付が支払期日となります。マスター ビジネス関数 (P03B0011) の処理オプションに従って、クレジット メモの支払期日が計算されます。

#### [元帳クラス]

請求書を転記する際に元帳クラスとして使用する売掛金勘定のコードを入力します。AAI 項目 RC (売掛管理用) とこの値を組み合わせ、売掛金勘定が検索されます。たとえば、「TRAD」と入力すると、AAI 項目 "RCTRAD" (売掛) が検索されます。

元帳クラスを表す最大 4 文字の英数字、または (多通貨環境でトランザクションを入力する場合は) 3 文字の通貨コードを割り当てることができます。ただし、対応する AAI 項目をシステムに設定しておく必要があります。設定されていない場合は元帳クラスは無視され、指定された会社の RC に設定されている勘定科目が使用されます。

顧客レコードの元帳クラス フィールドにデフォルト値を設定した場合、変更しない限り、取引入力中はこのデフォルト値が使用されます。

---

注: 元帳クラス 9999 は使用しないでください。仕訳を作成しないように設定されている転記プログラムの予約コードです。

---

#### [追加情報]

[追加情報] フォームでは、次のフィールドを使用します。

#### [サービス/税日付]

商品またはサービスの購入時、またはその課税時を示す日付を入力します。

空白にすると、請求書入力 MBF 処理オプション プログラム (P03B0011) の処理オプションの設定に基づいて日付が設定されます。

#### [ビジネスユニット]

顧客の住所録レコードに割り当てられたビジネスユニットが表示されます。[請求書入力] フォームの請求書支払項目のビジネスユニットを一時変更することができます。

---

注: AAI に関する考慮事項: RC で始まる AAI 項目にビジネスユニットを設定しない場合、請求書に入力されたビジネスユニットと AAI 項目の主科目および補助科目を結合した値が売掛金勘定として使用されます。たとえば、請求書に割り当てられたビジネスユニットが 20、AAI 項目 RC に主科目 1210 が設定されている場合、請求書転記時に更新される売掛金勘定は 20.1210 になります。

---

#### [支払手段]

顧客マスター レコードに割り当てられている支払手段が表示されます。

## [勘定科目情報]

[勘定科目情報] フォームでは、次のフィールドが使用されます。

[勘定科目コード]	取引を転記する勘定科目コードを入力します。売上収益勘定科目など。
[金額]	<p>勘定科目コードに転記される金額を入力します。マイナスの金額は、金額の前か後にマイナス (-) の符号を付けて入力します。</p> <p>勘定科目の合計金額は、請求書の総額フィールドに入力した合計金額と一致させる必要があります。フォーム最下部にある [金額] フィールドには、入力した勘定科目の合計金額が表示されます。[差異] フィールドには、請求書の総額と一致させるために必要な過不足額が表示されます。</p>
[摘要 -備考-]	<p>取引に割り当てる勘定科目などの情報の使用目的を示す名前や摘要を入力します。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、請求書の [備考] フィールドに入力された値が使用されます。</p>

## 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「仕訳の処理」、「モデル仕訳の処理」  
第 3 章、「顧客マスター情報の設定」、43ページ

## 勘定科目のモデル仕訳の選択

[モデル仕訳の検索および選択] フォームにアクセスします。

[モデル仕訳の検索および選択] で、適切なモデルを選択し [選択] をクリックします。

伝票入力 - 勘定科目情報または勘定科目情報にモデルが表示されます。ここで、モデルの情報に基づいて実際の仕訳を追加または改訂することができます。

## 貸借不一致の請求書入力

[請求書入力] フォームにアクセスします。

貸借不一致請求書を入力するには、次の手順に従います。

1. [請求書入力] で、ステップに従って請求書を入力します。
2. [勘定科目情報] フォームで、[勘定科目コード] と [金額] フィールドに入力します。
3. 貸借不一致の入力を保存するには、[フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。
4. [追加情報] で、[貸借不一致の許可] チェック ボックスをオンにします。
5. [OK] をクリックします。
6. [勘定科目情報] で、[OK] をクリックします。

## クレジット メモの入力

[請求書入力] フォームにアクセスします。

クレジット メモを入力するには、次の手順に従います。

1. [請求書入力] で、ステップに従って基本的な請求書情報を入力します。

2. フォームの詳細グリッドで、[総額] フィールドにマイナスの金額を入力し、[OK] をクリックします。
3. 必要な勘定科目情報を入力します。  
クレジット メモを入力する場合、[勘定科目情報] フォームでは借方 (プラス) の金額を入力してください。

## 割引付き請求書の入力

[請求書入力] フォームにアクセスします。

割引付き請求書を入力するには、次の手順に従います。

1. [請求書入力] で、ステップに従って基本的な請求書情報を入力します。
2. 割引率を指定する場合は、[割引率] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。  
請求書入力時に [割引率] チェック ボックスはデフォルトでオンになっています。詳細グリッドで [割引率] を指定すると、[割引可能額] が自動的に計算されます。小数点を使用して割引率を入力してください。たとえば、2% の割引の場合は「.02」と入力します。  
自動計算された割引可能額を変更するには、[割引可能額] フィールドの金額を変更します。  
チェック ボックスをオフにすると、フォームの詳細グリッドには [割引率] フィールドは表示されません。
3. 支払条件に基づいて割引を計算する場合は、[支払条件] フィールドに入力します。  
デフォルト値が顧客マスター レコードに設定されている場合は、その値が設定されます。必要に応じて、支払条件や詳細グリッドの割引率または割引可能額を変更できます。
4. (省略可) 詳細グリッドで、[支払条件]、[割引率]、[割引可能額] フィールドを変更または入力します。  
見出しの [支払条件] の値が詳細グリッドの対応する支払項目にそれぞれ割り当てられます。必要に応じて、支払項目レベルでデフォルト値を変更することができます。新しい支払条件に基づいた割引額を再計算するには、[割引可能額] フィールドを空白にする必要があります。  
割引額をゼロに変更する場合は、割引を計算しない支払条件に変更してください。  
割引率は保存されません。このため、割引率が入力した割引額に基づいて自動的に計算されたり、変更した割引額に基づいて再計算されることはありません。  
割引額を変更した場合、[支払条件] フィールドまたは [割引率] フィールドを変更する必要はありません。

---

**注:** 分割または割賦支払条件を使用した場合、請求書を入力し終わるまで割引関連のフィールドは更新されません。複数の支払項目に分割された総額、割引額、税額を見るには、もう一度請求書を照会する必要があります。

---

5. (省略可) [期日] および [割引期日] フィールドに入力し、[OK] をクリックします。
6. 必要な勘定科目情報を入力します。

<b>[割引率]</b>	このチェック ボックスをオンにすると、フォームの詳細グリッドに [割引率] フィールドが表示され、総額に対する割引額の割合を指定することができます。
<b>[割引率]</b>	割引期日前の入金に対する請求書総額から割り引く割引率を入力します。たとえば、2% 割引の場合は「.02」と、小数点以下の数値で入力します。
<b>[割引可能額]</b>	支払時に、総額から割り引くことができる請求書の支払項目の金額が表示されます。割引額が、取引時に入力した支払条件に基づいて計算されます。

注: 割引額の自動計算が、指定した支払項目に正しく適用されていることを確認してください。通常、総額に含まれる運賃、消費税、労務費は割引の対象となりません。

[割引期日]

割引を受けるために、請求書を支払わなければならない期日が表示されます。支払条件に基づいて割引期日が計算されます。支払条件に割引が指定されていない場合、支払期日が自動的に表示されます。

スピード請求書の入力

[スピード請求書入力] フォームにアクセスします。

スピード請求書入力 - スピード請求書入力

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

伝票No./タイプ/会社

RI00077

バッチ

7460

前の伝票

3150

顧客 \*

3333

Continental Incorporated

会社 \*

00077

Canadian Company

請求書金額

500.00

BU

1

請求書日付

2005/06/15

税率/税域

支払条件

001

元帳日付

2005/06/30

税目コード

支払手段

支払期日

2005/07/30

税額

支払状況

A

割引期日

2005/06/22

課税対象額

備考

☐ %

割引

5.00

通貨

USD

為替レート

1.5384615

基本

CAD

☒ 外貨

レコード 1 - 1

グリッドのカスタマイズ 標準1

	勘定科目コード	勘定科目名	金額	税 トラッキング	税率/ 税域	税目 コード	備考
<input checked="" type="radio"/>	777.5010	Store Sales	500.00	0			
<input type="radio"/>							

計上金額

500.00

差異

[スピード請求書入力] フォーム

処理オプションの設定に応じて、プラスまたはマイナスの金額を入力します。

(CHL) Setting Up Invoice Dates for Chile

This section provides an overview of invoice date as discusses how to:

- Set processing options for Lot of Printing Invoice Date – CHI – 03B (P76H3B53).
- Change the invoice date.



## Understanding Invoice Dates for Chile

When you print invoices using the Lot of Printing Review program (R76H3B50), the system uses the current system date as the date of the invoice. When you set the processing option to display the Invoice Date Override form, the Lot of Printing Invoice Date – CHI – 03B program (P76H3B53) enables you to change the invoice date. If you enter a new date for an invoice that is generated from the Sales Order system, the system verifies that the date entered is the equal to or greater than the order date. The system does not perform this validation for invoices generated from the Accounts Receivable system.

The Generate Legal Document Number – CHI – 03B program (R76H3B29) uses the invoice date that you enter instead of the current date.

## Forms Used to Change the Invoice Date

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Lot Review	W76H3B50A	Accounts Receivable (G76H03B), Lot of Printing Review	Review print batches.
Send Lot to Print	W76H3B50D	On the Lot Review form, locate and select the print batch for which you want to assign legal numbers, and then select Generate Legal Num (Generate Legal Numbers) from the Row menu.	Assign legal numbers to invoices in print batches.
Invoice Date Override	W76H3B53A	Click OK on the Send Lot to Print form.	Override the system assigned date for the invoice.  <b>注:</b> You must set the processing option for the Lot of Printing Date program (P76H3B53) to 1 to enable this form.
Review Lot Printing Orders	W76H3B53B	Select Orders Review from the Row menu on the Invoice Date Override form.	Verify the order and invoice dates.

## Changing the Invoice Date

Access the Invoice Date Override form.

## Setting Processing Options for Lot of Printing Date (P76H3B53)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Default

#### Override Invoice Date

Enter 1 to display the Invoice Date Override form and enable the change of the invoice date.

## 定期請求書の処理

このセクションでは、定期請求書の概要、改訂、再作成、および以下の方法について説明します。

- 定期請求書の入力
- オンラインでの定期請求書の照会
- 定期請求書レポートの印刷
- 定期請求書レポート (R03B305) のデータ選択とデータ順序の設定
- 定期請求書レポート (R03B305) の処理オプションの設定
- 定期請求書の改訂
- 定期請求書の再作成
- 定期請求書の再作成 (R03B8101) の処理オプションの設定

### 定期請求書について

月次または四半期ごとなど定期的に顧客に同じ金額を請求する場合は、定期請求書を入力することができます。定期取引を入力するには、作成する請求書の合計数およびその間隔を指定します。たとえば、1 年間にわたって毎月請求する場合、毎月計 12 回の定期請求書を設定することができます。それにより毎月請求書を入力しなくても、再作成プログラムを実行することにより元の請求書から新しい取引を作成することができます。この新しい取引には伝票番号とバッチ番号が新規に割り当てられ、取引回数が 1 減らされます。請求書が残り 1 回になるまで、再作成プログラムを実行して新しい取引の作成を続けます。

標準請求書プログラムを使用し、支払回数と定期頻度を入力して定期請求書を設定します。定期請求書を設定するには、[フォーム] メニューから [定期請求書] フォームにアクセスするか、請求書の詳細グリッドの [頻度] および [支払回数] フィールドに入力します。

定期請求書を入力すると、伝票タイプ RR が割り当てられます。定期請求書の情報は、F03B11 テーブルに保存されます。

請求書送付または来月の請求書の再作成前に、内容を確認することができます。次のプログラムを使って、定期請求書をオンラインまたはレポートに印刷して確認することができます。

- 定期請求書の照会 (P03B120)
- 定期請求書レポート (請求仕訳) (R03B305)

通常は、オンラインで請求書を照会します。ただし、請求書の数が多い場合はレポートを利用した方が便利です。定期請求書レポートは、請求仕訳とプログラムが同じです。データ選択を使用して定期請求書のみのレポートに限定したり、処理オプションを使用して定期頻度や支払回数などの定期情報の印刷ができる特別バージョン (定期請求書の照会) が用意されています。F03B11 テーブルの取引や F0911 テーブルの関連情報が印刷されます。このレポートを使って、支払のない請求書やその支払期日を確認することができます。

### (ARG) Recurring Invoices for Argentina

The system saves information about recurring invoices with taxes in the Invoice Total – ARG – 03B table (F76A09) and the Taxes – Tax Amount by Invoice Suffix ARG – 03B table (F76A19), just as it does for standard processing of invoices.

## 定期請求書の改訂について

定期請求書を再作成する前に、改訂が必要な場合があります。たとえば、顧客から賃貸契約やサービス契約の延長または終了を告げられた場合には、支払回数の変更、または資産や設備を維持するための追加費用の加算が必要な場合があります。

再作成した新しい請求書にはそれぞれ新しい伝票番号が割り当てられます。これにより、定期取引を改訂した場合でも、古い定期取引情報と混同することはありません。定期請求書の改訂では、次のことができます。

- 選択したフィールドの変更
- 取引の定期情報のキャンセル
- 定期取引の削除または無効化

### 定期請求書のキャンセル

[定期頻度] と [支払回数] フィールドをクリアすると、定期請求書をキャンセルすることができます。この 2 つのフィールドの値を削除すると、取引が再作成されないようになります。誤って定期情報を削除した場合は、標準の入力プログラムを使ってグリッドに定期情報を入力し直すことができます。

定期取引をキャンセルしても伝票タイプはそのままですが、元帳照会プログラムで定期請求書オプションを使って取引を検索することができなくなります。

### 過去の取引に対する定期情報の追加

定期的ではない通常の請求書を入力した後で定期情報を追加するには、標準の入力プログラムを使って、詳細グリッドの頻度と支払回数を入力します。定期情報の追加時には、その取引の伝票タイプは変更されません。請求書を次に再作成したときに伝票タイプが変更されます。

### 関連項目:

第 7 章、「請求書の処理」、「請求書の改訂と転記」、173 ページ

## 再作成処理について

定期請求書の入力、照会、改訂後に再作成して、来月、来四半期、来年用の取引のバッチを新規に作成します。定期請求書の再作成プログラム (R03B8101) を実行すると、当初の定期取引の作成時に指定した支払回数と定期頻度に基づいて新しい取引が作成されます。請求書再作成処理では、以前の取引がコピーされ必要なフィールドが更新されます。支払回数が 1 になるまで、再作成プログラムを実行するたびにこの処理が繰り返されます。支払回数に残り 1 回になった時点で、取引の再作成は終了します。たとえば、1 年間の定期請求書を設定する場合、支払回数を 12 に指定します。当初の取引が最初の支払になるため、支払回数に残り 1 回になった取引は再作成の対象と見なされません。

過去の請求書または伝票に対して支払がなくても、次の定期取引を作成することができます。

この処理を実行すると、次のテーブルの情報が更新されます。

- F0011
- F03B11
- F0911

定期請求書を再作成すると、次の処理が行われます。

- 当初の取引または取引の一番新しいコピーから定期頻度と支払回数を削除します。
- 新しい請求書を作成し、次の情報を更新します。

- 伝票番号（新規）
- バッチ番号（新規）
- 支払回数（1 減らす）
- 元帳日付と支払期日（定期頻度を使って次回の日付を計算）
- 請求書日付（処理オプションの設定による）
- 請求書番号（伝票のみ）（処理オプションの設定による）
- 再作成された請求書の件数とエラーのため再作成できなかった取引の件数を示した例外レポートを作成します。エラー メッセージは、ワーク センターで見ることができます。エラーには次のようなものがあります。
  - 勘定科目レコードが作成されていません。これは、定期請求書または定期伝票のレコードが取引明細テーブルに見つからない場合に起こります。
  - 元帳日付が過去の会計年度です（PYEB）。
  - 元帳日付が過去の期間（PBCO）で、かつ一般会計固定情報プログラム（P0000）で「PBCO（過去期間）転記の許可」のチェック ボックスがオンになっていません。
  - 元帳日付が会社の会計期間パターンの範囲外です。

定期請求書の再作成後、総勘定元帳に転記する必要があります。

顧客が過去の請求書に対して支払をしなくても、次回の定期取引を作成することはできます。

## 定期請求書処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[請求書入力]	W03B11A	[その他の請求書入力方式] (G03B111)、[請求書入力] [売掛金元帳照会の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	定期請求書を入力し、月次または四半期ごとなど定期的に、顧客に同じ金額を請求します。
[定期請求書履歴の処理]	W03B120A	[その他の請求書入力方式] (G03B111)、[定期請求書の照会]	複数の定期請求書をオンラインで検索、照会します。
[請求書明細]	W03B120AB	[定期請求書履歴の処理] フォームで、請求書を選択し、[ロー] メニューから [明細] を選択します。	定期請求書 1 件についての明細情報を照会します。
[定期請求書情報の改訂]	W03B120B	[定期請求書履歴の処理] フォームで、請求書を選択し、[選択] をクリック、または [ロー] メニューから [改訂] を選択します。	請求書の定期情報を変更します。

## 定期請求書入力

[請求書入力] フォームにアクセスします。

定期請求書を入力するには、次の手順に従います。

1. [請求書入力] で、必要な見出し情報を入力します。
2. [フォーム] メニューから [定期請求書] を選択します。
3. [定期請求書] で、[定期頻度] と [支払回数] フィールドに入力し、[OK] をクリックします。
4. [請求書入力] で、必要な詳細情報を入力し、[OK] をクリックします。

請求書に複数の支払項目を追加すると、各支払項目に定期情報が追加されます。定期情報は、必要に応じて変更できます。

---

**重要:** 定期請求書に定期頻度や支払回数が異なる支払項目が複数含まれていると、定期請求書の再作成プログラム (R03B8101) 実行時に取引が貸借不一致になる場合があります。たとえば、支払項目が 2 つある定期請求書を入力するとします。最初の支払項目 1,000.00 に対して、定期頻度 "MO" (月次)、支払回数「12」を設定します。2 番目の支払項目 25.00 に対して、定期頻度 "QT" (四半期)、支払回数「4」を設定します。定期頻度を "MO" に設定して請求書支払項目を再作成すると、支払項目両方 (1,025.00) の勘定科目が新しく作成される請求書金額に割り当てられ、取引の貸借不一致は 25.00 になります。

---

5. 必要な勘定科目情報を入力します。

**[定期頻度]**

取引を作成する間隔を指定するコードを入力します。定期頻度の有効値は以下のとおりです。

MO : 月次

AN : 年間

WK : 週次

QT : 四半期

SA : 年 2 回

BW : 隔週

**[支払回数]**

定期請求書の処理回数を入力します。最初に入力する取引も含めます。たとえば、「12」を入力すると、あと 11 回取引が行われます。取引を作成するたびに支払回数が 1 ずつ減っていきます。値が 1 になると、新しい取引は作成されなくなります。代わりに、このフィールドがクリアされます。

## オンラインでの定期請求書の照会

[定期請求書履歴の処理] フォームにアクセスします。

定期請求書の照会 - 定期請求書履歴の処理

選択(S) 検索(I) 閉じる(L) ロー(R) レポート(P) ツール(T)

支払期日 \* 会社 \*  
定期頻度 \* 元帳クラス \*

レコード 1-4 グリッドのカスタマイズ

	顧客 No.	顧客 名称	支払 期日	総額	外貨 総額	通貨	支払 状況	伝票 タイプ
<input type="checkbox"/>	1001	AB Common	2005/10/12	32,452.00		D	A	RR
<input type="checkbox"/>	3333	Continental Incorporated	2005/08/02	1,550.00		D	A	RR
<input type="checkbox"/>	1001	AB Common	2005/08/07	1,500.00		D	A	RR
<input type="checkbox"/>	3007	Schwartz Warenhaus Gemeinschaft	2005/07/01	35,532.00	42,000.00	F	A	RR

[定期請求書履歴の処理] フォーム

定期請求書をオンラインで照会するには、次の手順に従います。

1. [定期請求書履歴の処理] の詳細グリッドに請求書が表示、照会されます。
2. 詳細グリッドではなくフォーム全体で請求書情報を照会するには、請求書を選択して [ロー] メニューから [明細] を選択します。

注: [売掛金元帳照会の処理] フォームから、定期請求書にアクセスすることもできます。[定期請求書] チェック ボックスをオンにした後、[検索] をクリックします。

## 定期請求書レポートの印刷

[その他の請求書入力方式] メニュー (G03B111) から [定期請求書レポート] を選択します。

## 定期請求書レポート (R03B305) のデータ順序の設定

このレポートのバージョンを追加作成する場合、次に示す順序でデータ順序を使用してください。

- ユーザー ID (アルファベット順)
- バッチ日付
- バッチ No. (日付の新しい順)
- 伝票会社
- 伝票タイプ
- 伝票 No. (昇順)
- 支払項目

## 定期請求書レポート (R03B305) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## 印刷

レポートに勘定科目コードを印刷する際に使用する形式を指定します。

### 勘定科目コード形式

勘定科目コードを印刷するのに使用する形式を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入力時と同じ形式で印刷する。

1: 標準形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) または自由形式で印刷する。

2: 勘定科目マスター (F0901) で勘定科目コードに割り当てられている 8 桁の勘定科目 ID を印刷する。

3: F0901 テーブルで自由形式 (第 3 勘定科目コード) フィールドに割り当てられている第 3 勘定科目コードを印刷する。

## 定期請求書の改訂

[定期請求書情報の改訂] フォームにアクセスします。

[定期請求書情報の改訂] フォーム

請求書が支払済みの場合、[定期頻度] と [支払回数] フィールドのみ更新できます。

**注:** [定期請求書履歴の処理] フォームでは、定期情報以外の請求書の内容を変更することもできます。請求書を選択して、[ロー] メニューから [請求書] を選択します。[請求書入力] で、必要なフィールドを変更してください。

## 定期請求書の再作成

定期請求書を再作成する前に、以下の作業を行います。

- 月次、四半期、年間など、使用する定期頻度ごとに定期請求書の再作成プログラム (R03B8101) のバージョンを設定します。必要に応じて、データ選択を使用して特定の頻度を選択します。
- (省略可) 定期請求書に自動採番を設定します。

請求書を再作成するには、[その他の請求書入力方式] メニュー (G03B111) から [定期請求書の再作成] を選択します。

## 定期請求書の再作成 (R03B8101) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 処理

請求書に割り当てる請求書日付を指定します。

#### 請求書日付

再作成の処理で作成する新しい請求書に割り当てる日付を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 割り当てられた定期頻度に基づいて設定される。たとえば、定期頻度に月次を割り当てた場合、請求書日付は前の日付の 1 か月後に変更されます。

1: 今日の日付を使用する。

2: 再作成する請求書の請求書日付を使用する。

---

## (ARG) Processing Invoices with Legal Numbers for Argentina

This section provides an overview of invoices with legal numbers and related credit notes and discusses how to:

- Set processing options for PO – Invoice Entry (P03B11) – ARG – 03B (P76A03B1).
- Enter invoices with automatic legal numbers.
- Enter invoices with manual legal numbers.
- Enter related credit notes.

### Understanding Invoices with Legal Numbers

When you enter an invoice, the system assigns an internal number and a legal number to the invoice. Legal numbers can be generated automatically or manually.

Localized invoice information is stored in these tables:

- Invoice Total – ARG – 03B (F76A09)
- Taxes – Tax Amounts by Invoice Suffix ARG – 03B (F76A19)

The legal number is also stored in the Reference field (VR01) of the Customer Ledger table (F03B11).

---

**注:** After invoices have been entered, they cannot be voided unless they are posted and reclassified.

For self-withholding to occur, you must run the Self Withholding per Receipt program (R76A96).

---

### Understanding Related Credit Notes

Processing related credit notes lets you link a credit note to the original invoice, which makes it possible to track the current account. When you link a credit note to an original invoice, you must specify the internal document number or the legal document number from the original invoice.



The internal document number from the original invoices is stored in fields RPODOC, RPODCT, RPOKCO, and RPOSFX of the F03B11 table.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Set up user preferences with a Localization Country code of AR (Argentina).
- Review the steps for entering a standard invoice.
- Set up JDE/DGI – Argentina document type relationships and create legal next numbers.
- Set the Legal Number processing options on the PO Invoice Entry program (P76A03B1) to control whether legal numbers are generated automatically or manually.
- Set the Invoice related to NC/ND processing options on the PO – Invoice Entry (P03B11) – ARG – 03B program (P76A03B1) to control whether the NC/ND Related to Invoice form is displayed during invoice entry. If you are entering related credit notes, set the processing option to display the NC/ND Related to Invoice form.
- Set up a relationship between credit notes and invoices for the appropriate tax code to determine whether the same taxes can be calculated for the credit note as for the original invoice.

## Forms Used to Process Invoices with Legal Numbers

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work with Customer Ledger Inquiry	W03B2002A	Customer Invoice Entry (G03B11), Standard Invoice Entry.	Locate, review, and delete invoices.
Standard Invoice Entry	W03B11A	On the Work with Customer Ledger Inquiry form, click Add.	Add and revise invoices.
Invoice Number Entry	W76A0302A	<ul style="list-style-type: none"> <li>On the Standard Invoice Entry form, complete the fields to enter a standard invoice and then click OK.</li> </ul> <p>The system displays the Invoice Number Entry form only if you have set up user preferences with a Localization Country code of AR (Argentina).</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Or, click OK on the NC/ND Related to Invoice form.</li> </ul>	Enter invoice legal numbers.
G/L Distribution	W03B11C	On the Invoice Number Entry form, click OK.	Distribute the invoice amount to the G/L accounts.
Invoice Legal Number	W76A0302C	When entering invoices with automatic legal numbers, click OK on the G/L Distribution form.	Review legal numbers that the system automatically assigns to invoices.
NC/ND Related to Invoice	W76A0180A	<p>On the Standard Invoice Entry form, complete the fields to enter a standard invoice, specifying a negative amount, and click OK.</p> <p>If the processing options are set to relate credit notes to invoices, the system displays the NC/ND Related to Invoice form.</p>	Assign the credit note to the original invoice by using the internal number or the legal number of the invoice.

### Setting Processing Options for PO – Invoice Entry (P03B11) – ARG – 03B (P76A03B1)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

#### Legal Number

These processing options are used to set up legal numbering for invoice entry.

#### Issue Place

Specify the issue place where invoices are printed.

<b>Manual Assignment</b>	Specify whether the system assigns legal numbers automatically, based on the legal number setup, or if the user assigns it manually.
<b>Legal Number Duplicated</b>	Specify whether the system generates documents with duplicate legal numbers.

### NC/ND Related

This processing option is used to specify whether documents related to NC/ND are entered.

<b>Invoice related to NC/ND</b>	Specify whether the system generates documents related to NC/ND.
---------------------------------	--

### Credit Invoice

<b>Version</b>	This processing option is obsolete.
----------------	-------------------------------------

### RG100

Use this processing option to specify whether the system generates invoices under General Resolution 100.

<b>RG100</b> (General Resolution 100)	Specify whether the documents that the system generates are related to General Resolution 100.
---------------------------------------	--

## Entering Invoices with Automatic Legal Numbers

Access the Invoice Number Entry form.

Invoice Number Entry form

To enter invoices with automatic legal numbers:

1. (Optional) On Invoice Number Entry, change the value in the Auto Profit Withholding Concept field and then click OK.  
The system retrieves the default value for this field from the A/B Withholding Information – Revision form.
2. On the G/L Distribution form, complete the Account Number and Amount fields in the detail area for each G/L distribution and then click OK.  
The system displays the Invoice Legal Number form with the legal number that was automatically assigned.
3. On Invoice Legal Number, click OK.

## Entering Invoices with Manual Legal Numbers

Access the Invoice Number Entry form.

To enter invoices with manual legal numbers:

1. On Invoice Number Entry, complete the Legal Number and Auto Profit Withholding Concept fields and click OK.

The system retrieves the default value for the Auto Profit Withholding Concept from the A/B Withholding Information – Revision form. You can change this value when you enter invoices if necessary.

2. On the G/L Distribution form, complete the Account Number and Amount fields in the detail area for each G/L distribution and click OK.

## Entering Related Credit Notes

Access the NC/ND Related to Invoice form.

The screenshot shows a window titled "NC/ND Related to Invoice". At the top, there is a toolbar with "OK", "Cancel", and "Tools" buttons. Below the toolbar, there is a section labeled "Related to Invoice:". Inside this section, there are two radio button options: "JDE Internal Number" and "Legal Number". The "Legal Number" option is selected. Below the "Legal Number" option, there are four input fields containing the values "01", "A", "0001", and "25".

NC/ND Related to Invoice form

To enter related credit notes:

1. To relate the credit note to the original invoice, select either the JDE Internal Number option or the Legal Number option and complete the related fields, then click OK.

The system displays the Invoice Number Entry form.

2. On Invoice Number Entry, if the processing options are set for manual entry of legal numbers, complete the Legal Number field.
3. (Optional) Change the value in the Auto Profit Withholding Concept field if necessary.
4. Click OK.
5. On the G/L Distribution form, complete the Account Number and Amount fields in the detail area for each G/L distribution and click OK.

---

## (CHL and PER) Processing Invoices for Chile and Peru

This section provides an overview of invoice requirements for Chile and Peru and discusses how to:

- Set processing options for Chilean – Add Invoice PO (P76H3B11).
- Enter related credit notes.

### Understanding Invoice Requirements for Chile and Peru

When you enter invoices in Accounts Receivable for Chile and Peru, you must set up a version of the Chilean Add Invoices – PO program (P76H3B11) that is the same as the version of the Standard Invoice Entry program. For example, if you use version ZJDE0001 of the Standard Invoice Entry program, set up version ZJDE0001 of the Chilean – Add Invoice PO program. When you enter invoices using the Standard Invoice Entry program, the system calls the Chilean – Add Invoice PO program if the Localization Country Code in user preferences is set to CL (Chile) or PE (Peru).

When you enter invoices for Chile and Peru, the system:

- Validates that the entered invoice is related to a legal document. If it is not, the system generates an error message.
- Prevents you from revising and voiding invoices that are:
  - Not in the accounting period for the company.
  - In print batches.
  - In the VAT sales report.
- Prevents you from revising and modifying related documents.

---

**注:** To void an invoice that is related, you must first void the related document.

---

### Prerequisites

Before completing the tasks in this section:

- Set up user preferences with a Localization Country Code of CL (Chile) or PE (Peru).
- Set up a version of the Chilean – Add Invoice PO program that is the same version of the Standard Invoice Entry program (P03B11) that you use to enter invoices.
- Review the steps for entering a standard invoice.
- Set up document type relationships and create legal next numbers.
- Set the Invoice related to NC/ND processing options on the Chilean Add Invoices — PO program (P76H3B11) to display the NC/ND Related to Invoice form if you are entering related credit notes.

## Forms Used to Process Invoices

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work with Customer Ledger Inquiry	W03B2002A	Customer Invoice Entry (G03B11), Standard Invoice Entry.	Locate, review, and delete invoices.
Standard Invoice Entry	W03B11A	On the Work with Customer Ledger Inquiry form, click Add.	Enter invoices.
G/L Distribution	W03B11C	On the Standard Invoice Entry form, click OK.	Distribute the invoice amount to the G/L accounts.
NC/ND Related to Invoice	W76H3B15A	On the Standard Invoice Entry form, complete the fields to enter a standard invoice, specifying a negative amount, and then click OK.	Assign the credit note to an original invoice by using the internal number or the legal number of the invoice.
Select Related Documents	W76H3B15B	On the NC/ND Related to Invoice form, Select Invoice Inquiry from the Form menu.	Select invoices for which you want to relate to credit notes.

## Setting Processing Options for Chilean Add Invoices —PO (P76H3B11)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Legal Number

This processing option specifies the emission series of legal document numbers.

**Emission Serial** Specify the series of emission of the legal document number (Timbraje).

### NC/ND Related

These processing options specify how the system processes related documents.

**Invoice Related to NC/ND** Specify whether to enter documents related to NC/ND. Values are:  
 Blank: Do not enter related documents.  
 1: Enter related documents. The system displays the NC/ND Related to Invoice form when you enter invoices in Accounts Receivable.

**Document Related with Different Emission Serial** Specify whether to relate documents with different emission serials.

**Document Related for Different Client** Specify whether to relate documents for different clients.

### Batch Process

These processing options specify how the system processes legal numbers.

<b>Legal Number Mandatory</b>	Enter 1 to specify that the legal number is required when processing batch invoices. If left blank, the system does not require a legal number.
<b>Legal Number Edit</b>	<p>Specify whether the system edits the legal number when processing batch invoices. Values are:</p> <p>Blank: Do not edit the legal number.</p> <p>1: Edit the legal number against an active serial number range.</p> <p>2: Edit the legal number against any serial number range, regardless of the state.</p>
<b>Duplicate Invoice Number</b>	<p>Specify whether duplicate invoice numbers are allowed when processing batch invoices. Values are:</p> <p>Blank: Allow duplicate invoice numbers.</p> <p>1: Do not allow duplicate invoice numbers.</p>

## Entering Related Credit Notes

Access the NC/ND Related form.

To enter related credit notes:

1. Select Select Related Documents from the Form menu.
2. Find and select the invoices for which you want to relate, and then click Select.  
The system displays the documents in the detail area of the NC/ND Related form.
3. Click OK.

---

## (VEN) Assigning Control Numbers to Invoices for Venezuela

This section provides an overview of invoice control numbers and discusses how to assign invoice control numbers.

### Understanding Invoice Control Numbers

Invoice control numbers are used by the Sales Book program (R76VLV01) to meet legal reporting requirements for Venezuela.

## Forms Used to Assign Control Numbers to Invoices

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Invoice Control Number	W76VNCF1B	Venezuelan Localizations (G76V), Control Invoice Number	Locate invoices.
Invoice Control Number Revision	W76VNCF1A	On the Work With Invoice Control Number form, select an invoice and then click Select.	Assign, revise, and remove invoice control numbers.

## Assigning Invoice Control Numbers

Access the Invoice Control Number Revision form.

**Invoice Ctrol.Number**      Enter the control number to assign to the invoice.  
(invoice control number)

---

## (POL and RUS) Working with Invoices for Poland and Russia

This section provides an overview of invoice processing and discusses how to:

- Run the Add Invoice – PO program (P7433B11).
- Set processing options for Add Invoice – PO (P7433B11).
- Enter additional information for invoices.
- Add related invoices.
- Set processing options for Print Invoice (R7430030).

## Understanding Invoices

You use the standard PeopleSoft EnterpriseOne functionality to work with invoices for Poland and Russia. Additionally, programs are provided to enable you to:

- Add additional information for invoices.
- Specify whether the system enables or requires that you enter related invoices when you add credit notes or debit notes.
- (RUS) Print tax invoices.
- (RUS) Print amount difference invoices.
- (POL) Work with cash transactions.

## Additional Information for Invoices

The system launches the Invoice Related Information program (P7430011) when you select Regional Info from the Form menu on the Standard Invoice Entry form. You use this program to enter the shipment date and approval date for invoices.



The system launches the Invoice Related to CN/DN (P7430015) program from the Invoice Related Information form in the Invoice Related Information program. You use the Invoice Related to CN/DN program to enter one or multiple legal documents related to a debit note or credit note. The processing options that you specify in the Add Invoice program (P7433B11) determine if the system requires or enables you to enter related invoices, and the parameters for entering the related invoices.

### **Additional Processing Options for Standard Invoice Entry (P03B11)**

You use the Add Invoice – PO (P7433B11) program to set additional processing options that the system uses to enable or disable an option to enter related invoices to credit notes or debit notes.

You must set up matching versions for the Standard Invoice Entry program and the Add Invoice – PO program.

### **Reprint Invoices**

Use the Reprint Invoice program (P7430031) to reprint selected documents. When you reprint a document, the system prints the same legal number as used on the original legal document. When you select to reprint, the system verifies whether the record is included in the F7430030 table. If the record is not in the F7430030 table, the system adds the record to the table as well as to the F7430032 table.

### **(RUS) Tax Invoices**

You can generate tax invoices from Accounts Receivable or from Sale Order Management. You must print a tax invoice for VAT when you receive prepaid amounts (Accounts Receivable), and print a tax invoice when you sell inventory items to customers (Sales Order Management).

The Russian tax invoice includes information about the issuing company, customer, details of items, quantity, amount without tax, tax rate, tax amounts, amounts with tax, customer declaration number (for imported items), and others information. The system considers the customer billing instructions to determine how many copies of the report to print and if the customer allows consolidated invoices. The system uses data from the address book to for the footer section of the report.

The system produces the tax invoice when you run the Print Invoices program (R42565). The Print Invoices program completes the validations and tax calculations and launches the Invoice Print – Russia program (R74R3030). The Invoice Print – Russia program assigns the legal number and produces the report. The system uses the legal numbering setup to determine the print format, attachments, and legal number to print for invoices.

### **(POL) Correction Invoices**

Use the Print Invoice – Poland – SOP/AR program (R74P3030) to print an invoice or invoice correction. The system launches the Print Invoice – Poland – SOP/AR program when you run the:

- Print Invoices program (R42565) (Sales Order system).

This Print Invoices program makes the standard validations and calculations. The system calls the version of the Print Invoice – PO program (P7420565) program that matches the version of the Print Invoices program, and launches the Print Invoice – Poland – SOP/AR program to print the Legal Document.

- Print Invoice program (R7430030) (Accounts Receivable system).

This Print Invoice program selects invoices from the F03B11 table and writes data to the localization tables. It then calls the Print Invoice – Poland – SOP/AR program, which assigns the legal number when in final mode.

You use a debit note (DN) or a credit note (CN) to issue a correction for an invoice when amounts or tax rates are incorrect. When you create a correction invoice, you make entries to reverse the original entry. For example, if an original invoice contains a tax rate of 21 percent and the tax rate should have been 18 percent, then the credit order (for Sales Order functionality) or the correction invoice (for Accounts Receivable functionality) is entered with one line showing the amount calculated at the 21 percent rate shown as a negative amount, and a different line with the amount calculated at 18 percent as a positive amount.

When you correct an invoice by using a credit note or a debit note, you print a correction invoice that shows the original amount, the corrected amount, and the difference between the amounts.

When the system prints the correction invoice, it prints three sections:

- Before Correction

The system prints information about the original invoice, such as the item number, the quantity, price, VAT rate, VAT amount, and gross amount.

- After Correction

The system subtracts from the original invoice the amounts entered in the credit note or debit note. When the original invoice was entered into the Sales Order Management system and the DN or CN was also entered from the Sales Order Management system, the system processes the correction amount if the unit of measure, unit price, tax code, and adjustments are the same.

If the original invoice was entered into the Accounts Receivable system and the DN or CN was also entered from the Accounts Receivable system, the system processes the correction amount if the tax area and tax explanation code are the same.

- Value of Correction

The system prints the values entered for the DN or CN including the quantity, price, VAT rate, VAT amount, and gross amount.

## **(POL) Cash Transactions**

You can use the Cash Desk Transaction program (P74P9101) to select and print the cash desk transaction document, and the Cash Desk Report program (R74P9104) to generate a report of all cash transactions.

## Forms Used to Work with Invoices

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Customer Ledger Inquiry	W03B2002A	Customer Invoice Entry (G03B11), Standard Invoice Entry	Select or review invoices.
Standard Invoice Entry	W03B11A	On the Work With Customer Ledger Inquiry form, click Add.	Enter invoices.
Invoice Related Information	W7430011A	After completing the Company and Address Number fields on the Standard Invoice Entry form, select Regional Info from the Form menu.	Enter additional information for Russian invoices.
Invoices Related to DN/CN	W7430015A	On the Invoice Related Information form, select Invoice Related on the Form menu.	Enter one or more legal documents related to a credit or debit memo.
Change Invoice Related Information	W7430001A	On the Work With Customer Ledger Inquiry form, select a record and then select Regional Info from the Form menu.	Enter or modify the approval date of the information related to an invoice.
Work With Legal Documents Reprint	W74R30031A	On the Work With Customer Ledger Inquiry form, select a record and click Select, then select Reprint from the Row menu.	Select a document to reprint, and print the document.

## Running Add Invoice – PO

(RUS) Select Accounts Receivable (G74R03B), Add Invoice – PO

(POL) Select Accounts Receivable (G74P03B), Add Invoice – PO

When you launch this program, you add or select a version. When you select a version, the system displays the processing options.

## Setting Processing Options for Add Invoice – PO

These processing options are used by the Standard Invoice Entry program (P03B11) to enable or disable an option to enter related invoices to credit notes or debit notes.

### General

#### 1. Shipment Mandatory Date

Enter 1 to require entry of the shipping date. Leave this option blank or enter 0 to allow, but not require, the entry of the shipping date.

### Legal Number

#### 1. Issue Place

Specify the issue place for the legal document number.

## Related Invoices

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. Related Invoices</b>                  | Enter 1 to allow the entry of related invoices for a debit or credit note. Leave this processing option blank to not allow entry of related invoices.   |
| <b>2. Multiple Related Invoices</b>         | <p>Enter 1 to allow the entry of multiple related invoices for a credit or debit note. Leave this processing option blank to allow the entry of only one related invoice.</p> <p>Complete this processing option if you entered 1 in the Related Invoices processing option.</p>  |
| <b>3. Require Entry of Related Invoices</b> | <p>Enter 1 to require the entry of a related invoice. If no related invoice is entered, the system displays an error message and does not allow the user to continue until a related invoice is entered.</p> <p>Leave this processing option blank to have the system display a warning message when no related invoice is entered. The warning message allows the user to continue without entering a related invoice.</p> |
| <b>4. Allow Different Address Number</b>    | Enter 1 to allow the entry of a related invoice with a different address book number from the credit or debit note. Leave this processing option blank to have the system display an error message if the user enters a related invoice with a different address book number.   |
| <b>5. Allow Different Issue Place</b>       | Enter 1 to allow the entry of a related invoice with a different issue place from the credit or debit note. Leave this processing option blank to have the system display an error message if the user enters a related invoice with a different issue place.   |

## Entering Additional Information for Invoices

Access the Invoice Related Information form.

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| <b>Actual Ship Date</b> | Enter the date on which the shipment to the customer is confirmed. The system updates the Sales Order Detail (F4211) table with this date. |
| <b>Approval Date</b>    | Enter the date on which the invoice was approved.  |

## Adding Related Invoices

Access the Invoices Related to DN/CN form.

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>Legal Company</b>       | Enter the legal company to which you add related invoices. The value that you enter must exist in the F7400010 table.                        |
| <b>Legal Document Type</b> | Enter the legal document type of related invoices. The value that you enter must exist in the F7400002 table.                                |
| <b>Issue Place</b>         | Enter the place of issue of the legal document to which you add related invoices. The value that you enter must exist in the F7400004 table. |
| <b>Legal Number</b>        | Enter the legal number assigned to the invoice.  |
| <b>Address Number</b>      | Enter the address number of the company to which you add related invoices.   |

## Setting Processing Options for Print Invoice (R7430030)

Use these processing options to specify additional parameters for tax invoices that you print from the Accounts Receivable system.

### General

- |  |   |
|--|---|
| <b>1. Mode</b>   | Enter 1 to process records in final mode. Leave this processing option blank to process records in proof mode.  |
| <b>2. Print Currency</b>   | Enter D to print the invoice in domestic currency. If the invoice was entered in a foreign currency, enter F to print the invoice in the foreign currency.      |
| <b>3. Launch UBE Automatically</b> (launch universal batch engine automatically) | Leave this processing option blank to automatically launch the Print Invoice – PO program (R7430030). Enter 1 to suppress the automatic launch of this program. |
| <b>4. Print Line Attachment</b>  | Enter 1 to print the attachment that you specified when you entered the invoice. Leave this processing option blank to suppress printing of the attachment.     |

---

## 請求書の改訂と転記

このセクションでは、請求書と請求書支払項目の削除、請求書転記処理、転記済み請求書の改訂、請求書の無効化、スピード リリースの概要、および以下の方法について説明します。

- 未転記請求書の検討または改訂
- 請求書の転記
- 転記済み請求書の改訂
- 転記済み請求書の無効化
- 転記済み請求書の支払項目の無効化
- スピード リリース (P03B114) の処理オプションの設定
- スピード リリースを使用した個々の請求書の更新
- スピード リリースを使用した請求書のグループの更新

### 請求書および請求書支払項目の削除について

未転記で未入金 of 請求書は削除することができます。請求書を削除すると、削除レコードは保持されず、レコードはシステムから消去されます。削除した請求書は次のテーブルから消去されます。

- F03B11
- F03B112
- F0911

削除する請求書が含まれているバッチにそれ以外の請求書が含まれていない場合は、対象のバッチ制御レコードも削除されます。バッチに他の請求書が含まれている場合は、レコードが更新されます。

---

**注:** 伝票タイプが R1、RU、RB、R5 の請求書は削除できません。これらの請求書は入金プログラムによって作成され、バッチタイプが IB ではなく RB になります。入金バッチが転記済みかどうかにかかわらず、これらの伝票は転記コード D で作成されます。

---

参照: 第 9 章、「入金処理」、「入金の削除および無効化」、272 ページ

未転記請求書を削除するには、[売掛金元帳照会] フォームで削除する請求書を検索して [削除] をクリックし、削除を確認するダイアログで [OK] をクリックします。

---

**重要:** 請求書の支払項目を削除する場合は、[請求書入力] フォームから削除してください。[売掛金元帳照会] フォームで削除を行うと、関連する全ての請求書の支払項目が削除されます。したがって、[売掛金元帳照会] で、請求書支払項目を選択して [選択] をクリックしてください。次に [請求書入力] で請求書支払項目を選択して [削除] をクリックし、削除を確認するダイアログで [OK] をクリックします。

---

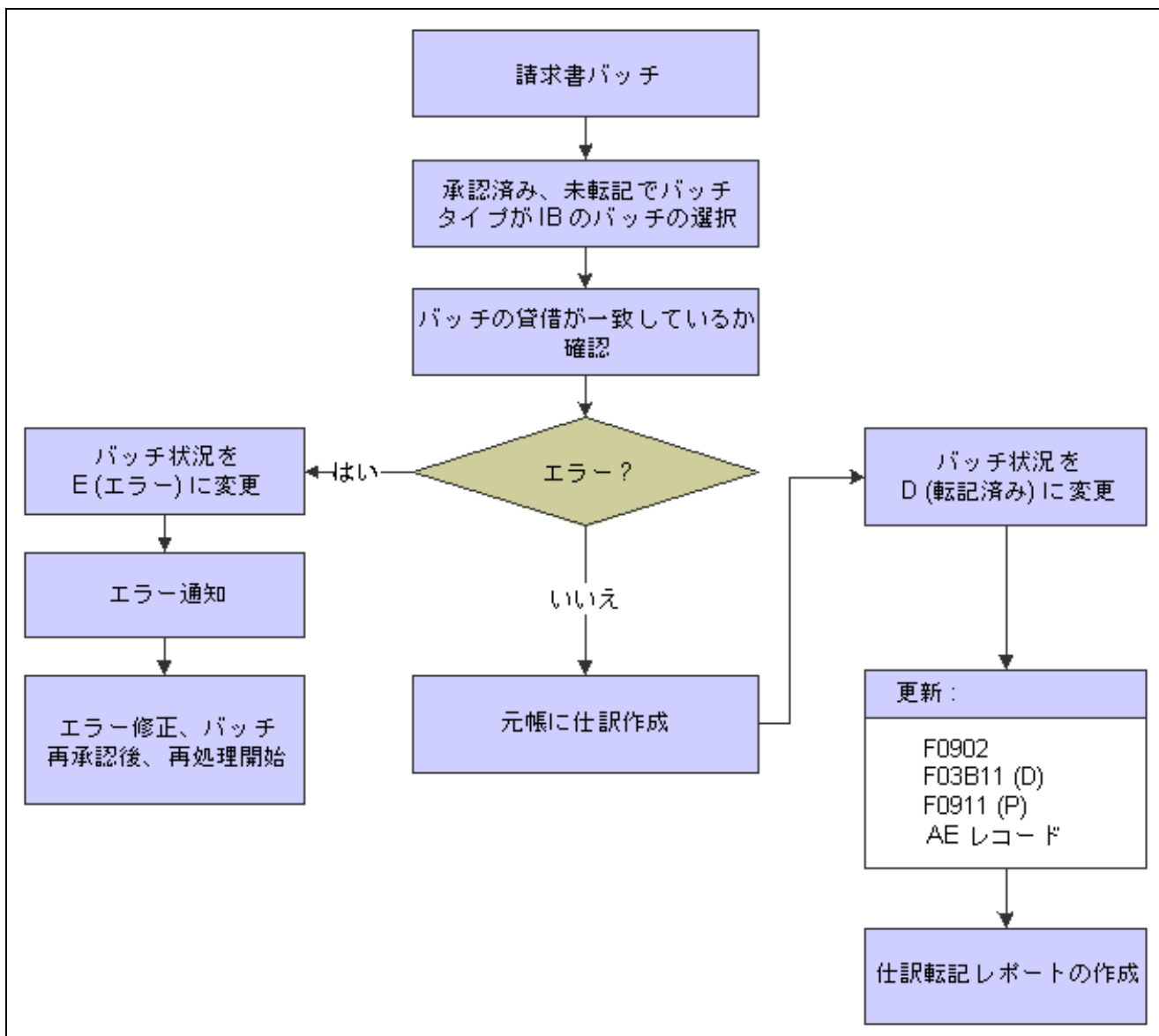
## 請求書の転記処理について

請求書バッチの転記時には、次の処理が実行されます。

- バッチの状況が承認済みであることを確認します。
- 転記コードを持たない、または転記コードが P である請求書を検索します。
- F0911 テーブルに対応するレコードがあり、その金額が請求書金額と一致するかを確認します。
- 自動仕訳を作成します。
- F0902 テーブルを更新します。
- 請求書の転記コードを D に変更します。
- F0911 テーブルの対応するレコードの転記コードを P に変更します。
- バッチ制御レコードの転記コードを D に変更します。

ある請求書取引にエラーが見つかった場合、そのバッチ全体がエラーとなり、レコードは一切転記されません。ワークフローメッセージが送信され、エラー レポートが作成されます。

次の図は、請求書の転記処理を示しています。



### 請求書転記によって作成される自動仕訳

請求書バッチを転記すると、税金、会社間決済、売掛金勘定に自動仕訳が作成されます。売掛金勘定に対する相殺金額は、AAI 項目 RC によって制御されます。AAI 項目 RC の検索には、各請求書に入力されている会社番号と元帳クラスを使用します。検索対象には相手勘定も含まれます。

転記処理中に、売掛管理固定情報で指定した集計方式に基づき、自動仕訳レコードに関する次の情報が検索されます。

- 売掛金勘定の金額
  - 集計方式が B である場合、請求書金額が累計され、請求書バッチ全体に対して 1 つの自動仕訳が作成されます。
  - 集計方式が S である場合、支払項目金額が累計され、請求書ごとに自動仕訳が作成されます。
  - 集計方式が Y である場合、請求書支払項目ごとに自動仕訳が作成されます。
- 伝票番号

- 集計方式が B である場合、自動仕訳の伝票番号にはバッチ番号が割り当てられます。
- 集計方式が Y または S である場合、自動仕訳の伝票番号には請求書の伝票番号が割り当てられます。
- 勘定科目名
  - 集計方式が B である場合、バッチ タイプ (IB: 請求書バッチ番号) 別に売掛金を書き込まれます。
  - 集計方式が Y または S である場合、伝票タイプ (RI: 請求書伝票番号) 別に売掛金を書き込まれます。
- 元帳日付 - 集計方式に関係なく常に請求書の元帳日付が使用されます。

税額が含まれている請求書の場合、同様に自動仕訳が作成されますが、勘定科目名は AAI 項目 RT (売掛金にかかる税) に基づきます。処理オプションに基づいて、税額が税テーブル (F0018) に記録されます。

**注:** 貸借不一致のバッチを転記した場合、会社間決済は作成されませんが、売掛金勘定の自動仕訳は作成されます。

### 自動集計方式 Y (詳細)

集計方式 Y を使用すると、転記処理により各伝票に対して 1 つの仕訳が作成されます。請求書伝票にプラスとマイナスの支払項目が含まれる場合も作成されます。

**注:** フランスでは集計方式 Y を使用することをお勧めします。この方式では、プラスの伝票 (請求書) とマイナスの伝票 (クレジット メモ) が同じバッチに含まれている場合でも、借方と貸方の残高が別々に正しく管理されるからです。

次の例では、バッチに、項目が 2 つある請求書が含まれています。10,000 の項目と 5,000 の項目です。また、バッチには項目が 2 つあるクレジット メモも含まれています。3,000 の項目と 1,000 の項目です。転記処理により自動仕訳が 2 つ作成されます。請求書の 2 項目に対する 15,000 の仕訳が借方に、クレジット メモの 2 項目に対する 4,000 の仕訳が貸方にそれぞれ作成されます。

説明	伝票	借方	貸方
請求書	RI 3042 - 項目 001		10,000-
請求書	RI 3042 - 項目 002		5,000-
仕訳	AE 3042	15,000	
クレジット メモ	RM 504 - 項目 001	3,000	
クレジット メモ	RM 504 - 項目 002	1,000	
仕訳	AE 504		4,000-
合計		19,000	19,000-

### 自動集計方式 S

集計方式 S を使用すると、転記処理により、割引や税など各支払項目に対して 1 つの仕訳が作成されます。集計方式 S では、総勘定元帳テーブルにレコードが複数作成されます。フランスの法制度において必要な借方と貸方の残高が正しく管理されます。この集計方式では大量の自動仕訳が作成されるため、総勘定元帳テーブルのサイズが大幅に増加します。



次の例では、バッチに、項目が 2 つある請求書が含まれています。10,000 の項目と 5,000 の項目です。また、バッチには項目が 2 つあるクレジット メモも含まれています。3,000 の項目と 1,000 の項目です。転記処理により自動仕訳が 4 つ作成されます。請求書の各項目に対する 10,000 と 5,000 の仕訳が借方に、クレジット メモの各項目に対する 3,000 と 1,000 の仕訳が貸方にそれぞれ作成されます。

説明	伝票	借方	貸方
請求書	RI 3042 - 項目 001		10,000-
請求書	RI 3042 - 項目 002		5,000-
仕訳	AE 3042	10,000	
仕訳	AE 3042	5,000	
クレジット メモ	RM 504 - 項目 001	3,000	
クレジット メモ	RM 504 - 項目 002	1,000	
仕訳	AE 504		3,000-
仕訳	AE 504		1,000-
合計		19,000	19,000-

### 自動集計方式 B

集計方式 B を使用すると、累計した自動仕訳が作成され、借方と貸方を別々に合計することはしません。フランスで集計方式 B を使用して取引を転記する場合は、同じ転記用バッチに請求書や借方のメモなど種類の異なる取引を入力しないように作業手順を規定しておくことをお勧めします。

フランスでは一般的な業務習慣となっていますが、明細仕訳を作成して支払や入金ごとに銀行勘定の相殺勘定科目を明らかにする必要は法的にはありません。複数の支払および入金と同じ銀行勘定に行われた場合は、銀行勘定に対する入力を累計して印刷することができます。

集計方式 B を使用した場合、取引仕訳を使用して、システムによって作成された集計自動仕訳を仕訳レポート実行時に調整できます。

次の例では、バッチに、項目が 2 つある請求書が含まれています。10,000 の項目と 5,000 の項目です。また、バッチには項目が 2 つあるクレジット メモも含まれています。3,000 の項目と 1,000 の項目です。転記処理により自動仕訳が 1 つ作成されます。全項目を集計した 11,000 の仕訳が借方に作成されます。自動仕訳の伝票番号にはバッチ番号が割り当てられます

説明	伝票	借方	貸方
請求書	RI 3042 - 項目 001		10,000-
請求書	RI 3042 - 項目 002		5,000-
クレジット メモ	RM 504 - 項目 001	3,000	
クレジット メモ	RM 504 - 項目 002	1,000	

説明	伝票	借方	貸方
仕訳	AE 4360	11,000	
合計		15,000	15,000—

## 転記済み請求書の改訂について

請求書を転記した後でも、入金前であれば請求書を改訂できます。たとえば、入力後に総額または勘定科目情報を改訂しなければならない場合があります。転記済みの請求書を改訂または無効にすると、次の処理が行われます。

- 請求書の転記コードの削除
- 請求書改訂履歴テーブル (F03B112) にレコードを追加
- 請求書レコードの売掛金転記状況フィールド (ISTR) を 1 に更新

このフィールドは、[売掛金元帳照会の処理] フォームの [改訂有無] カラムに表示されます。請求書を改訂すると、回数には関係なく常に [改訂有無] カラムに “1” が表示されます。

転記済みで未払いの請求書では、次のフィールドを改訂できます。

- [総額]  
未決済金額が自動的に再計算されます。
- [備考]
- [割引可能額]  
[割引可能額] フィールドを消去すると、支払条件に基づいて割引金額が自動的に再計算されます。
- [支払期日]
- [割引期日]
- [支払状況]  
[支払状況] が “P” (支払済み) の場合は値を変更できません。

[請求書入力] フォームで請求書を改訂すると、バッチの状況が転記済みから未転記へ変更されるので、再転記が必要になります。バッチを再転記しなくても済むようにするには、スピードリリースを使用して請求書の総額または勘定科目情報に影響を与えない情報を改訂します。それ以外のフィールドを変更する必要がある場合は、請求書を無効にしてもう一度入力する必要があります。

## 請求書の無効化について

総勘定元帳から転記済みの請求または請求書支払項目を削除するには、一度無効にしてバッチを再転記する必要があります。転記済みの請求書は削除できません。

請求書を無効にする場合は、元帳日付を指定して総勘定元帳の仕訳に逆仕訳します。[売掛金元帳照会の処理] フォームまたは [請求書入力] フォームから請求書を無効にできます。

**重要:** [売掛金元帳照会の処理] フォームを使用して請求書支払項目を無効にすると、請求書全体が無効になります。

請求書支払項目を 1 つだけが無効にする場合は、[請求書入力] フォームを使用する必要があります。無効日付は指定できません。常に請求書の元帳日付が使用されます。

請求書を無効にすると、次の処理が行われます。

- 総額をゼロに更新します。
- 請求書から転記コードを削除します。
- 支払状況コードを P (入金済み) に更新します。
- F03B112 テーブルに総額が変更されたことを示す監査証跡のレコードを作成します。
- 売掛金元帳 (F03B11) のレコードの売掛金転記状況フィールド (ISTR) を 1 に更新します。[売掛金元帳照会] の [改訂有無] カラムにこのフィールドの値が表示されます。

請求書を無効にした後は、バッチを再転記してください。

入金済みや部分的に入金されている請求書を無効にするには、まずその入金を無効にしてください。

**注:** 伝票タイプが R1、RU、RB、R5 の請求書は無効にできません。これらの請求書は入金プログラムによって作成され、バッチタイプが IB ではなく RB になります。入金バッチが転記済みかどうかにかかわらず、これらの伝票は転記コード D で作成されます。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「入金の削除および無効化」、272 ページ

## スピード リリースについて

期日、割引額、備考など総勘定元帳に影響しない請求書情報を改訂する場合は、スピード リリースを使用します。スピード リリースでは、1 つのフォームで変更を行い、勘定科目情報を入力しなくて済むので、請求書をすばやく改訂することができます。

また、スピード リリースを使用して、請求書を延滞通知および延滞利息金に利用できるかどうかを決定します。たとえば、特定の請求書には延滞利息金を適用しないように変更したり、延滞通知のリストに表示しないように変更できます。

スピード リリースを使用すると、個々の請求書を更新できるだけでなく、請求書のグループを一括して変更できます。たとえば、ある優先顧客に対して割引期間を延長する場合があります。このとき最も効率的な方法は、その顧客に対する全ての請求書の割引期日を一括して更新することです。

スピード リリースを使用して請求書を変更すると、F03B11 テーブルのみ更新されます。

## 請求書の改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[バッチの処理]	W0011A	[顧客および請求書の入力] (G03B11)、[請求書仕訳の検討]	請求書バッチを検討、承認、転記します。  バッチの金額は、請求書が部分的に支払われている場合でも請求書の総額が表示されます。バッチ合計にはクレジットメモの金額も含まれます。
[請求書仕訳の検討]	W03B11AA	[バッチの処理] フォームで、バッチを選択して [選択] をクリックします。	請求書の情報を検討します。

ページ名	オブジェクト名	ナビゲーション	用途
[勘定科目情報]	W03B11C	[請求書仕訳の検討] フォームで、[ロー]メニューから[勘定科目情報]を選択します。	請求書の勘定科目情報を検討します。
[請求書入力]	W03B11A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [請求書仕訳の検討] フォームで請求書を選択し、[選択]をクリックします。</li> <li>• [売掛金元帳照会の処理] フォームで改訂する請求書を検索し、[選択]をクリックします。</li> </ul>	特定の請求書を改訂します。
[勘定科目情報]	W03B11C	[請求書入力] フォームで、[フォーム]メニューから[勘定科目情報]を選択します。	請求書の勘定科目情報を改訂します。
[売掛金元帳照会の処理]	W03B2002A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [顧客および請求書の入力](G03B11)、[請求書入力]</li> <li>• [顧客および請求書の入力](G03B11)、[売掛金元帳照会]</li> </ul>	顧客請求書を検索し、無効にします。
[スピード・リリース(明細)]	W03B114C	<p>[入金処理](G03B12)、[スピード・リリース]</p> <p>[スピード・リリースの処理] フォームで更新する請求書を選択し、[選択]をクリック、または[ロー]メニューから[明細]を選択します。</p>	<p>総勘定元帳に影響しない請求書情報を改訂します。</p> <p>[スピード・リリースの処理] フォームで複数の請求書を選択した場合、[スピード・リリース(明細)] フォームには、更新する請求書が順番に1つずつ表示されます。</p> <p>スピードリリースで再請求、損金、手形、または仮受金請求書レコードを検索することはできません。バッチタイプIBの請求書レコードのみが表示されます。</p>
[一括変更]	W03B114B	<p>[入金処理](G03B12)、[スピード・リリース]</p> <p>[スピード・リリースの処理] フォームで更新する請求書を選択し、[ロー]メニューから[一括]を選択します。</p>	請求書のグループを一括して変更します。

## 未転記請求書の検討と改訂

[請求書仕訳の検討] フォームにアクセスします。

未転記請求書を検討または改訂するには、次の手順に従います。

1. [請求書仕訳の検討] で、仕訳と請求書の金額が等しいかどうか、[貸借一致] フィールドを確認します。
2. 勘定科目情報を見るには、[ロー] メニューから [勘定科目情報] を選択します。
3. [キャンセル] をクリックし、[請求書仕訳の検討] に戻ります。
4. 請求書の情報を修正するには、[ロー] メニューから [請求書入力] を選択します。
5. [請求書入力] で、変更可能なフィールドのうち必要なフィールドの情報を変更します。
6. [フォーム] メニューから [勘定科目情報] を選択します。
7. [勘定科目情報] で、必要なフィールドを修正して [OK] をクリックします。

---

注: 転記済みの請求書を改訂すると、バッチ状況が“転記済み”からデフォルトの状況(売掛管理固定情報の設定によって“保留”または“承認済み”)に変更されます。

金額を改訂した場合は、バッチを再転記し、F0911 テーブルと F0902 テーブルを更新する必要があります。転記を実行すると、変更した取引のみが処理されます。

---

## 請求書の転記

[顧客および請求書の入力] メニュー (G03B11) から [請求書の転記] を選択します。

## 転記済み請求書の改訂

[売掛金元帳照会の処理] フォームにアクセスします。

転記済みの請求書を改訂するには、次の手順に従います。

1. [売掛金元帳照会の処理] で改訂する請求書を検索して、[選択] をクリックします。
2. [請求書入力] で必要なフィールドを修正して、[OK] をクリックします。  
総額を変更する場合は、割引額の変更が必要かどうか確認してください。総額を変更しても割引額は再計算されません。  
総額を変更すると、[勘定科目情報] フォームが表示されます。
3. [勘定科目情報] フォームで、新しいグリッド行の [勘定科目コード] と [金額] フィールドに入力し、貸借一致仕訳を作成します。  
金額はマイナスで入力してください。
4. 勘定科目情報のみを変更するには、[請求書入力] フォームで [フォーム] メニューから [勘定科目情報] を選択し、必要なフィールドを変更して [OK] をクリックします。

## 転記済み請求書の無効化

[売掛金元帳照会の処理] フォームにアクセスします。

転記済みの請求書を無効にするには、次の手順に従います。

1. [売掛金元帳照会の処理] で無効にする請求書を検索して、[削除] をクリックします。

---

**重要:** 複数の支払項目を含む請求書を選択すると、その全ての支払項目が無効になります。

---

2. 削除の確認で [OK] をクリックします。
3. [無効に関する情報] で、[無効日付] フィールドと [請求書改訂コード] フィールドに入力し、[OK] をクリックします。

4. [無効の確認] で [OK] をクリックすると、無効が確定します。
5. 無効を確認するには、無効にした請求書を [売掛金元帳照会] で検索して [選択] をクリックして、[請求書入力] にアクセスします。
6. 売掛金元帳で逆仕訳された金額を見るには、[請求書入力] で [ロー] メニューから [請求書の改訂] を選択します。
7. 無効時に F0911 テーブルに自動的に作成された逆仕訳を表示するには、[請求書入力] で [フォーム] メニューから [勘定科目情報] を選択します。

**[無効日付]** 無効にした取引を転記する日付を入力します。

先日付または後日付の元帳日付は入力しないでください。

**[請求書改訂コード]** 請求書の支払項目が無効にされた理由を示すコードを入力します。

## 転記済み請求書の支払項目の無効化

[請求書入力] フォームにアクセスします。

転記済み請求書の支払項目を無効にするには、次の手順に従います。

1. [請求書入力] で、無効にする請求書の支払項目を選んで [削除] をクリックします。
2. 削除の確認フォームで、[OK] をクリックします。
3. [無効に関する情報] フォームで、[請求書改訂コード] フィールドに入力し、[OK] をクリックします。
4. [無効の確認] で [OK] をクリックすると、無効が確定します。
5. [勘定科目情報] フォームで、新しいグリッド行の [勘定科目コード] と [金額] フィールドに入力し、貸借一致仕訳を作成します。

金額はマイナスで入力してください。

## スピード リリース (P03B114) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 表示

[計算書 No.] フィールドを入力可能にするかどうか、および [支払条件の一時変更] フィールドおよび [ビジネスユニット] フィールドを表示するかどうかを指定します。

1. **計算書番号** [計算書 No.] フィールドを変更可能にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク : 変更不可にする。

1: 変更可能にする。

2. **支払条件コード** [支払条件の一時変更] フィールドの表示/非表示を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク : 非表示にする。

1: 表示する。

表示した場合、請求書の一括更新はできず、個別にのみ更新できます。支払条件を変更しても、新しい支払条件に基づいて割引額や支払期日は再計算されません。

## 3. ビジネスユニット

[ビジネスユニット] フィールドの表示/非表示を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク : 非表示にする。

1: 表示する。

## スピード リリースを使用した個々の請求書の更新

[スピード・リリース (明細)] フォームにアクセスします。

スピード・リリース - スピード・リリース (明細)			
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)			
住所No.	3006		
伝票No./タイプ/会社	3043	RI	00070
支払項目	001	請求書日付	2005/06/01
総額	1,200.00	未決済金額	1,200.00
通貨コード	EUR	為替レート	基本通... EUR <input type="checkbox"/> 外貨
支払状況	A	支払承認済み	
支払手段		デフォルト	
割引可能額		割引期日	2005/07/01
支払期日	2005/07/01	計算書No.	617
計算書送付先	3006	延滞利息金	N
支払人No.	3006	Editions de l'Odeon	
延滞通知	Y	支払条件の一時変更	
備考	Red helmets		
ビジネスユニット	1	延滞通知送付回数	1
相殺状況			

[スピード・リリース (明細)] フォーム

注: スピード リリースを使用した請求書の更新は、[売掛金元帳照会の処理] から [ロー] メニューを選択してもできます。

## スピード リリースを使用した請求書のグループの更新

[一括変更] フォームにアクセスします。

**スピード・リリース - 一括変更**

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

		更新
支払状況	A 支払承認済み	<input type="checkbox"/>
割引期日		<input type="checkbox"/>
割引可能額	USD	<input type="checkbox"/>
備考		<input type="checkbox"/>
支払人No.		<input type="checkbox"/>
計算書送付先		<input type="checkbox"/>
支払期日		<input type="checkbox"/>
支払手段	デフォルト	<input type="checkbox"/>
計算書No.		<input type="checkbox"/>
延滞通知	Y	<input type="checkbox"/>
延滞利息金	N	<input checked="" type="checkbox"/>
ビジネスユニット		<input type="checkbox"/>
延滞通知送付回数		<input type="checkbox"/>
相殺状況	1	<input checked="" type="checkbox"/>

[一括変更] フォーム

注: ビジネスユニットの値を変更しても、F03B11 テーブルにある請求書レコードの対応する AID フィールドは新しい値に応じて更新されません。このため、レポート用にビジネスユニット フィールドを使用する場合、会計処理方法を変更せずにビジネスユニットの値を変更できます。

## (Rapid Start) Processing Customer Invoices

This section lists prerequisites and discusses:

- Processing invoices.
- Preconfigured processing options for Enter, Review, and Revise Invoices (P03B2002).
- Preconfigured processing options for Invoice Entry (P03B11).
- Preconfigured processing options for Default Invoice MBF (P03B0011).
- Preconfigured processing options for Default Journal Entry MBF Options (P0900049).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Enter Speed Invoices (P03B11SI).
- Preconfigured processing options for Australia, Canada, New Zealand, and United States Process Recurring Invoices – All Frequencies (R03B8101).
- Preconfigured processing options for Batch Options for Invoice Journal Review (P0011).
- Preconfigured processing options for Invoice Journal – Batch# or Batch Date (R03B305).



- Preconfigured processing options for Canada and United States AR Speed Status Update version (P03B114).
- Preconfigured processing options for Canada, France, Great Britain, and United States Print and Reprint A/R Invoices (R03B505).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Print A/R Invoices (R03B505).

## Prerequisites

Set the AR constant for batch approval.

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理固定情報の設定」、8ページ

Set the AAI item RC to determine the AR trade account.

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理 AAI (自動仕訳) の設定」、25ページ

## Processing Invoices

This table lists the tasks for processing customer invoices:

Task	Navigation	Program or Version	Preconfigured Data
Enter miscellaneous invoice.	Invoice Entry and Processing  Enter, Review, and Revise Invoices	P03B2002/RIS0001  P03B11/RIS0001  P03B0011/RIS0001  P0900049/RIS0001	Customer Master Records:  • 33945 Sample customer one.  • 33961 Sample customer two.  Standard Payment Terms 001 through 007.
Enter miscellaneous invoice.	Invoice Entry and Processing  Enter Speed Invoices	P03B11SI/RIS0001	Same.
Enter recurring invoice.	Invoice Entry and Processing  Enter, Review, and Revise Invoices	P03B2002/RIS0001  P03B11/RIS0001  P03B0011/RIS0001  P0900049/RIS0001	Same.
Revise, Delete, Void Invoices.	Invoice Entry and Processing  Enter, Review and Revise Invoices	P03B2002/RIS0001  P03B11/RIS0001  P03B0011/RIS0001  P0900049/RIS0001	Same.

Task	Navigation	Program or Version	Preconfigured Data
Process recurring invoices.	Invoice Entry and Processing Review and Revise Recurring Invoices	P03B120/No version	None.
Process recurring invoices.	Invoice Entry and Processing Process Recurring Invoices	P03B8101/RIS0001	None.
Review and post invoices.	Invoice Entry and Processing Review and Post Invoice Batches	P0011/RIS0005	None.
Review invoices.	Invoice Entry and Processing Print an Invoice Journal	P03B305/RIS0001	None.
Post invoices.	Invoice Entry and Processing Post All Invoices	R09801/RIS0006	None.
Globally update invoices.	Invoice Entry and Processing Speed Invoice Update	P03B114/RIS0001	None.
(Rapid Start CAN, FRA, GBR, and USA) Print Invoices.	Invoice Entry and Processing Print Accounts Receivable Invoices	R03B505/RIS0001	None.
(Rapid Start AUS and NZL) Print Invoices.	Invoice Entry and Processing Print Accounts Receivable Invoices	R03B505/RIS3001	None.
(Rapid Start FRA) Reprint Invoices.	Invoice Entry and Processing Reprint Accounts Receivable Invoices	R03B505/RIS0002	None.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

#### 関連項目:

第 16 章、「請求書の印刷」、487ページ

## Preconfigured Processing Options for Enter, Review, and Revise Invoices (P03B2002)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Self-Service	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. "As If" Currency	blank
2. Exchange Rate Date	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Standard Invoice Entry (P03B11) Version	RIS0001
2. Netting (P03B455) Version	blank
3. Pay When Paid (P03B470) Version	blank

## Preconfigured Processing Options for Invoice Entry (P03B11)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Purchase Order Fields	1
2. Tax Information	blank
3. Domestic and Foreign Fields	1

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Entry MBF (P03B0011) Version	RIS0001
2. Journal Entry MBF (P0900049) Version	RIS0001

## Preconfigured Processing Options for Default Invoice MBF (P03B0011)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Service/Tax Date	1
2. Pay Status Code	blank
3. Standard Invoice Document Type	RI
4. Credit Memo Document Type	RM
5. Credit Memo Due Date	blank

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Date > Today's Date	1
2. Invoice Date > G/L Date	1

### Taxes

Processing Option Description	Value or Status
1. VAT on Foreign Transactions	1

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Exchange Rate Date	blank
2. Effective Date Edit	blank
3. Exchange Rate Tolerance Limit	0

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Interoperability (P03B0190) Version	blank

## Preconfigured Processing Options for Default Journal Entry MBF Options (P0900049)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Ledger Type	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Effective Date	blank
2. Tolerance	0

**Zero Amounts**

Processing Option Description	Value or Status
1. Zero Amounts	blank
2. Audit Information	blank

**Interop**

Processing Option Description	Value or Status
1. Interoperability Version	blank

**Preconfigured Processing Options for Enter Speed Invoices (P03B11SI)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Tax Fields	1
2. Purchase Order Fields	1
3. Service/Tax Date Field	1

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Entry MBF Version	RIS0001
2. Journal Entry MBF Version	RIS0001

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Credit Amounts	blank

**Preconfigured Processing Options for Process Recurring Invoices – All Frequencies (R03B8101)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
Invoice Date	blank

**Preconfigured Processing Options for Batch Options for Invoice Journal Review (P0011)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0005.

**Batch Type**

Processing Option Description	Value or Status
1. Batch Type	IB

**Preconfigured Processing Options for Invoice Journal – Batch# or Batch Date (R03B305)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
Account Number Format	1

**Preconfigured Processing Options for Canada and United States AR Speed Status Update version (P03B114)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Statement Number	1
2. Payment Terms Code	blank
3. Business Unit	blank

## Preconfigured Processing Options for Canada, France, Great Britain, and United States Print and Reprint A/R Invoices (R03B505)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Print Date	blank
2. Print Tax Amounts	1

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Currency	blank

**Attachments**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Attachments	blank

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Print A/R Invoices (R03B505)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Print Date	blank
2. Print Tax Amounts	1

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Currency	1

**Attachments**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Attachments	blank



## 第 8 章

# バッチ請求書の処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、バッチ請求書の処理およびバッチ請求書取引のマッピングの概要と、以下の項目について説明します。

- バッチ請求書の改訂
- バッチ請求書の処理
- バッチ請求書の転記
- 処理済みバッチ請求書の除去

---

## バッチ請求書の処理について

バッチ請求書の処理プログラム (R03B11Z1A) を使用することで、外部システムを使用して作成した請求書売掛管理システムに転送することができます。バッチ請求書処理を行うには、外部システムから次のテーブルヘデータをコピーするカスタム プログラムを作成する必要があります。

- バッチ請求書テーブル (F03B11Z1)
- 仕訳アップロード テーブル (F0911Z1)

(ARG) For Argentina, you must also copy data to the Taxes – Tax Amounts by Invoice Suffix Batch Entry A – 03B table (F76A19Z1).

(CHI and PER) For Chile and Peru, you must also copy data to these tables:

- F76H3B10 EDI Tag File – CHI – 03B table (F76H3B1Z).
- F76H3B15 EDI Tag File – CHI – 03B table (F76H3B5Z).

外部システムからバッチ請求書を変換したら、バッチ請求書の処理プログラムを実行して売掛管理システムに請求書を作成します。バッチ請求書の処理プログラムを実行すると、次の処理が実行されます。

- 変換されたデータのチェック
- デフォルト値のセット
- 売掛金元帳テーブル (F03B11) への請求書レコードの作成
- 取引明細テーブル (F0911) への仕訳情報の作成

処理オプションの設定に基づき、システムによって生成された請求書バッチは自動的に転記され、正常に処理されたレコードはバッチ テーブル (F03B11Z1 および F0911Z1) から除去されます。

---

**注:** バッチ請求書処理は、未決済の請求書のみ処理するように設計されています。入金済みの請求書（一部入金も不可）や入金レコード、再請求伝票、損金も処理できません。未決済請求書以外の情報を処理するようにプログラムをカスタマイズした場合、サポートの対象となりません。プログラムのカスタマイズについては、弊社のコンサルタントにご相談ください。

---

## バッチ請求書取引のマッピングについて

コンピュータでのデータ入力、サードパーティや顧客のシステム、EDI（電子データ交換）などの外部ソースから請求書レコードを変換するには、バッチ請求書テーブル（F03B11Z1）と仕訳アップロード テーブル（F0911Z1）、および国固有のテーブルの各フィールドに正しいデータを書き込むカスタム プログラムを作成する必要があります。

基本的な請求書アップロード処理を実行するには、特定のフィールドへの入力が必要になります。その他に割引額や税額、通貨、入金情報などの詳しい情報を指定するフィールドもあります。これ以外のフィールドは、無視されるか、ユーザー用として予約されています。

参照: 付録 A, 「バッチ請求書処理のためのフィールドのマッピング」, 657 ページ

---

## バッチ請求書の改訂

このセクションでは、バッチ請求書の改訂の概要と、以下の方法について説明します。

- バッチ請求書の改訂（P03B11Z1）の処理オプションの設定
- バッチ請求書の追加

### バッチ請求書の改訂について

外部ソースから売掛管理システムへ請求書を転送した後で、請求書を処理する前に検討および改訂しなければならない場合があります。バッチ請求書は手作業で改訂できますが、改訂する情報によっては削除してから再追加することがあります。バッチ請求書は、処理する前または処理が失敗した際に改訂できます。

バッチ請求書を訂正するには、次の情報を入力する必要があります。

- バッチ番号
- トランザクション番号
- 顧客番号
- 会社

[バッチ請求書の処理] フォームを使用して、最終モードで処理済みのバッチ請求書を改訂または削除することはできません。[請求書入力] フォームを使用してください。

バッチ請求書を追加、改訂、または削除すると、バッチ請求書テーブル（F03B11Z1）と仕訳アップロード テーブル（F0911Z1）のレコードが更新されます。

## バッチ請求書の追加

請求書を既存のバッチに追加することはできません。請求書は新しいバッチ内に作成できます。通常は、バッチ請求書を追加する必要はありません。例外として、インターフェイス接続されたシステムからの取引を正常に処理できない場合が挙げられます。相違を検出し訂正するには、手入力したバッチ請求書をインターフェイス システムで作成した請求書と比較します。

## バッチ請求書の削除

改訂ができないように設定されているためフィールドを改訂できない場合は、そのバッチ請求書を削除してソースの情報を訂正するか、適切な情報を使用して新しいバッチ請求書を追加する必要があります。

バッチ テーブルから処理済みの取引を削除するには、それらを除去する必要があります。処理オプションの設定により、バッチ請求書の処理で正常に処理された取引を自動的に除去するか、別の除去プログラムを実行することができます。

### 関連項目:

第 7 章、「請求書の処理」、「請求書の使い方」、134ページ

第 8 章、「バッチ請求書の処理」、「処理済みバッチ請求書の除去」、207ページ

## 事前設定

請求書を入力するステップを確認します。

参照: 第 7 章、「請求書の処理」、「標準請求書の入力」、147ページ

## バッチ請求書の改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[バッチ請求書の処理]	W03B11Z1C	[バッチ請求書処理] (G03B311)、[バッチ請求書の改訂]	バッチ請求書を検討および削除します。
[請求書入力-バッチ請求書]	W03B11Z1D	[バッチ請求書の処理] フォームの [追加] をクリックするか、バッチ請求書を選択して [選択] をクリックします。	バッチ請求書を検討、改訂した後、新規バッチに請求書を作成します。  総額または総額に影響するフィールドを変更する場合は、総勘定元帳の配賦金額を変更できるように [勘定科目情報-バッチ請求書] フォームが自動的に表示されます。
[請求書明細-バッチ請求書]	W03B11Z1A	[請求書入力-バッチ請求書] フォームのグリッドから支払項目を選択し、[ロー] メニューから [詳細] を選択します。	バッチ請求書の支払項目を検討します。
[勘定科目情報-バッチ請求書]	W03B11Z1B	[請求書入力-バッチ請求書] フォームの [フォーム] メニューから [勘定科目情報] を選択します。	バッチ請求書の勘定科目情報を検討および改訂します。

## バッチ請求書の改訂 (P03B11Z1) の処理オプションの設定

この処理オプションでは、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### デフォルト

請求書を追加する際に使用するデフォルト値を指定します。

- サービス/税日付**

[サービス/税日付] フィールド (DSVJ) で使用する日付を指定します。有効値は次のとおりです。

ブランク: 元帳日付を使用。

1: 請求書日付を使用。
- 支払状況**

[支払状況] フィールド (PST) に割り当てる値を指定します。ユーザー定義コードの 00/PS (支払状況コード) に設定されている値を指定してください。この処理オプションをブランクにすると、データ辞書のデフォルト値が割り当てられます。
- 支払人**

支払人フィールド (PYR) に割り当てる値を指定します。有効値は次のとおりです。

ブランク: 顧客の住所番号を使用。

1: 業種別顧客マスター (F03012) の顧客レコードの代替支払人フィールド (ARPY) の値を使用。

## チェック

入力された請求書日付に応じて、警告またはエラー メッセージを表示するかどうかを指定します。

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| <b>1. 請求書日付が今日の日付より後の場合</b> | 今日の日付より後の請求書日付が入力された場合、警告またはエラー メッセージを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。<br>空白: 警告またはエラー メッセージを表示しない。<br>1: 警告メッセージが表示される。<br>2: エラー メッセージが表示される。 |
| <b>2. 請求書日付が元帳日付より後の場合</b>  | 元帳日付より後の請求書日付が入力された場合、警告またはエラー メッセージを表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。<br>空白: 警告またはエラー メッセージを表示しない。<br>1: 警告メッセージが表示される。<br>2: エラー メッセージが表示される。  |

## 通貨

外貨建て請求書に税を入力できるようにするかどうかを指定します。

- |               |   |
|---------------|---|
| <b>1. 税処理</b> | 外貨建て請求書に税を入力できるようにするかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。<br>空白: 外貨建て請求書に税を入力不可。<br>1: 外貨建て請求書に税を入力可。 |
|---------------|---|

## 処理

請求書金額が仕訳金額と一致しない場合、警告またはエラー メッセージを表示するかどうかを指定します。

- |                 |   |
|-----------------|---|
| <b>1. 貸借不一致</b> | 請求書金額が仕訳金額と一致しない場合、エラー メッセージを表示するかどうかを指定します。税によっては、異なる仕訳が計上される場合があります。有効値は次のとおりです。<br>空白: 請求書金額が仕訳金額と一致しない場合、エラー メッセージが表示される。<br>1: 請求書金額が仕訳金額と一致しない場合、エラー メッセージを表示しない。 |
|-----------------|---|

## 表示

[バッチ請求書の処理] フォームで複数の請求書支払項目を集計するかどうかを指定します。

- |              |   |
|--------------|---|
| <b>1. 集計</b> | [バッチ請求書の処理] フォームで、支払項目が複数ある請求書を 1 件の集計請求書として表示するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。<br>空白: 集計しない。請求書支払項目ごとに表示する。<br>1: 集計する。支払項目の数に関係なく、1 件の請求書として表示する。 |
|--------------|---|

## バッチ請求書の追加

[バッチ請求書の処理] フォームにアクセスします。

バッチ請求書を追加するには、次の手順に従います。

1. [請求書入力 - バッチ請求書] フォームにアクセスするには、[追加] をクリックします。
2. [請求書入力 - バッチ請求書] で、[ユーザー ID] および [トランザクションNo.] フィールドに値を入力して請求書を指定します。
3. 請求書を入力するステップに従います。

次のフィールドは [バッチ請求書の処理] フォームに表示されます。

[処理済み]	<p>レコードの処理が適切に行われたどうかを表示します。アプリケーションによって、EDSP フィールドは次のいずれかの値に更新されます。</p> <p>1 (または Y): このレコードは正常に処理されました。</p> <p>ブランクまたは N: このレコードは処理されませんでした。</p>
[集計]	<p>このオプションを選択すると、請求書を集計モードで表示できます。このオプションを選択した場合、支払項目が複数ある請求書が、支払項目フィールドの "*" で 1 件の集計レコードとして表示されます。このオプションを選択しなかった場合、請求書支払項目は個別のレコードとして表示されます。</p>
[バッチNo.]	<p>検討対象のバッチ請求書のバッチ番号を入力します。バッチ処理の間、システム内で制御 (ユーザー) バッチ番号が検出されたトランザクションごとに、新しいバッチ番号が割り当てられます。</p>

## バッチ請求書の処理

このセクションでは、バッチ請求書の処理、処理中のエラー、処理時間の概要、事前設定、および以下の作業方法について説明します。

- バッチ請求書の処理の実行
- バッチ請求書の処理 (R03B11Z1A) の処理オプションの設定
- Set processing options for PO - Invoice Batch Processor - ARG - 03B (R76A03BZ)

## バッチ請求書の処理について

外部請求書を変換し、バッチ処理テーブル (F03B11Z1 および F0911Z1) に転送した後で、バッチ請求書の処理プログラム (R03B11Z1A) を実行します。このプログラムを実行すると、バッチ テーブルからの情報が処理され、F03B11 テーブルおよび F0911 テーブルにレコードが作成されます。

バッチ請求書の処理プログラムは、テスト モードまたは最終モードのどちらでも実行できます。

テスト モードでは、次の処理が実行されます。

- データの確認
- レポートの作成

最終モードでは、次の処理が実行されます。

- F03B11 テーブルに請求書、F0911 テーブルに関連する仕訳を作成する。
- 伝票番号およびバッチ番号を割り当てる。
- ブランクのまま残された任意フィールドへデフォルト情報を設定する。たとえば次のような例があります。
  - 伝票番号は自動採番プログラム (P0002) により自動採番される。
  - 会計年度および会計期間は、会社名および番号で会社用に設定されている元帳日付および期間パターンから取得する。
  - F0911 の摘要は、顧客番号の顧客名 (漢字) から取り込む。
  - F0911 の会社番号は、仕訳の最初の明細行にあるビジネスユニットに基づいて割り当てられる。
- 仕訳のエラー チェックを行う。
- 例外レポートを作成する (エラーがある場合のみ)。

あるトランザクションにエラーがあっても、バッチ処理は停止されません。バッチのトランザクションに 1 つでもエラーがあると、残りのバッチでそのトランザクションは処理されません。

バッチ テーブルの伝票番号とバッチ番号のフィールドがブランクの場合、自動採番によって、最終処理時に生成された請求書に伝票番号とバッチ番号が自動的に割り当てられます。自動採番を使用して伝票番号とバッチ番号を割り当てることをお勧めします。ただし監査の観点から、使用しているソース システムの伝票番号 (または請求書参照) の記録用に [トランザクションNo.] フィールドを使用することをお勧めします。

バッチの処理が正常に終了すると、[処理済み] フィールド (VJEDSP) が更新されます。これらのレコードは、除去されるまで F03B11Z1 テーブルおよび F0911Z1 テーブルに残ります。これらのテーブルを自動的に除去するよう処理オプションで設定することもできます。

## 処理オプション

次の処理オプションを使用して、トランザクション セットを構成する 2 つのテーブル (F03B11Z1 および F0911Z1) のレコードに対してデータ選択の設定を行います。

- EDI - ユーザー ID
- EDI - バッチ番号
- EDI - トランザクション番号
- EDI - アップロード日付

その他のデータ選択は許可されておらず、バッチ処理プログラムにデータ選択を追加すると予期せぬ結果になる場合があります。

## レポート

履歴情報の処理オプションがオンになっている場合、バッチ プログラムは処理中に検出したエラーのレポートを作成します。レポートには EDI 行番号が含まれ、エラーが発生したテーブルを示します。履歴レポートを印刷するかどうかに関係なく、エラーの性質を詳細に示す情報を記したメッセージがワーク センターに書き込まれます。

## トラブルシューティングのヒント

プログラムは最初のレコードを読み取って処理する前にトランザクションのデータ選択と順序設定を行います。これにより次のような状況となりエラーが発生することがあります。

- 対応する F03B11Z1 レコードが存在しない伝票番号を持つ F0911Z1 レコードが存在する。この状況では、F0911Z1 レコードの処理が停止され、この時点以降からのテーブルの全てのレコードが残高不一致となります。
- 対応する F0911Z1 レコードが存在しない伝票番号を持つ F03B11Z1 レコードが存在する。この状況では、エラー メッセージが書き込まれますが、後続のレコードの処理は継続されます。

## Understanding Invoice Batches for Argentina (ARG)

In addition to transferring information from the F03B11Z1 and F0911Z1 tables to the F03B11 and F0911 tables, the Invoice Batch Processor program transfers information from the Taxes – Tax Amounts by Invoice Suffix Batch Entry A – 03B table (F76A19Z1) to the Taxes – Tax Amounts by Invoice Suffix ARG – 03B table (F76A19).

The F76A19Z1 table can be populated manually, in which case the batch process does not verify that the data (such as tax minimums, tax code validation, and so on) matches the data entered in the F03B11Z1 table. However, the batch process does verify that a tax area exists.

If you do not populate the F76A19Z1 table manually, the Batch Invoice Processor program obtains information from the country-specific customer information and then processes the information from the F03B11Z1, F0911Z1, and F76A19Z1 tables. The program then uploads that data to the F03B11, F0911, and F76A19 tables; and then creates a record for each invoice in the Invoice Total – ARG – 03B table (F76A09).

To process invoices batches for Argentina, you must set the processing options on the PO – Invoice Batch Processor – ARG – 03B program (R76A03BZ).

## 処理中のエラーについて

次の表は、エラー メッセージを示しています。

エラー メッセージ	内容
最初のバッチの 2、3 のレコードを処理する	<p>バッチのレコードの処理は、エラーが発生した場合のみ中断されます。警告メッセージは正常ではない事態に対して警告を発しますが、処理が中断されることはありません。処理オプションで警告メッセージをオフに設定できます。</p> <p>あるレコードで発生するヘッダーレベルのエラーは、全てのレコードで発生することがあります。まず、レコード件数の少ないエラーを修正した後、同じ手順に従って、件数の多いレコードを処理します。</p>



エラー メッセージ	内容
エラー メッセージを確認する	<p>このレポートで確認する以外に、従業員ワークセンターでバッチに関する特定のエラーを照会することもできます。エラー メッセージによりエラーになっているバッチに直接アクセスできます。これによりオンラインで問題の検索および訂正ができます。</p> <p>以下の 3 つの方法のうちのいずれかの方法で、エラーメッセージをワークセンターで表示することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ワークフロー管理] メニュー (G02) から [従業員ワーク・センター] を選択します。</li> <li>• バッチ処理プログラムを右クリックして、[プロンプト] - [バージョン] を選択します。[バッチ・バージョンの処理 - 使用可能なバージョン] で、エグジット バーの [ツール] メニューから [ワーク・センター] を選択します。(エグジット バーを表示するように優先情報を設定してください。)</li> <li>• [システム・アドミニストレーション・ツール] メニュー (GH9011) から [サーバーの処理] を選択します。[サーバーの処理] で、エグジット バーの [ツール] メニューから [ワーク・センター] を選択してください。(エグジット バーを表示するように優先情報を設定してください。)</li> </ul> <p>全てのエラー メッセージはデータ辞書にも収められており、エラーの数を調べたり用語解説を検討することができます。</p>
バッチ請求書の改訂プログラム (P03B11Z1) を使用して作成された請求書を処理する	<p>エラーを解決できない場合、バッチ改訂プログラムで取引を手入力して処理します。次に、手入力した F03B11Z1 および F0911Z1 のレコードを変換したトランザクションと比較します。差異を比較することで、矛盾点を特定し、エラーを解決することができます。</p>

## 処理時間について

変換エラーを解決した後で、次の表の提案を使用して処理時間を改善することができます。

提案	内容
大きなバッチを作成する	<p>データをより大きなバッチに編成します。処理時間は、プログラムがバッチを開いたり閉じたりする必要がなければ改善することができます。</p> <p><b>重要:</b> 大きなバッチを作成するとパフォーマンスが向上しますが、バッチの転記にかかる処理時間が長くなる場合があります。</p> <p>また、あるレコードにエラーがあってもバッチ処理プログラムの残りのバッチ処理は中断されませんが、バッチ転記時にエラーが発生した場合はバッチのレコードを一切転記できません。</p>

提案	内容
バッチ処理プログラムのバージョンを複数作成する	<p>バッチ処理プログラム (R03B11Z1A) のバージョンを複数作成して、同時に実行します。</p> <p>このためには、バッチトランザクション テーブルのデータを変更してバッチをいくつかの大きなバッチにまとめます。次に、プログラムのバージョンを新規に作成し、処理オプションでバッチの 1 つを指定します。最後に、プログラムの全てのバージョンを同時に実行します。</p> <p><b>注:</b> バッチ処理プログラムのバージョンを複数作成するとパフォーマンスが向上しますが、処理するデータのタイプに応じてその率は大きく異なります。レコードのロックなどの技術的な問題により、複数のバージョンを同時に実行することで実際の処理時間が長くなる場合もあります。使用データに適したソリューションを把握するには、テストを行う必要があります。</p>
できるだけ多くの情報を入力する	<p>システムが処理に必要とする情報を F03B11Z1 テーブルおよび F0911Z1 テーブルに入力しておく、システムがデフォルト情報を参照する時間を短縮できます。</p> <p>たとえば、F0911Z1 テーブルの [備考] フィールド (VNEXA) に顧客名称を入力すると効果があります。システムが取り込むその他の情報には、支払条件や為替レート、会社番号などがあります。これらのフィールドに入力してバッチ処理プログラムを実行すると、デフォルト情報を取り込まずにデータの妥当性チェックのみ行われるため、処理時間が短縮されます。</p>
管理会計固定情報 (システム 16) を無効にする	<p>管理会計 (収益性分析) システム (システム 16) を使用していない場合、管理会計固定情報プログラム (P1609) で [コスト・オブジェクトをアクティブにする] オプション (CO01) と [ABC をアクティブにする] オプション (CO03) が選択されていないことを確認してください。[システム・セットアップ] メニュー (G1641) から [管理会計固定情報] を選択して確認することができます。</p>
データと関連プログラムが存在するサーバーでバッチプログラムを実行する	<p>バッチ テーブル (F03B11Z1、F0911Z1) およびその他の関連テーブル (業種別顧客マスター (F03012)、為替レートテーブル (F0015)、税域 (F4008) など) が存在するサーバー上で、バッチ処理プログラム (R03B11Z1A) を実行します。</p> <p>また、適用可能なマスタービジネス関数 (P03B0011、P0900049) とその他の関連プログラムも同じサーバーに置きます。</p>

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 請求書が変換される顧客の住所録レコードが存在するかどうか確認してください。
- 外部ソースから請求書取引を変換して、売掛管理システムへ適切なフォーマットで転送してください。

## バッチ請求処理の実行

[バッチ請求書処理] メニュー (G03B311) から [バッチ請求処理] を選択します。

## [バッチ請求処理] (R03B11Z1A) の処理オプションの設定

この処理オプションでは、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 選択

処理するバッチ レコードの選択基準を指定します。

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 1. EDI - ユーザー ID    | 処理するバッチ請求書レコードの EDI ユーザー ID (データ項目 EDUS) を指定します。ブランクの場合、このフィールドは選択基準として使用されません。    |
| 2. EDI - バッチ番号      | 処理するバッチ請求書レコードの EDI バッチ番号 (データ項目 EDBT) を指定します。ブランクの場合、このフィールドは選択基準として使用されません。      |
| 3. EDI - トランザクション番号 | 処理するバッチ請求書レコードの EDI トランザクション番号 (データ項目 EDTN) を指定します。ブランクの場合、このフィールドは選択基準として使用されません。 |
| 4. EDI - アップロード日付   | 処理するバッチ請求書レコードの EDI アップロード日付 (データ項目 EDDT) を指定します。ブランクの場合、このフィールドは選択基準として使用されません。   |

### 処理

トランザクションの処理方法を指定します。

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 処理モード | <p>プログラムをテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。テスト モードでは、レポートは生成されますがどのテーブルも更新されません。最終モードでは、レポートが印刷されるだけでなく、入力した情報に基づいて売掛金元帳 (F03B11) と取引明細テーブル (F0911) が更新されます。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: テスト モード</p> <p>1: 最終モード</p>   |
| 2. 貸借不一致 | <p>請求書の合計金額と対応する仕訳の合計金額が一致しない場合に、売掛金元帳 (F03B11) と取引明細テーブル (F0911) を更新するかどうかを指定します。請求書と仕訳のどちらにおいても税額は考慮されます。有効値は以下のとおりです。</p> <p>ブランク: 金額が一致しない請求書は処理しない。</p> <p>1: 金額が一致しない請求書も処理する。旧システムからデータをアップロードする場合など、請求書レコードを仕訳とは切り離して処理する場合のみこのオプションを選択してください。</p> |

---

警告: 金額が一致しない請求書を処理すると、他のアプリケーションで予期せぬ結果が生じる可能性があります。

---

### 3. 自動除去

請求書アップロード テーブル (F03B11Z1) および仕訳アップロード テーブル (F0911Z1) から正常に処理された請求書レコードを自動的に削除するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 請求書レコードを除去しない。

1: 請求書レコードを除去する。

### バージョン

請求書の作成および転記に使用する対応プログラムのバージョンを指定します。

#### 1. 請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011)

請求書取引の売掛金元帳レコードを処理するのに使用する請求書入力 MBF 処理オプション プログラム (P03B0011) のバージョンを指定します。ブランクの場合、ZJDE0001 が使用されます。

#### 2. 仕訳入力 MBF 処理オプション (P0900049)

請求書取引の取引明細レコードを処理するのに使用する仕訳入力 MBF 処理オプション プログラム (P0900049) のバージョンを指定します。ブランクの場合、ZJDE0001 が使用されます。

#### 3. 総勘定元帳転記レポート (R09801)

正常に処理された請求書取引を自動的に勘定残高テーブル (F0902) に転記するかどうかを指定します。使用する転記プログラムのバージョンを指定する必要があります。この処理オプションをブランクにすると、取引は転記されません。

### メッセージ処理

警告メッセージをワーク センター プログラム (P012501) に送信するかどうか、誰に送信するかを指定します。

#### 1. 警告メッセージの非表示

処理中に発生した警告メッセージを従業員ワーク センターに送信するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 警告メッセージを従業員ワーク センターに送信する。

1: 従業員ワーク センターに警告メッセージを送信しない。

---

注: 警告メッセージはレポートには印刷されません。また、警告メッセージが表示されても処理は正常に行うことができます。

---

#### 2. ワーク センターのユーザー ID

ワークフローの警告メッセージを受け取るユーザーを指定します。この処理オプションをブランクにすると、警告メッセージはトランザクションを入力したユーザーに送信されます。

### デフォルト

バッチ請求書処理のデフォルト情報を指定します。

#### 1. 代替支払先

バッチ請求書テーブル (F03B11Z1) の代替支払先フィールド (AN8J) の値を、顧客マスター (F03012) の対応するフィールド (AN8J) の値に更新するか、または住所録マスター (F0101) の第 5 住所番号 (AN86) の値に更新するかを指定します。

バッチ請求書レコードで値が指定されていない場合のみ、このフィールドが更新されます。この処理オプションがブランクで値が指定されていない場合は、顧客マスター (F03012) の値が使用されます。

**2. 税域と税目コード**

正常に処理された請求書レコードの税目コードと税率/税域を、顧客マスター (F03012) およびビジネスユニット マスター (F0006) で指定された値に更新するかどうかを指定します。両方のテーブルの税率/税域フィールドに値がある場合、顧客マスター (F03012) の値が使用されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 更新する。

1: 更新しない。

**3. バッチ タイプ**

正常に処理された請求書に割り当てるバッチ タイプを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バッチ タイプ IB が割り当てられます。有効なバッチ タイプは次のとおりです。

IB: 売掛管理、受注管理、契約/サービス請求管理の各システムの設定に基づいて割り当てられた請求書に使用する。

2B: 不動産管理システムの設定に基づいて割り当てられた請求書に使用する。

---

注: ユーザー定義コードの 98/IT に設定されている値を入力してください。

---

**4. 総勘定元帳タイプ**

正常に処理された取引明細テーブル (F0911) のレコードに割り当てる元帳タイプを指定します。ブランクの場合、元帳タイプ AA が割り当てられます。

---

注: バッチ請求書テーブル (F03B11Z1) の外貨建て金額フィールドに値を入力すると、この処理オプションで指定した元帳タイプにかかわらず、対応する取引明細レコードには元帳タイプ CA が割り当てられます。

---

**5. バッチ状況**

正常に処理された請求書バッチに割り当てる状況を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 売掛管理固定情報の管理者承認の設定に基づいて値を割り当てる。

1: A (承認済み) を割り当てる。

**印刷**

バッチ請求書の処理時に生成されるレポートに履歴情報を印刷するかどうかを指定します。

**ブランク = 印刷しない**

テスト モードおよび最終モードでレコードを処理したときに作成されるレポートに、履歴情報を印刷するかどうかを指定します。履歴情報にはユーザー ID、EDI バッチ番号、EDI トランザクション番号、総額 (売掛金元帳 (F03B11) より)、金額 (取引明細テーブル (F0911) より)、および通貨コードが含まれます。履歴情報は、バッチにエラーがあった場合にどのレコードにエラーが発生したかを調べるのに役立ちます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 履歴情報を印刷しない。

1: 履歴情報を印刷する。

## Setting Processing Options for PO – Invoice Batch Processor – ARG – 03B (R76A03BZ)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

## General

These processing options specify how the system processes batch invoices.

<b>Issue Place</b>	Specify the place where the invoice or the shipment note is printed.
<b>Version</b>	This processing option is obsolete.
<b>Legal Number Duplicated</b>	Specify whether the system allows duplicate legal numbers. Values are: Blank: Do not allow duplicate legal numbers. 1: Allow duplicate legal numbers.

## RG 100

This processing option specifies whether invoices correspond to RG 100 (General Resolution).

<b>RG 100 Invoices</b>	Specify whether the invoices that are created correspond to RG 100. Values are: Blank: Invoices do not correspond to RG 100. 1: Invoices correspond to RG 100.
------------------------	--

## Minimum Control

This processing option specifies whether a minimum control for taxes is activated.

<b>Control Minimum</b>	Specify whether to control a minimum amount if taxes are informed in the F76A19Z1 table. Values are: Blank: Control minimum amounts. 1: Do not control minimum amounts.
------------------------	---

---

## バッチ請求書の転記

バッチ請求書を処理した後、総勘定元帳に転記する必要があります。

[顧客および請求書の入力] メニュー (G03B11) から、請求書を総勘定元帳に転記することができます。または、バッチ請求書の処理プログラム (R03B11Z1A) の処理オプションで、次のように処理済みのバッチ請求書を自動的に転記するよう設定することもできます。

- [デフォルト] タブの [バッチ状況] 処理オプションに「1」を入力して、処理済みのバッチの状況を自動的に「承認済み」に設定する。
- [バージョン] タブの対応する処理オプションに仕訳の転記プログラム (R09801) のバージョンを入力する。

---

**注:** 処理オプションに仕訳の転記プログラムのバージョンを指定すると、転記プログラムの選択条件を満たす全てのバッチが転記されます。たとえば、転記プログラムのバージョンに、バッチタイプが IB でバッチ状況が A のバッチを選択するようデータ選択が設定されている場合、バッチ請求書処理で作成されるバッチだけでなく、この選択条件を満たす全ての請求書が転記されます。

---

**関連項目:**

第 7 章、「請求書の処理」、「請求書の転記処理について」、174 ページ

---

## 処理済みバッチ請求書の除去

このセクションでは、除去処理の概要と以下の方法について説明します。

- 処理済みバッチ請求書の除去プログラムの実行
- (BRA) Run the Purge A/R Additional Information – Brazil program
- (BRA) Set processing options for Purge A/R Additional Information – Brazil (R7603B11)

### 除去処理について

バッチ請求書は、検討、処理、および転記の後に除去する必要があります。処理済みの請求書は、除去プログラムを実行するまでシステムに保管されます。バッチ請求書は、次のいずれかの方法で除去できます。

- 処理オプションを設定して、バッチ請求書を最終モードで処理する際に自動的に除去する。
- 個別のタスクとして除去する。

バッチ請求書を除去する場合、バッチに関係なく次のテーブルから全ての処理済み請求書が削除されます。

- F03B11Z1
- F0911Z1

除去を実行してもバッチ請求書が削除されるだけで、売掛金元帳 (F03B11) の請求書は削除されません。

### 処理済みバッチ請求書の除去プログラムの実行

[バッチ請求書処理] メニュー (G03B311) から [処理済みバッチ請求書の除去] を選択します。





## 第 9 章

# 入金処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、入金入力方法、入金処理のステップ、日付、伝票タイプ、標準的な入金入力または手形入力の入力タイプコード、およびマイナスの入金の概要と、以下の方法について説明します。

- 標準的な入金入力
- 未決済請求書の検索
- 入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込
- 総勘定元帳入金の処理
- 単独レコードの入力
- スピード入金入力
- 入金の改訂
- 入金の承認および転記
- 入金情報の削除および無効化
- 入金の残高不足 (NSF) としての指定
- (Rapid Start) Process Manual Receipts

---

## 入金入力方法について

入金のタイプによって、入金入力プログラム (P03B102) またはスピード入金入力プログラム (P03B0001) を使って入金を入力することができます。未充当入金や総勘定元帳入金は、どちらのプログラムを使っても入力できます。入金入力プログラムとスピード入金入力プログラムには、以下の特徴があります。これらを考慮してどちらの方法を使うかを決めてください。

### 標準の入金入力

次の処理が可能です。

- ロード機能または選択機能を使った顧客の未決済項目の表示
- 顧客からの送金伝票を使用した直接入力
- 割引や少額消込を含む請求書に対する入金の消込
- 割引額または入金不足に対する再請求の作成
- 入金不足に対する損金の作成
- 再請求、少額消込、損金の単独作成

- 未充当金額の請求書への消込
- スピード入金入力で仮入金された入金の消込
- 入金入力結果の表示
- 入金の検索と改訂
- 未転記の入金および入金支払項目の削除
- 転記済みの入金および入金支払項目の無効化
- 入金の残高不足 (NSF) としての指定
- 代替通貨での入金の消込

次の処理は実行できません。

- スピード入金入力と同様の短時間での入力 (未決済項目の表示や入金情報の入力で複数のフォームを使用するため)
- 仮入金の入力
- 残高繰越方式を使った入金の消込

## スピード入金入力

次のような処理が可能です。

- 1 つのフォームでの複数の入金の入力
- 仮入金の入力
- 残高繰越入金の入力
- 自動少額消込の作成

次の処理は実行できません。

- 再請求/手動少額消込/損金の作成
- 未決済項目の事前ロード
- 単独システムとしてのプログラムの使用
- 入金の検索や改訂
- 入金の削除や無効化
- 入金の残高不足 (NSF) としての指定
- 入金消込結果の表示
- 代替通貨の使用

## この章で使用する共通フィールド

### 未充当金額

入金見出しに入力された入金額と入金明細に入力された支払金額の差額を表示します。このフィールドに表示する金額の充当金レコードが作成されます。

### 銀行勘定科目

入金を消し込む銀行勘定科目を入力します。このフィールドをブランクにすると、入力した会社番号に基づいて、AAI 項目 RB に設定された勘定科目が使用されます。

<b>再請求金額</b>	顧客への再請求用に作成する新しい請求書の金額を入力します。
<b>再請求理由</b>	<p>入金入力中に請求書に対して再請求が生成された理由を示すコードを入力します。通常、次のような再請求理由コードを使用します。</p> <p>DA: 問題金額</p> <p>DD: 割引不可額</p> <hr/> <p>注: ブランクは、ユーザー定義コード テーブルで定義されていても有効な値として受け入れられません。</p> <hr/>
<b>会社</b>	入金を消し込む会社番号を入力します。
<b>通貨</b>	現金入金の通貨コードを入力します。このフィールドをブランクにすると、会社に関与された通貨コードが使用されます。
<b>顧客</b>	<p>請求書に対して実際に支払業務を行う会社（親会社や代理支払機関など）の住所番号を入力します。</p> <p>顧客レコード (F03012) から [代替支払人] フィールドに入力された値は、このフィールドのデフォルト値として使用されません。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、[支払人] フィールドの値が使用されます。</p>
<b>損金金額</b>	<p>損金を作成された取引の通貨を使用して損金額を入力します。たとえば、売掛金元帳照会から損金を作成した場合、取引通貨は請求書の通貨になります。入金または手形から損金を作成した場合、取引通貨は入金または手形の通貨になります。</p> <p>この金額の通貨は、取引通貨コード フィールド (TCRC) に表示されます。</p>
<b>損金理由</b>	<p>顧客によって請求書の全額が入金されていない理由を示すコードを入力します。代表的な損金理由コードは、次のとおりです。</p> <p>DG: 破損品</p> <p>SS: 出荷不足</p> <p>UD: その他の理由</p>
<b>割引実施額</b>	<p>特定の日付までに支払が行われた場合に請求書から割引く金額を入力します。割引可能額と異なる金額にすることもできます。</p> <p>割引が実施されて請求書が全額支払われた場合、このフィールドに割引可能額の値が入力されます。</p> <p>割引が有効でない（入金の元帳日付が割引期日より後）場合、または請求書の全額が支払われていない場合は、このフィールドには何も入力されません。</p> <p>このフィールドを上書きして、別の割引額を指定することができます（0 も可）。</p>
<b>割引理由</b>	割引理由を指定するコードを入力します。
<b>為替レート</b>	指定した元帳日付に基づく為替レートが表示されます。
<b>元帳日付</b>	取引を転記する日付を入力します。この日付を使って多通貨取引の為替レートが取り込まれ、割引が発生するかどうかが決まります。

元帳クラス	売掛金勘定を取り込む際に使用する元帳クラスを入力します。このフィールドを空白にすると、処理オプションで顧客レコードの元帳クラスを使用するよう設定しない限り、UC が割り当てられます。
入金額	<p>取引通貨（外貨）で表された入金額を入力します。</p> <p>入金額が請求書の未決済金額より大きい場合、入金額を未決済金額より小さい額に変更するまで再請求金額、少額消込額、または損金金額は自動計算されません。</p> <p>請求書の未決済金額より大きい入金額を指定すると、過入金分がマイナスの未決済金額として請求書に表示されます。</p> <hr/> <p>注: 処理オプションの設定によっては、請求書の未決済金額と入力した支払金額の差額が自動的に少額消込として処理される場合があります。</p> <hr/>
支払人	<p>請求書に対して実際に支払業務を行う会社（親会社や代理支払機関など）の住所番号を入力します。</p> <p>顧客レコード (F03012) から [代替支払人] フィールドに入力された値は、このフィールドのデフォルト値として使用されません。</p>
入金額	<p>実際の入金額を入力します。</p> <p>[入金額] フィールドから他のフィールドにカーソルを移動すると、フォームの右下にある [未充当金額] フィールドが自動的に更新されます。</p>
入金 No.	<p>入金を特定する番号を入力します。自動採番で入金番号を割り当てるように処理オプションを設定することができます。</p> <p>処理オプションの [入金番号重複チェック] フィールドの設定に基づいて、同じ入金番号が既に入力されている場合は警告またはエラーメッセージが表示されます。</p>
入金日付	<p>システムに入金を入力した日付、または小切手に記載された日付を入力します。入力された値は各明細行にコピーされますが、上書きが可能です。この入金日付は照会およびレポート作成のためにのみ使用されます。</p> <p>このフィールドを空白にすると、元帳日付が使用されます。</p>
備考	取引の説明を入力します。見出し域に入力された備考は各明細行の該当フィールドにコピーされますが、変更が可能です。
入力タイプ (TI)	<p>入金入力時の取引の処理方法を指定するコードを入力します。空白にしたり無効な入力タイプを選択すると、取引は処理されません。</p> <p>入金入力プログラム (P03B102) で使用する入力タイプ コードは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 10: 単純請求書照合 「10」を入力してこのフィールドからカーソルを動かすと、[入金額] フィールドに請求書の金額が自動入力されます。割引が有効な請求書の場合は、[割引実施額] フィールドに [取引割引可能額] フィールドの金額が自動入力されます。</li><li>• 11: 割引額の自動再請求を伴う請求書照合 「11」を入力してこのフィールドからカーソルを動かすと、請求書の金額が [入金額] フィールドに、また [取引割引可能額] フィールドの金額が [再請求金額] フィールドに自動入力されます。</li></ul>

- 15: 少額消込を伴う請求書照合

「15」を入力してこのフィールドからカーソルを動かすと、入力した支払金額と請求書の未決済金額の差額が「少額消込額」フィールドに自動入力されます。

- 16: 再請求を伴う請求書照合

「16」を入力してこのフィールドからカーソルを動かすと、入力した支払金額と請求書の未決済金額の差額が「再請求金額」フィールドに自動入力されます。

- 17: 損金を伴う請求書照合

「17」を入力してこのフィールドからカーソルを動かすと、入力した支払金額と請求書の未決済金額の差額が「損金金額」フィールドに自動入力されます。

スピード入金入力プログラム (P03B0001) で使用する入力タイプ コードは次のとおりです。

- 1: 未充当/仮受金
- 2: 繰越残高入金
- 3: 仮入金
- 4: 総勘定元帳入金

#### 取引割引可能額

取引の支払時に総額から割り引き可能な請求書の支払項目の金額を入力します。割引金額は、請求書または伝票の入力時に指定した支払条件に基づいて計算されます。

注: 割引が自動計算されたら、その割引が指定した支払項目に適用されるかどうかを確認してください。通常、総額に含まれる運賃、売上税、労務費は割引の対象となりません。

#### 少額消込額

請求書の未決済金額から自動的に差し引かれ、顧客が支払う必要のない金額を入力します。

#### 消込理由

少額消込として処理する理由を示すコード。通常、次のような理由コードを使用します。

BD: 不良債権

DC: 破損品

MW: 少額消込

TF: 問題のある税額/運送費

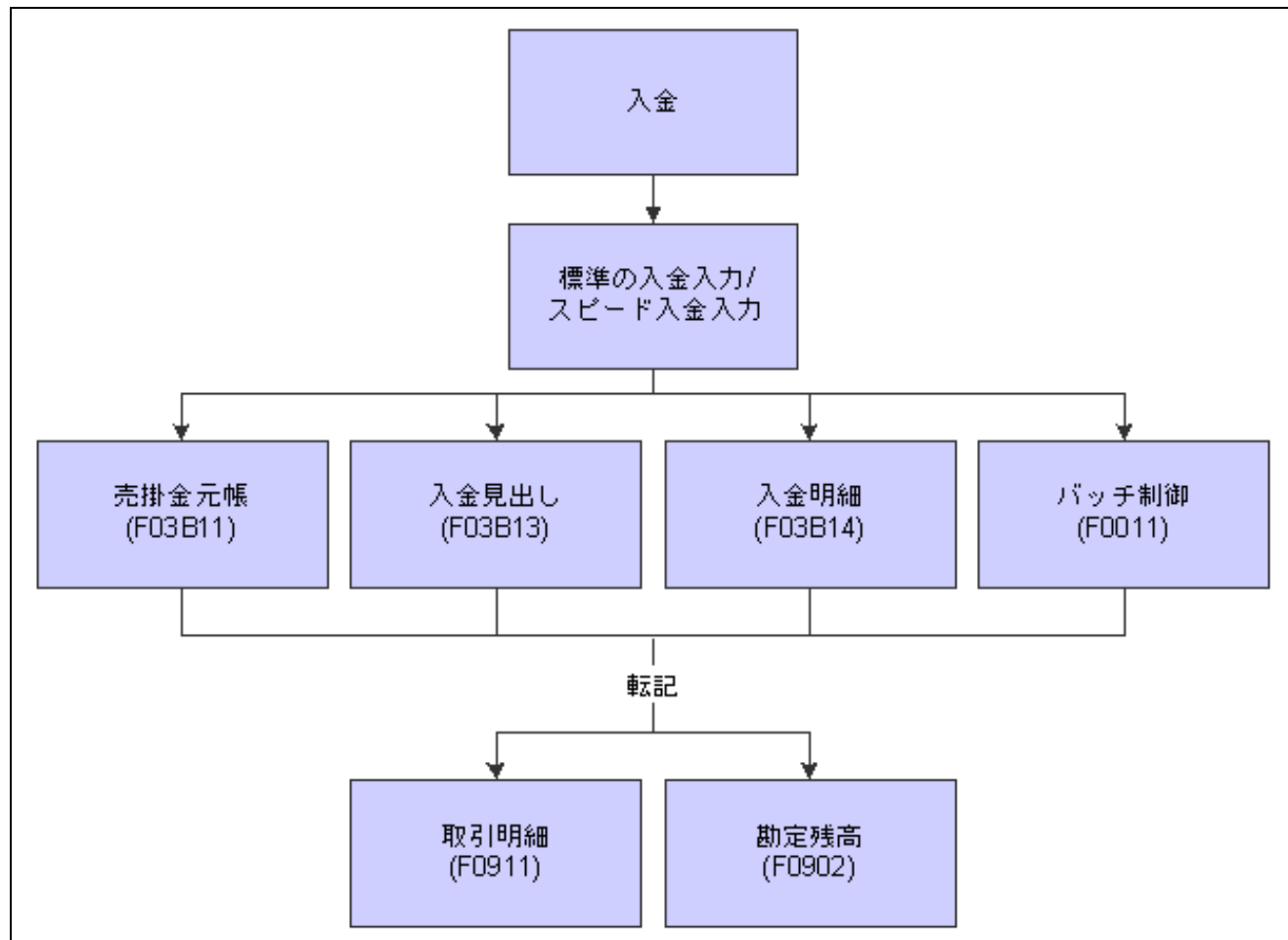
## 入金処理のステップについて

入金処理では、以下の標準的な 3 つのステップを使って入金を処理します。

- 入力
- 検討

## • 転記

次の図は、入金入力の流れと更新されるテーブルを示しています。



入金処理

## 日付および伝票タイプについて

入金を入力して処理するためには、システム上での入金日付および元帳日付の扱われ方、請求書および入金レコードに割り当てられる伝票タイプについて理解しておく必要があります。

### 入金日付と元帳日付

入金を入力する際、入金日付と元帳日付の両方を入力する必要があります。

#### 入金日付

入金日付には、システムに入金を入力する日付または実際に入金が行われた日付を入力します。入金日付が会計処理で使用されることはありません。参照としてのみシステム内に保存されます。

## 元帳日付

元帳日付は、為替レートを計算したり、割引を実施するかどうかを決定したり、入金の転記時に会計情報を更新するために、システム内で使用されます。元帳日付は非常に多くの目的で使用されるため、入金を入力した後は変更できません。

## 伝票タイプ

伝票タイプは、システム上で請求書および入金の取引を特定するために使用されます。伝票タイプは取引を検索するためのキー データの一部であるため、システム内で伝票タイプがどのように割り当てられ使用されるかを理解することは重要です。

### 請求書伝票タイプ

請求書の伝票タイプは、ユーザーが定義するものと、システムによって自動的に定義されるもの（RR など）があります。請求書の取引は他の取引に依存しないため、独立してシステムに入力できます。請求書は売掛金元帳テーブル（F03B11）に保存されます。

全ての入金取引には、自動的に伝票タイプが割り当てられます。入金は、F03B11 テーブルに対応するレコードがないと入力できません。入金によって請求書レコードが自動的に作成される場合を除き、入金に割り当てられる伝票タイプは照合伝票タイプ フィールド（DCTM）に保存されます。入金プログラムによって作成される請求書レコードは次のとおりです。

- 未充当入金（RU）
- 再請求（RB）
- 損金（R5）
- 手形（R1）

未決済項目を表示すると、各支払項目には伝票タイプが割り当てられます。入金と請求書を消し込むと、請求書に対して入金伝票が作成されます。

一般的な伝票タイプは次のとおりです。

伝票タイプ	内容
RI（一般的な請求書）	請求書入力 MBF 処理オプションプログラム（P03B0011）の処理オプションを変更しない限り、受注管理システムで作成された請求書、および請求書入力またはスピード請求書入力で入力された請求書には RI が割り当てられます。
RM（クレジットメモ）	請求書入力 MBF 処理オプションプログラム（P03B0011）の処理オプションを変更しない限り、請求書入力またはスピード請求書入力で入力されたクレジットメモには RM が割り当てられます。
RR（定期請求書）	定期頻度と支払回数を入力した定期請求書には RR が割り当てられます。
RN（手動請求）	不動産管理システムで手入力による請求によって作成された請求書には RN が割り当てられます。
RD（繰返し請求）	不動産管理システムで繰返し請求から作成された請求書には RD が割り当てられます。

伝票タイプ	内容
RH(経費負担)	不動産管理システムで経費負担請求から作成された請求書には RH が割り当てられます。
RJ(歩合請求)	不動産管理システムで歩合請求から作成された請求書には RJ が割り当てられます。
RL(賃料増額)	不動産管理システムの賃料増額によって作成された請求書には RL が割り当てられます。
RT(延滞手数料/利息金)	不動産管理システムで延滞手数料と延滞利息金の請求から作成された請求書には RT が割り当てられます。
RB(再請求の請求書)	入金入力時に作成された再請求レコードには RB が割り当てられます。再請求は、実際には発生しない割引に対して割引額を差し引いて入金された場合や、クレームなどのために支払を受けていない場合に、支払を促すためにもう一度請求するのに使用します。
R5(損金)	入金入力時に作成された損金レコードには R5 が割り当てられます。損金は、クレームや問題を解決するまでの間、未入金の金額を記録するために使用します。
R1(手形)	手形の請求書レコードには R1 が割り当てられます。手形は債務に対する支払約束です。手形は、紙の場合も電子データの場合もあります。手形には金額や満期日、銀行情報、また債務に関する情報を含めることができます。
RF(延滞利息金)	延滞利息金の請求書には RF が割り当てられます。延滞利息金の請求書は、一定の期間において延滞利息金の対象となる請求書の延滞利息金の合計金額を示します。
NP(部分 NSF)	部分 NSF 手形を入力した際に NSF 金額に対して作成される単独の請求書レコードには NP が割り当てられます。

## 入金伝票タイプ

入金と請求書を消し込むと、次の 2 つのレコードが作成されます。

- 入金見出しレコード。入金された金額、入金日付および元帳日付、小切手番号などが含まれます。入金見出しレコードは入金見出しテーブル (F03B13) に保存されます。
- 入金明細レコード。各請求書に突き合わされた入金の金額が含まれます。入金明細レコードは入金明細テーブル (F03B14) に保存されます。

F03B14 テーブルの入金明細レコードには、入金の伝票タイプが割り当てられます。入金伝票タイプには次のような種類があります。



伝票タイプ	内容
RC (入金)	入金を入力すると、この伝票タイプが割り当てられます。
RO (無効入金)	入金を無効にすると、この伝票タイプが割り当てられます。
RS (配賦入金)	入金の金額が 0 で、クレジットメモと請求書を消し込む場合にこの伝票タイプが割り当てられます。未充当入金と請求書を消し込む場合には、この伝票タイプは割り当てられません。
RV (NSF - 残高不足)	顧客の銀行口座に十分な残高がない場合にこの伝票タイプが割り当てられます。
RU (未充当入金)	特定の請求書に消し込まれていない入金に対して割り当てられます。この入金と顧客への売掛金を消し込むことによって未決済残高を減らします。
RL (仮入金)	顧客または支払人に関連付けられていない入金に対して割り当てられます。
RR (四捨五入レコード)	入金の外貨建て金額が全額消込済みで国内通貨建て金額が一部未消込の場合、または外貨建ては全額未消込であるのに対し国内通貨建ては一部消込済みの場合に、この伝票タイプが割り当てられます。このレコードの四捨五入は入金レベルで行われ、特定の請求書支払項目とは関連しません。

## 入金入力または手形入力の入力タイプコードについて

入金または手形と請求書を消し込むときに、入金や割引、少額消込、再請求、損金として処理する金額は入力タイプ (TI) コードを使って自動的に計算されます。

以下の表は、標準入金入力または手形入力で使用する入力タイプコードと、それぞれのコードで各金額がどのようにして自動計算されるかを示しています。

入力タイプコード	計算
10 - 単純請求書照合	<ul style="list-style-type: none"> <li>支払金額 = 現在の未決済額 - 割引可能額</li> <li>割引実施額 = 割引可能額</li> <li>少額消込 = 任意</li> <li>再請求 = 任意</li> <li>損金 = 任意</li> </ul>

入力タイプ コード	計算
11 - 割引額の自動再請求を伴う請求書照合	<ul style="list-style-type: none"> <li>支払金額 = 現在の未決済額 - 割引可能額</li> <li>割引実施額 = 任意</li> <li>少額消込 = 任意</li> <li>再請求 = 割引可能額</li> <li>損金 = 任意</li> </ul>
15 - 少額消込を伴う請求書照合	<ul style="list-style-type: none"> <li>消込金額 = 現在の金額 - 割引可能額</li> <li>割引実施額 = 割引可能額</li> <li>少額消込額 = 現在の未決済額 - 消込金額、割引実施額、再請求額、損金</li> <li>再請求 = 任意</li> <li>損金 = 任意</li> </ul>
16 - 再請求を伴う請求書照合	<ul style="list-style-type: none"> <li>消込金額 = 現在の未決済額 - 割引可能額</li> <li>割引実施額 = 割引可能額</li> <li>少額消込 = 任意</li> <li>再請求額 = 現在の未決済額 - 消込金額、割引実施額、少額消込、損金</li> <li>損金 = 任意</li> </ul>
17 - 損金を伴う請求書照合	<ul style="list-style-type: none"> <li>消込金額 = 現在の未決済額 - 割引可能額</li> <li>割引実施額 = 割引可能額</li> <li>少額消込 = 任意</li> <li>再請求 = 任意</li> <li>損金 = 現在の未決済額 - 消込金額、割引実施額、少額消込、再請求</li> </ul>

次の例は、入力タイプ コードを使って入金または手形を入力する方法を示しています。各例の未処理の請求金額は 1000.00、支払条件は “10 日以内の支払は 1 % の割引、支払期限は請求日から 30 日以内” です。

### 単純請求書照合 (入力タイプ 10)

請求書 123 に対して割引期間内に 990.00 の入金がありました。

入力タイプ コード	消込金額	割引額	少額消込	再請求	総額	伝票番号	伝票タイプ
10	990.00	10.00			1000.00	123	RI

入力タイプ 10 を使って 990.00 が消し込まれ、10.00 割り引きされます。

### 割引額の自動再請求を伴う請求書照合 (入力タイプ 11)

請求書 123 に対して割引期日以降に 990.00 の入金がありました。

入力タイプ コード	消込金額	割引額	少額消込	再請求	総額	伝票番号	伝票タイプ
11	990.00			10.00	1000.00	123	RI

入力タイプ 11 を使って 990.00 が消し込まれ、10.00 の再請求が作成されます。

### 少額消込を伴う請求書照合（入力タイプ コード 15）

請求書 123 に対して割引期間内に 970.00 の入金がありました。再請求は作成せず、20.00 の少額消込を行います。

入力タイプ コード	消込金額	割引額	少額消込	再請求	総額	伝票番号	伝票タイプ
15	970.00	10.00	20.00		1000.00	123	RI

入力タイプ 15 を使って 970.00 が消し込まれ、10.00 が割り引かれ、20.00 が少額消込として処理されます。

### 再請求を伴う請求書照合（入力タイプ 16）

請求書 123 に対して割引期間内に 600.00 の入金がありました。

入力タイプ コード	消込金額	割引額	少額消込	再請求	総額	伝票番号	伝票タイプ
16	600.00	10.00		390.00	1000.00	123	RI

入力タイプ 16 を使って 600.00 が消し込まれ、10.00 が割り引かれ、390.00 の再請求が作成されます。

### 損金を伴う請求書照合（入力タイプ 17）

請求書 123 に対して割引期間内に 850.00 の入金がありました。後で調査、解決することに決め、一時的に不足額 140.00 を損金として処理します。

入力タイプ コード	消込金額	割引額	少額消込	損金	総額	伝票番号	伝票タイプ
17	850.00	10.00		140.00	1000.00	128	RI

入力タイプ 17 を使って 850.00 が消し込まれ、10.00 が割り引かれ、140.00 の損金を作成されます。

## 単純請求書照合（入力タイプ 10）について

入金により請求書の全額または一部が支払われるとき、少額消込、再請求、損金を手動で指定しない場合には、入力タイプコード 10 を使用します。元帳日付が割引期日以前の場合は、自動的に割引が適用されます。入金により消し込む請求書の金額は、[入金額] フィールドで指定します。このフィールドを空白にすると、請求書で未決済となっている全額（入金額を限度額とする）が支払われます。

入金および手形を入力したら、総勘定元帳に転記する必要があります。

- 入金レコードを転記すると、(借) 銀行勘定 / (貸) 売掛金勘定の仕訳が作成されます。この売掛金勘定は、請求書の転記時に使用されるのと同じ勘定科目です。

- 手形レコードを転記すると、(借)受取手形/(貸)売掛金勘定の仕訳が作成されます。この売掛金勘定は、請求書の転記時に使用されるのと同じ勘定科目です。

## 割引を伴う請求書照合 (入力タイプ 10) について

請求書または請求書のグループに対して入金または手形を消し込む際には、割引を処理するかどうかを選択できます。顧客から割引期日またはそれ以前に請求書の支払があった場合は割引が発生し、[割引実施額] フィールドに割引額が自動的に入力されます。入金の元帳日付が割引期日より後の場合、割引は無効と見なされ、[割引実施額] フィールドに値は入力されませんが、手入力で割引額を指定することができます。割引を行わない場合、請求書は割引額の分だけ未決済のままとなります。

処理オプションを設定して、割引実施額が割引可能額や消込金額 (入金額) を超過することを許可することができます。たとえば、顧客からクレームがあった場合に、割引という形で赤伝を切る場合などがあります。また、割引期日に追加する猶予日数を指定することもできます。

入金および手形を入力したら、それを転記する必要があります。

割引が発生した支払を転記すると、銀行勘定 (または受取手形勘定) と売掛金勘定の他に割引勘定も更新されます。システム内では次の順序で割引勘定が検索されます。

1. AAI 項目 RKDxxx (xxx は入金に入力する会社用に指定した割引理由コード) が検索されます。
2. 見つからない場合、会社 00000 の RKDxxx が使用されます。
3. 見つからない場合、エラー メッセージが表示されます。

## 再請求を伴う請求書照合 (入力タイプ 11 と 16) について

入金と請求書を消し込む際、入金額が請求書の未決済金額より少ない場合は再請求を作成することができます。たとえば、顧客が割引期日後に割引額を差し引いて支払ったり、送料の支払を拒否した場合などです。

再請求用の請求書を生成するには、次の入力タイプ コードを使用します。

入力タイプ コード	用途
11	無効な割引に対して再請求を作成する場合に使用します。[再請求金額] フィールドには割引可能額と同じ金額が自動的に入力されます。
16	割引とは無関係な入金不足に対して再請求を作成する場合に使用します。[再請求金額] フィールドには入力した入金額と請求書の未決済金額の差額が自動的に入力されます。

再請求を伴う入金を入力すると、次のテーブルにレコードが作成されます。

テーブル	作成レコード
F03B11	<p>特定の請求書になされた入金に対して、顧客にもう一度請求する金額のレコード。元の請求書は支払済みとして更新され、伝票タイプ RB (再請求) の請求書レコードが新しく作成されます。</p> <p>再請求の請求書レコードには次のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入金の支払 ID に対して監査証跡が作成される。</li> <li>• 再請求が特定の請求書に対して作成された場合は、元の請求書に対して監査証跡が作成される。</li> <li>• 借方の金額で表される。</li> <li>• バッチタイプは RB (入金プログラムで作成された場合) または DB (手形プログラムで作成された場合)。</li> <li>• 転記状況は D (転記済み)。</li> </ul> <p>F03B13 テーブルと F03B14 テーブルの支払レコードの転記コードは、入金または手形を転記するまでブランクのままとなります。</p>
F03B13	支払レコード
F03B14	再請求を作成する元となった請求書への支払の明細レコード

再請求金額と理由コードを指定すると、使用した入力タイプ コードにかかわらず再請求レコードが作成されます。

入金および手形を入力したら、それを転記する必要があります。再請求を伴う支払を転記すると、銀行勘定 (または受取手形勘定) と売掛金勘定が更新されるほか、支払レコードの [再請求元帳クラス] フィールドに値が入力されているかどうかによって、再請求の金額で別の売掛金勘定が更新される場合もあります。

## 少額消込を伴う請求書照合 (入力タイプ 10 と 15) について

入金された金額が請求書の未決済金額に満たない場合やわずかに多い場合は、差額を少額消込として計上し、請求書を支払済みにすることができます。たとえば、顧客から請求額をわずかに下回る額の入金があったとします。顧客と良好な関係を保つために、差額分を再請求したり未決済で残さないで少額消込として処理することがあります。

少額消込を行うには次の 2 つの方法があります。

方法	用途
自動少額消込 (入力タイプコード 10)	<p>システムによって支払額と請求書の未決済金額の差額が計算されます。差額が処理オプションで定義された許容限度の範囲内であれば、自動的に少額消込が行われます。</p> <p>たとえば、少額消込の最高額を 10 とした場合、500 の請求書に対して 490 の入金または手形を入力したとします。[入金額]フィールドに「490」と入力するかデフォルトで表示される金額をそのままにすると、差額の 10 が自動的に少額消込されます。少額消込の金額を自分で計算したり指定する必要はありません。</p> <p>自動的に少額消込を行うには、計上する勘定科目を決定するのに使用するデフォルトの理由コードを処理オプションで入力する必要があります。自動少額消込では、入金または手形の入力時に少額消込理由コードを変更することはできません。</p> <p>入金と請求書を消し込むと、未決済金額の残高が表示されます。入金または手形を入力して検討すると、少額消込金額とその理由コードが表示されます。この時点では理由コードの変更が可能です。</p>
手動少額消込 (入力タイプコード 15)	<p>入力タイプ 15 を使って少額消込の実行を指定すると、少額消込金額が自動的に計算されます。処理オプションで指定した手動少額消込の最高額を超えている場合は、[OK] をクリックするとエラーメッセージが表示されます。その場合、金額を調整してエラーを修正することができます。</p> <p>手動で少額消込を行う場合のデフォルトの理由コードを設定できますが、必須ではありません。設定した場合も、入金または手形の入力時に変更可能です。</p>

少額消込金額と理由コードを指定すると、使用した入力タイプコードにかかわらず少額消込レコードが作成されます。

請求書の未決済金額を超える金額（過入金）の少額消込を行うには、取引の支払金額を入金または手形の金額に変更する必要があります。この変更を行わないと、その金額分の未充当入金レコードが作成されます。たとえば、95.00 の請求書に対して 100.00 の支払があったとします。5.00 を自動的に少額消込として処理するには、グリッド行の入金額を 95.00 から 100.00 に変更する必要があります。変更しないと、5.00 分の未充当入金レコードが作成されます。

入金および手形を入力したら、それを転記する必要があります。少額消込を伴う支払を転記すると、借方に売掛金勘定、貸方に銀行（または受取手形）勘定が計上され、AAI 項目 RAxx (xx は少額消込理由コード) で指定した少額消込勘定が更新されます。使用する理由コードごとに AAI を設定する必要があります。

## 損金を伴う請求書照合（入力タイプ 17）について

顧客からの入金が不足している場合に、対応を後にして先に入金入力を行うためには、損金を使用して入金および手形の入力を行います。入金不足の調査と解決に別の人が対応している間、入金をすぐにシステムに入力することができます。損金が発生する主な理由は次のとおりです。

- 破損品または欠陥品
- 無効割引（割引期日後の支払）

- 請求ミス
- 送料または税の支払拒否
- 出荷数量不足

入力タイプ コード 17 を使って損金が発生するように指定します。請求書に消し込んだ金額が入金額より小さい場合、[損金金額] フィールドは自動的にその差額で更新されます。また、損金理由コードも処理オプションで指定したデフォルト値で更新されます。

損金を伴う入金または手形を入力すると、次のテーブルに伝票が作成されます。

テーブル	伝票
F03B11	<p>特定の請求書(複数可)に代わって作成される、調査して解決すべき不足金額分の損金請求書伝票。元の請求書は支払済みとされ、伝票タイプ R5 の新しい損金請求書レコードが作成されます。</p> <p>損金の請求書レコードには次のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入金の支払 ID に対して監査証跡が作成される。</li> <li>• 元の請求書に対して監査証跡が作成される(損金特定の請求書に対して作成された場合)。</li> <li>• 借方の金額で表される。</li> <li>• バッチタイプは RB (入金プログラムで作成された場合) または DB (手形プログラムで作成された場合)。</li> <li>• 転記状況は D (転記済み)。</li> </ul> <p>F03B13 テーブルと F03B14 テーブルの支払レコードの転記コードは、入金または手形を転記するまで空白のままとなります。</p>
F03B13	支払レコード
F03B14	損金を作成する元となった請求書への支払の明細レコード

損金の金額と理由コードを指定すると、使用した入力タイプ コードにかかわらず損金レコードが作成されます。

入金および手形を入力したら、それを転記する必要があります。損金を伴う入金を転記すると、銀行勘定(または受取手形勘定)と売掛金勘定が更新されるだけでなく、AAI 項目 RN で設定された損金仮勘定が借方に計上されます。また、損金管理テーブル (F03B40) にもレコードが作成されます。この損金レコードを使って、後で損金の理由を調査したり解決することができます。

**注:** 転記後に損金の金額を変更したり支払を無効にするには、その前に損金プログラムを使って損金管理テーブル (F03B40) のレコードを取り消すか無効にする必要があります。ただし、損金以外の支払明細レコードは変更することができます。

#### 関連項目:

第 15 章、「損金処理」、469 ページ

## 複数の入力タイプ コードを使った請求書の照合について

入金または手形を入力したら、その入金または手形をそれぞれ別の処理が必要な複数の請求書と同時に突き合わせることができます。たとえば、3 つの請求書がある場合に、1 つの請求書は割引を行い、2 つめの請求書は割引額の再請求を行い、3 つめの請求書は送料の少額消込を行うといった状況に対応できます。

複数の入力タイプ コードを使って入金または手形を請求書と突き合わせの場合、入力タイプ コードをさまざまに組み合わせて使用し、請求書ごとに必要な処理を行うことができます。

---

注: 各入金明細行の支払金額は、次の基準を使用して決定されます。

入金または手形の金額

請求書の未決済金額

入力タイプ コード

未充当金額

たとえば、[入金額] または [手形金額] フィールドに値を入力せずに複数の請求書を支払おうとすると、最初に入力した支払金額は 2 番目の明細行にマイナスの支払金額が入力されることにより相殺されます。

---

## マイナスの入金について

入金をマイナスの金額で入力することが必要な場合があります。たとえば、クレジット カード支払額より多く入金された場合、顧客への返金額を記録する必要があります。(借) 銀行勘定および (貸) 売掛金勘定の仕訳が総勘定元帳に正しく反映されるように、返金額をマイナスの金額で入力しクレジット メモで相殺することができます。入金をマイナスの金額で入力すると、入金明細レコード (F03B14) が作成され、再び返金処理が行われないように、クレジット メモの支払状況が "P" に更新されます。

次のような場合にも、入金をマイナスの金額で入力できます。

- 現金送金など、総勘定元帳に対して直接マイナス調整を行う場合
- 銀行振込を入力する場合
- 残高不足 (NSF) 入金を総勘定元帳入金として記録する場合

マイナス入金の入力には、入金入力プログラム (P03B102) を使用します。処理オプションで、マイナス入金の入力を可能に設定します。

### 例: クレジット カード返金

顧客がクレジット カードを使って商品またはサービスを購入したとします。購入品目に対して、90.00 の請求書が作成されます。クレジット カード会社は顧客の購入に際して、銀行口座に直接入金を行います。一方、顧客が既に支払を済ませた返品品目に対して、クレジット カード会社により 150.00 の返金及要求されたとします。返金額が顧客のクレジット カード支払額 (90.00) を超える場合、60.00 のマイナス金額になります。マイナス金額を相殺するには、-60.00 の入金を作成し、返金のクレジット メモおよび顧客が支払を済ませた請求書に対して、そのマイナス金額を消し込む必要があります。

クレジット カード会社は入金した銀行口座からその金額分を直接差し引きます。

このシナリオを完成させるには、次のステップを実行します。

1. 顧客に 90.00 の金額の請求書 (RI) を作成します。
2. 請求書を転記して、以下の仕訳を作成します。



- (借) 売掛金勘定 90.00
  - (貸) 売上高 90.00
3. 払戻金額 150.00 のクレジット メモ (RM) を作成します。
  4. クレジット メモを転記して、以下の仕訳を作成します。
    - (貸) 売掛金勘定 150.00
    - (借) 売上高 150.00クレジット メモ 60.00 が売掛金勘定に反映されます。
  5. 入金入力プログラムを使用して、60.00 のマイナス入金を作成し、150.00 のクレジット メモ (RM) に消し込みます。
  6. 残額 90.00 を顧客の請求書 (RI) に対して消し込みます。

入金が完了すると、F03B11 テーブルのクレジット メモおよび未決済請求書が支払済みになります。
  7. 入金を転記して、以下の仕訳を作成します。
    - (借) 売掛金勘定 60.00この仕訳により、クレジット メモで作成されたマイナス金額が相殺されます。
    - (貸) 銀行勘定 60.00

### 例: マイナス元帳調整

クレジット カード会社を通じて顧客の支払を処理します。クレジット カード会社は取引の処理に 3.5 % の手数料を請求します。クレジット カード会社から支払を受け取ったら、処理手数料を総勘定元帳に直接入力し、顧客が支払った全金額に関連する請求書に対して消し込みます。

たとえば、顧客は以下の請求書に対して 9,647.05 をクレジット カード会社に支払ったとします。

- RI 3125 に 1,162.75
- RI 3126 に 5,034.30
- RI 3127 に 3,000

顧客の支払金額をこれらの請求書に対して全額消し込む他に、3.5 % のクレジット カード処理手数料として 337.65 のマイナス総勘定元帳入金を作成する必要があります。これにより、請求書は支払済みとして処理され、総勘定元帳に対応する経費勘定科目に仕訳が作成されます。

このシナリオを完成させるには、次のステップを実行します。

1. 入金入力プログラムを使用して、入金額に 9,309.40 を指定する入金情報を入力します。
2. 支払対象となる 3 つの請求書を選択し、請求書金額を支払金額として各請求書に消し込みます。

マイナスの金額 337.65 は未充当のままです。
3. [フォーム] メニューから [総勘定元帳] を選択します。
4. 処理手数料の調整を行う勘定科目を指定します。
5. マイナスの金額 337.65 を入力します。
6. 入力を完了します。

顧客がクレジット カード会社に支払った金額が全額消し込まれ、3 つの請求書は支払済みになります。
7. 入金を転記し、以下の仕訳を作成します。
  - (借) 経費勘定にクレジット カード処理手数料として 337.65

- (借) 銀行勘定に 9,309.40
- (貸) マイナス入金分が差し引かれ、売掛金勘定に 9,647.05

---

## (DEU) Understanding Encashments

Encashment, a common business practice in Germany, is a process by which a third-party receives payments from the customers of a business and then disburses the payment to the business. You can process encashment by using these methods:

### Parent/Child Method

When you use the parent/child method to process encashments, a parent company processes all the receipts for its child companies. To use the parent/child encashment method, you must specify the number of the parent company or the special payee for each customer that you set up.

Process parent/child encashment invoices as you would process normal cash receipts. You can use the Parent Number or Factor/Special Payee fields on the Customer Ledger Inquiry form to select only the invoices that the parent company is going to pay.

### Factoring Method

When you use the factoring method to process encashments, customers remit the payment for their invoices to an encashment company, which then processes the payments and invoices. You receive the payment for the invoices, minus a predetermined commission, from the encashment company.

To process encashments using the factoring method, you write off the receipts that you know will be paid by the encashment company using the receipts entry programs.

参照: 第 9 章、「入金処理」、「少額消込を伴う請求書照合 (入力タイプ 10 と 15) について」、221 ページ

You must set up a reason code (user defined code 03/AR) and a general ledger account for the receipts that you plan to write off for encashment. The reason code that you associate with the receipts determines which general ledger account that the system debits when you post the receipts.

You set up the reason codes in the AAIs. For example, you set up AAI item RAXx (where xx is the two-character reason code) to associate the reason codes to the general ledger accounts.

---

## 標準的な入金入力

このセクションでは、標準的な入金、入金または手形入力時に更新されるフィールド、未充当入金の概要と以下の方法について説明します。

- 入金入力 (P03B102) の処理オプションの設定
- 未充当入金の入力
- (ARG) Set processing options for PO Receipt Entry (P76A103D)
- (ARG) Enter manual receipts for Argentina

## 標準的な入金入力について

この標準の入金入力プログラムを使って、入金対象の請求書を選択したり、入金不足や無効な割引の処理方法を選択します。これは入金消込の最も一般的な方法で、入金プログラムの柔軟性を最大限に活用できます。

入力タイプ (TI) コードを使って、入金金額をどのように消し込むかを指定します。入力する支払金額および使用する入力タイプコードに基づいて、自動的に少額消込や再請求、損金の金額が計算され、有効な割引が実施されたかどうかも決定します。また、請求額以上の金額を入力して、顧客への返金 (赤伝) レコードを作成することもできます。

請求書をバッチ単位で入力するのと同様に、入金もバッチ単位で入力します。売掛管理固定情報の設定によっては、取引件数や合計金額などのバッチの情報を入力するためのバッチ制御フォームが表示されます。銀行残高調整を簡単にするために、入金の種類ごとにバッチを分けて入力することもできます。

---

**注:** [入金照会] フォーム ([入金入力] フォームではありません) を閉じてもう一度開いたときのみ、新しいバッチ番号が割り当てられます。[入金照会] フォームを閉じるまでは、バッチの状況は “使用中” のままです。入金プログラムで作成された全てのレコードには、バッチ タイプ RB が割り当てられます。

---

入金と請求書を消し込むと、入金見出しテーブル (F03B13) に入金の伝票が 1 件作成され、入金明細テーブル (F03B14) には入金を消し込んだ各請求書に対して 1 つずつ伝票が作成されます。

### (ARG) Receipt Reference Numbers

When you enter manual receipts for Argentina, you can manually enter the receipt reference number or have the system assign it. The receipt reference number is stored in the Reference field (RREF) of the F03B13 table.

You use the processing options for the PO Receipt Entry program (P76A103D) to control whether the receipt reference number is entered manually or automatically.

### 関連項目:

第 10 章、「売掛金元帳情報の処理」、「入金入力結果の検討」、297ページ

## 入金入力または手形入力時に更新されるフィールドについて

入金を入力すると、特定のフィールドが略式 ID で更新されます。入金と請求書の消込方法に基づいて AAI が検索されます。入金の転記時に、この略式 ID を使って自動仕訳が作成されます。次の表は、入金のタイプに基づいて更新されるフィールドと、勘定科目の検索に使用される AAI の一覧です。

勘定科目	入金消込のタイプ	入力タイプコード	更新されるフィールド	更新されるテーブル	使用される AAI
銀行勘定科目	全て	N/A	GLBA	F03B13	<p>入金入力時に指定した銀行勘定科目のコードが使用されます。</p> <p>[銀行勘定科目] フィールドがブランクの場合、次の順序で勘定科目が検索されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入金に入力された会社の RB</li> <li>• 会社 00000 の RB</li> </ul> <p>注: 入金入力時に銀行勘定科目フィールドは自動的に更新されません。ただし手形の場合は、取立または回収処理を行うまで銀行勘定科目フィールドは更新されません。</p>
売掛金	入金消込	10	AID	F03B14	<p>AAI は使用されません。</p> <p>F03B11 テーブルで請求書レコードの AID フィールドに入力された勘定科目が使用されます。</p>

勘定科目	入金消込のタイプ	入力タイプコード	更新されるフィールド	更新されるテーブル	使用される AAI
売掛金	未充当入金	N/A	AID	F03B13	<p>次の順序で勘定科目が検索されます (xxxx は[未充当元帳クラス]フィールドの値)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RCxxxx</li> <li>会社 00000 の RCxxxx</li> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RCUC</li> <li>会社 00000 の RCUC</li> </ul>
売掛金	再請求の必要がある入金	11 と 16	AIDC と AID	F03B14 と F03B11	<p>次の順序で勘定科目が検索されます (xxxx は[再請求元帳クラス]フィールドの値)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>請求書に入力された会社の RCxxxx</li> <li>会社 00000 の RCxxxx</li> <li>請求書に入力された会社の RC</li> <li>会社 00000 の RC</li> </ul>

勘定科目	入金消込のタイプ	入力タイプコード	更新されるフィールド	更新されるテーブル	使用される AAI
売掛金	単独の再請求	26	AIDC	F03B14	<p>次の順序で勘定科目が検索されます (xxxxは[再請求元帳クラス]フィールドの値)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RCxxxx</li> <li>会社 00000 の RCxxxx</li> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RC</li> <li>会社 00000 の RC</li> </ul>
割引実施額	割引を伴う支払	10	AIDD	F03B14	<p>次の順序で AAI が検索されます (xx は割引理由コード)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RKDxx</li> <li>会社 00000 の RKDxx</li> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RKD</li> <li>会社 00000 の RKD</li> </ul>
少額消込	少額消込を伴う支払	10 と 15	AIDW	F03B14	<p>次の順序で AAI が検索されます (xx は少額消込理由コード)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>請求書に入力された会社の RAxx</li> <li>会社 00000 の RAxx</li> </ul>

勘定科目	入金消込のタイプ	入力タイプコード	更新されるフィールド	更新されるテーブル	使用される AAI
少額消込	単独の少額消込	25	AIDW	F03B14	次の順序で AAI が検索されます (xx は少額消込理由コード)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RAxx</li> <li>会社 00000 の RAxx</li> </ul>
損金仮勘定	損金を伴う支払	17	DAID	F03B14	次の順序で検索されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>請求書に入力された会社の RN</li> <li>会社 00000 の RN</li> </ul>
損金仮勘定	単独の損金	27	DAID	F03B14	次の順序で検索されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形に入力された会社の RN</li> <li>会社 00000 の RN</li> </ul>

次の表は、手形の受取、取立、回収を行ったときに、F03B14 テーブルのレコードの AID2 フィールドがどのように更新されるかを示しています。これらのレコードは、表に示した AAI に基づいて、手形の各段階で作成されます。x は支払手段を示します。

手形の状況	AAI
受取	RD1x
取立	RD2x
割引手形の取立	RD3x
偶発債務を伴う取立	RD4x

## 未充当入金について

入金を計上して顧客への売掛金残高から差し引く最も簡単でスピーディな方法は、未充当入金を入力することです。このタイプの入金を使用すると、顧客から受けた入金を即座にシステムに入力でき、これによって常に最新の資金状況を把握することが可能になります。未充当入金を入力すると、特定の請求書に対してではなく、顧客の売掛金残高に対して入金を消し込むことができます。たとえば、銀行口座に振り込まれた日に入金を計上して、請求書に対する消込は後で行うことができます。

未充当入金を入力すると、次の各テーブルにレコードが作成されます。

テーブル	用途
F03B11	<p>未充当入金用の請求書レコード。入金伝票は単独では存在することはないため、何らかの請求書レコードと関連付ける必要があります。このため、未充当入金に対しては請求書レコードが自動的に作成され、伝票タイプ RU が割り当てられます。</p> <p>未充当入金用の請求書レコードには次のような特徴があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 入金の支払 ID に対して監査証跡が作成される。</li> <li>• マイナスの金額で表される。</li> <li>• バッチタイプ RB を持つ。</li> <li>• 転記状況は D (転記済み)。F03B13 テーブルと F03B14 テーブルの入金レコードの転記コードは、入金を転記するまでブランクのままです。</li> </ul>
F03B13	取引用の入金レコード。
F03B14	<p>支払われる請求書に関連する入金レコード。</p> <p>請求書消込によって作成される未充当入金 (RU)、再請求 (RB)、損金 (R5) の請求書レコードには、転記に使用される明細レコードが含まれます。転記状況が "D" の請求書レコード (F03B11) が自動的に作成されます。総勘定元帳を更新するには、入金レコード (F03B14) を転記する必要があります。</p>

未充当入金は、適切な請求書と消し込むまでは未決済のままです。

未充当入金を入力したら、それを転記する必要があります。未充当入金を転記すると、(借) 銀行勘定 / (貸) 売掛金勘定の仕訳が作成されます。このとき、入金入力時に [未充当元帳クラス] フィールドを上書きするか、顧客マスターで設定されている元帳クラスを使うよう指定しない限りは、AAI 項目 RCUC に関連付けられた売掛金勘定が貸方に仕訳されます。

未充当入金は、スピード入金入力プログラム (P03B0001) を使って入力することもできます。このプログラムを使うと、未充当入金をすばやく入力できます。ただし、スピード入金入力では、未充当入金の改訂、請求書消込、削除はできません。未充当入金の請求書消込、変更、削除を行うには、入金入力プログラム (P03102) を使用してください。

### 関連項目:

第 9 章、「入金処理」、「未充当入金 (入力タイプ (TI) コード 1) の入力」、264 ページ



## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- AAI 項目 RCxxxx に適切な勘定科目が設定されていることを確認してください。xxxx は、未充当元帳クラス（未充当手形の場合）または再請求元帳クラス（再請求を作成する手形の場合）です。未充当手形を入力する場合、別の未充当元帳クラスを指定するか、顧客レコードの値を使用するよう処理オプションで指定しない限り、デフォルトの RCUC が使用されます。
- (ARG) Set the processing options on the PO Receipt Entry program (P76A103D) to control whether the receipt reference number is entered manually or automatically during receipt entry.

## 標準的な入金入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入金入力]	W03B102E	[入金処理] (G03B12)、[入金入力]  [入金照会] フォームで、[追加] をクリックします。	標準的な入金を入力します。
[追加情報]	W03B102I	[入金入力] フォームの [フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。	未充当入金に UC 以外の元帳クラスを割り当てます。
Receipt Information	W76A103DB	On Receipt Entry, complete the fields to enter a standard receipt and then click OK.  The system displays the Receipt Information form only if you have set up user preferences with a Localization Country code of AR (Argentina).	Enter the receipt reference number or review the system-assigned receipt reference number.

## 入金入力の処理オプションの設定 (P03B102)

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 表示

[入金入力] フォームで前に入力した値をそのまま残すことができます。類似した入金を連続して入力する場合に入力時間を短縮できます。

#### 1. 会社

入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した会社番号を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 会社番号を保持しない。

1: 会社番号を保持する。

#### 2. 銀行勘定

入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した銀行勘定科目を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 銀行勘定を保持しない。

1: 銀行勘定を保持する。

- 3. 元帳日付** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した元帳日付を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 元帳日付を保持しない。  
1: 元帳日付を保持する。
- 4. 入金日付** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した入金日付を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 入金日付を保持しない。  
1: 入金日付を保持する。
- 5. 支払人番号** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した支払人番号を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 支払人番号を保持しない。  
1: 支払人番号を保持する。
- 6. 顧客番号** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した顧客番号を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 顧客番号を保持しない。  
1: 顧客番号を保持する。
- 7. 備考** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した備考を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 備考を保持しない。  
1: 備考を保持する。
- 8. 通貨** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した通貨を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 通貨を保持しない。  
1: 通貨を保持する。
- 9. 為替レート** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した為替レートを保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 為替レートを保持しない。  
1: 為替レートを保持する。
- 10. 支払手段** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した支払手段を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 支払手段を保持しない。  
1: 支払手段を保持する。
- 11. 決済日付** 入金を入力した後、[入金入力] フォームで入力した決済日付を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 決済日付を保持しない。  
1: 決済日付を保持する。

## デフォルト

[入金照会]、[入金入力]、[追加情報]、[請求書のロード]、[請求書の選択] フォームで使用するデフォルト値を指定することができます。この処理オプションで入力した値は、入金入力時に変更することができます。

1. **入金タイプの表示** [入金照会] フォームに表示する入金タイプを指定します。  
有効値は以下のとおりです。
  - 1: すべて
  - 2: 未充当/仮受金
  - 3: 仮入金
  - 4: 総勘定元帳
2. **日付タイプ** [日付選択] の [開始] および [終了] フィールドで使用する日付タイプを指定します。有効値は以下のとおりです。
  - 1: 入金日付
  - 2: 元帳日付
3. **入力タイプ** 請求書と入金の消込に使用するデフォルトの入力タイプ コードを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: デフォルト値を使用しない。
  - 10: 請求書突合せ
  - 11: 自動再請求割引突合せ
  - 15: 少額消込を伴う突合せ
  - 16: 再請求を伴う突合せ
  - 17: 損金を伴う突合せ
4. **備考** 入金明細レコードに使用するデフォルトの備考を指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 請求書の備考を使用する。
  - 1: 入金見出しの備考を使用する。
5. **入金番号の採番** 自動採番を使って入金番号を割り当てるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 手動で採番
  - 1: 自動採番
6. **損金理由コード** 損金金額の入力時に使用するデフォルトの損金理由コードを指定します。  
blank の場合は、[入金入力] フォームの詳細グリッドに手動で損金理由コードを入力する必要があります。有効な損金理由コードはユーザー定義コード 03B/CR に定義されています。
7. **会社番号の一時変更** ロード、選択、送金入力フォームで使用するデフォルトの会社番号を指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 入金入力の会社番号を使用する。
  - 1: 「\*」を入力してすべての会社を表示する。

## 8. 未充当入金のデフォルト元帳クラス

未充当入金を入力する際に、顧客レコード (F03012) の元帳クラスを [未充当元帳クラス] フィールドのデフォルト値として使用するかどうかを指定します。売掛金勘定は、使用する元帳クラスに基づいて検索されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 顧客レコードの値を使用しない。UC がデフォルト値として使用されます。

1: 顧客レコードの元帳クラスを使用する。顧客レコードに元帳クラスが設定されていない場合、UC がデフォルト値として使用されます。

## 照合

少額消込や残高不足の処理などの特定機能を有効に設定したり、重複する入金番号の使用時や過入金の入力時にメッセージを表示するかどうかを設定します。

### 1. 入金番号

入金を入力する際に、入金番号を必須にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入金番号を必須としない。

1: 入金番号を必須とする。

### 2. 少額消込

少額消込を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 少額消込を許可する。

1: 少額消込を許可しない。

### 3. 未転記入金の削除/NSF

未転記入金の削除および NSF (残高不足) 処理を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 削除および NSF を許可する。

1: 削除および NSF を許可しない。

### 4. 過入金チェック

請求額以上の金額が入力された場合に表示するエラー メッセージの重要度を指定します。有効値は以下のとおりです。

0: チェックしない。

1: 警告

2: エラー

請求額以上の金額を入力すると、マイナスの未決済金額として表示されます。

### 5. 入金番号重複チェック

重複する入金番号が検出された場合に表示するメッセージの重要度を指定します。個々の顧客についてではなく、F03B13 テーブルの全てのレコードについて、重複する入金番号が検索されます。有効値は以下のとおりです。

0: チェックしない。

1: 警告

2: エラー

## 処理

デフォルトの入力タイプコードを使用する場合の入金と請求書の消込方法を指定します。また、取引明細テーブル (F0911) のレコードの集計方式 (入力された入金のバッチごとに作成するか、入金ごとに明細レコードを作成するか) も指定します。

### 1. 請求書の突合せ

使用するデフォルトの入力タイプコードを指定する際に詳細グリッドに表示される請求書に対して、入金をどのように消し込むかを指定します。[デフォルト] タブの入力タイプコードの処理オプションをブランクにした場合は、この処理オプションは無視されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入金額に達するまで請求書を消し込みます。この処理オプションをブランクにすると、入金額に達するまで自動的に消し込まれます。グリッドに表示される残りの請求書は処理されません。クレジットメモと請求書の両方を選択する場合、最初にクレジットメモを選択して、請求書の前に処理されるようにしてください。以下に例を示します。

- 処理オプション [入力タイプ] ([デフォルト] タブ) は "10" に設定されています。
- 処理オプション [請求書の突合せ] はブランクです (入金額に達するまで消し込まれます)。
- 入金額は 100 です。
- 請求書金額は 200 で、支払期日は 2005 年 6 月 15 日です。
- クレジットメモは 100 で、支払期日は 2005 年 6 月 30 日です。

ロード機能を使用して顧客の未決済請求書を表示すると、クレジットメモの前に請求書レコードが表示されます。これは、請求書の方が支払期日が早いからです。処理オプションで入力タイプを "10" に指定したため、請求書に対して入金額 100 が消し込まれ、残り 100 は未決済金額として残ります。入金額の全額が最初の請求書に対して消し込まれるため、クレジットメモは処理されません。

1: 全ての請求書を消し込みます。入金額が超過しているかどうかにかかわらず、入金を請求書の未決済金額に消し込みます。グリッドに表示される全ての請求書およびクレジットメモが対象になります。

この処理オプションは、少額消込、再請求、および損金の処理方法にも影響します。以下に例を示します。

- 処理オプション [入力タイプ] ([デフォルト] タブ) は "15" に設定されています。
- 処理オプション [請求書の突合せ] は "1" (全ての請求書を突き合わせる) に設定されています。
- 最高少額消込額の処理オプションは、自動と手動で、"25" に設定されています。
- 入金額は 80 です。
- 請求書金額は 100 です。

入力タイプに "15" (手動少額消込) が表示され、100 が請求書に対して消し込まれ、少額消込は無視されます。入金額を超える金額が消し込まれたため、エラーとなります。システムが少額消込を処理できるようにするには、取引入金額を 80 に変更する必要があります。

## 2. 仕訳の形式

転記プログラムで入金バッチに対して 1 件の集計仕訳を作成するか、入金ごとに仕訳を作成するかを指定します。この処理オプションで設定した値は、F03B13 テーブルの売掛金転記フィールド (ISTR) に割り当てられます。転記プログラムでは、この値を使って仕訳レコードが作成されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 集計仕訳を作成します。転記する入金バッチごとに、伝票タイプ RK の仕訳が 1 件作成されます。仕訳の伝票番号には入金のバッチ番号が割り当てられます。この方法を使用するためには、次のことを確認してください。

- 売掛管理固定情報の売掛金集計方式が "B" (バッチごと) に設定されている。
- バッチに外貨建て取引が含まれていない。

上の 2 つの条件を満たしていない場合、仕訳は明細形式で作成されます。

1: 明細仕訳を作成します。バッチに含まれる入金ごとに、伝票タイプ RC の仕訳が 1 件作成されます。入金仕訳の伝票番号は、仕訳入力 (システム 09) の自動採番によって自動的に割り当てられます。

監査証跡を記録するために、F03B14 テーブルの次のフィールドは仕訳の情報で更新されます。

- JE 伝票タイプ (RZDCTG)
- JE 伝票番号 (RZDOCG)
- JE 伝票会社 (RZKCOG)

---

注: この処理オプションの設定に関係なく、売掛管理固定情報の売掛金集計方式が "B" に、一般会計固定情報の会社間決済方式が "3" に設定されている場合、入金 は 転記されません。

---

## 3. 請求書の表示

支払状況が承認済みの請求書のみを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 全ての請求書を表示する。

1: 承認済み請求書のみ表示する。

## 通貨

為替レートの有効性を検証するかどうか、入金を代替通貨で入力できるようにするかどうかを指定します。

### 1. 有効日付チェック

為替レートを取り込むのに使用する有効日付が、入金入力で入力された元帳日付と同じ期間かチェックするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 有効日付をチェックしない。

1: 有効日付をチェックする。為替レート テーブル (F0015) から取り込まれた為替レートの有効日付が請求書の元帳日付と同じ期間ではない場合、警告メッセージが表示されます。

### 2. 代替通貨による入金

代替通貨 (基本通貨または請求書の取引通貨以外の通貨) による請求書の支払を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 代替通貨による支払を許可しない。

1: 代替通貨による支払を許可する。

## 再請求

作成される再請求レコードに割り当てる値を指定します。

### 1. 支払状況

再請求に割り当てるデフォルトの支払状況を指定します。この処理オプションを空白にすると、データ辞書 PST に設定されている値が使用されます。有効な値は、ユーザー定義コード 00/PS (支払状況) で定義されています。

### 2. 日付オプション

再請求に割り当てる請求書日付と支払期日を指定します。有効値は以下のとおりです。

空白: 入金日付を使用する。

1: 請求書の対応する日付を使用する。

### 3. 理由コード

再請求金額を入力する際に割り当てるデフォルトの理由コードを指定します。この処理オプションを空白にすると、再請求理由コードを手動で入力する必要があります。有効な再請求理由コードはユーザー定義コード 03B/CB で定義されています。

## 自動少額消込

自動少額消込機能を有効にし、入金不足と過入金の限度額を指定します。自動少額消込機能を有効にする場合、少額消込理由コードを指定する必要があります。

### 1. 最高入金不足額

入金不足分を少額消込として処理できる限度額を指定します。支払金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、その差額は入金入力時に自動的に消し込まれます。

### 2. 入金不足理由コード

自動少額消込処理を有効にし、入金不足分の自動消込で使用されるデフォルトの理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。指定する少額消込理由コードに対応する AAI 項目 RAXx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

### 3. 最高過入金額

過入金分を少額消込として処理できる最高金額を指定します。支払金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、その差額は入金入力時に自動的に消し込まれます。

マイナスの金額を入力してください。

### 4. 過入金理由コード

自動少額消込処理を有効にし、過入金分の自動消込で使用されるデフォルトの理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC で定義されています。指定する少額消込理由コードに対応する AAI 項目 RAXx (xx は理由コード) も設定してください。

## 少額消込

入金不足と過入金の少額消込限度額を指定し、理由コードのデフォルト値を設定します。

### 1. 最高入金不足額

入金不足分を少額消込として処理できる最高金額を指定します。支払金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、入金入力時に少額消込として処理することができます。

## 2. 最高過入金額

過入金分を少額消込として処理できる最高金額を指定します。支払金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、入金入力時に少額消込として処理することができます。

マイナスの金額を入力してください。

## 3. 少額消込理由コード

少額消込金額を入力する際に割り当てるデフォルトの理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。指定する少額消込理由コードに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

## 割引

割引を処理するための規則を設定します。

### 1. 割引可能額を超える割引実施額

割引可能額を超える割引を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 割引可能額を超える割引を許可しない。

1: 割引可能額を超える割引を許可する。

### 2. 入金額を超える割引

入金額を超える割引を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入金額を超える割引を許可しない。

1: 入金額を超える割引を許可する。

### 3. 猶予期間日数

割引期日を延長する日数を指定します。この処理オプションは、割引実施額を自動的に計算する場合にのみ使用されます。

### 4. 割引理由コード

割引を実施する際に使用するデフォルトの割引理由コードを指定します。このコードは、必要に応じて入金入力時に上書きできます。ユーザー定義コード 00/DE で定義されている割引理由コードを入力してください。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxxx (xxx は理由コード) も設定する必要があります。

## 照合優先順位

送金による入金を入力する際に請求書を検索する順序を指定します。

請求書番号、受注オーダー、顧客参照番号、計算書番号、および出荷番号

[送金入力] フォームで請求書を選択する際のフィールドの検索順序を指定します。有効な値は、“1”、“2”、“3”、“4”、“5” です。フィールドをブランクにした場合は、そのフィールドは検索キーにはならず、値を指定したフィールドのみを使って検索されます。5 つのフィールドを全てブランクにすると、左に記載されている順序で全てのフィールドを使って検索されます。

## 未充当入金の入力

[入金入力] フォームにアクセスします。



**入金入力 - 入金入力** i ?

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

会社	00070	銀行勘定科目	70.1110.BEAR	元帳日付	2005/06/30
支払人	3333		Continental Incorporated	入金日付	2005/06/18
顧客	3333		Continental Incorporated	バッチ	7411
入金No.	161599	前			
入金額	3,250.00	備考			
通貨	EUR	為替レート		基本	EUR <input type="checkbox"/> 外貨

レコードが取り込まれていません グリッドのカスタマイズ

	入力 タイプ	入金額	割引 実施額	割引 理由	少額 消込額	消込 理由	再請求 金額	再請求 理由	損金 金額

<input type="checkbox"/> 総勘定元帳入金	充当済み金額	保留金額	未充当金額 3,250.00
----------------------------------	--------	------	-------------------

[入金入力] フォーム

未充当入金を入力するには、次の手順に従います。

1. [入金入力] フォームで、フィールドに値を入力します。
2. UC 以外の元帳クラスを割り当てる場合は、[フォーム] メニューから [追加情報] を選択して、[未充当元帳クラス] フィールドに値を入力してください。  
顧客レコードのデフォルトの元帳クラスを使用するように、処理オプションを設定することもできます。
3. [追加情報] でその他の該当するフィールドに値を入力して、[OK] をクリックします。
4. [OK] をクリックします。
5. [入金入力] で、[OK] をクリックして未充当入金レコードを作成します。または、入金を請求書と突き合わせるか送金情報を入力します。

## (ARG) Setting Processing Options for PO Receipt Entry (P76A103D)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### General

<b>Receipt Number Duplication</b>	Specify whether the system verifies receipt number duplication by company.
<b>Receipt Number Display</b>	Specify whether the system displays the receipt number.
<b>Receipt Values Protection</b>	Specify whether receipt values are protected if the receipt has been printed.
<b>Automatic Receipt Number Assignment</b>	Specify whether the system assigns receipt number automatically.

## (ARG) Entering Manual Receipts for Argentina

Access the Receipt Entry form.

To enter manual receipts for Argentina:

1. On Receipt Entry, complete the fields to enter a standard receipt and click OK.

The system displays the Receipt Information form.

2. If the processing options are set for manual entry of the receipt reference number, complete the Receipt Number field.

If the processing options are set for automatic entry of the receipt reference number, the system completes the Receipt Reference field.

3. Click OK.

**Receipt Number**

Enter a number to use as secondary reference on the receipt.

---

## 未決済請求書の検索

このセクションでは、未決済請求書の表示方法の概要と、以下の方法について説明します。

- 顧客の全ての未決済請求書のロード
- 顧客の特定の未決済請求書の選択
- 未決済請求書の送金別選択

### 未決済請求書の表示方法について

入金または手形の対象となる請求書を選定するには、支払入力フォームでその請求書を表示する必要があります。どの方法で未決済請求書を検索する場合も、各フォームで検索条件を指定して検索すると、入金または手形入力フォームに指定した条件を満たす請求書が表示されます。

支払対象の未決済請求書を表示するには、次の方法があります。

方法	説明
請求書のロード	<p>次の追加の検索条件を満たす特定の支払人について、未決済請求書を全て表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会社:1つの会社または全ての会社(*を入力)を指定できます。</li> <li>• 通貨コード:1つの通貨コードまたは全ての通貨コード(*を入力)を指定できます。</li> </ul> <p>支払期日順に請求書が表示されます。</p>

方法	説明
請求書の選択	<p>次の検索条件を満たす未決済請求書を全て表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 支払人または顧客</li> <li>• 会社:1つの会社または全ての会社(*を入力)を指定できます。</li> <li>• 通貨コード:1つの通貨コードまたは全ての通貨コード(*を入力)を指定できます。</li> </ul> <p>さらに、QBEを使って伝票タイプや計算書番号などのその他の検索条件を指定することもできます。</p> <p>指定した条件を満たす請求書が表示されます。次に、支払対象となる請求書の支払項目をそれぞれ選択します。請求書の選択後は、検索条件を変更して別の請求書を選択できます。入金入力フォームには、選択した全ての請求書が選択した順に表示されます。</p>
送金別請求書の選択	<p>この方法を使って、銀行からの送金情報を入力します。[請求書参照]フィールドに請求書番号などの請求書に関する情報を入力すると、指定した基準を満たす請求書の数が表示されます。別の検索条件を指定するには、別の明細行を使用します。</p> <p>処理オプションを設定して、[請求書参照]フィールドに入力する値に基づいて請求書を検索する際に使用する、デフォルトの検索順序を設定できます。未決済請求書は、次の分類ごとに検索できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 請求書番号 (DOC)</li> <li>• 受注オーダー番号 (DOCO)</li> <li>• 顧客参照番号 (VR01)</li> <li>• 計算書番号 (CTL)</li> <li>• 出荷番号 (SHPN)</li> </ul> <p>計算書番号以外は、請求書参照を使って F03B11 テーブルから請求書が検索されます。また、売掛金通知実績明細テーブル (F03B21) の計算書番号を使って請求書が検索されます。</p>

未決済請求書のどの表示方法を使用した場合も、次の請求書タイプは取り込まれません。

- RU (未充当入金)
- R1 (手形)
- R5 (損金)
- NP (部分 NSF)

**関連項目:**

第 9 章、「入金処理」、「未充当入金と請求書の消込」、251ページ

第 12 章、「受取手形の処理」、「手形の受取」、354ページ

第 15 章、「損金処理」、「損金の調査および解決」、474ページ

**事前設定**

送金別に請求書を選択する場合は、不動産管理の入金入力プログラム (P15103) の [突合せ優先順位] タブで、処理オプションが正しく設定されていることを確認してください。

**未決済請求書の検索に使用するページ**

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入金入力]	W03B102E	[入金処理] (G03B12)、[入金入力] [入金照会] フォームで、[追加] をクリックします。	未充当入金を入力します。
[手形入力]	W03B602B	[手形日次処理] メニュー (G03B161) から [手形入力 (自社)] または [手形入力 (顧客)] を選択します。 [手形の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	未充当手形を入力します。
[請求書のロード]	W03B102J	[入金入力] または [手形入力] で、[フォーム] メニューから [ロード] を選択します。	顧客の全ての未決済請求書をロードし、入金との消込を行います。
[請求書の選択]	W03B102H	[入金入力] または [手形入力] で、[フォーム] メニューから [選択] を選択します。	顧客の特定の未決済請求書を選択し、入金との消込を行います。
[送金別請求書の選択]	W03B102K	[入金入力] または [手形入力] で、[フォーム] メニューから [送金入力] を選択します。	送金別に未決済請求書を選択し、入金との消込を行います。

**顧客の全ての未決済請求書のロード**




未決済請求書を選択する手順は、入金入力プログラムと手形入力プログラムのどちらを使っても同じです。ここでは [入金入力] フォームのみを使って手順を説明します。

[入金入力] フォーム (または [手形入力] フォーム) にアクセスします。

次の例は、[請求書のロード] フォームを示しています。

**入金入力 - 請求書のロード**

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

会社	<input type="text" value="00070"/>	Luxe de France
支払人	<input type="text" value="3333"/>	Continental Incorporated
通貨	<input type="text" value="EUR"/>	Euro
基本	<input type="text" value="EUR"/>	Euro

[請求書のロード] フォーム

顧客の全ての未決済請求書をロードするには、次の手順に従います。

1. 未充当入金または未充当手形を入力するステップを実行します。
2. [入金入力] (または [手形入力]) で、[フォーム] メニューから [ロード] を選択します。
3. [請求書のロード] で、必要に応じて [会社] フィールドまたは [支払人] フィールドに値を入力して、[OK] をクリックします。

指定した会社の請求書のみがロードされます。全ての会社の請求書をロードするには、「\*」を入力します。

**注:** [入金入力] または [手形入力] フォームのグリッドには、支払期日順に全ての未決済請求書が表示されます。必要に応じて、別の顧客の請求書を続けてロードすることができます。

処理オプションでデフォルトの入力タイプを使用するよう設定すると、請求書のロード時に入力タイプフィールドには処理オプションで指定した値が表示されます。

RU (未充当入金)、R5 (損金)、R1 (手形) の請求書レコードはロードされません。

## 顧客の特定の未決済請求書の選択

未決済請求書を選択する手順は、入金入力プログラムと手形入力プログラムのどちらを使っても同じです。ここでは [入金入力] フォームのみを使って手順を説明します。

[入金入力] フォーム (または [手形入力] フォーム) にアクセスします。

次の例は、[請求書の選択] フォームを示しています。

入金入力 - 請求書の選択

選択(S) 検索(O) 閉じる(L) ロー(R) ツール(T)

3333

タイプ

会社 00070

通貨コード EUR

未充当金額 3,250.00

レコード 1 - 10

	伝票 No.	伝票 タイプ	伝票 会社	支払 項目	取引 通貨	取引 未決済金額	取引 割引可能額	取引 総額	基本 通貨	未決済 金額	割引 可能額
<input type="checkbox"/>	3380	RI	00070	001	EUR	1,500.00	15.00	1,500.00	EUR	15.00	47.50
<input type="checkbox"/>	3381	RI	00070	001	EUR	1,750.00	17.50	1,750.00	EUR	17.50	46.00

件数 2 合計額 3,250.00

[請求書の選択] フォーム

顧客の特定の未決済請求書を選択するには、次の手順に従います。

1. 未充当入金または未充当手形を入力するステップを実行します。
2. [入金入力] (または [手形入力]) で、[フォーム] メニューから [選択] を選択します。
3. [請求書の選択] で、必要に応じて、見出し域または QBE のフィールドに値を入力し、[検索] をクリックすると、検索条件に合う未決済請求書がロードされます。

注: RU (未充当入金)、R5 (損金)、R1 (手形) の請求書レコードは表示されません。このため、これらのレコードは選択できません。

4. 請求書 (複数可) を選んで [選択] をクリックします。

選択した請求書にはチェックマークが表示されます。または、[ロー] メニューから [選択/選択解除] を選択するか、[伝票No.] フィールドをダブルクリックしても請求書の選択または選択解除ができます。

複数の顧客の請求書を選択できます。選択した請求書の件数とその合計額が自動的に表示されます。

5. [閉じる] をクリックすると、[入金入力] フォームのグリッドに選択した請求書がロードされます。

注: 請求書は、選択した順序で表示されます。

処理オプションでデフォルトの入力タイプを使用するよう設定すると、請求書のロード時に [入力タイプ] フィールドは処理オプションで指定した値で更新されます。

## 未決済請求書の送金別選択

送金情報を入力する手順は、入金入力プログラム (P03B102) と手形入力プログラムのどちらを使っても同じです。ここでは [入金入力] フォームのみを使って手順を説明します。

[入金入力] フォーム (または [手形入力] フォーム) にアクセスします。

送金別に未決済請求書を選択するには、次の手順に従います。

1. 未充当入金または未充当手形を入力するステップを実行します。
2. [入金入力] (または [手形入力]) で、[フォーム] メニューから [送金入力] を選択します。
3. [送金別請求書の選択] で、請求書の検索条件を絞り込むために任意のフィールドに値を入力し、[検索] をクリックします。

「\*」を使用すると、全ての値を指定できます。

---

注: フィールドに入力した情報が請求書に含まれていない場合、請求書は検索されません。

---

4. 詳細グリッドで、[請求書参照] フィールドに顧客の送金情報を入力します。

請求書番号、計算書番号、受注オーダー番号、顧客参照番号、出荷番号のいずれかを入力してください。[一時変更タイプ] フィールドに入力しない限り、処理オプションの [照合優先順位] タブで指定した順序で F03B11 テーブルから請求書が検索されます。

---

注: 計算書番号は売掛金通知実績明細テーブル (F03B21) から検索されるため、計算番号別に請求書を検索できるように計算書データの再作成プログラム (R03B500X) を使って計算書を生成する必要があります。

---

5. (省略可) [入力タイプ] フィールドまたは [一時変更タイプ] フィールドのいずれかに値を入力します。  
6. 次の明細行をクリックして、自動入力される以下のフィールド値を確認します。

- 件数
- 未決済金額
- 割引可能額
- 割引予定額
- 処理タイプ

7. 現時点の送金合計を見るには、[送金額] と [割引額] フィールドに入力してください。フォームの下  
の合計金額が更新されます。

---

注: 入力した送金額は、[入金入力] フォームまたは [手形入力] フォームで入金額および割引額として使用されません。

---

入力タイプ コードが指定されている場合 (処理オプションでデフォルトが設定されている場合、またはこのフォームで上書きされている場合) のみ、入金額が自動的に計算されます。そうでない場合は、[入金入力] フォームまたは [手形入力] フォームで入金額を指定する必要があります。

---

8. [OK] をクリックします。

請求書は、送金フォームで入力した順序で入力フォームに表示されます。

#### 一時変更タイプ

請求書を検索するのに使用する照合プロセスを示す番号。このフィールドをブランクにすると、入金入力プログラム (P03B102) の処理オプションで指定した照合プロセスを使って請求書が検索されます。有効値は以下のとおりです。

- 1: 請求書番号による照合
- 2: 受注オーダー番号による照合
- 3: 顧客参照番号による照合
- 4: 計算書番号による照合
- 5: 出荷番号による照合

処理時間を短縮するには、検索条件を指定して、入力した情報を基に請求書が検索されるようにします。たとえば、[請求書参照] フィールドに請求書番号を入力した場合は、[一時変更タイプ] フィールドに「1」を

入力すると、請求書番号のみを基に請求書が検索され、処理オプションの [照合優先順位] 処理オプションの指定は無視されます。

## 入力タイプ コードを使った入金または手形と請求書の消込

このセクションでは、請求書に対して消し込む未充当入金およびクレジット メモの概要と以下の方法について説明します。

- 入力タイプ コードを使った入金または手形と請求書の消込
- 未充当入金と請求書の消込
- クレジット メモと請求書の消込

### 請求書に対して消し込む未充当入金について

未充当の入金または手形を入力した後、使用可能なあらゆる入力タイプ コードを使って適切な請求書（複数可）と消し込むことができます。未充当の支払と請求書を消し込むには、まず未充当の支払を選択してから、未決済請求書レコードを表示します。[フォーム] メニューの [ロード] や [選択] を使って未充当入金と未決済請求書を同時に表示することはできません。

請求書に対して未充当入金を完全に消し込むと、支払が消し込まれた各請求書に対して次の処理が実行されます。

- 入金消込時に未充当入金が転記される場合、バッチ制御テーブル (F0011) にバッチ タイプ RB (入金の場合) または DB (手形の場合) のバッチ レコードが新規に作成されます。
- F03B11 テーブルの RU 請求書伝票の支払状況が “P” に更新され支払済みになります。
- 請求書の全額が入金された場合、F03B11 テーブルの RI 請求書伝票は、支払状況が “P” に更新され、支払済みになります。
- F03B14 テーブルに RC 請求書伝票が作成されます。

未充当入金を転記する前に全額を請求書と消し込むと、F03B11 および F03B14 テーブルから未充当入金レコード (伝票タイプ RU) が削除されます。

請求書との消込を行う前に未充当入金を転記したかどうかにかかわらず、入金を請求書と消し込んだ後には入金を転記して、総勘定元帳の適切な勘定科目を更新する必要があります。

### 請求書に対して消し込むクレジット メモについて

顧客に対して未払のクレジット メモがある場合、入金入力プログラム (P03B102) または手形入力プログラム (P03B602) を使って未決済請求書との消込を行うことができます。実際に支払は発生しないため、[入金額] または [手形金額] フィールドには「0」と入力します。ロード、選択、または送金機能を使ってクレジット メモと請求書を表示し、該当する入力タイプ コードを使ってクレジット メモを請求書に対して消し込みます。クレジット メモで請求書の全額を支払えない場合、請求書との差額を未決済のままとするか、または差額に対する少額消込、再請求、損金レコードを作成することができます。

請求書に対してクレジット メモを完全に消し込むと、次の処理が行われます。

- F03B11 テーブルの RM クレジット メモ伝票は、支払状況が “P” に更新され、支払済みになります。
- 請求書の全額が入金された場合、F03B11 テーブルの RI 請求書伝票は、支払状況が “P” に更新され、支払済みになります。



- F03B13 テーブルに金額ゼロのレコードが作成されます。
- F03B14 テーブルにクレジット メモと請求書の両方の RS 入金伝票が作成されます。

クレジット メモを請求書に対して消し込んだら、そのバッチを転記して総勘定元帳を更新する必要があります。

#### 関連項目:

第 9 章、「入金処理」、「入金の転記について」、268ページ

第 12 章、「受取手形の処理」、「手形の承認と転記について」、378ページ

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 次の AAI 項目に、該当する割引勘定が指定されていることを確認します。
  - RKD (割引実施額)
  - RCxxxx (xxxx は再請求売掛金勘定の再請求元帳クラス)
  - RAxx (xx は少額消込理由コード)
  - RN (損金仮勘定)
- 理由コードを指定するために必要な次の UDC テーブルが設定されていることを確認します。
  - 割引理由コード (00/DE)
  - 再請求理由コード (03B/CB)
  - 少額消込理由コード (03B/RC)
  - 損金理由コード (03B/CR)
- 割引、再請求、少額消込、および損金の処理オプション、または使用する入力タイプ コードの処理オプションが正しく設定されていることを確認します。

## 入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入金入力]	W03B102E	[入金処理] (G03B12)、[入金入力] [入金照会] フォームで、[追加] をクリックします。 または、[入金照会] フォームで [未充当] オプションを選択して [検索] をクリックし、入金を選択します。	入力タイプコードを使った入金と請求書の消込、未充当入金と請求書の消込、またはクレジットメモと請求書の消込を行います。
[手形入力]	W03B602B	[手形日次処理] メニュー (G03B161) から [手形入力 (自社)] または [手形入力 (顧客)] を選択します。 [手形の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	入力タイプコードを使った手形と請求書の消込、またはクレジットメモと請求書の消込を行います。

## 入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込

[入金入力] フォームまたは [手形入力] フォームにアクセスします。

入金または手形と請求書を消し込むには、次の手順に従います。

1. [入金入力] または [手形入力] で、未充当の入金または手形を入力するステップを実行します。
2. 顧客の未決済請求書を表示するステップを実行します。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「顧客の全ての未決済請求書のロード」、244 ページ

3. 詳細グリッドで、[入力タイプ] フィールドに、使用するプログラムに該当する入力タイプコードを入力します。
4. 必要に応じて、[入金額]、[備考]、[割引実施額]、[少額消込額]、[再請求金額]、および [損金金額] のフィールドの値を上書きします。
5. 入力した入力タイプコードに応じて、理由コードを入力する必要があります。

入力タイプコードが 11 または 16 の場合、CB CD (再請求理由コード) フィールドに入力します。

入力タイプコードが 15 の場合、WO CD (少額消込理由コード) フィールドに入力します。

入力タイプコードが 17 の場合、DD CD (損金理由コード) フィールドに入力します。

注: ブランクは、ユーザー定義コードで設定されていても有効な値として受け入れられません。処理オプションの設定によっては、理由コードは自動的に入力されます。

6. (省略可) 入力タイプコードが 11 または 16 の場合、[再請求元帳クラス] フィールドに入力して、再請求を別の売掛金勘定に計上することができます。
7. フォームの最下部にある [充当済み金額] および [未充当金額] フィールドに正しい情報が表示されていることを確認します。

請求書に対して入金を完全に消し込んだ場合は、入力フォームの見出しに表示される入金額と保留金額が等しくなります。

8. [OK] をクリックします。

#### 関連項目:

第 9 章、「入金処理」、「入金の転記について」、268ページ

第 12 章、「受取手形の処理」、「手形の承認と転記について」、378ページ

## 未充当入金と請求書の消込

[入金照会] フォームで未充当入金を選択して、[入金入力] フォームにアクセスします。

未充当入金と請求書を消し込むには、次の手順に従います。

1. [入金入力] で、顧客の未決済請求書を表示するステップを実行します。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「顧客の全ての未決済請求書のロード」、244ページ

2. 見出し域で、[元帳日付] フィールドに値を入力します。

---

注: 割り当てる元帳日付によって、F03B13 テーブルの未充当入金レコードの元帳日付が更新されることはありません。F03B14 テーブルに作成されるレコードの元帳日付が請求書の支払に使用されます。

---

3. 詳細グリッドで、[入力タイプ] フィールドに該当するコードを入力します。
4. 必要に応じて、[入金額]、[割引実施額]、[備考]、[少額消込額]、[再請求金額]、および[損金金額]のフィールドの値を上書きします。
5. フォームの最下部にある[充当済み金額] および[未充当金額] フィールドに正しい情報が表示されていることを確認します。

請求書に対して入金を完全に消し込んだ場合、保留金額は入金見出しに表示されている入金額と等しくなります。

6. [OK] をクリックします。

## クレジット メモと請求書の消込

クレジット メモと請求書を消し込む手順は、入金入力プログラムと手形入力プログラムのどちらを使って同じです。

[入金入力] フォームまたは[手形入力] フォームにアクセスします。

クレジット メモと請求書を消し込むには、次の手順に従います。

1. 未充当入金または未充当手形を入力するステップを実行します。ただし、[入金額] または[手形金額] フィールドはブランクのままにします。
2. [入金入力] または[手形入力] で、顧客の未決済請求書を表示するステップを実行します。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「未決済請求書の検索」、242ページ

3. 請求書に対してクレジット メモを完全に消し込むには、クレジット メモの横の[入力タイプ] フィールドに「10」を入力します。
4. 該当するコードを使って、請求書の横にある[入力タイプ] フィールドに値を入力します。

クレジット メモで請求書の全額を支払えない場合、請求書の差額を未決済のままとするか、または入力タイプ コードを使って少額消込、再請求、損金レコードを作成することができます。

5. [OK] をクリックします。

## 総勘定元帳入金の処理

このセクションでは、総勘定元帳入金の概要と以下の方法について説明します。

- 総勘定元帳入金の入力
- 総勘定元帳入金による未充当入金の作成

### 関連項目:

第 9 章、「入金処理」、「総勘定元帳入金（入力タイプ (TI) コード 4) の入力」、265 ページ

## 総勘定元帳入金について

保険会社からの返金やその他払い戻しなど、販売先の顧客とは関連しない入金があった場合、入金入力プログラム (P03B102) またはスピード入金入力プログラム (P03B0001) で総勘定元帳入金オプションを使って入力することができます。総勘定元帳入金を入力すると、該当する貸方科目に仕訳が作成され、入金額が銀行預金残高に反映されます。

総勘定元帳入金を入力したら、その入金を転記して銀行勘定と元帳勘定を更新する必要があります。

## 総勘定元帳入金の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入金照会]	W03B102A	[入金処理] (G03B12)、[入金入力]	既存の入金を検索し、選択します。
[入金入力]	W03B102E	[入金照会] フォームで、[追加] をクリックします。	標準の未充当入金を入力します。
[総勘定元帳入金の入力]	W03B0001C	[入金入力] で、[フォーム] メニューから [総勘定元帳] を選択します。	顧客の売掛金勘定とは関連しない総勘定元帳入金を入力します。

## 総勘定元帳入金の入力

[入金入力] フォームにアクセスします。

総勘定元帳入金を入力するには、次の手順に従います。

1. [入金入力] で、未充当入金を入力するステップを実行します。

注: 総勘定元帳入金を入力したら、[顧客] または [支払人] フィールドに値を入力する必要はありません。

2. [フォーム] メニューから [総勘定元帳] を選択します。
3. [総勘定元帳入金の入力] で、各勘定科目について [勘定科目No.] および [入金額] フィールドに値を入力します。  
複数のグリッド行を使って、必要な数の勘定科目に入金を計上できます。各勘定科目の合計金額は、入金額と等しくする必要があります。
4. [OK] をクリックして [入金入力] フォームに戻ります。

5. フォームの最下部にある [充当済み金額] および [未充当金額] フィールドに正しい情報が表示されていることを確認します。

請求書に対して入金を完全に消し込んだ場合、入金見出しの入金額と保留金額は等しくなります。[未充当金額] フィールドの金額の未充当入金レコードが作成されます。

---

注: [未充当金額] フィールドに金額がある場合は、[OK] をクリックする前に、フォームの [支払人] および [顧客] フィールドに値を入力する必要があります。この値を入力しないと、エラーが表示されます。

---

6. [入金入力] で、[OK] をクリックします。

## 総勘定元帳入金による未充当入金の作成

[入金照会] フォームにアクセスします。

総勘定元帳入金から未充当入金を作成するには、次の手順に従います。

[入金照会] フォームで総勘定元帳入金を検索して選択します。

1. [入金入力] で、[フォーム] メニューから [総勘定元帳] を選択します。
2. [総勘定元帳入金の入力] で、入金の勘定科目情報が表示されているグリッド行を削除します。  
入金が転記済みの場合は、[無効日付] と [無効理由] フィールドに値を入力するようプロンプトが表示されます。
3. [OK] をクリックして [入金入力] フォームに戻ります。
4. 顧客番号と支払人番号を入力し、[OK] をクリックします。  
勘定科目情報がない入金は未充当入金となるため、顧客番号または支払人番号を指定する必要があります。

---

## 単独レコード入力

このセクションでは、単独レコードの概要と以下の方法について説明します。

- 請求書消込を伴う単独取引の入力
- 請求書消込を伴わない単独取引の入力

### 関連項目:

[第 9 章、「入金処理」、「入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込」、248ページ](#)

[第 15 章、「損金処理」、469ページ](#)

## 単独レコードについて

単独レコードは、既知の請求書に関連付けられていない少額消込や再請求、損金です。顧客から複数の請求書に対してまとめて入金された金額が請求書合計と合わない場合には、単独レコードを作成します。また、未充当入金を複数の請求書と消し込んだ際に合計が合わない場合にも、この単独レコード作成の機能を使うことができます。これらの場合には、支払と請求書の消込が自動的に行われますが、不足分は特定の請求書を指定しないで記録されます。

単独レコード作成機能は、請求書の消込を行わない場合にも使用できます。たとえば、損金を作成したり、少額の重複支払の少額消込を行うことができます。さらに、未充当入金を複数の顧客に配賦するために、請求書との消込を行わずに単独の再請求レコードを作成することが可能です。請求書との消込を行わずに単独レコードを作成する場合は、金額をマイナスで入力する必要があります。プラスの金額を入力すると、指定した金額の 2 倍の額の未充当入金を作成されます。

可能な限り請求書の消込と組み合わせて単独レコードを作成することをお勧めします。

入金または手形の入力プログラムで単独取引を作成するには、次の入力タイプコードを使用します。

入力タイプコード	用途
25 (単独少額消込)	送料にかかる消費税分など、特定の請求書と関連しない入金不足分を少額消込処理する場合に使用します。
26 (単独再請求)	特定の請求書と関連しない未払分を再請求する場合に使用します。
27 (単独損金)	特定の請求書と関連しない金額を損金として処理する場合に使用します。

### 単独少額消込 (入力タイプコード 25)

単独少額消込は、特定の請求書に関連付けられない金額の少額消込です。たとえば、顧客から複数の請求書に対する支払または手形を受け取った際、どの請求書に対する支払が足りなかったかが顧客によって示されていない場合に、この金額を単独で少額消込として処理することができます。また、どの請求書とも関連しない少額消込を処理するために単独レコード作成機能を使うこともできます。たとえば、少額の重複支払を受け取りその金額を消し込む場合に単独少額消込を使用します。

単独少額消込 (入力タイプコード 25) を作成すると、少額消込の金額が顧客の未決済残高から差し引かれます。

### 単独再請求 (入力タイプコード 26)

問題のある金額に特定の請求書が関連付けられていない場合、その金額の再請求を単独で作成することができます。この方法を使うと、問題のある金額について顧客に再請求することができます。通常、支払額が請求書の合計額に満たない場合に、不足分を再請求するときにこの方法を使います。このような場合は、請求書との消込を行って単独再請求を入力します。顧客の未決済残高が不足額分だけ増額されます。

請求書との消込を行わずに単独再請求を入力するのは、未充当の入金や手形を複数の顧客に配賦する場合です。請求書との消込を行わずに単独再請求を作成すると、指定した支払人に対して F03B13 テーブルにレコードが作成されると同時に、F03B14 と F03B11 テーブルに各顧客に対する再請求金額 (マイナス) の関連レコードが作成されます。この処理は、各顧客に対して未充当入金を作成する処理と類似しています。

### 例: 単独再請求を使った複数の顧客への未決済入金の配賦

請求書との消込を行わずに 1 件の支払を複数の顧客に配賦する場合は、単独再請求機能を使用します。

たとえば、支払人 3001 から 15,000 の入金を受け取り、その入金を次のように配賦するとします。

- 顧客 3004 に 5,000
- 顧客 3333 に 5,000
- 顧客 3334 に 5,000

単独再請求機能を使って、振り分ける顧客と金額を指定します。支払金額はマイナスで入力してください。全額を顧客に振り分けるまで処理を繰り返します。

次のレコードが作成されます。

テーブル	伝票タイプ	総額	顧客番号	支払 ID
F03B13	なし	15,000	3001	521
F03B11	RB	-5,000	3004	521
F03B11	RB	-5,000	3333	521
F03B11	RB	-5,000	3334	521
F03B14	RC 注: これは照合伝票 タイプ (DCTM) です。	-5,000	3004	521
F03B14	RC 注: これは照合伝票 タイプ (DCTM) です。	-5,000	3333	521
F03B14	RC 注: これは照合伝票 タイプ (DCTM) です。	-5,000	3334	521

支払 ID を使って、F03B11 と F03B14 のレコードから元の F03B13 の支払レコードに監査証跡が記録されます。

後で、マイナスの再請求レコードを対象の請求書に消し込む必要があります。

### 単独損金（入力タイプ コード 27）

支払金額が支払対象の請求書の金額と一致しない場合、単独損金を作成して、支払不足分の原因調査と解決を後で行うようにすることができます。また、どの請求書にも関連付けられていない損金に対して、単独損金機能を使用することもできます。たとえば、少額の重複する支払があり、どのように処理するか不明な場合にこの機能を使用できます。

単独損金（入力タイプ コード 27）を入力すると、入金不足の金額が顧客の未決済残高から差し引かれます。

損金を転記すると、問題解決に使用するレコードが損金管理テーブル (F03B40) に作成されます。

## 事前設定

単独少額消込を作成するには、事前に以下の作業を実行しておく必要があります。

- 処理オプションで、手動少額消込の限度額が単独レコードの入力を受け入れるのに十分な金額に設定されていることを確認します。
- 各少額消込理由コードに使用する勘定科目が AAI 項目 RAxx (xx は少額消込理由コード) に設定されていることを確認します。
- 処理オプションの [照合] タブで、少額消込が有効に設定されていることを確認します。

- 少額消込理由コードとして使用する値が、ユーザー定義コード 03B/RC に設定されていることを確認します。

単独再請求を作成するには、事前に以下の作業を実行しておく必要があります。

- 再請求売掛金勘定に使う勘定科目が AAI 項目 RCxxxx (xxxx は再請求元帳クラス) に設定されていることを確認します。
- 処理オプションの [再請求] タブが設定されていることを確認します。
- 再請求理由コードに使用する値が、ユーザー定義コード 03B/CB に設定されていることを確認します。

単独損金を作成するには、事前に以下の作業を実行しておく必要があります。

- 損金仮勘定として使用する勘定科目が AAI 項目 RN に設定されていることを確認します。
- 損金理由コードに使用する値が、ユーザー定義コード 03B/CR に設定されていることを確認します。

## 単独レコードの入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入金入力]	W03B102E	[入金処理] (G03B12)、[入金入力] [入金照会] フォームで、[追加] をクリックします。	未充当入金を入力します。
[手形入力]	W03B602B	[手形日次処理] メニュー (G03B161) から [手形入力 (自社)] または [手形入力 (顧客)] を選択します。 [手形の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	未充当手形を入力します。
[単独取引レコードの作成]	W03B102G	[入金入力] または [手形入力] で、[フォーム] メニューの [単独] から [少額消込]、[再請求]、または [損金] を選択します。	単独取引レコードを入力します。 このフォームに含まれるフィールドは、[少額消込]、[再請求]、または [損金] のいずれを選択したかによって異なります。

## 請求書照合を伴う単独取引の入力

請求書照合を伴う単独少額消込を入力する手順は、入金入力プログラム (P03B102) と手形入力プログラムのどちらを使っても同じです。ここでは [入金入力] フォームのみを使って手順を説明します。

[入金入力] フォーム (または [手形入力] フォーム) にアクセスします。

請求書照合を伴う単独取引の入力するには、次の手順に従います。

1. 未充当入金または未充当手形を入力するステップを実行します。
2. [入金入力] (または [手形入力]) で、顧客の未決済請求書を表示するステップを実行します。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「顧客の全ての未決済請求書のロード」、244 ページ

3. 詳細グリッドで、各請求書の [入力タイプ] フィールドに該当する値を入力します。



4. [フォーム] メニューの [単独] から [少額消込]、[再請求]、または [損金] を選択します。  
[単独取引レコードの作成] フォームが表示されます。
5. 単独少額消込の場合、[少額消込額] および [少額消込理由コード] フィールドに値を入力します。
6. 単独再請求の場合、[再請求元帳クラス]、[再請求額]、および [再請求理由コード] フィールドに値を入力します。
7. 単独損金の場合、[損金額] および [損金理由コード] フィールドに値を入力します。
8. [OK] をクリックします。  
[入金入力] (または [手形入力] フォーム) に新しいグリッド行が追加され、[入金額] フィールドには指定した単独取引金額が表示され、[入力タイプ] フィールドには該当する入力タイプが割り当てられます。
9. フォームの最下部にある [保留金額] および [未充当金額] フィールドに正しい情報が表示されていることを確認します。  
請求書に対して支払を完全に消し込んだ場合は、入力フォームの見出しに表示される入金額と保留金額が等しくなります。
10. [OK] をクリックします。

#### [再請求元帳クラス]

再請求の転記時に使用する売掛金勘定のコードを入力します。再請求を別の売掛金勘定に計上しない場合、このフィールドはブランクのままにすることができます。

## 請求書照合を伴わない単独取引の入力

請求書照合を伴わない単独取引を入力する手順は、入金入力プログラムと手形入力プログラムのどちらを使っても同じです。ここでは [入金入力] フォームのみを使って手順を説明します。

[入金入力] フォーム (または [手形入力] フォーム) にアクセスします。

請求書照合を伴わない単独取引を作成するには、次の手順に従います。

1. [入金入力] (または [手形入力]) で、未充当の入金または手形を入力するステップを実行します。
2. [フォーム] メニューの [単独] から [少額消込]、[再請求]、または [損金] を選択します。
3. [単独取引レコードの作成] で、[顧客] および [顧客参照] フィールドに値を入力します。
4. 単独少額消込の場合、[少額消込額] および [少額消込理由コード] フィールドに値を入力します。
5. 単独再請求の場合、[再請求元帳クラス]、[再請求額]、および [再請求理由コード] フィールドに値を入力します。
6. 単独損金の場合、[損金額] および [損金理由コード] フィールドに値を入力します。
7. [OK] をクリックします。

[入金入力] フォームに新しいグリッド行が追加され、[入金額] フィールドには指定した単独取引金額 (プラスの金額) が表示され、[入力タイプ] フィールドには該当する入力タイプが割り当てられます。

**注:** 未充当入金を複数の顧客に配賦するために単独再請求を作成する場合は、金額を配賦する各顧客に対してステップ 2、3、5 を繰り返します。

8. フォームの最下部にある [保留金額] および [未充当金額] フィールドに正しい情報が表示されていることを確認します。  
請求書に対して支払を完全に消し込んだ場合は、入力フォームの見出しに表示される入金額と保留金額が等しくなります。

## 9. [OK] をクリックします。

[顧客]	未充当入金を複数の顧客に配賦するために単独再請求を作成する場合は、未充当入金を配賦する顧客番号を入力します。F03B11 テーブルには該当する顧客のマイナスのレコード (RB) が作成され、後で検索して請求書と消し込むことができます。
[少額消込額]	請求書照合を伴わない単独少額消込の場合、少額消込額にはマイナスの金額を入力する必要があります。プラスの金額を入力すると、指定した金額の 2 倍の額の未充当レコードが作成されます。
[少額消込理由コード]	ブランクは、ユーザー定義コードで設定されていても、有効な値としては認識されません。このフィールドをブランクにしても、処理オプションで指定したデフォルトの少額消込理由コードは使用されません。
[再請求額]	最初の顧客に配賦する金額をマイナスで入力します。マイナスの金額を入力しないと、2 倍の金額の未充当レコードが作成されます。
[損金額]	請求書照合を伴わない単独損金の場合、損金額はマイナスで入力する必要があります。
[損金理由コード]	ブランクは、ユーザー定義コードで設定されていても有効な値としては認識されません。このフィールドをブランクにすると、処理オプションで指定したデフォルト損金理由コードは使用されません。
[未充当金額]	このフィールドの金額の未充当レコードが作成されます。

---

## スピード入金入力

このセクションでは、スピード入金の概要と以下の方法について説明します。

- スピード入金入力 (P03B0001) の処理オプションの設定
- 未充当入金 (入力タイプ (TI) コード 1) の入力
- 繰越残高入金 (入力タイプ コード 2) の入力
- 仮入金 (入力タイプ コード 3) の入力
- 仮入金の顧客への割り当て
- 総勘定元帳入金 (入力タイプ コード 4) の入力

### スピード入金について

単純な入金を数多く入力するには、標準入金入力の代わりにスピード入金入力プログラム (P03B0001) を使うことができます。スピード入金入力プログラムを使用する場合、入金と請求書を照合したり、特定の顧客に対して入金を消し込む必要はありません。入金について最小限の情報を入力することにより、総勘定元帳に入金をすばやく反映させることができます。

スピード入金を入力すると、次のテーブルにレコードが作成されます。

- F03B13
- F03B14

スピード入金入力では、入金を検討したり改訂することはできません。標準の入金入力プログラムを使用してください。

スピード入金入力を使って入金を入力したら、総勘定元帳に転記して適切な銀行勘定と売掛金勘定を更新する必要があります。

### 入力タイプ (TI) コード 1 (未充当入金)

特定の 1 件または複数の請求書に対して入金を照合せずに、顧客の売掛金残高に対して入金を消し込むことができます。このコードを使用すると、すばやく顧客の売掛金残高を更新して総勘定元帳に入金を反映させ、後でその入金と請求書の照合を行うことができます。

### 入力タイプ (TI) コード 2 (繰越残高入金)

繰越残高方式を使用すると、請求書との消込を開始する日付を指定することができます。入金と請求書は、古い順に消込が行われます。入金と請求の消込は、全入金額が消し込まれるまで行われます。入金額が請求書の全額に満たない場合、その入金は部分入金として処理されます。入金額が請求書の金額より大きい場合は、その差額分の未充当入金が自動的に作成されます。後で同じ顧客に対して新しい請求書を作成するときに、その未充当入金を消し込むことができます。また、請求書番号を指定して、その請求書の全ての支払項目に対して入金を自動的に消し込むこともできます。

処理オプションを設定して、繰越残高入金を入力する際に割引が適用されるようにすることができます。入金入力時に指定した元帳日付と割引期日と比較して、割引を行うかどうかが決まります。請求書の全額が支払われた場合のみ、割引期日より前の入金に対して割引が行われます。スピード入金入力プログラム (P03B0001) では割引額を変更することができません。割引額を変更するには、入金入力プログラム (P03B102) を使用してください。

### 入力タイプ (TI) コード 3 (仮入金)

受け取った支払の支払人または顧客が見つからない場合は、仮入金 (入力タイプ コード 3) を入力して収益をすばやく認識し、顧客の売掛金勘定と入金の消込は後で行うことができます。仮入金を入力すると、直ちに入金を計上してキャッシュフローを向上し、顧客への売掛金および請求書との消込は後で行うことができます。この方法は、入金を入力して銀行勘定残高を更新する担当者と、入金と顧客または請求書の照合を行う担当者が異なる場合に便利です。

仮入金を入力すると、F03B13 と F03B14 テーブルの両方にレコードが作成されます。

仮入金を入力したら、転記して銀行勘定科目の残高を更新する必要があります。仮入金を転記すると、AAI 項目 RCLC で指定した仮勘定に入金の合計金額が計上されます。その入金を顧客への売掛金に対して消し込むと、仮勘定は逆仕訳され、適切な売掛金勘定が更新されます。

---

**注:** 顧客への売掛金に対して消込を行う前に仮入金を転記しないと、F03B14 テーブルから仮入金レコードが削除されます。

---

### 入力タイプ (TI) コード 4 (総勘定元帳入金)

顧客への売掛金とは関係ない払戻金など、その他の入金があった場合は、総勘定元帳入金 (入力タイプ コード 4) を使ってその入金を入力することができます。この方法では、該当する勘定科目を貸方に計上し、入金額を銀行預金残高に反映することができます。

総勘定元帳入金を入力する場合、指定した勘定科目 (複数可) に記録することができます。総勘定元帳入金を入力する場合、入金を選択して複数の勘定科目に振り替えることができます。たとえば、1 件の払戻金を異なる収益勘定や現金勘定に計上することができます。仕訳の合計金額と入金合計額が等しくなるようにする必要があります。

総勘定元帳入金を入力したら、転記して勘定情報を更新する必要があります。

## 入金の削除

詳細グリッドの各行は、それぞれ個別の入金を示します。[スピード入金入力] フォームで、[OK] をクリックする前に入金を削除できます。削除する場合は、入金を選択して [削除] をクリックします。この方法を使用すると、各カラムの情報をそれぞれ削除しなくても、行ごと一度に削除できます。

## テキストやオブジェクトの添付

入金を入力した後、テキストや OLE オブジェクト、スキャナで読み取った受領書などのイメージを添付できます。たとえば、入金内容の変更や無効についてのメモやメッセージを添付することができます。添付物の追加は、入金レベルでのみ行えます。

テキストまたはオブジェクトを添付するには、[スピード入金入力] フォームで入金を選択します。次に、[ロー] メニューから [添付] を選択します。

## 事前設定

仮入金（入力タイプコード 3）を入力する前に、仮勘定の AAI 項目 RCLC（仮入金）を設定してください。

## スピード入金入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[スピード入金入力]	W03B0001A	[入金処理] (G03B12)、[スピード入金入力]	多数の単純な入金を入力します。
[入金照会]	W03B102A	[入金処理] (G03B12)、[入金入力]	仮入金を検索します。
[入金入力]	W03B102E	[入金照会] フォームで、仮入金を選択して [選択] をクリックします。	仮入金を顧客に割り当てます。
[総勘定元帳入金の入力]	W03B0001C	[スピード入金入力] フォームで、[ロー] メニューから [入金の分割] を選択します。	総勘定元帳入金を複数の勘定科目に配賦します。

## スピード入金入力 (P03B0001) の処理オプションの設定

処理オプションを選択して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 表示

複数の入金を続けて入力する場合に、前のレコードに入力した値をそのまま表示するかどうかを指定します。

#### 1. 会社

入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した会社番号をそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 会社番号を保持しない。

1: 会社番号を保持する。

#### 2. 銀行勘定

入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した銀行勘定科目をそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 銀行勘定科目を保持しない。

- 1: 銀行勘定科目を保持する。
- 3. 入金日付** 入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した入金日付をそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 入金日付を保持しない。  
1: 入金日付を保持する。
- 4. 備考** 入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した備考をそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 備考を保持しない。  
1: 備考を保持する。
- 5. 元帳日付** 入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した元帳日付をそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 元帳日付を保持しない。  
1: 元帳日付を保持する。
- 6. 決済日付/満期日** 入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した決済日付をそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 決済日付を保持しない。  
1: 決済日付を保持する。
- 7. 通貨** 入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した通貨をそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 通貨を保持しない。  
1: 通貨を保持する。
- 8. 為替レート** 入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した為替レートをそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 為替レートを保持しない。  
1: 為替レートを保持する。
- 9. 通貨モード** 入金を入力した後、[スピード入金入力] フォームで入力した通貨モード([外貨] チェック ボックスで制御) をそのまま表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 通貨モードを保持しない。  
1: 通貨モードを保持する。

## デフォルト

各フィールドのデフォルト値を指定します。

- 1. 入力タイプ コード** [スピード入金入力] フォームに表示するデフォルトの入力タイプ コードを指定します。有効値は以下のとおりです。
- 1: 未充当/入金
  - 2: 繰越残高入金
  - 3: 仮入金

## 2. 未充当入金のデフォルト元帳クラス

### 4: 総勘定元帳入金

未充当入金を入力する際に、顧客レコード (F03012) の元帳クラスの値を [未充当元帳クラス] フィールドのデフォルト値として使用するかどうかを指定します。売掛金勘定は使用する元帳クラスに基づいて検索されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 顧客レコードの値を使用しない。UC がデフォルト値として使用されます。

1: 顧客レコードの元帳クラスの値を使用する。顧客レコードに元帳クラスが設定されていない場合は、UC がデフォルト値として使用されます。

## 検証

入金番号を必須にするかどうかを指定します。

### 1. 入金番号

入金を入力する際に、入金番号を必須にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入金番号を必須としない。

1: 入金番号を必須とする。

## 処理

状況が承認済み (A) でない場合に請求書を支払対象にできるかどうか、入金転記時に取引明細テーブル (F0911) に集計レコードと明細レコードのどちらを作成するかを指定します。

### 1. 承認済み請求書のみ支払う

入金を全ての請求書に対して消込可能にするか、承認済みの請求書 (支払状況が A) に対してのみ消込可能にするかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 全ての請求書を支払対象とする。

1: 承認済み請求書のみを支払対象とする。

### 2. 仕訳の形式

入金バッチに対して 1 件の集計仕訳を作成するか、入金ごとに 1 件の仕訳を作成するかを指定します。この処理オプションで設定した値は、F03B13 テーブルの売掛金転記フィールド (ISTR) に割り当てられます。転記プログラムではこの値を使って仕訳レコードが作成されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 集計仕訳を作成する。転記する入金バッチごとに、伝票タイプ RK の仕訳が 1 件作成されます。仕訳の伝票番号には入金のバッチ番号が割り当てられます。この方法を使用するためには、次のことを確認してください。

- 売掛管理固定情報の売掛金集計方式が "B" (バッチ別に集計) に設定されている。
- バッチに外貨建て取引が含まれていない。

上の 2 つの条件を満たしていない場合、仕訳は明細形式で作成されます。

1: 明細仕訳を作成する。バッチに含まれる入金ごとに、伝票タイプ RC の仕訳が作成されます。入金仕訳の伝票番号は、仕訳入力 (システム 09) の自動採番によって自動的に割り当てられます。

監査証跡を記録するために、入金明細テーブル (F03B14) の次のフィールドは仕訳の情報で更新されます。

- JE 伝票タイプ (RZDCTG)
- JE 伝票番号 (RZDOCG)
- JE 伝票会社 (RZKCOG)

## 自動少額消込

入金不足と過入金の限度額、および関連する理由コードを指定します。

1. **最高入金不足額** 入金不足分を少額消込として処理できる限度額を指定します。入金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、入金消込時に差額の少額消込が自動的に行われます。
2. **入金不足理由コード** 入金不足分を自動的に消し込む場合のデフォルトの理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。指定する少額消込理由コードに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。
3. **最高過入金金額** 過入金分を少額消込として処理できる最高金額を指定します。入金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、入金消込時に差額の少額消込が自動的に行われます。  
マイナスの金額を入力してください。
4. **過入金理由コード** 過入金分を自動的に消し込む場合のデフォルトの理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。指定する少額消込理由コードに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定する必要があります。

## 割引

デフォルトの割引理由コードに加え、全ての割引を処理するかまたは実施された割引のみを処理するかを指定します。

1. **割引の許可** 入金の消込時に割引可能額の処理を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 許可しない。割引可能額がある場合、消込処理では無視されます。  
1: 許可する。割引可能額がある場合、消込処理で割引が処理されます。
2. **発生済み割引のみの許可** 入金の消込時に割引実施額のみを処理するかどうかを指定します。[スピード入金入力] フォームで入力した元帳日付が請求書の割引期日以前である場合に、割引は実施されます。有効値は以下のとおりです。  
空白: 全ての割引を許可する。実施の有無にかかわらず、全ての割引可能額が処理されます。  
1: 実施された割引のみを許可する。割引実施額のみが処理されます。
3. **割引理由コード** 割引を実施する際に使用するデフォルトの割引理由コードを指定します。ユーザー定義コード 00/DE にある割引理由コードを入力してください。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxxx (xxx は理由コード) も設定する必要があります。

## 未充当入金（入力タイプ (TI) コード 1) の入力

スピード入金入力プログラム (P03B0001) では、標準の入金入力プログラム (P03B102) と全く同じように未充当入金レコードが作成されます。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「未充当入金の入力」、240ページ

[スピード入金入力] フォームにアクセスします。

**スピード入金入力 - スピード入金入力**

削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

会社 ★ 00077 Canadian Company バッチNo. 7462

銀行勘定科目 77.1110.BEAR 元帳日付 ★ 2005/06/30

備考 入金日付 2005/06/06

入力タイプ 1 未充当/仮受金 決済日付

通貨 CAD 為替レート 基本 CAD 外貨

**レコード 1-2** グリッドのカスタマイズ

TI	支払人名	顧客住所	入金No.	入金額	入金日付	支払人住所
1		3333	7896	500.00	2005/06/06	

[スピード入金入力] フォーム

未充当入金を入力するには、次の手順に従います。

1. [スピード入金入力] で、見出し域にある [会社]、[銀行勘定科目]、[入力タイプ]、[元帳日付]、[入金日付]、[備考] (任意) の各フィールドに値を入力します。
2. 詳細グリッドの [支払人住所]、[顧客住所]、[入金No.]、および [入金額] フィールドに値を入力します。
3. 詳細グリッドで、必要に応じて [元帳クラス] フィールドの値を変更します。
4. [OK] をクリックします。

## 繰越残高入金（入力タイプ (TI) コード 2) の入力

[スピード入金入力] フォームにアクセスします。

繰越残高入金を入力するには、次の手順に従います。

1. [スピード入金入力] で、見出し域にある [会社]、[銀行勘定科目]、[入力タイプ]、[元帳日付]、[入金日付]、[備考] フィールドに値を入力します。
2. 詳細グリッドの [支払人住所]、[顧客住所]、[入金No.]、および [入金額] フィールドに値を入力します。
3. [繰越残高開始日付] か [伝票No.] フィールド、またはその両方に値を入力します。
4. [OK] をクリックします。

**[繰越残高開始日付]**

残高繰越方式 (入力タイプ コード 2) を使って支払う請求書の自動選択で使用される日付を入力します。指定した顧客の請求書のうち、支払期日が指定した日付以降の請求書が支払対象となります。このフィー



ルドをブランクにした場合、指定された顧客の最も古い未決済請求書と入金が消し込まれます。

**【伝票No.】**

入金を消し込む請求書番号を入力します。入金を入力した請求書番号の全ての支払項目に対して消し込まれます。

伝票番号を入力した場合、[繰越残高開始日付] フィールドに値を入力する必要はありません。ただし、支払期日までに支払う請求書の支払項目の数を制限する場合は、両方のフィールドに値を入力することができます。

## 仮入金（入力タイプ (TI) コード 3) の入力

[スピード入金入力] フォームにアクセスします。

仮入金を入力するには、次の手順に従います。

1. [スピード入金入力] で、見出し域にある [会社]、[銀行勘定科目]、[入力タイプ]、[元帳日付]、[入金日付]、[備考] フィールドに値を入力します。
2. 詳細グリッドの [入金No.] および [入金額] フィールドに値を入力し、[OK] をクリックします。

## 仮入金の顧客への割り当て

[仮入金] を選択して、[入金入力] フォームにアクセスします。

仮入金を顧客に割り当てるには、次の手順に従います。

1. [入金入力] で、[支払人] および [顧客] フィールドに値を入力します。
2. (省略可) [元帳日付] フィールドに値を入力します。
3. 支払う請求書がわかっている場合、未決済項目を表示して入金の消込を行うことができます。
4. [OK] をクリックします。

## 総勘定元帳入金（入力タイプ (TI) コード 4) の入力

[スピード入金入力] フォームにアクセスします。

総勘定元帳入金を入力するには、次の手順に従います。

1. [スピード入金入力] で、見出し域にある [会社]、[銀行勘定科目]、[入力タイプ]、[元帳日付]、[入金日付]、[備考] フィールドに値を入力します。
2. 詳細グリッドの [入金No.]、[入金額]、および [勘定科目コード] フィールドに値を入力します。
3. 入金を複数の勘定科目に計上するには、[ロー] メニューから [入金の分割] を選択します。
4. [総勘定元帳入金の入力] で、追加する各勘定科目について [勘定科目No.]、[入金額]、および [備考] フィールドに値を入力します。

---

**注:** 勘定科目の合計金額が入金額と一致しないと、エラー メッセージが表示されます。

---

5. [OK] をクリックします。
6. [スピード入金入力] で、[OK] をクリックします。

---

## 入金の改訂

このセクションでは、入金の改訂の概要と以下の方法について説明します。

### 入金の改訂について

入金とは、入力後に修正が必要になることがあります。たとえば、入金を間違った請求書や顧客に対して消し込んだり、間違った元帳日付を使った場合などには修正が必要です。転記状況や変更するデータによっては、入金を削除または無効にして入金を入力し直すことが必要になる場合もあります。

[一般会計固定情報] の [PBCO(過去期間)転記の許可] チェック ボックスがオフの場合、元帳日付が現行期間内の未転記の入金のみを改訂できます。

---

**注:** 売掛金勘定 AAI 項目 (RC) の設定によっては、未転記入金の建物を改訂しようとするエラーが発生することがあります。

未充当入金を入力すると、未充当元帳クラスを入力しない限り、デフォルト AAI 項目 RCUC を使って売掛金勘定が取り込まれます。未充当元帳クラスを入力すると、AAI 項目 RCxxxx (xxxx は元帳クラスの値) の勘定科目設定が使用されます。AAI にビジネスユニットが指定されていない場合は、未充当入金に入力された建物番号 (MCU2) がその勘定科目のビジネスユニットとして使用されます。AAI から取り込まれた勘定科目に基づいて、入金見出しテーブル (F03B13) の AID フィールドが更新されます。

未充当入金の建物番号を変更しても、AID の値が再度書き込まれることはありません。AAI の設定に基づいて、AID フィールドを別の勘定科目で更新する必要があると判断された場合は、エラー メッセージが表示されます。その場合は、その未充当入金を削除してから再度入力する必要があります。

---

### 未転記入金

入金が無転記の場合は、次のフィールドを改訂できます。

- [銀行勘定科目]
- [備考]
- [入金額]

入金額を改訂する場合は、詳細グリッドの支払額情報も改訂する必要があります。

- [支払手段]
- [決済日]
- [未充当元帳クラス]
- [入金参照]
- [賃貸契約]
- [建物]
- [区画]

---

**注:** [賃貸契約]、[建物]、および [区画] フィールドは、未充当入金で、不動産管理の入金入力プログラム (P15103) を使用した場合のみ改訂できます。

---

また、支払金額や入力タイプ コードの変更、請求書の支払項目の削除、別の支払請求書の選択を行うこともできます。

## 転記済み入金

入金を転記した後は、次のフィールドの情報のみを変更できます。

- [備考]
- [支払手段]
- [決済日]
- [入金参照]

入金を再度転記する必要はありません。

また、請求書の支払項目を無効にして、新しい支払請求書を指定することもできます。支払情報を改訂する場合は、入金を再転記する必要があります。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「入金の削除および無効化」、272 ページ

## 仮入金

仮入金の金額を変更する場合は、支払人と顧客を指定する必要があります。この情報を割り当てることのできない場合は、仮入金を削除するか無効にして、もう一度取引を入力してください。

## 入金の改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入金入力]	W03B102E	[入金処理] (G03B12)、[入金入力] [入金照会] で、改訂する入金を選択して [選択] をクリックします。	未転記入金を改訂します。 入金額を改訂する場合は、詳細グリッドの支払額情報も改訂する必要があります。
[追加情報]	W03B102I	[入金入力] フォームの [フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。	追加入金情報を改訂します。
[バッチの処理]	W0011A	[入金処理] メニュー (G03B12)、[入金仕訳の検討]	入金バッチを検索します。
[バッチ見出しの作成/改訂]	W0011D	[バッチの処理] フォームで、バッチを選択し、[ロー] メニューから [改訂] を選択します。	バッチの状況を改訂します。

## 未転記入金の改訂

[入金入力] フォームにアクセスします。

未転記入金を改訂するには、次の手順に従います。

1. [入金入力] で、[銀行勘定科目]、[備考]、または [入金額] フィールドの情報を改訂します。
2. これ以外の入金情報を改訂するには、[フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。
3. [追加情報] で、[支払手段]、[決済日]、[未充当元帳クラス]、[入金参照] フィールドの情報を改訂し、[OK] をクリックします。
4. [入金入力] で、支払対象の請求書の入金額と入力タイプコードを変更します。

5. 請求書の支払項目を削除するには、支払項目を選択して [削除] をクリックします。
6. 支払項目を追加するには、[フォーム] メニューの [ロード] または [選択] 機能を使用します。
7. フォームの最下部にある [保留金額] および [未充当金額] フィールドに正しい情報が表示されていることを確認します。

請求書に対して入金を完全に消し込んだ場合、保留金額は入金見出しで指定した入金額と等しくなります。[未充当金額] フィールドの金額の未充当入金レコードが作成されます。

---

注: [未充当入金] フィールドがマイナスの場合、[OK] をクリックするとエラー メッセージが表示されます。

---

8. [OK] をクリックします。

---

## 入金の承認および転記

このセクションでは、入金の転記と入金転記処理で作成される自動仕訳の概要、および以下の方法について説明します。

- 転記プログラムによる入金の転記
- 入力仕訳の検討プログラムによる入金の転記

### 入金の転記について

入金を入力したら、それを承認し、総勘定元帳に転記して、該当する勘定科目情報を更新する必要があります。会社の方針によっては、入金バッチを転記する前に管理者の承認を必要とすることもできます。バッチの検討および承認には、バッチ タイプにかかわらず同じ処理が実行されます。

入金を転記すると全ての仕訳が取引明細テーブル (F0911) に作成されるため、転記プログラムが中断された場合のみ貸借不一致エラーが発生します。転記プログラムが完了する前に中止された場合は、転記プログラムを再度実行して仕訳を削除した後、もう一度転記プログラムを実行して新しい仕訳を作成します。

---

注: [入金照会] フォームを閉じるまで、入金バッチ見出しの状況は “使用中” のままです。

---

転記プログラムでは次の処理が実行されます。

- 次のテーブルから未転記入金取引が選択されます。
  - F03B13
  - F03B14
- 各取引が検証されます。

エラーがない場合、次の処理が実行されます。

- 入金額で借方に適切な銀行勘定が計上されます。これにより F0911 テーブルに銀行勘定レコードが作成されます。
- F0911 テーブルに売掛金勘定の自動仕訳 (貸方) が作成されます。
- 必要に応じて、割引、少額消込、再請求、損金勘定の自動仕訳が作成されます。
- 勘定残高テーブル (F0902) の残高が更新されます。

- F0911 テーブルの取引の転記コードが“P”（転記済み）に更新されます。
- F03B13 および F03B14 テーブルの転記コードが“D”に更新されます。
- バッチ制御テーブル（F0011）のバッチ状況が“D”に更新されます。

入金仕訳の検討または不動産管理仕訳の検討プログラム（P0011）からアクセスする [バッチの処理] フォームからも入金を転記することができます。これらのプログラムは転記プログラムと同じメニューにあります。

---

**注:** F03B11 テーブルに転記状況“D”の未充当入金（RU）、再請求（RB）、損金（R5）請求書が作成されます。これらのレコードが転記されたかどうかを判断するには、元となる入金伝票の転記状況を検索して確認する必要があります。

---

## 入金転記処理によって作成される仕訳

入金を元帳に転記すると、入金入力プログラムの処理オプションで設定した仕訳作成形式に基づいて、取引明細テーブル（F0911）のレコードがそれぞれの方法で作成されます。

仕訳の作成にどの形式を設定したかにかかわらず、入金明細テーブル（F03B14）の以下のフィールドが、作成された仕訳データで更新されます。

- RZDCTG（伝票タイプ - JE）
- RZDOCG（伝票番号 - JE）
- RZKCOG（伝票会社 - JE）

## 明細方式

処理オプションで明細形式の仕訳を作成するように設定した場合、入金を入力すると、F03B13 テーブルの売掛金転記状況フィールド（ISTR）の値が“1”に更新されます。入力の転記時には、次の処理が実行されます。

- バッチ内の入金ごとに 1 件の伝票が、F0911 テーブルに作成されます。
- 銀行勘定の仕訳に対して伝票タイプ“RC”が割り当てられます。
- システム 09、行 2（仕訳）の自動採番プログラムによって、伝票番号が割り当てられます。  
フィールドの長さが異なるため、入金番号は使用されません。入金番号フィールドの長さは 25 文字ですが、仕訳伝票番号フィールドの長さは 8 文字です。
- 監査用に、F03B14 テーブルのレコードが仕訳に割り当てられる伝票番号で更新されます。

## 集計方法

処理オプションで集計形式の仕訳を作成するように設定した場合、入金を入力しても F03B13 テーブルの売掛金転記状況フィールド（ISTR）は更新されません。入力の転記時には、次の処理が実行されます。

- 入力を転記したバッチごとに 1 件の伝票が、F0911 テーブルに作成されます。
- 銀行勘定の仕訳に対して伝票タイプ“RK”が割り当てられます。
- バッチ番号が伝票番号として割り当てられます。

集計方式で仕訳を作成するには、次のことを確認する必要があります。

- 売掛管理固定情報の集計方式の値が“B”（バッチ モード）に設定されている。
- 一般会計固定情報の会社間決済オプションが“2”と“3”以外の値に設定されている。

これ以外の設定の場合、仕訳は明細方式で作成されます。

## 使用される方式

次の表に、一般会計固定情報および売掛管理固定情報の設定を基に作成される仕訳タイプを示します。

会社間決済（一般会計固定情報）	売掛金の集計方式（売掛管理固定情報）*	仕訳作成方式（集計(S)/明細(D)）	作成される仕訳の形式（F0911）
1（ハブ）	B	D	明細
1	Y	D	明細
1	S	D	明細
2（詳細）	B	D	明細
2	Y	D	明細
2	S	D	明細
3（構成ハブ）	B	D	エラー（仕訳作成は不可）
3	Y	D	明細
3	S	D	明細
1	B	S	集計
1	Y	S	明細
1	S	S	明細
2	B	S	集計
2	Y	S	明細
2	S	S	明細
3	B	S	エラー（仕訳作成は不可）
3	Y	S	明細
3	S	S	明細

### \* 集計方式

- Y = 項目行の数に関係なく伝票ごとに 1 件の自動仕訳作成
- S = 支払項目ごとに 1 件の自動仕訳作成
- B = バッチごとに 1 件の自動仕訳作成

## 無効入金および残高不足 (NSF) 入金の転記

無効となった入金または残高不足 (NSF) と指定された入金を転記した場合も、個別の仕訳が作成されます。処理オプションでの仕訳作成方式の設定に関係なく、次の処理が行われます。

- 無効の入金を転記すると、伝票タイプ RO の仕訳が作成されます。
- 残高不足 (NSF) に指定された入金を転記すると、伝票タイプ RV の仕訳が作成されます。

仕訳に割り当てられた伝票番号と伝票タイプを使って、F03B13 レコードの DOCQ、DCTQ、KCOQ フィールドの値が更新されます。

## 金額ゼロの入金の転記

請求書に対してクレジット メモまたは未充当入金を全額消し込む場合は、入金額がゼロのため銀行勘定に対して仕訳は生成されません。

また、未充当入金またはクレジット メモが転記された売掛金勘定と請求書が転記された売掛金勘定が異なる場合のみ、自動仕訳 (伝票タイプ AE) が作成されます。クレジット メモや未充当入金を記録する売掛金勘定と請求書の売掛金勘定が同じ場合、AE レコードは作成されず、転記編集レポートも作成されません。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「入金入力または手形入力時に更新されるフィールドについて」、227 ページ

## 入金転記処理によって作成される自動仕訳について

入金を転記すると、F0911 テーブルに伝票タイプ AE の仕訳が自動的に作成されます。入金入力時に更新されたフィールドの略式 ID が使用されます。次の表は、入力した入金のタイプによって、転記処理で AE 仕訳の勘定科目を検索するのに使用されるフィールドを示しています。

勘定科目	入金タイプ	フィールド	テーブル
売掛金	消込済み入金 (入力タイプコード 10)	AID	F03B14
	未充当入金	AID	F03B13
	再請求 (入力タイプコード 11、16、26)	AIDC	F03B14
割引実施額	割引 (入力タイプコード 10)	AIDD	F03B14
少額消込	少額消込 (入力タイプコード 10、15、25)	AIDW	F03B14
損金仮勘定	損金仮勘定 (入力タイプコード 17、27)	DAID	F03B14

## 会社 00000

入金の自動仕訳を作成すると、固定情報の集計方法の設定にかかわらず、仕訳の伝票会社フィールド (KCO) には常に会社 00000 が割り当てられます。入金入力処理では、1 対多の関係 (1 件の入金で異なる会社の多数の請求書を支払うことが可能) が成り立つため、会社 00000 が割り当てられます。転記プログラムで会社 00000 を使用しない場合、各請求書の会社に対応する仕訳を作成する必要があります。

## 入金の承認と転記に使用されるフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[バッチの処理]	W0011D	[入金処理]メニュー (G03B12)、[入金仕訳の検討]	入金バッチを検索します。
[バッチの承認]	W0011C	[バッチの処理]フォームで、バッチを選択し、[ロー]メニューから[バッチ承認]を選択します。	転記するバッチを承認します。

### 転記プログラムによる入金の転記

次のどちらかのナビゲーションを使用します。

[入金処理] メニュー (G03B12) から、[入金の転記] を選択します。

[入金処理] メニュー (G1513) から、[入金の転記] を選択します。

### 入力仕訳の検討プログラムによる入金の転記

[バッチの処理] フォームにアクセスします。

転記対象のバッチを選択し、[ロー] メニューから [バッチ別の転記] を選択します。

## 入金の削除および無効化

このセクションでは、入金の削除および無効化の概要と以下の方法について説明します。

- 入金の削除と無効化
- 入金の請求書支払項目の削除と無効化

### 入金の削除および無効化について

支払人や元帳日付などの入金情報が改訂できない場合は、その入金を削除するか無効にする必要があります。入金の削除と無効化は同じステップに従って実行します。入金が未転記の場合は、全ての入金が削除されます。入金が転記済みの場合は、新しい逆仕訳レコードが作成されます。

請求書を削除または無効にすると、次の処理が行われます。

- 入金が消し込まれる請求書（複数可）の未決済金額が修正されます。
- 請求書の支払状況が支払済み (P) から承認済み (A) に変更されます。

さらに、入金が無効にすると、次の処理が実行されます。

- F03B13 テーブルのレコードに無効のマークが付けられます。
- バッチ制御テーブル (F0011) と F03B14 テーブルに新しいレコードが作成されます。

新しいバッチを転記して、この取消情報を総勘定元帳の勘定科目に反映する必要があります。無効にした入金を転記すると、取引明細テーブル (F0911) に伝票タイプ RO のレコードが作成されます。



## 事前設定

無効/残高不足理由コードに使用する値が、ユーザー定義コード (03B/VR) に設定されていることを確認してください。

## 入金の削除および無効化に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入金照会]	W03B102A	[入金処理] (G03B12)、[入金入力]	削除または無効にする入金を検索します。
[入金入力]	W03B102E	[入金照会] フォームで、入金を選択して [選択] をクリックします。	入金の請求書支払項目を削除または無効にします。
[削除の確認]	W03B602D	<ul style="list-style-type: none"> <li>[入金照会] フォームで、ツールバーから [削除]、または [ロー] メニューから [無効/削除] を選択します。</li> <li>または、[入金入力] フォームで、[ロー] メニューから [無効/削除] を選択します。</li> </ul>	入金の削除または無効化/削除を確認します。
[入金の無効/NSF]	W03B102C	[削除の確認] フォームで、[OK] をクリックします。	転記済み入金を削除するか、無効にするかがこのフォームに表示されます。このフォームで、入金が無効にする元帳日付と理由コードを指定します。

## 入金の削除または無効化

[入金照会] フォームにアクセスします。

入金を削除または無効にするには、次の手順に従います。

1. [入金照会] で、削除または無効にする入金を選択します。
2. ツールバーから [削除]、または [ロー] メニューから [無効/削除] を選択します。
3. [削除の確認] で [OK] をクリックします。

入金が転記されていない場合は、レコードが削除されます。

4. 入金が転記済みの場合、[入金の無効/NSF] で、[元帳日付] と [理由コード] フィールドに入力します。
5. [OK] をクリックします。

## 入金の請求書支払項目の削除または無効化

[入金照会] フォームにアクセスします。

入金の請求書支払項目を削除または無効にするには、次の手順に従います。

[入金処理] メニュー (G03B12) から、[入金入力] を選択します。

1. [入金照会] フォームで、適切な入金を選択して [選択] をクリックします。
2. [入金入力] で、削除または無効にする支払項目を選択します。
3. [ロー] メニューから、[無効/削除] を選択します。
4. [削除の確認] で [OK] をクリックします。  
入金が未転記の場合は、支払項目レコードが削除されます。
5. 入金が転記済みの場合は、[入金の無効/NSF] で [理由コード] フィールドに値を入力して [OK] をクリックします。  
[入金入力] で、無効にした支払項目に X の印が表示され、取り消した金額の支払項目が新たに作成されます。
6. [入金入力] で、他の請求書を選択して支払金額を振り分けるか、取り消した支払項目の金額分の未充当入金を作成するには [OK] をクリックします。

---

## 入金の残高不足 (NSF) としての指定

このセクションでは、残高不足の指定の概要と指定方法について説明します。

### 残高不足の指定について

支払人の銀行口座に十分な残高がなく指定請求書の支払ができない場合、入金を残高不足 (NSF) に指定して請求書 (複数可) を未決済に戻すことができます。入金が転記済みの場合も未転記の場合も、同じステップで入金を残高不足 (NSF) に指定します。入金を残高不足 (NSF) に指定すると、次の処理が実行されます。

- F03B13 テーブルのレコードに NSF としてマークされます。顧客またはテナントの支払傾向を分析する際に、NSF のマークを参考にして、入力ミスなどの理由から取り消した入金と NSF を区別できます。  
NSF と指定された時点で入金が未転記の場合、その入金レコードには転記状況 “D” のマークが付けられます。
- 入金が消し込まれる請求書 (複数可) の未決済金額が修正されます。
- 請求書の支払状況が支払済み (P) から承認済み (A) に変更されます。
- 入金が転記された場合、バッチ制御テーブル (F0011) に新しいレコードが作成されます。
- 入金が転記された場合、照合伝票タイプ RV の新しいレコードが F03B14 テーブルに作成されます。

NSF と指定された時点で入金が未転記の場合、F03B14 テーブルから元のレコードが削除されます。

新しいバッチを転記して、この取消情報を総勘定元帳の勘定科目に反映する必要があります。NSF に指定された入金を転記すると、F0911 テーブルに伝票タイプ RV のレコードが作成されます。

### 事前設定

銀行の住所や口座番号を表示するには、住所録システムおよび [銀行勘定科目の設定] フォームで必要な情報を設定してください。

## 入金を残高不足 (NSF) として指定するのに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[入金照会]	W03B102A	[入金処理] (G03B12)、[入金入力]	削除または無効にする入金を検索します。
[削除の確認]	W03B602D	[入金照合] フォームで、[ロー] メニューから [NSF] を選択します。	入金を残高不足 (NSF) として指定します。
[入金の無効/NSF]	W03B102C	[削除の確認] フォームで、[OK] をクリックします。	NSF 入金の元帳日付と理由コードを指定します。

## 入金の残高不足 (NSF) としての指定

[入金照会] フォームにアクセスします。

入金を残高不足 (NSF) に指定するには、次の手順に従います。

1. [入金照会] で、残高不足 (NSF) に指定する入金を選択します。
2. [ロー] メニューから [NSF] を選択します。
3. [削除の確認] で [OK] をクリックします。
4. [入金の無効/NSF] で、[元帳日付] フィールドと [理由コード] フィールドに入力して、[OK] をクリックします。

---

## (Rapid Start) Processing Manual Receipts

This section lists prerequisites and discusses:

- How to process manual receipts.
- Preconfigured processing options for Australia, France, Great Britain, and New Zealand AR Speed Status Update version (P03B114).
- Preconfigured processing options for Australia, Canada, France, New Zealand, and United States Standard Receipts Entry – 5.00 Auto, 25.00 Manual (P03B102).
- Preconfigured processing options for Great Britain Receipts Entry (P03B102).
- Preconfigured processing options for Speed Receipts Entry (P03B0001).
- Preconfigured processing options for Receipts Journal – Enter Batch Number/Batch Date (R03B311).
- Preconfigured processing options for Receipts Deposit Journal (R03B408).
- Preconfigured processing options for Batch Options for Receipts Journal Review (P0011).
- Preconfigured processing options for Australia, Canada, France, New Zealand, and United States Cash Receipt Posting (R09801).
- Preconfigured processing options for Great Britain Cash Receipts Post (R09801).

## Prerequisites

Set up AR constants for manager approval.

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理固定情報の設定」、8ページ

Set up AAI's

- RCUC for unapplied receipts to locate AR trade account.
- RB for default bank account.
- RN for logged suspense account.

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理 AAI (自動仕訳) の設定」、25ページ

Set up default reason codes for chargebacks and deductions using UDC's.

- 03B/RC for write-off reason codes
- 03B/CR for deduction reason codes
- 03B/CB for chargeback reason codes.

## Processing Manual Receipts

This table lists the tasks for entering various types of receipts:

Task	Navigation	Program and Version
Prepare invoices for receipt application.	Invoice Entry and Processing Speed Invoice Update	P03B114/RIS0001
(Rapid Start AUS, CAN, FRA, NZL, and USA) Enter unapplied, non-customer, and applied receipts.	Receipt Entry and Processing Enter, Review, and Revise Receipts	P03B102/RIS0001
(Rapid Start, CAN, and USA) Enter unapplied, non-customer, and applied receipts.	Receipt Entry and Processing Enter, Review, and Revise Receipts Manager Limits	P03B102/RIS0002
(Rapid Start GBR) Enter unapplied, non-customer, and applied receipts.	Receipt Entry and Processing Enter, Review, and Revise Receipts	P03B102/RIS1001
Enter unapplied, logged, balance forward, and non-customer receipts.	Receipt Entry and Processing Enter Speed Receipts	P03B0001/RIS0001
Apply unapplied receipts.	Receipt Entry and Processing Enter, Review, and Revise Receipts	P03B102/RIS0001
Assign customer to logged receipt and apply receipt to invoice.	Receipt Entry and Processing Enter, Review, and Revise Receipts	P03B102/RIS0001
Revise, void and designate insufficient funds.	Receipt Entry and Processing Enter, Review, and Revise Receipts	P03B102/RIS0001

Task	Navigation	Program and Version
Review receipts entered.	Receipt Entry and Processing Print Receipts Journal	R03B311/RIS0001
Review receipts entered.	Receipt Entry and Processing Print Receipts Deposit Journal	R03B408/RIS0001
Review receipts entered.	Receipt Entry and Processing Review and Post Receipt Batches	P0011/RIS0009
(Rapid Start AUS, CAN, FRA, NZL and USA) Post receipts.	Receipt Entry and Processing Post All Receipts	R09801/RIS0007
(Rapid Start GBR) Post receipts.	Receipt Entry and Processing Post All Receipts	R09801/RIS1001

Data reports provide additional data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for AR Speed Status Update version (P03B114)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Statement Number	1
2. Payment Terms Code	blank
3. Business Unit	blank

## Preconfigured Processing Options for Canada, and United States Standard Receipts Entry – 5.00 Auto, 25.00 Manual (P03B102)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Company	1
2. Bank Account	1
3. G/L Date	1

Processing Option Description	Value or Status
4. Receipt Date	1
5. Payor Number	blank
6. Customer Number	blank
7. Remark	blank
8. Currency	blank
9. Exchange Rate	blank
10. Payment Instrument	blank
11. Cleared/Value Date	blank

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Receipt Type	1
2. Date Type	1
3. Type Input Code	10
4. Remark	blank
5. Receipt Numbering	blank
6. Deduction Reason Code	blank
7. Override Company Number	blank
8. Default G/L Offset for Unapplied Receipts	1

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Receipt Number	1
2. Write-Offs	blank
3. Delete/NSF Unposted Receipts	blank
4. Overpayment Edit	1
5. Duplicate Receipt Edit	1

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Apply Invoices	blank
2. Journal Entry Creation Method	1
3. Display Invoices	1
4. Negative Receipts	blank
5. Netting Program Version	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Edit Effective Date	blank
2. Alternate Currency Receipts	1

**Chargeback**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay Status	blank
2. Date Option	blank
3. Reason Code	blank

**Auto Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	5
2. Underpayment Reason Code	MW
3. Maximum Overpayment Amount	-5
4. Overpayment Reason Code	MW

**Mnl Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	25

Processing Option Description	Value or Status
2. Maximum Overpayment Amount	-25
3. Write-Off Reason Code	MW

### Discount

Processing Option Description	Value or Status
1. Discount Available	blank
2. Discount Applied	blank
3. Grace Period Days	0
4. Discount Reason Code	blank

### Match Priority

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Match	1
Sales Order Match	2
Customer Reference Match	3
Statement Match	4
Shipment Number Match	5

## Preconfigured Processing Options for Great Britain Receipts Entry (P03B102)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS1001.

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Company	1
2. Bank Account	1
3. G/L Date	1
4. Receipt Date	1
5. Payor Number	blank
6. Customer Number	blank



Processing Option Description	Value or Status
7. Remark	blank
8. Currency	1
9. Exchange Rate	blank
10. Payment Instrument	blank
11. Cleared/Value Date	blank

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Receipt Type	1
2. Date Type	1
3. Type Input Code	10
4. Remark	1
5. Receipt Numbering	1
6. Deduction Reason Code	blank
7. Override Company Number	blank
8. Default G/L Offset for Unapplied Receipts	1

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Receipt Number	1
2. Write-Offs	blank
3. Delete/NSF Unposted Receipts	blank
4. Overpayment Edit	1
5. Duplicate Receipt Edit	1

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Apply Invoices	blank
2. Journal Entry Creation Method	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Display Invoices	blank
4. Negative Receipts	1
5. Netting Program Version	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Edit Effective Date	blank
2. Alternate Currency Receipts	1

**Chargeback**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay Status	blank
2. Date Option	blank
3. Reason Code	DA

**Auto Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	5
2. Underpayment Reason Code	MW
3. Maximum Overpayment Amount	-5
4. Overpayment Reason Code	MW

**Mnl Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	500
2. Maximum Overpayment Amount	-500
3. Write-Off Reason Code	MW

**Discount**

Processing Option Description	Value or Status
1. Discount Available	blank
2. Discount Applied	blank
3. Grace Period Days	0
4. Discount Reason Code	blank

**Match Priority**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Match	1
Sales Order Match	2
Customer Reference Match	3
Statement Match	4
Shipment Number Match	5

**Preconfigured Processing Options for Speed Receipts Entry (P03B0001)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Company	1
2. Bank Account	1
3. Receipt Date	1
4. Remark	blank
5. G/L Date	1
6. Cleared/Value Date	blank
7. Currency	blank
8. Exchange Rate	blank
9. Currency Mode	blank

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Type Input Code	1
2. Default G/L Offset for Unapplied Receipts	blank

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Receipt Number	1

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay Only Approved Invoices	1
2. Journal Entry Creation Method	1

**Auto Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	0
2. Underpayment Reason Code	MW
3. Maximum Overpayment Amount	0
4. Overpayment Reason Code	MW

**Discount**

Processing Option Description	Value or Status
1. Allow Discounts	1
2. Allow Only Earned Discounts	1
3. Discount Reason Code	blank

**Preconfigured Processing Options for Receipts Journal – Enter Batch Number/Batch Date (R03B311)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format – G/L Receipts and Drafts	1
2. Account Format – Bank Account	1

## Preconfigured Processing Options for Receipts Deposit Journal (R03B408)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Batch Date**

Processing Option Description	Value or Status
1. From Date	4/11/2005
2. Through Date	4/11/2005

## Preconfigured Processing Options for Batch Options for Receipts Journal Review (P0011)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0009.

**Batch Type**

Processing Option Description	Value or Status
1. Batch Type	RB

## Preconfigured Processing Options for Australia, Canada, France, New Zealand, and United States Cash Receipt Posting (R09801)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0007.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	1

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank

**Taxes**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	3
2. Update VAT Discounts	2
3. Update VAT Receipts and W/O	2

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

**Cash Basis**

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank

**Preconfigured Processing Options for Great Britain Cash Receipts Post (R09801)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS1001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank

**Taxes**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	3
2. Update VAT Discounts	blank
3. Update VAT Receipts and W/O	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

**Cash Basis**

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank





## 第 10 章

# 売掛金元帳情報の処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、売掛金元帳照会およびカスタマ セルフサービスの概要と、以下の方法について説明します。

- 住所録の顧客情報の更新
- 請求書の検討

---

## 売掛金元帳照会について

売掛金元帳照会は、売掛管理システムで請求書を検索、検討、更新するための中心的機能を担っています。このプログラムを使って請求書や入金情報をすばやく照会したり、顧客の取引履歴を確認することができます。

フォームの見出しにあるフィールドで検索する情報を絞り込むことができます。特定の日付範囲で未決済、支払済み、または全ての請求書を照会できます。また、請求書日付、計算書日付、元帳日付、支払期日の中から任意の日付で検索することが可能です。請求書番号の範囲を指定して照会することもできます。

請求書の支払項目の割引情報や支払期日、税情報、転記状況および支払状況を確認したり、勘定科目情報を見たりする場合に、請求書の明細を検討します。請求書の金額は国内通貨と外貨の両方で表示できるほか、仮定通貨や基準日機能を使って代替通貨や特定の日付でも見ることもできます。

売掛金元帳照会を使って、顧客に対する売掛金の残高をすばやく確認できます。請求書を検索してからフォームの一番下にスクロールすると、国内通貨と外貨建ての総額および未決済金額の合計を見ることができます。合計はハイライトされた色で表示されます。

売掛金元帳照会プログラムには、その他の必要な売掛金プログラムに直接アクセスできる便利な機能が備わっています。[フォーム] メニューや [ロー] メニューを使って次のプログラムにアクセスできます。

- 顧客マスター (次のような顧客情報の追加および修正が可能)
  - 銀行口座
  - 人名録
  - 親/子関係
- 売掛金元帳明細 (請求書情報を 1 つのフォームに表示)
- 請求書入力 (請求書金額の改訂)
- 勘定科目情報 (勘定科目の検討)
- スピード リリース (割引情報と支払期日の更新)
- 請求書の改訂履歴 (請求書の修正情報の検討)
- 定期請求書情報の改訂 (定期請求書の変更)

- 入金/手形明細（請求書と突き合せ済みの入金の検討）
- 入金入力（入金の検索、検討、追加、改訂）
- バッチ（バッチの承認と転記）
- 損金（損金の追加）
- 損金の処理（損金の解決）
- 取引状況集計（与信および回収情報の検討）
- 活動ログおよび支払約束（内部処理レコードの検討と追加）
- 受注残および完了オーダー照会（受注オーダーの追加と検討）

契約/サービス請求管理、不動産管理、および受注管理システムなどの、売掛管理システムに関連して入力を行う JD Edwards EnterpriseOne の他システムを使用できます。売掛金元帳照会プログラムを使って、取引の入力元であるシステムを照会することができます。[売掛金元帳照会] フォームのグリッドの [入力システム] フィールド (OMOD) を、[ロー] メニューの [ソース・システム] 項目と組み合わせて使用すると、当初取引にアクセスすることができます。この機能が便利なのは、たとえば、顧客の支払を突き合わせる際に当初取引情報を検討する必要がある場合です。

**注:** 売掛金元帳情報の検討の際に、[集計] オプションを選択している場合は、[ロー] メニューの [ソース・システム] 項目は使用不可になっています。

## カスタマ セルフサービスについて

顧客にセルフサービス機能を提供すると、顧客が自ら請求書や支払の情報にアクセスすることができます。カスタマ セルフサービスは、請求書を照会して合計請求金額や支払期日、割引情報などを確認したり、正しい請求書に対して支払が処理されているかどうかを顧客が確認できる機能です。

カスタマ セルフサービスのアプリケーションを有効にするには、[カスタマー・セルフサービス] の処理オプションを設定する必要があります。セルフサービスが有効になっている場合、顧客がログインするとその顧客のユーザー プロファイルのレコードに基づいて住所番号が取り込まれます。顧客は別の顧客の請求書や入金情報にアクセスすることはできません。

顧客が Web ページにアクセスすると [売掛金元帳照会の処理] フォームが表示され、次の点を除いて社内で行うのと全く同じように請求書情報を検索、照会することができます。

- 伝票番号が請求書番号、決済日付が支払完了日付などと、いくつかのフィールドが異なって表示されます。
- 無効にされている請求書は表示されません。
- 請求書が外貨建てで入力されている場合、[請求書金額] と [未決済金額] のフィールドには外貨建ての金額のみ表示されます。
- グリッドのレコードを選択したり、[ロー] メニューを使用することはできません。

## 住所録からの顧客情報の更新

このセクションでは、顧客の住所録情報の概要と以下の方法について説明します。

- 住所録からの売掛金更新プログラム (R03B802) の実行

- ・住所録からの売掛金更新の処理オプションの設定

## 顧客の住所録情報について

請求書を作成する際は、別のシステムから手動または自動で、顧客の名称などの特定の住所情報が各レコードに書き込まれます。売掛管理システムでは、計算書やレポートの印刷、照会プログラムでの使用などのさまざまな目的で住所録情報を使用します。住所録情報が変更されたら、住所録からの売掛金更新プログラム (R03B802) を実行して請求書レコードを更新できます。

売掛金元帳テーブル (F03B11) のレコード件数によっては、ピーク時を避けて住所録からの売掛金更新プログラムを実行してください。定期的に行うと売掛金元帳テーブルの情報を正しく保つことができます。特に年齢調べレポートを実行したり計算書を印刷する前などに実行します。与信分析データの再作成 (R03B525) などのプログラムと住所録とは関係ないため、このプログラムを毎日夜間に実行する必要はありません。ただし、売掛金元帳照会プログラムを使って親顧客番号で検索する場合や、住所録の親住所番号を変更した場合などは、変更を反映するためにそのつど実行する必要があります。

F03B11 テーブルの次のフィールドが更新されます。

- ・支払人 (PYR) - 更新タブの処理オプションに基づく  
業種別顧客マスター (F03012) の代替支払人フィールド (ARPY) の値が取り込まれます。代替支払人フィールドがブランクの場合、住所番号フィールド (AN8) の値が取り込まれます。
- ・住所録マスター (F0101) の名称 (ALPH)
- ・住所組織構造マスター (F0150) の親住所番号 (PA8)
- ・代替支払人 (AN8J) - F03012 テーブルの計算書送付先フィールド (STTO) の値に基づく  
代替支払人フィールドの住所番号は、計算書送付先フィールドの値に基づいて割り当てられます。たとえば顧客 (C) に計算書を送る場合は、代替支払人フィールドには顧客の住所番号 (AN8) が入ります。親顧客番号 (P) に計算書を送る場合は、代替支払人フィールドには住所組織構造マスターの親住所番号 (PA8) が入ります。
- ・F03012 テーブルのカテゴリ コード 1-10 (AC01-AC10)
- ・F03012 テーブルの回収レポート (COLL)

入金見出しテーブル (F03B13) の次のフィールドが更新されます。

- ・F0101 テーブルの名称 (ALPH) - 処理オプションの設定に基づく
- ・住所組織構造マスターの親住所番号 (PA8)

## 住所録からの売掛金更新プログラムの実行

次のいずれかのナビゲーションを使用します。

売掛管理システムの場合は、[売掛管理システムの上級/技術的操作] メニュー (G03B31) から [住所録からの売掛管理更新] を選択します。

不動産管理システムの場合は、[一括更新] メニュー (G15311) から [住所録からの売掛金更新] を選択します。

## 住所録からの売掛金更新 (R03B802) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## 処理

次の処理オプションを使用して、F03B11 テーブルの特定のフィールドを更新するかどうかを指定します。

1. 支払人
 

F03B11 テーブルの支配人フィールド (PYR) を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 支払人フィールドを更新しません。

1: 支払人フィールドを更新します。F03012 テーブルの代替支払人フィールド (ARPY) の値が使用されます。代替支払人フィールドがブランクの場合、顧客の住所番号が使用されます。
2. 名称
 

F03B11 テーブルの名称フィールド (ALPH) を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 名称フィールドを更新しません。

1: 名称フィールドを更新します。F0101 テーブルの名称フィールドの値が使用されます。

---

## 請求書の検討

このセクションでは、請求書の改訂履歴、基準日機能、および入金または手形入力結果の概要、および以下の方法について説明します。

- 売掛金元帳照会 (P03B2002) の処理オプションの設定
- 売掛金元帳の詳細情報の検討
- (ARG) Review summarized current account information
- 入金入力結果の検討

## 請求書の改訂履歴について

転記済み請求書の総額を変更したり、請求書を無効にした場合、請求書改訂履歴テーブル (F03B112) に改訂情報が保存され、売掛金元帳 (F03B11) のレコードの転記状況フィールド (ISTR) が "1" に更新されます。この値は [売掛金元帳照会] フォームの [改訂有無] フィールドに表示され、請求書が変更されたことを示します。どのように請求書が変更されたかを検討するには [ロー] メニューから [改訂監査] を選択します。

---

注: 請求書の変更回数にかかわらず、[改訂有無] フィールドは "1" に更新されます。

---

## 基準日機能について

売掛金元帳照会プログラムを使って請求書を検討する際、[売掛金元帳照会] フォームで [基準日] フィールドに特定の日付を入力して請求書を検討することができます。これにより、過去の期間における顧客への請求状況や売掛金残高を見ることができます。

基準日を使用すると、入力した日付が請求書の決済日付フィールドと比較されます。基準日が決済日付より後の場合、そのレコードはスキップされます。基準日が決済日付より前の場合、その基準日は入金明細テーブル (F03B14) で請求書と突き合わされたレコードの元帳日付と比較され、入力した基準日における未決済金額が計算されます。

たとえば次のようになります。

- 請求書番号 1234、請求額 1,000.00、支払期日 2005/06/30
- 入金番号 44321、入金額 200.00、突き合わせた日付 2005/06/10 (元帳日付)
- 入金番号 44955、入金額 800.00、突き合わせた日付 2005/06/30 (元帳日付)
- 決済日付 2005/06/30
- 基準日 2005/06/15

基準日 (2005/06/15) が決済日付 (2005/06/30) より前であるため、入金明細テーブルのレコードが読み込まれます。最初の入金の元帳日付は基準日より前であるため、2005 年 6 月 15 日における請求書の未決済金額は 800.00 (1,000.00 - 200.00) と計算され、次の入金レコードの処理に進みます。しかし、次の入金の元帳日付は基準日より後のため、このレコードは無視されます。

---

**注:** 請求書の入金日付と基準日が比較されるため、フォームの見出し部分で [すべて] というオプションを選択する必要があります。[すべて] を選択しないと、完全な情報は表示されません。

---

## 手形処理

手形は、回収済み (支払状況が “P”) になった場合のみ、システム上で支払済みと見なされます。

## 入金または手形入力結果について

入金または手形を入力した後、正しい請求書と突き合わされているかどうかを確認したり、顧客の現在の未決済金額を見ることができます。このためには、売掛金元帳照会プログラムを使って入金入力の結果を確認します。

売掛金元帳照会プログラムを使用して支払済み請求書や一部支払済み請求書を検討する際、請求書と突合せ済みの入金や手形に関する情報 (入金番号、支払 ID、バッチ番号や、少額消込、再請求、損金の金額など) も見ることができます。売掛金元帳照会プログラムでこれらの情報を照会できるため、入金情報を他のアプリケーションで検索して検討する必要がほとんどありません。

入金明細を検討するには、支払済み請求書 (支払状況 “P”) を選んで、[ロー] メニューから [入金/手形明細] を選択します。

## 再請求、損金、未充当入金

入金または手形と請求書を突き合わせる際、未決済の再請求、損金、または未充当入金レコードを作成することができます。これらの請求書には伝票タイプ RB (再請求)、R5 (損金)、RU (未充当入金)、バッチ タイプ RB (IB ではありません) が割り当てられます。これらの請求書はまだ決済されていないため、[ロー] メニューの [入金/手形明細] を使ってこれらの請求書の生成元となる入金を検討することはできません。次の表は、未決済の再請求、損金、または未充当入金請求書レコードの生成元となる入金を検索するのに使用可能なオプションを示しています。

請求書	入金検索のオプション
入金または手形から生成された再請求 (RB)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [当初伝票] フィールドを使って、再請求の対象となった請求書番号を検索します。次に請求書を選択して、[ロー] メニューから [入金/手形明細] を選択します。</li> <li>• [売掛金元帳照会] で支払 ID を使って入金または手形を検索します。</li> </ul> <hr/> <p><b>注:</b> 再請求が損金から生成されている場合は、再請求を作成したことにより支払済みとなった損金レコード (R5) を検索して、[ロー] メニューから [入金/手形明細] を選択します。</p>
請求書、入金、手形から生成された損金 (R5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [当初伝票] フィールドを使って、損金の対象となった請求書番号を検索します。次に請求書を選択して、[ロー] メニューから [入金/手形明細] を選択します。</li> <li>• [売掛金元帳照会] で支払 ID を使って入金または手形を検索します。</li> </ul>
損金から生成された再請求 (RB)	再請求レコードの支払 ID を検索して QBE に入力します。検索基準に [すべて] のオプションが含まれていることを確認して、[検索] をクリックします。再請求および損金レコードが表示されます。損金 (R5) を選び、[ロー] メニューから [入金/手形明細] を選択します。
未充当入金または手形 (RU)	[売掛金元帳照会] で支払 ID を使って入金または手形を検索します。

これらの伝票が支払済みになった後、[ロー] メニューの [入金/手形明細] から支払を検討することができます。

## 手形

手形を使用すると、伝票タイプ R1 が割り当てられます。手形を検討するには、R1 伝票を選択して [ロー] メニューから [入金/手形明細] を選択します。[手形入力] フォームが表示されます。

## 請求書の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[売掛金元帳照会の処理]	W03B2002A	[顧客および請求書の入力] (G03B11)、[売掛金元帳照会]	請求書を検索します。
[売掛金元帳明細]	W03B2002E	[売掛金元帳照会の処理] フォームで、[ロー] メニューの [顧客元帳明細] を選択します。	売掛金元帳の詳細情報を検討します。 請求書の検索時に [集計] オプションがオンになっている場合、[ロー] メニューの [顧客元帳明細] は選択できません。
Work with Customer Ledger Inquiry (ARG)	W76A2002A	On the Work with Customer Ledger Inquiry form, select Regional Info from the Form menu.  You must have the Localization Country Code in user preferences set to AR (Argentina) to access this form.	Review the sum of all the A/R Drafts (document type R1) and Unapplied Receipts (document type RU) that have the same receipt number. The receipt number is saved in the Reference field (RREF) of Receipts Header table (F03B13).
[請求書の改訂履歴]	W03B0002A	[売掛金元帳照会の処理] フォームで改訂された請求書を選び、[ロー] メニューから [改訂監査] を選択します。  請求書が改訂されている場合、[売掛金元帳照会の処理] の [改訂有無] フィールドには "1" が表示されます。	請求書の改訂履歴を検討します。  表示される金額は改訂された金額のみを反映しています。たとえば、[総額] フィールドに "50" と表示されている場合、金額が "50" 増えたことを示します。
[入金明細の処理]	W76A2002E	[売掛金元帳照会の処理] フォームで、支払済みの請求書を選び、[ロー] メニューから [入金/手形明細] を選択します。	入金が正しい請求書と突き合わされているかどうかを確認したり、顧客の現在の未決済金額を表示したりします。
手形入力	W03B602B	[売掛金元帳照会の処理] フォームで、R1 (手形) を選び、[ロー] メニューから [入金/手形明細] を選択します。	手形が正しい請求書と突き合わせているかどうかを確認します。

## 売掛金元帳照会 (P03B2002) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 処理

以下の処理オプションにより、売掛金元帳照会 (P03B2002) を使用する際にカスタマ セルフサービス機能を使用できるように設定します。

1. カスタマ セルフサービス      Java/HTML 環境でカスタマ セルフサービス機能を使用できるようにするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
    ブランク: 使用しない  
    1: 使用する

## 通貨

以下の処理オプションにより、仮定通貨機能を有効にします。指定した仮定通貨コードと為替レート日付に基づいて、仮定通貨建ての金額が計算されます。

1. 仮定通貨      [売掛金元帳照会の処理] フォームに [仮定通貨コード] フィールドを表示するかどうかを指定します。指定した仮定通貨と [為替レート] 処理オプションで指定した日付に基づいて、国内通貨建ての金額が仮定通貨に換算され、フォームのグリッドの仮定通貨建て金額の各フィールドに表示されます。  
    この処理オプションをブランクにすると、[仮定通貨コード] フィールドや仮定通貨建ての金額フィールドは表示されません。
2. 為替レート日付      仮定通貨と国内通貨の間の為替レートを取り込むのに使用する日付を指定します。この処理オプションをブランクにすると、[売掛金元帳照会の処理] フォームの終了日付フィールドで指定した日付が使用されます。この処理オプションがブランクで終了日付フィールドもブランクの場合は、最新の為替レートが使用されます。為替レートがテーブルにない場合はエラーとなります。

## バージョン

請求書を追加したり修正する際に使用する請求書入力プログラム (P03B11) のデフォルトのバージョンを指定します。

1. 請求書入力 (P03B11)      請求書入力プログラム (P03B11) のバージョンを指定します。このフィールドをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。
2. 相殺 (P03B455) バージョン      [フォーム] メニューから [相殺] を選択した場合に実行する、相殺プログラム (P03B455) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。
3. 支払時支払 (P03B470)      [フォーム] メニューから [支払時支払] を選択した場合、または [ロー] メニューから [支払時支払明細] を選択した場合に実行する、支払時支払マニユアル リンク プログラム (P03B470) のバージョンを指定します。このフィールドをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 売掛金元帳明細の検討

[売掛金元帳明細] フォームにアクセスします。



売掛金元帳照会 - 売掛金元帳明細					
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)					
  					
住所No.	3333	Continental Incorporated			
親住所No.	3004	Pacific Company, The			
会社	00001	Financial/Distribution Company			
伝票No./タイプ/会社	1015	R5	00001	当初伝票No.	1013
支払項目	001	総額			500.00
支払期日	05/06/15	未決済金額			500.00
請求書日付	05/06/15	割引期日			05/06/15
元帳日付	05/06/15	割引可能額			
バッチNo.	6357	割引実施額			
バッチ日付	03/03/17	ビジネスユニット			1
サービス税日付	05/06/15	購買オーダーNo.			
決済日付		支払回数			
請求書No.		受注伝票			
参照					

[売掛金元帳明細] フォーム

## (ARG) Reviewing Summarized Current Account Information

Access the Work with Customer Ledger Inquiry (ARG) form.

To review summarized current account information, select the Receipt Summarization option and then click Find.

The system summarizes all of the documents that are associated with a receipt by document type. For example, if you have two R1 documents and two RU documents with a specific Reference number, the system lists each of these four documents if the Receipt Summarization option is cleared. If the Receipt Summarization option is selected, the system lists one line with the total of the two R1 documents and another line with the total of the two RU documents.

## 入金入力結果の検討

[入金明細の処理] フォームにアクセスします。

売掛金元帳照会 - 入金明細の処理

選択(S) 検索(D) 閉じる(L) ツール(T)

✓

🔍

✗

🗑️

支払ID \*

入金No. \*

バッチタイプ \*

バッチNo. \*

伝票No. 1120

伝票タイプ RI

伝票会社 00001

支払項目 001

元帳日付 \*

レコード 1 - 3

	支払 ID	行 ID	入金 No.	伝票 No.	伝票 タイプ	伝票 会社	支払 項目	住所 No.	照合 伝票タイプ	照合 日付	元帳日付
🔍	560	1	90195	1020	RI	00001	001	3333	RC	2005/06/28	2005/0

[入金明細の処理] フォーム

部分入金のように、1 件の請求書に対して複数の入金が突き合わされている場合、全ての入金が表示されます。

## 第 11 章

# 自動入金処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、自動入金処理の概要と以下の方法について説明します。

- 顧客入金情報のアップロード
- (DNK, NOR, SWE) Upload information to the F03B13Z1 table
- (CHE) Upload ESR payment information to the F03B13Z1 table
- 入金レコードの自動作成
- 自動入金と請求書の自動突き合わせ
- 自動入金の検討、改訂、および追加
- 自動入金と請求書の手動突き合わせ
- (DNK, NOR, SWE) Upload information to the F03B13Z1 table
- 自動入金の除去

**関連項目:**

第 5 章、「自動入金処理の設定」、75ページ

---

## 自動入金処理について

入金を即座に記録することは、売掛金の基本的な処理の 1 つです。自動入金処理を使用すると、顧客からの入金をすばやく請求書と突き合わせて入金処理することができます。この入金処理方法では、次のことができます。

- 請求書との突き合わせを行うかどうかにかかわらず、総勘定元帳に入金を即座に記録する。
- 顧客および会社レベルで請求書の突き合わせ方法を保存する。
- 対象となる請求書の件数を減らすために、プログラムの実行時にデータ選択条件およびデータ順序を柔軟に定義する。
- 手動で入力された未充当入金を処理する。
- 正常に処理されなかった入金を再度処理する。

自動入金処理には次のようなタスクがあります。

### 1. 顧客入金情報のアップロード

カスタム プログラムまたは EDI ロックボックス プログラムを使用して、顧客の銀行のテープなどの媒体から自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) に入金情報を転送します。

## 2. 入金レコードの自動作成

自動入金レコードから入金情報を抽出して入金見出しテーブル (F03B13) および入金明細テーブル (F03B14) に未充当入金または仮入金レコードを作成するバッチ プログラムを実行します。このプログラムの実行後に入金と請求書が自動的に突き合わされるように、処理オプションを設定することができます。

## 3. 入金と請求書の自動突き合わせ

定義したアルゴリズムを使って入金と未決済請求書を自動的に突き合わせるバッチ プログラムを実行します。入金と請求書が正しく突き合わされた場合、F03B14 テーブルにレコードが作成されます。

## 4. 自動入金の検討、改訂、および追加

システムが正常に処理できなかった入金を確認し、必要な修正を行って後で処理することができます。必要に応じて入金レコードを追加することもできます。

## 5. 自動入金の除去

入金を処理した後、F03B13Z1 テーブルから入金レコードを削除できます。このバッチ処理によって、不要なレコードを取り除いて処理時間を短縮することができます。

また、入金と請求書を手動で突き合わせて、レポートで銀行振込および取引を確認することができます。

入金を自動的に処理する前に、次のセクションで説明されている設定を行う必要があります。

---

# 顧客入金情報のアップロード

このセクションでは、顧客入金情報のアップロードの概要について説明します。

- (DNK) Upload customer payment information for Denmark.
- (DNK) Set processing options for Automatic Receipts Denmark (R74M001).
- (FIN) Upload customer payment information for Finland.
- (FIN) Set processing options for Automatic Receipts Finland (R74V001).
- (NOR) Upload customer payment information for Norway.
- (NOR) Set processing options for Automatic Receipts Norway (R74O001).
- (SWE) Upload customer payment information for Sweden.
- (SWE) Set processing options for Automatic Receipts Sweden BG OCR (R74W001), Automatic Receipts Sweden PG OCR (R74W002), and Automatic Receipts Sweden BG AA (R74W003).

### 関連項目:

第 14 章、「売掛管理システムの EDI トランザクションの処理」、449 ページ

付録 B、「自動入金処理のためのフィールドのマッピング」、703 ページ

第 11 章、「自動入金処理」、「自動入金の検討、改訂、および追加」、325 ページ

## 顧客入金情報のアップロードについて

顧客からの入金情報を自動的に処理するには、顧客の口座がある銀行から売掛管理システムに入金情報をアップロードする必要があります。銀行からテープやディスク、CD などでも情報を受け取った場合、そのメディアから F03B13Z1 テーブルにデータをアップロードするカスタム プログラムを作成する必要があります。売掛管理システムは、このテーブルのレコードを処理します。

または、EDI ロックボックス処理を使って入金情報を取り込むこともできます。

## (DNK, FIN, NOR, SWE) Understanding the Upload of Customer Payment Information for the Nordic Countries

You can use the Nordic bank format programs to upload a text file containing bank-supplied receipt information to the Text Processor Header (F007101) and Text Processor Detail (F007111) tables, and then transfer the information from those tables to the F03B13Z1 table.

Alternatively, you can use the Copy Bank File to Interface file A/R program (R74W0010) to load information from the bank file to tables F007101 and F007111. In this case, you use the Nordic bank format programs only to transfer receipt information from the F007101 and F007111 tables to the F03B13Z1 table. You use a processing option on the Nordic bank format programs to specify whether the bank file has already been loaded to the F007101 and F007111 tables.

### (FIN) Reference Numbers

The standard reference number that is used for payments in Finland is limited to twenty characters, with one character used as a check digit. You must include one or more of these numbers in the reference number:

- Customer number
- Invoice number
- Company number

You use the processing options on the Automatic Receipts Finland program (R74V001) to specify the format of the reference number.

The fields in the reference number are limited to these maximum lengths:

- Customer number – 8 characters
- Invoice number – 8 characters
- Company number – 3 characters

The system provides a business function that you can use to calculate Finnish reference numbers. For example, you might launch this business function when you want to print reference numbers on the invoices that you create in the Accounts Receivable system or Sales Order system.

---

**注:** Implementing the reference number functionality requires customization.

---

### 関連項目:

第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「(FIN) Calculating the Finnish Reference Number」、39ページ

## (DNK) Uploading Customer Payment Information for Denmark

The PeopleSoft system provides this Norwegian bank format:

Object	Navigation	Bank Format
R74M001	Danish Localization (G74M), Automatic Receipts Denmark	Faelles Indbetalningskort (OCR)

## (DNK) Setting Processing Options for Automatic Receipts Denmark (R74M001)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

These processing options let you specify various setting that are used by the bank format program.

- 1. Company**

Specify the company to use to select payments. If you enter a company number, only payments for the company you enter are loaded into the F03B13Z1 table. Only transactions for that company are matched.

If you leave this processing option blank, transactions are matched for all companies in the environment. This option is useful if customers are paying to the wrong company in a group.
- 2. Document Type**

Specify the document type for the invoices to be paid, for example, RI.
- 3. Payment Instrument**

Specify the payment instrument to applied to the payments. This processing option is optional.
- 4. G/L Bank Account**

Specify the short account ID of the default G/L bank account, if the short account ID field is blank in the F03B13Z1 table.

A valid short account ID must exist for the system to process records. Enter the short account ID as an eight-digit number starting with zeros. For example, 00000108.
- 5. Bank file**

Specify whether the bank file has already been loaded to the Text Processor Header (F007101) and the Text Processor Detail (F007111) tables. Values are:

Blank: The bank file has already been loaded.

1: The bank file has not been loaded.

If you enter 1, the system loads the bank file to the F007101 and F007111 tables, and then populates the F03B13Z1 table with information from the F007101 and F007111 tables.

If you leave this processing option blank, the system populates the F03B13Z1 table with information already in the F007101 and F007111 tables. Leave this processing option blank only if the F007101 and F007111 tables are already loaded with payment information.
- 6. Path to the Bank File**

Specify the location of the bank file.

If you are running this program on an NT server, enter the path in this format: c:\¥¥bankdata¥¥bankfile.txt

If you are running this program on a UNIX server, enter the path in this format: c://bankdata//bankfile.txt

If you are running this program on an AS/400 server, enter the path in this format: bankdata/bankfile

## Process

This processing option enables you to specify whether to purge the Text Processor Header (F0071010) and Text Processor Detail (F007111) tables.

### 7. Interface Files (F007101 and F007111)

Specify whether the system should purge the F007101 and F007111 tables after loading the information from these tables to the F03B13Z1 table. Values are:

Blank: Do not purge the text processor tables.

1: Purge the text processor tables.

## Select

These processing options let you specify the position of the customer and invoice numbers in the reference number.

### 1. Starting Position of Supplier Number and 2. End Position of Supplier Number

Specify the positions in the reference number (OCR number) at which the customer number starts and ends. The reference number can be the invoice number or the customer number and the invoice number.

Example:

- The customer number is 1001.
- The invoice number is 1234.
- The bank file reference number is displayed as 00010011234.

You enter 4 in the Starting Position of Supplier Number processing option because the customer number starts at position 4 and 7 in the End Position of Supplier Number processing option because the customer number ends at position 7.

### 3. Start Position of Invoice Number and 4. End Position of Invoice Number

Specify the position in the reference number (OCR number) at which the invoice number starts and ends. The reference number can be the invoice number, or the customer number and the invoice number.

Example:

- The customer number is 1001.
- The invoice number is 1234.
- The reference number is displayed as 00010011234.

You enter 8 in the Start Position of Invoice Number processing option because the invoice number starts at position 8. You enter 11 in the End Position of Invoice Number processing option because the invoice number ends at position 11.

## (FIN) Uploading Customer Payment Information for Finland

The PeopleSoft system provides this Norwegian bank format:

Object	Navigation	Bank Format
R74V001	Finnish Localization (G74V), Automatic Receipts Finland	V1.0 Standard, Finland

## (FIN) Setting Processing Options for Automatic Receipts Finland (R74V001)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

These processing options let you specify various setting that are used by the bank format program.

- 1. Company**

Specify the company to use to select payments. If you enter a company number, only payments for the company you enter are loaded into the F03B13Z1 table. Only transactions for that company are matched.

If you leave this processing option blank, transactions are matched for all companies in the environment. This option is useful if customers are paying to the wrong company in a group.
- 2. Document Type**

Specify the document type for the invoices to be paid, for example, RI.
- 3. Payment Instrument**

Specify the payment instrument to apply to the payments. This processing option is optional.
- 4. G/L Bank Account**

Specify the short account ID of the default G/L bank account if the short account ID field is blank in the F03B13Z1 table.

A valid short account ID must exist for the system to process records. Enter the short account ID as an eight-digit number starting with zeros. For example, 00000108.
- 5. Bank File**

Specify whether the bank file has already been loaded to the F007101 and F007111 tables. Values are:

Blank: The bank file has already been loaded.

1: The bank file has not been loaded.

If you enter 1, the system loads the bank file to the F007101 and F007111 tables, and then populates the F03B13Z1 table with information from the F007101 and F007111 tables.

If you leave this processing option blank, the system populates the F03B13Z1 table with information already in the F007101 and F007111 tables. Leave this processing option blank only payment information has already been loaded to the F007101 and F007111 tables.
- 6. Path to the Bank File**

Specify the location of the bank file.

If you are running this program on an NT server, enter the path in this format: c:\¥¥bankdata¥¥bankfile.txt

If you are running this program on a UNIX server, enter the path in this format: c://bankdata//bankfile.txt



If you are running this program on an AS/400 server, enter the path in this format: bankdata/bankfile

## 7. Receipt Number

Specify how you want to generate receipt numbers. Values are:

Blank: Use Next Numbers to generate the receipt number.

---

**注:** If you leave this processing option blank to use Next Numbers, you must set up Next Numbers for system 74V in the Next Numbers table.

---

1: Use the invoice number as the receipt number.

## Process

This processing option lets you specify whether to purge the Text Processor Header (F0071010) and the Text Processor Detail (F007111) tables.

### 1. Interface Files (F007101 and F007111)

Specify whether the system should purge the F007101 and F007111 tables after loading the information from these tables to the F03B13Z1 table. Values are:

Blank: Do not purge the text processor tables.

1: Purge the text processor tables.

## Select

These processing options let you specify the position of the customer and invoice numbers in the reference number.

### 1. Starting Position of Customer Number and 2. End Position of Customer Number

Specify the positions in the reference number at which the customer number starts and ends. The reference number can be the customer number, the invoice number, and the company number.

For example:

- The customer number is 1001.
- The invoice number is 1234.
- The company number is 100.
- The reference number is displayed as 0000100100001234100.

You enter 1 in the Starting Position of Customer Number processing option because the customer number starts at position 1. You enter 8 in the End Position of Customer Number processing option because the customer number ends at position 8.

### 3. Starting Position of Invoice Number and 4. End Position of Invoice Number

Specify the positions in the reference number at which the invoice number starts and ends. The reference number can be the customer number, the invoice number, and the company number.

For example:

- The customer number is 1001.
- The invoice number is 1234.
- The company number is 100.

- The reference number is displayed as 0000100100001234100.

You enter 9 in the Starting Position of Invoice Number processing option because the invoice number starts at position 9. You enter 16 in the End Position of Invoice Number processing option because the invoice number ends at position 16.

#### 5. Starting Position of Company Number and 6. End Position of Company Number

Specify the positions in the reference number at which the company number starts and ends. The reference number can be the customer number, the invoice number, and the company number.

For example:

- The customer number is 1001.
- The invoice number is 1234.
- The company number is 100.
- The reference number is displayed as 0000100100001234100.

You enter 17 in the Starting Position of Company Number processing option because the company number starts at position 17. You enter 19 in the End Position of Company Number processing option because the company number ends at position 19.

## (NOR) Uploading Customer Payment Information for Norway

The PeopleSoft system provides this Norwegian bank format:

Object	Navigation	Bank Format
R740001	Norwegian Localization (G740), Automatic Receipts Norway	Standard, OCRGiro (OCR)

## (NOR) Setting Processing Options for Automatic Receipts Norway (R740001)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

These processing options enable you to specify various settings that are used by the bank format program.

#### 1. Company

Specify the company to use to select payments. If you enter a company number, only payments for the company you enter are loaded into the F03B13Z1 table. Only transactions for that company are matched.

If you leave this processing option blank, transactions are matched for all companies in the environment. This option is useful if customers are paying to the wrong company in a group.

#### 2. Document Type

Specify the document type for the invoices to be paid, for example, RI.

#### 3. Payment Instrument

Specify the payment instrument to applied to the payments. This processing option is optional.

- 4. G/L Bank Account** Specify the short account ID of the default G/L bank account, if the short account ID field is blank in the F03B13Z1 table.
- A valid short account ID must exist for the system to process records. Enter the short account ID as an eight-digit number starting with zeros. For example, 00000108.
- 5. Bank File** Specify whether the bank file has already been loaded to the Text Processor Header (F007101) and Text Processor Detail (F007111) tables. Values are:
- Blank: The bank file has already been loaded.
- 1: The bank file has not been loaded.
- If you enter 1, the system loads the bank file to the F007101 and F007111 tables, and then populates the F03B13Z1 table with information from the F007101 and F007111 tables.
- If you leave this processing option blank, the system populates the F03B13Z1 table with information already in the F007101 and F007111 tables. Leave this processing option blank only if the F007101 and F007111 tables are already loaded with payment information.
- 6. Path to the Bank File** Specify the location of the bank file.
- If you are running this program on an NT server, enter the path in this format: c:\¥¥bankdata¥¥bankfile.txt
- If you are running this program on a UNIX server, enter the path in this format: c://bankdata//bankfile.txt
- If you are running this program on an AS/400 server, enter the path in this format: bankdata/bankfile

## Process

This processing option lets you specify whether to purge the Text Processor Header (F007101) and Text Processor Detail (F007111) tables.

- 1. Interface Files (F007101 and F007111)** Specify whether the system should purge the F007101 and F007111 tables after loading the information from these tables to the F03B13Z1 table. Values are:
- Blank: Do not purge the text processor tables.
- 1: Purge the text processor tables.

## Select

These processing options let you specify the position of the customer and invoice numbers in the reference number.

- 1. Starting Position of Supplier Number and End Position of Supplier Number** Specify the positions in the reference number (OCR number) at which the customer number starts and ends. The reference number can be the invoice number, or the customer number and the invoice number.
- For example:
- The customer number is 1001.
  - The invoice number is 1234.

- The reference number is displayed as 00010011234.

You enter 4 in the Starting Position of Supplier Number processing option because the customer number starts at position 4. You enter 7 in the End Position of Supplier Number processing option because the customer number ends at position 7.

### 3. Starting Position of Invoice Number and End Position of Invoice Number

Specify the positions in the reference number (OCR number) at which the invoice number starts and ends. The reference number can be the invoice number, or the customer number and the invoice number.

For example:

- The customer number is 1001.
- The invoice number is 1234.
- The reference number is displayed as 00010011234.

You enter 8 in the Starting Position of Invoice Number processing option because the invoice number starts at position 8. You enter 11 in the End Position of Invoice Number processing option because the invoice number ends at position 11.

## (SWE) Uploading Customer Payment Information for Sweden

The PeopleSoft system provides these Swedish bank formats:

Object	Navigation	Bank Format
R74W001	Swedish Localization (G74W), Automatic Receipts Sweden BG OCR	Bankgirot, Inbetalningsservice (OCR)
R74W002	Swedish Localization (G74W), Automatic Receipts Sweden PG OCR	Postgirot, Inbetalningsservice (OCR)
R74W003	Swedish Localization (G74W), Automatic Receipts Sweden BG AA	Bankgirot, Automatisk Avprickning (LM)

## (SWE) Setting Processing Options for Automatic Receipts Sweden BG OCR (R74W001), Automatic Receipts Sweden PG OCR (R74W002), and Automatic Receipts Sweden BG AA (R74W003)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

**注:** The processing options on the Select tab do not apply to the Automatic Receipts Sweden BG AA program (R74W003).

### Defaults

These processing options let you specify various setting that are used by the bank format program.

#### 1. Company

Specify the company to use to select payments. If you enter a company number, only payments for the company you enter are loaded into the F03B13Z1 table. Only transactions for that company are matched.

If you leave this processing option blank, transactions are matched for all companies in the environment. This option is useful if customers are paying to the wrong company in a group.

## 2. Document Type

Specify the document type for the invoices to be paid, for example, RI.

## 3. Payment Instrument

Specify the payment instrument to be applied to the payments. This processing option is optional.

## 4. G/L Bank Account

Specify the short account ID of the default G/L bank account, if the short account ID field is blank in the F03B13Z1 table.

A valid short account ID must exist for the system to process records. Enter the short account ID as an eight-digit number starting with zeros. For example, 00000108.

## 5. Bank File

Specify whether the bank file has already been loaded to the F007101 and F007111 tables. Values are:

Blank: The bank file has already been loaded.

1: The bank file has not been loaded.

If you enter 1, the system loads the bank file to the F007101 and F007111 tables, and then populates the F03B13Z1 table with information from the F007101 and F007111 tables.

If you leave this processing option blank, the system populates the F03B13Z1 table with information already in the F007101 and F007111 tables. Leave this processing option blank only if the F007101 and F007111 tables are already loaded with payment information.

## 6. Path to the Bank File

Specify the location of the bank file.

If you are running this program on an NT server, enter the path in this format: c:\¥¥bankdata¥¥bankfile.txt

If you are running this program on a UNIX server, enter the path in this format: c://bankdata//bankfile.txt

If you are running this program on an AS/400 server, enter the path in this format: bankdata/bankfile

## Process

This processing option lets you specify whether to purge the Text Processor Header (F007101) and Text Processor Detail (F007111) tables.

### 1. Interface Files (F007101 and F007111)

Specify whether the system should purge the F007101 and the F007111 tables after loading the information from these tables to the F03B13Z1 table. Values are:

Blank: Do not purge the text processor tables.

1: Purge the text processor tables.

## Select

These processing options let you specify the position of the customer and invoice numbers in the reference number.

**1. Starting Position of Supplier Number and End Position of Supplier Number**

Specify the positions in the reference number (OCR number) at which the customer number starts and ends. The reference number can be the invoice number, or the customer number and the invoice number.

For example:

- The customer number is 1001.
- The invoice number is 1234.
- The reference number is displayed as 00010011234.

You enter 4 in the Starting Position of Supplier Number processing option because the customer number starts at position 4. You enter 7 in the End Position of Supplier Number processing option because the customer number ends at position 7.

**3. Starting Position of Invoice Number and End Position of Invoice Number**

Specify the positions in the reference number (OCR number) at which the invoice number starts and ends. The reference number can be the invoice number, or the customer number and the invoice number.

For example:

- The customer number is 1001.
- The invoice number is 1234.
- The reference number is displayed as 00010011234.

You enter 8 in this processing option because the invoice number starts at position 8. You enter 11 in this processing option because the invoice number ends at position 11.

---

## (DNK, NOR, SWE) Uploading Information to the F03B13Z1 Table

This section provides an overview of the Copy Bank File to Interface File A/R program and discusses how to:

- Run the Copy Bank File to Interface File A/R program.
- Set processing options for Copy Bank File to Interface File A/R (R74W0010).

### Understanding the Copy Bank File to Interface File A/R Program

You use the Copy Bank File to Interface File A/R program (R74W0010) to upload bank files that contain receipt information into the F007101 and the F007111 tables. You use country-specific bank format programs to transfer the receipt information from tables F007101 and F007111 to the F03B13Z1 table. After the information is transferred to table F03B13Z1, the information can be uploaded and matched against outstanding customer invoices.

Uploading the information in the text file processor enables data to be managed efficiently with automatic maintenance of the processing status of each tape record, including purging capability.

Complete these steps to upload a text file from the bank to the F03B13Z1 table:

1. Receive a text file containing payment information from the bank.

2. Run the Copy Bank File To Interface File A/R program (R74W0010) to load the bank information into table F007101 and table F007111 in the correct format. You then run the appropriate bank format program (R74W001, R74V001, and so on) to transfer the data from tables F007101 and F007111 to table F03B13Z1.
3. Run the standard automatic receipts matching process.

---

**注:** Alternatively, you can run the appropriate bank format program (R74W001, R74V001, and so on), configuring the processing options on the bank format program to first upload the bank information into tables F007101 and F007111, and then transfer that data into table F03B13Z1. This process does not use the Copy Bank File to Interface File A/R program and is well-suited to small businesses in which the person who uploads the file from the bank is also the person who processes automatic receipts.

---

## Running the Copy Bank File to Interface File A/R Program

Use one of these navigations:

From the Danish Localization menu (G74M), select Copy Bank File to Interface File A/R.

From the Norwegian Localization menu (G74O), select Copy Bank File to Interface File A/R.

From the Swedish Localization menu (G74W), select Copy Bank File to Interface File A/R.

## Setting Processing Options for Copy Bank File to Interface File A/R (R74W0010)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

These processing options let you specify information that the system uses when loading the bank file.

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <b>1. Description</b>           | Specify the description of the interface file. If you are uploading a file from the Swedish BG and it is in the OCR format, enter BG OCR.  |
| <b>2. Format Program</b>        | <p>Specify the bank format program that you are using to load the bank file. Values are:</p> <p>R74W001: Sweden BG OCR</p> <p>R74W002: Sweden PG OCR</p> <p>R74W003: Sweden BG AA</p> <p>R74O001: Norway OCR</p> <p>R74M001: Denmark OCR</p> <p>R74V001: Finland Reference Payments</p>  |
| <b>3. Path to the Bank File</b> | <p>Specify the location of the bank file.</p> <p>If you are running this program on an NT server, enter the path in this format: c:\¥¥bankdata¥¥bankfile.txt</p> <p>If you are running this program on a UNIX server, enter the path in this format: c://bankdata//bankfile.txt</p> <p>If you are running this program on an AS/400 server, enter the path in this format: bankdata/bankfile</p> |

## Version

This processing option lets you specify the version of the bank format program to use.

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. Version of the Format Program</b> | Specify the version name of the bank format program that you are using to upload the bank file. |
|---|---|

## (CHE) Uploading ESR Payment Information to the F03B13Z1 Table

This section provides an overview of the Upload ESR Payments program and discusses how to:

- Set processing options for Upload ESR Payments (R03B803).
- Upload ESR payment information.

### Understanding the Upload ESR Payments Program

After you import the text file that Postfinance Bank sends to you to confirm ESR payments into the Text File Processor program (P007101), you can run the Upload ESR Payments program (R03B803) to upload the ESR payment information to the F03B13Z1 table. When you run the Upload ESR Payments program, the system unformats the ESR reference number in the Text Processor Header table (F007101) and the Text Processor Detail table (F007111); and parses it into the Document Number (DOC), Document Company (KCO), and Document Type (DCT fields) in the F03B13Z1 table. You can then use the Work With Electronic Receipts Input program (P03B121) to review and revise the information in the F03B13Z1 table.

### Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Import the electronic media that Postfinance Bank sends to you into the text file processor tables.
- Add the Upload ESR Payment program (R03B803) as a value in the Upload Text Program UDC table (03B/UP).

参照: PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

### Forms Used to Upload ESR Payment Information to the F03B13Z1 Table

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With Text Batches	W007101A	Text File Processor (G0071), Text File Processor	Locate text files that have been imported into the Text File Processor and select them for further processing.
Upload Text to Transaction Files	W007101D	On the Work With Text Batches form, select an ESR batch and then select Process Batch, Upload Text from the Row menu.	Run the Upload ESR Payments program (R03B803).



## Setting Processing Options for Upload ESR Payments (R03B803)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

- |                                 |  |
|---------------------------------|--|
| <b>1. Receipt Currency Code</b> | Specify the transaction currency code for the Upload ESR Payments program (R03B803). The system stores currency codes in the Currency Codes table (F0013). If you leave this processing option blank, the system uses the default value CHF.   |
| <b>2. G/L Bank Account</b>      | Specify the G/L bank account for the electronic receipts.  |
| <b>3. G/L Date</b>              | Specify the G/L date for each electronic receipt. Values are:<br>Blank: Use the date entered in the Override G/L Date processing option.<br>1: Use the payment date from the ESR payment record.<br>2: Use the processing date from the ESR payment record.<br>3: Use the credit date from the ESR payment record. |
| <b>4. Override G/L Date</b>     | Specify the G/L date for the electronic receipts. The system uses the date that you specify here only if the G/L Date processing option is blank. If you leave this processing option blank as well, the system uses the current date.   |
| <b>5. Receipt Date</b>          | Specify the receipt date for the electronic receipts. If you leave this processing option blank, the system uses the current date.   |
| <b>6. Receipt Remark</b>        | Use this processing option to enter a receipt remark that appears on the electronic receipts that are created by the Upload ESR Payments program (R03B803). You can enter up to 30 characters.   |

## Uploading ESR Payment Information

To upload ESR payment information:

1. On Work With Text Batches, select the ESR batch with which you want to work.
2. From the Row menu, select Process Batch and then Upload Text.
3. On Upload Text to Transaction Files, complete the Program field, and then click OK.

The system provides the Upload ESR Payments program (R03B803) to upload ESR payment information to the F03B13Z1 table. Program R03B803 must exist as a value in the Upload Text Program UDC table (03B/UP) before you can use this program to upload text files.

---

**注:** The Version field is for display only. Version ZJDE001 is the only version of the Upload ESR Payments program that uploads text files.

---

## 入金レコードの自動作成

このセクションでは、自動入金処理の概要と以下の方法について説明します。

- 入金見出しの更新プログラムの実行
- 入金見出しの更新 (R03B551) の処理オプションの設定

- (ARG) Set processing options for PO – Update Receipt Register from Electronic Input–AR – 03B (R76A551D).

## 入金レコードの自動作成について

銀行のデータを F03B13Z1 アップロード テーブルにアップロードした後、入金見出しテーブル (F03B13) と入金明細テーブル (F03B14) に入金または手形レコードを作成するための処理を行う必要があります。この処理は、入金と請求書を突き合わせる前に実行する必要があります。このバッチ プログラムでは、次のことができます。

- 突合せアルゴリズムの成功率にかかわらず、総勘定元帳の銀行勘定を更新します。
- 正常に処理されなかったレコードを修正する前に全ての入金を明らかにします。

入金見出しの更新 (画面上は “入金明細の更新”) プログラム (R03B551) を実行すると、未充当入金、手形、仮入金のいずれかのレコードが作成されます。支払人または顧客が見つからない場合、仮入金レコードが作成されます。支払人または顧客が見つかった場合は未充当入金レコードが作成されます。

入金見出しの更新プログラムを実行すると、次の処理が実行されます。

1. 自動採番プログラムから支払 ID が取り込まれます。
2. 自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) のバッチタイプ (9B) を検証します。
3. 次のように支払人番号を検索します。
  - 銀行口座フィールド (CBNK) と銀行/支店フィールド (TNST) で顧客の銀行口座情報が指定されている場合、それを使って銀行/支店マスター (F0030) から支払人の銀行レコード (レコード タイプ P) の住所番号を検索します。
  - 見つからない場合、顧客の銀行レコード (レコード タイプ C) の住所番号を支払人として使用します (銀行情報がある場合)。
  - 見つからない場合、伝票番号または汎用参照フィールド (値が指定されている場合) を使って請求書レコードから支払人番号を検索します。
  - 見つからない場合、顧客番号フィールド (AN8) の値を使用します。
  - 見つからない場合、対応する処理オプションの住所番号を使用します。
  - 処理オプションがブランクの場合、仮入金レコードを作成します。

---

注: 自動入金レコードに顧客番号が存在する場合、支払人フィールドの値が顧客番号フィールドに入力されることはありません。

---

4. 顧客マスター (F03012) から実行リストを取り込みます。実行リストが見つからない場合、処理オプションで指定された実行リストを使用するか、フィールドをブランクのままにします。
5. 次のように銀行勘定を取り込みます。
  - 銀行勘定略式 ID フィールド (GLBA) の値を使用します。
  - GLBA がブランクの場合、銀行口座 (EHBK) と銀行/支店 (EHTN) の値を使って F0030 テーブルから銀行勘定レコードを取り込みます。
  - 見つからない場合、処理オプションの銀行勘定の略式 ID オプションの値を使用します。
  - この処理オプションがブランクの場合、指定された会社の AAI 項目 RB に関連付けられた勘定科目を使用します。
  - 見つからない場合、エラー メッセージを表示します。

6. 勘定科目マスター (F0901) から会社を取り込みます。このテーブルに会社が存在しない場合、処理オプションから会社を取り込みます。
7. 処理オプションから元帳日付を取り込みます。
8. 入金日付の形式と妥当性を検証します。自動入金アップロード (F03B13Z1) のレコードで入金日付が指定されていない場合、元帳日付が入金日付として使用されます。
9. 処理されなかった入金を示す例外レポートを作成します。
10. バッチ制御テーブル (F0011) でバッチタイプ 9B のバッチ状況を転記済みに更新します。バッチ見出しレコードは、自動入金の検討プログラム (P03B121) を使って入金レコードを作成した場合のみ表示されます。
11. F0011 テーブルにバッチタイプ RB のバッチ見出しレコードを作成します。
12. F03B13 テーブルに入金見出しレコードを保存します。
13. F03B14 テーブルに対応する入金明細レコードを保存します。

---

注: 入金見出しの更新プログラムの実行後に請求書の自動突合せプログラム (R03B50) を実行するように処理オプションで設定することができます。

---

参照: 第 11 章、「自動入金処理」、「自動入金と請求書の自動突き合わせ」、322ページ

### (ARG) Uploading Automatic Receipts for Argentina

In addition to uploading information to the F03B13Z1 table, you must upload country-specific information about the receipts to the Receipt Header Argentine Tag File Batch Input - 03B table (F76A60Z1). To do this upload, create identically named versions of the Update Receipts Header program (R03B551) and the PO - Update Receipt Register from Electronic Input-AR - 03B program (R76A551D).

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、以下のタスクを実行しておく必要があります。

- 必要な売掛管理システムの AAI が設定されているかどうか確認します。

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理 AAI (自動仕訳) の設定」、25ページ

- 自動入金処理の設定を確認します。

## 入金見出しの更新プログラムの実行

[自動入金処理] メニュー (G03B13) から [入金明細の更新] を選択します。

## 入金見出しの更新 (R03B551) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

処理するレコードの値がブランクの場合の各フィールドのデフォルト値を指定します。

1. 元帳日付  
F03B13Z1 テーブルのレコードで日付が指定されていない場合のデフォルトの元帳日付を指定します。元帳日付が見つからない場合、レコードは処理されません。

- 2. ブランク元帳日付オプション** F03B13Z1 テーブルで日付が指定されておらず、処理オプションでも元帳日付が指定されていない場合に元帳日付として使用する日付を指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク:システム日付
- 1: 自動入金レコードのバッチ日付
- 3. 会社** F03B13Z1 のレコードで指定されていない場合のデフォルトの会社を指定します。会社番号が見つからない場合、レコードは処理されません。
- 4. 銀行勘定の略式 ID** F03B13Z1 のレコードで指定されていない場合のデフォルトの銀行勘定の略式 ID を指定します。
- 勘定科目マスター (F0901) のレコードで勘定科目に割り当てられている 8 桁の略式 ID を指定してください。たとえば、1.1110.BEAR の略式 ID は 00000108 です。
- 銀行勘定が見つからない場合、レコードは処理されません。
- 5. クラーク ID** F03B13 レコードの入力者として使用する担当者の ID を指定します。この ID を使用して、請求書の自動突合せプログラム (R03B50) のデータを選択し、処理する入金を指定することができます。
- ブランクの場合は、このプログラムを実行した担当者のユーザー ID が使用されます。
- 6. 住所番号** 入金の支払人が検索できなかった場合に使用する住所番号を指定します。銀行口座情報、請求書情報、または自動入金処理で指定した顧客番号から支払人の検索が行われます。この処理オプションをブランクにすると、支払人として使用する住所番号が検索できない場合は仮入金が作成され、入金入力プログラム (P03B102) 使って支払人を手動で入力する必要があります。
- 7. 受取手形勘定** 手形を総勘定元帳に転記する際に使用する受取手形勘定を指定します。標準の勘定科目コード形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で入力してください。ブランクの場合、AAI 項目 RD1x (x は顧客レコード (F03012) で指定されている支払手段) と関連する勘定科目コードが使用されます。
- 8. 手形満期日** 手形の満期日を指定します。ブランクの場合、入金日付が満期日となります。F03B13Z1 テーブルの入金日付フィールドがブランクの場合、入金日付と手形の満期日には元帳日付が使用されます。
- 9. 実行リスト** 顧客レコードに実行リストが指定されていない場合に、入金 (F03B13) に割り当てられる実行リストを指定します。この処理オプションがブランクで、顧客レコードに実行リストが設定されていない場合は、実行リストなしで入金レコードを作成します。
- 10. 未充当入金のデフォルト元帳クラス** 顧客レコード (F03012) の元帳クラスを未充当入金レコードの未充当元帳クラス フィールド (GLC) のデフォルト値として使用するかどうかを指定します。売掛金勘定は使用する元帳クラスに基づいて検索されます。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 顧客レコードの値を使用しない。
1. 顧客レコードの元帳クラスを使用する。顧客レコードに元帳クラスが設定されていない場合、UC がデフォルト値として使用されます。

## 処理

アップロードする入金のタイプおよび対応する仕訳の作成方法を指定します。

### 1. 手形のアップロード

入金レコードまたは手形レコードを作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入金レコード

1: 手形レコード

### 2. バッチ選択処理

全ての自動入金レコードを処理するか、アップロード状況が B の自動入金レコードのみ処理するかどうかを指定します。この処理オプションは、エラーとして処理された入金を再処理する場合に便利です。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 全ての自動入金レコードを処理する。

1: アップロード状況が B の電子入金レコードのみ処理する。

### 3. 仕訳の形式

入金バッチに対して 1 件の集計仕訳を作成するか、各入金に対してそれぞれ仕訳を作成するかを指定します。この処理オプションで設定した値は、F03B13 テーブルの売掛金転記フィールド (ISTR) に割り当てられます。転記プログラムはこの値を使って仕訳レコードを作成します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 集計仕訳を作成する。転記する入金バッチごとに、伝票タイプ RK の仕訳が 1 件作成されます。仕訳の伝票番号には入金のバッチ番号が割り当てられます。この方法を使用するためには、次のことを確認してください。

- 売掛管理固定情報の売掛金集計方式が B (バッチ モード) に設定されている。
- 一般会計固定情報の会社間決済オプションが 2 (詳細) に設定されている。
- バッチに外貨建てトランザクションが含まれていない。

上の 3 つの条件を満たしていない場合、仕訳は明細形式で作成されます。

1: 入金ごとに仕訳を作成する。バッチに含まれる入金ごとに、伝票タイプ RC の仕訳が作成されます。入金仕訳の伝票番号は、仕訳入力 (システム 09) の自動採番によって自動的に割り当てられます。

履歴を残すために、入金明細テーブル (F03B14) の次のフィールドは仕訳の情報で更新されます。

- 仕訳の伝票タイプ (RZDCTG)
- 仕訳の伝票番号 (RZDOCG)
- 仕訳の伝票会社 (RZKCOG)

## バージョン

請求書の自動突合せプログラム (R03B50) を自動的に実行するかどうかと、その際使用するバージョンを指定します。

**1. 請求書自動突合せプログラム (R03B50) の実行**

入金見出しの更新プログラムの終了時に、請求書の自動突合せプログラム (R03B50) を自動的に実行するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 請求書の自動突合せプログラム (R03B50) を自動的に実行しない。

1: 請求書の自動突合せプログラム (R03B50) を自動的に実行する。

---

注: blankにした場合、請求書の自動突合せプログラムは手動で実行する必要があります。

---

**2. 請求書自動突合せバージョン**

使用する請求書の自動突合せプログラム (R03B50) のバージョンを指定します。blankにすると、請求書の自動突合せプログラムのバージョン XJDE0001 が使用されます。

---

注: 請求書自動突合せプログラムの実行の処理オプションがblankの場合、この処理オプションは無視されます。

---

**更新**

入金見出しテーブル (F03B13) で特定の情報をどのように更新するかを指定します。

**1. 銀行口座情報**

自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) のレコードに指定された情報で、銀行/支店マスター (F0030) の銀行口座レコードを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: F0030 テーブルを更新しない。

1: F0030 テーブルを更新する。

**2. 銀行参照タイプ**

顧客または支払人の F0030 テーブルの銀行口座情報を更新するかどうかを指定します。この処理オプションが有効なのは、銀行口座情報の処理オプションに 1 を入力した場合のみです。有効値は以下のとおりです。

blank: 支払人の銀行/支店マスターのレコードを更新する。

C: 顧客の銀行/支店マスターのレコードを更新する。

**3. 請求書番号**

F03B13Z1 テーブルの支払人フィールドがblankで、F0030 テーブルでも支払人が見つからない場合に、売掛金元帳 (F03B11) から支払人を検索する順序を指定します。次の 5 つのフィールドで検索することができます。

- 請求書番号
- 受注オーダー番号
- 顧客参照
- 計算書番号
- 出荷番号

有効値は、blank、1、2、3、4、および 5 です。blankにしたフィールドは検索には使用されず、指定したその他のフィールドが使用されます。5 つのフィールドを全てblankにした場合、上記の順序で全ての番号を使って請求書が検索されます。

これらのフィールドで検索する前に、F03B13Z1 テーブルの顧客の銀行口座番号または銀行/支店コードを使って支払人が検索されます。銀行/支店

マスターで最初に支払人レコード (タイプ P) が検索され、次に顧客レコード (タイプ C) が検索されます。

F0030 テーブルで支払人が見つからず、伝票番号または汎用照合フィールドのどちらかに値がある場合、この処理オプションで指定されたフィールドを使って売掛金元帳から支払人が検索されます。たとえば、請求書番号を 1、受注オーダー番号を 4、顧客参照番号を 2、計算書番号を 3 にした場合、最初に伝票番号または汎用照合フィールドと請求書番号が照合されます。伝票番号と汎用照合フィールドのどちらも請求書番号と一致しない場合、次に顧客参照番号、計算書番号、受注オーダー番号の順に一致する番号が見つかるまで検索されます。

指定したフィールドを使って支払人番号が見つからない場合、または伝票番号と汎用照合フィールドがブランクの場合、F03B13Z1 の顧客番号が支払人として割り当てられます。

顧客フィールドがブランクの場合、デフォルト タブの処理オプション 6 (住所番号) の値が使用されます。

処理オプション 6 がブランクの場合、仮入金が作成され、支払人を手動で入力する必要があります。

### 受注オーダー番号

F03B13Z1 テーブルの支払人フィールドがブランクで、F0030 テーブルでも支払人が見つからない場合に、売掛金元帳テーブル (F03B11) から支払人を検索する順序を指定します。次の 5 つのフィールドで検索することができます。

- 請求書番号
- 受注オーダー番号
- 顧客参照
- 計算書番号
- 出荷番号

有効値は、ブランク、1、2、3、4、および 5 です。ブランクにしたフィールドは検索には使用されず、指定したその他のフィールドが使用されます。5 つのフィールドを全てブランクにした場合、上記の順序で全ての番号を使って請求書が検索されます。

これらのフィールドで検索する前に、F03B13Z1 テーブルの顧客の銀行口座番号または銀行/支店コードを使って支払人が検索されます。F0030 テーブルで最初に支払人レコード (タイプ P) が検索され、次に顧客レコード (タイプ C) が検索されます。

F0030 テーブルで支払人が見つからず、伝票番号または汎用照合フィールドのどちらかに値がある場合、この処理オプションで指定されたフィールドを使って F03B11 レコードから支払人が検索されます。たとえば、請求書番号を 1、受注オーダー番号を 4、顧客参照番号を 2、計算書番号を 3 にした場合、最初に伝票番号または汎用照合フィールドと請求書番号が照合されます。伝票番号と汎用照合フィールドのどちらも請求書番号と一致しない場合、次に顧客参照番号、計算書番号、受注オーダー番号の順に一致する番号が見つかるまで検索されます。

指定したフィールドを使って支払人番号が見つからない場合、または伝票番号と汎用照合フィールドがブランクの場合、F03B13Z1 テーブルの顧客番号が支払人として割り当てられます。

顧客フィールドがblankの場合、デフォルト タブの処理オプション 6（住所番号）の値が使用されます。

処理オプション 6 がblankの場合、仮入金が作成され、支払人を手動で入力する必要があります。

## 顧客参照

F03B13Z1 テーブルの支払人フィールドがblankで、F0030 テーブルでも支払人が見つからない場合に、売掛金元帳 (F03B11) から支払人を検索する順序を指定します。次の 5 つのフィールドで検索することができます。

- 請求書番号
- 受注オーダー番号
- 顧客参照
- 計算書番号
- 出荷番号

有効値は、blank、1、2、3、4、および 5 です。blankにしたフィールドは検索には使用されず、指定したその他のフィールドが使用されます。5 つのフィールドを全てblankにした場合、上記の順序で全ての番号を使って請求書が検索されます。

これらのフィールドで検索する前に、F03B13Z1 テーブルの顧客の銀行口座番号または銀行/支店コードを使って支払人が検索されます。F0030 テーブルで最初に支払人レコード (タイプ P) が検索され、次に顧客レコード (タイプ C) が検索されます。

F0030 テーブルで支払人が見つからず、伝票番号または汎用照合フィールドのどちらかに値がある場合、この処理オプションで指定されたフィールドを使って売掛金元帳から支払人が検索されます。たとえば、請求書番号を 1、受注オーダー番号を 4、顧客参照番号を 2、計算書番号を 3 にした場合、最初に伝票番号または汎用照合フィールドと請求書番号が照合されます。伝票番号と汎用照合フィールドのどちらも請求書番号と一致しない場合、次に顧客参照番号、計算書番号、受注オーダー番号の順に一致する番号が見つかるまで検索されます。

指定したフィールドを使って支払人番号が見つからない場合、または伝票番号と汎用照合フィールドがblankの場合、F03B13Z1 テーブルの顧客番号が支払人として割り当てられます。

顧客フィールドがblankの場合、デフォルト タブの処理オプション 6（住所番号）の値が使用されます。

処理オプション 6 がblankの場合、仮入金が作成され、支払人を手動で入力する必要があります。

## 計算書番号

F03B13Z1 テーブルの支払人フィールドがblankで、F0030 テーブルでも支払人が見つからない場合に、売掛金元帳 (F03B11) から支払人を検索する順序を指定します。次の 5 つのフィールドで検索することができます。

- 請求書番号
- 受注オーダー番号
- 顧客参照
- 計算書番号
- 出荷番号



有効値は、ブランク、1、2、3、4、および 5 です。ブランクにしたフィールドは検索には使用されず、指定したその他のフィールドが使用されます。5 つのフィールドを全てブランクにした場合、上記の順序で全ての番号を使って請求書が検索されます。

これらのフィールドで検索する前に、F03B13Z1 テーブルの顧客の銀行口座番号または銀行/支店コードを使って支払人が検索されます。F0030 テーブルで最初に支払人レコード (タイプ P) が検索され、次に顧客レコード (タイプ C) が検索されます。

F0030 テーブルで支払人が見つからず、伝票番号または汎用照合フィールドのどちらかに値がある場合、この処理オプションで指定されたフィールドを使って売掛金元帳から支払人が検索されます。たとえば、請求書番号を 1、受注オーダー番号を 4、顧客参照番号を 2、計算書番号を 3 にした場合、最初に伝票番号または汎用照合フィールドと請求書番号が照合されます。伝票番号と汎用照合フィールドのどちらも請求書番号と一致しない場合、次に顧客参照番号、計算書番号、受注オーダー番号の順に一致する番号が見つかるまで検索されます。

指定したフィールドを使って支払人番号が見つからない場合、または伝票番号と汎用照合フィールドがブランクの場合、F03B13Z1 テーブルの顧客番号が支払人として割り当てられます。

顧客フィールドがブランクの場合、デフォルト タブの処理オプション 6 (住所番号) の値が使用されます。

処理オプション 6 がブランクの場合、仮入金が作成され、支払人を手動で入力する必要があります。

## 出荷番号

F03B13Z1 テーブルの支払人フィールドがブランクで、F0030 テーブルでも支払人が見つからない場合に、売掛金元帳 (F03B11) から支払人を検索する順序を指定します。次の 5 つのフィールドで検索することができます。

- 請求書番号
- 受注オーダー番号
- 顧客参照
- 計算書番号
- 出荷番号

有効値は、ブランク、1、2、3、4、および 5 です。ブランクにしたフィールドは検索には使用されず、指定したその他のフィールドが使用されます。5 つのフィールドを全てブランクにした場合、上記の順序で全ての番号を使って請求書が検索されます。

これらのフィールドで検索する前に、F03B13Z1 テーブルの顧客の銀行口座番号または銀行/支店コードを使って支払人が検索されます。F0030 テーブルで最初に支払人レコード (タイプ P) が検索され、次に顧客レコード (タイプ C) が検索されます。

銀行/支店マスターで支払人が見つからず、伝票番号または汎用照合フィールドのどちらかに値がある場合、この処理オプションで指定されたフィールドを使って売掛金元帳 (F03B11) から支払人が検索されます。たとえば、請求書番号を 1、受注オーダー番号を 4、顧客参照番号を 2、計算書番号を 3 にした場合、最初に伝票番号または汎用照合フィールドと請求書番号が照合されます。伝票番号と汎用照合フィールドのどちらも請求書番号と一

致しない場合、次に顧客参照番号、計算書番号、受注オーダー番号の順に一致する番号が見つかるまで検索されます。

指定したフィールドを使って支払人番号が見つからない場合、または伝票番号と汎用照合フィールドがblankの場合、F03B13Z1 テーブルの顧客番号が支払人として割り当てられます。

顧客フィールドがblankの場合、デフォルト タブの処理オプション 6 (住所番号) の値が使用されます。

処理オプション 6 がblankの場合、仮入金を作成され、支払人を手動で入力する必要があります。

#### 4. 未決済金額

売掛金元帳 (F03B11) の手形請求書レコード (伝票タイプ R1) を未決済金額と共に作成するかどうかを指定します。この処理オプションによって、手形を年齢調べの対象とできるかどうかが決まります。未決済金額なしで手形を作成した場合、入金処理や年齢調べでその手形を選択することはできません。有効値は以下のとおりです。

blank: 未決済金額と共に手形請求書レコード (R1) を作成する。

1: 未決済金額なしで手形請求書レコード (R1) を作成する。

---

注: 処理タブの手形のアップロード処理オプションで 1 を設定した場合のみ、この処理オプションは使用されます。

---

## (ARG) Setting Processing Options for PO – Update Receipt Register from Electronic Input–AR – 03B (R76A551D)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### General

<b>Duplicated by Company</b>	Specify whether the system allows you to enter duplicate receipt numbers by company. Values are:  Blank: Do not allow duplicate receipt numbers by company. 1: Allow duplicate receipt numbers by company.
<b>Automatic Assignment</b>	Specify whether the system performs automatic assignment.
<b>Document Type</b>	Specify the document type for receipts.

---

## 自動入金と請求書の自動突き合わせ

このセクションでは、自動入金処理の概要と以下の処理について説明します。

- 請求書の自動突合せプログラムの実行
- 請求書の自動突合せ (R03B50) の処理オプションの設定

### 関連項目:

第 9 章、「入金処理」、「入金の承認および転記」、268 ページ

## 自動入金処理について

未充当入金、手形、仮入金を作成した後、請求書と突き合わせるために請求書の自動突合せプログラム (R03B50) を実行する必要があります。このプログラムは、実行リストで設定されたアルゴリズムと入金レコードの情報に基づいて、入金を請求書 (1 件または複数含まれるグループ) と突き合わせるために必要な情報を決定します。

請求書の自動突合せプログラムを実行すると、システムは次の処理を行います。

- 顧客レコードに実行リストが設定されている場合は顧客レコードから、設定されていない場合は処理オプションの値を使って入金見出しテーブル (F03B13) のレコードを更新します。
- 実行リストで最初に見つかったアルゴリズムのプログラム番号で入金レコードを更新します。
- 必要に応じて、対応する自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) の請求書情報を取り込み、既知請求書照合アルゴリズム (R03B50D または R03B50E) によって入金と請求書の突き合わせを実行します。
- 入金または手形レコードが転記済みの場合、新しいバッチを作成します。転記済みでない場合は元のバッチを再び未処理に戻します。
- エラーがある場合、エラー レポートを作成します。
- 入金レコードの入金状況フィールド (ASTA) を次のいずれかの値に更新します。
  - 1: 入金見出しの更新プログラム (R03B551) によって入金が作成された。
  - 2: 請求書の自動突合せプログラムが実行されたが、入金は請求書と突き合わされなかった。
  - 3: 入金は請求書と正しく突き合わされた。

プログラムによって入金と請求書の突き合わせが行われなかった場合、自動入金アップロード テーブルの情報を修正してもう一度自動的に処理するか、入金入力プログラムを使って手動で請求書と突き合わせることができます。

入金と請求書の突き合わせを行った後、その入金バッチを転記して総勘定元帳を更新する必要があります。

### 前期間に作成された入金の突き合わせ

未充当入金の元帳日付の期間が、請求書で指定された元帳日付の期間よりも前の場合、一般会計固定情報で PBCO (過去期間) 転記の許可オプションをオンにしない限り、請求書の自動突合せプログラムは入金と請求書の突き合わせを行いません。

参照: JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「一般会計システムのセットアップ」、「一般会計固定情報の設定」

### クレジット メモを含め、支払項目が複数ある請求書と入金の突き合わせ

支払項目が複数ある請求書に対する入金の場合、自動入金レコードで支払項目を指定する必要があります。そうしないと、最初の支払項目とのみ突き合わせが行われるため、再請求、損金、少額消込などの不要なレコードが作成される場合があります。

または、既知請求書照合 (金額あり) プログラム (R03B50D) のアルゴリズムの次に既知請求書突合せ (金額なし) プログラム (R03B50E) のアルゴリズムを含むよう実行リストを設定してください。支払項目を指定しなくても、システムは未決済請求書を検索して入金と突き合わせることができます。

参照: 第 5 章、「自動入金処理の設定」、「アルゴリズムについて」、78ページ

## 事前設定

実行するアルゴリズムの処理オプションが正しく設定され、システムが作成する少額消込、損金、再請求レコードに必要な理由コードが含まれていることを確認してください。

参照: 第 5 章、「自動入金処理の設定」、「アルゴリズムについて」、78 ページ

## 請求書の自動突合せプログラムの実行

[自動入金処理] メニュー (G03B13) から [請求書の自動突合せ] を選択します。

---

注: 入金見出しの更新プログラム (R03B551) の処理オプションのバージョン タブを設定すると、入金レコードを作成した後でこのプログラムを自動的に実行するよう指定することができます。

---

## 請求書の自動突合せ (R03B50) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

入金と請求書の突き合わせ方法を指定します。

#### 1. 実行リスト

顧客レコードまたは入金の実行リストが指定されていない場合に使用する、デフォルトの実行リストを指定します。使用する実行リストは次の順序で検索されます。

- 入金で指定された実行リスト
- 顧客レコードで指定された実行リスト
- 処理オプションで指定された実行リスト
- 上記の順で検索して見つからない場合、入金と請求書の突き合わせは行われません。

#### 2. 未充当入金のデフォルト元帳クラス

顧客レコード (F03012) の元帳クラスを未充当入金レコードの未充当元帳クラス フィールド (GLC) のデフォルト値として使用するかどうかを指定します。売掛金勘定は使用する元帳クラスに基づいて検索されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 顧客レコードの値を使用しない。

1: 顧客レコードの元帳クラスを使用する。顧客レコードに元帳クラスが設定されていない場合、UC がデフォルト値として使用されます。

### 処理

手形や手入力による入金、前回処理されなかった自動入金を処理するかどうかを指定します。

#### 1. 手形処理

手形レコードと入金レコードのどちらを選択するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 入金レコード

1: 手形レコード

## 2: 入金処理

入金入力プログラム (P03B102) またはスピード入金入力プログラム (P03B0001) のいずれかで手入力された未充当入金を処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 自動入金プログラムで作成された入金のみ処理する。

1: 作成したプログラムにかかわらず全ての入金を処理する。この処理オプションを 1 に設定した場合、自動入金を処理するために顧客レコードを設定する必要があります。

## 3: 未照合入金の処理

このプログラムを前回実行したときに正常に突き合わせられなかったために作成された未充当入金を処理するかどうかを指定します。入金を自動的に突き合わせることができない場合、自動入金状況フィールド (ASTA) は 2 に更新されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 自動入金状況が 2 のレコードを処理しない。

1: 自動入金状況が 2 のレコードを処理する。

---

# 自動入金の検討、改訂、および追加

このセクションでは、自動入金の検討プログラムの概要と以下の方法について説明します。

- 自動入金の検討および改訂
- 自動入金の追加
- バッチのアップロード状況の変更

### 関連項目:

付録 B, 「自動入金処理のためのフィールドのマッピング」, 703 ページ

## 自動入金の検討プログラムについて

システムには、必要に応じて F03B13Z1 テーブルのレコードを照会、修正したり、レコードを追加する機能が備わっています。次のような理由で自動入金レコードの修正や追加が必要になる場合があります。

- 入金見出しの更新プログラム (R03B551) の実行時に、F03B13 テーブルにレコードを作成するために必要な情報が銀行テープになかった。
- 銀行テープから入金情報のアップロード中に起きた停電などの問題により、入金レコードが見つからない。
- 既知請求書照会プログラム (R03B50D および R03B50E) のアルゴリズムによって取り込まれた請求書情報が正しくない。
- 除去プログラムで削除対象となるようにレコードの状況を更新する必要がある。たとえば、F03B13Z1 テーブルで重複するレコードがある場合や、データが壊れている場合など。
- 誤って処理したレコードのバッチの状況を更新する必要がある。

自動入金の検討プログラムを使って、F03B13Z1 テーブルのレコードを修正したり、新しいレコードを追加することができます。

自動入金を修正する場合、バッチ番号、バッチ日付、入金番号は変更できません。

自動入金を修正または追加した後、システムによって適切なテーブルに適切なレコードが作成されるように、それら进行处理する必要があります。アプリケーションには必要なプログラムを直接実行できる [フォーム] メニューがあります。

## 未充当入金

処理が正常に完了しなかった入金レコード (未充当入金レコードは作成されたが請求書突合せは実行されていない) を再度処理するには、最初に次のことを行ってください。

- 入金入力プログラムを使って未充当入金を削除します。
- 自動入金レコードを修正します。
- アップロード状況フィールドをブランクまたは B に変更します。

参照: 第 11 章、「自動入金処理」、「バッチのアップロード状況の変更」、329 ページ

## 顧客番号の変更

指定した銀行口座情報から取り込まれた支払人番号と異なる顧客番号を入力し、(請求書の伝票番号または汎用照会フィールドのいずれかを使って) 請求書情報を指定した場合、システムが作成する入金レコードには顧客番号ではなく支払人番号が割り当てられます。

請求書情報を指定しない場合は、支払人番号ではなく顧客番号が割り当てられます。

## 自動入金の削除

自動入金レコードを削除しても、その入金番号の全てのレコードが削除されるわけではありません。このため、自動入金レコードを削除した場合は、システムが入金を突き合わせるためにその他のレコードの変更が必要になることもあります。

たとえば、入金 444 が 2 件の請求書に対する支払の場合、[自動入金入力の処理] フォームには 2 件のレコードが表示されます。入金額は最初のレコードにのみ入力するため、最初のレコードを削除した場合、入金額を含めるよう 2 件目のレコードを修正する必要があります。

## 自動入金の照会、改訂、および追加に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[自動入金入力の処理]	W03B121A	[自動入金処理] (G03B13)、 [自動入金の検討]	F03B13Z1 テーブルのレコードを検索および削除します。
[自動入金の改訂]	W03B121C	[自動入金入力の処理] フォームで、検討する入金を選択して、[選択] をクリックします。	F03B13Z1 テーブルの自動入金レコードを改訂します。
[自動入金入力]	W03B123A	[自動入金入力の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	F03B13Z1 テーブルに自動入金レコードを追加します。
[自動入金状況の改訂]	W03B124A	[自動入金入力の処理] フォームで、[フォーム] メニューから [入金状況の改訂] を選択します。	バッチのアップロード状況を変更します。
Automatic Receipt Entry – ARG	W76A03B0A	On the Work With Electronic Receipts Input form, select a receipt in the detail area, and then select Regional Info from the Row menu.  You must have the Localization Country Code in user preferences set to AR (Argentina) to access this form.	Review and revise country-specific receipt information for Argentina.

## 自動入金の検討および改訂

[自動入金の改訂] フォームにアクセスします。

**自動入金の検討 - 自動入金の改訂**

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

バッチNo. 
 バッチ日付 
 入金No.

**入金見出し情報**

入金日付 
 備考

顧客No. 
 Global Enterprises
 アップロード状況

会社 
 Financial Distribution Company

入金額 
 元帳日付

銀行勘定科目 
 Bear Creek National Bank

支払人口座番号 
 支払人銀行

通貨コード 
 為替レート 
 通貨モード

**突合せ情報**

伝票会社 
 伝票タイプ 
 請求書No. 
 支払項目 
 計算書No.

汎用照合フィールド 
 参照 
 消込金額

[自動入金の改訂] フォーム

## 自動入金の追加

[自動入金入力] フォームにアクセスします。

**自動入金の検討 - 自動入金入力**

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

会社  Financial Distribution Company
 バッチNo.

元帳日付 
 バッチ日付

備考 
 支払手段

銀行勘定科目 
 Bear Creek National Bank

予定金額 
 合計残高

**レコード 1 - 2** グリッドのカスタマイズ

	トランザクション No.	行No.	入金 No.	顧客 No.	通貨 コード	入金 総額
<input checked="" type="radio"/>	159		1005	3001	EUR	5600
<input type="radio"/>						

[自動入金入力] フォーム

複数の請求書に対する入金の場合、最初の行のみの [入金総額] フィールドに入力してください。たとえば、次のようになります。



トランザクション No.	行 No.	入金 No.	顧客 No.	入金総額	伝票タイプ	伝票 No.	請求書金額
123	1	456	4343	800	RI	4455	400
123	2	456	4343		RI	4456	300
123	3	456	4343		RI	4457	100

結果:入金見出しテーブル (F03B13) には金額“800”のレコードが 1 件作成されます。

マイナスの金額は入力しないでください。マイナスの金額は請求書と突き合わせるできません。

- [予定金額]** 入金予定の金額を入力します。
- [トランザクション No.]** トランザクションを特定する番号を入力します。
- [入金総額]** 入金の実績金額を入力します。
- [通貨コード]** 入金の通貨コードを入力します。ブランクの場合、フォームの見出しに入力した会社の通貨コードが割り当てられます。
- [行 No.]** EDI トランザクションの開始時に割り当てる行番号を入力します。この番号は、オーダー行番号 (どのオーダー タイプにも使用できる)、請求書の支払項目、仕訳行番号などを表すことができます。
- [伝票タイプ]** 既知請求書突合せアルゴリズムを使用する場合、請求書の伝票タイプを入力します。
- [伝票 No.]** 既知請求書照合アルゴリズムを使用する場合、請求書の伝票番号を入力します。
- [消込総額]** 既知請求書照合 (金額あり) アルゴリズムを使用する場合、支払対象となる請求書の金額を入力します。
- [計算書 No.]** このフィールドにどのような値を入力しても無視されます。計算書番号を使って請求書突合せを行うには、[汎用照合] フィールドに値を入力してください。
- [支払人銀行]** 入金決済を管理するため連邦準備制度により特定の銀行へ割り当てられる番号を表します。
- [支払人口座番号]** 会社、顧客、または仕入先の銀行口座番号を識別するために銀行別に割り当てられた番号を表します。

---

注: Nordic users: Enter the bank, Bankgiro, or Postgiro account number.

---

## バッチのアップロード状況の変更

[自動入金状況の改訂] フォームにアクセスします。

1. [自動入金状況の改訂] で、[バッチ No.] と [バッチ日付] フィールドに値を入力して、[検索] をクリックします。

アップロード状況がブランク (未処理)、E (エラー)、Y (アップロード済み) のいずれかのバッチのみ表示されます。

2. アップロード状況を変更するレコードを含むバッチを選び、[状況をアップロードに設定] または [状況を除去に設定] のいずれかのオプションをクリックして、[選択] をクリックします。

選択したバッチにはチェックマークが表示されます。選択を解除するにはもう一度 [選択] をクリックしてください。

3. [閉じる] をクリックします。
4. 適切な出力オプションを指定して [OK] をクリックします。

更新されなかったレコードを示すレポートが作成されます。レポートがブランクの場合、バッチ内の全てのレコードは指定したアップロード状況に更新されています。

**[状況をアップロードに設定]** このオプションを選択するとアップロード状況が B に変更されます。

**[状況を除去に設定]** このオプションを選択するとアップロード状況が Y に変更されます。

---

## 自動入金と請求書の手動突き合わせ

請求書の自動突合せプログラムで入金レコードの突き合わせが行われなかった場合、入金入力プログラムを使って手動で入金と請求書を突き合わせることができます。入金を自動的に突き合わせることができない場合、自動入金状況フィールド (ASTA) は 2 に更新されます。これらの入金のみ検索するには、[入金照会] フォームで QBE の [入金状況] フィールドに 2 を入力して [検索] をクリックします。そして、未充当入金と請求書を突き合わせるステップに従います。

参照: 第 11 章、「自動入金処理」、「バッチのアップロード状況の変更」、329 ページ

---

## 自動入金の除去

このセクションでは、自動入金プログラムの概要と以下の方法について説明します。

- 自動入金の除去プログラムの実行
- 自動入金の除去 (R03B0041A) の処理オプションの設定

### 自動入金の除去プログラムについて

処理時間の短縮とディスクスペースの節約のために、銀行から売掛管理システムに転送した入金レコードを削除してください。処理オプションで除去するレコードを指定できます。

このプログラムを実行すると、F03B13Z1 テーブルからのみレコードが除去されます。

---

**重要:** 正常に処理された入金レコードのみ削除するよう処理オプションが設定されていることを確認してください。正常に処理された入金レコードは、アップロード状況フィールド (RUEUPS) が Y になっています。処理オプションを正しく設定しないと、請求書と突き合わせていない入金レコードが削除されてしまう場合があります。

---

除去処理が完了した後、関連テーブルを最適化してインデックスを再作成することができます。この処理の詳細については、データベース管理者に問い合わせてください。

## 自動入金の除去プログラムの実行

[自動入金処理] メニュー (G03B13) から [自動入金の除去] を選択します。

## 自動入金の除去 (R03B0041A) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

この処理オプションは、アップロード状況フィールド (EUPS) が Y になっている場合にのみ除去するレコードを指定します。

#### 1. レコードの除去

現在のアップロード状況にかかわらず、入力したデータ選択に基づいて F03B13Z1 テーブルのレコードを除去するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: アップロード状況フィールド (EUPS) が Y になっている場合にのみ、データ選択で指定されたレコードを除去します。

1: アップロード状況フィールドの値にかかわらず、データ選択で指定されたレコードを除去します。



## 第 12 章

# 受取手形の処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章は、受取手形、受取手形のタイプ、受取手形の処理ステップ、および手形処理と総勘定元帳の概要と、以下の方法について説明します。

- 手形の振り出し
- (ESP) Originate drafts for Spain
- (ESP) Reprint drafts
- 手形の受取
- 受取手形の承認と転記
- 手形の改訂、削除、および無効化
- 手形の取立
- 手形の残高不足 (NSF) 指定
- 手形の回収
- (Rapid Start FRA) Processing Accounts Receivable Drafts

### 関連項目:

第 4 章、「受取手形の設定」、63ページ

---

## 受取手形について

手形は、支払人の取引銀行と受取人の取引銀行との間で直接決済される支払手段です。ほとんどの国で、手形は債務に対する支払約束を意味します。支払義務を履行するために手形を使用する場合、基本的な債務に関する法的要件を満たす必要があります。このため、手形はそれ以外の支払および債務とは分けて分類、管理、レポート作成を行う必要があります。手形は、国によって取扱方法が違う場合がありますが、多くの国で債務の支払手段や債権の回収手段として広く使用されています。

手形は、自社側が振り出すことも顧客側が振り出すこともできます。どちらの場合もシステムに手形を入力 (手形の受取とも呼びます) し、手形代金を回収するために手形を銀行に持ち込み、回収したらそれを記録する必要があります。手形は、満期日より前に割り引いて現金化したり、偶発債務として計上することができます。

## (JPN) 日本における受取手形の処理

日本では、銀行によって全ての手形に手形番号が割り当てられます。手形についてのあらゆる照会は、銀行が割り当てたこの番号を使って行われます。手形に関する全てのレポートには、手形番号を記載することが義務付けられています。

銀行によって割り当てられる手形番号は英数字のコードで、このソフトウェアによって生成されるものではありません。この番号は手動で入力および変更することができます。また、システム内でこの番号を使って手形を照会することもできます。

手形番号は参照フィールドに入力します。参照フィールドは英数字フィールドで、ブランクや特殊文字、ピリオドやカンマを入力することはできません。

参照フィールドは次のプログラムにあります。

- 手形入力 (自社) (P03B602)
- 手形入力 (顧客) (P03B602)
- 手形の照会 (P03B602)
- 受取手形の取立 (磁気テープ フォーマット) プログラム (R03B672T)

参照フィールドを表示するには、手形を検索して [選択] をクリックします。[手形入力] フォームで、[フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。

## (ITA) Accounts Receivable Draft Processing in Italy

The PeopleSoft EnterpriseOne system provides country-specific draft remittance formats for Italy. To process accounts receivable drafts in Italy, use the standard accounts receivable draft process, using the Italy-specific remittance formats.

## (ESP) Accounts Receivable Draft Processing in Spain

The PeopleSoft EnterpriseOne system provides country-specific functionality for draft origination and draft remittance in Spain. To process accounts receivable drafts in Spain, perform these steps:

1. Set up the Accounts Receivable base software for drafts, and also use the Maintenance of Stamp Fees program (P74S505) to set up fees for draft stamps for Spain.
2. Use Spain-specific programs to group invoices and print drafts.
3. Use the standard Accounts Receivable software to accept drafts.
4. Use Spain-specific programs to remit drafts.
5. Use the standard Accounts Receivable software to collect drafts.

---

## 受取手形のタイプについて

手形の各タイプは、特定の支払手段に対応しています。各タイプは次のような 2 つのカテゴリに分けられます。

## 手入力手形

手入力手形は、銀行に持ち込む前に顧客が引き受ける必要があることから、顧客引受手形とも呼ばれます。次のタイプの手入力手形が使用できます。

- 自社が銀行口座情報を明記して手形を印刷する。
- 自社が銀行名のみを明記して手形を印刷する。
- 顧客が銀行口座情報を明記して手形を印刷する。
- 顧客が銀行名のみを明記して手形を印刷する。

銀行名のみが明記されている手形と銀行口座情報が明記されている手形は区別されます。これは、口座情報がない手形の決済には追加の手数料がかかることが多いためです。

## 自動手形

自動手形は、顧客が引き受ける必要がないことから、事前承認手形とも呼ばれます。自社と顧客との間で、顧客側が手形を使用して支払う旨を事前に同意します。

# 受取手形の処理ステップについて

手形は、さまざまな処理ステップが必要な支払手段です。各ステップでは、紙や電子データのレコードが作成されるだけでなく、ステップごとに仕訳も作成されます。

## 手形の振り出し

手形処理は、自社または顧客が手形を振り出す（印刷する）ところから開始します。手形には、支払金額や満期日、銀行情報の他、特定の債務（請求書）に関する情報などが記載されます。

手形は、手形付きの請求書または手形付きの計算書を印刷することによって作成します。顧客によっては、請求書ごとに手形を要求することもあるが、複数の請求書をまとめた計算書に対して 1 枚の手形を要求する場合があります。手形は、請求書か計算書に添付して送ることができます。

このステップにより、売掛金元帳の手形番号（計算書番号）が更新されますが、総勘定元帳はこの影響を受けません。

次の表は手形の振り出し処理の結果を示しています。この場合、計算書を作成すると売掛金元帳（F03B11）に請求書レコードが作成されます。顧客が手形を作成した場合は、このステップを省略できます。

顧客番号	伝票タイプ	伝票番号	伝票金額	計算書番号
7001	RI	1234	10,000	10005

## 手形の受取

顧客が手形を引き受けた後で手形を入力します。顧客が引き受けるまでは手形に法的効力はありません。手形の引受が完了すると、請求書の状況が変更されます。手形の取扱は、国ごとに若干異なる場合があります。

手入力手形の場合に顧客による手形の引受を得る際、顧客側は次の方法を使用して手形を引き受けることができます。

- ・ 自社が振り出した手形に署名して返送する。
- ・ 自社が振り出した手形の日付、金額、銀行などを変更し、署名して返送する。
- ・ 顧客自身が振り出して署名した手形を自社に送付する。

自動手形の場合は、事前に引受の合意が成立しているため、顧客による手形の引受けを得る必要はありません。

手形の受取には、システムでの手形入力も含まれます。手動で手形を処理する場合、手形を入力して適切なレコードを作成します。手形を自動的に処理する場合は、適切な手形レコードがシステムによって作成されます。

手形を手動で作成するか自動的に作成するかにかかわらず、システムでは次の処理が行われます。

- ・ 入金見出しテーブル (F03B13) と入金明細テーブル (F03B14) にレコードが作成されます。
- ・ 請求書の支払状況が P (支払済み) に変更されます。
- ・ F03B11 テーブルに請求書レコード (伝票タイプ R1) が作成されます。

次の表は F03B11 テーブルにおける手形の受取処理の結果を示しています。

顧客番号	伝票タイプ	伝票番号	伝票金額	支払状況	支払手段
7001	RI	1234	10,000	P	2
7001	R1	10005	10,000	D	2

手形を入力したら、それを総勘定元帳に転記する必要があります。手形を転記すると、(借) 受取手形勘定 / (貸) 売掛金勘定の仕訳が作成されます。

## 手形の取立 (任意)

手形の取立は次のステップで実行します。

- 顧客の銀行から手形代金を回収するために、取引銀行に手形を持ち込み (預け入れ) ます。手形の持ち込みは、電子的に処理する他、手形登録明細などのような用紙を使って処理することができます。手形を持ち込むと、手形請求書レコード (伝票タイプ R1) の支払状況は G に更新されます。

次の表は売掛金元帳における手形の取立処理の結果を示しています。

顧客番号	伝票タイプ	伝票番号	伝票金額	支払状況	支払手段
7001	R1	10005	10,000	G	2

- 次の仕訳が自動的に作成されます。この仕訳は転記する必要があります。
  - ・ (借) 取立手形 / (貸) 受取手形
  - ・ (借) 割引取立手形 / (貸) 受取手形 - 割引手形として持ち込んだ場合
  - ・ (借) 割引取立手形、銀行勘定 / (貸) 受取手形、偶発債務 - 偶発債務を伴う手形として持ち込んだ場合
- 次のいずれかの方法で手形代金の回収を行う手配をします。
  - ・ 手形の満期日まで待つ。



- 手形を満期日前に銀行に持ち込んで現金化する。一般に、満期日前に銀行から手形代金の支払を受けた場合、手数料が請求されます。

注: 国によって、手形の持ち込みは任意のプロセスです。

## 手形の回収

手形の回収は次のステップで実行します。

1. 手形の満期日に、取引銀行によって顧客の銀行から手形代金が回収されます。回収不能の場合は取引銀行から連絡を受けます。
2. 満期日が到来したら、自社と顧客の両方で資金の移動を計上します。手形の回収を処理するプログラムを実行すると、手形請求書レコードの支払状況は回収済みに更新されます。

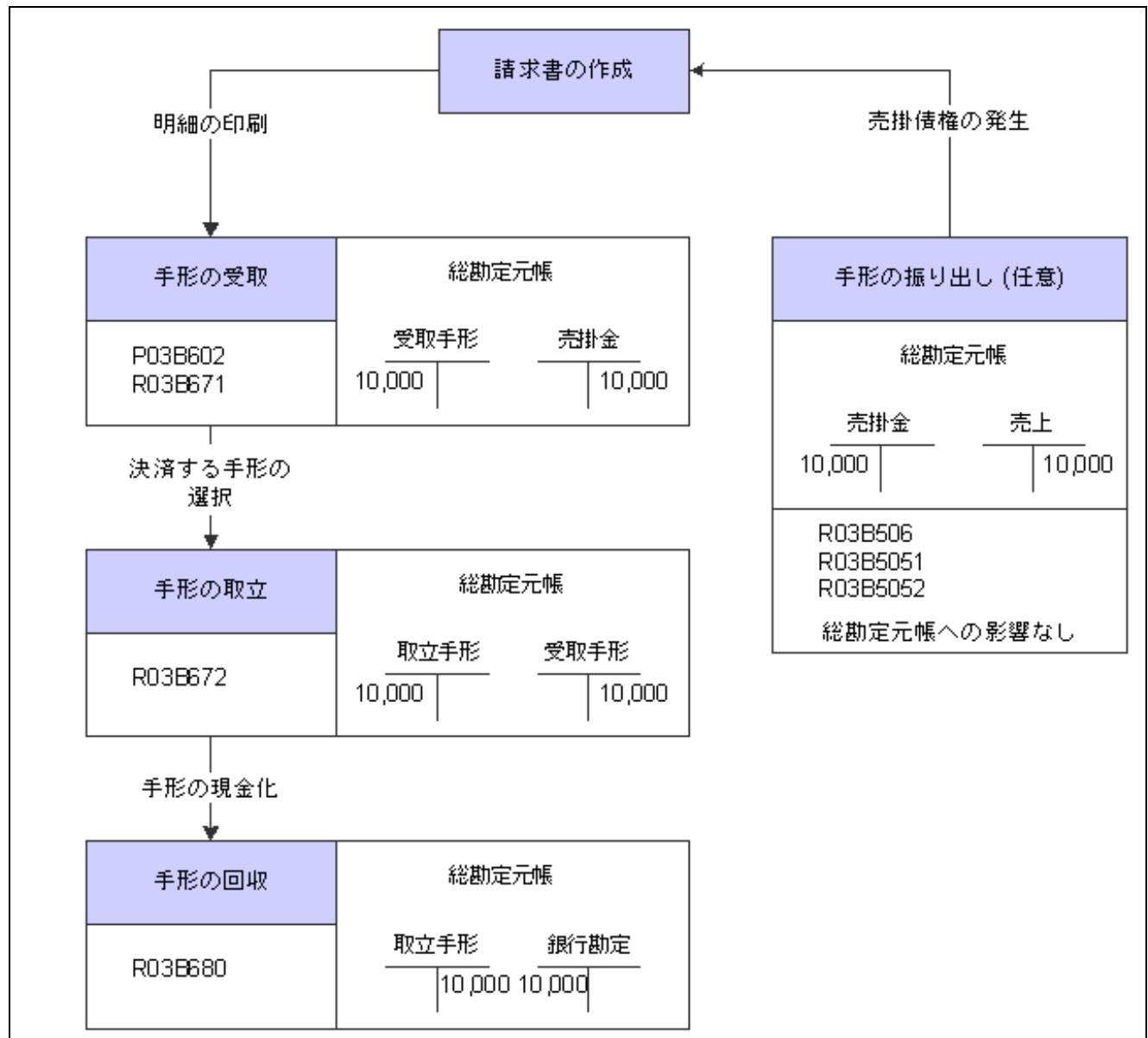
次の表は F03B11 テーブルにおける手形の回収処理の結果を示しています。

顧客番号	伝票タイプ	伝票番号	伝票金額	支払状況	支払手段
7001	R1	10005	10,000	P	2

3. 次の仕訳が自動的に作成されます。この仕訳は転記する必要があります。
  - (借) 銀行勘定 / (貸) 取立手形
  - (借) 銀行勘定 / (貸) 割引取立手形 - 割引手形として持ち込んだ場合
  - (借) 偶発債務 / (貸) 割引取立手形 - 偶発債務を伴う手形として持ち込んだ場合

## 手形処理と総勘定元帳について

次の図は、手形処理の各段階における総勘定元帳への影響を示しています。



手形処理の総勘定元帳への影響

## 手形の振り出し

このセクションでは、手形付き請求書、手形付き計算書、および手形の支払期日別計算書の概要と共に、事前設定と以下の方法について説明します。

- 手形付き請求書の印刷
- 請求書の印刷 (手形あり) (R03B5051) のデータ選択とデータ順序の設定
- 請求書の印刷 (手形あり) (R03B5051) の処理オプションの設定
- 手形付き計算書の印刷
- 計算書データの再作成 (R03B500X) のデータ選択とデータ順序の設定

- 計算書データの再作成 (R03B500X) の処理オプションの設定
- 計算書の印刷 (手形あり) (R03B506) の処理オプションの設定
- 支払期日別手形計算書の印刷

**注:** 手形のデフォルト形式は、フランス銀行協会の形式に準拠します。その他の国では、その国ごとの仕様に従って形式を変更することが必要な場合があります。

## 手形付き請求書について

手形を添付して請求書やクレジット メモを印刷するには、請求書印刷 (手形あり) (R03B5051) プログラムを使用します。各バージョンを選択して、延滞利息金や再請求のみを印刷することもできます。

手形と共に請求書を印刷すると、請求書には手形番号が割り当てられ、請求書レコードの計算書番号フィールド (CTL) がこの番号に更新されます。添付の手形には、顧客の銀行口座番号と手形番号が印刷されます。

このプログラムでは、F03B11 テーブルのレコードが印刷、更新されます。

## 手形付き計算書について

1 つの手形にまとめられた請求書を含む計算書を印刷するには、手形処理用に設定された計算書データの再作成プログラム (R03B500X) のバージョンを使用します。

手形を含む計算書を印刷すると、計算書には手形番号が割り当てられ、請求書レコードの計算書番号フィールド (CTL) が更新されます。添付の手形には、顧客の銀行口座番号と手形番号が印刷されます。

このプログラムでは、F03B11 テーブルのレコードが印刷、更新されます。

## 支払期日別手形計算書について

1 つの手形にまとめられた請求書を含む計算書を印刷するには、手形処理用に設定された計算書データの再作成プログラムのバージョンを使用します。手形を含む計算書を印刷すると、計算書には手形番号が割り当てられ、請求書レコードの計算書番号フィールド (CTL) が更新されます。

処理オプションを使用して、計算書に印刷する請求書を支払期日別に選択することができます。これにより、支払期日と通貨コード別の各請求書グループに対して新しい計算書が作成されます。手形の計算書には銀行手形コードと顧客の銀行口座番号が印刷され、必要に応じて手形番号も印刷されます。

F03B11 テーブルのレコードが更新されます。

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 手形を含む請求書を印刷するには、[顧客マスターの改訂] フォームの [請求書] タブで、手形を含む請求書に請求先と住所を印刷するための正しい値が [請求書送付先] フィールド (SITO) に設定されていることを確認してください。
- 手形を含む計算書を印刷するには、次の処理を実行してください。
  - [顧客マスターの改訂] フォームの [回収] タブで、手形を添付して計算書を印刷する各顧客の [計算書の印刷] チェック ボックスをオンにしてください。
  - 計算書データの再作成プログラム (R03B500X) の処理オプションで、手形の印刷オプションを有効に設定し、印刷プログラム オプションを手形付き計算書印刷プログラム (R03B506) に指定してください。

## 手形付き請求書の印刷

[手形日次処理] メニュー (G03B161) から [請求書の印刷(手形あり)] を選択します。

### 請求書の印刷 (手形あり) (R03B5051) のデータ選択とデータ順序の設定

顧客レコードに支払手段を割り当てる場合、データ選択を使って特定の支払手段の請求書レコードのみを選択することができます。たとえば、“支払手段 = (等しい) D (請求書別手形)”と設定すると、通常の支払手段として手形を使用している顧客の請求書のみが選択されます。

データ順序は、次のように設定する必要があります。

- 会社
- 住所番号
- 伝票番号 (伝票、請求書など)
- 伝票タイプ
- 伝票会社
- 支払項目

この順序を変更すると、合計が正しく計算されません。

### 請求書の印刷 (手形あり) (R03B5051) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

#### 印刷

使用する日付と、税額を請求書に印刷するかどうかを指定します。

1. 請求書印刷日付      請求書に印刷する日付を指定します。空白にした場合、システム日付が使用されます。
2. 税額の印刷      請求書に税額を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 税額を印刷しない。  
1: 税額を印刷する。

#### 通貨

請求書に通貨情報を印刷するかどうかを指定します。

1. 通貨の印刷      金額を国内通貨と外貨のどちらで請求書に印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 通貨コードなしで国内通貨で印刷する。  
1: 通貨コードと共に外貨で印刷する。

#### 添付

関連する汎用テキストを請求書に印刷するかどうかを指定します。

### 1. 添付の印刷

請求書レコードの汎用テキスト(添付ファイル)を請求書に印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:汎用テキストを印刷しない。

1: 汎用テキストを印刷する。

### 手形(市)

請求書の発行元の市を指定します。

#### 1. 手形に印刷する市町村

手形に印刷する市町村を指定します。この処理オプションをブランクにすると、手形に市町村は印刷されません。

## 手形付き計算書の印刷

[手形日次処理]メニュー(G03B161)から[計算書の印刷(手形あり)]を選択します。

## 計算書データの再作成(R03B500X)のデータ選択とデータ順序の設定

顧客レコードに支払手段を割り当てる場合、データ選択を使って特定の支払手段の請求書レコードのみ選択することができます。たとえば、“支払手段=(等しい)F(計算書別手形)”と設定すると、通常の支払手段として手形を使用している顧客の請求書のみが選択されます。

データ順序は、次のように設定する必要があります。

- 代替受取人番号
- 会社
- 通貨コード
- 住所番号
- 伝票番号(伝票、請求書など)
- 伝票タイプ
- 伝票会社
- 支払項目

この順序を変更すると、計算書の合計が正しく計算されません。

## 計算書データの再作成(R03B500X)の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 集計

顧客に対して、全ての会社のレコードを含んだ計算書を作成するか、会社別の計算書を作成するかを指定します。

#### 1. 会社

送付先住所の検索に使用する会社を入力します。請求書でその会社が指定されているかどうかにかかわらず、ここで指定した会社の各顧客に対して1件の計算書が作成されます。会社固定情報の年齢調べ設定を使用するように指定した場合、送金先処理オプションおよび年齢調べの設定に基づいて、指定した会社番号から送付先住所が検索されます。

この処理オプションをblankにすると、各顧客に対して会社別に 1 件ずつ計算書が作成されます。たとえば、会社 00001、00020、00050 の顧客に対する請求書を入力した場合、3 件（会社ごとに 1 件）の計算書が作成されます。

## 年齢調べ

計算書の経過日数の計算方法を指定します。

### 1. 会社固定情報

売掛管理固定情報から年齢調べの設定と計算書日付を取得するかどうかを指定します。この処理オプションをblankにすると、年齢調べ設定の処理オプション [計算書日付]、[日付タイプ]、年齢調べカテゴリを使って年齢調べが行われます。有効値は以下のとおりです。

blank: 処理オプション 2 ~ 10 を使用する。

1: 売掛管理固定情報を使用する。

### 2. 計算書日付

未決済の請求書を割り当てる年齢調べカテゴリの決定に使用する日付を指定します。入力した日付と請求書の日付 ([日付タイプ] 処理オプションで指定した日付) が比較され、請求書の延滞日数が計算されます。この日付が計算書の計算書日付として出力されます。

この処理オプションをblankにすると、未決済請求書の年齢調べにはシステム日付が使用されます。

### 3. 日付タイプ

年齢調べカテゴリの決定に使用する請求書の日付を指定します。ここで指定した日付と [計算書日付] 処理オプションの値を比較して、請求書の延滞日数計算されます。有効値は以下のとおりです。

D: 請求書の支払期日を使用する。

I: 請求書日付を使用する。

G: 元帳日付を使用する。

S: 計算書日付を使用する。

### 4. 年齢調べカテゴリ

請求書の割り当てに使用する年齢調べカテゴリを指定します。[計算書日付] 処理オプションで指定した日付と [日付タイプ] 処理オプションで指定した値を使用して各請求書の経過日数が計算され、それらの請求書がここで指定した年齢調べカテゴリに割り当てられます。有効値は以下のとおりです。

1: 経過日数。[年齢調べカテゴリ 1] から [年齢調べカテゴリ 6] 処理オプションで指定された年齢調べカテゴリに請求書が割り当てられます。年齢調べカテゴリには、自由に日数を設定することができます。

2: 会計期間。会社の会計期間パターンで定義されている会計期間が年齢調べカテゴリとして使用されます。

3: カレンダー。各カレンダー月が年齢調べカテゴリとして使用されます。

blank の場合、デフォルト値 1 (経過日数) が使用されます。

### 5. 年齢調べカテゴリ 1

ここで指定する値と [年齢調べカテゴリ 2] オプションで指定する値を組み合わせ、計算書に印刷する将来および現行の年齢調べカテゴリの間隔が決定します。

- 6. 年齢調べカテゴリ 2**      ここで指定する値と、[年齢調べカテゴリ 1] オプションおよび [年齢調べカテゴリ 3] オプションで指定する値とを組み合わせ、計算書に印刷する現行および 1 番目の年齢調べカテゴリの間隔が決定します。
- 7. 年齢調べカテゴリ 3**      ここで指定する値と、[年齢調べカテゴリ 2] オプションおよび [年齢調べカテゴリ 4] オプションで指定する値とを組み合わせ、計算書に印刷する 1 番目と 2 番目の年齢調べカテゴリの間隔が決定します。
- 8. 年齢調べカテゴリ 4**      ここで指定する値と、[年齢調べカテゴリ 3] オプションおよび [年齢調べカテゴリ 5] オプションで指定する値とを組み合わせ、計算書に印刷する 2 番目と 3 番目の年齢調べカテゴリの間隔が決定します。
- 9. 年齢調べカテゴリ 5**      ここで指定する値と、[年齢調べカテゴリ 4] オプションおよび [年齢調べカテゴリ 6] オプションで指定する値とを組み合わせ、計算書に印刷する 3 番目と 4 番目の年齢調べカテゴリの間隔が決定します。
- 10. 年齢調べカテゴリ 6**      ここで指定する値と [年齢調べカテゴリ 5] オプションを組み合わせ、計算書に印刷する 4 番目および 5 番目の年齢調べカテゴリの間隔が決定します。
- 11. マイナス金額**      年齢調べの設定に従ってクレジット メモの年齢調べを行うか、マイナス金額を現行年齢調べカラムに適用して計算書に印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
     ブランク: マイナス金額の年齢調べを行う。  
     1: マイナス金額を現行年齢調べ残高に適用する。
- 12. 将来金額を除外**      将来の請求金額が計算書に印刷されないようにするかどうかを指定します。請求書の金額が将来のものかどうかは、売掛管理固定情報または処理オプションの年齢調べの設定によって判断されます。たとえば、支払期日に基づいて請求書の年齢調べを行い、2005 年 6 月 30 日付けの計算書を作成するとします。この場合、支払期日が 2005 年 6 月 30 日より後の請求書は、この計算書には印刷されません。
- 13. 多通貨**      国内通貨と外貨のどちらで計算書の作成および印刷を行うかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
     ブランク: 国内通貨。国内通貨建てか外貨建てかにかかわらず、請求書と入金は全て送金先会社の通貨で印刷されます。  
     1: 外貨。請求書と入金は全て請求書の取引通貨で印刷されます。
- 14. 手形の印刷**      手形付き計算書を作成します。計算書には計算書番号ではなく手形番号が割り当てられます。

## 印刷

送付先住所、印刷プログラムとバージョン、印刷するレターを指定します。

- 1. 送付先住所**      計算書に出力する送付先住所を指定します。顧客は、送付先住所宛てに支払を送付します。この住所は、住所録マスター (F0101) に設定されている、請求書で指定した会社の住所録レコードから取得されます。有効値は以下のとおりです。  
     ブランク:[集計] 処理オプションで会社が指定されていない限り、F03B11 テーブルに指定されている会社の住所が使用されます。会社固定情報テーブル (F0010) から会社の住所番号が取得されます。

A: 会社レコードの第 1 住所番号フィールド (AN81) の値が使用されます。  
B: 会社レコードの第 2 住所番号フィールド (AN82) の値が使用されます。  
C: 会社レコードの第 3 住所番号フィールド (AN83) の値が使用されます。  
D: 会社レコードの第 4 住所番号フィールド (AN84) の値が使用されます。  
E: 会社レコードのファクター/代替支払先フィールド (AN85) が使用されます。

F: 会社レコードの第 5 住所番号フィールド (AN86) の値が使用されます。

住所番号: 会社の住所録番号の代わりに使用する住所番号を指定します。

たとえば、会社 00001 の計算書の作成で送付先をロックボックスとする場合、住所録システムのレコードにロックボックスを設定し、その住所番号を会社 00001 の住所録レコードの住所番号フィールドの 1 つに割り当てます。この処理オプションでは、どの住所番号を使用するかを指定します。

## 2. 支払期日別計算書の印刷

請求書の支払期日別に計算書を印刷するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、支払期日と通貨コード別に請求書が表示されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 支払期日別に計算書を印刷しない。

1: 支払期日別に計算書を印刷する。支払期日が変わる度に新しい計算書が印刷されます。

## 3. 印刷プログラム

計算書の作成に使用する計算書印刷プログラムを指定します。検索ボタンをクリックすると、使用できる計算書印刷プログラムを表示できます。この処理オプションをブランクにすると、R03B5001 が使用されます。各計算書印刷プログラムには、計算書に出力される情報のタイプを指定する処理オプションがあります。印刷プログラムのデータ選択とデータ順序を設定して、計算書に出力される詳細データの量と順序を指定します。

## 4. 印刷プログラムのバージョン

使用する計算書印刷プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 5. レター名

計算書に印刷する、あらかじめ定義されている文章を指定します。レタータイプと共に文章が設定されている場合は、レタータイプも指定してください。

## 6. レタータイプ

計算書に印刷する、あらかじめ定義されている文章を指定します。レタータイプを使用して文章が設定されている場合は、レタータイプも指定してください。

## 更新

基準日を使用して請求書の未決済金額を計算するかどうか、請求書レコードの計算書番号を更新するかどうか、請求書ごとまたは請求書の支払項目ごとに 1 件のレコードを売掛金通知実績明細テーブル (F03B21) に作成するかどうかを指定します。

### 1. 基準日

前期間の計算書を作成するのに使用する日付を指定します。特定の日付の計算書や当初作成した計算書とは異なる日付の計算書を顧客から求められた場合に便利です。

たとえば、数か月前からの計算書を作成する場合、計算書日付として使用する日付をこの処理オプションで指定すると、この日付と請求書の決済日付 (入金日) が比較され、指定した基準日において請求書が未決済であったかどうか判断されます。請求書が未決済であった場合は、未決済金額が再計算され、計算書に印刷されます。元帳日付が基準日以降の、そ



の請求書に適用されている入金額を現行の未決済金額に加算して未決済金額が再計算されます。

以前に作成した前の期間の計算書を再度印刷するには、計算書の検討プログラム (P03B202) を使用します。

---

警告: 指定した日付時点で請求書が未決済であったかどうかを判断するには処理に時間がかかります。このため、過去の特定の日付における計算書が必要でない場合は、この処理オプションを設定しないでください。基準日処理を実行するには、計算書データの再作成プログラム (R03B500X) のデータ選択で入金済みの請求書を含める必要があります。また、データ選択で顧客を指定して、特定の顧客への計算書を作成することもできます。

---

## 2. 計算書番号の更新

複数の計算書に含まれる請求書の計算書番号を上書きするかどうかを指定します。たとえば、計算書 123 に含まれる未決済の請求書が再度計算書を実行したときもまだ未決済だった場合、新しい計算書番号がその請求書に割り当てられ、前回の番号は上書きされます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 全ての請求書レコードの計算書番号を更新する。

1: 計算書番号フィールド (CTL) がブランクの請求書レコードのみ計算書番号を更新する。

## 3. 請求書の集計

各請求書の支払項目レコードの他に、請求書の集計レコードを売掛金通知実績明細テーブル (F03B21) に作成するかどうかを指定します。このテーブルの情報を検討するには、計算書の検討プログラム (P03B202) を使用します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 請求書の支払項目レコードのみを作成する。

1: 請求書の支払項目レコードの他に、集計レコードを作成する。

---

注: 計算書に請求書の集計情報を出力する場合は、使用する計算書印刷プログラム (R03B5001 など) の該当する処理オプションを使用します。

---

## 計算書の印刷 (手形あり) (R03B506) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 印刷

#### 1. 市

計算書に印刷する市町村を指定します。

#### 2. 銀行手形コード

計算書に印刷する銀行手形コードを指定します。ユーザー定義コード 03B/BD に設定されている値を入力してください。コードのみが計算書に印刷され、コード記述は印刷されません。この処理オプションをブランクにすると、銀行手形コードは印刷されません。

## 支払期日別計算書の印刷

[手形日次処理] メニュー (G03B161) から [計算書の印刷(手形あり)] を選択します。

---

## (ESP) Originating Drafts for Spain

This section provides an overview of Spanish draft origination, the Print Receipt with Letter Program, and the Print Drafts from Invoices program, list prerequisites and discusses how to:

- Group invoices for drafts.
- Set processing options for Invoice Group by Draft (R03B5052).
- Print drafts with letters.
- Set processing options for Print Receipt with Letter (R74S500).
- Print drafts from invoices.
- Set processing options for Print Drafts from Invoices (R74S502).

### Understanding Spanish Draft Origination

The draft process begins when you originate (print) a draft. The draft shows the amount to be paid, the due date, and information about the underlying liabilities (invoices).

The first step in draft origination is grouping invoices for drafts. You use the Invoice Group by Draft program (R03B5052) to group invoices for drafts.

The Invoice Group by Draft program groups open invoices from the F03B11 table by either customer number or payor number; and by company, currency code, and net due date. You can also use detail mode to group each invoice pay item with the same net due date on one draft.

For each group, the program assigns the draft number of the draft as a control number. The program also produces a report that includes a total for each group of invoices. This total is the amount of the draft.

The system processes only invoices that have an open amount and that have an empty Control/Statement field (CTL) in the F03B11 table. The system excludes invoices with record types R1, R5, or RU, as well as invoices for customers who have a Send Invoice To (SITO) value of N for Company 00000 in the Customer Master by Line of Business table (F03012).

---

**注:** You must group records in the Invoice Group by Draft program in the same way that you process records in the Print Drafts from Invoices program. For example, if you set the processing options on the Invoice Group by Draft program to group by customer, you must also set the processing options on the Print Drafts from Invoices program to process by customer. If you specify the Print Drafts with Invoices program in the processing options of the Invoice Group by Draft program, the processing option value for grouping does not get passed from the Invoice Group by Draft program to the Print Drafts with Invoices program. You must set up matching processing options for both programs.

---

### Printing Drafts

You can use the processing options on the Invoice Group by Draft program to run a program that prints the drafts, such as the Print Drafts from Invoices program (R74S502). You can also print the drafts separately after running the Invoice Group by Draft program.

You can use the processing options on the Invoice Group By Draft program (R03B5052) to run either of these draft print programs:

- Print Receipt with Letter (R74S500)
- Print Drafts from Invoices (R74S502)

Both of these programs create drafts based on invoices (document type RI). Print Receipt with Letter does not group invoices according to their stamp fees, whereas Print Drafts from Invoices does.

## Understanding the Print Receipt with Letter Program

The Print Receipt with Letter program prints statements of invoices and their corresponding drafts using the groupings that are produced by the Invoice Group by Draft program (R03B5052).

The system uses the customer number to retrieve bank transit information from the Bank Transit Master table (F0030). The system first looks for a record with a bank type of D (A/R Drafts, Auto Debit). If no record with a bank type of D exists, the system looks for a record with a bank type of C (Customer Bank Account). The system retrieves additional bank information from the A.E.B. Bank – Spain table (F74SCSB) by cross-referencing the transit number from the F0030 table with a bank code and control digit in table F74SCSB.

If no record with a bank type of either D or C exists for the customer in the F0030 table, the system does not print bank transit information on the draft.

---

**注:** You must process records in the Print Receipt with Letter program in the same way that you group records in the Invoice Group by Draft program. For example, if you set the processing options for the Invoice Group by Draft program to group by customer, you must also set the processing options for the Print Receipt with Letter program to process by customer. If you specify the Print Receipt with Letter program in the processing options for the Invoice Group by Draft program, the processing option value for grouping does not get passed from the Invoice Group by Draft program to the Print Receipt with Letter program. You must set up matching processing options for both programs.

---

The Print Receipt with Letter program retrieves information from the F03B11 table.

## Understanding the Print Drafts from Invoices Program

The Print Drafts from Invoices program (R74S502) uses the groups that are produced by the Invoice Group by Draft program (R03B5052) to prints drafts. The total amount of each draft, which is the total open amount of each group of invoices, determines the amount of the stamp that is required on the draft.

The system retrieves fee amounts from these tables:

- Stamps (Timbres) Fee Detail (F74S502)
- Stamps (Timbres) Fee Header (F74S505)

If the system cannot find a fee that corresponds to the draft amount, it sends an error message to the work center and does not print the draft.

The Print Drafts from Invoices program produces one printer spool file for each fee amount. All of the drafts that have the same fee amount are included in one printer spool file. This grouping enables you to load the paper with the appropriate stamp for each group of drafts.

---

**注:** You must group records in the Print Drafts from Invoices program in the same way that you group records in the Invoice Group by Draft program. For example, if you set the processing options for the Invoice Group by Draft program to group by customer, you must also set the processing options for the Print Drafts from Invoices program to group by customer. If you specify the Print Drafts with Invoices program in the processing options for the Invoice Group by Draft program, the processing option value for grouping does not get passed from the Invoice Group by Draft program to the Print Drafts with Invoices program. You must set up matching processing options for both programs.

---

The Print Drafts from Invoices program selects RI documents from the F03B11 table.

## Data Selection

It is recommended that you set up data selection based on a currency code.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Set up the fee table for draft stamps.

参照: [第 4 章、「受取手形の設定」、「\(ESP\) Setting Up Draft Stamps for Spain」、70ページ](#)

- Enter bank information for Spanish customers in the AEB Bank Revisions – Spain program (P74SCSB) and in the Bank Accounts by Addresses program (P0030A). The bank transit number in the Bank Accounts Addresses program corresponds to the bank code and office code in the AEB Bank Revisions – Spain program. The first four digits of the bank transit number are the bank code, and the second four digits are the office code.

## Grouping Invoices for Drafts

From the Spanish Draft Processing menu (G74S03B161), select Invoice Group by Draft.

## Setting Processing Options for Invoice Group by Draft (R03B5052)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

This processing option specifies a default value for the pay status code on R1 draft records.

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| <b>1. Pay Status Code</b> | Specify the Payment Status code (UDC 00/PS) that the system assigns to processed invoices. |
|---------------------------|--|

### Process

These processing options specify how the system selects invoices for payment.

- |                        |  |
|------------------------|--|
| <b>1. Process Mode</b> | <p>Specify how the system groups invoices and assigns draft numbers when it processes invoices. You can specify that the system process the invoices in detail mode, in which case the system assigns one draft number to each invoice or group of pay items with the same net due date. For example, for an invoice with two pay items whose net due dates differ, the system generates two drafts. For an invoice with two pay items whose net due dates are the same, the system generates only one draft.</p> <p>Alternatively, you can group invoices by customer and assign one draft number to all invoices that have the same company, currency code, net due date, and customer number.</p> <p>Finally, you can group invoices by payor and assign one draft number to all invoices that have the same company, currency code, net due date, and payor number.</p> <p>Values are:</p> |
|------------------------|--|

Blank: Process invoices in detail mode.

1: Group invoices by customer (AN8).

2: Group by invoices payor (PYR).

## 2. Threshold Amount

Specify the threshold amount that the system uses to suppress draft creation. If the total draft amount for the group of invoices is less than this threshold amount, no draft number is assigned to the invoices in the group. The system compares the threshold amount that you enter to the total domestic open amount, regardless of the currency code.

## Versions

These processing options specify the program number and version to use to print drafts.

### 1. Program ID

Specify the program that the system uses to print the drafts that are generated by this program. If you leave this processing option blank, you must manually run a draft print program to print the drafts.

### 2. Version ID

Specify the version of the program that you specified in the Program ID processing option that the system uses to print drafts. If you leave this processing option blank, the system runs version ZJDE0001. If the ZJDE0001 version does not exist, the report does not run. If the Program ID processing option is blank, the system disregards this processing option.

## Printing Drafts with Letters

From the Spanish Draft Processing menu (G74S03B161), select Print Receipt with Letter.

## Setting Processing Options for Print Receipt with Letter (R74S500)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

#### 1. Creation Date

Use this processing option to enter the date that you want to appear on the receipt and letter. If you leave this processing option blank, the program uses the current system date.

#### 2. City of Origin

Specify the city of origin of the receipt. The system prints the city that you enter here on the receipt. If you leave this processing option blank, no city of origin appears on the receipt.

### Process

#### 1. Address Number

Specify the address number that the system uses to determine where to send the receipt. Values are:

Blank: Use the customer number (AN8).

1: Use the payor number (PYR).

## Print

- 1. Print Tax Amounts**

Use this processing option to indicate whether you want tax amounts to appear on the letter. Values are:

Blank: Do not print tax amounts.

1: Print tax amounts.
- 2. Print Currency**

Specify whether the system prints the invoice currency code and currency amounts on the receipt and the letter. Values are:

Blank: Do not print currency information.

1: Print currency information.

If you enter 1, the system prints foreign invoices with foreign amounts. If currency processing is not enabled, the system prints invoices with domestic amounts.
- 3. Print Attachments**

Use this processing option to indicate whether you want generic text associated with an invoice to be printed on the letter. Values are:

Blank: Do not print associated generic text.

1: Print associated generic text.

## Printing Drafts from Invoices

From the Spanish Draft Processing menu (G74S03B161), select Print Drafts from Invoices.

## Setting Processing Options for Print Drafts from Invoices (R74S502)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

- 1. Creation Date**

Use this processing option to indicate the date when the draft is created. If you leave this processing option blank, the program uses the current system date.
- 2. City of Origin**

Specify the city of origin of the draft. The system prints the city name on the draft. If you leave this processing option blank, no city of origin appears on the draft.
- 3. Clause**

Use this processing option to enter a plain text clause. If you leave this processing option blank, no clause appears on the draft.

### Process

- 1. Address Number**

Specify the address number that the system uses to determine where the draft is sent. Values are:

Blank: Use the customer number (AN8).

1: Use the payor number (PYR).

If you grouped invoices by customer when you ran the Invoice Group by Draft program (R03B5052), you should leave this processing option blank. If

the Invoice Group by Draft program grouped invoices by payor, you should set the value of this processing option to 1. If you ran the Invoice Group by Draft program in detail mode, you can set the value of this processing option to either blank or 1.

---

## (ESP) Reprinting Drafts

This section provides an overview of draft reprinting, lists prerequisites and discusses how to:

- Reprint drafts by receipt with letters.
- Set processing options for Print Draft (R1) by Receipt with Letter (R74S520).
- Reprint drafts by receipt.
- Set processing options for Print Draft (R1) by Receipt (R74S521).
- Reprint drafts based on stamp fees.
- Set processing options for Print Drafts from R1 by Efecto (R74S522).

### Understanding Draft Reprinting

After you have originated drafts and printed them with either the Print Receipt with Letter program (R74S500) or the Print Drafts from Invoices program (R74S502), you can reprint drafts using these programs:

- Print Draft (R1) by Receipt with Letter (R74S520)
- Print Draft (R1) by Receipt (R74S521)
- Print Draft from R1 by Efecto (R74S522)

These programs print drafts based on existing draft (R1) documents. The first two programs do not group drafts according to their stamp fees, whereas Print Draft from R1 by Efecto does.

#### Print Drafts (R1) by Receipt with Letter

The Print Drafts (R1) by Receipt with Letter program (R74S520) prints duplicate copies of drafts (R1 documents) that were generated by the Print Receipt with Letter program (R74S500), but that have not been voided or collected.

#### Print Drafts (R1) by Receipt

Similar to the Print Draft (R1) by Receipt with Letter program (R74S520), the Print Drafts (R1) by Receipt program (R74S521) prints duplicate copies of drafts (R1 documents) that were generated by the Print Receipt with Letter program (R74S500), but that have not been voided or collected. However, the Print Drafts (R1) by Receipt program prints only the receipt format; it does not print the associated letter.

#### Print Draft from R1 by Efecto

The Print Draft from R1 by Efecto program (R74S522) prints drafts for existing draft documents from the Receipts Header table (F03B13) and the Receipts Detail table (F03B14). You can also use this program to print duplicate copies of drafts that were generated by the Print Drafts from Invoices program (R74S502).

The Print Draft from R1 by Efecto program prints drafts that are based on the stamp fees for the drafts. The total amount of each draft determines the amount of the stamp that is required on the draft.

The system retrieves fee amounts from these tables:

- Stamps (Timbres) Fee Detail (F74S502)
- Stamps (Timbres) Fee Header (F74S505)

If the system cannot find a fee that corresponds to the draft amount, it sends an error message to the work center and does not print the draft.

The Print Draft from R1 by Efecto program produces one printer spool file for each fee amount. All of the drafts that have the same fee amount are included in one printer spool file. This grouping enables you to load the paper with the appropriate stamp for each group of drafts.

## Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Group invoices using the Invoice Group by Draft program (R03B5052).
- Print drafts using the Print Receipt with Letter program (R74S500).

参照: [第 12 章、「受取手形の処理」、「Grouping Invoices for Drafts」、348 ページ](#)

## Reprinting Drafts by Receipt with Letters

From the Spanish Draft Processing menu (G74S03B161), select Print Draft (R1) by Receipt with Letter.

## Setting Processing Options for Print Draft (R1) by Receipt with Letter (R74S520)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| <b>1. Emission Village</b> | Specify the city of origin of the draft. The system prints the city name that you enter here on the draft. If you leave this processing option blank, no city of origin appears on the draft. |
|----------------------------|---|

### Print

- |                            |  |
|----------------------------|--|
| <b>1. Print Tax Amount</b> | <p>Specify whether you want the system to print tax amounts on the letter. Values are:</p> <p>Blank: Do not print tax amounts.</p> <p>1: Print tax amounts.</p>  |
| <b>2. Print Currency</b>   | <p>Specify whether the system prints the invoice currency code and currency amounts on the draft and the letter. Values are:</p> <p>Blank: Do not print currency information.</p> <p>1: Print currency information.</p> <p>If you enter 1, the system prints foreign invoices with foreign amounts. If currency processing is not enabled, the system prints invoices with domestic amounts.</p> |



**3. Print Attachments**

Use this processing option to indicate whether you want the system to print attachments associated with an invoice on the letter. Values are:

Blank: Do not print associated attachments.

1: Print associated attachments.

**Reprinting Drafts by Receipt**

From the Spanish Draft Processing menu (G74S03B161), select Print Draft (R1) by Receipt.

**Setting Processing Options for Print Draft (R1) by Receipt (R74S521)**

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

**Defaults****1. Emission Village**

Specify the city of origin of the draft. The system prints the city name that you enter here on the draft. If you leave this processing option blank, no city of origin appears on the draft.

**Print****1. Print Currency**

Specify whether to print the invoice currency code and currency amounts on the draft and the letter. Values are:

Blank: Do not print currency information.

1: Print currency information.

If you enter 1, the system prints foreign invoices with foreign amounts. If currency processing is not enabled, the system prints invoices with domestic amounts.

**Reprinting Drafts based on Stamp Fees**

From the Spanish Draft Processing menu (G74S03B161), select Print Draft from R1 by Efecto.

**Setting Processing Options for Print Drafts from R1 by Efecto (R74S522)**

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

**Defaults****1. City of Origin**

Specify the city of the origin of the draft. The system prints the city name that you enter here on the draft. If you leave this processing option blank, no city of origin appears on the draft.

**2. Clause**

Use this processing option to enter a plain text clause. If you leave this processing option blank, no clause appears on the draft.

**Process****1. Address Number**

Specify the address number that the system uses to determine where the draft is sent. Values are:

Blank: Use the customer number (AN8).

1: Use the payor number (PYR).

If the Invoice Group by Draft program (R03B5052) grouped invoices by customer, you should leave this processing option blank. If the Invoice Group by Draft program grouped invoices by payor, you should set the value of this processing option to 1. If the Invoice Group by Draft program grouped invoices in detail mode, you can set the value of this processing option to either blank or 1.

---

## 手形の受取

このセクションは、手入力手形、未充当手形、事前承認手形、および手形の改訂の概要と共に、事前設定と以下の方法について説明します。

- 手形入力 (P03B602) の処理オプションの設定
- 未充当手形の入力
- 手形と突き合わせ未決済請求書の検索
- 手形と請求書の突き合わせ
- 未充当入金と請求書の突き合わせ
- クレジット メモと請求書の突き合わせ
- 単独レコードの入力
- 事前承認手形処理
- 事前承認手形 (R03B671) のデータ順序の設定
- 事前承認手形 (R03B671) の処理オプションの設定

## 手入力手形について

手入力手形は、銀行に持ち込む前に顧客の引受を得る必要があることから、顧客引受手形とも呼ばれます。次のタイプの手入力手形が使用できます。

- 自社が銀行口座情報を明記して手形を印刷する。
- 自社が銀行名のみを明記して手形を印刷する。
- 顧客が銀行口座情報を明記して手形を印刷する。
- 顧客が銀行名のみを明記して手形を印刷する。

自社で手形を振り出すか、顧客が振り出すかによって、次のいずれかのプログラムを使って手形を入力します。

プログラム	用途
手形入力(自社)(P03B602)	自社で手形を振り出し、顧客がそれに署名して返送する場合にこのプログラムを使用します。
手形入力(顧客)(P03B602)	顧客が振り出し、引き受け、送付した手形を、自社が入力する場合にこのプログラムを使用します。

手形入力(自社)プログラムと手形入力(顧客)プログラムで入力するフィールドは同じです。手形は外貨(請求書の取引通貨)で入力することができますが、代替通貨では入力できません。

手形と未決済請求書の突き合わせには、入金入力で使用するのと同じ入力タイプコードを使用できます。コードには次のようなものがあります。

- 10: 単一請求書照合
- 11: 照合(割引分再請求)
- 15: 照合(少額消込)
- 16: 照合(再請求)
- 17: 照合(損金)
- 25: 単独少額消込
- 26: 単独再請求
- 27: 単独損金

参照: 第 9 章、「入金処理」、「入金入力または手形入力の入力タイプコードについて」、217ページ

手形を入力すると、次の処理が実行されます。

- バッチ制御テーブル (F0011) にバッチ タイプ DB (受取手形) のバッチ見出しレコードが作成されます。
- 入金見出しテーブル (F03B13) に手形状況 4 (受取) の手形レコードが作成されます。
- 手形入力(自社)プログラムを使用した場合、入力した手形番号が請求書の印刷(手形あり)プログラム (R03B5051) または計算書の印刷(手形あり)プログラム (R03B506) を使って作成した請求書に割り当てられた手形番号と同じであるかどうか検証されます。
- 手形によって決済される各支払項目に対して、入金明細テーブル (F03B14) に手形レコードが作成されます。これらのレコードの入金タイプコード (TYIN) フィールドを A (突合せ済み) に更新します。
- F03B14 テーブルに支払われた請求書の合計金額の手形レコードが作成され、状況 4 (受取) が割り当てられます。突き合わせ済みのレコードと区別するために入金タイプ (TYIN) フィールドが D (手形入金) に更新されます。
- F03B11 テーブルに支払状況 D (手形受取済み) の請求書レコード (伝票タイプ R1) が作成されます。
- 手形が未突合せの場合、F03B11 テーブルに支払状況 A (手形による支払承認済み) の請求書レコード (伝票タイプ RU) が作成されます。

手形を入力したら、その手形を承認して総勘定元帳に転記することができます。状況が手形受取の手形を転記すると、(借) 受取手形 / (貸) 売掛金の仕訳が作成されます。

このプログラムでは、F03B11、F03B13、および F03B14 の各テーブルのレコードが更新および作成されます。

## 入金または手形入力時に更新されるフィールド

入金を入力すると、特定のフィールドが略式 ID で更新されます。入金の請求書消込方法に基づいて AAI が検索されます。入金の転記時に、この略式 ID を使って自動仕訳が作成されます。次の表は、入金タイプに基づいて自動的に更新されるフィールド、および勘定科目の検索に使用される AAI を示しています。

勘定科目	入金消込のタイプ	入力タイプコード	更新されるフィールド	更新されるテーブル	使用される AAI
銀行勘定 注: 入金入力時に銀行勘定科目フィールドは自動的に更新されます。ただし手形の場合は、取立または回収の処理を行うまで銀行勘定科目フィールドは更新されません。	全て	なし	GLBA	F03B13	入金入力時に指定した銀行勘定科目のコードが使用されます。  銀行勘定科目フィールドがブランクの場合、次の順序で勘定科目が検索されます。  <ul style="list-style-type: none"> <li>入金に入力された会社の RB</li> <li>会社 00000 の RB</li> </ul>
売掛金	消込済み入金	10	AID	F03B14	AAI は使用されません。  F03B11 テーブルで請求書レコードの AID フィールドに入力された勘定科目が使用されます。
売掛金	未充当入金	なし	AID	F03B13	次の順序で勘定科目が検索されます (xxxx は未充当元帳クラスフィールドの値)。  <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RCxxxx</li> <li>会社 00000 の RCxxxx</li> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RCUC</li> <li>会社 00000 の RCUC</li> </ul>

勘定科目	入金消込のタイプ	入力タイプコード	更新されるフィールド	更新されるテーブル	使用される AAI
売掛金	再請求の必要がある入金	11 と 16	AIDC と AID	F03B11 と F03B14	次の順序で勘定科目が検索されます (xxxx は再請求元帳クラスフィールドの値)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>請求書に入力された会社の RCxxxx</li> <li>会社 00000 の RCxxxx</li> <li>請求書に入力された会社の RC</li> <li>会社 00000 の RC</li> </ul>
売掛金	単独の再請求	26	AIDC	F03B14	次の順序で勘定科目が検索されます (xxxx は再請求元帳クラスフィールドの値)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RCxxxx</li> <li>会社 00000 の RCxxxx</li> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RC</li> <li>会社 00000 の RC</li> </ul>

勘定科目	入金消込のタイプ	入力タイプコード	更新されるフィールド	更新されるテーブル	使用される AAI
割引実施額	割引を伴う入金	10	AIDD	F03B14	次の順序で AAI が検索されます (xx は割引理由コード)。  <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RKDxx</li> <li>会社 00000 の RKDxx</li> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RKD</li> <li>会社 00000 の RKD</li> </ul>
少額消込	少額消込を伴う入金	10 と 15	AIDW	F03B14	次の順序で AAI が検索されます (xx は少額消込理由コード)。  <ul style="list-style-type: none"> <li>請求書に入力された会社の RAxx</li> <li>会社 00000 の RAxx</li> </ul>
少額消込	単独の少額消込	25	AIDW	F03B14	次の順序で AAI が検索されます (xx は少額消込理由コード)。  <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形レコードに入力された会社の RAxx</li> <li>会社 00000 の RAxx</li> </ul>

勘定科目	入金消込のタイプ	入力タイプコード	更新されるフィールド	更新されるテーブル	使用される AAI
損金仮勘定	損金を伴う入金	17	DAID	F03B14	次の順序で検索されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>請求書に入力された会社の RN</li> <li>会社 00000 の RN</li> </ul>
損金仮勘定	単独の損金	27	DAID	F03B14	次の順序で検索されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入金または手形に入力された会社の RN</li> <li>会社 00000 の RN</li> </ul>

次の表は、手形の受取、取立、回収を行ったときに、F03B14 テーブルのレコードの AID2 フィールドがどのように更新されるかを示しています。これらのレコードは、手形の状況で、表に示した AAI に基づいて更新されます。x は支払手段を示します。

手形の状況	AAI
受取	RD1x
取立	RD2x
割引手形の取立	RD3x
偶発債務を伴う取立	RD4x

## 未充当手形について

手形によって支払われた請求書が不明な場合は、未充当手形を入力します。未充当手形は、手形を回収するまで顧客の売掛金残高から減額されません。未充当手形を入力すると、次のテーブルにレコードが作成されます。

テーブル	作成されるレコード
F03B11	<p>次の 2 つのレコードが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未充当手形の請求書レコード (伝票タイプ RU)。手形を請求書と突き合わせるまでの一時レコードとして作成されます。このレコードは、請求書と突き合わせる前に転記しないと、請求書の支払時に削除されます。</li> <li>手形請求書レコード (伝票タイプ R1)。手形請求書レコード (RU と R1) には次のような特徴があります。</li> <li>手形の支払 ID に対して監査証跡が作成される。</li> <li>バッチタイプは DB。</li> <li>転記状況は D (転記済み)。F03B13 テーブルと F03B14 テーブルの手形レコードの転記コードは、手形を転記するまでブランクのままです。</li> </ul>
F03B13	手形支払レコードが作成されます。
F03B14	<p>次の 2 つのレコードが作成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>未充当手形の請求書レコード</li> <li>手形請求書レコード</li> </ul> <p>手形の突き合わせによって作成される次の請求書レコードも、対応する明細レコードが F03B14 に作成され、転記のために使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手形 (R1)</li> <li>未充当手形 (RU)</li> <li>損金 (R5)</li> </ul> <p>F03B11 テーブルに請求書レコードが作成される際、転記状況 D が使用されます。総勘定元帳を更新するには、F03B14 テーブルの入金レコードを転記する必要があります。</p>

未充当手形は、適切な請求書と突き合わされるまでは未決済のままです。

未充当手形を入力したら、それを転記する必要があります。未充当手形を転記すると、(借) 受取手形勘定/(貸) 売掛金勘定の仕訳が作成されます。この売掛金勘定は、手形入力時に元帳クラス フィールドを上書きするか、顧客マスターで設定された元帳クラスを使うよう指定しない限り、AAI 項目 RCUC に関連付けられます。

未充当手形と請求書の突き合わせ処理は、未充当入金と請求書の消込処理とほぼ同じです。

参照: [第 9 章、「入金処理」](#)、[「未充当入金と請求書の消込」](#)、251 ページ

## 事前承認手形について

自動手形は、顧客による引受を必要としないことから、事前承認手形とも呼ばれます。自社と顧客との間で、顧客側が手形を使用して支払う旨を事前に同意します。顧客に対して手形を印刷、送付する必要はありませんが、回収するためには、手形を銀行に持ち込む (預け入れる) 必要があります。



自動手形は、事前承認手形プログラム (R03B671) を実行して作成します。データ選択を使用して各手形の入金を消し込む請求書を選択します。このバッチ処理は、テスト モードと最終モードのいずれかで実行できます。

テスト モードを使用すると、取引の明細または集計レポートを作成することができます。

- 明細 - 支払う各請求書を手形別に表示します。
- 集計 - 手形で支払われる全ての請求書の集計を顧客または支払人、期日、および支払手段別に印刷します。

最終モードの使用時にも、テスト モードと同じ選択をすることができます。最終モードでは、次の処理が実行されます。

- 手形が作成されます。
- 手形の支払状況を D (手形受取済み) が更新されます。
- レポートが生成されます。

どちらのモードを選択した場合も、情報を検討し、必要な変更を加えることが可能です。支払状況を変更する場合は、[請求書入力] フォームまたはスピード リリース フォームを使用してください。

次の点を除き、手形は入金と同様に処理されます。

- バッチ タイプ DB (受取手形) が使用されます。
- 未決済の顧客請求書に対して手形入金が消し込まれます。
- F03B11 テーブルに手形の合計金額の請求書レコード (伝票タイプ R1) が作成されます。
- 手形の支払状況が D (手形受取済み) に更新されます。

手形を作成したら、その手形を承認して総勘定元帳に転記し、適切な仕訳を作成する必要があります。

このプログラムでは、F03B11、F03B13、および F03B14 の各テーブルのレコードが更新および作成されます。

---

注: このレポートのカラム見出しには、支払手段の略語である PI が印刷されます。

---

## 手形の改訂について

手形は入力した後で、総勘定元帳に転記する前に検討したり改訂することができます。通常は、次のような目的で手形を確認します。

- 特定の顧客の情報を確認する。
- 満期日、支払手段、顧客銀行口座などの手形情報を改訂する。

手形の情報を変更する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- 未充当入金がある場合以外は、手形に請求書を追加することはできません。
- 手形が受取済みの場合は次のフィールドを変更できます。

- [満期日]

手形が取立済みになった後もこのフィールドを変更できます。

- [手形金額]

手形が転記済みの場合や状況が手形受取以外の場合は、このフィールドを変更することはできません。

- [支払手段]
- [銀行名]
- [顧客口座番号]
- [銀行/支店コード]
- 手形の元帳日付はどのような場合でも変更できません。ただし、転記済みの手形を請求書と突き合わせたり、手形を無効にするなど、別の処理を行う際には新しい元帳日付を割り当てることができます。入力した元帳日付は、F03B14 テーブルのレコードに反映されます。F03B13 テーブルのレコードの元帳日付は変更されません。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 次の AAI 項目に、該当する割引勘定が指定されていることを確認してください。
  - RKD (割引実施額)
  - RCxxxx (xxxx は再請求売掛金勘定の再請求元帳クラス)
  - RAxx (xx は少額消込理由コード)
  - RN (損金仮勘定)
- AAI 項目 RCxxxx (xxxxは未充当手形の場合は未充当元帳クラス、再請求を作成する手形の場合は再請求元帳クラス) に適切な勘定科目が設定されていることを確認してください。未充当手形を入力する場合、別の未充当元帳クラスを指定するか、顧客レコードの値を使用するよう処理オプションで指定しない限り、デフォルトの RCUC が使用されます。
- 理由コードを指定するために次の UDC テーブルが設定されていることを確認してください。
  - 割引理由コード (00/DE)
  - 再請求理由コード (03B/CB)
  - 少額消込理由コード (03B/RC)
  - 損金理由コード (03B/CR)
- 割引、再請求、少額消込、および損金、または使用する入力タイプ コードの処理オプションが正しく設定されていることを確認してください。

## 手形の受取に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[手形の処理]	W03B602A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [手形日次処理] メニュー (G03B161) から [手形入力(自社)] を選択します。</li> <li>• [手形日次処理] メニュー (G03B161) から [手形入力(顧客)] を選択します。</li> </ul>	手形の検索と削除を行います。
[手形入力]	W03B602B	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [手形の処理] フォームで、[追加] をクリックします。</li> <li>• [手形の処理] フォームで、例示照会 (QBE) 行の [未充当元帳クラス] フィールドに UC を入力します。[検索] をクリックし、未充当手形を選んで [選択] をクリックします。</li> </ul>	<p>未充当手形を入力します。</p> <p>入力タイプコードを使った手形と請求書の突き合わせ、またはクレジットメモと請求書の突き合わせを行います。</p> <p>請求書と突き合わせる未充当手形を検索します。</p>
[住所別銀行口座の処理]	W0030AD	[手形の処理] フォームで、[フォーム] メニューから [銀行情報] を選択します。	手形の銀行口座の検索と選択をします。
[追加情報]	W03B602J	[入金入力] フォームで、[フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。	UC 以外の元帳クラスを割り当て、参照情報を入力し、手形のビジネスユニットを変更します。

## 手形入力 (P03B602) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 表示

[手形入力] フォームでフィールドに入力した値をそのまま残すように設定することができます。類似した手形を連続して入力する場合に入力時間を短縮できます。

- 1. 支払人番号**

手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した支払人番号を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 支払人番号を保持しない。

1: 支払人番号を保持する。
- 2. 手形日付**

手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した手形日付を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 手形日付を保持しない。

1: 手形日付を保持する。
- 3. 会社**

手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した会社番号を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 会社番号を保持しない。

- 1: 会社番号を保持する。
4. 元帳日付
- 手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した元帳日付を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 元帳日付を保持しない。
- 1: 元帳日付を保持する。
5. 手形満期日
- 手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した手形満期日を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 手形満期日を保持しない。
- 1: 手形満期日を保持する。
6. 銀行名
- 手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した銀行名を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 銀行名を保持しない。
- 1: 銀行名を保持する。
7. 顧客銀行口座
- 手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した顧客銀行口座を保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 顧客銀行口座を保持しない。
- 1: 顧客銀行口座を保持する。
8. 支払手段
- 手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した支払手段を保持するかどうかを指定します。この処理オプションの値は以下のとおりです。
- ブランク: 支払手段を保持しない。
- 1: 支払手段を保持する。
9. 銀行/支店コード
- 手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した銀行/支店コードを保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 銀行/支店コードを保持しない。
- 1: 銀行/支店コードを保持する。
10. 通貨
- 手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した通貨コードを保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 通貨コードを保持しない。
- 1: 通貨コードを保持する。
11. 為替レート
- 手形を入力した後、[手形入力] フォームで入力した為替レートを保持するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 為替レートを保持しない。
- 1: 為替レートを保持する。

## デフォルト

[手形入力] フォームと [追加情報] フォームで使用するデフォルト値を指定します。この処理オプションに入力した値は、手形入力時に変更することができます。

1. **入力タイプ**  
手形を請求書と突き合わせる際に使用するデフォルトの入力タイプ コードを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: デフォルト値を使用しない。  
10: 単純請求書照合  
11: 自動再請求割引照合  
15: 少額消込照合  
16: 再請求照合  
17: 損金照合  
10 を入力した場合、スピード入金入力の繰越残高入金（入力タイプ コード 2）と同様に、手形は顧客の売掛金勘定の中で最も古い未決済請求書（複数可）に突き合わされます。
2. **損金理由コード**  
損金金額を入力する際に使用するデフォルトの損金理由コードを指定します。blank の場合は、[入金入力] フォームのグリッドに手動で損金理由コードを入力する必要があります。有効な損金理由コードはユーザー定義コード 03B/CR に定義されています。
3. **銀行口座を使用する支払手段**  
銀行口座番号が設定されている手形を処理する際に使用するデフォルトの支払手段を指定します。
4. **銀行口座を使用しない支払手段**  
銀行口座番号が設定されていない手形を処理する際に使用するデフォルトの支払手段を指定します。
5. **受取手形勘定科目 (AAI)**  
手形を総勘定元帳に転記する際に使用する受取手形勘定科目を指定します。標準の勘定科目コード形式（ビジネスユニット.主科目.補助科目）で入力してください。blank の場合、AAI 項目 RD1x（x は顧客レコード (F03012) で指定されている支払手段）に関連付けられている勘定科目コードが使用されます。
6. **未充当手形のデフォルト元帳クラス**  
未充当手形を入力する際に、顧客レコードの元帳クラスを未充当元帳クラスフィールドのデフォルト値として使用するかどうかを指定します。売掛金勘定は使用する元帳クラスに基づいて検索されます。有効値は以下のとおりです。  
blank: デフォルトを使用しない。  
1: 元帳クラスをデフォルトとする。  
顧客レコードに元帳クラスが設定されていない場合は、UC がデフォルト値として使用されます。
7. **手形番号**  
自動採番で手形番号を割り当てるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
blank: 自動採番しない。  
1: 自動採番する。

## 編集

この処理オプションでは、次の処理を有効にするかどうかを指定します。

- 少額消込
- 未転記手形の削除

## • 手形状況の変更

また、過入金などの特定の状況が発生した場合にメッセージを表示するように指定することもできます。

1. **少額消込**                      少額消込を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 少額消込を許可する。  
 1: 少額消込を許可しない。
2. **未転記入金の削除/NSF**      未転記手形の削除および NSF (残高不足) 処理を許可するかどうかを指定します。有効値は次のとおりです。  
 ブランク: 削除および NSF を許可する。  
 1: 削除および NSF を許可しない。
3. **過入金チェック**              請求額以上の金額が入力された場合に表示するエラー メッセージの重要度を指定します。有効値は以下のとおりです。  
 0: チェックしない  
 1: 警告  
 2: エラー  
 請求額以上の金額を入力すると、マイナスの未決済金額として表示されます。
4. **銀行名**                      [手形入力] フォームで [銀行名] フィールドを入力可能にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: [銀行名] フィールドを入力可能にしない。F0030 テーブルで顧客または支払人に対して設定されている銀行名が自動的に使用されます。  
 1: [銀行名] フィールドを入力可能にする。銀行名の変更が可能です。  


---

 注: 銀行名を指定しない場合は、顧客の銀行口座番号および銀行/支店コードを指定する必要があります。  


---
5. **手形を前の状態に戻す**        手形状況を前の状態に戻すことを許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 手形状況を前の状態に戻すことを許可する。  
 1: 手形状況を前の状態に戻すことを許可しない。
6. **手形番号**                      手形番号が割り当てられていない場合に表示するメッセージの重要度を指定します。この処理オプションは、[処理] タブの [手形タイプ] 処理オプションで 1 (顧客が作成した手形) を設定した場合にのみ使用できます。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: チェックしない  
 1: 警告  
 2: エラー

## 処理

デフォルトの入力タイプ コードを使用した場合の手形と請求書の突き合わせ方法や、取引明細テーブル (F0911) のレコードの作成方法 (入力された手形をバッチ別に集計するか、手形ごとに明細レコードを作成するか) を指定します。

**1. 手形タイプ**

処理する手形のタイプを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 自社で作成した手形

1: 顧客が作成した手形

**2. 未決済金額**

売掛金元帳 (F03B11) に未決済金額を含めて手形請求書レコード (伝票タイプ R1) を作成するかどうかを指定します。この処理オプションによって、手形の年齢調べを行うかどうかが決まります。未決済金額を含めずに手形を作成した場合、そのレコードは一時レコードとしてのみ使用できます。入金または年齢調べの対象としてこのレコードを選択することはできません。有効値は以下のとおりです。

blank: 未決済金額を含めて手形請求書レコードを作成する。

1: 未決済金額を含めずに手形請求書レコードを作成する。

**3. 仕訳の形式**

手形バッチごとに 1 件の集計仕訳を作成するか、各手形に対してそれぞれ仕訳を作成するかを指定します。この処理オプションで設定した値は、F03B13 テーブルの売掛金転記フィールド (ISTR) に割り当てられます。転記プログラムではこの値を使って仕訳レコードが作成されます。有効値は以下のとおりです。

blank: 集計仕訳を作成する。転記する手形バッチごとに、伝票タイプ RK の仕訳が 1 件作成されます。仕訳の伝票番号には手形のバッチ番号が割り当てられます。この方法を使用するためには、次のことを確認してください。

- 売掛管理固定情報の売掛金集計方式が B (バッチ モード) に設定されている。
- バッチに外貨建て取引が含まれていない。

上の 2 つの条件を満たしていない場合、仕訳は明細形式で作成されます。

1: 明細仕訳を作成する。バッチに含まれる手形ごとに、伝票タイプ RC の仕訳が作成されます。入金仕訳の伝票番号は、仕訳入力の自動採番 (システム 09) によって自動的に割り当てられます。監査証跡を記録するために、F03B14 テーブルの次のフィールドは仕訳の情報で更新されます。

- 仕訳の伝票タイプ (RZDCTG)
- 仕訳の伝票番号 (RZDOCG)
- 仕訳の伝票会社 (RZKCOG)

**4. 請求書の表示**

支払状況が承認済みの請求書のみを表示するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 全ての請求書を表示する。

1: 承認済み請求書のみを表示する。

**通貨**

多通貨を使用する場合、為替レートを取り込むのに使用する有効日付が手形入力が入力された元帳日付と同じかどうかのチェックを行うか行わないかを指定します。

**1. 有効日付チェック**

為替レートを取り込むのに使用する有効日付が手形入力が入力された元帳日付と同じかどうかのチェックを行うか行わないかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:有効日付をチェックしない。

1: 有効日付をチェックする。為替レート テーブル (F0015) から取り込まれた為替レートの有効日付が手形の元帳日付と同じではない場合、警告メッセージが表示されます。

## 再請求

システムによって作成された再請求レコードに割り当てる値を指定します。

1. 支払状況  
再請求に割り当てるデフォルトの支払状況を指定します。この処理オプションをブランクにすると、データ辞書で項目 PST に設定されている値が使用されます。有効な値は、ユーザー定義コード 00/PS (支払状況) に定義されています。
2. 日付オプション  
再請求に割り当てる請求書日付と支払期日を指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:手形元帳日付を使用する。  
1: 請求書の対応する日付を使用する。
3. 理由コード  
再請求金額を入力する際に割り当てるデフォルトの理由コードを指定します。この処理オプションをブランクにする場合は、再請求理由コードを手動で入力する必要があります。有効な再請求理由コードはユーザー定義コード 03B/CB に定義されています。

## 自動少額消込

自動的少額消込機能を有効に設定し、入金不足と過入金のそれぞれの場合の限度額を指定します。自動少額消込機能を使用する場合は、少額消込理由コードを指定する必要があります。

1. 最高入金不足額  
入金不足分を少額消込として処理できる限度額を指定します。支払金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、手形入力時に残額は自動的に消し込まれます。
2. 入金不足理由コード  
入金不足分を自動的に消し込む場合のデフォルトの理由コードを指定します。この処理オプションの値を指定すると、自動少額消込処理が有効になります。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。指定する少額消込理由コードに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定してください。
3. 最高過入金額  
過入金分を少額消込として処理できる最高金額を指定します。入金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、手形入力時に差額は自動的に消し込まれます。  
マイナスの金額を入力してください。
4. 過入金理由コード  
過入金分を自動的に消し込む場合のデフォルトの理由コードを指定します。この処理オプションの値を指定すると、自動少額消込処理が有効になります。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC に定義されています。指定する少額消込理由コードに対応する AAI 項目 RAxx (xx は理由コード) も設定してください。

## 少額消込

入金不足と過入金それぞれの場合の少額消込限度額を指定し、理由コードのデフォルト値を設定します。



1. **最高入金不足額** 入金不足分を少額消込として処理できる最高金額を指定します。入金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、手形入力時に少額消込として処理することができます。
2. **最高過入金額** 過入金分を少額消込として処理できる最高金額を指定します。入金額と請求書の未決済金額の差額がここで指定した金額以下の場合、手形入力時に少額消込として処理することができます。マイナスの金額を入力してください。
3. **少額消込理由コード** 少額消込金額を入力する際に割り当てるデフォルトの理由コードを指定します。有効な少額消込理由コードはユーザー定義コード 03B/RC で定義されています。指定する少額消込理由コードに対応する AAI 項目 RAXx (xx は理由コード) も設定してください。

## 割引

割引を処理するための規則を設定します。

1. **割引可能額を超える割引実施額** 割引可能額を超える割引を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白:割引可能額を超える割引を許可しない。  
1: 割引可能額を超える割引を許可する。
2. **入金額を超える割引** 入金額を超える割引を許可するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白:入金額を超える割引を許可しない。  
1: 入金額を超える割引を許可する。
3. **猶予期間日数** 割引期日以降も割引を与える日数を指定します。この処理オプションは、割引実施額を計算する場合にのみ適用されます。割引額は手入力することもできます。
4. **割引理由コード** 割引を実施する際に使用するデフォルトの割引理由コードを指定します。このコードは、必要に応じて手形入力時に変更できます。有効な割引理由コードは、ユーザー定義コード 00/DE に定義されています。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxx (xx は理由コード) も設定してください。

## 照合優先順位

送金入力フォームで請求書を検索する際の順序を指定します。有効な検索方法は以下のとおりです。

- 請求書番号
- 受注オーダー番号
- 顧客参照
- 計算書番号
- 出荷番号

**1. 請求書番号、受注オーダー番号、顧客参照、計算書番号、出荷番号**

送金入力フォームで請求書を選択する際に使用する検索方法の順序を指定します。

有効値は、ブランク、1、2、3、4、および 5 です。ブランクにした検索方法は使用されず、値を指定した方法のみが使用されます。5 つのフィールドを全てブランクにした場合、全ての検索方法が表示されている順序で使用されます。

**無効/NSF（残高不足）**

手形を無効にしたり NSF（残高不足）に指定する場合に使用する値を指定します。

**1. 支払手段の更新**

手形を無効にしたり NSF に指定した場合に、F03B11 テーブルの手形請求書レコード (R1) の支払手段を更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 支払手段を更新しない。

1: 支払手段を更新する。

---

注: この処理オプションで 1 を設定した場合、[手形の支払手段] 処理オプションにも値を入力する必要があります。

---

**2. 手形の支払手段**

手形を無効にしたり NSF に指定した場合に、F03B11 テーブルの手形請求書レコード (R1) に割り当てる支払手段を指定します。有効値はユーザー定義コード 00/PY に設定されています。

---

注: [支払手段の更新] 処理オプションがブランクの場合、この処理オプションは無視されます。

---

**3. 再発行手形の支払手段**

手形を再発行するオプションを選択して手形を無効にしたり NSF と指定した場合に、F03B11 テーブルに作成される新しい手形請求書レコードに割り当てる支払手段を指定します。有効値はユーザー定義コード 00/PY で設定します。

**4. 手形勘定科目**

手形を再発行するオプションを選択して手形を無効にしたり NSF に指定した場合に、手形を転記する際に使用する受取手形勘定科目コード指定します。標準の勘定科目コード形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で入力してください。ブランクにすると、AAI 項目 RD5 に設定された勘定科目コードが使用されます。

**未充当手形の入力**

[手形入力] フォームにアクセスします。

**手形入力(自社) - 手形入力**

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ロー(R) ツール(T)

支払人	3003	CSC Corporation	バッチ	133203
手形No.	500	500	前	
手形日付	2005/07/05	会社	00001	元帳日付 2005/06/30
満期日	2005/07/05	銀行名	First Interstate	
手形金額	375,000,000.00	顧客口座番号	2165987458	
支払手段	D	受取/支払手形(請求書別)	銀行支店コード	852200451
通貨コード	USD	為替レート	基本	USD <input type="checkbox"/> 外貨

レコードが取り込まれていません

入力 タイプ	入金額	割引 実施額	割引 理由	少額 消込額	少額消込 理由	再請求 金額	再請求 理由	損金 金額	損金 理由
<div>消込金額</div> <div>375.00</div>									
<div>保留金額</div> <div></div>									
<div>仮受金金額</div> <div></div>									

[手形入力] フォーム

未充当手形を入力するには、次の手順に従います。

- [手形入力] フォームで、フィールドに値を入力します。  
顧客に対して受取手形 (レコード タイプ D) の銀行口座情報が設定されている場合、[銀行名]、[顧客口座番号]、および [銀行/支店コード] の各フィールドが更新されます。  
レコード タイプ D に対して顧客の銀行口座情報が設定されていない場合、ステップ 3~6 を実行して手形処理のために銀行口座を有効にすることができます。  
顧客の銀行口座情報がない場合はステップ 7 に進んでください。
- [フォーム] メニューから [銀行情報] を選択します。
- [住所別銀行口座の処理] フォームで、設定されている口座番号レコードを選択し、[ロー] メニューから [手形として使用] を選択します。
- [閉じる] をクリックします。
- 自動的に更新されない場合は、[銀行名] フィールドに値を入力します。

**注:** [銀行名] フィールドに入力できない場合は、対応する処理オプションを変更して銀行名を変更できるようにしてください。

- 追加情報を指定するには、[フォーム] メニューから [追加情報] を選択します。
- [追加情報] フォームで、[未充当元帳クラス]、[参照]、および [ビジネスユニット] の各フィールドに値を入力し、[OK] をクリックします。
- [手形入力] フォームで、未充当手形レコードを作成する場合は [OK] をクリックします。または、この手形を請求書と突き合わせるか送金情報を入力するには、該当するステップを実行します。

**[支払人]** 情報の検索や入力を行うための住所番号を入力します。

**[手形No.]** 自社手形の場合は、請求書の印刷 (手形あり) または計算書の印刷 (手形あり) で作成された番号を入力します。請求書テーブルの手形番号は自動的にチェックされます。

	顧客手形の場合は、顧客の手形番号を入力します。
[手形日付]	システムに入金を入力した日付、または手形に記載された日付を入力します。この入金日付は照会とレポート作成のためにのみ使用されます。
[満期日]	入金または支払金額が銀行勘定の借方または貸方に計上された日付を入力します。銀行が支払を決済した日付ではありません。自動支払の場合、このフィールドには自動的に日付が設定されます。手入力による支払処理の場合、処理オプションで決済日付を表示するように指定すると、決済日付を手入力することができます。
[手形金額]	入金または支払の実績金額を入力します。
[支払手段]	処理オプションで設定した支払手段が表示されます。処理オプションがブランクの場合は、顧客マスター レコードの支払手段が使用されます。
[会社]	取引を入力する会社番号を入力します。
[元帳日付]	取引を転記する日付を入力します。
[顧客口座番号]	会社、顧客、または仕入先の銀行口座番号を識別するために銀行によって割り当てられた番号を表します。
<hr/> <b>注:</b> Nordic users: Enter the bank, Bankgiro, or Postgiro account number. <hr/>	
[銀行/支店コード]	連邦準備制度により銀行へ割り当てられる番号を表示します。顧客の銀行口座情報に定義されます。
[銀行名]	顧客の銀行口座情報に定義された銀行名を表示します。
[未充当元帳クラス]	転記する際に元帳クラスとして使用する売掛金勘定のコードを表示します。  この値を変更しない場合は、元帳クラス UC と AAI 項目 RCUC を使って売掛金勘定が検索されます。  顧客マスター レコードからデフォルトの元帳クラスを使用するよう処理オプションで設定することもできます。
[参照]	入金または手形レコードで 2 次参照番号として使用する英数値を入力します。

## 手形と突き合わせる未決済請求書の検索

手形と突き合わせる未決済請求書を検索します。手形処理において未決済請求書を検索する処理は、入金処理において未決済請求書を検索する処理とほぼ同じです。

参照: [第 9 章、「入金処理」、「未決済請求書の検索」、242 ページ](#)

## 手形と請求書の突き合わせ

手形を請求書と突き合わせる処理は、入金を請求書と消し込む処理とほぼ同じです。

参照: [第 9 章、「入金処理」、「入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込」、250 ページ](#)

## 未充当入金と請求書の突き合わせ

[手形入力] フォームにアクセスします。

未充当手形と請求書を突き合わせるには、次の手順に従います。

1. [フォーム] メニューから [ロード] または [選択] を選んで顧客の未決済項目を表示します。
2. 見出し域で、[元帳日付] フィールドに値を入力します。

---

**注:** 割り当てる元帳日付によって、F03B13 テーブルの未充当手形レコードの元帳日付が更新されることはありません。F03B14 テーブルに作成される手形明細レコードの元帳日付が請求書の消込に使用されます。

---

3. 詳細グリッドでの [入力タイプ] フィールドに該当するコードを入力します。
4. 必要に応じて、[入金額]、[割引実施額]、[備考]、[少額消込金額]、[再請求金額]、または [損金金額] フィールドの値を変更します。
5. [保留金額] と [仮受金金額] フィールドに正しい情報が表示されていることを確認します。  
手形の全額を請求書と突き合わせた場合、保留金額は入金見出しで指定した手形の金額と一致します。  
[仮受金金額] フィールドの金額の未充当手形レコードが作成されます。
6. [OK] をクリックします。

**[割引実施額]** 特定の日付までに支払った場合に請求書や伝票から割引引く金額を入力します。割引可能額と異なる金額にすることもできます。

**[少額消込額]** 顧客の売掛金残高から差し引く金額を入力します。AAI 項目 RAxx (xx は少額消込理由コード) で指定した勘定科目が更新されます。  
少額消込額を入力したら、少額消込理由コードを入力する必要があります。

**[少額消込理由]** 少額消込として処理する理由を示すコードを入力します。通常は、以下のような理由コードを使用します。

BD: 不良債権

DC: 破損品

MW: 少額消込

TF: 問題のある税額/運送費

**[再請求金額]** 顧客に再請求するために作成する新しい請求書コードの金額を入力します。

再請求金額を入力したら、再請求理由コードを入力する必要があります。

**[再請求理由]** 入金入力中に請求書に対して再請求が生成された理由を示すコードを入力します。通常は、以下のような再請求理由コードを使用します。

DA: 問題のある金額

DD: 割引不可額

---

**注:** ブランクは、ユーザー定義コード テーブルで定義されていても有効な値として受け入れられません。

---

**[損金金額]** 損金の国内通貨金額を入力します。この金額の通貨は、基本通貨フィールド (BCRC) に表示されます。

**[損金理由]**

損金額を入力したら、損金理由コードを入力する必要があります。

顧客が請求書の全額を入金していない理由を示すコードを入力します。代表的な損金理由コードは、次のとおりです。

DG: 破損品

SS: 出荷不足

UD: その他クレーム

**[再請求元帳クラス]**

再請求の転記時に元帳クラスとして使用する売掛金勘定を示すコードを表示します。AAI 項目 RC とこのコードを組み合わせると勘定科目が検索されます。次の順序で、再請求を計上する売掛金勘定が検索されます。

1. 多通貨を使用している場合、RCxxx (xxx は入金の通貨コード) が検索されます。
2. 見つからない場合、RCxxxx (xxxx は再請求元帳クラス フィールド) が検索されます。
3. 見つからない場合、RCxx (xx は再請求理由コード) が検索されます。
4. 見つからない場合、入金レコードに指定されている会社の RC が検索されます。
5. 見つからない場合、会社 00000 の RC が検索される。

**[未充当元帳クラス]**

請求書や伝票の転記時に元帳クラスとして使用する売掛金勘定を示すコードを表示します。AAI 項目 RC とこの値を組み合わせると、売掛金勘定が検索されます。たとえば、「TRAD」と入力すると、AAI 項目「RCTRAD」(売掛) が検索されます。

元帳クラスを表す最大 4 文字の英数字、または 3 文字の通貨コード(多通貨環境で取引を入力する場合)を割り当てることができます。ただし、対応する AAI 項目をシステムに設定しておく必要があります。この設定がない場合は元帳クラスは無視され、指定された会社の PC または RC に設定されている勘定科目が使用されます。

顧客レコードの元帳クラス フィールドにデフォルト値を設定した場合、取引入力では、値を変更しない限りこの値が使用されます。

---

注: 元帳クラス 9999 は使用しないでください。仕訳を作成しないように設定されている転記プログラムの予約コードです。

---

## クレジット メモと請求書の突き合わせ

クレジット メモと請求書の突き合わせ処理は、手形処理と入金処理においてほぼ同じです。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「入力タイプコードを使った入金または手形と請求書の消込」、250 ページ

参照: 第 9 章、「入金処理」、「クレジット メモと請求書の消込」、251 ページ

## 単独レコード入力

単独レコード入力の処理は、手形処理と入金処理においてほぼ同じです。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「単独レコード入力」、253 ページ

## 事前承認手形処理

[手形日次処理] メニュー (G03B161) から [事前承認手形] を選択します。

## 事前承認手形 (R03B671) のデータ順序の設定

処理が正しく行われるようにするため、デモ バージョンに設定されているデータ順序は変更しないでください。

1. 会社 (CO)
2. 基本通貨 (BCRC)
3. 通貨コード (CRCD)
4. 支払期日 (DDJ)
5. 計算書番号 (CTL)
6. 支払人住所番号 (PYR)
7. 住所番号 (AN8)
8. 伝票番号 (DOC)
9. 伝票タイプ (DCT)
10. 伝票会社 (KCO)
11. 支払項目 (SFX)

## 事前承認手形 (R03B671) の処理オプション

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

手形を作成するのに使用するデフォルト値を指定します。

- |                |  |
|----------------|--|
| 1. 手形日付        | F03B13 テーブルと F03B14 テーブルのレコードに割り当てる手形日付を指定します。空白にすると、システム日付が使用されます。  |
| 2. 手形元帳日付      | F03B13 テーブルと F03B14 テーブルのレコードに割り当てる手形元帳日付を指定します。空白にすると、システム日付が使用されます。  |
| 3. 満期日         | F03B11 テーブルの請求書レコード (R1) に割り当てる手形満期日を指定します。空白にすると、請求書の支払日付が使用されます。   |
| 4. 受取手形勘定科目コード | 手形を総勘定元帳に転記する際に使用する受取手形勘定科目を指定します。標準の勘定科目コード形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で入力してください。空白の場合、AAI 項目 RD1x (x は顧客レコード (F03012) で指定されている支払手段) に関連付けられている勘定科目コードが使用されます。   |
| 5. 仕訳入力        | <p>手形バッチごとに 1 件の集計仕訳を作成するか、各手形に対してそれぞれ仕訳を作成するかを指定します。ここで指定した値は、F03B13 テーブルの売掛金転記フィールドに割り当てられます。転記プログラムではこの値を使って仕訳レコードが作成されます。有効値は以下のとおりです。</p> <p>空白: 集計仕訳を作成する。転記する手形バッチごとに、伝票タイプ RK の仕訳が 1 件作成されます。仕訳の伝票番号には手形のバッチ番号が割</p> |

り当てられます。この方法を使用するためには、次のことを確認してください。

- 売掛管理固定情報の売掛金集計方式が B (バッチ モード) に設定されている。
- バッチに外貨建て取引が含まれていない。

上の 2 つの条件を満たしていない場合、仕訳は明細形式で作成されます。

1: 明細仕訳を作成する。バッチに含まれる手形ごとに、伝票タイプ RC の仕訳が作成されます。入金仕訳の伝票番号は、仕訳入力 (システム 09) の自動採番によって割り当てられます。

監査証跡を記録するために、F03B14 テーブルの次のフィールドは仕訳の情報で更新されます。

- 仕訳の伝票タイプ (RZDCTG)
- 仕訳の伝票番号 (RZDOCG)
- 仕訳の伝票会社 (RZKCOG)

## 6. 割引理由コード

割引が行われる際に使用される割引理由コードを指定します。ユーザー定義コード 00/DE に定義されている割引理由コードを入力します。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxxx (xxx は理由コード) も設定してください。

## 選択

支払われた請求書を選択するための情報を指定します。

1. 支払終了日付 支払期日がここで指定した日付と同じかそれより大きい請求書が F03B11 テーブルから選択されます。
2. 最低手形金額 手形を作成する最低金額を指定します。ブランクの場合、全ての請求書に対して手形が作成されます。

## 処理

処理をテスト モードと最終モードのどちらで行うか、仕訳を明細形式と集計形式のどちらで作成するか、手形番号をどのように割り当てるかといった、手形処理のガイドラインを指定します。

1. 処理モード プログラムをテスト モードで実行するか、最終モードで実行するかを指定します。テスト モードでは、最終モードで実行した場合に作成される手形のレポートが印刷されます。最終モードでは、レポートが生成され、F03B13、F03B14、F03B11 の各テーブルの手形レコードが更新されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モード

1: 最終モード

## 2. 集計/明細

請求書ごとに 1 件の手形を作成するか (明細)、請求書の支払期日別に各顧客または各支払人に対して 1 件の手形を作成するか (集計) を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 明細。各請求書に対して 1 件ずつ手形が作成されます。

1: 顧客集計手形。支払期日が同じ請求書について、各顧客に対して 1 件の手形が作成されます。



- 2: 支払人集計手形。支払期日が同じ請求書について、各支払人に対して 1 件の手形が作成されます。
- 3. マイナス手形** マイナスの金額の手形を作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白:作成しない。  
1: 作成する。
- 4. 手形番号** 手形番号を自動採番するか、計算書番号を手形番号として使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白:自動採番する。  
1: 計算書番号を使用する。
- 5. 未決済金額** F03B11 テーブルに、未決済金額を含めて手形請求書レコード (伝票タイプ R1) を作成するかどうかを指定します。この処理オプションによって、手形の年齢調べを行うかどうかが決まります。未決済金額を含めずに手形を作成した場合、そのレコードは一時レコードとしてのみ使用できます。入金または年齢調べの対象としてこのレコードを選択することはできません。有効値は以下のとおりです。  
空白:未決済金額を含めて手形請求書レコード (R1) を作成する。  
1: 未決済金額を含めずに手形請求書レコード (R1) を作成する。

## クレジットカード

入金見出しテーブル (F03B13) の手形レコードを受注オーダーのクレジットカード情報で更新するかどうかを指定します。

- 1. クレジットカード処理** 手形を使って受注オーダーを処理し、受注オーダー処理で前払を設定している場合に、前払取引テーブル (F004201) のクレジットカードと承認番号で F03B13 テーブルのレコードを更新するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白:受注オーダーで前払処理を使用しなかった。  
01: 受注オーダーで前払処理を使用した。
- 2. 前払発生フラグ** 前払取引が作成されたシステムを指定します (たとえば、受注オーダー入力の場合は 01 と入力します)。ユーザー定義コード 00/PO に設定されている値を指定してください。

---

## 受取手形の承認と転記

このセクションでは、手形の承認と転記の概要、手形転記時に作成される仕訳の概要、および下記の方法について説明します。

- 受取手形を転記するための転記プログラムの実行
- 手形仕訳の検討プログラムからの手形の転記

## 手形の承認と転記について

手形を入力したら、承認して総勘定元帳に転記し、該当する勘定科目情報を更新する必要があります。会社の方針によっては、バッチを転記する前に管理者の承認が必要となる場合があります。バッチの検討と承認には、バッチ タイプにかかわらず同じ処理が実行されます。手形バッチのバッチ タイプは DB です。

---

注: [手形入力] フォームを閉じるまで、手形バッチ見出しの状況は“使用中”のままです。

---

手形を転記すると全ての仕訳が取引明細テーブル (F0911) に作成されるため、転記プログラムが中断された場合のみ貸借不一致エラーが発生します。転記プログラムが完了する前に中止された場合は、転記プログラムを再度実行して作成された仕訳を削除した後、もう一度転記プログラムを実行して新しい仕訳を作成してください。

転記プログラムでは次の処理が実行されます。

- 次のテーブルから未転記入金取引が選択されます。

- F03B13

- F03B14

- 各取引の検証と確認が行われます。

エラーがない場合は、次の処理が実行されます。

- 取引明細テーブル (F0911) で適切な勘定科目が借方と貸方に計上されます。  
借方に計上される勘定科目は手形の状況によって決まります。
- F0911 テーブルに売掛金勘定の自動仕訳が作成されます。
- 必要に応じて、割引、少額消込、再請求、損金勘定の自動仕訳が作成されます。
- 勘定残高テーブル (F0902) の残高が更新されます。
- F0911 テーブルの取引の転記コードを P (転記済み) が更新されます。
- F03B14 テーブルの転記コード フィールドが D に更新されます。

---

注: F03B13 テーブルのレコードは、手形が回収済みかつ転記済みになるまで更新されません。受取と取立の後に手形を転記した場合、転記コード フィールドは更新されません。

---

- バッチ制御テーブル (F0011) のバッチ状況が D に更新されます。

手形仕訳の検討プログラム (P0011) を使って手形を転記することもできます。

---

注: F03B11 テーブルに転記状況 D の未充当手形 (RU)、手形 (R1)、再請求 (RB)、および損金 (R5) の各請求書レコードが作成されます。これらのレコードが転記されたかどうかを判断するには、元となる手形伝票の転記状況を検索して確認する必要があります。

---

## 手形の転記によって作成される仕訳について

手形を総勘定元帳に転記すると、仕訳の作成方法および転記時の手形の状況に基づいて、F0911 テーブルにレコードが作成されます。

以下の各表は、標準の手形、割引手形、偶発債務を伴う割引手形に対して作成される仕訳を示しています。各レコードの表に記載されているフィールドから勘定科目が取り込まれます。このフィールドは、手形の入力、取立、回収時に AAI に基づいて更新されます。

## 標準の手形

次の表は、標準の手形に対して作成される仕訳を示しています。

手形の状況	仕訳伝票タイプ	フィールド	基準となる AAI	借方勘定	貸方勘定
受取 (4)	R1	AID2	RD1x	受取手形	
受取 (4)	AE	AID	なし フィールドは、支払われた請求書から更新されます。		売掛金
取立 (3)	R2	AID2	RD2x	取立手形	
取立 (3)	R1	受取レコードの AID2	RD1x		受取手形
回収 (1)	RC 注: 仕訳の作成方法によって伝票タイプは RK の場合があります。	GLBA	RB または R03B672 の処理オプション	銀行勘定	
回収 (1)	R2	取立レコードの AID2	RD2x		取立手形

## 割引手形

次の表は、割引手形に対して作成される仕訳を示しています。

手形の状況	仕訳伝票タイプ	フィールド	基準となる AAI	借方勘定	貸方勘定
受取 (4)	R1	AID2	RD1x	受取手形	
受取 (4)	AE	AID	なし フィールドは、支払われた請求書から更新されます。		売掛金
取立 (3)	R2	AID2	RD3x	取立手形 (割引)	
取立 (3)	R1	受取レコードの AID2	RD1x		受取手形

手形の状況	仕訳伝票タイプ	フィールド	基準となる AAI	借方勘定	貸方勘定
回収 (1)	RC 注: 仕訳の作成方法によって伝票タイプは RK の場合があります。	GLBA	RB または R03B672 の処理オプション	銀行勘定	
回収 (1)	R2	取立レコードの AID2	RD3x		取立手形 (割引)

### 偶発債務を伴う割引手形

次の表は、偶発債務を伴う割引手形に対して作成される仕訳を示しています。

手形の状況	仕訳伝票タイプ	フィールド	使用される AAI	借方勘定	貸方勘定
受取 (4)	R1	AID2	RD1x	受取手形	
受取 (4)	AE	AID	なし フィールドは、支払われた請求書から更新されます。		売掛金
取立 (2)	R2	AID2	RD3x	割引取立手形	
取立 (2)	R1	受取レコードの AID2	RD1x		受取手形
取立 (2)	RC 注: 仕訳の作成方法によって伝票タイプは RK の場合があります。	GLBA	RB または R03B672 の処理オプション	銀行勘定	
取立 (2)	R2	AID2	RD4x		偶発債務手形
回収 (1)	R2	AID2	RD4x	偶発債務手形	
回収 (1)	R2	取立レコードの AID2	RD3x		割引取立手形

### 仕訳の形式

明細仕訳の作成と集計仕訳の作成との違いは、作成される仕訳の件数および割り当てられる伝票タイプと伝票番号です。

どちらの方法で仕訳を作成する場合も、作成される仕訳によって入金明細テーブル (F03B14) の次のフィールドが更新されます。

- RZDCTG (伝票タイプ - JE)

- RZDOCG (伝票番号 - JE)
- RZKCOG (伝票会社 - JE)

注: 手形処理の全ての段階で、伝票番号は同じ方法を使って割り当てられます。

## 明細方式

処理オプションで明細方式の仕訳を作成するように設定した場合、手形を入力すると、F03B13 テーブルの売掛金転記状況フィールド (ISTR) の値が 1 に更新されます。手形を転記すると、次の処理が実行されます。

- バッチ内の手形ごとに 1 件の伝票が、F0911 テーブルに作成されます。
- 銀行勘定の仕訳に伝票タイプ RC が割り当てられます (偶発債務を伴う割引手形を取り立てる場合は、回収または取立時に割り当てられます)。
- システム 03B、行 6 (手形番号) の自動採番プログラムによって番号から伝票番号が割り当てられます。
- F03B14 テーブルのレコードが、監査用として仕訳に割り当てられる伝票番号で更新されます。

## 集計方式

処理オプションで集計方式の仕訳を作成するように設定した場合、手形を入力しても入金見出しテーブル (F03B13) の売掛金転記フィールド (ISTR) は更新されません。手形を転記すると、次の処理が実行されます。

- 手形を転記したバッチごとに 1 件のレコードが、F0911 テーブルに作成されます。
- 銀行勘定の仕訳に伝票タイプ RK が割り当てられます (偶発債務を伴う割引手形を取り立てる場合、回収または取立時に割り当てられます)。
- バッチ番号が伝票番号として割り当てられます。

集計方式の仕訳を作成するには、次のことを確認する必要があります。

- 売掛管理固定情報の集計方式の値が B (バッチ モード) に設定されている。
- 一般会計固定情報の会社間決済オプションが 2 と 3 以外の値に設定されている。

これ以外の設定の場合、仕訳は明細方式で生成されます。

## 使用される方式一覧

次の表に、一般会計固定情報および売掛管理固定情報の設定を基に作成される仕訳タイプを示します。

会社間決済 (一般会計固定情報)	売掛金の集計方式 (売掛管理固定情報)	仕訳作成方式 (集計 (S) / 明細 (D))	作成される仕訳の形式 (F0911)
1 (ハブ方式)	B	D	明細
1	Y	D	明細
1	S	D	明細
2 (詳細方式)	B	D	明細
2	Y	D	明細

会社間決済（一般会計固定情報）	売掛金の集計方式（売掛管理固定情報）	仕訳作成方式（集計（S） / 明細（D））	作成される仕訳の形式（F0911）
2	S	D	明細
3（構成ハブ方式）	B	D	エラー（仕訳作成は不可）
3	Y	D	明細
3	S	D	明細
1	B	S	集計
1	Y	S	明細
1	S	S	明細
2	B	S	集計
2	Y	S	明細
2	S	S	明細
3	B	S	エラー（仕訳作成は不可）
3	Y	S	明細
3	S	S	明細

注: 集計方式の記号は、以下の内容を表します。

Y: 項目行の数に関係なく伝票ごとに 1 件の自動仕訳

S: 支払項目ごとに 1 件の自動仕訳

B: バッチごとに 1 件の自動仕訳

割引が実施されたかどうか、または少額消込、再請求、損金を伴う手形の突合せが行われたかによって、別レコードが作成されます。

### 無効および残高不足（NSF）手形の転記

無効にした手形や残高不足（NSF）と指定した手形を転記した場合も、仕訳が作成されます。処理オプションでの仕訳作成方法の設定にかかわらず、次の処理が行われます。

- ・ 無効にした手形を転記すると、伝票タイプ RO の仕訳が作成されます。
- ・ 残高不足（NSF）と指定された手形を転記すると、伝票タイプ RV の仕訳が作成されます。

仕訳に割り当てられた伝票番号と伝票タイプを使って、F03B13 のレコードの DOCQ フィールドと DCTQ フィールドの値が更新されます。

### 金額ゼロの手形の転記

未充当手形を請求書と突き合わせた場合は、手形の金額が 0 のため仕訳は作成されません。

また、未充当手形が転記された売掛金勘定と請求書が転記された売掛金勘定が異なる場合のみ、自動仕訳（伝票タイプ AE）が作成されます。未充当手形を記録する売掛金勘定と請求書の売掛金勘定が同じ場合、AE 仕訳は作成されず、転記編集レポートも作成されません。

### 手形の転記によって作成される自動仕訳

手形を転記すると、取引明細テーブル（F0911）に伝票タイプ AE の仕訳が自動的に作成されます。手形入力時に更新されたフィールドの略式 ID が使用されます。次の表は、入力した手形の種類によって、転記プログラムで AE 仕訳の勘定科目を検索するのに使用されるフィールドを示しています。

勘定科目	手形の種類	フィールド	テーブル
売掛金	突合せ済み手形（入力タイプコード 10）	AID	F03B14
	未充当手形	AID	F03B13
	再請求（入力タイプコード 11、16、26）	AIDC	F03B14
割引実施額	割引（入力タイプコード 10）	AIDD	F03B14
少額消込	少額消込（入力タイプコード 10、15、25）	AIDW	F03B14
損金仮勘定	損金仮勘定（入力タイプコード 17、27）	DAID	F03B14

### 手形の承認と転記に使用されるフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[バッチの処理]	W0011A	[手形日次処理] メニュー（G03B161）から [手形仕訳の検討] を選択します。	手形バッチを検索します。
[バッチの承認]	W0011C	[バッチの処理] フォームで、バッチを選択し、[ロー] メニューから [バッチ承認] を選択します。	転記用バッチを承認します。

### 受取手形を転記するための転記プログラムの実行

[手形日次処理] メニュー（G03B161）から [手形の転記] を選択します。

### 手形仕訳の検討プログラムからの手形の転記

[バッチの処理] フォームにアクセスします。

転記対象のバッチを選択し、[ロー] メニューから [バッチ別の転記] を選択します。

---

## 手形の削除および無効化

このセクションでは、手形状況の概要と手形の無効化と削除の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 手形状況の変更（前の状況に戻す）
- 手形の削除または無効化

### 手形の状況について

手形の取立や回収を誤って行った場合、最後まで処理してから無効にするのではなく、手形の状況を元に戻すことができます。このとき、複数の手形を選択して状況を元に戻すことが可能です。各手形の現在の状況において行われた変更が全て取り消されます。

---

**注:** 受取済みの状況を前の状況に戻したり、無効および NSF（残高不足）処理をした手形を前の状況に戻すことはできません。

---

手形入力プログラム (P03B602) の処理オプションで、この機能を使用できるようにするかどうかを指定できます。

手形を前の状況に戻すと、次の処理が行われます。

- 取立手形が既に書面またはテープで銀行に送信されている可能性があることを警告するメッセージが表示されます。
- 手形が取立明細に含まれている場合、取立明細から手形が削除されます。
- F03B11 テーブルの手形請求書レコード (R1) の支払状況が前の状況に戻されます。
- 前の状況とバッチで F03B13 テーブルが更新されます。
- F03B14 テーブルから現在の状況の未転記レコードが削除されます。
- F03B14 テーブルから現在の状況の転記済みレコードが逆仕訳されます。
- 手形取立ワークファイル テーブル (F03B672) に手形レコードがある（テープを使って取り立てた）場合、手形レコードは削除され、テキスト処理見出しテーブル (F007101) のレコードの状況が 3（保留/送信）に更新されます。

---

**注:** テキスト処理見出しテーブルの状況は、ユーザー定義コード (00/TL) から取り込まれます。

---

### 手形の削除および無効化について

手形を誤って入力した場合は、その手形を削除するか、無効にすることができます。手形を削除したり無効にすると、その手形によって支払われた請求書が再び未決済になります。

手形は次の場合にのみ削除できます。

- 手形が転記されていない。
- 手形の状況が受取 (4)。

---

**注:** 手形の状況が取立または回収の場合は削除できません。手形を転記してから無効にしてください。

---

手形を削除すると、次のテーブルから手形レコードが削除されます。



- 入金見出し (F03B13)
- 入金明細 (F03B14)
- 売掛金元帳 (F03B11)

手形が転記済みの場合は、手形を無効にしてください。手形を無効にすると、F03B13 テーブルで手形レコードの次のフィールドが更新されます。

- 入金 NSF/無効コード (NFVD)  
このフィールドは V に更新されます。
- 無効日付 (VDGJ)  
手形を無効にする際に入力した元帳日付が使用されます。
- 無効理由コード (VRE)  
手形を無効にする際に入力した理由コードが使用されます。

新しいバッチが作成されます。これを転記して逆仕訳を作成する必要があります。手形処理のどの段階でも手形を無効にすることができます。

## 事前設定

AAI 項目 RD5x が設定されていることを確認してください。この AAI は手形を無効にしたり NSF に指定した場合に使用されます。

## 手形の削除と無効化に使用するフォーム




フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[手形の処理]	W03B602A	[手形日次処理] メニュー (G03B161) から [手形入力 (自社)] または [手形入力 (顧客)] を選択します。	手形を検索します。
[手形を前の状況に戻す]	W03B602L	[手形の処理] フォームで、手形を選択し、[ロー] メニューから [前の状況] を選択します。	手形を前の状況に戻します。
[削除の確認]	W03B602D	[手形の処理] フォームで、手形を選択し、[ロー] メニューから [無効削除] を選択します。	手形の削除/無効化を確認します。
手形の無効/NSF	W03B602C	[削除の確認] フォームで、[OK] をクリックします。	手形を無効にする元帳日付と理由を指定します。

## 手形状況の変更

[手形を前の状況に戻す] フォームにアクセスします。

**手形入力(自社) - 手形を前の状況に戻す**

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

警告:回収済みまたは取立済みの手形を前の状況に戻します。取立済みの手形がバッチに含まれている可能性があります。

続行する場合、元帳日付を入力してください。

元帳日付  会社

[手形を前の状況に戻す] フォーム

## 手形の削除または無効化

[手形の処理] フォームにアクセスします。

次の例は、[手形の無効/NSF] フォームを示しています。

**手形入力(自社) - 手形の無効/NSF** i ? M

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

支払人No.	<input type="text" value="3434"/>	Emperador Hotels		
手形No.	<input type="text" value="529"/>	バッチ	<input type="text" value="DB"/> <input type="text" value="134940"/>	<input type="text" value="05/12/04"/>
手形日付	<input type="text" value="05/06/02"/>	会社	<input type="text" value="00001"/>	元帳日付 <input type="text" value="05/06/05"/>
満期日	<input type="text" value="05/07/02"/>	銀行名	<input type="text" value="Bank of Madrid"/>	
外貨手形金額	<input type="text" value="423.00"/>	顧客口座番号	<input type="text" value="54797789877"/>	
支払手段	<input type="text" value="D"/>	銀行/支店コード	<input type="text" value="8908809889"/>	
通貨	<input type="text" value="EUR"/>	為替レート	<input type="text" value="1.1820331"/>	基本 <input type="text" value="USD"/> <input checked="" type="checkbox"/> 外貨

手形の無効

元帳日付  理由コード

☐ 一部NSF

☐ 更新

☐ 仕訳入力 ☐ 税付き仕訳入力 ☐ 請求書入力

[手形の無効/NSF] フォーム

手形を削除または無効にするには、次の手順に従います。

1. [手形の処理] フォームで、削除するか無効にする請求書を選び、[ロー] メニューから [無効/削除] を選択します。
2. [削除の確認] で [OK] をクリックします。
3. [手形の無効/NSF] で、[元帳日付] フィールドと [理由コード] フィールドに入力して、[OK] をクリックします。

手形が転記済みかどうかにかかわらず、両方のフィールドに値を入力する必要があります。

---

## 手形の取立

このセクションでは、手形の取立、割引手形と偶発債務、およびオンライン手形明細の概要と、次の方法について説明します。

- 受取手形の明細の作成
- 手形の取立プログラムの実行
- 手形の取立 (R03B672) のデータ選択の設定
- 手形の取立 (R03B672) の処理オプションの設定
- (ITA) Set processing options for A/R Magnetic RIBA Draft Remittance Tape Format (R03B672IT).
- (ITA) Set processing options for A/R Magnetic RID Draft Remittance Tape Format (R03B672IR).
- (ESP) Set processing options for Draft Remittance File Format AEB 19 – Spain (R74S6729).
- (ESP) Set processing options for Draft Remittance File Format AEB 32 – Spain (R74S6722).
- (ESP) Set processing options for Draft Remittance File Format AEB 58 – Spain (R74S6728).

### 関連項目:

第 12 章、「受取手形の処理」、「手形の転記によって作成される仕訳について」、378ページ

## 手形の取立について

顧客の銀行から手形代金を回収するためには、取引銀行に手形を持ち込み（預け入れ）ます。国によっては、この処理が不要な場合もあります。銀行への手形の持込みは、テープまたは印刷した書面で行うことができます。通常、電子フォーマットを使用する場合は、完全な顧客の銀行口座情報が必要になります。

銀行に手形を持ち込む前に、銀行口座別に手形をまとめて明細を作成することができます。手形レコードは銀行口座情報で更新され、明細番号が割り当てられます。この番号は、手形の取立プログラム (R03B672) の実行時にデータ選択で 사용할 ことができます。

明細を作成しない場合、手形の取立プログラムを実行すると、手形レコードは銀行口座情報で更新されます。

このプログラムはテスト モードと最終モードのどちらでも実行できます。

テスト モードでは、次の処理が実行されます。

- F03B13 テーブルから受取済みの手形（手形状況 4）が選択されます。
- 元帳日付が会社の会計期間内であるかどうかを検証されます。
- 取立手形のレポートが印刷されます。

取立ペーパー フォーマット プログラム (R03B672P) を最終モードで実行すると、テスト モードで実行した場合と同様に次の処理が行われます。

- バッチ制御テーブル (F0011) に取立バッチの新しいバッチ見出しレコードが作成されます。
- F03B11 テーブルの手形請求書レコードの支払状況が D（明細が作成されている場合は “#”）から G（手形預入済み、満期日前）に変更されます。

- F03B13 テーブルのレコードと F03B11 テーブルの手形請求書レコードの手形状況が 4 (受取) から 3 (取立 - 現金化または割引) または 2 (取立 - 偶発債務) に変更されます。
- 現金化するため、または割り引いて現金化するために手形を持ち込むと、F03B14 テーブルに次のレコードが作成されます。
  - 手形の受取状況が変更されたレコード
  - 手形の取立状況 3 (取立 - 現金または割引) を持つレコード
- 偶発債務を伴う手形を持ち込むと、F03B14 テーブルに次のレコードが作成されます。
  - 手形の受取状況 (手形状況 4) が変更されたレコード
  - 手形の取立状況 2 (取立 - 偶発債務) を持つレコード
  - 偶発債務を記録するレコード
- 各手形に対して 1 件のレコードが手形取立テーブル (F03B672) に作成されます。
- レポートとなる PDF ファイルが作成されると、F03B672 から自動的にレコードが削除されます。

受取手形の取立 (磁気テープ フォーマット) プログラム (R03B672T) をテスト モードで実行すると、ペーパー フォーマット プログラムを最終モードで実行した場合と同様に次の処理が行われます。

- テキスト処理見出しテーブル (F007101) が更新されます。
- テキスト処理明細テーブル (F007111) が更新されます。
- 自動採番プログラム 00/07) によって、バッチ番号が割り当てられます。

---

**注:** テキストファイル処理プログラム (P007101) を実行して、テキスト処理テーブル (F007101 と F007111) からバッチを削除する必要があります。手形取立バッチを削除すると、F03B672 テーブルからもレコードが削除されます。

---

手形の取立処理は、最終モードで実行する前にテスト モードで実行することをお勧めします。これによって、レコードを更新する前にエラーを検討して修正することができます。最終モードの実行時にエラーが見つかった場合は、レポートにエラー メッセージが印刷されます。

手形を持ち込んだら、取立バッチを承認して総勘定元帳に転記します。適切な仕訳が自動的に作成されます。

## エラー処理

手形の取立プログラム (R03B672) の実行時にエラーが発生した場合は、次のことを行ってください。

- 正しいバージョンを選択したことを確認する。
- 処理オプションで入力した元帳日付が正しいかどうかを確認する。
- 処理オプションで入力した基準日が、最新の手形の満期日と同じかそれ以降であることを確認する。
- 処理オプションで紙またはテープの取立プログラムとバージョンを入力したことを確認する。

## 割引手形と偶発債務について

手形の満期日前に銀行に対して支払を求めることができます。これは手形の割引と呼ばれます。手形を割り引く場合は、割引手数料を差し引いた金額を回収することができます。次のように、満期日になるまで偶発債務として計上することが義務付けられている国もあります。

- 満期日になるまで、(借) 現預金 / (貸) 偶発債務を記録する。
- 満期日になったら、回収処理によって偶発債務を相殺する。

偶発債務を伴う手形を持ち込むと、満期日前に手形の全額を回収することができます。

割引および偶発債務を伴う手形を持ち込むには、手形の取立プログラム (R03B672) の処理オプションを正しく設定する必要があります。

取立手形を転記すると、割引手形および偶発債務によって割引かれた手形の両方に対して、次の仕訳が作成されます。

- 偶発債務なしで割引手形を取り立てると、(借) 割引取立手形 / (貸) 受取手形の仕訳が作成されます。割引取立手形勘定は、AAI 項目 RD3x (x は支払手段) に基づいて決まります。
- 手形代金を回収すると、(借) 銀行勘定 (RB) / (貸) 割引手形勘定 (RD3x) の仕訳が作成されます。

偶発債務を伴う割引手形を取り立てると、次のような仕訳が作成されます。

- (借) 割引取立手形 / (貸) 受取手形 - 割引取立手形勘定は、AAI 項目 RD3x (x は支払手段) に基づいて決まります。
- (借) 銀行勘定 / (貸) 偶発債務 - 偶発債務勘定は、AAI 項目 RD4x (x は支払手段) に基づいて決まります。

手形を回収 (現金化) すると、(借) 偶発債務 / (貸) 割引手形勘定の仕訳が作成されます。

---

**注:** 満期日前に現金化できる割引手形は、割引請求書とは異なることに注意してください。

手形は、割引を伴う請求書にも割引を伴わない請求書にも突き合わせることができます。

請求書の金額分の手形を持ち込んで、銀行による顧客の手形代金の回収が行われるまで待つか、満期日前に一部の現金を受け取るために割引手形として持ち込むか、または割引手形を持ち込んで満期日まで偶発債務を計上しておくことができます。

---

## Understanding Italian Draft Remittance Formats (ITA)

The PeopleSoft EnterpriseOne system provides several country-specific formats for electronic accounts receivable drafts remittance. You specify the country-specific format that you want to use on the Paper / Tape tab of the processing options for the Draft Remittance program (R03B672).

Specify one of these formats for electronic accounts receivable drafts remittance for Italy:

R03B672IP	AR Magnetic RIBA Draft Remittance Paper Format
R03B672IT	A/R Magnetic RIBA Draft Remittance Tape Format
R03B672IR	A/R Magnetic RID Draft Remittance Tape Format

When you use the magnetic RIBA and RID remittance formats, the system creates text file processor batches that contain the remittance information.

## Understanding Spanish Remittance Formats (ESP)

The system provides these remittance formats to remit drafts to the bank:

- Draft Remittance File Format AEB 19 - Spain (R74S6729)
- Draft Remittance File Format AEB 32 - Spain (R74S6722)
- Draft Remittance File Format AEB 58 - Spain (R74S6728)

To remit drafts using one of these formats, enter the program number and version of the format that you want to use in the Paper/Tape processing option of the Draft Remittance program (R03B672).

The Spanish remittance formats create Text File Processor batches that contain the remittance information.

### **AEB 19**

Use the AEB 19 format to remit drafts for which the funds will be collected later.

The AEB 19 can be submitted in either of two formats. You specify the format in the processing options of the Draft Remittance File Format AEB 19 – Spain program (R74S6729). Format 1 contains the invoice number in the reference field. Format 2 contains the draft number in the reference field. The format that you select depends on the requirements of the bank to which you remit the drafts.

### **AEB 32**

Use the AEB 32 to remit discounted drafts for which you have a physical receipt.

### **AEB 58**

Use the AEB 58 format to remit drafts for which the bank will advance you the funds before the due date of the draft. This process is called discounting a draft. When you discount a draft in Spain, you must recognize contingent liability.

参照: 第 12 章、「受取手形の処理」、「手形の転記によって作成される仕訳について」、378ページ

## **Understanding Draft Remittance for France (FRA)**

In France, drafts can be remitted to the bank on paper or electronically. When a draft is remitted to the bank, the bank charges a commission fee for processing the draft. The commission fee is subject to VAT (value added tax). If the draft is discounted, the bank calculates an additional fee that is based on the actual due date. The fee for discounting is also subject to VAT. You must create manual journal entries for these VAT entries.

### **Types of Drafts**

These drafts must be accepted by the customer before they can be remitted to the bank:

- LCR – The supplier prints the draft with bank account information.
- LCC – The supplier prints the draft with bank name only.
- BOR – The customer prints the draft with bank account information.
- BOC – The customer prints the draft with the bank name only.

Automatic drafts, called Lettre de Change Magnétique (LCR Magnétique), do not require customer acceptance.

### **Référence Tiré**

The référence tiré is a customer draft reference number that the company accepting the draft needs to enter on its draft record. This number must be included when the draft is remitted electronically because the bank uses the number to match the draft with the customer reference.

When you use electronic drafts, you should indicate a 10-character *référence tiré* on the draft file that is remitted to the bank. According to French banking standards, this reference must always be right-justified. If it is fewer than 10 characters, the remaining character spaces must be filled with zeroes. The system updates the *référence tiré* in the detail record of the bank file (record 06) in positions 21 to 30.

Use the Reference field to input the *référence tiré*. The Reference field is alphanumeric and cannot include any blanks, special characters, or punctuation marks. Although the Reference field is a generic field that can contain as many as 25 characters, only ten characters can be used for the French *référence tiré*. When the field is not used, it should remain blank.

The Reference field is included in these programs:

- Enter Our Drafts (P03B602, version ZJDE0001)
- Enter Customer Drafts (P03B602, version ZJDE0002)
- Draft Inquiry (P03B602, version ZJDE0001)
- A/R Draft Remittance Magnetic Tape Format program (R03B672T)

To access the Reference field, select Additional Information from the Form menu on the Drafts Entry form.

### Draft Remittance Formats

You can use the Draft Remittance program (R03B672) to remit drafts in print or tape formats, depending on the program that you select in the appropriate processing option.

When you use the A/R Draft Remittance Magnetic Tape Format (R03B672T), the program generates the Drafts Standard Formatted Tape File table (F03B67OW). This table conforms to the French banking standards (AFB) for magnetic drafts (LCR Magnétiques). These standards are compatible with ETEBAC communication protocols.

The French LCR Magnétiques AFB standard bank file is 160 characters long and structured as follows:

- Header records – 03
- Detail records – 06
- Total records – 08

Table F03B67OW contains a 1500-character field that is labeled REAPTA; this field contains information that should be sent to the bank, formatted according to AFB standards.

You need to create a utility program to copy the appropriate information from table F03B67OW to a medium (diskette, email, or other) that can be sent to the bank.

### Bank Input Code

Processing option 4 of the A/R Draft Remittance Magnetic Tape Format (R03B672T) enables you to indicate the Bank Input Code (Code Entrée) for the header record of the bank file (record 03) in position 79.

### Sender's Bank ID

You enter the sender's bank ID in the Bank User Number field on the Revise BACS Information form. This number is updated in the header record (record 03) in positions 13 to 18.

You can access the Revise BACS Information form by choosing GL Bank Accounts from the Automatic Debiting menu (G03B131), and then selecting a bank account and choosing BACS Info from the Row menu.

## オンライン手形明細について

オンライン明細を手動で作成して、手形を銀行に持ち込む際に使用することができます。これは、手形の取立処理では任意のステップです。明細を作成する際には、手形代金回収のために銀行に持ち込む手形を選択できます。同じ銀行口座に対して別の明細を作成するには、手形の取立プログラム (R03B672) を実行して、先に作成した明細に含まれる手形を銀行に持ち込む必要があります。ただし、持ち込む前に既存の明細に手形を追加したり削除することが可能です。

手形の取立 (持ち込み) 前に明細を作成する利点は次のとおりです。

- 回収用、手形を支払手段および満期日別に整理できます。
- 取立手形をオンラインで確認できます。
- 手形の取立プログラムの実行時に簡単に手形を選択できます (手形明細番号での選択が可能)。
- 手形の状況が更新されるため、同じ手形を誤って別の銀行に持ち込むことを防ぐことができます。

明細には標準の手形または割引手形を含めることができますが、全ての手形の取引通貨を同じにする必要があります。

手形明細を作成すると、次の処理が実行されます。

- バッチ制御テーブル (F0011) にバッチ タイプ &B のバッチ見出しレコードが作成されます。
- 選択された手形の請求書レコード (F03B11) の支払状況が D (受取) から # (支払選択済み) に変更されます。
- 選択された手形の入金レコード (F03B13) の銀行勘定が更新されます。
- 選択された手形入金レコード (F03B13) に、5 桁の数字 (00001 で始まる) とバッチ番号を結合した明細番号 (DREG フィールド) が割り当てられます。

## 手形の取立に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[受取手形明細の処理]	W03B675C	[手形の取立/回収] (G03B162)、[手形明細の作成と検討]	既存の手形明細があるかどうかを確認します。
[手形明細]	W03B675D	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [受取手形明細の処理] フォームで、[追加] をクリックします。</li> <li>• [受取手形明細の処理] フォームで、手形明細を選択して [選択] をクリックします。</li> </ul>	<p>手形を銀行に持ち込む際に使用するオンライン明細を作成します。</p> <p>手形明細を検討、改訂を行います。</p>
[すべての手形の選択]	W03B675E	[手形明細] フォームで、[フォーム] メニューから [手形] を選択します。	<p>銀行に回収を依頼する各手形を検索および選択します。</p> <p>既存の明細に手形を追加します。</p>

## 受取手形の明細の作成

[手形明細] フォームにアクセスします。



手形明細の作成と検討 - 手形明細 i ?

OK(O) 検索(I) 削除(D) キャンセル(L) フォーム(F) ツール(T)

---

勘定科目コード	<input type="text" value="2.8115"/>	<i>Regular Pay</i>
明細No.	<input type="text"/>	
必要な金額	<input type="text" value="500.00"/>	通貨コード ★ <input type="text" value="GBP"/>
選択した金額	<input type="text"/>	
差額	<input type="text" value="500.00"/>	

---

レコードが取り込まれていません グリッドのカスタマイズ ↑ ↓ □

		支払人 No.	支払人	手形 No.	満期日	支払 手続	手形 金額	基本 通貨
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							

## 「手形明細」フォーム

受取手形の明細を作成するには、次の手順に従います。

1. [手形明細] フォームで、[勘定科目コード] フィールドに銀行勘定科目コードを入力します。
2. [通貨コード] フィールドに値を入力します。
3. (省略可) [必要な金額] フィールドに値を入力します。
4. [フォーム] メニューから [手形] を選択します。
5. [すべての手形の選択] フォームで、銀行に回収を依頼する各手形を選んで [選択] をクリックします。
6. [手形明細] で、[OK] をクリックします。

**【勘定科目コード】** 銀行の勘定科目コードを入力します。

**【必要な金額】** 選択した手形の金額が想定した金額と一致しているかどうかの確認を行うために、取り立てる手形の合計金額を入力します。

## 手形の取立プログラムの実行

[手形の取立/回収] メニュー (G03B162) から [手形の取立] を選択します。

## 手形の取立（R03B672）のデータ選択の設定

このプログラムには、いくつかのデモ バージョンが用意されており、次の条件によって手形を選択できます。

- ・手形に銀行勘定があるかどうか。

手形明細を作成しない場合、手形レコードには銀行勘定がありません。明細なしのバージョン（タイトルに“w/o Reg”が含まれているバージョン）を選択してください。

- テスト モードと最終モードのどちらで実行するか。
- 紙とテープのどちらのフォーマットで手形を持ち込むか。

その他の条件を追加することも可能です。たとえば、支払手段に基づいて手形を選択することができます。

## 手形の取立 (R03B672) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### テスト/最終

テスト モードと最終モードのどちらで手形の取立を処理するかを指定します。

#### 1. 最終モード

このプログラムをテスト モードで実行するか、最終モードで実行するかを指定します。テスト モードでは、最終モードで実行した場合に取立が行われる手形のレポートの印刷のみが行われます。最終モードでは、レポートの印刷と共に、手形の支払状況が G (手形預入済み、満期日前) に更新され、F0911 テーブルに仕訳が作成されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モード

1: 最終モード

### 基準日

取立を行う手形レコードを選択するのに使用する日付を指定します。

#### 1. 基準日

取立を行う手形レコードを選択する日付を指定します。満期日が指定した日付と同じかそれより前の全ての手形が選択されます。この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。

### 銀行

手形明細に出力済みかどうかに基づいて、選択する手形レコードを指定します。

#### 1. 明細

手形明細を使用して処理された手形レコード (F03B13) を選択するかどうかを指定します。明細を使用して理された手形レコードの銀行勘定フィールドには値が含まれています。明細を使用して処理されなかった手形レコードの銀行勘定フィールドには値が含まれていません。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 手形明細を使用して処理されなかった手形レコードを選択する。

1: 手形明細を使用して処理された手形レコードを選択する。

#### 2. 取立手形銀行勘定

明細を使用せずに処理された手形レコードの銀行勘定科目を指定します。標準の勘定科目コード形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で入力してください。

---

**注:** 手形が明細を使用して処理されている場合はこの処理オプションをブランクにしてください。

---

## 取立

勘定科目情報と為替レートを指定します。

1. 手形勘定用 AAI                      取立手形を転記する場合に使用する AAI を指定します。有効値は以下のとおりです。  
    ブランク:AAI 項目 RD2x (現金)。x は支払手段を示します。  
    1: AAI 項目 RD3x (割引)。x は支払手段を示します。  
    2: AAI 項目 RD4x (偶発債務)。x は支払手段を示します。
2. RD2/RD3 AAI の手形勘定科目コードの一時変更                      取立手形を転記する場合に使用する勘定科目を指定します。前の処理オプションで指定した AAI に関連する勘定科目の代わりにこの勘定科目が使用されます。現金および割引手形 (RD2x と RD3x) に対してのみこの勘定科目が使用されます。偶発債務手形 (RD4x) の勘定科目を変更するには、次の処理オプションを設定してください。標準の勘定科目コード形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で入力してください。
3. RD4 AAI の勘定科目コードの一時変更                      取立手形を転記する場合に使用する勘定科目を指定します。前の処理オプションで指定した AAI に関連する勘定科目の代わりにこの勘定科目が使用されます。偶発債務手形 (RD4x) に対してのみこの勘定科目が使用されます。標準の勘定科目コード形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で入力してください。
4. 為替レートの一時的変更                      外貨建て請求書に対して支払う手形に使用する為替レートを指定します。請求書の通貨にかかわらず、全ての手形にここで指定した為替レートが適用されます。この処理オプションをブランクにすると、為替レート テーブル (F0015) で為替レートが検索されます。

---

注: この処理オプションは、偶発債務を伴って取り立てた手形に対してのみ有効です。

---

## 元帳日付

取立手形に対して作成される仕訳に使用する元帳日付を指定します。

1. 仕訳の元帳日付                      取立手形に対して作成される仕訳に割り当てる元帳日付を指定します。ブランクにすると、システム日付が使用されます。

## 最高金額

取り立てる手形の合計の上限金額を指定します。

1. 最高累計手形金額                      取り立てる手形の合計の上限金額を指定します。処理対象として選択された手形の合計金額がここで指定した金額を超えている場合、手形の取立は実行されません。この処理を実行するためには、金額が上限を超えないようにデータ選択で手形を絞り込む必要があります。

## 最低金額

取り立てる手形の合計の下限金額を指定します。

1. 最低取立処理金額                      取り立てる手形を処理するのに必要な最低金額を指定します。選択した手形の合計金額がここで指定した金額以下の場合、手形は処理されません。

## レポート/テープ

銀行フォーマットに対して使用する手形取立プログラムを指定します。

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 紙/テープ取立プログラム | 銀行フォーマットに対して使用する手形取立プログラムを指定します。プログラムを指定しない場合、取立処理は行われません。指定できるプログラムは次のとおりです。  |
|                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• R03B672AR: Remittance Date PO Template AGR</li> <li>• R03B672IP: AR Magnetic RIBA Draft Remittance Paper Format</li> <li>• R03B672IR: A/R Magnetic RID Draft Remittance Tape Format</li> <li>• R03B672IT: A/R Magnetic RIBA Draft Remittance Tape Format</li> <li>• R03B672P: 受取手形の取立ペーパー フォーマット</li> <li>• R03B672T: 受取手形の取立 (磁気テープ フォーマット)</li> </ul> |
| 2. 紙/テープ取立バージョン | 使用する取立プログラムのバージョンを指定できます。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。  |

## カスタム レポート

カスタム取立レポートを印刷するプログラムを指定します。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| 1. カスタム取立レポート – プログラム ID | 取立用カスタム レポートの作成に使用するプログラムを指定します。この処理オプションをブランクにすると、レポートは作成されません。 |
| 2. カスタム取立レポート – バージョン ID | 使用するカスタム取立プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、レポートは作成されません。     |

## (ITA) Setting Processing Options for A/R Magnetic RIBA Draft Remittance Tape Format (R03B672IT)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Bank

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 1. Sequence Number       | Specify the sequence number for the Riba tape format.         |
| 2. Remittance Date       | Specify the remittance date.                                  |
| 3. Bank Search Type Code | Specify the search type code to identify the payor as a bank. |

### Italian Tape

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| Province                 | Specify the province for RiBa authorization.  |
| Number                   | Specify the RiBa authorization number.  |
| Date                     | Specify the date for RiBa authorization.  |
| 5. Client Name           | Specify the line number from Address Book for the customer name continuation.                   |
| 6. Client Street Address | Specify the address line number in Address Book that contains the street address of the client. |

**Create****Create Option**

Specify the type of format being created. Values are:

Blank: Create Tape Only (Final Mode)

1: Print RiBa on pre-printed form.

2: Print RiBa and create tape (final mode only).

## **(ITA) Setting Processing Options for A/R Magnetic RID Draft Remittance Tape Format (R03B672IR)**

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

**Tape**

**1. Beginning Sequence  
Number of tape (Optional)**

Specify the beginning sequence number of the RID (Rapporti Interbancari Diretti)(Direct Inter-Bank Relationship) tape file. You are not required to enter a value in this processing option.

**2. Remittance Date**

Specify the remittance date of the RID tape file.

**3. Search Type Code**

Specify the search type that identifies the payor as a bank. If the Address Book Search Type of the payor matches this code, the payor is a bank.

**4. RID Type**

Specify the type of RID tape format being created. Values are:

Blank: Commercial RID

1: Users RID

2: Speed RID

**5. Client Address Line  
Number**

Specify the address line number in Address Book that contains the street address of the debtor for Record 40. Values are:

Blank: Address line 1

1: Address line 1

2: Address line 2

3: Address line 3

4: Address line 4

**Create****1. Creation Option**

Specify the type of format being created. Values are:

Blank: Create tape only (final mode only).

1: Print RID on pre-printed form.

2: Print RID and create tape (final mode only).

## (ESP) Setting Processing Options for Draft Remittance File Format AEB 19 – Spain (R74S6729)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Process

These processing options specify the format in which drafts are printed as well as where address information is stored on customer records in Address Book.

<b>Format</b>	Specify the format that the system uses. Values are: Blank: Format one. 1: Format two.
<b>Client Address Line Number</b>	Specify the address line number in Address Book that contains the street address of the client. Values are: Blank: Address line 1. 1: Address line 2. 2: Address line 3.
<b>City Address Line Number</b>	Specify the address line number in Address Book that contains the city of the client. Values are: Blank: Address line 1. 2: Address line 2. 3: Address line 3. 4: Address line 4.

### Currency

This processing option specifies the currency in which the system creates remittances.

<b>Currency Designation</b>	Specify whether the system creates remittances using euros or the currency of the company. Values are: Blank: Use the company currency. 1: Use euros (EUR).
-----------------------------	---

---

**警告:** If you leave this processing option blank, the company currency must be Pesetas (ESP).

---

### Defaults

These processing options specify processing information that the system uses when creating remittances.

<b>1. File Creation Date</b>	Specify the date on which the remittance is created. If you leave this processing option blank, the system uses the system date as the default value.
<b>2. Company Number</b>	Specify the company that is issuing the remittance. Blank is not a value.

## (ESP) Setting Processing Options for Draft Remittance File Format AEB 32 – Spain (R74S6722)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Process

These processing options specify the format in which drafts are printed as well as where address information is stored on customer records in Address Book.

**Client Address Line Number** Specify the address line number in Address Book that contains the street address of the client. Values are:

Blank: Address line 1.

1: Address line 2.

2: Address line 3.

**City Address Line Number** Specify the address line number in Address Book that contains the city of the client. Values are:

Blank: Address line 1.

2: Address line 2.

3: Address line 3.

4: Address line 4.

### Currency

This processing option specifies the currency in which the system creates remittances.

**Currency Designation** Specify whether the system creates remittances using euros or the currency of the company. Values are:

Blank: Use the company currency.

1: Use euros (EUR).

---

**警告:** If you leave this processing option blank, the company currency must be Pesetas (ESP).

---

### Defaults

These processing options specify processing information that the system uses when creating remittances.

**1. File Creation Date** Specify the date on which the remittance is created. If you leave this processing option blank, the system uses the system date as the default value.

**2. Company Number** Specify the company that is issuing the remittance. Blank is not a value.

**3. Draft Type** Specify the type of draft that the system uses to create remittances. Values are:

Blank: Receipt.

1: Letra

- |                                      |  |
|--------------------------------------|--|
|                                      | 2: Receipt   |
|                                      | 3: Pagare  |
| <b>4. Customer Acceptance Status</b> | Specify the customer draft acceptance status. Values are:<br>Blank: Drafts are not accepted.<br>1: Drafts are accepted.<br>2: Drafts are not accepted.                                   |
| <b>5. Draft Fees Choice</b>          | Specify the draft fees choice. Values are:<br>0: Without fees.<br>1: With fees.<br>9: Orden de protesto notarial.  |
| <b>6. Geographic Area Code</b>       | Specify the geographic area code (UDC 00/S) that the system prints on remittance records. If this processing option is left blank, the system uses the first two digits in the zip code. |
| <b>7. Village Emission Code</b>      | Specify the name of the city of the company.   |

## (ESP) Setting Processing Options for Draft Remittance File Format AEB 58 – Spain (R74S6728)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Currency

This processing option specifies the currency in which the system creates remittances.

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| <b>1. Currency Designation</b> | Specify whether the system creates remittances using euros or the currency of the company. Values are:<br>Blank: Use the company currency.<br>1: Use euros (EUR). |
|--------------------------------|---|

---

**警告:** If you leave this processing option blank, the company currency must be Pesetas (ESP).

---

### Date

This processing option specifies the date that the remittance is created.

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| <b>1. File Creation Date</b> | Specify the date on which the remittance is created. If you leave this processing option blank, the system uses the system date as the default value. |
|------------------------------|---|

### Company

This processing option specifies the company number issuing the remittance.

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <b>1. Company Number</b> | Specify the company that is issuing the remittance. Blank is not a value. |
|--------------------------|---|



**AEB 58****AEB 58 Suffix**

Enter the suffix for the tax ID. This value should be from 000 to 999.

---

## 手形の残高不足 (NSF) 指定

このセクションでは、NSF (残高不足) 手形と NSF 手形通知レポートの概要、および以下の方法について説明します。

- 手形の NSF (全額または部分) 指定
- NSF 手形通知レポートの印刷
- NSF 手形通知レポート (R03B574) の処理オプションの設定

**関連項目:**

第 7 章、「請求書の処理」、「標準請求書入力について」、135ページ

JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「仕訳の処理」、「基本仕訳の入力」

## NSF 手形について

顧客の銀行口座に手形を支払う十分な資金がない場合、手形を NSF (残高不足) に指定することができます。手形の全額または一部を NSF に指定することができます。

**全額 NSF 手形**

全額 NSF 手形は、まったく現金を回収できなかった手形です。手形処理のどの段階でもこの NSF 機能を使用し、既存の請求書を再び未決済に戻して手形を処理することができます。手形を残高不足 (NSF) に指定すると、次の処理が実行されます。

- F03B11 テーブルの手形レコード (R1) から未決済金額が削除されます。
- 手形レコード (R1) に支払状況 P が割り当てられます。
- 決済日付として入力した元帳日付が手形レコード (R1) に割り当てられます。
- NSF レコードの新しいバッチが作成されます。

適切な仕訳を作成して F0911 テーブルと F0902 テーブルを更新するために、このバッチを転記する必要があります。

また、手形の更新機能を使って手形の更新 (期間延長) を行うこともできます。

手形を NSF に指定する際、該当するオプションを選択して、[手形の無効/NSF] フォームから直接新しい請求書を追加したり仕訳を作成することができます。これにより、銀行から請求される手数料を顧客に請求したり、その手数料の仕訳を作成することができます。手数料に消費税がかかる場合は、請求書で消費税を指定するか、[税付き仕訳入力] チェック ボックスをオンにします。

**部分 NSF 手形**

手形の全額を NSF と指定するのではなく、部分 NSF オプションを使って、回収できない手形の金額を指定することができます。未決済に戻す請求書を自動的に特定することはできないため、部分 NSF を指定すると、元の請求書は決済 (支払) 済みのままの状態で、NSF 金額の単独再請求レコード (伝票タイプ NP) が作成されます。

部分 NSF 手形は、取立と回収の間、または回収の後に入力できます。受取の段階では手形を部分 NSF に指定することはできません。たとえば、銀行に手形を持ち込んだ後や、手形の状況を回収に変更した後で、顧客の銀行口座の残高が不足していることがわかった場合にこの機能を使用できます。

顧客が NSF 手形の不足分を支払う見込みがある場合は、更新手形を作成することができます。更新手形の総額は、NSF 手形の金額と等しくなります。

部分 NSF を作成すると、次の処理が実行されます。

- F03B14 テーブルに、部分 NSF を示す入力タイプ コード 30 レコードが作成されます。このレコードは、顧客の銀行から回収する金額を調整するために作成されます。
- F03B14 テーブルに、部分 NSF の結果作成された単独再請求レコードを示す入力タイプ コード 36 のレコードが作成されます。
- F03B11 テーブルに、NSF の金額の再請求レコード（伝票タイプ NP）が作成されます。

---

**注:** 与信履歴の更新プログラム (R03B16A) の実行時、NSF の計算には部分 NSF が含まれます。部分 NSF の単独再請求レコード（伝票タイプ NP）は、NSF の計算には含まれません。

---

## 更新手形

手形を残高不足 (NSF) に指定する場合は、その手形を更新するように指定できます。手形の更新を行うと、不足分のコロで新しい手形が作成されます。[手形の無効/NSF] フォームでの [一部 NSF] の設定に基づいて、新しい手形は再び未決済になった請求書または再請求と突き合わされます。

手形を更新すると、次の処理が行われます。

- F03B13、F03B14、および F03B11 の各テーブルに新しい手形が作成されます。
- 新しく作成された手形が未決済だった元の請求書と照合されます。または、[一部 NSF] チェックボックスがオンの場合は自動的に作成された再請求レコードと照合されます。必要に応じて請求書レコードの改訂、削除、追加を行うことができます。
- F03B13 テーブルで元の手形の元帳日付が更新されます。

## NSF 手形通知レポートについて

残高不足のために戻された手形の合計金額をモニタリングするには、NSF 手形通知レポートを印刷します。NSF 手形がある各顧客に対して個別にレポートが印刷されます。また、顧客に対して追加情報を知らせるメッセージを印刷するように設定することができます。重要度に応じて異なるメッセージを設定することもできます。たとえば、「以下の手形は残高不足のため取引銀行より返却されました。至急御社の口座にご入金ください。」などのメッセージを印刷できます。

F03B14 テーブルのレコードが印刷されますが、請求書日付は F03B11 テーブルの手形レコード（伝票タイプ R1）から取り込まれます。

## 手形を残高不足 (NSF) として指定するために使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[手形の処理]	W03B602A	[手形日次処理] メニュー (G03B161) から [手形入力 (自社)] または [手形入力 (顧客)] を選択します。	手形を検索します。
[削除の確認]	W03B602D	[手形の処理] フォームで、手形を選択し、[ロー] メニューから [NSF] を選択します。	手形を残高不足 (NSF) に指定することを確認します。
[手形の無効/NSF]	W03B602C	[削除の確認] フォームで、[OK] をクリックします。	手形を NSF (全額または部分) に指定します。
[単独入金の作成]	W03B602H	手形の無効/NSF フォームで、部分 NSF を作成するための情報を入力し、[OK] をクリックします。	受領していない支払の一部を小額消込するために、単独取引を作成します。

### 手形の NSF (全額または部分) 指定

[手形の無効/NSF] フォームにアクセスします。

手形を NSF (全額または部分) と指定するには、次の手順に従います。

1. [元帳日付] フィールドと [理由コード] フィールドに値を入力します。
2. 部分 NSF に指定する場合は、[一部NSF] チェック ボックスをオンにして、[NSF 金額] フィールドに値を入力します。全額 NSF に指定する場合は、このステップはスキップしてください。
3. 更新情報を指定するには、[更新]、[手形No.]、[手形日付]、[満期日]、[支払手段]、および [為替レート] の各フィールドに値を入力します。

新しい手形が作成され、部分 NSF に指定したかどうかによって、その手形が未決済請求書または新しく作成された再請求レコードと突き合わされます。

4. 銀行手数料の仕訳を作成するには、[仕訳入力] チェック ボックスをオンにします。
5. 税付き仕訳を作成するには、[税付き仕訳入力] チェック ボックスをオンにします。
6. 銀行手数料を顧客に請求する請求書を作成するには、[請求書入力] チェック ボックスをオンにします。
7. [OK] をクリックします。
8. 部分 NSF に指定した場合は、[単独入金の作成] フォームが表示されます。[顧客]、[顧客参照]、[再請求理由コード]、および [再請求元帳クラス] の各フィールドに値を入力し、[OK] をクリックします。
9. 手形の更新を指定した場合は、新しく作成された手形と未決済請求書または再請求が [手形入力] フォームに表示されます。[手形入力] で、必要に応じて請求書情報を変更できます。

#### [NSF 金額]

残高不足の金額を入力します。[一部NSF] チェック ボックスをオンにすると、このフィールドが表示されます。このフィールドに値を入力すると、F03B11 テーブルに残高不足を示す伝票タイプ NP の部分 NSF レコードが作成されます。[一部NSF] チェック ボックスがオフの場合、この手形によって支払われる請求書は未決済に戻され、全額がこの手形と突き合わされます。

このフィールドで指定した金額の再請求レコードが作成されます。

手形の合計金額未満の金額を入力することができます。外貨を使用する場合、このフィールドは [外貨 NSF 金額] と表示されます。

#### [顧客参照]

相互参照番号または 2 次参照番号として使用する英数値を入力します。通常は、顧客番号、仕入先番号、または作業番号を入力します。

#### [再請求理由コード]

入金入力中に請求書に対して再請求が生成された理由を示すコードを入力します。通常は、以下のような再請求理由コードを使用します。

DA: 問題のある金額

DD: 割引不可額

注: ブランクは、ユーザー定義コード テーブルで定義されていても有効な値として受け入れられません。

#### [再請求元帳クラス]

再請求の転記時に使用する売掛金勘定を指定するコードを入力します。AAI 項目 RC とこのコードを結合して勘定科目が検索されます。次の順序で再請求を計上する売掛金勘定が検索されます。

1. 多通貨を使用している場合、RCxxx (xxx は入金の通貨コード) が検索される。
2. 見つからない場合、RCxxxx (xxxx は [再請求元帳クラス] フィールドの値) が検索される。
3. 見つからない場合、RCxx (xx は再請求理由コード) が検索される。
4. 見つからない場合、入金レコードに指定されている会社の RC が検索される。
5. 見つからない場合、会社 00000 の RC が検索される。

## NSF 手形通知レポートの印刷

[手形の取立/回収] メニュー (G03B162) から [NSF(残高不足)通知] を選択します。

## NSF 手形通知レポート (R03B574) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 印刷

レポートに印刷する情報を指定します。

1. **印刷日付** レポートに印刷する日付を指定します。この処理オプションをブランクにした場合は、現在の日付が印刷されます。
2. **集計** 伝票番号別に手形明細行を集計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 集計しない。各明細行が印刷されます。  
1: 集計する。各伝票番号に対して 1 行の明細行が印刷されます。

### 日付範囲

レポートに印刷するレコードを指定します。

1. 開始日付、2. 終了日付 レポートに出力するレコードの選択に使用する日付範囲を指定します。満期日が開始日付処理オプションで指定された日付と同じかそれ以降の全ての手形、および満期日が終了日付処理オプションで指定された日付と同じかそれ以前の全ての手形を印刷します。この処理オプションを空白にした場合、現在の日付が使用されます。

## システム

レポートに印刷するテキストを指定します。

レポートにメッセージを印刷するには、まず、汎用メッセージ/レポート レコード プログラム (P00191) を使ってシステム コード、ユーザー コード、レター コード、メッセージを設定する必要があります。

P00191 では全てのコードを自由に組み合わせ指定できますが、[システム] タブの処理オプションでは同じコードを指定する必要があります。

1. システム コード、2. ユーザー定義コード、3. NSF レター コード 汎用メッセージ詳細テーブル (F00192) から取り込み、レポートに印刷するテキストに対応するシステム、ユーザー定義コード、NSF レター コード (システム コード) を指定します。

---

## 手形の回収

このセクションでは、手形の回収の概要と以下の方法について説明します。

- 手形の回収 (状況更新) プログラムの実行
- 手形の回収 (状況更新) (R03B680) の処理オプションの設定

## 手形の回収について

手形代金の回収は、次のいずれかの方法で行うことができます。

- 手形の満期日まで待つ。
- 手形を満期日前に銀行に持ち込んで現金化する。これは、手形の割引と呼ばれます。一般に、満期日前に銀行から手形の支払を受けた場合、手数料が請求されます。この手数料は、手形の回収時に別途処理する必要があります。

手形の満期日に、自社の取引銀行が顧客の銀行から手形代金を回収します。手形代金が回収できない場合は、取引銀行から通知があります。満期日が到来したら、自社と顧客の両方で資金の移動を計上します。手形が回収済みであることを示すようにレコードの手形状況を更新します。

会社によって、手形の満期日に手形の決済を行う場合と、銀行残高照会表に入金が表示されるまで待つ場合があります。処理オプションで、支払済みの手形レコード (伝票タイプ R1) に割り当てる支払状況コードや、手形を決済するかどうかを指定することができます。手形を決済すると、手形レコードの未決済金額はクリアされ、F03B14 テーブルにレコードが作成されます。手形レコードを未決済のままにする場合、F03B14 テーブルに照合レコードを作成するために、手形の回収 (状況更新) プログラム (R03B680) は再度実行し、未決済にする手形レコードを選択して更新する必要があります。手形を回収して決済したら、適切な仕訳を作成するために手形バッチを転記してください。

また、手形の回収処理において手数料を請求する銀行もあります。手数料には、銀行情報の不足に対する追加手数料、手形割引、コミッションなどがあります。また、税法により、これらの手数料に税が課せられる国もあります。税付き仕訳入力プログラム (P09106) を使って、全ての手数料に対して仕訳を作成してください。

手形の回収（状況更新）プログラムは、テスト モードと最終モードのどちらでも実行できます。以下は、2 つのモードの相違点です。

テスト モードでは、次の処理が実行されます。

- 受取済みまたは取立済みの手形が選択されます。
- 更新する手形を示すレポートが印刷されます。このレポートには、処理オプションで指定した満期日を待つ支払状況が G（手形預入済み、満期日前）の手形が全て表示されます。

最終モードでは、次の処理が実行されます。

- バッチ制御テーブル（F0011）に、回収済みの手形のバッチ見出しレコードが作成されます。適切な仕訳を作成するために、このバッチを転記する必要があります。
- 手形請求書レコード（伝票タイプ R1）の支払状況が P（支払済み）またはユーザーが選択した値に変更されます。
- 入金見出しテーブル（F03B13）のレコードの手形状況が 2（取立 - 現金化または割引）または 3（取立 - 偶発債務）から 0（回収）に変更されます。
- 手形を取り立てるかどうかによって、入金明細テーブル（F03B14）に 1 件または複数のレコードが作成されます。手形を取り立てる場合、回収手形の他に取立手形の取消レコードが作成されます。

### (ITA) Draft Collection in Italy

In Italy, companies typically do not consider a draft paid until the bank sends verification of the actual payment. In this case, the preferred practice for collecting a draft is to set the processing options for the Draft Collection with Status Update program (R03B680) so that the program does not automatically create journal entries. Instead, it updates the payment instrument for the draft to an intermediate status. The intermediate status indicates that payment for the draft has been requested from the bank, but it has not actually been received. When the bank verifies the payment of the draft, you can create and post a manual journal entry for the payment. Then you run the Draft Collection with Status Update program for the draft again to update the payment instrument for the draft to a paid status.

## 手形の回収（状況更新）プログラムの実行

[手形の取立/回収] メニュー（G03B162）から [手形の回収(状況更新)] を選択します。

## 手形の回収（状況更新）(R03B680) の処理オプション

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### モード

テスト モードと最終モードのどちらで手形の回収を処理するかを指定します。

#### 1. 最終モード

プログラムをテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。テスト モードでは、回収可能な手形のレポートが印刷されます。最終モードでは、レポートの印刷と共に、手形の支払状況が G（手形預入済み、満期日前）から P（全額支払済み）に更新され、仕訳が作成されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モード

1: 最終モード

## 基準日

回収する手形を選択するのに使用する日付を指定します。

### 1. 基準日

手形の回収処理に使用する日付を指定します。満期日が指定した日付と同じかそれより前の回収可能な全ての手形が選択されます。この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。

## 元帳日付

自動的に作成される仕訳に元帳日付として割り当てる日付を指定します。

### 1. 仕訳の元帳日付

回収した手形に対して作成される仕訳に割り当てる元帳日付を指定します。ブランクにすると、システム日付が使用されます。

### 2. 銀行勘定浮動日数から計算した元帳日付

手形の回収処理で作成された仕訳の元帳日付として使用された手形満期日に、銀行/支店マスター (F0030) の銀行勘定で指定された浮動日数を追加するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 前の処理オプションの日付を使用する。

1: 手形満期日に銀行勘定の浮動日数を加算する。

---

注: 自動的に計算される元帳日付ごとに個別の仕訳が作成されます。

---

### 3. 入力した浮動日数から計算する元帳日付

元帳日付として使用するために満期日に追加する日数を、銀行/支店マスター (F0030) で銀行勘定に設定されている日数以外とは別の値にするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 浮動日数を指定しない。前の処理オプションのいずれかを使って元帳日付が決定されます。

1: 次の処理オプションで指定する浮動日数を使って元帳日付を決定し、手形を選択する。次の処理オプションで浮動日数を指定しない場合は、前の処理オプションのいずれかまたはシステム日付が使用されます。

### 5. 支払手段

手形レコードを選択するために使用する支払手段を指定します。処理オプション 3 (入力した浮動日数から計算する元帳日付) で 1 を指定した場合のみ、この処理オプションを設定してください。そうでない場合は、手形レコードは支払手段別に選択されません。この処理オプションは必須ではありません。

## 支払状況

回収した手形請求書レコードの支払状況と、未決済金額がある場合にその金額をクリアするかどうかを指定します。

### 1. 支払状況コード

回収した手形に割り当てる支払状況コードを指定します。支払状況コードのユーザー定義コード 00/PS に設定されているコードを指定してください。ブランクの場合、P (全額支払済み) が割り当てられます。

---

注: この処理オプションは、[手形の決済] 処理オプションと組み合わせて設定します。支払状況を P に更新するよう選択した場合は、手形を決済しない設定にすると、手形は未決済と見なされ、次のように処理されます。

---

• F03B14 テーブルに手形請求書レコード (R1) が作成されません。

- 手形レコード (R1) の支払状況は P ではなく A に更新されます。
- バッチ タイプが DB の空のバッチ見出しレコードが作成されます。空のバッチ見出しレコードを転記するか、バッチと明細の整合性レポート (R007031) を実行してそのレコードを削除することができます。

## 2. 手形の決済

F03B11 テーブルの手形請求書レコード (R1) に未決済金額がある場合、その金額をクリアするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:クリアする。

1: クリアしない。

---

**注:** この処理オプションは、[支払状況コード] 処理オプションと組み合わせて設定します。支払状況を P に更新するよう選択した場合は、手形を決済しない設定すると、手形は未決済と見なされ、次のように処理されます。

---

- F03B14 テーブルに手形レコード (R1) が作成されません。
- 手形レコード (R1) の支払状況は P ではなく A に更新されます。
- バッチ タイプが RB の空のバッチ見出しレコードが作成されます。空のバッチ見出しレコードを転記するか、バッチと明細の整合性レポート (R007031) を実行してそのレコードを削除することができます。

## 為替レート

回収済み手形レコードの為替差損益の計算に使用する為替レートを指定します。

### 1. 為替レートの一時変更

外貨建て請求書の支払を行う手形の為替レートを指定します。請求書の通貨にかかわらず、全ての手形にここで指定した為替レートが適用されます。この処理オプションをブランクにすると、為替レート テーブル (F0015) の為替レートが検索されます。

---

**注:** この処理オプションは、偶発債務なしで持ち込んだ手形に対してのみ有効です。

---

## (Rapid Start FRA) Processing Accounts Receivable Drafts

This section lists prerequisites and discusses:

- How to process drafts.
- Preconfigured processing options for Statement Print with Drafts by Due Date (R03B500X).
- Preconfigured processing options for Statement Print with Drafts (R03B506).
- Preconfigured processing options for Draft Entry Processing Option (P03B602).
- Preconfigured processing options for AR Batch Draft Creation – Final Mode (R03B671).
- Preconfigured processing options for Batch Options for Drafts Journal Review (P0011).
- Preconfigured processing options for Post AR Drafts (R09801).
- Preconfigured processing options for AR Draft Remittance (R03B672).
- Preconfigured processing options for Text File Processor (P007101).
- Preconfigured processing options for AR Draft Collection – Final (R03B680).



- Preconfigured processing options for Enter Customer Draft (P03B602).

## Prerequisites

Set up these AAI's:

- RCUC for unapplied receipts to locate AR trade account.
- RDI for receivable draft.

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理 AAI (自動仕訳) の設定」、25 ページ

Set up these User Defined Code tables:

- 03B/RC for write-off reason codes.
- 03B/CR for deduction reason codes.
- 03B/CB for chargeback reason codes.

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理のユーザー定義コード (UDC) の設定」、14 ページ

Set up customers with standard VAT, paying by draft and with bank reference type D for draft.

## Processing Accounts Receivable Drafts

This table lists the tasks for entering drafts:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data Selection
Print a statement with draft attachment.	Draft Entry and Processing Processing Statements with Drafts	R03B500X/RIS2001 R03B506/RIS2001	Payment instrument is equal to 1 and 2.  Open amount is not equal to zero.
Enter company created draft.	Draft Entry and Processing Enter Our Drafts	P03B602/RIS0001	None
Enter customer created draft.	Draft Entry and Processing Enter Customer Drafts	P03B602/RIS0002	None
Generate pre-accepted drafts.	Draft Entry and Processing Process Pre-Authorized Drafts	R03B671/RIS2001	None
Review drafts online and post selected batches.	Draft Entry and Processing Review and Post Draft Batches	P0011/RIS0012	None.
Post all draft batches.	Draft Entry and Processing Post All Drafts	P09801/RIS2001	None.

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data Selection
Create a magnetic draft remittance.	Draft Entry and Processing Remit Drafts	R03B672/RIS2001 R03B672T/RIS2001	None.
Copy remittance file to a PC.	Draft Entry and Processing Copy Remittance File	P007101/RIS2001	None.
Collect fund for draft at due date.	Draft Entry and Processing Enter Our Drafts	R03B680/RIS2001	None.
Review draft batches.	Draft Entry and Processing Review and Post Draft Batches	P0011/RIS0012	None.

## Preconfigured Processing Options for Statement Print with Drafts by Due Date (R03B500X)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS2001.

### Consolidation

Processing Option Description	Value or Status
1. Company	blank

### Aging

Processing Option Description	Value or Status
1. Company Constants	blank
2. Statement Date	blank
3. Date Type	D
4. Aging Categories	blank
5. Aging Category 1	-30
6. Aging Category 2	0
7. Aging Category 3	30
8. Aging Category 4	60
9. Aging Category 5	90
10. Aging Category 6	120

Processing Option Description	Value or Status
11. Credits	blank
12. Exclude Future Amounts	blank
13. Multi-Currency	blank
14. Draft Flag	1

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Remit To Address	blank
2. Print Statement by Due Date	1
3. Print Program	R03B506
4. Version of Print Program	RIS2001
5. Letter Name	blank
6. Letter Type	blank

**Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Date – As Of	blank
2. Statement Number Update	blank
3. Summarize Invoices	blank

## Preconfigured Processing Options for Statement Print with Drafts (R03B506)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS2001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. City	blank
2. Bank Draft Code	blank

## Preconfigured Processing Options for Draft Entry Processing Option (P03B602)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Payor Number	blank
2. Draft Date	blank
3. Company	blank
4. G/L Date	blank
5. Draft Due Date	blank
6. Bank Name	blank
7. Customer Bank Account	blank
8. Payment Instrument	blank
9. Bank Transit Number	blank
10. Currency	blank
11. Exchange Rate	blank

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Type Input Code	10
2. Deduction Reason Code	blank
3. Payment Instrument With Bank Account	blank
4. Payment Instrument Without Bank Account	blank
5. Drafts Receivable Account	blank
6. Default G/L Offset for Unapplied Draft	blank
7. Draft Numbering Blank – Manual Entry 1 – Use Next Number	blank

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Write-offs	blank
2. Delete/NSF Unposted Receipts	blank
3. Overpayment Edit	blank
4. Bank Name	blank
5. Return To Prior Draft Status	blank
6. Draft Number Blank – No Edit 1 – Warning 2 – Error	blank

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Drafts Type	blank
2. Open Amount	blank
3. Journal Entry Creation Method	blank
4. Display Invoices	blank
5. Netting Program Version	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Edit Effective Date	blank

**Chargeback**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay Status	blank
2. Date Option	blank
3. Reason Code	blank

**Auto Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	0

Processing Option Description	Value or Status
2. Underpayment Reason Code	blank
3. Maximum Overpayment Amount	0
4. Overpayment Reason Code	blank

**Mnl Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	0
2. Maximum Overpayment Amount	0
3. Write-Off Reason Code	blank

**Discount**

Processing Option Description	Value or Status
1. Discount Available	blank
2. Discount Applied	blank
3. Grace Period Days	0
4. Discount Reason Code	blank

**Match Priority**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Match	blank
Sales Order Match	blank
Customer Reference Match	blank
Statement Match	blank
Shipment Number Match	blank

**Void/NSF**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Payment Instrument	blank
2. Payment Instrument for Draft	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Payment Instrument for Renewal Draft	blank
4. Draft Account	blank

## Preconfigured Processing Options for AR Batch Draft Creation – Final Mode (R03B671)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS2001.

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Draft Date	8/1/2005
2. Draft G/L Date	8/1/2005
3. Draft Due Date	7/30/2005
4. Draft Receivable Account Number	blank
5. Journal Entry	1
6. Discount Reason Code	blank

### Select

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay Thru Date	8/8/2005
2. Minimum Draft Amount	5

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Process Mode	1
2. Summary/Detail	blank
3. Negative Draft	blank
4. Draft Number	blank
5. Open Amount	blank

**Credit Card**

Processing Option Description	Value or Status
1. Credit Card Processing	blank
2. Prepayment Origination Flag	blank

**Preconfigured Processing Options for Batch Options for Drafts Journal Review (P0011)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0012.

**Batch Type**

Processing Option Description	Value or Status
1. Batch Type	DB

**Preconfigured Processing Options for Post AR Drafts (R09801)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS2001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	blank

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank



**Taxes**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	3
2. Update VAT Discounts	2
3. Update VAT Receipts and W/O	2

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

**Cash Basis**

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank

**Preconfigured Processing Options for AR Draft Remittance (R03B672)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS2001.

**Proof/Final**

Processing Option Description	Value or Status
1. Final Mode	blank

**As Of Date**

Processing Option Description	Value or Status
1. "As Of" Date	blank

**Bank**

Processing Option Description	Value or Status
1. Register	blank
2. Draft Remittance G/L Bank Account	1.1110.OPER1

**G/L Remittance**

Processing Option Description	Value or Status
1. AAI for Draft G/L Account	blank
2. Override Account Number for RD2/RD3 AAI	blank
3. Override Account Number for RD4 AAI	blank
4. Exchange Rate Override (**Effective only for remittance with Contingent Liability**)	0

**G/L Date**

Processing Option Description	Value or Status
1. Journal Entry G/L Date	blank

**Maximum**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Accumulated Drafts Amount	0

**Minimum**

Processing Option Description	Value or Status
1. Minimum Remittance Process Amount	0

**Paper/Tape**

Processing Option Description	Value or Status
1. Paper/Tape Remittance Program	R03B672T
2. Paper/Tape Remittance Version	blank

**Custom Report**

Processing Option Description	Value or Status
1. Custom Remittance Report – Program ID	blank
2. Custom Remittance Report – Version ID	blank

**Preconfigured Processing Options for Text File Processor (P007101)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS2001.

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
Path Microsoft Word Template	blank

## Preconfigured Processing Options for AR Draft Collection – Final (R03B680)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS2001.

**Proof / Final**

Processing Option Description	Value or Status
1. Final Mode	1

**As Of Date**

Processing Option Description	Value or Status
1. "As Of" Date	7/15/2005

**G/L Date**

Processing Option Description	Value or Status
1. Journal Entry G/L Date	6/30/2005
2. G/L Date From Bank Account Float Day	blank
3. G/L Date from Float Day Entered	blank
4. Number of Float Days	0
5. Payment Instrument	D

**Pay Status**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay Status Code	blank
2. Close Draft	blank

**Exchange Rate**

Processing Option Description	Value or Status
1. Exchange Rate Override (** Effective only if draft has been remitted without Contingent Liability**)	0

**Preconfigured Processing Options for Enter Customer Draft (P03B602)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Payor Number	blank
2. Draft Date	blank
3. Company	blank
4. G/L Date	blank
5. Draft Due Date	blank
6. Bank Name	blank
7. Customer Bank Account	blank
8. Payment Instrument	blank
9. Bank Transit Number	blank
10. Currency	blank
11. Exchange Rate	blank

**Defaults**

Processing Option Description	Value or Status
1. Type Input Code	blank
2. Deduction Reason Code	blank
3. Payment Instrument With Bank Account	blank
4. Payment Instrument Without Bank Account	blank
5. Drafts Receivable Account	blank

Processing Option Description	Value or Status
6. Default G/L Offset for Unapplied Draft	blank
7. Draft Numbering Blank – Manual Entry 1 – Use Next Number	blank

### Edits

Processing Option Description	Value or Status
1. Write-offs	blank
2. Delete/NSF Unposted Receipts	blank
3. Overpayment Edit	blank
4. Bank Name	blank
5. Return To Prior Draft Status	blank
6. Draft Number Blank – No Edit 1 – Warning 2 – Error	blank

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Drafts Type	blank
2. Open Amount	blank
3. Journal Entry Creation Method	blank
4. Display Invoices	blank
5. Netting Program Version	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. Edit Effective Date	blank

### Chargeback

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay Status	blank
2. Date Option	blank
3. Reason Code	blank

**Auto Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	0
2. Underpayment Reason Code	blank
3. Maximum Overpayment Amount	0
4. Overpayment Reason Code	blank

**Mnl Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	0
2. Maximum Overpayment Amount	0
3. Write-Off Reason Code	blank

**Discount**

Processing Option Description	Value or Status
1. Discount Available	blank
2. Discount Applied	blank
3. Grace Period Days	0
4. Discount Reason Code	blank

**Match Priority**

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Match	blank
Sales Order Match	blank
Customer Reference Match	blank
Statement Match	blank
Shipment Number Match	blank

**Void/NSF**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Payment Instrument	blank
2. Payment Instrument for Draft	blank
3. Payment Instrument for Renewal Draft	blank
4. Draft Account	blank





## 第 13 章

# 自動引落とし処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、自動引落としの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 自動引落としバッチの作成と処理
- 自動引落としバッチの承認と転記
- 自動引落としのフォーマット
- 銀行への自動引落としバッチの転送
- 自動引落としの除去

### 関連項目:

第 16 章、「請求書の印刷」、「国際支払指示 (IPI) が添付された請求書の印刷」、491 ページ

---

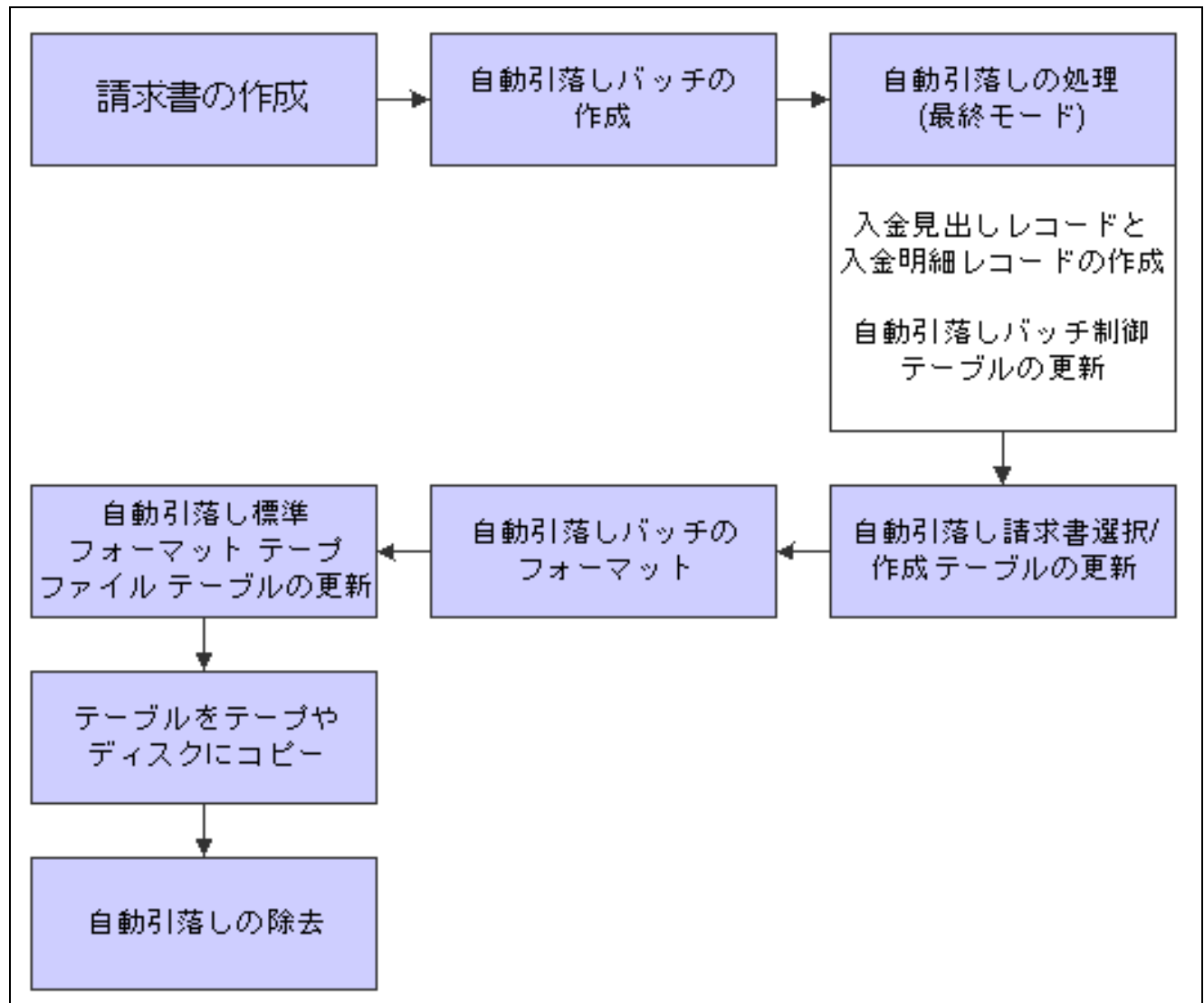
## 自動引落としについて

顧客の銀行口座から自動引落としをすることができます。そのためには、電子資金決済 (EFT) を使用して顧客の口座から引落としを行う銀行に送るテーブルを更新します。

自動引落とし処理では、テーブルの更新時に入金記録されます。テーブルを銀行仕様 (全銀協フォーマット) に変換するプログラムを実行し、そのファイルをテープや FD、CD などのメディアにコピーして銀行に送るか、電子送信します。銀行では顧客の口座から引落としが行われ、引落としが完了すると銀行から通知が来ます。

毎月、一定の金額を請求する場合に、自動引落としは便利です。また、請求期間ごとに異なる金額が自動的に引き落とされるようにすることもできます。

次の図は、自動引落とし処理の流れを示しています。



自動引落し処理の流れ

自動引落しの処理手順は次のとおりです。

- 自動引落し処理の契約をしている顧客を特定する。
- 引落しの対象となる顧客の請求書を選択する。
- 銀行に送るワークテーブルを作成して更新する。
- 顧客への請求書を支払済みに更新する。
- 各国の銀行仕様（日本の場合、全銀協フォーマット）に準拠したフォーマットで、自動引落しデータを作成する。
- 自動引落しデータをテープなどのメディアにコピーして銀行に送るか電子送信する。
- 自動引落しバッチを削除する。

自動引落し処理では次のテーブルが更新されます。

- 自動引落しバッチ制御 (F03B571)
- 自動引落し請求書選択/作成 (F03B575)

- 自動引落し標準フォーマット テープ ファイル (F03B57OW)

---

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 支払手段ユーザー定義コード (UDC) テーブル (00/PY) に、自動引落し用の支払手段コードが設定されていることを確認します。
- [顧客マスターの改訂] フォームで、[支払手段] フィールドに「A」(自動引落し(売掛管理のみ))と入力して、[自動入金(Y/N)] チェック ボックスをオンにします。

A は、ハードコードではありません。他の値を使用することもできます。

参照: 第 3 章、「顧客マスター情報の設定」、「顧客マスターレコードの入力」、43ページ

- [住所別銀行口座の設定] フォームで、顧客に自動引落し用の銀行勘定科目が設定されていることを確認します。
- [銀行勘定科目の設定] フォームで、次の自動引落し番号が自動引落しにより入金される銀行勘定科目に指定されていることを確認します。
- (FRA) On the Revise BACS Information (revise bank automated clearing system information) form, enter the sender's bank ID in the Bank User Number field to process electronic funds transfers for France.
- [売掛管理固定情報] フォームで、[自動入金] チェック ボックスをオンにします。

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理固定情報の設定」、8ページ

- 必要条件を満たすフォーマット プログラムがない場合は、カスタム プログラムを作成して、処理およびフォーマット済みの自動引落しバッチを銀行が受け入れるメディアにコピーして銀行に渡すか、電子送信します。

---

## 自動引落しバッチの作成と処理

このセクションでは、自動引落しバッチの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 自動引落しの処理 (P03B571) の処理オプションの設定
- 自動引落しバッチの作成 (R03B571) の処理オプションの設定
- 自動引落しバッチの作成
- 最終モードでの自動引落しバッチの処理

### 自動引落しバッチについて

自動引落しバッチを作成するには、自動引落しの処理プログラム (P03B571) を使用して、自動引落しバッチの作成プログラム (R03B571) を実行します。処理オプションとデータ選択で、バッチに含める請求書を指定します。

テスト モードと最終モードのどちらでもバッチを作成することができます。

## テスト モード

自動引落しバッチの作成プログラムをテスト モードで実行すると、次の処理が行われます。

- 顧客の口座から自動的に引き落とされる請求書を確認します。
- F03B571 テーブルに、自動引落しバッチのレコードを作成します。  
このレコードは、[自動引落しバッチ処理] フォームに表示されます。
- F03B575 テーブルに、データ選択条件と一致する請求書が全て含まれたレコードを作成します。
- 次の 2 つのレポートを作成します。
  - 自動引落しバッチの作成 (R03B571) では、自動引落しバッチに含める請求書の選択で発生したエラーの例外レポートが作成されます。  
エラーがない場合、「レコード処理済み - 例外なし」というメッセージが印刷されます。
  - 自動引落し処理 (R03B575) では、自動引落しバッチを構成する請求書が作成されます。
- F03B571 テーブルの状況フィールドを 1 (テスト モード) に更新します。

作成できる自動引落しバッチの件数に制限はありません。これらの自動引落し情報は、レコードを削除または除去するまで各テーブルに保管されます。

## 最終モード

自動引落しバッチの作成プログラム (R03B571) を最終モードで実行すると、テスト モードで行われるのと同じ処理の他に、次の処理が実行されます。

- 自動引落し処理プログラム (R03B575) のバージョン ZJDE0001 を実行します。
- バッチ制御テーブル (F0011) にバッチ タイプ RB のレコードを作成します。
- 入金見出しテーブル (F03B13) と入金明細テーブル (F03B14) にレコードを作成します。これらのレコードは取引明細テーブル (F0911) に転記する必要があります。  
支払われた請求書の件数にかかわらず、各顧客に対して 1 件の入金レコードが作成されます。
- 自動採番機能を使って、自動引落しレコードに支払番号を割り当てます。
- 請求書の支払状況を P (支払済み) に変更します。
- F03B571 テーブルの状況フィールドを 2 (最終モード) に更新します。

最終モードで自動引落しバッチを作成する場合、国ごとの銀行要件を満たすフォーマットに自動的にフォーマットするように処理オプションを設定することもできます。このためには、銀行ファイル 処理オプションで銀行ファイルのフォーマット プログラムを指定してください。また、自動引落し設定フォームでプログラム番号を入力して、バッチの処理後に手動で自動引落しバッチのフォーマットを行うこともできます。

参照: 第 13 章、「自動引落し処理」、「自動引落しのフォーマット」、434 ページ

## 自動引落しバッチの削除

自動引落し処理中にエラーを見つけた場合は、そのバッチを削除して自動引落しワークテーブルに新しいバッチを作成できます。たとえば、顧客や請求書、銀行口座情報などを変更した場合、ワークテーブルに新しいバッチを作成する必要があります。これらの変更は、ワークテーブルにある既存の自動引落しバッチ情報には反映されません。

自動引落しバッチを削除すると、そのバッチによって作成された仕訳や入金レコードは削除されるか無効になり、関連する請求書が再び未決済になります。未決済になった請求書は、新しい自動引落しバッチに含めることができます。

## データ選択

自動引落し処理プログラムのデータ選択で、自動引落しバッチに含める請求書を選択する必要があります。少なくとも支払手段を指定して、自動引落し処理で支払対象となる請求書を特定してください。

## 事前設定

ドイツ向けの German Bank File Format and Statement Diskette (R03B575DD) フォーマットを使用している場合、テキスト ファイルに含まれる使用不可能な文字を置き換えるため UDC 04/RC を設定して使用可能な文字を指定します。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

## 自動引落しバッチの作成と処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[自動引落しバッチ処理]	W03B571A	[自動引落し] (G03B131)、[自動引落しの処理]	自動引落しバッチを作成し、テストモードまたは最終モードで処理します。テストモードで処理されたバッチを選択して最終モードで処理することもできます。  テストモードで自動引落しバッチを作成するには、自動引落しバッチの作成プログラム (R03B571) の処理オプションをテストモードに設定します。  最初にテストモードで自動引落しバッチを作成せずに最終モードで作成する場合は、自動引落しバッチの作成プログラム (R03B571) の処理オプションを最終モードに設定します。
[バッチ・バージョンの処理 - 使用可能なバージョン]	W98305A	[自動引落しバッチ処理] フォームで、[追加] をクリックします。	自動引落しバッチの作成プログラム (R03B571) を実行します。

## 自動引落しの処理 (P03B571) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### バージョン

使用する銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー プログラム (P0457D) のバージョンを指定します。

#### 1. 銀行ファイルのフロッピーディスクへのコピー プログラム (P0457D) のバージョン

銀行ファイルのコピーに使用する、銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションをblankにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 自動引落しバッチの作成 (R03B571) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 処理

自動引落し処理に必要な請求書を選択するための情報を指定します。

1. **処理モード**

プログラムをテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。テスト モードでは、レポートは作成されますがどのテーブルも更新されません。最終モードでは、レポートが印刷されるだけでなく、入力した情報に基づいて F03B13 テーブルと F03B14 テーブルが更新されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク : テスト モード

1: 最終モード
2. **処理終了日付**

選択する支払請求書の処理終了日付を指定します。比較する日付タイプ処理オプションと合わせて支払対象となる請求書が選択されます。たとえば、処理終了日付を 2005 年 6 月 30 日、日付タイプを I (請求書日付) に設定した場合、請求書日付が 2005 年 6 月 30 日以前の全ての未決済請求書が選択されます。

ブランクにすると、システム日付が使用されます。
3. **比較する日付タイプ**

請求書の選択に使用する日付タイプを指定します。処理終了日付 処理オプションと合わせて支払対象となる請求書が選択されます。たとえば、処理終了日付を 2005 年 6 月 30 日、日付タイプを I (請求書日付) に設定した場合、請求書日付が 2005 年 6 月 30 日以前の全ての未決済請求書が選択されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク : 支払期日

D: 割引期日

I: 請求書日付

G: 元帳日付

S: 計算書日付
4. **通貨モード**

自動引落しの処理に請求書の外貨 (取引通貨) と国内通貨 (基本通貨) のどちらを使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク : 請求書の国内通貨

1: 請求書の外貨

### 銀行勘定

入金を計上する銀行勘定科目を指定します。

1. **銀行勘定科目**

入金を計上する銀行勘定科目を指定します。標準の勘定科目コード形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で入力します。この処理オプションをブランクにすると、請求書に入力された会社の自動仕訳 (AAI) 項目 RB で設定されている銀行勘定が使用されます。

銀行勘定が通貨勘定である場合は、請求書の通貨コードが銀行勘定の通貨と同じである必要があります。この必要条件を満たしていない場合、自

動引落しバッチの作成レポート (R03B571) にエラー メッセージが印刷されます。

## 割引

割引を処理するかどうか、処理する場合はその方法を指定します。

### 1. 割引の処理

全ての割引可能額を適用するか、割引終了日付処理オプションを使用して適用する割引を決定するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク : 割引終了日付処理オプションの日付によって適用する割引を決定する。割引期日が指定した日付以前になっている請求書の割引のみが適用されます。

1: 全ての割引可能額を適用する。この場合、実際には実施されていない割引が適用される可能性があります。

### 2. 割引終了日付

どの割引を適用するかを決める日付を指定します。割引期日が指定した日付以前になっている請求書の割引のみ適用されます。この締め日付を使用する場合、割引の処理処理オプションはブランクにしてください。

### 3. 割引理由コード

割引を実施する際に使用するデフォルトの割引理由コードを指定します。ユーザー定義コード 00/DE で定義されている割引理由コードを入力します。指定する割引理由コードに対応する AAI 項目 RKDxxx (xxx は理由コード) も設定してください。

## GL デフォルト

システムによって作成される仕訳に関する情報を指定します。

### 1. 元帳日付

入金レコードを転記する元帳日付を指定します。この処理オプションをブランクにすると、現在の日付が使用されます。

### 2. 仕訳の形式

入金バッチに対して 1 件の集計仕訳を作成するか、各入金に対してそれぞれ仕訳を作成するかを指定します。この処理オプションで設定した値は、F03B13 テーブルの売掛金転記フィールド (ISTR) に割り当てられます。転記プログラムはこの値を使って仕訳レコードを作成します。有効値は以下のとおりです。

ブランク : 集計仕訳を作成する。転記する入金バッチごとに、伝票タイプ RK の仕訳が 1 件作成されます。仕訳の伝票番号には入金のバッチ番号が割り当てられます。この方法を使用するには、次のことを確認する必要があります。

- 売掛管理固定情報の売掛金集計方式が "B" (バッチ別に集計) に設定されている。
- バッチに外貨建てトランザクションが含まれていない。

上の 2 つの条件を満たしていない場合、仕訳は明細形式で作成されます。

1: 明細仕訳を作成する。バッチに含まれる入金ごとに、伝票タイプ RC の仕訳が作成されます。入金仕訳の伝票番号は、仕訳入力 (システム 09) の自動採番によって割り当てられます。

監査証跡を残すために、F03B14 テーブルの次のフィールドは、仕訳の情報で更新されます。

- 仕訳の伝票タイプ (RZDCTG)

- 仕訳の伝票番号 (RZDOCG)
- 仕訳の伝票会社 (RZKCOG)

## 限度額

自動引落しバッチ処理を行う限度額を指定します。

- 1. 最低入金額**  
自動引落しバッチ処理を行う最低額を指定します。請求書の合計未決済金額がここで指定した金額より大きいバッチのみ処理されます。たとえば、100 と指定すると、3 件の請求書の合計が 100 を超えるバッチの場合、そのバッチは処理されます。
- 2. 最高入金額**  
自動引落しバッチ処理を行う最高額を指定します。請求書の合計未決済金額がここで指定した金額より小さいバッチのみ処理されます。たとえば、10,000 と指定すると、30 件の請求書の合計が 10,000 未満のバッチの場合、そのバッチは処理されます。

## 銀行ファイル

自動引落しバッチのフォーマットに必要な情報を指定します。

- 1. 銀行ファイル設定プログラム**  
銀行ファイルのフォーマットに使用するプログラムを指定します。指定できるプログラム番号は次のとおりです。  
R03B575AD: オーストラリア フォーマット  
R03B575BD: ベルギー フォーマット  
R03B575DD: ドイツ フォーマット  
R03B575DH: オランダ フォーマット  
R03B575FD: フランス フォーマット  
R03B575GB: イギリス フォーマット  
R03B575SD: スイス フォーマット
- 2. 銀行ファイル設定バージョン**  
使用する銀行ファイルのフォーマット プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。

## BACS

BACS 処理情報を指定します。

- 1. BACS 処理**  
自動引落しを BACS を使って処理するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白 :BACS を使って処理しない。  
1: BACS を使って処理する。
- 2. BACS 処理日付**  
BACS 処理日付を指定します。銀行ファイルは指定した日付で更新されます。この処理オプションを空白にすると、現在の日付が使用されます。
- 3. BACS 日数**  
銀行ファイルに書き込む有効期限を決定するために、BACS 処理日付処理オプションの日付に追加する日数を指定します。
- 4. 作業日カレンダー名**  
BACS 有効期限を実際の作業日に合わせて調整するために使用するカレンダー名を指定します。BACS 有効期限は、BACS 処理日付処理オプション



ンで指定した日付に BACS 日数処理オプションの値を追加して計算されます。

## 自動引落しバッチの作成

[自動引落しバッチ処理] フォームにアクセスします。

[追加] をクリックして、[バッチ・バージョンの処理 - 使用可能なバージョン] フォームにアクセスし、設定済みの自動引落しバッチの作成プログラム (R03B571) のバージョンを実行します。

## 最終モードでの自動引落しバッチの処理

自動引落しバッチが事前にテスト モードで作成されている場合は、以下の処理を行います。

**注:** テスト モードでバッチを作成したときに使用された、自動引落しバッチの作成プログラム (R03B571) のバージョンが実行されます。

[自動引落しバッチ処理] フォームにアクセスします。

最終モードで自動引落しバッチを処理するには、次の手順に従います。

1. [自動引落しバッチ処理] フォームで、テスト モードで処理したバッチを選択します。
2. [ロー] メニューの [最終モード] をクリックします。

自動引落しバッチを処理したら、[自動引落し仕訳の検討] メニューから入金バッチの結果を確認できます。バッチを確認したら、総勘定元帳に転記します。

---

## 自動引落しバッチの承認と転記

このセクションでは、自動引落しの承認と転記の概要と以下の方法について説明します。

- 自動引落しを転記する転記プログラムの実行
- [自動引落し仕訳の検討] メニューからの自動引落しの転記

**関連項目:**

第 9 章、「入金処理」、「入金の承認および転記」、268 ページ

## 自動引落しの承認と転記について

最終モードで自動引落しバッチを処理したら、総勘定元帳に転記する必要があります。自動引落しバッチを転記する前に、自動引落し仕訳の検討プログラム (P0011) を使って処理済みのバッチを確認することができます。売掛管理固定情報の設定によって、バッチの転記前に承認が必要な場合があります。

自動引落しバッチは入金バッチ (バッチ タイプ RB) なので、入金の転記と同じ手順で転記します。自動引落しバッチを転記すると、銀行勘定、売掛金勘定、割引が発生した場合は割引勘定に仕訳が転記されます。

## 自動引落しバッチの承認と転記に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[バッチの処理]	W0011A	[自動引落し] (G03B131)、[自動引落し仕訳の検討]	自動引落しバッチを検索します。
[バッチの承認]	W0011C	[バッチの処理] フォームでバッチを選択し、[ロー] メニューの [バッチ承認] をクリックします。	転記するバッチを承認します。

## 自動引落しを転記する転記プログラムの実行

[自動引落し] メニュー (G03B131) の [自動引落しの転記] をクリックします。

## [自動引落し仕訳の検討] メニューからの自動引落しの転記

[バッチの処理] フォームにアクセスします。

転記対象のバッチを選択し、[ロー] メニューの [バッチ別の転記] をクリックします。

## 自動引落しのフォーマット

このセクションでは、自動引落しのフォーマットの概要と以下の方法について説明します。

- (AUT) Set processing options for Austrian Bank Diskette Format and Statement (R03B575AD)
- (BEL) Set processing options for Automatic Debits Belgian Format 128 (R03B575BD)
- (FRA) Set processing options for Automatic Debits French Format (R03B575FD)
- (DEU) Set processing options for German Bank File Format and Statement Diskette (R03B575DD)
- (IRL) Set processing options for Ireland Domestic Debit Bank Format (R03B575IE)
- (NLD) Set processing options for Automatic Debits Dutch Format (R03B575DH)
- (CHE) Set processing options for Create Swiss Bank Diskette Format (R03B575SD)
- (GBR) Set processing options for Great Britain Bank File and Statement Diskette (R03B575GB)
- 自動引落しバッチのフォーマット

## 自動引落しのフォーマットについて

国ごとに銀行が定める要件を満たすように、F03B570W テーブルにレコードを作成します。このためには、[自動引落し設定] フォームで銀行ファイル フォーマット プログラムを指定します。

国ごとの要件を満たすプログラムがない場合は、カスタム プログラムを作成する必要があります。

自動引落しファイルのフォーマットを実行するには、次の方法があります。

- 最終モードで実行する前に、自動引落しバッチの作成プログラム (R03B571) の処理オプションでフォーマット プログラム番号 (R03B575DD など) を入力する。

- [自動引落し設定] フォームでプログラム番号を入力し、[自動引落しバッチ処理] フォームで [ロー] メニューの [銀行ファイルのフォーマット] をクリックして手動でプログラムを実行する。

この処理が完了すると、F03B571 テーブルの状況フィールドの値は 3 (フォーマット済み銀行ファイル) に変更されます。

カスタム プログラムを使用している場合、自動引落しバッチ制御テーブルの状況フィールドが更新されることを確認してください。自動引落しバッチのフォーマットを行うためにカスタム プログラムを作成する場合、テンプレートとして提供されているプログラムを使うことをお勧めします。

### **(AUT) Austrian Automatic Debit Formats**

The PeopleSoft system provides these Austrian automatic debit formats:

- R03B575AD (Austrian Bank Diskette Format and Statement).
- R03B575AD1 (Austrian Format Diskette Cover Page Auto Debit).

These programs generate a bank table that adheres to the banking standards for automatic debits in Austria.

---

**注:** The Austrian Bank Diskette Format and Statement program calls the Austrian Format Diskette Cover Page Auto Debit program automatically.

---

### **(BEL) Belgian Automatic Debit Formats**

The PeopleSoft system provides Automatic Debits Belgian Format 128 (R03B575BD), which adheres to the banking standards for automatic debits in Belgium.

### **(FRA) French Automatic Debit Formats**

The PeopleSoft system provides Automatic Debits French Format (R03B575FD) for French automatic debits

This program generates a bank file that corresponds to the French banking standards for automatic debits.

### **(DEU) German Automatic Debit Formats**

You can specify the type of agreement that you have with customers regarding automatic debits. In Germany, businesses can enter into these automatic debit agreements:

- Direct Debit Authority

An agreement between the business (supplier) and the customer that allows the customer to dispute the automatic debit charge within six weeks.

- Transfer Instruction

An agreement between the business (supplier) and the bank. In this case, the customer does not have the right to protest the bank charges.

To specify the type of automatic debit agreement for the payment group, access the processing options for the German format program that you are using. Enter 1 in the processing option if you have a transfer instruction with the bank. Leave the processing option blank if you have Direct Debit Authority with customers. In both cases, the system writes the information to the correct field on the bank file for the bank to read.

The PeopleSoft system provides these German automatic debit formats:

- R03B575DD (German Bank File Format and Statement Diskette).

- R03B575DD1 (German Bank Cover Sheet).

---

**注:** The German Bank File Format and Statement Diskette program calls the German Bank Cover Sheet program automatically.

---

The payment format programs generate a bank table that adheres to the German banking standards for automatic debits.

### **(IRL) Irish Automatic Debit Formats**

The PeopleSoft system provides Ireland Domestic Debit Bank Format (R03B575IE) for Irish automatic debits.

This program generates a bank table that adheres to the banking standards for automatic debits in Ireland.

### **(NLD) Dutch Automatic Debits Formats**

The automatic debits formats that are most commonly used in the Netherlands are ClieOp2 (Client opdracht indeling 2) and ClieOp3 (Client opdracht indeling 3). ClieOp2 is the standard format that was developed by the banks in the Netherlands. Both the BankGiroCentrale (BGC) and the Postbank accept this format. ClieOp3 is the euro-compliant automatic debiting format. It contains the ClieOp2 format and is upward-compatible.

The PeopleSoft system provides Automatic Debits Dutch Formats ClieOp2 and ClieOp3 (R03B575DH) for automatic debits.

This program generates a bank table that adheres to the banking standards for automatic debits in the Netherlands.

You specify the debit format (ClieOp2 or ClieOp3) that you want to use on the File Info tab of the processing options for the Automatic Debits Dutch Formats ClieOp2 and ClieOp3 program (R03B575DH).

You must specify a file serial number for each automatic debit file that you create. In the Enter File Serial Number processing option on the File Info tab, type 01 for the first file that you create each day. If you create more than one file in a day, you must update this value. The value must be updated for every subsequent file that is created each day (that is, 01, 02, 03).

### **(CHE) Swiss Automatic Debits Formats**

The PeopleSoft system provides these Swiss automatic debit formats:

- R03B575SD (Create Swiss Bank Diskette Format).

This program saves information to the F03B57OW table.

- R03B575SD1 (Swiss Bank Cover Sheet ).

This program generates a bank table that adheres to the banking standards for automatic debits (LSV) in Switzerland.

---

**注:** The Create Swiss Bank Diskette program calls the Swiss Bank Cover Sheet program automatically.

---

### **(GBR) British Automatic Debits Formats**

Businesses in Great Britain automatically debit customer bank accounts using EFT. Transfers must adhere to the standards that are set by the BACS. Businesses can send transfer information to the bank using modem, tape, or diskette.

You can use the standard automatic debit process to meet the requirements of Great Britain.

The PeopleSoft system provides Great Britain Bank File and Statement Diskette (R03B575GB) format for automatic debits.

The program generates a bank table that adheres to the banking standards for automatic debits in Great Britain.

To process the automatic debit, the BACS processing date and the expiration date of the debit must be actual workdays. In addition, common business practice is to:

- Send statement reports to customers regarding the debit.
- Identify customers who have agreed to the automatic debit process.
- Select invoices that are due to customers.
- Validate the processing and expiration dates against a workday calendar.
- Assign each debit a sequential number that is based on the Accounts Receivable Next Auto Debit number in the Next Auto Debit Number table (F7460).
- Generate debit information in the BACS format.
- Generate statement reports for applicable customers.
- Update customer accounts after collecting the appropriate funds.

When creating and processing automatic debit batches for Great Britain, the system validates the BACS processing date against the workday calendar that you specify in the processing options. If the date is not a workday, the system searches for a valid workday, based on the workday calendar that you specify in the processing options, and increments the date by one day until it reaches the next valid workday.

The system issues a warning message to indicate that the day you entered is not a workday.

---

**注:** If you do not set up and specify a workday calendar, the system uses the BACS processing date without performing the necessary validation.

---

The system calculates the BACS expiration date, based on the value that you enter in processing option 15 on the BACS tab of the Process Automatic Debits program. To calculate the expiration date, the system uses the BACS processing date that is written to the BACS table and then adds the number of days that you specify in the processing option.

---

**注:** You must use the Supplier Master program (P04012) to create supplier master records for the customers for whom you submit automatic debits.

---

The first time that you submit automatic debits for a specific customer, you submit a first claim rather than a standard claim. The first-claim status indicates to the bank that you are verifying the bank account information for the automatic debit. No transfer of funds occurs with a first claim. After you have verified the bank account information for a customer, you submit automatic debits for that customer as standard claims.

To submit a first-claim automatic debit for a customer, select the Pre-Note Code option on the Supplier Master Revision form. Selecting the Pre-Note Code option for a customer indicates that any electronic funds transfer, including automatic debits, should be processed as a first claim.

---

**重要:** After you have processed the first claim automatic debits and the bank has approved the customer for automatic debits, you must clear the Pre-Note Code option on the Supplier Master Revision form for that customer so that Great Britain Bank File and Statement Diskette program can correctly process automatic debits.

---

## 自動引落しのフォーマットに使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[自動引落しバッチ処理]	W03B571A	[自動引落し] (G03B131)、[自動引落しの処理]	自動引落し処理のフォーマットを実行します。
[自動引落し設定]	W03B571B	[自動引落しバッチ処理] フォームで、バッチを選択して[選択]をクリックします。	自動引落しバッチに対する銀行ファイルフォーマットプログラムとバージョンを指定します。

### (AUT) Setting Processing Options for Austrian Bank Diskette Format and Statement (R03B575AD)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

#### Statement Print

Specify whether the system prints invoices that are included in the automatic debits batch as customer statements. Values are:

Blank: Print customer statements only when the number of invoice detail lines exceeds the maximum number that is allowed by the format.

1: Print statements for automatic debits.

### (BEL) Setting Processing Options for Automatic Debits Belgian Format 128 (R03B575BD)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

#### Print

##### 1. Statement Print

Specify whether to print invoices that are included in the automatic debits batch as customer statements. Values are:

Blank: Print customer statements only when the number of invoice detail lines exceeds the maximum number that is allowed by the format.

1: Print customer statements.

#### Defaults

##### 1. Sender Address Number

Specify the address number of the sender of the automatic debits tape if the sender is not the creditor. If you leave this processing option blank, the system uses the address number of the creditor.

##### 2. Belgium Country Code

Specify the country code for Belgium. If this code matches the country code of the address book record of the sender or creditor, the system treats the sender or creditor as a Belgian resident. Any sender or creditor whose address book record contains any other code is treated as a non-Belgian resident. If UDC 00/CN contains blank as a value, blank is the default for this processing option.

**Currency**

- |   |   |
|---|---|
| <b>1. EURO Currency Code (Required)</b> | Specify the currency code that is used in the system for euro. If this code matches the transaction currency code for an entry in the F03B575 table, that entry is treated as a euro transaction. All other transactions are treated as BEF transactions. |
|---|---|

**Collection**

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <b>1. Requested Collection Date</b> | Specify the requested collection date for the automatic debits payment. If you leave this processing option blank, the system date is used. |
|-------------------------------------|---|

**Diskette**

- |  |  |
|--|--|
| <b>1. Duplicate Generation of Diskette</b> | Specify whether this diskette is a duplicate generation. Values are:<br>Blank: First generation of diskette<br>1: Duplicate generation of diskette |
|--|--|

**Bank Code**

- |  |  |
|--|--|
| <b>1. 3-digit Financial Institution Code of Creditor's bank (Required)</b> | Specify the three-digit financial institution code of the bank to which the payments are remitted. The system does not validate this code. |
|--|--|

## **(FRA) Setting Processing Options for Automatic Debits French Format (R03B575FD)**

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

- |                        |   |
|------------------------|---|
| <b>Statement Print</b> | Specify whether the system prints invoices that are included in the automatic debits batch as customer statements. Values are:<br><br>Blank: Print customer statements only when the number of invoice detail lines exceeds the maximum number that is allowed by the format.<br><br>1: Print statements. |
|------------------------|---|

## **(DEU) Setting Processing Options for German Bank File Format and Statement Diskette (R03B575DD)**

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

**Defaults**

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <b>1. German Format</b>             | Specify whether the system creates Abbuchungen or Lastschriften records. Values are:<br><br>Blank: Create Abbuchungen records.<br><br>1: Create Lastschriften records. |
| <b>2. Print Customer Statements</b> | Specify whether the system prints customer statements for automatic debits. Values are:  |

Blank: Print customer statements only when the number of invoice detail lines exceeds the maximum number that is allowed by the format.

1: Print customer statements.

### 3. Tape Density

Specify the density of the tape.

### 4. Character Replacement

Specify whether the system replaces special characters according to the values that are set up in the Replaced Characters UDC (04/RC). Values are:

Blank: Character replacement is not enabled.

1: Character replacement is enabled. The system searches each alpha field for special characters in the order in which they are set up in the UDC. The system searches each alpha field separately.

## Currency

### 1. Euro Currency Code

Specify the currency code for the euro. For example, EUR.

## (IRL) Setting Processing Options for Ireland Domestic Debit Bank Format (R03B575IE)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Defaults

#### 1. Print Customer Statement

Specify whether the system prints a customer statement for the automatic debits. If you leave this processing option blank, the system prints a customer statement only when the number of invoice details exceeds the maximum number that can be included on the format.

#### 2. Tape Density

Specify the density of the tape.

#### 3. Enter the Authorized ID Number

Enter the payer identification number. The system prints the value that you enter in the Volume Header Label record. If you leave this processing option blank, the system prints the BACS number for the company account from the Bank Transit Master table (F0030).

#### 4. Enter the Volume Identifier

Enter the volume identifier.

#### 5. File Number

Specify an identifying number for the submission.

#### 6. Processing Date

Specify the date on which you create the flat file. You must enter the date in this format: YYDDD, where YY is equal to the last two digits of the year, and DDD is the Julian date. For example, for June 30, 2005, enter 05181.

The system prints the date that you specify in the User Header Label record. If you leave this processing option blank, the system prints the BACS processing date that exists in the A/P Payment Processing – Summary table (F04572).

## (NLD) Setting Processing Options for Automatic Debits Dutch Format (R03B575DH)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.



## File Info

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| <b>1. Clieop Format</b>          | Specify which Clieop format the system uses when processing automatic debits. Values are:<br>Blank: Use Clieop02 format.<br>1: Use Clieop03 format. |
| <b>2. Duplicate Code</b>         | Specify whether the file is a duplicate of the file that was previously supplied. Values are:<br>1: Original file.<br>2: Duplicate file.            |
| <b>3. Sender Identification</b>  | Specify which Clieop format the system uses when processing automatic debits. Values are:<br>Blank: Use Clieop02 format.<br>1: Use Clieop03 format. |
| <b>4. Payment ID</b>             | Specify the payment ID.   |
| <b>5. File Serial Number</b>     | Specify the file serial number.<br>If this is the first tape that you are processing for the day, enter 01.   |
| <b>6. File Fixed Description</b> | Specify the file fixed description.   |

## Date

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| <b>7. Processing Date</b>      | Specify the processing date.<br>If you leave this processing option blank, the system will use the system date.  |
| <b>8. Currency Code</b>        | Specify the currency code in which the records are written.  |
| <b>9. Test Code</b>            | Specify the test code. Values are:<br>P: Production<br>T: Test   |
| <b>10. Type of Transaction</b> | Specify the type of transaction. If you leave this processing option blank, the system uses 1001 as the default. |

## (CHE) Setting Processing Options for Create Swiss Bank Diskette Format (R03B575SD)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Statement Print

- |                           |   |
|---------------------------|---|
| <b>1. Statement Print</b> | Specify whether the system prints customer statements for automatic debits. Values are: |
|---------------------------|---|

Blank: Print customer statements only when the number of invoice detail lines exceeds the maximum number of lines that can be included on the format.

1: Print customer statements for automatic debits.

## 2. Tape Density

Specify the tape density.

### Identification

## 3. Bank Identification Information

Specify the LSV sender and subscriber identification information.

# (GBR) Setting Processing Options for Great Britain Bank File and Statement Diskette (R03B575GB)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Default

#### Print Customer Statement

Specify whether a the system prints customer statements for automatic debits. Values are:

Blank: Print customer statements only when the number of invoice detail lines exceeds the maximum number that the format allows.




1: Print customer statements for automatic debits.

#### Tape Density

Specify the tape density.

## 自動引落しバッチのフォーマット

[自動引落し設定] フォームにアクセスします。

自動引落しの処理 - 自動引落し設定			
OK(O) キャンセル(L) ツール(T)   			
ユーザー	RH5572702	バージョン	XJDE0001
バッチNo.		バッチタイプ	
バッチ状況	1	テスト・モード	
銀行勘定科目	1.1110.BEAR	Bear Creek National Bank	
元帳日付	2005/08/01	割引締め日付	
BACS日付		追加するBACS日付	0
営業日カレンダー			
割引処理		仕訳作成方法	1
媒体へファイルをコピー		媒体プログラムの作成 媒体バージョンの作成	
カスタマイズ・プログラム			
銀行ファイル・フォーマット・プログラム		媒体プログラムの作成	
銀行ファイル・フォーマット・バージョン		媒体バージョンの作成	

[自動引落し設定] フォーム

自動引落しバッチのフォーマットを実行するには、次の手順に従います。

1. [カスタマイズ・プログラム] の各フィールドに正しい値が選択されていることを確認し、正しくない場合は変更します。
2. [OK] をクリックして [自動引落しバッチ処理] フォームに戻ります。
3. [ロー] メニューの [銀行ファイルのフォーマット] をクリックします。

**[銀行ファイル・フォーマット・プログラム]** 各国の銀行ファイル フォーマット プログラム名を入力します。たとえば、ドイツ フォーマットの場合は「R03B575DD」と入力します。

**[銀行ファイル・フォーマット・バージョン]** [銀行ファイル・フォーマット・プログラム] フィールドに指定した各国の銀行ファイル フォーマット プログラムのバージョンを入力します。

**[媒体プログラムの作成]** F03B57OW テーブルから適切なメディアにデータをコピーする際に使用するプログラム名を入力します。顧客固有のカスタム プログラムを指定します。

**[媒体バージョンの作成]** [媒体プログラムの作成] フィールドに指定した顧客固有のカスタム プログラムのバージョンを入力します。

---

## 銀行への自動引落しバッチの転送

このセクションでは、銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー プログラムの概要と以下の方法について説明します。

- 銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー (P0457D) の処理オプションの設定
- フォーマット済みの自動引落しバッチのコピー

### 銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー プログラムについて

自動引落しバッチのフォーマットを行って、F03B570W テーブルにレコードを作成したら、それらのレコードをメディアにコピーして銀行に送るか、または銀行に電子送信する必要があります。

銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー プログラム (P0457D) は、F03B570W テーブルのレコードから、銀行がすぐに利用できる形式のテキスト ファイルを作成します。デフォルトでは、テキスト ファイルは UCS2 (Unicode) 形式で作成されます。Unicode フラット ファイル エンコード構成プログラム (P93081) で別のエンコード コード ページを設定して使用することで、別の形式を指定できます。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: System Administration

---

**注:** スイス用 LSV ディスクのファイル名は、dtalsv. にする必要があります。

---

銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー プログラムを実行する際は、テキスト ファイルのコピー先のパスを指定する必要があります。ハード ディスクドライブ、別の PC、フロッピー ディスク、または CD へのパスを指定できます。銀行の要件に応じてファイルを送付しなければならないので、カスタム プログラムの作成が必要な場合があります。

レコードをコピーすると、F03B571 テーブルの状況フィールドが 4 (媒体へコピー) に変更され、バッチを除去できるようになります。

### 置換文字と特殊文字

異なる形式でテキスト ファイルを作成する機能の他に、銀行で認識できない文字に使用する置換文字を指定することもできます。たとえば、Z の代わりに 0 (ゼロ) を使用するように指定できます。また、!、@、%、\$ などの使用できない可能性のある特殊文字を、/ などの使用できる特殊文字に置き換えるように指定できます。処理オプションと UDC テーブル (04/RC および 04/SC) を組み合わせて使用すると、文字置換機能を使用できます。

銀行の要件に応じて、文字を置換する方式の 1 つまたは両方を使用できます。

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

## 銀行への自動引落しバッチの転送に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[自動引落しバッチ処理]	W03B571A	[自動引落し] (G03B131)、[自動引落しの処理]	処理する自動引落しバッチの検索や選択を行います。
[自動引落し銀行ファイルの表示]	W03B571H	<p>[自動引落しバッチ処理] フォームで、QBE (例示照会プログラム) 行の [状況] フィールドに 3 と入力して、検索対象をフォーマット済みのバッチに限定します。次に、[検索] をクリックします。</p> <p>確認するフォーマット済みのバッチを選択して、[ロー] メニューの [銀行ファイルの表示] をクリックします。</p>	<p>自動引落しバッチに関する情報を確認します。</p> <p>このフォームを使用して、バッチに対してレコードを追加したり削除したりすることはできません。</p> <p>レコードを追加する必要がある場合は、自動引落しバッチを削除してレコードを含むようにプロセスを再実行するか、別のバッチで追加のレコードを処理することができます。</p> <p>レコードを削除する必要がある場合は、自動引落しバッチを削除して、削除したいレコードを除外するデータ選択を使用してプロセスを再実行する必要があります。</p>
[銀行ディスク書込み]	W0457DA	[自動引落しバッチ処理] フォームで、ディスクに書き込むバッチを選択して、[ロー] メニューの [ディスクにコピー] をクリックします。	フラットファイルのパスを確認して、新しくファイルを作成するか、または既存のファイルにレコードを追加するかを指定します。

## 銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコピー (P0457D) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

テキスト ファイル生成時に使用されるデフォルト情報を指定します。

- 1. レコード長**

出力ファイルのレコード長を指定します。最高 1500 文字まで指定できます。ブランクにすると、元のレコード長で出力テーブルが作成されます。
- 2. 改行の挿入**

各レコードの末尾で強制改行を挿入するかどうかを指定します。ブランクにすると、出力ファイルは、複数の個別のレコードではなく、1 つの長い文字列にフォーマットされます。
- 3. デフォルトのファイル パス/ファイル名**

出力ファイルのデフォルトのパスとファイル名を指定します。パスとファイル名は、ファイルを格納するオペレーティング システムのファイル構造および命名規則に従う必要があります。

たとえば、出力ファイルをローカル マシンの C ドライブに格納する場合は、ディレクトリ パスを C:¥フォルダ名¥ファイル名.txt のように指定します。出

カファイルをネットワーク マシンのフォルダに格納する場合は、ネットワーク パスを ¥マシン名¥フォルダ名¥ファイル名のように指定します。

ブランクにすると、A:¥DTALSV が使用されます。

---

**注:** Microsoft Windows クライアント以外には、このファイルを格納しないでください。

---

## データ

置換文字を使用するかどうか、また全ての文字を大文字にするかどうかを指定します。

### 1. 事前定義文字 (ユーザー定義コード 04/RC) を 1 対 1 で置換する

特殊文字を置き換えるかどうかを指定します。特殊文字を置き換えるように指定すると、置換文字ユーザー定義コード (04/RC) が読み込まれ、その値に基づいて 1 文字が置き換えられます。また、特殊文字ユーザー定義コード (04/SC) が読み込まれ、その値に基づいて特殊文字が置き換えられます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 特殊文字を置き換えない。

1: 特殊文字を置き換える。

---

**注:** P0457 プログラムと P03B571 プログラムでは、UDC 04/RC の記述 01 フィールドの最初の文字だけが記述 02 フィールドの最初の文字に置き換えられます。UDC が 1 対複数でマッピングされていても、複数の文字には置き換えられません。UDC 04/RC を使用している他のプログラムでは、UDC が 1 対複数でマッピングされていれば複数の文字に置き換えられます。

---

### 2. 全ての文字を大文字にする

レコードの全ての文字を大文字にするかどうかを指定します。ブランクにすると、大文字にされません。

### 3. 文字 (ユーザー定義コード 04/SC) の置換

UDC 04/SC で定義されている文字と一致する、フィールドやテーブルの文字を、指定された文字またはブランクに置き換えるかどうかを指定します。指定された文字に置き換えるには、置き換える文字を処理オプションに入力します。ブランクに置き換える場合は、処理オプションをブランクのままにしておきます。

---

**注:** UDC 04/SC に定義されている文字は、指定した文字またはブランクのどちらかに必ず置き換えられます。文字を一切置き換えない場合は、UDC 04/SC をブランクにする必要があります。

---

## フォーマット済み自動引落しバッチのコピー

[自動引落しバッチ処理] フォームにアクセスします。

フォーマット済みの自動引落しバッチをコピーするには、次の手順に従います。

1. QBE 行の [状況] フィールドに「3」と入力して、検索対象をフォーマット済みのバッチに限定し、[検索] をクリックします。
2. コピーするバッチを選択して、[ロー] メニューの [ディスクにコピー] をクリックします。
3. [銀行ディスク書込み] フォームで、パスが正しいことを確認し、[レコードの追加] オプションまたは [新規ファイルの作成] オプションのどちらかを選択します。

レコードのコピーが正常に終了すると、バッチ状況が 4 (媒体へコピー) に変更されます。

- [レコードの追加] このオプションを選択すると、バッチ内のレコードが指定されたパスの既存のファイルに追加されます。
- [新規ファイルの作成] このオプションを選択すると、既存のファイル内のレコードが削除され、バッチ内のレコードに置き換えられます。

## 自動引落しの除去

このセクションでは、自動引落しの除去処理の概要と自動引落としバッチの除去方法について説明します。

### 自動引落しの除去処理について

自動引落としバッチの処理が正常に終了したら、処理済みのレコードを除去できます。自動引落としバッチを除去すると、次のテーブルからレコードが除去されます。

- F03B575
- F03B57OW

さらに F03B571 テーブルのレコードも除去するかどうかを確認するプロンプトが表示されます。F03B571 テーブルのレコードを除去しない場合、バッチ レコードの状況は 5 (除去済み) に更新されますが、テーブルからは削除されません。後からでも、オプションを選択することでこれらのレコードを除去することができます。

自動引落としバッチの状況が 4 (媒体へコピー) の場合にのみ、自動引落としバッチを除去してください。その他の状況のバッチを除去しようとすると、[除去の確認] ウィンドウが表示されます。

**重要:** 除去した自動引落とし情報は復元できません。監査証跡も残りません。

### 自動引落しの除去に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[自動引落としバッチ処理]	W03B571A	[自動引落とし] (G03B131)、[自動引落しの処理]	自動引落としバッチの検索や除去を行います。
[除去の確認]	W03B571K	[自動引落としバッチ処理] フォームでバッチを選択し、[ロー] メニューの [除去] をクリックします。	自動引落としバッチの状況が 4 以外のバッチを削除するかどうかを確認します。
[履歴情報の除去]	W03B571G	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [自動引落としバッチ処理] フォームでバッチを選択し、[ロー] メニューの [除去] をクリックします。</li> <li>• [除去の確認] ウィンドウで [はい] をクリックします。</li> </ul>	F03B575 テーブルと F03B57OW テーブルのみを除去するか、または F03B571 テーブルも除去するかを指定します。

### 自動引落としバッチの除去

[自動引落としバッチ処理] フォームにアクセスします。

自動引落しバッチを除去するには、次の手順に従います。

1. 除去対象のバッチを選択し、[ロー] メニューの [除去] をクリックします。
2. [除去の確認] ウィンドウが表示されたら [はい] をクリックします。  
[除去の確認] ウィンドウは、バッチの状況が 4 ではない場合に表示されます。
3. [履歴情報の除去] フォームで、フォームの右下にあるフィールドに何も入力せずに [OK] をクリックすると F03B575 テーブルと F03B57OW テーブルのみが除去されます。フィールドに「1」と入力すると F03B571 テーブルも除去されます。
4. [OK] をクリックします。



## 第 14 章

# 売掛管理システムの EDI トランザクションの処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、売掛管理システムの電子データ交換 (EDI) の概要、EDI 入金データ、および以下の方法について説明します。

- EDI 受信データの転送
- EDI 受信データの構成要素の検索と改訂
- EDI 受信データの構成要素の追加
- EDI 受信データの除去

### 関連項目:

第 11 章、「自動入金処理」、299 ページ

---

## 売掛管理システムの EDI について

磁気テープを使用して銀行から支払情報を受け取る代替の方法として、EDI を使用して電子的に情報を受信するようにシステムを設定できます。EDI トランザクションを処理する場合、取引先/変換ソフトウェアを使用して EnterpriseOne テーブル用のレコードを準備する必要があります。情報を EnterpriseOne EDI テーブルに受信したら、自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) に転送する前にそれを検討、改訂できます。

売掛管理システムでは、次の 2 種類のタイプの支払トランザクション セットの自動受信入金を処理できます。

- 823 - ロックボックス
- 820 - 支払オーダー

使用するトランザクション セットに関係なく、支払情報を受信、改訂、追加、および削除する処理は同一です。EDI 入金処理が正常に完了すると、自動入金処理を行うことができます。

## この章で使用する共通フィールド

### 処理済み (Y/N)

レコードが正常に処理されたかどうかを示します。アプリケーションによって、EDSP フィールドは次のいずれかの値に更新されます。

1 または Y: このレコードは正常に処理されています。

ブランクまたは N: このレコードは未処理です。

レコード順序	H01、H02、D01 などのように、EDI トランザクションの見出しまたは明細情報の相対位置を割り当てる識別子を入力します。
レコード タイプ	EDI トランザクション レコードが見出し情報か明細情報かを表す識別子を示します。このフィールドは、EDI の場合にのみ表示されます。 EDI 制御情報のレコード タイプは 1 (見出し) にする必要があります。
ユーザー予約金額	ユーザー用の 15 桁のコードです。
ユーザー予約コード	ユーザー用の 2 桁のコードです。
ユーザー予約日付	ユーザー用の 6 桁のコードです。
ユーザー予約番号	ユーザー用の 8 桁のコードです。
ユーザー予約参照	ユーザー用の 15 桁のコードです。

## EDI 入金データについて

EDI システムを使用して売掛金の入金データを受信することができます。入金データを受信するには、銀行から送信された EDI テーブルのフォーマットから F03B13Z1 テーブルのフォーマットに EDI 情報を変換および移動するプログラムを実行します。

EDI を介して受信した入金データを処理するには、入金受信時の各構成要素のマッピング要件について理解しておく必要があります。

### EDI データ受信処理のマッピング要件

EDI データは、次の EDI テーブルで受信します。

- EDI ロックボックス/支払見出し - トランザクション (F47111): このテーブルにはトランザクション情報が保存されます。
- EDI ロックボックス見出し - トランザクション (F47112): このテーブルには振込情報が保存されます。
- EDI ロックボックス/支払明細 - バッチ (F47113): このテーブルには支払 (入金) 情報が保存されます。
- EDI ロックボックス/支払明細 - 支払 (F47114): このテーブルには送金 (請求書) 情報が保存されます。

1 回の EDI 送信で複数のトランザクションを受信できます。各トランザクションには 1 件の振込データが含まれます。各振込データには複数の支払データが、各支払データには複数の送金データが含まれます。つまり、複数の請求書に対する支払を行うことができます。合計金額は、監査用に振込および小切手別に保存されますが、F03B13Z1 テーブルには転送されません。

F47111、F47112、F47113、および F47114 の各 EDI テーブルのキー フィールドを使用して、トランザクションと関連構成要素が区別されます。全ての EDI テーブルのキー フィールドに同じ値を割り当てる必要があります。次の表は、これらのキー フィールドについて説明しています。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義および入力する値
EDI 伝票キー会社	EKCO	数字	5	<p>トランザクションを一意に識別するために EDI 伝票番号 (EDOC)、EDI 伝票タイプ (EDCT)、および EDI 行番号 (EDLN) の各フィールドの値と一緒に使用される番号です。</p> <p>このフィールドには、会社固定情報テーブル (F0010) にある値を入力します。</p>
EDI 伝票番号	EDOC	数字	9	<p>トランザクションを一意に識別するために EDI 伝票キー会社 (EKCO)、EDI 伝票タイプ (EDCT)、および EDI 行番号 (EDLN) の各フィールドの値と一緒に使用される番号です。</p>
EDI 伝票タイプ	EDCT	文字	2	<p>トランザクションを一意に識別するために EDI 伝票キー会社 (EKCO)、EDI 伝票番号 (EDOC)、および EDI 行番号 (EDLN) の各フィールドの値と一緒に使用される 2 文字のコードです。</p>
EDI 行番号	EDLN	数字	7	<p>トランザクションを一意に識別するために EDI 伝票キー会社 (EKCO)、EDI 伝票番号 (EDOC)、および EDI 伝票タイプ (EDCT) の各フィールドの値と一緒に使用される番号です。</p> <p>823 と 820 の両方のトランザクションセットに「1」を入力します。</p>

EDI トランザクションを正しく処理するには、EDI ロックボックス/支払見出し - トランザクション テーブル (F47111) の追加必須フィールドに値を入力する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義および入力する値
EDI トランザクション セット番号	Z1EDST	数字	6	転送プログラムの形式を指定する番号です。  EDI ロックボックス トランザクションを指定するには「823」、EDI 受信支払オーダー トランザクションを指定するには「820」を入力します。
EDI 送受信インジ ケータ	Z1EDER	文字	1	トランザクションが受信と送信のどちらであるかを示すコードです。  受信トランザクションを示すには「R」を入力します。
[名称]	Z1ALPH	文字	40	支払人の名前です。  ロックボックス トランザクション (823) を処理する場合は、銀行の名前を表します。
EDI 送信日付	Z1EDDT	日付	6	EDI データが送信された日付です。  レコードの処理にはこのフィールドの値は必要ではありませんが、EDI 入荷通知 (受信) の照会プログラム (P47110) ではこのフィールドを使用して表示されるレコードの数が制限されます。

EDI トランザクションを正しく処理するには、EDI ロックボックス/見出し - トランザクション テーブル (F47112) の追加必須フィールドに値を入力する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義および入力する値
EDI トランザクション セット番号	Z2EDST	数字	6	転送プログラムの形式を指定する番号です。  EDI ロックボックス トランザクションを指定するには「823」、EDI 受信支払オーダー トランザクションを指定するには「820」を入力します。
EDI 送受信インジ ケータ	Z2EDER	文字	1	トランザクションが受信と送信のどちらであるかを指定するコードです。  受信トランザクションを指定するには「R」を入力します。
振込番号	Z2DEPN	文字	30	支払グループを指定する番号です。
送信合計額	Z2TTOT	数字	15	合計振込額を示す数値です。

EDI トランザクションを正しく処理するには、EDI ロックボックス/支払明細 - バッチ テーブル (F47113) の追加必須フィールドに値を入力する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義および入力する値
振込番号	Z3DEPN	文字	30	支払グループを指定する番号です。  このフィールドには、対応する EDI ロックボックス見出し - トランザクションテーブル (F47112) のフィールドに入力する情報と同じ情報を入力します。
行番号	Z3LNID	数字	6	振込内の入金を特定する番号です。  各レコードに一意の値を入力する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義および入力する値
入金番号	Z3DOCM	文字	8	<p>入金を特定する番号です。</p> <p>レコードが処理されると、F03B13Z1 テーブルのチェック番号フィールド (CKNU) がこのフィールドの値で更新されます。</p>
銀行/支店コード	Z3TNST	文字	20	顧客の支払が行われる銀行を特定する番号です。
顧客の銀行口座番号	Z3CBNK	文字	20	顧客の銀行口座を特定する番号です。
住所番号	Z3AN8	数字	8	<p>顧客の住所番号です。</p> <p>銀行/支店コードフィールドおよび顧客の銀行口座番号フィールドに値を指定する代わりに、顧客の住所番号を入力できます。これらのフィールドがフォームまたはテーブルに表示される場合は、page_element 要素を使用します。システムに情報が設定されていれば、顧客の住所番号に基づき、銀行口座情報が特定されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義および入力する値
送信合計額	Z3TTOT	数字	15	入金額を表す数値です。  1 回の振込に複数の入金が存在する場合は、このフィールドの合計が F47112 テーブルの送信合計額フィールド (Z2TTOT) の値と等しくする必要があります。
通貨コード	Z3CRCD	文字	3	入金額の通貨です。  多通貨処理を使用して、F47114 テーブルの外貨建て金額フィールド (Z4ACR) に値を入力する場合にのみこのフィールドに値を入力してください。

EDI トランザクションを正しく処理するには、EDI ロックボックス/支払明細 - 支払テーブル (F47114) の追加必須フィールドに値を入力する必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義および入力する値
振込番号	Z4DEPN	文字	30	入力する値は、対応する F47112 テーブルのフィールドに入力されている振込番号と同じである必要があります。
行番号	Z4LNID	数字	6	入力する番号は、対応する F47113 テーブルのフィールドに入力されている行番号と同じである必要があります。
順序番号	Z4SEQN	数字	7	1 回の入金で複数の請求書に対して支払を行う際に、入金支払項目を特定する番号です。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義および入力する値
入金番号	Z4DOCM	数字	8	入力する番号は、F47113 テーブルのチェック番号(データ項目 DOCM)と一致する必要があります。
伝票番号	Z4DOC	数字	8	この表の後の注を参照してください。
伝票タイプ	Z4DCT	文字	2	この表の後の注を参照してください。
伝票支払項目	Z4SFX	数字	3	この表の後の注を参照してください。
総額	Z4AG	数字	15	請求書に適用する入金額を表す数値です。  入金額が外貨建ての場合は、このフィールドには値を入力しないでください。代わりに、外貨建て金額フィールド(Z4ACR)を使用します。
外貨建て金額	Z4ACR	数字	15	請求書に適用する入金の外貨金額です。  多通貨を使用しているが入金は国内通貨で行われる場合、このフィールドには国内通貨での金額を入力しないでください。代わりに、総額フィールド(Z4AG)を使用します。  このフィールドに値を入力する場合は、F47113 テーブルの通貨コードフィールド(Z3CRCD)にも値を入力する必要があります。



**注:** 伝票番号フィールド (Z4DOC)、伝票タイプ フィールド (Z4DCT)、および伝票支払項目フィールド (Z4SFX) によって、支払の対象となる請求書が特定されます。支払の対象となる各請求書および各請求書支払項目に対して、個別のレコードを作成する必要があります。

請求書に 1 つしか支払項目がない場合は、支払項目フィールドを空白のままにできます。支払項目には 001 から始まる番号が付けられます。

F47114 テーブルの Z4DOC、Z4DCT、および Z4SFX フィールドで請求書伝票番号を指定する代わりに、次のフィールドのいずれかに値を入力できます。

購買オーダー (Z4PO)

制御/計算書番号 (Z4CTL)

次の番号は、請求書が表示される計算書番号または、ユーザー定義の参照番号になります。

出荷番号 (Z4SHPN)

これらのいずれかのフィールドを使用するトランザクションの処理では、該当のフィールドから F03B13Z1 テーブルの汎用照合フィールド (GMFD) に値がコピーされます。

請求書を特定するために複数の方式を使用しないでください。Z4DOC、Z4DCT、Z4SFX フィールドを使用するか、Z4PO フィールド、Z4CTL フィールド、Z4SHPN フィールドを使用するかのどちらかにしてください。

---

## EDI 受信データの転送

このセクションでは、受信データの転送の概要と、以下の方法について説明します。

- 入荷通知の更新プログラムの実行
- 入荷通知の更新 (R47111) の処理オプションの設定

### 受信データの転送について

EDI テーブルから F03B13Z1 テーブルへ受信データを転送するには、該当するメニューから入荷通知の更新プログラム (R47111) を実行します。[ロックボックス] メニューからこのプログラムを実行すると、823 トランザクションが処理されます。[受信支払オーダー] メニューからこのプログラムを実行すると、820 トランザクションが処理されます。

このプログラムは、テスト モードと最終モードのどちらでも実行できます。

テスト モードでは、EDI - 電子入金 of 更新レポートが印刷されます。最終モードでプログラムを実行する前に、このレポートを使用してトランザクションを確認し、エラーを訂正します。レポートには、次の項目が印刷されます。

- F47114 テーブルの請求書の消込金額 (データ項目 Z4AG または Z4ACR)
- F47113 テーブルの入金額 (データ項目 Z3TTOT)
- F47112 テーブルの振込合計金額 (データ項目 Z2TTOT)

テスト モードを使用すると、振込合計金額と送金合計金額が一致するかどうかを確認できます。合計金額が正しくない場合、レポートにエラー メッセージが印刷されます。

最終モードでは、次の処理が実行されます。

- 自動入金消込プログラムでさらに処理するために、EDI 受信データが F03B13Z1 テーブルに転送されます。
- EDI - 処理済み (Y/N) フィールド (EDSP) が Y に更新されます。
- EDI - 電子入金の更新レポートが印刷されます。

---

**注:** レコードは、エラーのあるなしに関係なく F03B13Z1 テーブルに書き込まれます。エラーは自動入金消込プログラムの実行時に自動的に検出されますが、最初にテスト モードで実行してエラーを修正してから最終モードで実行することをお勧めします。

---

## 入荷通知の更新プログラムの実行

次のどちらかのナビゲーションを使用します。

[ロックボックス] メニュー (G47264) から [入荷通知の更新] を選択します。

[受信支払オーダー] メニュー (G47265) から [電子入荷の更新] を選択します。

## 入荷通知の更新 (R47111) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

トランザクション処理時に使用するデフォルト値を指定します。

- 1. 銀行勘定略式 ID (必須)** F47112 テーブルに値がない場合は、F03B13Z1 テーブルのレコードに割り当てる銀行勘定の 8 桁の略式 ID を指定します。たとえば、1.1110.BEAR の略式 ID は 00000108 です。  
銀行勘定を特定できない場合、レコードは処理されません。
- 2. 元帳日付** F47112 テーブルに値がない場合は、F03B13Z1 テーブルのレコードに割り当てる元帳日付を指定します。元帳日付を特定できない場合、システム日付が使用されます。
- 3. 支払手段** F47113 テーブルの [支払手段] フィールド (PYIN) に値がない場合は、F03B13Z1 テーブルのレコードに割り当てる支払手段を指定します。X (EDI 手形) などのユーザー定義コード (00/PY) に設定されているコードを選択します。

---

**注:** この処理オプションは必須ではありません。F47113 テーブルに値がある場合、その値は変更されません。

---

### 処理

トランザクションの処理に使用する方式を指定します。

- 1. 処理モード** EDI 支払をテスト モードと最終モードのどちらで処理するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: EDI 支払をテスト モードで処理します。レポートは印刷されますが、F03B13Z1 テーブルにレコードは作成されません。  
 1: EDI 支払を最終モードで処理します。レポートが印刷され、F03B13Z1 テーブルにレコードが作成されます。

## EDI 受信データの構成要素の検索と改訂

このセクションでは、EDI 入荷通知（受信）の照会プログラムの概要、制御情報、および以下の方法について説明します。

- EDI 入荷通知（受信）の照会 (P47110) の処理オプションの設定
- EDI 受信データのトランザクションの改訂
- EDI 受信トランザクションの振込データの改訂
- EDI 受信振込データの支払データの改訂
- EDI 受信支払データの送金の改訂
- EDI 受信データの制御情報の改訂
- 振込用 EDI 制御情報の改訂
- 支払用 EDI 制御情報の改訂
- 送金用 EDI 制御情報の改訂

## EDI 入荷通知（受信）の照会プログラムについて

テスト モードで入荷通知の更新プログラム (R47111) を実行した後、最終モードで実行する前に EDI データの修正や追加が必要な場合があります。

EDI 入荷通知（受信）の照会プログラム (P47110) を使用して、EDI 受信データの構成要素を検索および改訂します。このプログラムのバージョンは、[ロックボックス (823)] と [受信支払オーダー (820)] の両方のメニューから利用できます。2 つのバージョンの唯一の違いは、デフォルトのトランザクション セットに関する処理オプションの設定です。各構成要素の情報は異なるテーブルに保存されます。EDI 転送データは、次の構成要素から構成されています。

構成要素	説明
トランザクション（取引）	振込、支払、送金データを関連付ける見出し情報が含まれます。トランザクション情報は、F47111 テーブルに保存されます。
振込	ある一定の期間（1 日など）に行われた銀行への振込に関する全ての情報が含まれます。振込情報は、F47112 テーブルに保存されます。
支払	請求書または請求書支払項目を消し込む入金情報が含まれています。入金情報は、F47113 テーブルに保存されます。
送金	支払対象の請求書情報が含まれます。送金情報は、F47114 テーブルに保存されます。

EDI データの構成要素を変更するには、まず該当の構成要素を特定します。構成要素の構造は階層型になっています。たとえば振込データを特定する場合は、まずその振込データを持つトランザクションを特定します。支払データを特定するには、まずトランザクションと振込データを特定します。同様に送金データを特定する場合、最初にトランザクション、振込、および支払データを特定する必要があります。

EDI トランザクションおよびその構成要素を特定できたら、該当の構成要素を改訂することができます。

## 制御情報について

EDI 受信データの EDI 制御情報は、4 つの EDI テーブルにそれぞれ保管されています。これらの 4 つのテーブルは、次のような階層構造になっています。

1. F47111 - トランザクション
2. F47112 - 振込
3. F47113 - 支払
4. F47114 - 送金

このため、トランザクション テーブル (F47111) の EDI 制御情報を変更すると、従属する各テーブル (F47112、F47113、F47114) にも自動的にこの変更が反映されます。支払テーブル (F47113) の EDI 制御情報を変更すると、従属する送金テーブル (F47114) にも自動的にこの変更が反映されます。変更が反映されるのは下位のテーブルのみで、上位のテーブルは変更されません。たとえば、支払テーブル (F47113) の EDI 制御情報を変更しても、振込テーブル (F47112) とトランザクション テーブル (F47111) には影響しません。

## EDI 受信データの構成要素の検索と改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[トランザクション状況の処理]	W47110A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ロックボックス(823)] (G47264)、[EDI入荷通知(受信)の照会]</li> <li>• [受信支払オーダー(820)] (G47265)、[EDI受信入荷の照会]</li> </ul>	EDIトランザクションが表示されます。
[トランザクション見出しの改訂]	W47110B	[トランザクション状況の処理] フォームでトランザクションを選択して、[選択] をクリックします。	EDI 受信データのトランザクションを改訂します。
[EDI制御の改訂]	W47CTLB	[トランザクション状況の処理] フォームでトランザクションを選択して、[ロー] メニューの [制御] をクリックします。	EDI 受信データの制御情報を改訂します。
[振込の処理] (画面では [入金処理])	W47110C	[トランザクション状況の処理] フォームでトランザクションを選択して、[ロー] メニューの [入金] をクリックします。	トランザクションの振込データを確認します。
[振込の改訂] (画面では [入金の改訂])	W47110D	[入金処理] フォームで変更する振込データを選択して、[選択] をクリックします。	EDI 受信トランザクションの振込データを改訂します。
[支払の処理]	W47110E	[入金処理] フォームで振込データを選択して、[ロー] メニューの [支払] をクリックします。	EDI 受信振込データの支払データを確認します。
[支払の改訂]	W47110F	[支払処理] フォームで変更する支払データを選択して、[選択] をクリックします。	EDI 受信振込データの支払データを改訂します。
[送金の処理]	W47110G	[支払処理] フォームで支払データを選択して、[ロー] メニューの [送金] をクリックします。	EDI 受信支払データの送金データを確認します。
[送金の改訂]	W47110H	[送金処理] フォームで変更する送金データを選択して、[選択] をクリックします。	EDI 受信支払データの送金データを改訂します。

## EDI 入荷通知 (受信) の照会 (P47110) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## デフォルト

[トランザクション状況の処理] フォームに表示するトランザクション セット番号を指定します。

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| <b>1. EDI トランザクション<br/>セット番号</b> | デフォルトのトランザクションセット番号を指定します。ブランクにすると、823 が使用されます。有効値は以下のとおりです。<br><br>823: ロックボックス<br>820: 支払 |
|----------------------------------|---|

## 処理

EDI トランザクションを更新モードで処理するか、追加モードで処理するかを指定します。

- |                 |  |
|-----------------|--|
| <b>1. 処理モード</b> | EDI トランザクションを更新モードで処理するか、追加モードで処理するかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br><br>ブランク: 更新モードでトランザクションが処理されます。既存のレコードを改訂することができます。<br><br>1: 追加モードでトランザクションが処理されます。新しいレコードが追加されます。 |
|-----------------|--|

## EDI 受信データのトランザクションの改訂

[トランザクション見出しの改訂] フォームにアクセスします。

[名称] フィールドの値を変更します。

## EDI 受信トランザクションの振込データの改訂

[振込の改訂] (画面では [入金の改訂]) フォームにアクセスします。

- |  |   |
|--|---|
| <b>[決済日付]</b>                              | 支払金額が銀行勘定の借方または貸方に計上された日付を入力します。銀行が支払を決済した日付ではありません。自動支払の場合、このフィールドの値は自動的にセットされます。手入力による支払の場合、決済日付が表示されるように処理オプションで指定すると、このフィールドで決済日付を入力することができます。                  |
| <b>[元帳日付]</b>                              | 取引を転記する日付を入力します。  |
| <b>[参照]</b>                                | 相互参照番号または 2 次参照番号として使用する英数字を入力します。通常は、顧客番号、仕入先番号、または作業番号を入力します。   |
| <b>[DFI ID 修飾子] (預金金融<br/>機関 ID 番号タイプ)</b> | 預金金融機関 ID 番号タイプを入力します。有効値は以下のとおりです。<br>01: ABA 転送番号<br>02: SWIFT コード<br>03: CHIPS (Clearing House Interbank Payments System: 銀行間決済システム)<br>04: カナダの銀行支店<br>ZZ: 相互定義 |
| <b>[DFI ID No.]</b>                        | 預金金融機関 ID 番号を入力します。   |

[参照 2]	仕入先の入札伝票番号、見積伝票、受注オーダー、作業オーダー、作業番号などの参照番号を入力します。
[銀行勘定]	取引を転記する銀行勘定を入力します。
[入金額]	EDI トランザクションで受信する合計金額を入力します。
[売掛金バッチ No.]	1 ユニットとして処理、残高計算されるトランザクションのグループを識別する番号が表示されます。バッチ入力では、バッチ番号を手作業で割り当てることも、自動採番プログラムを使用して割り当てることもできます。
[売掛金バッチ日付]	バッチの日付が表示されます。
[売掛金バッチタイプ]	バッチ タイプが表示されます。このフィールドの有効値は RB だけです。変更しないでください。

## EDI 受信振込データの支払データの改訂

[支払の改訂] フォームにアクセスします。

[小切手 No.]	入金、支払、調整、貸方額などの照合伝票の番号が表示されます。当初伝票 (DOC) を、請求書や伝票などの照合伝票 (DOCM) で消し込みます。
[照合日付]	入金が入力された日付を入力します。
[銀行/支店]	入金決済を管理するために、連邦準備制度により銀行へ割り当てられる番号を入力します。
[顧客銀行口座]	顧客の口座を特定するために、銀行から割り当てられる番号を入力します。

---

**注:** Nordic users: Enter the bank, Bankgiro, or Postgiro account number.

---

[トランザクション・タイプ・コード]	社内外を問わず実行されるアクションを指定する EDI コードを入力します。ANSI X.12 のデータ項目 305 を参照してください。
[支払手段]	仕入先への支払方法/顧客からの入金方法を指定するユーザー定義コード (00/PY) を入力します。支払手段の例としては、小切手、電子資金決済 (EFT)、ロックボックス、EDI などがあります。
[小切手伝票タイプ]	当初伝票と照合する伝票の種類を指定するユーザー定義コード (00/DT) が表示されます。
[小切手決済日]	小切手が銀行勘定の借方に記入された日付を入力します。この日付は、銀行テープによる残高調整の際に更新されます。
[支払方法コード]	支払方法コードを入力します。ANSI S. 12 のデータ項目 591 を参照してください。
[勘定科目モード]	<p>総勘定元帳の 3 つの勘定科目のうちデータ入力に使用される勘定科目を示すコードを入力します。有効なコードは以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: 略式 ID</li> <li>2: 標準勘定科目コード</li> <li>3: 第 3 勘定科目コード (24 桁)</li> </ol>

7: 勘定科目コードの 1 桁目で勘定科目コード形式が識別されます。データを入力しやすいように一般会計固定情報テーブル (F0009) で記号を設定することができます。たとえば、次の記号があります。

- ブランク: ビジネスユニット. 主科目. 補助科目形式のコード
- /: 第 3 勘定科目コード
- \*: 略式 ID

たとえば、勘定科目モードが 7 で勘定科目コードの 1 桁目が \* の場合、勘定科目コードは略式 ID として入力されています。

[売掛金バッチ No.]	1 ユニットとして処理、残高計算されるトランザクション グループを識別する番号が表示されます。
[売掛金バッチ日付]	バッチの日付が表示されます。ブランクにすると、システム日付が使用されます。
[小切手金額]	EDI トランザクションで受信した合計金額を入力します。
[売掛金バッチ・タイプ]	バッチ タイプが表示されます。このフィールドの有効値は RB だけです。変更しないでください。

## EDI 受信支払データの送金データの改訂

[送金の改訂] フォームにアクセスします。

[支払項目]	伝票または請求書の支払項目を識別する番号が表示されます。支払項目番号は、システムによって割り当てられます。伝票または請求書の支払項目が複数にわたる場合は、連番が割り当てられます。
[計算書No.]	請求書を記載する計算書の計算書番号が表示されます。
[総額]	請求書の支払項目の合計金額を示す値を入力します。税目コードの値によって、総額は税込みの金額になる場合もあります。消込のときもこの総額は変わりません。トランザクションを無効にすると、[総額] フィールドの金額はクリアされます。
[割引実施額]	特定の日付までに支払が行われた場合に請求書から割り引く金額を入力します。割引可能額と異なる金額にすることもできます。
[外貨建て金額]	トランザクションに入力された外貨建て金額が表示されます。一般会計固定情報の多通貨換算オプションの値が Y に設定されている場合、外貨金額に為替レートを乗算して国内通貨額が計算されます。多通貨換算 オプションの値が Z に設定されている場合は、外貨金額を為替レートで除算して国内通貨額が計算されます。
[割引実施額(外貨)]	支払で未決済請求書を消し込む際に計上される割引金額 (外貨建て) が表示されます。
[入力タイプ]	現金入金処理における特定のトランザクション処理用コードを入力します。入力タイプをブランクにすると、トランザクションはバイパスされます。詳細については、アクション コード付き現金入力プログラム (P03103) のシステム ヘルプの説明を参照してください。有効なコードは以下のとおりです。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1: 割引請求書突合せ</li> <li>2: 未決済請求書突合せ</li> </ol>



- A: 調整
- B: 繰越残高
- C: 再請求 (未突合せの借方項目)
- D: 請求書突合せ (割引、再請求)
- F: 自動損益レコード (外貨のみ - マシンによる生成)
- G: 総勘定元帳
- I: 請求書突合せ
- R: 範囲の開始終了
- S: 配賦
- U: 仮受金
- W: 少額消込
- X: 範囲内で除外
- Z: 配賦の自動損益 (外貨のみ - マシンによる生成)

#### [その他コード 2]

買掛金および売掛金の明細ファイルの内部処理で使用されるフラグが表示されます。このフィールドをブランクにすると、仕訳の転記プログラムにより取引明細テーブル (F0911) に税に対する相殺入力データが作成され、税テーブル (F0018) に書き込まれます。

オーダー処理および流通のシステムにより、このフィールドは税に対する相殺入力を表す 1 に更新され、相殺入力データが税テーブル (F0018) に書き込まれます。

このフィールドの値が 1 の場合、請求書入力プログラムでは手作業で税額情報を変更する必要があります。税額情報は、自動的に計算されません。このコードが 1 の場合、請求書入力プログラムで税額を変更しても F0018 テーブルには反映されません。

#### [コード] (現金入金/請求書形式コード)

現金入金からの現金レコードが明細/集計形式のどちらで書き込まれるかを示すコードが表示されます。バッチ内の全てのレコードは同じ値を持ちます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 現金レコードは集計形式で書き込まれます。

1: 現金レコードは明細形式で書き込まれます。

## EDI 受信データの制御情報の改訂

[トランザクション状況の処理] フォームにアクセスします。

EDI トランザクションを選択して、[ロー] メニューの [制御] をクリックします。

---

注: トランザクションに対する変更は、振込、支払、送金の各テーブルにも反映されます。

---

## 振込用 EDI 制御情報の改訂

[振込の処理] (画面では [入金の処理]) フォームにアクセスします。

振込データを選択して、[ロー] メニューの [制御] をクリックします。

---

注: 振込に対する変更は、支払と送金の各テーブルにも反映されます。

---

## 支払用 EDI 制御情報の改訂

[支払状況の処理] フォームにアクセスします。

支払データを選択して、[ロー] メニューの [制御] をクリックします。

---

注: 支払に対する変更は、送金テーブルにも反映されます。

---

## 送金用 EDI 制御情報の改訂

[送金の処理] フォームにアクセスします。

送金データを選択して、[ロー] メニューの [制御] をクリックします。

[明細行数]	EDI トランザクションで伝送される明細行の数が表示されます。オーダーや請求書あたりの合計行数などです。
[EDI - 伝送日付]	EDI トランザクションが送信または受信された日付が表示されます。
[取引先ID]	EDI 標準ビジネス伝票を交換している取引先を識別する修飾子を入力します。

---

## EDI 受信データの構成要素の追加

このセクションでは、事前設定および以下の方法について説明します。

- EDI 受信トランザクションの追加
- EDI 受信トランザクションへの振込データの追加
- EDI 受信振込データへの支払データの追加
- EDI 受信支払データへの送金データの追加

## 事前設定

EDI 入荷通知 (受信) の照会プログラム (P47110) の処理オプションを設定し、新しいレコードを追加できるように処理モード処理オプションの値を 1 に設定します。

## EDI 受信データの構成要素の追加に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[トランザクション状況の処理]	W47110A	<ul style="list-style-type: none"> <li>• [ロックボックス(823)] (G47264)、[EDI入荷通知(受信)の照会]</li> <li>• [受信支払オーダー(820)] (G47265)、[EDI受信入荷の照会]</li> </ul>	EDIトランザクションが表示されます。
[トランザクション見出しの改訂]	W47110B	[トランザクション状況の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	既存の転送データに構成要素(複数可)を追加します。実際に転送する前のテストとして使用することもできます。
[振込の処理](画面では[入金処理])	W47110C	[トランザクション状況の処理] フォームで、振込を追加する EDI トランザクションを選択して、[ロー] メニューの [入金] をクリックします。	EDI 受信トランザクションの振込データを確認します。
[振込の改訂](画面では[入金の改訂])	W47110D	[入金の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	EDI 受信トランザクションに振込データを追加します。
[支払の処理]	W47110E	[入金の処理] フォームで振込データを選択して、[ロー] メニューの [支払] をクリックします。	EDI 受信振込データの支払データを確認します。
[支払の改訂]	W47110F	[支払の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	EDI 受信振込データに支払データを追加します。
[送金の処理]	W47110G	[支払の処理] フォームで支払データを選択して、[ロー] メニューの [送金] をクリックします。	支払データの送金データを確認します。
[送金の改訂]	W47110H	[送金の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	EDI 受信支払データに送金データを追加します。

## EDI 受信トランザクションの追加

[トランザクション見出しの改訂] フォームにアクセスします。

トランザクションを追加するには、[EDI 伝票 No.]、[EDI 伝票タイプ]、[EDI 伝票会社]、[EDI 行 No.]、[名称] の各フィールドに値を入力します。その他の全てのフィールドは任意です。

**注:** EDI 受信トランザクションを追加すると、対応する EDI 制御情報が自動的に追加されます。

## EDI 受信トランザクションへの振込データの追加

[振込の改訂] (画面では [入金の改訂]) フォームにアクセスします。

振込を追加するには、[入金 No.] フィールドと [入金額] フィールドに値を入力します。その他の全てのフィールドは任意です。

---

**注:** EDI 受信トランザクションに振込データを追加すると、対応する EDI 制御情報が自動的に追加されます。

---

## EDI 受信振込データへの支払データの追加

[支払の改訂] フォームにアクセスします。

支払データを入力するには、[入金 ID]、[小切手伝票タイプ]、[小切手金額]、[小切手 No.] の各フィールドに値を入力します。その他の全てのフィールドは任意です。

---

**注:** EDI 受信振込データに支払データを追加すると、対応する EDI 制御情報が自動的に追加されます。

---

## EDI 受信支払データへの送金データの追加

[送金の改訂] フォームにアクセスします。

送金データを追加するには、[順序No.]、[小切手No.]、[小切手伝票タイプ] の各フィールドに値を入力し、[総額] フィールドまたは [外貨建て金額] フィールドのどちらかに金額を入力します。その他の全てのフィールドは任意です。

---

**注:** EDI 受信支払データに送金データを追加すると、対応する EDI 制御情報が自動的に追加されます。

---

# EDI 受信データの除去

このセクションでは、EDI 受信データの除去処理の概要と、EDI 入荷通知（受信）の除去プログラムの実行方法について説明します。

## EDI 受信データの除去処理について

EDI 受信トランザクションを正常に処理した後、除去プログラムを使って EDI 受信テーブルからトランザクションを削除することができます。処理済みの EDI トランザクションは、除去されるまでシステム 47 テーブルに保存されます。

EDI 受信データを除去すると、以下のテーブルから処理済み (Y/N) フィールド (EDSP) の値が Y のレコードが削除されます。

- F47111
- F47112
- F47113
- F47114

---

**重要:** このプログラムの実行では、削除されたトランザクションは除去テーブルにコピーされません。トランザクションはシステムから物理的に削除されます。

---

## EDI 入荷通知（受信）の除去プログラムの実行

次のどちらかのナビゲーションを使用します。

[受信支払オーダー] メニュー (G47265) の [EDI 受信入荷の除去] をクリックします。

[ロックボックス] メニュー (G47264) の [EDI 入荷通知(受信)の除去] をクリックします。

## 第 15 章

# 損金処理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、損金処理の概要と、以下の方法について説明します。

- 損金の入力
- 損金の調査と解決
- (Rapid Start) Process customer deductions
- 損金処理の無効化

### 関連項目:

第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「損金処理のための活動コードの設定」、30ページ

---

## 損金処理について

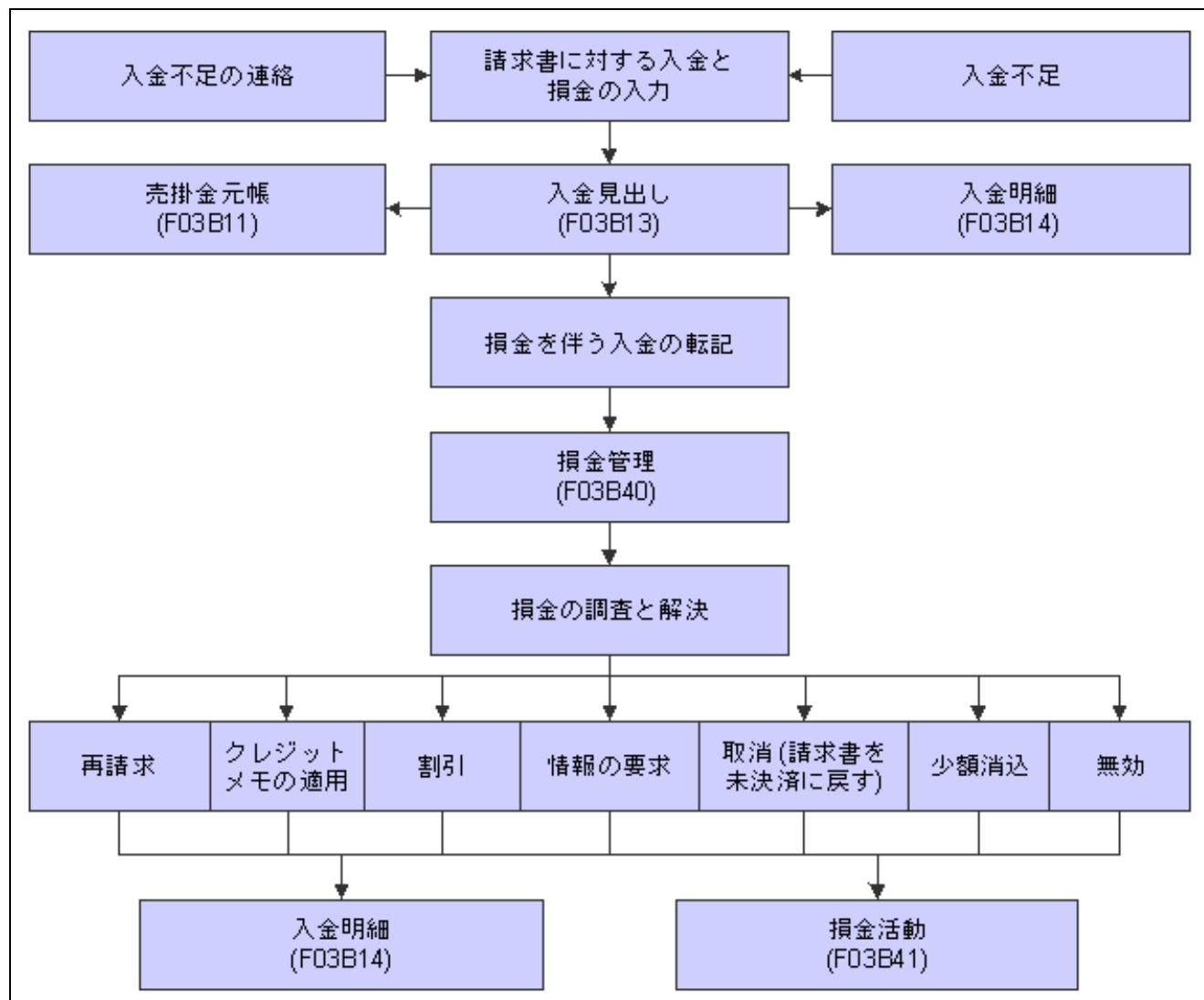
顧客から説明もなく請求額より少ない金額が入金されたり、破損品があったなどの理由で入金額が減額されたりする場合があります。顧客によって減額された金額は、損金と呼ばれます。

商品やサービスに欠陥があったり、納品数量が不足しているような場合に、顧客が金額を差し引いて支払う場合があります。損金の主な理由は次のとおりです。

- 破損品または欠陥品
- 出荷数量不足
- 販売促進のための割引
- クレームのある金額
- 請求ミス

社内規定に基づいて、損金処理に関する権限を持った担当者を決めることができます。たとえば、与信および回収部門に損金に関連する問題を解決する損金管理担当者を置くことができます。この情報は、顧客マスター レコードで指定します。

次の図は、損金処理の流れを示しています。



損金処理

損金の原因追求には多くの時間を要します。まず初めに、その損金が正当な理由によるものかどうかを調べる必要があります。次に、売掛管理システムでどう処理するかを決めます。たとえば、損金に対する正当な理由が顧客にないと判断したとします。この場合は、再請求を作成し顧客に損金額を請求します。

入金入力時には減額の理由がわからない場合があります。しかし、損金処理を保留にしたまま、入金された金額を記録して請求書に適用することができます。損金処理に関する問題は、後で個別に対処することが可能です。

損金に関連した調査内容には、次のようなものがあります。

- 請求書や出荷などにミスがないかを確認する
- 顧客に対して、さらに詳しい情報の提供を依頼する
- 営業部門や与信部門など、社内の担当部署に連絡し、顧客勘定についての追加情報を入手する

損金の調査に関する情報をシステムに記録できます。[損金活動の入力] フォームに各処理の結果を入力してください。この情報が、損金処理に関する監査証跡になります。

損金が特定の請求書に対して発生すると、その請求書は決済済みになり、損金額の記録用に新しい請求書 (R5 伝票タイプ) が作成されます。損金問題を調査している間は、R5 請求書伝票に関連した未決済金額の消込処理はできません。この請求書 (損金額) は、問題が解決されるまで顧客の未決済残高に含まれます。

損金関連問題を調査したら、損金をどのように処理するかを決定します。次のような処理が可能です。

- 顧客に対して、損金分の再請求を作成する
- 損金額の少額消込処理を行う
- クレジット メモを適用する
- 損金額を無効割引額として処理する
- 損金の取消処理を行う

損金問題を解決する際に、R5 請求書レコードを締め処理するために入金明細 (F03B14) レコードが作成されます。作成された入金レコードを転記して、該当する総勘定元帳の勘定科目を更新する必要があります。

## この章で使用する共通フィールド

<b>損金活動コード</b>	未決済の損金額を割り当てる活動のコードを入力します。コードは、F03B42 テーブルにある値を入力する必要があります。  活動にクレジット メモを割り当てる場合は、クレジット メモ用に設定されている活動コードを選択する必要があります。
<b>損金理由コード</b>	顧客が請求書の全額を入金していない理由を示すコードを入力します。代表的な損金理由コードは、次のとおりです。  DG:破損品 SS:出荷不足 UD:その他クレーム

---

## 損金の入力

このセクションでは、損金入力の概要、請求書に関連した損金、入金に関連した損金、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 請求書に関連した損金の入力
- 入金に関連した損金の入力

### 損金の入力について

顧客から請求額より少ない金額が入金される場合があります。その理由は、特定の請求書に関連していることもあれば、はっきりしないこともあります。たとえば、商品が破損品だったり、請求ミスや割引の問題がある場合などです。損金問題を調査して顧客との問題を解決すると同時に、損金情報を売掛管理システムに正確に記録する必要があります。損金処理は、入金入力処理または売掛金元帳照会処理で行いますが、機能はどちらも同じです。

損金のタイプに応じて、次のいずれかの方法で損金情報の入力や照会を行います。

方法	用途
売掛金元帳照会	[売掛金元帳照会の処理] フォームを使用して、顧客からの入金不足と関係ない損金情報を入力します。このタイプの損金は請求書と関連しています。
入金入力	[入金入力] フォームを使用して、顧客からの入金に関連する損金を入力します。  この方法は、損金が特定の請求書と関連しない単独損金処理にも使用できます。
手形入力	手形入力プログラムを使用して、顧客の手形に関連する損金を入力します。  この方法は、損金が特定の請求書と関連していない単独損金処理にも使用できます。

注: 損金管理テーブル (F03B40) に損金レコードを作成するために、入金および手形レコードを転記する必要があります。転記しないと、損金レコードを検討したり処理したりすることはできません。

## 請求書に関連した損金について

支払の前に、顧客から請求書の問題に関する連絡を受けた場合、[売掛金元帳照会の処理] フォームを使用して問題のある項目を確認します。次に、問題となっている項目を損金処理システムに入力します。これによって損金情報が担当者や責任者に通知され、後で問題を調査することができます。

請求書と関連する損金を入力すると、以下の処理が実行されます。

- 請求書の未決済金額を損金額分だけ差し引きます。請求書金額が損金額と等しい場合は、その請求書は決済済みになります。請求書を決済済みにする場合は、支払状況 P が割り当てられます。
- [売掛金元帳照会の処理] フォームに表示されるように、売掛金元帳テーブル (F03B11) に損金額の転記済み R5 伝票を作成します。R5 伝票は、その顧客に対して未決済残高があることを示す一時的な伝票です。この伝票には、当初請求書に対する監査証跡情報が記載されています。
- バッチ制御テーブル (F0011) に入金バッチ見出しレコード (バッチ タイプ RB) を作成します。
- 入金見出しテーブル (F03B13) に、金額ゼロの損金入金を作成します。入金明細テーブル (F03B14) に、対応する入金明細が損金分の金額 (支払ゼロ) で作成されます。

損金を入力したら、後で損金の検討と処理ができるように、入金バッチを転記して F03B40 テーブルにレコードを作成する必要があります。請求書と関連する損金を入力して転記したら、[損金の処理] フォームで問題のある請求書に割り当てられた理由コードを検討できます。理由コードを検討するには、[売掛金元帳照会の処理] フォームで問題のある請求書を選択して、[ロー] メニューの [損金の処理] をクリックします。

## 入金に関連した損金について

顧客が支払額を減額した場合、顧客が差し引いた金額分を損金として入力できます。不足分に関しては顧客からの説明がないことがほとんどです。このような場合、売掛管理システムで通常通り入金を消し込んでから、不足分について損金を作成します。

入金と関連する損金を入力すると、以下の処理が実行されます。

- 関連する請求書に対する入金額と損金額を消し込みます。請求書金額が損金額と等しい場合は、その請求書は決済済みになります。請求書をクローズする場合は、支払状況 P が割り当てられます。これによって、当初請求書の未決済金額が減額されます。



- F03B11 テーブルに損金額分の転記済み伝票レコード (伝票タイプ R5) を作成します。R5 伝票は、その顧客に対して未決済残高があることを示す一時的な伝票で、[売掛金元帳照会の処理] フォームに表示されます。この伝票には、当初請求書に対する監査証跡情報が記載されています。
- F03B13 テーブルに損金入金レコードを作成します。また、これに対応する入金明細レコードが損金分の金額で F03B14 テーブルに作成されます。

F03B40 テーブルを更新するには、入金バッチを転記して後で損金の検討と処理ができるようにします。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 照会のために、顧客マスター レコードに損金管理担当者を割り当てます。
- 損金 AAI (RN) を設定して、損金仮勘定を特定できるようにします。
- [入金入力] フォームの見出し部分に値を入力する方法については、未充当入金の入力ステップを確認します。

参照: [第 9 章、「入金処理」、「未充当入金の入力」、240ページ](#)

- 手形を処理している場合、[手形の処理] フォームの見出し部分に値を入力する方法については、未決済手形の入力ステップを確認してください。

参照: [第 12 章、「受取手形の処理」、「未充当手形の入力」、370ページ](#)

- 支払対象の請求書を検索する方法については、未決済項目の表示に関する情報を確認します。

参照: [第 9 章、「入金処理」、「未決済請求書の検索」、242ページ](#)

## 損金の入力に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[損金入力]	W03B40E	<p>[顧客および請求書の入力] (G03B11)、[売掛金元帳照会]</p> <p>[売掛金元帳照会の処理] フォームで該当の請求書を選び、[ロー] メニューから [損金の入力] を選択します。</p>	顧客の入金不足と関係ない損金情報を入力します。

## 請求書に関連した損金の入力

[損金入力] フォームにアクセスします。

売掛金元帳照会 - 損金入力

OK(O) キャンセル(L) ツール(T)

顧客No. 3333

伝票No. 1025

伝票タイプ RI

伝票支払項目 001

伝票会社 00001

損金理由コード DA 金額に対するクレーム

損金金額 2500.00 請求書未決済金額 2500.00

損金記録日付 2005/06/18 通貨 USD

[損金入力] フォーム

**[損金金額]** 損金の国内通貨金額を入力します。この金額の通貨は、[通貨] フィールド (BCRC) に表示されます。

**[損金記録日付]** 損金管理レコード (F03B40) が作成された日付が表示されます。損金が入金から作成されている場合は、入金元帳日付が表示されます。損金が請求書から作成されている場合は請求書の元帳日付が表示されますが、[損金入力] フォームでこの値を上書きすることができます。

## 入金に関連した損金の入力

入金に関連した損金を入力するには、単独損金のレコードを入力する手順に従います。

参照: 第 9 章、「入金処理」、「単独レコード入力」、253 ページ

## 損金の調査および解決

このセクションでは、損金の解決の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 損金への活動コードの適用
- 損金へのクレジット メモの適用

### 損金の解決について

損金を入力したら、損金理由を調査して解決する必要があります。たとえば、損金処理に追加情報が必要な場合や損金理由の正当性を確認するために、損金管理担当者が顧客に連絡することがあります。損金の調査や処理に時間がかかる場合、備忘日付を入力することができます。

損金や転記済みまたは未転記の活動に関連する詳細情報を変更できます。変更すると、損金活動入力にログが取られます。

損金の調査が終わったら、どのように処理するかを決める必要があります。以下のような方法があります。

## 追加情報の要求

この処理では、解決処理コードの割り当ての際に金額を指定することはできません。関連する請求書は決済済みのまま、損金管理システムの損金額は未決済のままになります。これは、必要な情報を入手した時点で処理することができます。

## 少額消込

損金を少額消込として処理すると、伝票タイプ R5 (損金) の請求書の未決済金額が決済済みとなり、未転記の入金レコードが F03B14 テーブルに新規のバッチで作成されます。これを転記すると、AAI 項目 RAxx (xx は少額消込理由コード) で指定された少額消込勘定科目の残高が更新されます。AAI 項目 RNxx で指定された勘定科目の仕訳が転記されます。損金を少額消込した場合、入金入力の処理オプションで指定した許容限度額は考慮されません。

少額消込理由コードには、元帳クラスフィールドの値が使用されます。[損金活動の入力] フォームで損金活動コードフィールドに値を入力すると、少額消込理由コードフィールドの値が元帳クラスフィールドのデフォルトの値として使用されます。ただし、このフィールドの値は上書きできます。少額消込のために使用される AAI 項目は、RA と明細行の元帳クラスフィールドの値を組み合わせた項目 (RAxx) になります。この値は、F03B14 テーブルに格納されます。

少額消込の理由コードは、活動マスター (F03B42) に格納されます。各損金活動には損金活動コードを設定する必要があります。それぞれの損金活動コードに、個別に少額消込理由コードを設定することができます。このため、同じ損金活動コードを持つ全ての損金活動が、同じ少額消込理由コードを持つ場合があります。

## 再請求の作成

損金を顧客に対する再請求として処理する場合は、R5 請求書損金レコードの未決済金額が決済済みとなり、新しく RB 請求書伝票が作成されます。新しいバッチで未転記のレコードが F03B14 テーブルに作成されます。再請求を転記すると、AAI 項目 RCxx (xx は再請求理由コードの値) で指定された売掛金勘定と、AAI 項目 RN で指定された損金勘定が更新されます。

元帳クラスフィールドの値が再請求元帳クラス値として使用されます。[損金活動の入力] フォームで損金活動コードフィールドに値を入力すると、少額消込理由コードフィールドの値が元帳クラスフィールドのデフォルトの値として使用されます。ただし、このフィールドの値は上書きできます。再請求のために使用される AAI 項目は、RC と再請求元帳クラスの値を組み合わせた項目 (RCxx) になります。この元帳クラスの値は F03B14 テーブルに格納されます。

再請求または少額消込の理由コードは、F03B42 テーブルに格納されています。各損金活動には損金活動コードを設定する必要があります。それぞれの損金活動コードに、個別に再請求理由コードを設定することができます。このため、同じ損金活動コードを持つ全ての損金活動が、同じ再請求理由コードを持つ場合があります。

## 無効割引の作成

無効割引を作成すると、伝票タイプ R5 (損金) の請求書の未決済金額が決済済みとなり、未転記のレコードが F03B14 テーブルに新規のバッチで作成されます。入金を転記すると、AAI 項目 RKD で指定された割引額の残高と、AAI 項目 RN で指定された損金勘定の残高が更新されます。

## クレジット メモの適用

顧客に対するクレジット メモがある場合、損金にクレジット メモ (複数可) を適用して、その損金分をクレジット メモの残高から減らすことができます。F03B14 テーブルには、損金額とクレジット メモの金額の 2 つのレコードが作成されます。これらのレコードを転記すると、指定された売掛金勘定と損金勘定の仕訳が作成されます。

## 損金の取消

問題がなかった場合、損金を取り消すことができます。たとえば、100.00 の商品納入不足のために 100.00 の損金を記録した後、金額分が納入されていることがわかった場合などに、記録した損金を取り消します。

損金を取り消すと、その分の金額が再び未決済になります。この金額は、損金の全額または一部の金額になります。誤って取消処理を行った場合は、その活動を無効にします。単独損金処理の場合は、関連する請求書がないため、取消処理はできません。転記済みの請求書を削除する場合は、その請求書を無効にします。

## 損金の無効化

誤って損金を入力した場合は、損金を無効にします。無効にすると請求書が再び未決済になり、請求書の全額に対する入金が必要になります。

## 損金処理のバッチに関する考慮事項

活動コードを損金請求書レコード (R5) に適用すると、転記が必要な F03B14 レコードが作成されます。入金バッチ (バッチ タイプ RB) で入金レコードが作成されます。他の入金バッチと同様に、損金処理プログラム (P03B40) を完全に終了させる必要があります。完全に終了させないと、バッチが使用中のままになり転記できません。

## 事前設定

該当する損金活動コードが設定されているかどうか確認します。

## 損金の解決に使用するフォーム





フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[損金活動の入力]	W03B40D	[入金処理] (G03B12)、[損金処理]  [損金の処理] フォームで活動コードを適用する損金を選択して、[選択] をクリックします。	損金に活動コードを適用します。
[クレジットメモの選択]	W03B40A	[損金活動の入力] フォームで、[フォーム] メニューの [クレジット・メモ] をクリックします。	損金に適用するクレジットメモを選択します。

## 損金への活動コードの適用

[損金活動の入力] フォームにアクセスします。

**損金処理 - 損金活動の入力** i ? ?

OK(O) 削除(D) キャンセル(L) ロー(R) フォーム(F) ツール(T)

---

損金備忘日付  ☐ 解決済み ☐ 外貨

損金管理者

損金理由コード  価格設定の問題

参照



損金金額

損金未決済金額

伝票No./タイプ/会社/支払項目

基本通貨  通貨コード  取引コード

---

**レコード 1-2** グリッドのカスタマイズ   

	損金理由	活動記述	活動金額	活動日付	元帳日付	元帳クラス	無効理由	無効理由記述
<input checked="" type="radio"/>	RV	Deduction Reversal	500.00	2005/06/16	2005/06/30			
<input type="radio"/>								

[損金活動の入力] フォーム

損金問題を解決する際に、複数の処理方法を割り当てることができます。たとえば、損金額の一部に対して再請求を作成し、残りの金額を少額消込することができます。[損金活動の入力] フォームの詳細グリッドで、各損金に適用する理由と金額を入力します。

**[損金備忘日付]**

調査が必要な損金の日付を入力します。このフィールドは任意フィールドです。このフィールドをブランクにすると、損金の元帳日付がデフォルト値になります。

**[損金管理者]**

損金を調査しなければならない損金管理者の住所録レコードを入力します。このフィールドは任意フィールドです。

**[活動金額]**

損金額を国内通貨額で入力します。この金額の通貨は、[基本通貨] フィールドに表示されます。

**[活動日付]**

損金活動を入力した日付を入力します。

**[元帳クラス]**

取引を転記する際に元帳クラスとして使用する売掛金勘定のコードを入力します。

## 損金へのクレジット メモの適用

[クレジット・メモの選択] フォームにアクセスします。

損金レコードの会社および通貨について入力された全ての顧客のクレジット メモが表示されます。損金の会社および通貨と異なる会社または通貨に対して入力されたクレジット メモを適用することはできません。

クレジット メモを損金に適用するには、次の手順に従います。

1. [クレジット・メモの選択] の [クレジット・メモ活動コード] フィールドに値を入力します。

クレジット メモ活動用に設定されたコードを選択する必要があります。

2. 詳細グリッドの損金に適用するクレジット メモを選択して、[選択] をクリックします。  
選択したクレジット メモの左側にチェックマークが表示されます。
3. [閉じる] をクリックします。  
選択したクレジット メモが [損金活動の入力] フォームに表示されます。
4. [損金活動の入力] フォームで、[損金理由]、[活動金額]、[活動日付]、[元帳日付] の各フィールドの値を必要に応じて上書きし、[OK] をクリックします。  
**[クレジット・メモ活動コード]** 未決済の損金額に割り当てる活動のコードを入力します。F03B42 テーブルにあるコードを割り当てる必要があります。

## (Rapid Start) Processing Customer Deductions

This section discusses:

- How to process customer deductions.
- Preconfigured processing options for Enter Deductions without Receipt (P03B2002).
- Preconfigured processing options for Enter Deductions with Receipt (P03B102).
- Preconfigured processing options for Review and Post Deduction Batches (P0011).
- Preconfigured processing options for Cash Receipt Posting (R09801).

## Processing Customer Deductions

This table lists the tasks for entering deductions:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data
Generate a deduction without a receipt.	Deductions Processing Enter Deduction without Receipt	P03B2002/RIS0001	Deduction Activity Codes in UDC 03B/CR <ul style="list-style-type: none"> <li>• CB is Deduction Chargeback.</li> <li>• CM is Deduction Credit Memo.</li> <li>• DS is Deduction Discount.</li> <li>• RI is Request for Information.</li> <li>• RV is Deduction Reversal.</li> <li>• WO is Deduction Write Off.</li> </ul>

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data
Generate deduction with a receipt.	Deduction Processing Enter Deduction with Receipt	P03B102/RIS0001	None.
Post the deduction batch.	Deduction Processing Review and Post Deduction Batches	P0011/RIS0009	None.
Resolve the deduction.	Deductions Processing Manage and Resolve Deductions	P03B40/No version	None.
Post the deduction resolution	Deductions Processing Review and Post Deduction Batches	P0011/RIS0009	None.

Data reports provide additional data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Enter Deductions without Receipt (P03B2002)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Customer Self-Service	blank

### Currency

Processing Option Description	Value or Status
1. "As If" Currency	blank
2. Exchange Rate Date	blank

### Versions

Processing Option Description	Value or Status
1. Standard Invoice Entry (P03B11) Version	RIS0001
2. Netting (P03B455) Version	blank
3. Pay When Paid (P03B470) Version	blank

## Preconfigured Processing Options for Enter Deductions with Receipt (P03B102)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Display

Processing Option Description	Value or Status
1. Company	1
2. Bank Account	1
3. G/L Date	1
4. Receipt Date	1
5. Payor Number	blank
6. Customer Number	blank
7. Remark	blank
8. Currency	blank
9. Exchange Rate	blank
10. Payment Instrument	blank
11. Cleared/Value Date	blank

### Defaults

Processing Option Description	Value or Status
1. Display Receipt Type	1
2. Date Type	1
3. Type Input Code	10
4. Remark	blank
5. Receipt Numbering	blank
6. Deduction Reason Code	blank
7. Override Company Number	blank
8. Default G/L Offset for Unapplied Receipts	1



**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Receipt Number	1
2. Write-Offs	blank
3. Delete/NSF Unposted Receipts	blank
4. Overpayment Edit	1
5. Duplicate Receipt Edit	1

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Apply Invoices	blank
2. Journal Entry Creation Method	1
3. Display Invoices	1
4. Negative Receipts	blank
5. Netting Program Version	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Edit Effective Date	blank
2. Alternate Currency Receipts	1

**Chargeback**

Processing Option Description	Value or Status
1. Pay Status	blank
2. Date Option	blank
3. Reason Code	blank

**Auto Write Off**

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	5

Processing Option Description	Value or Status
2. Underpayment Reason Code	MW
3. Maximum Overpayment Amount	-5
4. Overpayment Reason Code	MW

### Mnl Write Off

Processing Option Description	Value or Status
1. Maximum Underpayment Amount	25
2. Maximum Overpayment Amount	-25
3. Write-Off Reason Code	MW

### Discount

Processing Option Description	Value or Status
1. Discount Available	blank
2. Discount Applied	blank
3. Grace Period Days	0
4. Discount Reason Code	blank

### Match Priority

Processing Option Description	Value or Status
1. Invoice Match	1
Sales Order Match	2
Customer Reference Match	3
Statement Match	4
Shipment Number Match	5

## Preconfigured Processing Options for Review and Post Deduction Batches (P0011)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0009.

**Batch Type**

Processing Option Description	Value or Status
1. Batch Type	RB

**Preconfigured Processing Options for Cash Receipt Posting (R09801)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0007.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Account Format	blank
2. Print Error Messages	1

**Versions**

Processing Option Description	Value or Status
1. Detail Currency Restatement Version	blank
2. Fixed Asset Post Version	blank
3. 52 Period Post Version	blank

**Edits**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Transaction	blank

**Taxes**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Tax File	3
2. Update VAT Discounts	2
3. Update VAT Receipts and W/O	2

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Explode parent item time	blank

## Cash Basis

Processing Option Description	Value or Status
1. Units Ledger Type	blank
2. Create Cash Basis Entries Version	blank

## 損金処理の無効化

このセクションでは、損金処理の無効化の概要と以下の方法について説明します。

- 損金活動の無効化
- 損金の無効化

### 損金処理の無効化について

誤って損金を作成したり、損金活動を割り当てたりした場合に、損金処理を無効にします。いずれの場合も、無効機能を使用すると、損金の金額に対する未充当入金を作成されます。

たとえば、次の 2 つの請求書に対する入金として 650.00 の入金があったとします。

- 請求額 400.00 の請求書 123
- 請求額 300.00 の請求書 124

両方の請求書を決済済みにして、残りの請求書未決済金額 (50.00) の損金を作成します。

この損金を無効にすると、次の処理が行われます。

- R5 伝票の未決済金額をゼロにする
- 請求書 124 (300.00) を未決済に戻す
- 未充当入金 (RU) 伝票 (250.00) を作成する

400.00 が消し込まれた請求書 123 は、決済済みのままとなります。その後、この仮受金を請求書に適用するなどして、不足分を処理する必要があります。損金を無効にする前に、損金に活動を割り当てても、結果は同じになります。

**注:** 損金を取り消すための活動を割り当てる場合は、請求書が損金額 (この例では 50.00) 分だけ再び未決済となりますが、未充当入金 (RU) のレコードは作成されません。

## 損金処理を無効にするために使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[損金の処理]	W03B40C	[入金処理](G03B12)、[損金処理]	損金処理を行う損金を検索し、選択します。
[損金活動の入力]	W03B40D	[損金の処理] フォームで活動コードを適用する損金を選択して、[選択] をクリックします。	損金活動を無効にします。
[無効理由入力]	W03B40F	[損金活動の入力] フォームで、無効にする損金活動を選択して [削除] をクリックします。  削除しようとする活動が転記済みの場合、[無効理由入力] フォームが表示されます。	損金活動を無効にする理由と日付を指定します。
[無効理由入力]	W03B40F	[損金の処理] フォームで無効にする損金を選択して、[ロー] メニューの [無効] をクリックします。	損金を無効にする理由と日付を指定します。

## 損金活動の無効化

[損金活動の入力] フォームにアクセスします。

損金活動を無効にするには、次の手順に従います。

1. [損金活動の入力] で、無効にする処理を選択して [削除] をクリックします。  
削除しようとする活動が転記済みの場合、[無効理由入力] フォームが表示されます。未転記の場合は自動的に削除されます。
2. [無効理由入力] で、[無効理由コード] フィールドと [無効元帳日付] フィールドに値を入力して、[OK] をクリックします。

## 損金の無効化

[無効理由入力] フォームにアクセスします。

**[無効理由コード]**                      入金が無効にされた理由を示すコードを入力します。

**[無効元帳日付]**                      無効になった取引の転記先の会計期間を指定する日付を入力します。



## 第 16 章

### 請求書の印刷

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、以下の方法について説明します。

- 売掛金請求書の印刷
- 国際支払指示 (IPI) が添付された請求書の印刷
- (CHN) Process JinSui invoices
- (DNK, FIN, NOR, SWE) Print interest invoices for Nordic countries
- (RUS) Generate amount difference invoices

---

### 売掛金請求書の印刷

このセクションでは、請求書の印刷の概要と、以下の方法について説明します。

- 請求書の印刷プログラムの実行
- 請求書の印刷プログラム (R03B505) の処理オプションの設定
- (ARG) Set processing options for PO Invoice Print (R76A03B5)

### 請求書の印刷について

請求書入力や入金入力で作成した請求書を印刷するには、請求書の印刷 (R03B505) を実行します。このプログラムでは、標準請求書の他に、次の伝票も印刷されます。

- 再請求書 (伝票タイプ RB)
- クレジット メモ (伝票タイプ RM)
- 延滞利息金請求書 (伝票タイプ RF)

割引可能額や消込済みの税額がある場合、処理オプションの設定によってこれらの金額も請求書に印刷されます。また、入力した備考も請求書に印刷されます。

各請求書は、それぞれ別のページに印刷されます。

売掛金請求書の印刷には、次のテーブルの情報が使用されます。

- 売掛金元帳 (F03B11)
- 業種別顧客マスター (F03012)
- 住所録マスター (F0101)
- 住所録 - 人名録 (F0111)

[顧客マスターの改訂] フォームの [請求書送付先] (SITO) の値を使用して、請求書に印刷する請求先住所が決められます。業種別処理を行う場合は、請求書に入力されている会社に対応する顧客レコードから情報が取得されます。顧客レコードがその会社用に設定されていない場合は、会社 00000 の情報が使用されます。

住所録レコードの人名録の項目がタイプ コード B (請求) 用に設定されている場合は、その名前が請求先住所の下に印刷されますが、住所は [請求書送付先] フィールドの値から使用されます。

請求書を印刷する必要がない顧客の場合、[請求書送付先] フィールドに「N」を入力します。

## (ARG) Understanding Argentinean Invoices

You can print one or more copies of previously generated invoices in national as well as foreign currency.

Printing of the copies is in accordance with the legal requirements that are stipulated in RG1415. The company, customer, PeopleSoft internal number, legal number, voucher letter, and tax information must be printed.

After invoices have been printed, you cannot modify them.

### Considerations for Printing Taxes on Invoices

When taxable amounts are included on the invoice, the Print Tax Amounts processing option on the Invoice Print program (R03B505) is not taken into consideration.

If this processing option is blank and was taken into consideration, the system would incorrectly calculate an invoice of 1000.00 with 210.00 tax as follows:

- The invoice amount is 1210.00.
- The tax amount is 210.00.
- Adding the invoice and tax amounts produces a total of 1420.00

With the processing option disregarded, the system correctly calculates an invoice of 1000.00 with 210.00 tax as follows, regardless of the processing option setup:

- The invoice amount is 1000.00.
- The tax amount is 210.00.
- Adding the invoice and tax amounts produces a total of 1210.00.

## (CHE) Understanding ESR Payment Slips

Einzahlungsschein (ESR) are pre-formatted payment slips that accompany the invoices that you send to customers. ESR payment slips contain a unique reference number that the Postfinance Bank uses when customers make electronic payments through that bank. Postfinance uses the reference number to refer to the payment transaction when it sends information to the payor and payee about the transfer of funds to satisfy the payment requirements. When Postfinance returns payment information to you, you use the ESR reference number to match receipts to invoices.

The ESR reference number consists of the document number (DOC), document company (KCO), and the document type (DCT) of the invoice, as well as the bank transit number (TNST) and a check digit that the system creates using an algorithm. The system concatenates these values to form one string. The document type is written in its ASCII code representation because the ESR reference number must be numerical characters.



The system formats the ESR reference number only when the company customizes either the Print Invoices program (R42565) or the Invoice Print program (R03B505) to call the Maintain ESR Reference Number business function (B03B0220), and you use the customized program to print invoices with attached ESR payment slips. The Maintain ESR Reference Number business function creates the ESR reference number.

When Postfinance sends you electronic media that confirms the payments that have been credited to you, you use the Text File Processor program (P007101) to process the electronic media. The Text File Processor program calls the Upload ESR Payments program (R03B803) to unformat the ESR reference number. You can use the Upload ESR Payments program to unformat the ESR reference number only if the Maintain ESR Reference Number business function was used to format the ESR reference line on the printed ESR payment slips.

When you run the Upload ESR Payments program, the system unformats the ESR reference number in the Text Processor Header table (F007101) and the Text Processor Detail Table (F007111), and parses it into the Document Number, Document Company, and Document Type fields in the Electronic Receipts Input table (F03B13Z1).

The ESR payment slip process includes these events:

1. You run the customized print invoices program to print invoices with ESR payment slips.
2. You send the invoices with ESR payment slips to customers using the postal service.
3. Customers forward the ESR payment slips to Postfinance Bank.
4. Postfinance withdraws the appropriate amount from the customer's account and deposits it into the company's account.
5. Postfinance creates electronic media that contains the payment information and sends it to you.
6. You upload the ESR payment information from the electronic media into the F007101 and F007111 tables by using the Text File Processor program.
7. You run the Upload ESR Payments program from the Text File Processor program to upload payment information from the F007101 and F007111 tables to the F03B13Z1 table.
8. You review and revise as necessary the information in the F03B13Z1 table by using the Work With Electronic Receipts Input program (P03B121).
9. You use the Known Invoice Match with Amount program (R03B50D) or the Known Invoice Match Without Amount program (R03B50E) to process accounts receivables. You must use one of these programs because the outbound ESR process creates one payment slip per invoice and you must use a program that applies one receipt to one invoice.

## 請求書の印刷プログラムの実行

[計算書/延滞通知処理] メニュー (G03B22) の [請求書の印刷] をクリックします。

## 請求書の印刷 (R03B505) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 印刷

使用する日付と、税額を請求書に印刷するかどうかを指定します。

1. **請求書印刷日付**                      請求書に印刷する日付を指定します。空白にすると、システム日付が使用されます。

**2. 税額の印刷**

請求書に税額を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 印刷しない。

1: 印刷する。

**通貨**

請求書に通貨情報を印刷するかどうかを指定します。

**1. 通貨の印刷**

国内通貨と外貨のどちらで請求書に印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 通貨コードなしで国内通貨で印刷する。

1: 通貨コードと共に外貨で印刷する。

**添付**

請求書に関連する汎用テキストを印刷するかどうかを指定します。

**1. 添付の印刷**

請求書レコードの汎用テキスト(添付テキスト)を請求書に印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 印刷しない。

1: 印刷する。

**Setting Processing Options for PO Invoice Print (R76A03B5)**

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

**General****1. Invoice Copies**

Specify the number of invoice copies that the system prints.

**2. Allow Reprint**

Specify whether the system allows reprints of invoices. Values are:

Blank: Do not allow reprint of invoices.

1: Allow reprint of invoices.

**3. Detail Lines Per Page**

Specify the maximum number of detail lines per page that the system prints on invoices.

**4. RG100 Regulation**  
(General Resolution 100 regulation)

Specify whether invoices that the system prints correspond to RG100 regulation.

**Receipt Invoice****4. Print Message 1**

Specify the first global message that the system prints in each receipt invoice footer.

**5. Print Message 2**

Specify the second global message that the system prints in each receipt invoice footer.

## Percepcion

- 1. Print Report (Y/N)** Specify whether the system prints the Perception Report —ARG —03B (R76A8050). Values are:  
Y: Print the report.  
N: Do not print the report.
- 2. Version of the Perception Report** Specify the version of the Perception Report —ARG —03B (R76A8050) that the system uses.  
If you leave this processing option blank, the system uses version ZJDE0001.

## Credit Invoice

- Print Credit Invoices** Specify whether the system prints credit invoices. Values are:  
Blank: Do not print credit invoices.  
1: Print credit invoices.
- Number of Copies** Specify the number of invoice copies that the system prints.
- Issue Place** Specify the location where the invoice is printed.

---

## 国際支払指示 (IPI) が添付された請求書の印刷

このセクションでは、国際支払指示 (IPI) の概要と、以下の方法について説明します。

- IPI 付き請求書の印刷プログラムの実行
- IPI 付き請求書の印刷 (R03B5053) の処理オプションの設定

### 国際支払指示について

国境をまたいだ請求書の決済には国際支払指示 (IPI: International Payment Instruction) を使用します。売掛管理から請求書を作成する際は、国際支払指示 (IPI) のフォームを添付して請求書を印刷できます。国際支払指示 (IPI) のフォームを添付して請求書を印刷するには、IPI のフォームを含む、あらかじめフォーマットされている請求書を使用する必要があります。EnterpriseOne のテーブルのデータが処理後フォーマットされ、IPI フォームの該当する位置に情報が印刷されます。

IPI は英語で印刷する必要がありますが、それ以外の言語も設定することができます。IPI フォームは、第 2 言語で印刷することが義務付けられている国もありますが、任意の国もあります。IPI の要件は、銀行業務標準欧州委員会 (ECBS: European Committee for Banking Standards) によって作成されています。第 2 言語を指定するには、IPI - 言語と国ユーザー定義コード テーブル (00/IL) の値を選択します。

IPI フォームは、次の 4 つのセクションから成り立っています。

- 発注した顧客  
発注した顧客セクションには、顧客の名前、住所、および口座番号が記載されます。IPI が添付されている請求書に関連付けられている名前、住所、および口座番号 (CBNK) が使用されます。顧客は IPI を銀行に送付し、銀行は指定された金額を口座に入金します。
- 受取人

受取人セクションには会社名と、処理オプションで指定する銀行名と口座番号が記載されます。

- 支払金額

支払金額セクションには取引の金額と通貨の他に、取引に関連する銀行手数料の支払担当者を示すコードが記載されます。銀行手数料のコードは処理オプションで指定します。取引の金額と通貨が使用されます。

- 署名

署名は印刷されません。

## データ選択

IPI 付き請求書の印刷プログラム (R03B5053) のデータ選択を設定する際は、クレジット メモとその他のマイナスの請求書を除外します。これらの請求書を除外するには、“未決済金額 (F03B11) (AAP) [BC]” を “Zero”、“より大きい(>)” と指定します。また、支払手段ユーザー定義コード テーブル (00/PY) で、IPI が添付された請求書に使用するコードを指定し、データ選択で支払タイプを選択します。

---

注: IPI 付き請求書の印刷プログラムでは、ワーク センターにエラー メッセージは書き込まれませんが、UBE ログ記録を使用している場合は、UBE ログに記録されたエラー メッセージを見ることができます。IPI 付き請求書の印刷プログラムでエラーが検出された場合、ブランクの請求書が印刷されます。

---

## 事前設定

IPI - 言語と国ユーザー定義コード (00/IL) を設定します。

## IPI 付き請求書の印刷プログラムの実行

[計算書/延滞通知処理] メニュー (G03B22) の [Invoice Print with International Payment Instruction] (IPI 付き請求書の印刷) をクリックします。

## IPI 付き請求書の印刷 (R03B5053) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

- |               |  |
|---------------|--|
| 1. 請求書印刷日付    | 請求書に印刷される日付を指定します。ブランクにすると、現在の日付が使用されます。   |
| 2. 顧客銀行口座タイプ  | 顧客の銀行口座のタイプを指定します。指定した銀行口座タイプによって顧客の銀行口座番号が取り込まれます。銀行口座タイプには、銀行タイプユーザー定義コード テーブル (00/BT) に設定されている値を入力する必要があります。ブランクにすると、銀行タイプ D が使用されます。   |
| 3. 顧客住所フォーマット | IPI - 住所行の表示順序 (ユーザー定義コード 00/IA) を指定します。このコードで、IPI の顧客の第 2 住所行に記載する郵便番号、市、国の値の組み合わせを指定します。IPI - 住所行の表示順序ユーザー定義コード テーブル (00/IA) に設定されているコードを入力する必要があります。ブランクにすると、00 (郵便番号、市) が使用されます。 |
| 4. 代理受取人銀行口座  | IPI の代理受取人銀行口座を指定します。この口座番号を使用して、銀行/支店マスター (F0030) から IBAN (International Bank Account Number: 国際銀行口座番号) や SWIFT 銀行コードなどの銀行口座関連情報が検索されます。ブランクにすると、AAI 項目 RB に設定された口座が使用されます。         |

**5. 支払先銀行口座フォーマット**

IPI の受取人の銀行口座の形式を指定します。通常、銀行/支店マスター (F0030) の IBAN が使用されます。IBAN の代わりに、銀行/支店マスターの国内銀行口座番号 (CBNK) を使用することもできます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:IBAN を使用する。

1: CBNK を使用する。

**6. 支払先銀行名**

IPI の受取人の銀行名を指定します。IPI を使用すると、次のいずれかの形式で銀行名を表すことができます。銀行/支店マスター (F0030) の SWFT に保存されている SWIFT 銀行コード (BIC) または銀行名を使用することができます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:BIC コードを使用する。

1: 銀行名を使用する。

**7. 支払明細**

IPI の支払明細セクションに表示されるデータを指定します。IPI - 支払明細ユーザー定義コード テーブル (00/IP) に設定されている値を選択します。この処理オプションをブランクにすると、00 が使用されます。有効値は以下のとおりです。

00: 非構造化 - DOC。売掛金元帳テーブル (F03B11) の DOC フィールドの値が IPI の支払明細セクションに書き込まれます。

01: 非構造化 - DOC、DCT、CO。F03B11 テーブルの DOC、DCT、CO の各フィールドの値が連結され、連結された文字列が IPI の支払明細セクションに書き込まれます。

02: 非構造化 - DOC、AN8。F03B11 テーブルの DOC フィールドと AN8 フィールドの値が連結され、連結された文字列が IPI の支払明細セクションに書き込まれます。

**8. 支払人**

国際支払指示 (IPI) に関連する銀行手数料の支払元を指定します。IPI - 支払人ユーザー定義コード テーブル (00/IC) に設定されている値を入力します。ブランクにすると、0 (発注した顧客) が使用されます。有効値は以下のとおりです。

0: 発注した顧客

1: 代理受取人

2: 共有/両方

**9. IPI フォーム タイプ**

使用するフォーマット済みフォームのタイプを指定します。IPI - フォームの種類ユーザー定義コード テーブル (00/IF) に設定されている値を入力します。ブランクにすると、03 (黒 - 非構造化) が使用されます。有効値は以下のとおりです。

00: 不透明色 - 構造化

01: 不透明色 - 非構造化

02: 黒 - 構造化

03: 黒 - 非構造化

04: ドロップアウト - 構造化

05: ドロップアウト - 非構造化

## 印刷

1. **税額**

請求書に税額を記載するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:記載しない。  
1: 記載する。
2. **添付**

請求書に関連する汎用テキストを添付するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:添付しない。  
1: 添付する。
3. **顧客銀行口座番号**

請求書の IPI 部分に顧客の銀行口座番号を記載するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:記載しない。  
1: 記載する。
4. **顧客名と住所**

請求書の IPI 部分に顧客の名前と住所を記載するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:記載しない。  
1: 記載する。
5. **支払明細**

請求書の国際支払指示 (IPI) 部分の支払明細セクションにデータを記載するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:記載しない。  
1: 記載する。デフォルト タブの支払明細処理オプションで指定したデータが、支払明細セクションに印刷されます。
6. **支払人の印刷**

請求書の国際支払指示 (IPI) 部分の支払人の印刷セクションにデータを記載するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:記載しない。  
1: 記載する。
7. **IPI 通貨と金額**

請求書の国際支払指示 (IPI) 部分に通貨と金額を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:印刷しない。  
1: 印刷する。

## 処理

1. **IPI 金額の最高額**

IPI として請求できる最高額を指定します。IPI の金額が指定した金額より多い場合、IPI は作成されません。このフィールドをブランクにすると、999,999.99 が最高額となります。

---

## (CHN) Processing JinSui Invoices

This section provides an overview of invoices for JinSui and discusses how to:

- Run the Print Invoices from A/R program.
- Set processing options for Create Chinese GUI interface file from A/R (R75C03B1).
- Run the Cancel Invoice Print program.
- Set processing options for Cancel Invoice Print (R75C09Z1).
- Run the Download JinSui Return File into JDE program.

### Understanding Invoices for JinSui

In China, special VAT (value added tax) invoices are prepared by using a Government Uniform Invoice (GUI). The GUI format includes a legal invoice number that is supplied and required by the government. The JinSui Invoice Data Interface provides a preprinted format and handles all of the associated printing issues. The PeopleSoft EnterpriseOne solution creates a predefined JinSui interface format. The JinSui system then reads and writes the data in the GUI format to preprinted and prenumbered invoices.

Use the Print Invoice from A/R program (R03B505) to print invoices for submission to JinSui. When you run Print Invoice from A/R, the system also runs the GUI Interface file from A/R program (R75C03B1), which populates the Text Processor Header (F007101) and Text Processor Detail (F007111) tables. You must use the Text File Processor program to copy information from these tables to a file that you can submit to JinSui.

The Print Invoice from A/R program also produces a paper report that you can use to review the invoices before you submit them to JinSui.

---

**注:** You can print invoices for JinSui from Accounts Receivable, from Sales Order, or both.

---

After you submit invoices to the JinSui system, the JinSui system generates a return file that contains the GUI numbers that are assigned to the invoices. Use the Download JinSui Return File into JDE program (R75C01Z2) to load the return file into the PeopleSoft EnterpriseOne system. The Download JinSui Return File into JDE program also produces a report that contains the JinSui information, including the GUI number.

The GUI number links the system-assigned invoice number and JinSui. You must know the GUI number to inquire on it. If you change the GUI information, use the Invoice Inquire on GUI Number program (P75C001) to update the GUI number and GUI status.

### Prerequisites

Before you complete the tasks in this section:

- Before you can run either the Invoice Print program (R03B505) or the Print Invoices program (R42565), you must set up versions of these programs that match the version of the GUI Interface file from A/R program (R75C03B1).
- Set up the next numbers for system 75.

## Forms Used to Process JinSui Invoices

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work With GUI Inquiry	W75C001E	A/R Sales – China (G75C03), Invoice Inquire on GUI Number	Locate invoices by GUI number.
Global Update GUI	W75C001B	On the Work With GUI Inquiry form, select an invoice and select Global_UpdateGUI from the Row menu.	Update the GUI number for an invoice.
Global Status Update	W75C001C	On the Work With GUI Inquiry form, select an invoice and then select Global_UpdateStatus from the Row menu.	Update the GUI status for an invoice.

## Running the Print Invoices from A/R Program

From the A/R Sales – China menu (G75C03), select Print Invoice from A/R.

## Setting Processing Options for Create Chinese GUI interface file from A/R (R75C03B1)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Print

These processing options customize various printing options for the JinSui interface file or the standard invoice.

- 1. Printing Invoice Type** Specify whether to generate the JinSui interface file with the PeopleSoft EnterpriseOne standard invoice or only the PeopleSoft EnterpriseOne standard invoice. Values are:  
  
 Blank: The system generates the JinSui interface file and the PeopleSoft EnterpriseOne standard invoice. Blank is the default value.  
  
 1: The system generates only the PeopleSoft EnterpriseOne standard invoice.
- 2. Invoice Remarks** Specify an invoice remark that will appear in the JinSui header record.
- 3. Line Item Unit of Measure** Enter the quantity for line items on the JinSui detail record. The value you enter will apply to each line item on each invoice. If you leave this processing option blank, the system uses 1.
- 4. Line Item Quantity** Enter the quantity for line items on the JinSui detail record. The value you enter will apply to each line item on each invoice. If you leave this processing option blank, the system uses 1.
- 5. Line Item Category Value (Required)** Enter the category value for line items on the JinSui detail record. The value you enter applies to each line item on each invoice. This is a required value. Neither a blank value nor a value containing a blank is acceptable.



- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| <b>6. Item Description (Required)</b> | Specify the item description for the JinSui detail record for any blank values in the Remark field. You use this processing option if you do not complete the Remark processing option. This is a required value. Neither a blank value nor a value containing a blank is acceptable.           |
| <b>7. Item Specification</b>          | Enter the item specification for line items on the JinSui detail record. The value you enter will apply to each line item on each invoice. If you leave this processing option blank, the system uses the Payment Item field (SFX) in the Customer Ledger table (F03B11) for the default value. |
| <b>8. Checked By</b>                  | Specify the person who does the verification upon the invoices. This is an optional field. If you leave this field blank, the Checked By field of the JinSui Header record will be blank.   |
| <b>9. Received By</b>                 | Specify the person who actually receives payments in the accounting department. This is an optional field. If you leave this field blank, the Received By field of the JinSui Header record will be blank.  |

## Running the Cancel Invoice Print Program

If you have already sent the invoice file to JinSui and you discover errors, you must run the Cancel Invoice Print program (R75C09Z1) so that the tax authority will cancel the GUI invoice numbers that correspond to the invoices which have errors.

From the A/R Sales – China menu (G75C03), select Cancel Invoice Print.

## Setting Processing Options for Cancel Invoice Print (R75C09Z1)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Processing

This processing option indicates whether the system runs the Cancel Invoice Print program (R75C09Z1) in proof mode or final mode.

- |                        |   |
|------------------------|---|
| <b>1. Running Mode</b> | Specify the mode in which the program is run. Values are:<br><br>Blank: Proof mode. The system creates only the report (R75C04R)<br><br>1: Final mode. The system creates the report (R75C04R) and also writes records to the China – Transmitted Vouchers to the JinSui table (F0018CN). |
|------------------------|---|

## Running the Download JinSui Return File into JDE Program

From the A/R Sales – China menu (G75C03), select Download JinSui Return File into JDE.

---

## (DNK, FIN, NOR, SWE) Printing Interest Invoices for Nordic Countries

This section provides an overview of interest invoices and discusses how to:

- Run the Invoice Print Sweden – 03B program.
- Set processing options for Invoice Print Sweden – 03B (R74W0030).

## Understanding Interest Invoices

The base system uses the Invoice Print program (R03B505) to print delinquency fees. This program creates summarized information at the customer level.

To support business practice in Nordic countries, use the Invoice Print Sweden – 03B program (R74W0030) to print detailed information about the late paid invoices that have caused the delinquency fee.

You run Invoice Print Sweden as a complement to the Late Payment Delinquency Fees program (R03B221). The system launches the Late Payment Delinquency Fees program from the Credit Analysis Refresh program (R03B525) if you activate late payment delinquency fees in the processing options on the Fees tab for the Credit Analysis Refresh program.

---

**注:** If you use the Late Payment Delinquency Fees program to calculate delinquency fees for both open and paid amounts, the system does not complete all of the columns in the interest invoice.

---

## Running the Invoice Print Sweden – 03B Program

Set up a menu selection for the Invoice Print Sweden – 03B program (R74W0030).

## Setting Processing Options for Invoice Print Sweden – 03B (R74W0030)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Print

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| <b>1. Invoice Print Date</b> | Specify the date on which the invoice is printed. If you leave this option blank, the system uses today's date.  |
| <b>2. Tax Amount</b>         | Specify whether the system prints tax amounts on invoices. Values are:<br>Blank: Do not print tax amounts.<br>1: Print tax amounts.  |
| <b>3. Currency</b>           | Specify whether the system prints invoices with currency. Values are:<br>Blank: Do not print invoices with currency.<br>1: Print invoices with currency.   |
| <b>4. Attachments</b>        | Specify whether the system prints attachments associated with invoices. Values are:<br>Blank: Do not print attachments associated with invoices.<br>1: Print attachments associated with invoices. |

---

## (RUS) Generating Amount Difference Invoices

This section provides an overview of amount difference invoices and discusses how to:

- Print amount difference invoices.
- Set processing options for Generate Amount Differences Invoice (R74R3010).

## Understanding Amount Difference Invoices

You enter amount difference invoices when there is a difference in the exchange rate on the date that you enter an invoice and the date on which you pay the invoice. You run the Amount Difference Generation (R74R3010) program to generate invoices to account for the gain or loss. When you post the new invoice, the system writes the data to the F74R0018 table so that the data can be reported in the Sales Book or the Purchase Register.

When you run the Amount Differences Generation program, the system generates invoices in the domestic currency, and:

- Marks the invoices as paid.
- Summarizes the lines by original document and tax area.
- Shows the amount difference as either the gross amount or the taxable amount, depending on the processing options.
- Generates entries to the F0911 table.

## Printing the Amount Difference Invoice

Select Accounts Receivable (G74R03B), Amount Difference Generation.

## Setting Processing Options for Amount Difference Generation (R74R3010)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Default

These processing options specify the mode in which the program is run as well as how the amount difference is used.

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>1. Mode</b>        | Enter 1 to process invoices in final mode. When you process in final mode, the system updates the F74R3B14 table. Leave this option blank to process invoices in proof mode.   |
| <b>2. Amount Type</b> | Enter 1 to use the amount difference as the gross amount on the invoice. Leave this processing option blank to use the amount difference as the taxable amount on the invoice. |

### Invoice

These processing options specify information that the system assigns to new invoices.

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| <b>Tax Rate/Area</b>        | Specify the tax rate/area that the system uses for the new invoice. The value that you enter must exist in the F4008 table.  |
| <b>Tax Explanation Code</b> | Specify the tax explanation code that the system uses for the new invoice. The value that you enter must exist in the Tax Explanation Codes (00/EX) UDC table.   |
| <b>Tax Area</b>             | Enter 1 to use the tax rate/area from the original invoice on the new invoice. Enter 2 to use the tax rate/area from the F03012 table on the new invoice. Leave this processing option blank to use the tax rate/area that you entered in the Tax Rate/Area processing option. |

<b>Name — Remark</b>	Enter a remark that the system prints on the invoice.
<b>Payment Terms Code</b>	Specify the payment terms that the system uses for the invoice. The value that you enter must exist in the F0014 table.
<b>Payment Instrument</b>	Specify the payment instrument that the system uses for the invoice. The value that you enter must exist in the Payment Instrument (00/PY) UDC table.
<b>Payment Term/Instrument</b>	Enter 1 to use the payment term and payment instrument from the original invoice for the new invoice. Enter 2 to use the payment terms and payment instrument from the F03012 table for the new invoice. Leave this processing option blank to use the payment term entered in the Payment Terms Code processing option and the payment instrument entered in the Payment Instrument processing option.
<b>Version for P03B0011</b>	Specify the version of the Invoice Entry MBF Processing Options program (P03B0011) that the system uses when generating amount difference invoices. If you leave this processing option blank, the system uses version ZJDE0001.

## G/L

These processing options specify how the system processes records.

<b>1. G/L Name — Alpha Extension</b>	Enter a remark that the system saves in the F0911 table.
<b>2. Version for P0900049</b>	Specify the version of the Journal Entry MBF Processing Options program (P0900049) that the system uses when generating amount difference invoices. If you leave this processing option blank, the system uses version ZJDE0001.

## Receipt

This processing option specifies the remark that the system prints on receipts.

<b>1. Receipt Name – Remark</b>	Enter a remark that prints on the receipt.
---------------------------------	--

## 第 17 章

# 計算書の処理

この章では、計算書の処理の概要と、以下の方法について説明します。

- 計算書の作成
- 計算書の利用
- (JPN) 鑑請求書の利用
- 計算書/延滞通知の除去

---

## 計算書の処理について

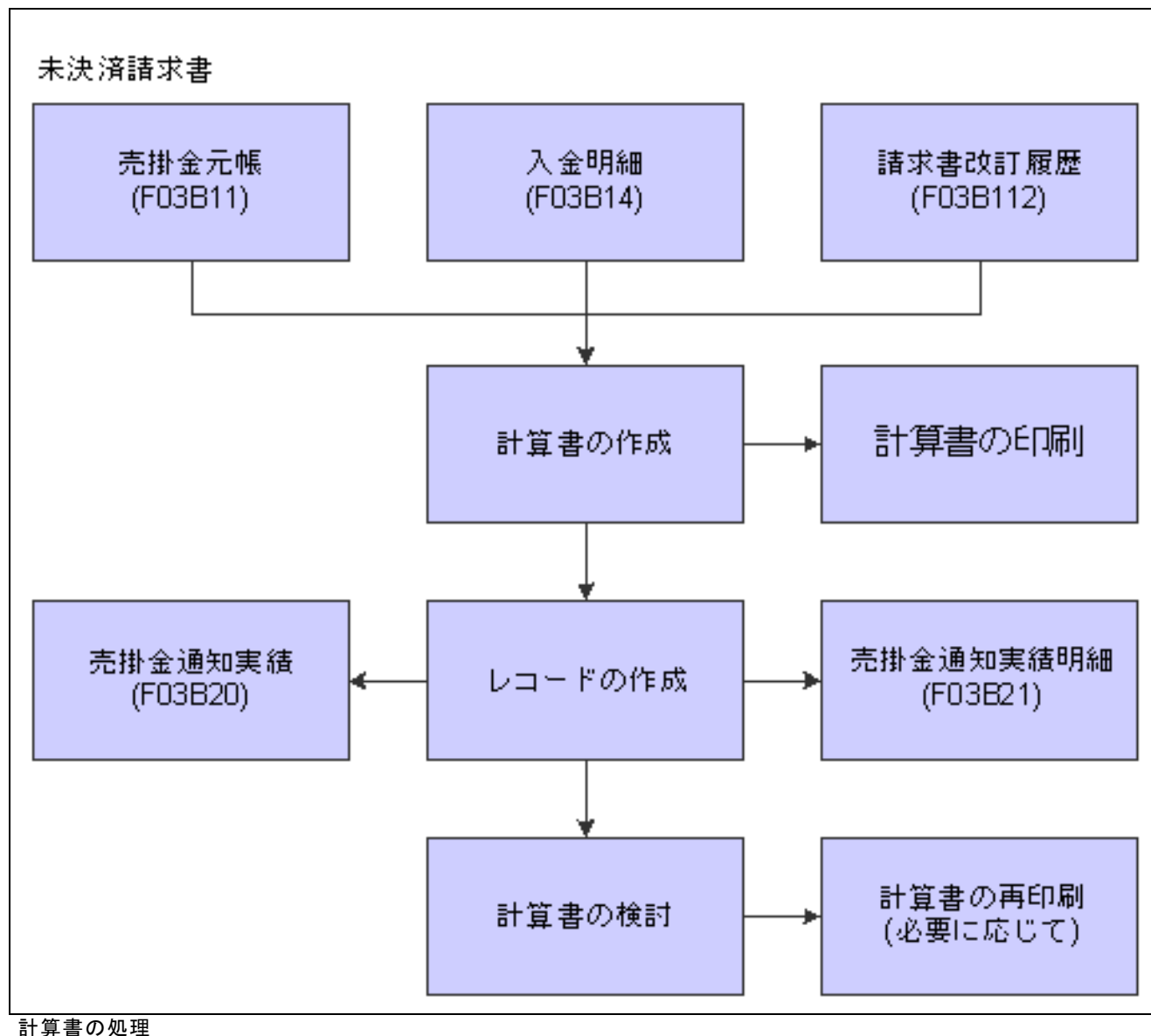
顧客に計算書を送付して、取引内容と支払方法を知らせます。計算書には未決済の請求書とその期日の他に、その期間内に決済された請求書情報が記載されます。計算書は、決済されるまで請求書情報が個別に記載される明細形式で作成することも、集計形式で作成することもできます。集計形式の場合、未決済の請求書は、クレジットカードの計算書のように、繰越残高として 1 つの金額に集計されます。

計算書を作成すると、計算書に出力される請求書レコードの計算書番号と計算書日付が更新されます。また、次のテーブルが更新されます。

- 売掛金通知実績 (F03B20) – このテーブルには計算書に関する情報が保存されます。
- 売掛金通知実績明細 (F03B21) – このテーブルには計算書に表示される請求書に関する情報が保存されます。

計算書に関する情報はシステムに保存されるため、過去に作成した計算書をオンラインで照会して顧客からの問い合わせに対応したり、紛失した計算書をもう一度作成したりすることができます。また、最後に作成した計算書を再設定して、顧客からの直前の入金を反映したり、データ選択を変更したりすることができます。これらの情報は、削除されるまで計算書テーブルに保存されます。

次の図は、計算書がどのように処理されるかを示しています。



## 計算書の作成

このセクションでは、計算書の作成の概要と以下の方法について説明します。

- 計算書データの再作成プログラムの実行
- 計算書データの再作成プログラム (R03B500X) の処理オプションの設定
- 計算書の印刷プログラム (R03B5001) の処理オプションの設定

### 計算書の作成について

計算書を作成すると、F03B20 テーブルおよび F03B21 テーブルにレコードが作成されるだけでなく、次のテーブルのフィールドも更新されます。

テーブル	更新されるフィールド
売掛金元帳 (F03B11)	計算書番号 (CTL) 計算書日付 (SMTJ)
請求書改訂履歴 (F03B112)	計算書印刷フラグ (STPF)
入金明細 (F03B14)	計算書番号 (CTL) 計算書日付 (SMTJ)

組織の要件に合わせて計算書をカスタマイズするには、処理オプションを使用します。たとえば、計算書の明細を印刷するプログラムとそのバージョンを指定することができます。これにより、年齢調べ情報と勘定科目集計情報のどちらを印刷するか、請求書の支払項目は個別に印刷するか請求書ごとに集計して印刷するかを指定したり、計算書に印刷する日付を指定したりすることができます。

ユーザー定義コード 03B/ST に設定されている以下の印刷プログラムは、計算書の作成に使用することができます。

- R03B5001 - 計算書の印刷  
標準の計算書印刷プログラムです。
- R03B5001JP - 鑑請求書の印刷  
日本向けにローカライズされた計算書フォーマットです。
- R03B5002 - イタリア用計算書の印刷  
イタリア向けにローカライズされた計算書フォーマットです。
- R03B5003 - クレジット カード計算書の印刷  
クレジットカード フォーマットで計算書を印刷するのに使用するプログラムです。新しい請求書だけが印刷されます。過去に印刷された請求書は、繰越残高に集計されます。
- R03B506 - 計算書の印刷 (手形あり)  
手形情報を計算書に出力する場合に使用する計算書印刷プログラムです。

カスタム印刷プログラムを作成して使用することもできます。

計算書に印刷する請求書を制限したり、印刷する請求書の順番を変更したりする場合は、計算書印刷プログラムのデータ選択およびデータ順序設定を使用します。たとえば、決済済みの請求書を計算書に出力しないようにすることができます。

**注:** 決済済みの請求書を計算書から除外するには、計算書印刷プログラムのバージョン プロンプトのフォームで、次のようにデータ選択を指定します。

未決済金額がゼロ (Zero) と同等ではない

このように設定すると、マイナスの金額を含む未決済の請求書のみが印刷され、決済済みの請求書は印刷されなくなります。

計算書データの再作成プログラム (R03B500X) のデータ選択では、計算書に印刷する請求書ではなく、作成する計算書を制御します。R03B500X のデータ順序設定は変更しないようにしてください。

## 計算書の作成の技術的考慮事項

計算書の作成に関連するプログラムは、次のとおりです。

プログラム	内容
R03B500X	F03B20、F03B21、F03B11、F03B112、および F03B14 の各テーブルを更新します。
R03B5005	処理オプションで指定した印刷プログラムの実行で使用される印刷ドライバです。このプログラムによって更新されるテーブルはありません。
R03B5001、R03B5002、R03B5003、R03B5001JP、R03B506、R03B5001TW	計算書を作成する印刷プログラムです。使用する印刷プログラムを選択できます。これらのプログラムの一部は、各国固有の要件を満たしています。

## 請求書の集計

計算書データの再作成プログラム (R03B500X) と計算書の印刷プログラム (R03B5001) には、請求書を集計する処理オプションがあります。

計算書データの再作成プログラムの処理オプションでは、各請求書レコードの他に、請求書の集計レコードを F03B20 テーブルに作成するかどうかを指定します。この処理オプションは、計算書の印刷プログラムの対応するオプションとは独立して機能します。

計算書の印刷プログラムの処理オプションでは、計算書に請求書の支払項目を個別に印刷するか、全ての支払項目を集計して 1 つの請求書にして印刷するかを指定します。この処理オプションは、計算書データの再作成プログラムの対応する処理オプションに影響されます。また、集計請求書を印刷するには、集計請求書レコードを作成するように指定する必要があります。

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、以下のタスクを実行しておく必要があります。

- [売掛管理固定情報の処理] フォームおよび [バッチ顧客マスターの改訂] フォーム ([タブを選択] で [回収] を選択) で、計算書の印刷オプションが設定されていることを確認します。
- 請求書、入金、手形を全て転記します。  
計算書処理では、転記済みのレコードのみが処理対象になります。
- 住所録からの売掛金元帳の更新プログラム (R03B802) を実行して、請求書の顧客名称や親番号の変更が適切に計算書に反映されるようにします。

## 計算書データの再作成プログラムの実行

[計算書/延滞通知処理] メニュー (G03B22) の [計算書データの再作成] をクリックします。

## 計算書データの再作成 (R03B500X) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 集計

全ての会社のレコードを含む計算書を作成するか、会社ごとに個別の計算書を作成するかを指定します。



## 1. 会社

送付先住所の特定に使用する会社を入力します。請求書でその会社が指定されているかどうかにかかわらず、ここで指定した会社の顧客ごとに計算書が作成されます。会社固定情報の年齢調べ設定を使用するように指定した場合、送付先住所処理オプションおよび年齢調べ処理オプションの設定に基づいて、指定した会社番号から送付先住所が特定されます。

この処理オプションをブランクにすると、顧客ごとに 1 件の計算書が会社別に作成されます。たとえば、会社 00001、00020、00050 の顧客に対する請求書を入力した場合、3 件（会社ごとに 1 件）の計算書が作成されます。

## 年齢調べ

計算書の経過日数の計算方法を指定します。

### 1. 会社固定情報

売掛管理固定情報から年齢調べの設定と計算書日付を取得するかどうかを指定します。この処理オプションをブランクにすると、計算書日付、日付タイプ、年齢調べカテゴリの各処理オプションを使って年齢調べが行われます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 処理オプション 2 ~ 10 が使用されます。

1: 売掛管理固定情報が使用されます。

### 2. 計算書日付

未決済の請求書を割り当てる年齢調べカテゴリの決定に使用する日付を指定します。入力した日付と請求書の日付（日付タイプ処理オプションで指定した日付）を比較して、請求書の経過期間が計算されます。この日付が計算書の計算書日付として出力されます。

この処理オプションをブランクにすると、未決済請求書の年齢調べにはシステム日付が使用されます。

### 3. 日付タイプ

年齢調べカテゴリの決定に使用する請求書の日付を指定します。ここで指定した日付と計算書日付処理オプションの日付を比較して、請求書の経過期間の日数が計算されます。有効値は以下のとおりです。

D: 請求書の支払期日が使用されます。

I: 請求書日付が使用されます。

G: 元帳日付が使用されます。

S: 計算書日付が使用されます。

### 4. 年齢調べカテゴリ

請求書の割り当てに使用する年齢調べカテゴリ指定します。計算書日付処理オプションで指定した日付と日付タイプ処理オプションで指定した値によって、各請求書の経過期間が計算され、ここで指定した年齢調べカテゴリに割り当てられます。有効値は以下のとおりです。

1: 経過日数。処理オプションの年齢調べカテゴリ 1 から年齢調べカテゴリ 6 で指定した年齢調べカテゴリに請求書が割り当てられます。年齢調べカテゴリには、自由に日数を設定することができます。

2: 会計期間。会社レコードに割り当てられた期間パターンによって定義されている会計期間が、年齢調べカテゴリとして使用されます。

3: カレンダー。カレンダーの各月が年齢調べカテゴリとして使用されます。

この処理オプションをブランクにすると、デフォルト値の 1（経過日数）が使用されます。

5. 年齢調べカテゴリ 1 ~  
10. 年齢調べカテゴリ 6

これらの処理オプションを使用して、年齢調べカテゴリの間隔を指定します。

11. マイナス金額

年齢調べの設定に従ってクレジット メモの年齢調べを行うか、マイナス金額を年齢調べの現行カラムに適用して計算書に印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: マイナス金額の年齢調べを行います。

1: マイナス金額を年齢調べの現行残高に適用します。

12. 将来金額を除外

将来の請求金額が計算書に印刷されないようにするかどうかを指定します。請求書の金額が将来のものかどうかは、売掛管理固定情報または処理オプションの年齢調べの設定によって判断されます。たとえば、支払期日に基づいて請求書の年齢調べを行い、2005 年 6 月 30 日付けの計算書を作成するとします。この場合、支払期日が 2005 年 6 月 30 日より後の請求書は、この計算書には印刷されません。

13. 多通貨

国内通貨と外貨のどちらで計算書の作成および印刷を行うかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 国内通貨。国内通貨建てか外貨建てかにかかわらず、請求書と入金は全て送金先会社の国内通貨で印刷されます。

1: 外貨。外貨建ての請求書は取引通貨、国内通貨建ての請求書は国内通貨で印刷されます。1 つの計算書に複数の合計と年齢調べデータが出力される場合があります。

14. 手形の印刷

計算書番号の代わりに手形番号を割り当てるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 計算書番号が割り当てられます。

1: 手形番号が割り当てられます。

## 印刷

送付先住所を印刷する方法、使用する印刷プログラムのバージョン、計算書に印刷するテキストなどを指定します。

1. 送付先住所

計算書に出力する送付先住所を指定します。顧客は、送付先住所に対して支払を行います。この住所は、住所録マスター (F0101) に設定されている、請求書で指定した会社の住所録レコードから取得されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 会社の集計処理オプションで会社が指定されていない限り、F03B11 テーブルに指定されている会社の住所が使用されます。会社固定情報テーブル (F0010) から会社の住所番号が取得されます。

A: 会社レコードの第 1 住所番号フィールド (AN81) の値が使用されます。

B: 会社レコードの第 2 住所番号フィールド (AN82) の値が使用されます。

C: 会社レコードの第 3 住所番号フィールド (AN83) の値が使用されます。

D: 会社レコードの第 4 住所番号フィールド (AN84) の値が使用されます。

E: 会社レコードのファクター/代替受取人フィールド (AN85) が使用されません。

F: 会社レコードの第 5 住所番号フィールド (AN86) の値が使用されます。

Address (住所番号): 会社の住所番号の代わりに使用する住所番号を指定します。

たとえば、会社 00001 の計算書の作成で送付先をロックボックスとする場合、住所録システムのレコードにロックボックスを設定し、その住所番号を会社 00001 の住所録レコードの住所番号フィールドの 1 つに割り当てます。

## 2. 支払期日別計算書の印刷

請求書の支払期日別に計算書を印刷するかどうかを指定します。この処理オプションを選択すると、支払期日および通貨コード順に請求書が出力されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 計算書は支払期日別に印刷されません。

1: 支払期日別に計算書が印刷されます。支払期日が変わるたびに新しい計算書が印刷されます。

## 3. 印刷プログラム

計算書の作成に使用する計算書印刷プログラムを指定します。虫眼鏡ボタンをクリックすると、使用できる計算書印刷プログラムを表示できます。この処理オプションをブランクにすると、R03B5001 が使用されます。計算書印刷プログラムごとに、計算書に出力される情報のタイプを指定する処理オプションがあります。印刷プログラムのデータ選択とデータ順序設定によって、計算書に出力される詳細データの量と順序を指定します。

## 4. 印刷プログラムのバージョン

使用する計算書印刷プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 5. レター名

計算書に印刷する、あらかじめ定義されている文章を指定します。

## 6. レター タイプ

レター名処理オプションで指定したレターのタイプを指定します。レタータイプを指定しない場合、この処理オプションはブランクにしておきます。

## 更新

基準日を使用して請求書の未決済金額を計算するかどうか、請求書および入金レコードの計算書番号を更新するかどうか、請求書または請求書支払項目ごとに売掛金通知実績明細レコード (F03B21) を 1 件ずつ作成するかどうかを指定します。

### 1. 基準日

前期間の計算書を作成する日付を指定します。顧客から特定の日付や当初作成した計算書以外の日付の計算書を求められた場合に便利です。

たとえば、数か月前からの計算書を作成する場合、計算書日付として使用する日付をこの処理オプションで指定すると、この日付と請求書の決済日付 (入金日) が比較され、指定した基準日において請求書が未決済であったかどうか判断されます。請求書が未決済の場合、未決済金額が再計算され、計算書に印刷されます。現行の未決済金額に、元帳日付が基準日以降の、その請求書に適用されている入金額を加算して未決済金額が再計算されます。

以前に作成した前の期間の計算書を再度印刷するには、計算書の検討プログラム (P03B202) を使用します。

---

警告: 指定した日付時点で請求書が未決済かどうかを判断するには時間がかかります。そのため、過去の特定期間の日付における計算書が必要でない場合は、この処理オプションは設定しないでください。基準日処理を実行するには、計算書データの再作成プログラム (R03B500X) のデータ選択で入金済みの請求書を含める必要があります。また、データ選択でデータを制限して、特定の顧客に対する計算書を作成することもできます。

---

## 2. 計算書番号の更新

複数の計算書に含まれる請求書の計算書番号を上書きするかどうかを指定します。たとえば、計算書 123 に含まれる未決済の請求書が再度計算書を実行したときもまだ未決済だった場合、新しい計算書番号がその請求書に割り当てられ、前回の番号は上書きされます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:請求書レコード全ての計算書番号が更新されます。

1:計算書番号フィールド (CTL) がブランクの請求書レコードの計算書番号だけが更新されます。

## 3. 請求書の集計

各請求書の支払項目レコードの他に、請求書の集計レコードを F03B21 テーブルに作成するかどうかを指定します。このテーブルの情報を検討するには、計算書の検討プログラム (P03B202) を使用します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:請求書の支払項目レコードのみが作成されます。

1:請求書の支払項目レコードの他に、集計レコードが作成されます。

---

注: 計算書に請求書の集計情報を出力する場合、たとえば R03B5001 など、使用する計算書印刷プログラムの該当する処理オプションを使用します。

---

# 計算書の印刷プログラム (R03B5001) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## 印刷

計算書に印刷する情報を指定します。

### 1. 年齢調べ情報の印刷

計算書に年齢調べ情報を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:年齢調べ情報は印刷されません。

1:年齢調べ情報が印刷されます。

### 2. 取引集計の非表示

各計算書の一番下に取引の集計情報を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:集計情報が印刷されます。

1:集計情報は印刷されません。

### 3. 印刷する日付

計算書に印刷する日付を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:支払期日が印刷されます。

1:請求書日付が印刷されます。

### 4. 計算書番号の印刷

各計算書の上部に計算書番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク:計算書番号は印刷されません。

1:計算書番号が印刷されます。

### 5. 支払先住所の印刷

各計算書の上部に支払先住所を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 支払先住所は印刷されません。

1: 支払先住所が印刷されます。

---

注: 印刷する支払先住所は、計算書データの再作成プログラム (R03B500X) の該当する処理オプションで指定します。

---

## 6. 集計請求書の印刷

請求書ごとに集計して計算書に印刷するか、請求書の各支払項目を印刷するかを指定します。

ブランク: 請求書の各支払項目が計算書に印刷されます。

1: 全支払項目が集計された請求書情報が計算書に印刷されます。この処理オプションを 1 に設定する場合、計算書データの再作成プログラム (R03B500X) の該当する処理オプション (更新タブの請求書の集計オプション) を適切に設定する必要があります。

---

## 計算書の利用

このセクションでは、計算書の検討の概要と以下の方法について説明します。

- 計算書の検討プログラム (P03B202) の処理オプションの設定
- 計算書の明細の検討
- 計算書の再印刷
- 計算書の再設定

## 計算書の検討について

計算書情報はシステムに保存されているので、計算書をオンラインで検討できます。これは、顧客が計算書について問い合わせてきた際に特に役立ちます。計算書の検討プログラム (P03B202) を利用すると、計算書をすぐに表示して顧客の問い合わせに対応することができます。また、以前に作成された計算書を再印刷することもできます。

計算書情報を検討する場合、計算書に記録されている請求書と支払について検討できます。

計算書の検討では、次のような計算書情報を確認することができます。

- 全ての顧客の全計算書
- 特定の顧客の全計算書
- 特定の通知日付の計算書
- 特定の計算書の請求書および支払情報
- 計算書の集計情報 (関連付けられている年齢調べ情報など)

表示される情報は照会専用です。

計算書の検討では、F03B20 テーブルおよび F03B21 テーブルの情報を確認できます。これらのテーブルには、延滞通知に関する情報も格納されます。

## 計算書の再設定

印刷した計算書に最新の情報が含まれていない場合などに、計算書を再設定して計算書の内容を変更することができます。この再設定では、請求書に対する支払情報、調整、変更などを再設定できます。たとえば、計算書の印刷後に入金があった場合、再設定を行って入金情報を含めた計算書を再印刷して顧客に送付することができます。

再設定できるのは前回作成した計算書のみです。それ以前に作成した計算書を再設定しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

計算書の再設定では、計算書の検討プログラム (P03B202) の処理オプションで指定したバージョンの計算書/延滞通知の再設定プログラム (R03B5015) が実行され、前回の処理前の状況に以下のテーブルが再設定されます。

- F03B20
- F03B21
- F03B11

計算書に含まれる請求書の処理および印刷が行われたのが一度だけの場合、計算書番号 (CTL) と計算書日付 (SMTJ) はブランクに再設定されます。複数回この処理が行われている場合、CTL と SMTJ は前回処理されたときの値に再設定されます。

- F03B14

計算書番号と計算書日付がブランクに再設定されます。

- F03B112

計算書印刷フラグ (STPF) がブランクに再設定されます。

最新の計算書以外の計算書を改訂する必要がある場合は、計算書データの再作成プログラム (R03B500X) の基準日処理オプションを使用して新しい計算書を作成することができます。

## 計算書の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[計算書の処理]	W03B202D	[計算書/延滞通知処理] (G03B22)、[計算書の検討]	顧客計算書を検討します。 計算書番号を指定しない場合、顧客の延滞通知と計算書の両方が表示されます。計算書だけを表示させるには、QBE 行の [通知タイプ] フィールドに「ST」と入力します。
[計算書の検討]	W03B202I	[計算書の処理] フォームで計算書を選択し、[選択] をクリック、または [ロー] メニューの [検討] をクリックします。	計算書の明細を検討します。
[通知の要約]	W03B20B	[計算書の処理] フォームで、[ロー] メニューの [集計] をクリックします。  または、[計算書の検討] フォームで、[フォーム] メニューの [集計] をクリックします。	年齢調べ情報などの、計算書の集計情報を検討します。  計算書データの再作成プログラム (R03B500X) の処理オプションの設定に従って、請求書の年齢調べ情報が表示されます。
[印刷情報]	W03B202J	[計算書の処理] フォームで、[ロー] メニューの [印刷情報の変更] をクリックします。	計算書を印刷する際に使用される情報を変更します。たとえば、計算書の再印刷に使用する印刷プログラムやバージョンを変更できます。

## 計算書の検討プログラム (P03B202) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### バージョン

1. 計算書/延滞通知の再設定プログラム (R03B5015) のバージョン  
使用する計算書/延滞通知の再設定プログラム (R03B5015) のバージョンを指定します。  
この処理オプションを空白にすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 計算書の明細の検討

[計算書の検討] フォームにアクセスします。

- [請求書集計]
- 請求書の支払項目の集計情報は、計算書データの再作成プログラム (R03B500X) の実行時に、対応する処理オプションが指定された場合にのみ、出力されます。

## 計算書の再印刷

[計算書の処理] フォームにアクセスします。

再印刷する計算書を選択し、[ロー] メニューの [再印刷] をクリックします。

## 計算書の再設定

[計算書の処理] フォームにアクセスします。

計算書を再設定するには、次の手順に従います。

1. 再設定する計算書を選択し、[ロー] メニューの [再設定] をクリックします。  
該当する計算書のグリッド行に、再設定のマークが付けられます。
2. 計算書の選択を解除するには、マークされている計算書を選択して、[ロー] メニューの [再設定] をクリックします。
3. [閉じる] をクリックします。  
[閉じる] をクリックすると、計算書/延滞通知の再設定プログラム (R03B5015) が実行されます。顧客の新しい計算書を再作成するには、計算書/延滞通知の再作成プログラムを再実行する必要があります。

---

## (JPN) 鑑請求書の利用

このセクションでは、鑑請求書の概要と以下の方法について説明します。

- 鑑請求書の印刷
- 鑑請求書プログラム (R03B5001JP) の処理オプションの設定

### 鑑請求書について

日本で最もよく使用される支払方法は銀行振込です。異なる銀行や支店に振り込む場合、振込ごとに振込手数料がかかります。振込手数料の負担を抑えるために、日本では一般的な請求手段として、鑑請求書と呼ばれる月次で集計した請求書を発行します。

この月次集計された請求書を使用する場合、個々の商品売買取引ごとの請求書は発行されません。その代わりに、顧客に対して月ごとの締切日を設定し、その顧客との前月の全取引を集計した請求書を 1 件だけ発行します。

鑑請求書には、以下の情報が記載されます。

- 顧客の請求先の名称と住所
- 請求期間  
請求期間は顧客によって異なりますが、請求期間の開始日は前の期間の締切日の翌日にする必要があります。前の請求期間の終了日が、締切日になります。
- 締切日時点での未決済金額  
未決済金額は、販売、入金、調整などの項目別に集計されます。
- 明細情報 (各受注オーダーの請求書番号、品目番号、価格など)



## 事前設定

売掛管理システムで集計請求書番号に対して自動採番が設定されていることを確認してください。自動採番を設定するには、計算書番号 (Statement No.) フィールドの“次の番号”を使用します。

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理の自動採番」、23 ページ

## 鑑請求書の印刷

鑑請求書を印刷するには、通常の計算書の処理を実行し、計算書データの再作成プログラム (R03B500X) のバージョンで XJDE0002 (Statement Refresh with Draft: 手形付き計算書データの再作成) のコピーを、印刷プログラム処理オプションで鑑請求書プログラム (R03B5001JP) をそれぞれ指定します。

## 鑑請求書プログラム (R03B5001JP) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 印刷

鑑請求書 (R03B5001JP) のデフォルト値をカスタマイズします。

- |                  |  |
|------------------|--|
| <b>1. 年齢調べ情報</b> | 年齢調べ情報を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 年齢調べ情報は印刷されません。<br>1: 年齢調べ情報が印刷されます。      |
| <b>2. 集計情報</b>   | 集計情報を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 集計情報が印刷されます。<br>1: 集計情報は印刷されません。            |
| <b>3. 請求書日付</b>  | 請求書日付を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 請求書日付は印刷されません。<br>1: 請求書日付が印刷されます。         |
| <b>4. 計算書番号</b>  | 計算書番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 計算書番号は印刷されません。<br>1: 計算書番号が印刷されます。         |
| <b>5. 送金先住所</b>  | 送金先住所を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。<br>空白: 送金先住所は印刷されません。<br>1: 送金先住所が印刷されます。         |
| <b>6. 税情報</b>    | 請求書の伝票レベルで税情報を印刷するかどうかを指定します。<br>有効値は以下のとおりです。<br>空白: 税情報は印刷されません。<br>1: 税情報が印刷されます。 |

## 7. 売上情報

請求書に売上情報を印刷するかどうかを指定します。受注明細テーブル (F4211) と受注実績テーブル (F42119) のどちらの情報を印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 売上情報は印刷されません。

1: F4211 テーブルの売上情報が印刷されます。

2: F42119 テーブルの売上情報が印刷されます。

3: データが存在すれば、F4211 テーブルの売上情報が印刷されます。F4211 テーブルにデータがない場合は、F42119 テーブルの売上情報が印刷されます。

## 8. 合計請求書

鑑請求書を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 鑑請求書は印刷されません。

1: 鑑請求書が印刷されます。

## 処理

鑑請求書の印刷時の請求書レコードをカスタマイズします。

### 1. 請求書レコード

各請求書レコードを集計するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 請求書レコードは集計されません。

1: 各請求書レコードが集計されます。

# 計算書/延滞通知の除去

このセクションでは、計算書/延滞通知の除去の概要と以下の方法について説明します。

- 計算書/延滞通知の除去プログラムの実行
- 計算書/延滞通知の除去プログラム (R03B5010) の処理オプションの設定

## 計算書/延滞通知の除去について

不要な計算書または延滞通知情報は削除することができます。計算書/延滞通知の除去プログラムによって、F03B20 テーブルおよび F03B21 テーブルの計算書/延滞通知レコードが削除されます。削除されたデータは、別テーブルにアーカイブされません。削除したデータを保持する場合は、除去処理の前にテーブルのバックアップを取る必要があります。

データ選択で通知タイプを指定しない限り、計算書と延滞通知の両方が削除されます。

- 計算書のみを削除するには、通知タイプ ST を指定します。
- 延滞通知のみを削除するには、通知タイプ DL を指定します。

除去日付処理オプションおよび月数処理オプションで指定した値に基づいて、レコードが削除されます。これによって、適切な不要レコードのみが削除されます。これらの 2 つの処理オプションを組み合わせて使用する場合、除去日付処理オプションに入力された日付または月数処理オプションの値のどちらか古い方の日付を使用して、より少ない件数のレコードが削除されます。

---

**注:** 除去プログラムでは、将来日付を持つレコードは削除されません。F03B20 テーブルおよび F03B21 テーブルの全てのレコードを削除する場合は、データ ファイル ユーティリティの使用を検討してください。

---

## 計算書/延滞通知の除去プログラムの実行

[計算書/延滞通知処理] メニュー (G03B22) から [計算書/延滞通知の除去] を選択します。

## 計算書/延滞通知の除去プログラム (R03B5010) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 日付

削除するレコードを指定します。また、テスト モードと最終モードのどちらでプログラムを実行するかを指定します。

#### 1. 除去日付

月数処理オプションと合わせて使用して、F03B20 テーブルおよび F03B21 テーブルから削除するレコードを指定します。月数処理オプションの指定による削除対象レコード件数の方が少ない場合を除いて、指定した日付以前の通知日付を持つレコードが全て削除されます。たとえば、除去日付処理オプションで 2005 年 12 月 31 日、月数処理オプションで 6 か月分のデータを保持するように指定すると、削除するレコード数が少ない方の処理オプションが使用されます。この処理オプションを空白にすると、システム日付が使用されます。

---

**注:** 計算書レコードまたは延滞通知レコードのみを削除するには、データ選択で通知タイプ (DL: 通知、ST: 計算書) を指定します。

---

#### 2. 月数

除去日付処理オプションと合わせて使用して、F03B20 テーブルおよび F03B21 テーブルから削除するレコードを指定します。除去日付処理オプションの指定による削除対象レコード件数の方が少ない場合を除いて、指定した月数より古い通知日付を持つレコードが全て削除されます。たとえば、月数処理オプションで 3 か月分のデータを保持するように指定し、除去日付処理オプションで 6 か月前の日付を入力すると、除去日付処理オプションの設定が使用されます。

#### 3. 最終モード

このプログラムをテスト モードで実行するか、最終モードで実行するかを指定します。テスト モードでは、削除されるレコードのレポートの印刷のみが行われます。最終モードでは、レポートの印刷およびテーブルからのレコードの削除が行われます。有効値は以下のとおりです。

空白: レポートの印刷のみが行われます。

1: レポートの印刷およびレコードの削除が行われます。



## 第 18 章

# 与信および回収管理

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、以下の方法について説明します。

- 顧客勘定情報の更新
- 与信および回収処理のための顧客勘定の管理
- 顧客勘定情報の検討
- 親/子勘定残高の検討
- 顧客勘定の処理
- 回収レポートの印刷
- 与信情報の検討と改訂
- (Rapid Start) Process statements and manage collections
- 信用報告テープの作成
- (FRA) Manage bad debts for France

---

## 顧客勘定情報の更新

このセクションでは、与信分析データの再作成プログラムの概要と以下の方法について説明します。

- 与信分析データの再作成プログラムの実行
- 与信分析データの再作成 (R03B525) の処理オプションの設定

### 与信分析データの再作成プログラムについて

顧客勘定の取引状況を効率よく分析するためには、まず最初に顧客勘定情報を更新する必要があります。そのためには、1 日の始めか終わりに、与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行します。これにより、常に最新の顧客勘定情報を照会して、与信および回収管理のための分析に役立てることができます。

与信分析データの再作成プログラムを実行すると、期日を過ぎているかどうかにかかわらず、与信/資金管理テーブル (F03B15) から全ての顧客の未決済残高が取り込まれ、[取引残高照会] フォームに表示されます。

以下の機能を実行するには、F03B15 テーブルを更新するように設定された処理オプションを持つ与信分析データの再作成プログラムのバージョンを選択する必要があります。

- ・ 親と子の両レベルで顧客別および会社別に未決済請求書情報を集計し、F03B15 テーブルに書き込む。[取引残高照会] または [親/子表示] のフォームでこの情報を検討し、顧客勘定の現在の状況を判断することができます。
- ・ 回収管理者による検討が必要な顧客勘定について、回収管理者にワークフロー メッセージを送付する。たとえば、期日を過ぎている請求書に対して延滞利息金が科されたり、顧客に対して延滞通知が作成された場合などに、回収管理者にメッセージが送付されるように設定できます。
- ・ 与信情報の検討が必要な顧客勘定について、与信管理者にワークフロー メッセージを送付する。たとえば、顧客が与信限度額を超過したり、与信限度額が変更になった場合に、メッセージが送付されます。
- ・ [顧客マスターの改訂] フォームの [与信] タブにある与信メッセージを更新する。
- ・ 外部機関による回収対象の請求書、および顧客レコードの [回収レポート] オプションを更新する。
- ・ 規定に基づいて、顧客レコードの一時与信メッセージを更新する。
- ・ 規定に基づいて、一時与信メッセージを与信メッセージの値にリセットする。

---

**注:** リセット機能を有効にするには、データ選択で支払状況の値を "P" に指定する必要があります。このデータ選択が設定されたプログラムのバージョンを週に 1 度実行して、一時与信メッセージをリセットすることをお勧めします。未決済請求書を含むようにデータ選択を設定して再実行しない限り、顧客残高照会プログラムまたは親/子残高照会プログラムでは現在の請求書情報は表示されません。

---

- ・ 処理が完了したことを通知するワークフロー メッセージを作成する。

## 技術上の考慮事項

与信分析データの再作成プログラムを実行すると、各顧客に対し、少なくとも 2 つのレコードが与信/資金管理テーブル (F03B15) に作成されます。たとえば、会社 00001 の顧客 1234 に対して 1 件の請求書を入力した場合、テーブルに次のレコードが作成されます。

- ・ 請求書が入力された会社 (RTCO = 00001) の子情報 (RTPART = C) について 1 レコード。
- ・ 会社 00000 の子情報 (RTPART = C) について 1 レコード。

会社 00000 のレコードを使用して、全ての会社レコードの情報が合計されます。

複数の会社に対する請求書を入力した場合、さらに各会社に対して 1 件ずつレコードが作成されます。

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- ・ 売掛管理固定情報を使って、顧客の請求書情報の年齢調べ方法を指定します。たとえば、支払が滞っているかどうかや、延滞日数を判断する基準として、以下の情報を定義します。
  - 年齢調べ方法
  - 年齢調べの基準日
  - 年齢調べカテゴリの開始と終了

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理固定情報の設定」、8 ページ

- ・ F03B15 テーブルを更新するための処理オプションがブランクに設定されていることを確認します。

## 与信分析データの再作成プログラムの実行

[与信/回収管理] メニュー (G03B15) の [与信分析データの再作成] をクリックします。

## 与信分析データの再作成 (R03B525) の処理オプション

処理オプションの選択によって、プログラムやレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 年齢調べ

以下の処理オプションで、売掛管理システムで顧客の請求書の年齢調べを行う方法を指定します。たとえば、支払が滞っているかどうかや、延滞日数を判断する基準として、以下の情報を定義します。

- 年齢調べ方法
- 年齢調べの基準日
- 年齢調べカテゴリの開始と終了

処理オプションで指定した基準日、日付タイプ、および年齢調べ方法に基づいて、各未決済請求書に割り当てる年齢調べカテゴリが決定されます。延滞方針の設定されている年齢調べカテゴリに請求書が割り当てられると、該当の処理オプションが有効な場合、延滞通知が作成されます。

- 1. 売掛管理会社固定情報** 売掛管理固定情報または年齢調べ処理オプションのどちらの年齢調べ設定を使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

blank: 年齢調べの処理オプションで指定された値を使用する。

1: 売掛管理固定情報で指定された値を使用する。売掛管理固定情報の基準日フィールドがblankの場合、年齢調べ日付処理オプションの値が使用されます。年齢調べ日付処理オプションもblankの場合には、システム日付が使用されます。このオプションを選択すると、2 から 12 までの処理オプションは無視されます。

**2. 年齢調べ日付**

未決済の請求書を割り当てる年齢調べカテゴリの決定に使用する日付を指定します。入力した日付と請求書の日付（日付タイプ処理オプションで指定された日付）が比較され、請求書の支払期日超過日数が計算されます。

この処理オプションをblankにすると、未決済請求書の年齢調べにはシステム日付が使用されます。

**3. 日付タイプ**

年齢調べカテゴリの決定に使用する請求書の日付を指定します。ここで指定した日付と年齢調べ日付処理オプションの値を比較して、請求書の支払期日超過日数が計算されます。有効値は以下のとおりです。

blank: 請求書の支払期日が使用されます。

- 1: 請求書日付が使用されます。
- 2: 元帳日付が使用されます。
- 3: 計算書日付が使用されます。

**4. 年齢調べ方法 (1、2、3)**

請求書の割り当てに使用する年齢調べカテゴリを指定します。年齢調べ日付処理オプションで指定した日付と、日付タイプ処理オプションで指定した値を使って、各請求書の経過日数が計算され、このコードで指定された年齢調べカテゴリに割り当てられます。有効値は以下のとおりです。

1: 経過日数。年齢調べカテゴリ 1 から年齢調べカテゴリ 8 の処理オプションで指定された年齢調べカテゴリに請求書が割り当てられます。年齢調べカテゴリには、自由に日数を設定することができます。

2: 会計期間。会社レコードに割り当てられた期間パターンによって定義されている会計期間が、年齢調べカテゴリとして使用されます。

3: カレンダー。カレンダーの各月が年齢調べカテゴリとして使用されます。

## 5. 年齢調べカテゴリ 1 ～ 12. 年齢調べカテゴリ 8

これらの処理オプションを使用して、年齢調べカテゴリの間隔を指定します。

**注:** 延滞通知に将来の年齢調べカテゴリは印刷されません。

## 13. 仮受金の年齢調べ

仮受金に対する年齢調べ方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 仮受金の年齢調べを行わない。仮受金の金額は、現行カラムを含むどの年齢調べカテゴリにも含まれません。

1: 年齢調べタブの日付タイプ処理オプションで指定した年齢調べの方法を使用する。

2: 全ての仮受金に対し、現行の年齢調べカラムを使用する。

3: 顧客の売掛金勘定の中で最も古い未決済請求書または未決済請求書のグループに対して仮受金を消し込む。たとえば、年齢調べカテゴリ 1 - 30、60 - 90、150 - 180 に含まれる請求書がある場合、まず 150 - 180 の年齢調べカテゴリで仮受金を消し込みます。このカテゴリの全ての請求書が支払済みになったら、次に 60 - 90 の年齢調べカテゴリで全ての請求書が支払済みになるまで仮受金の消込を行います。

## 14. マイナス金額の年齢調べ

返金請求書に対する年齢調べ方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 返金請求書に対する年齢調べを行わない。

1: 年齢調べタブの日付タイプ処理オプションで指定した年齢調べの方法を使用。

2: 全ての返金請求書に対し、現在の年齢調べカラムを使用。

3: 顧客の売掛金勘定の中で最も古い未決済請求書または未決済請求書のグループに対して返金請求書を消し込む。たとえば、年齢調べカテゴリ 1 - 30、60 - 90、150 - 180 に含まれる請求書がある場合、まず 150 - 180 の年齢調べカテゴリで返金請求書を消し込みます。このカテゴリの全ての請求書が支払済みになったら、次に 60 - 90 の年齢調べカテゴリで全ての請求書が支払済みになるまで返金請求書の消込を行います。

## F03B15 テーブルの更新

この処理オプションでは、与信/資金管理テーブル (F03B15) を更新するかどうかを指定します。

### 1. 与信/資金管理テーブル (F03B15) の更新

この処理オプションを使って、与信/資金管理テーブル (F03B15) の未決済請求書および経過金額の情報を更新します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: F03B15 テーブルを更新する。

1: F03B15 テーブルを更新しない。

## 延滞通知

以下の処理オプションで、延滞通知の作成方法を指定します。作成モード (テスト モードまたは最終モード)、バージョン、および支払先住所などのオプションを指定できます。

### 1. 延滞通知の作成

延滞通知の作成方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 延滞通知を作成しない。

0: テスト モード。延滞通知の送付対象となる全ての顧客と、顧客ごとに支払が滞納になっている請求書のレポートが作成されます。



1: 最終モード。対象となる各顧客に対して延滞通知が作成され、以下のテーブルが更新されます。

- F03B20
- F03B21
- F03B11

## 2. 通知印刷プログラム

延滞通知の作成時に実行する延滞通知印刷プログラムを指定します。標準プログラムから選択することも、カスタム印刷プログラムを作成することもできます。使用可能な標準プログラムは以下のとおりです。

R03B20: 延滞通知

R03B21: 階層化延滞通知

このフィールドをブランクにすると、R03B20 が使用されます。

---

注: R03B20 と R03B21 の両方に処理オプションがあります。

---

## 3. バージョン

通知印刷プログラム処理オプションで指定した延滞通知プログラムのバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 が使用されます。

## 4. 支払先住所

延滞通知に出力される支払先住所を指定します。顧客は、支払先住所に対して支払を行います。この住所は、住所録マスター (F0101) に設定されている、請求書で指定した会社の住所録レコードから取得されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: F03B11 の請求書レコードで指定されている会社の住所を使用。会社固定情報テーブル (F0010) から会社の住所番号が取得されます。

---

注: 全ての会社に対する延滞通知をひとまとめにして作成するよう選択した場合、顧客に対して未決済請求書を持つ会社の中で会社番号が一番小さい会社の住所が使用されます。たとえば、会社 00001、00050、00070 に該当の顧客からの未払いの請求書がある場合、会社 00001 の住所が使用されます。

---

A: 会社レコードの第 1 住所番号フィールド (AN81) の値を使用。

B: 会社レコードの第 2 住所番号フィールド (AN82) の値を使用。

C: 会社レコードの第 3 住所番号フィールド (AN83) の値を使用。

D: 会社レコードの第 4 住所番号フィールド (AN84) の値を使用。

E: 会社レコードのファクター/代替支払先フィールド (AN86) の値を使用。

F: 会社レコードの第 5 住所番号フィールド (AN85) の値を使用。

ADDRESS: 会社の住所番号の代わりに使用する住所番号を指定する。たとえば、会社 00001 に対して通知を作成し、支払先をロックボックスとする場合、住所録システムのレコードにロックボックスの住所を設定し、そのロックボックスの住所番号を会社 00001 の住所録レコードの住所番号フィールドの 1 つに割り当てます。そして、この処理オプションで、どの住所番号を使用するかを指定します。

---

**注:** 延滞通知プログラム (R03B20) または階層化延滞通知プログラム (R03B21) の処理オプションで、支払先住所を印刷しないように設定することができます。

---

## 5. 会社の連結

通知の作成方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 顧客別に、各会社に対して個別に通知を作成。

1: 顧客別に、会社を集約した通知を作成。

## 6. 重要度の決定

年齢調べカテゴリまたは請求書の重要度レベルのどちらに基づいて延滞通知指示 (方針) を検索するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 年齢調べカテゴリを使用。

1: 送付された延滞通知の合計数で重要度レベルを決定。たとえば、延滞通知の送付回数が 2 回の場合、年齢調べカテゴリ/重要度フィールドに "3" が設定されている延滞通知方針が検索されます。

## 延滞利息金処理

以下の処理オプションで、延滞利息金の作成方法を指定します。作成モード (テスト モードまたは最終モード)、バージョン、利息金レコードおよびその通貨に割り当てる支払条件などのオプションを指定できます。

### 1. 延滞利息金レポートの印刷

延滞利息金の作成方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 延滞利息金を作成しない。

0: テスト モード。延滞利息金明細が作成されます。この明細は、最終モードでプログラムを実行する際に作成される延滞利息金の一覧です。更新されるテーブルはありません。

1: 最終モード。売掛金元帳 (F03B11) に利息金の金額で請求書伝票 (伝票タイプ RF) が作成されます。延滞利息金仕訳 (F03B22) および延滞利息金仕訳明細 (F03B23) の各テーブルにもレコードが作成され、延滞利息金明細が印刷されます。売掛金元帳 (F03B11) と入金明細 (F03B14) の各テーブルの前回利息金日付が、利息が作成された日付で更新されます。延滞処理方針に定義されている延滞利息金の間隔日数が経過するまで、同一の請求書に対する次の延滞利息金は発生しません。

### 2. 延滞利息金処理のバージョン

延滞利息金の作成時に使用される延滞利息金明細プログラム (R03B22) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

---

**注:** 延滞利息金明細プログラムには、関連付けられた処理オプションがあります。

---

### 3. 元帳日付

延滞利息金 (RF) 請求書レコードに割り当てる元帳日付を指定します。最終モードで延滞利息金を処理する際に、これらの請求書が作成されます。この処理オプションをブランクにすると、現在の日付が使用されます。

### 4. 延滞利息金

この処理オプションを使って、延滞利息金プログラム (R03B221) を実行します。このプログラムにより、支払期日後に支払われた請求書の延滞利息金を作成されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 支払期日後に支払われた額に対する利息金を計算しない。

1: 支払期日後に支払われた額に対する利息金を計算する。

## 5. 延滞支払処理のバージョン

注: この処理オプションの設定に加えて、処理方針で期日後入金に対する延滞利息金の計算オプションを有効に設定しておく必要があります。

支払期日後に支払われた請求書に対する延滞利息金の作成に使用する延滞利息金プログラム (R03B221) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、ZJDE0001 バージョンが使用されます。

注: 延滞利息金プログラムには、関連付けられた処理オプションがありません。

## 6. 支払条件コード

延滞利息金 (RF) 請求書レコードに割り当てる支払条件コードを指定します。

## 7. 延滞利息金の通貨

延滞利息金請求書レコード (伝票タイプ RF) の作成時に使用される通貨を指定します。為替レート テーブル (F0015) の最新の為替レートを使って、指定通貨の延滞利息金が計算されます。有効値は以下のとおりです。

- 1: 会社。請求書に出力された会社割り当てられている通貨で延滞利息金を作成。
- 2: 顧客。業種別顧客マスター (F03012) の顧客レコードの住所録通貨コード フィールド (CRCA) に設定された通貨で延滞利息金を作成。
- 3: 請求書。請求書入力時に請求書に割り当てられた通貨で延滞利息金を作成。

注: この処理オプションで選択した設定にかかわらず、各会社に対して通貨コードごとに 1 件の延滞利息金請求書レコードが作成されます。たとえば、会社 00001 と会社 00003 にカナダドルの通貨コードが割り当てられている場合、00001 と 00003 のそれぞれに対してカナダドル建ての延滞利息金請求書が 1 件ずつ作成されます。

# 与信および回収処理のための顧客勘定の管理

このセクションでは、与信および回収処理の概要と以下の方法について説明します。

- 顧客勘定の取引活動ログの印刷
- 顧客勘定の取引活動ログの印刷 (R03B31) の処理オプションの設定
- 顧客勘定の取引活動の検討
- 顧客勘定の取引活動の追加
- 顧客勘定の取引活動ログの除去プログラムの実行

## 関連項目:

第 6 章、「与信/回収管理の設定」、「活動コードの設定」、108ページ

第 19 章、「延滞通知と延滞利息金の処理」、559ページ

第 20 章、「顧客分析のための売掛管理統計の更新」、577ページ

## 与信/回収処理について

与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行すると、最新の与信および回収情報をオンラインで検討して与信および回収活動を行うことができます。与信限度額を超過した顧客、与信の検討が必要な顧客、または勘定残高の支払期日が過ぎている顧客に関してワークフロー メッセージが送信されるので、エンタープライズ ワークフロー管理システムを使用して顧客勘定を管理するか、または [与信/回収管理] メニュー (G03B15) からプログラムを実行できます。

回収処理のために顧客勘定を管理する際は、このシステムを使って顧客の連絡先をトラッキングできます。たとえば、顧客 XYZ に支払期日を過ぎた残高がある場合、請求担当者に連絡して支払が行われたかどうか、またはいつ支払が行われるかを確認できます。回収活動の内容と支払予定期日をシステムに記録し、支払がその予定期日までに行われなかった場合に再度顧客勘定を検討するように促すメッセージを作成します。

同様に、与信限度額を超過した顧客、または顧客レコードに設定した与信検討日付を過ぎた顧客を検討します。

### 顧客勘定の取引活動ログ

与信/回収処理の一環として、顧客勘定の取引活動ログ プログラム (P03B31) を使用して与信/回収処理の履歴を検討し、顧客の支払のパターンと傾向を確認することができます。顧客勘定の取引活動ログを使用すると、計算書、延滞通知、延滞利息金が作成された日付や、与信限度が変更されたり検討されたりした日付など、顧客に関連する全ての与信および回収活動の一覧を検討できます。

顧客勘定に関連付けられた活動一覧から、特定の活動の詳細情報を表示して検討できます。たとえば、与信限度額の超過を示すログがあった場合、与信検討情報にアクセスして、その顧客の与信限度超過額と当初の与信限度額を検討できます。

延滞処理や回収検討が何度も行われている顧客勘定には注意が必要です。逆に、取引活動ログがほとんど記録されていない顧客勘定の場合、その顧客の支払状況は良好と考えられます。

顧客勘定の取引記録は、活動日付別および優先順位別に表示されます。

顧客に関連した与信および回収活動のオンラインでの検討に加えて、活動ログの印刷プログラム (R03B31) を使って活動ログを印刷することができます。これにより、ハード コピーを使用して顧客の取引活動を検討、および管理することが可能です。データ選択を使用して、特定の顧客または活動タイプに限定したレポートを印刷できます。また、データ順序を変更して、活動タイプまたは活動日付別にレポートを印刷することもできます。

活動ログに関する情報は、顧客勘定取引活動ログ テーブル (F03B31) に保管されます。

### 顧客勘定の取引活動ログの削除

期間全体に対して作成された取引活動メッセージや、特定の顧客または活動に対する全てのメッセージを削除する必要がある場合、顧客勘定の取引活動ログを消去できます。これにより、個々のレコードを手作業で選択することなく、取引活動ログから活動メッセージを完全に削除できます。

顧客活動ログの除去プログラム (R03B312) には、指定した日付時点の全てのレコードを消去できる処理オプションがあり、データ選択を使用して除去対象を特定の顧客や活動タイプに限定することもできます。

消去された取引活動メッセージは別のテーブルに保存されるわけではありません。除去対象レコードは F03B31 テーブルから完全に削除されます。

## 事前設定

与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行して、顧客勘定の情報を更新します。

## 与信および回収処理のための顧客勘定の管理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[取引活動ログ]	W03B31A	[与信/回収管理] (G03B15)、[顧客活動ログ]	顧客勘定の取引活動 メッセージを検討および 削除します。  顧客活動を削除する代わ りに、除去することがで きます。
[活動メッセージ]	W03B31G	[取引活動ログ] フォー ムで、[追加]をクリック します。	取引活動メッセージを手動 で追加します。  新たに作成した活動コード の活動メッセージは自動的 に処理されません。新規の 活動コードを使用する活動 に対しては、活動メッセー ジを手動で追加する必要 があります。

### 顧客勘定の取引活動ログの印刷

[与信/回収管理] メニュー (G03B15) の [活動ログの印刷] をクリックします。

### 活動ログの印刷 (R03B31) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムおよびレポートのデフォルト処理を指定することができます。

#### 添付

この処理オプションでは、レポートに添付情報を印刷するかどうかを指定します。

#### 1. 添付

レポートに、取引活動と関連する添付情報を印刷するかどうかを指定しま  
す。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 添付情報を印刷しない。

1: 添付情報を印刷する。

### 顧客活動の検討

[取引活動ログ] フォームにアクセスします。

取引活動に関する情報を検討するには、活動を選択して、[選択] をクリックします。活動メッセージに対  
応したフォームが表示されます。

#### [会社]

活動を検討する会社を入力します。会社に関係なく顧客の全活動を検討  
する場合は、“\*”を入力します。

#### [活動日付]

活動が行われた日付、または注意を促す日付 (約束活動の場合) が表示  
されます。

約束活動 (活動タイプ 30) の場合、通常、活動日付は、将来の日付を含む  
備忘日付です。このため、約束活動を表示するには、[日付範囲] の終了

日を指定するフィールドに将来の日付を設定しなければならない場合があります。

## 顧客活動の追加

[活動メッセージ] フォームにアクセスします。

[活動項目タイプ] 活動を分類するコードを入力します。

[活動日付] 活動が行われた日付、または注意を促す日付（約束活動の場合）を入力します。

[活動優先度] [取引活動ログ] フォームで活動を表示する順番を管理する番号を入力します。

テキスト ボックス 活動に関するコメントまたはメッセージを入力します。

## 顧客活動ログの除去プログラムの実行

顧客勘定の取引活動ログの消去を行う前に、顧客勘定取引活動ログ テーブル (F03B31) のバックアップを作成してください。

[与信/回収管理] メニュー (G03B15) の [顧客活動ログの除去] をクリックします。

---

## 顧客勘定情報の検討

このセクションでは、顧客勘定の残高情報と取引状況集計の概要、および以下の方法について説明します。

- [顧客残高照会] を使った顧客勘定情報の検討
- 指定した日付時点の顧客勘定情報の検討
- [取引状況集計] を使用した顧客勘定の検討

## 顧客勘定の残高情報について

回収目的のために顧客勘定を管理する際、意思決定や顧客分析に役立つさまざまなタイプの売掛管理情報にすばやくアクセスし、検討することが可能です。たとえば、特定の日付における顧客勘定の未決済残高や、支払期日を過ぎている残高額を確認できます。

与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行すると、F03B15 テーブルの顧客勘定情報が更新され、[取引残高照会] フォームに顧客および会社別にレコードが表示されます。顧客勘定情報は会社順に表示されます。会社 00000 のレコードは、その他の全ての会社レコードの合計を表します。

未決済金額は、以下のフィールドの金額を合計して計算されます。

- 期限超過金額
- 未充当金額
- 期日前請求額
- 赤伝金額

顧客勘定の残高情報を検討する際、最後に与信分析データの再作成を実行した時点の取引状況が表示されますが、特定の日付を入力して年齢調べ情報を再計算し、オンライン表示することもできます。たとえば、今日の日付を指定して、今日時点の最新の顧客勘定情報を検討できます。

## 取引状況集計について

[取引状況集計] を使用して、売掛管理システムのさまざまなテーブルに保管された関連情報を検討し、与信および回収活動の管理に役立てます。次の表に情報ソースを示します。

テーブル	フィールド
売掛金統計サマリ (F03B16S)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初回請求書日付</li> <li>・ 前回請求書日付</li> <li>・ 前回充当金額</li> <li>・ 前回支払日付</li> <li>・ 支払までの平均日数</li> <li>・ 遅延支払額のパーセント</li> <li>・ 最高残高</li> <li>・ 最高残高日付</li> </ul>
与信/資金管理テーブル (F03B15)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 与信限度超過額</li> <li>・ 基準日</li> <li>・ 未決済</li> <li>・ 期限超過</li> <li>・ 未充当</li> <li>・ 全ての年齢調べカテゴリ</li> </ul>
業種別顧客マスター (F03012)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 顧客レコード設定日</li> <li>・ 通貨コード</li> <li>・ 与信限度額</li> <li>・ 次回与信検討日</li> <li>・ 支払条件</li> <li>・ 一時与信メッセージ</li> </ul>
その他のフィールド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連絡先 タイプコードが B の顧客に対して人名録レコードに設定されている名前が表示されます。</li> <li>・ 市外局番と電話番号 連絡先に設定された電話番号が表示されます。</li> </ul>

## 顧客勘定情報の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[取引残高照会]	W03B218B	[与信/回収管理] (G03B15)、[顧客残高照会]	顧客勘定の情報を検討します。
[リアルタイム年齢調べ]	W03B218E	[取引残高照会] フォームで顧客勘定を選択し、[ロー]メニューの[リアルタイム年齢調べ]をクリックします。	特定の日付時点における顧客の取引情報を検討します。
[取引状況集計]	W03B218C	[取引残高照会] フォームで顧客勘定を選択し、[選択]をクリックします。	売掛管理システムのさまざまなテーブルに保管された関連情報を検討します。

### [取引残高照会] フォームを使った顧客勘定情報の検討

[取引残高照会] フォームにアクセスします。

顧客残高照会 - 取引残高照会

選択(S) 検索(I) 開じる(L) ロー(R) ツール(T)

回収管理者 \*  
与信管理者 \*  
会社 \*  
顧客No. 3333 Continental Incorporated

☐ 親  
表示する取引  
☐ 処理済み  
☒ 未処理  
☐ すべて

レコード 1 - 3 グリッドのカスタマイズ

	顧客No.	名前	会社	期限超過金額	未決済金額	与信限度額
<input checked="" type="radio"/>	3333	Continental Incorporated	00000	47,824.75	84,910.69	25,000
<input type="radio"/>	3333	Continental Incorporated	00001	46,001.00	83,086.94	25,000
<input type="radio"/>	3333	Continental Incorporated	00075	2,858.59	2,858.59	39,185

[取引残高照会] フォーム

#### [表示する取引]

表示させる取引を、約束メモ メッセージを入力済み (処理済み) の取引に限定するか、未入力 (未処理) の取引に限定するか、または全ての取引を表示させるかを指定します。

注: 00000 以外の会社については、金額は各会社レコードに割り当てられた通貨で表示されます。会社 00000 については、顧客レコードの住所録通貨コード フィールド (CRCA) に割り当てられた通貨で金額が表示されます。

### 特定の日付時点における顧客勘定情報の検討

[リアルタイム年齢調べ] フォームにアクセスします。



顧客残高照会 - リアルタイム年齢調べ

取引残高照会

リアルタイム年齢調べ

OK(O)   キャンセル(L)   フォーム(F)   前へ   次へ   ツール(T)

住所No.

3333

Continental Incorporated

会社

00000

Worldwide Company

年齢調べ基準日

2005/06/30

合計

未決済金額

84,910.69

延滞金額

47,824.75

未充当金額

年齢調べ

将来

2,645.26

現行

34,440.68

1 - 30

21,764.86

31 - 60

26,059.89

61 - 90

91 - 120

121 - 150

151 - 999

超過 999

[リアルタイム年齢調べ] フォーム

特定の日付時点における顧客の取引情報を検討するには、次の手順に従います。

1. [年齢調べ基準日] フィールドに値を入力します。
2. [フォーム] メニューの [再計算] をクリックします。入力した日付を基準にして再計算された情報が表示されます。

注: [リアルタイム年齢調べ] フォームで [OK] をクリックすると、[取引残高照会] フォームに新しい年齢調べ情報が表示されますが、F03B15 テーブルは更新されません。[取引残高照会] フォームで再度照会を行うと、再計算前の情報が表示されます。

3. [キャンセル] をクリックします。

## [取引状況集計] フォームを使用した顧客勘定の検討

[取引状況集計] フォームにアクセスします。

Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

529

**顧客残高照会 - 取引状況集計**

取引残高照会 取引状況集計

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

顧客No. 3333 Continental Incorporate ☐ 親

会社 00000 Worldwide Company

一般

顧客設定日 1998/10/12 前回支払金額 24.75-

初回請求書日付 2004/01/04 前回支払日 2005/08/10

前回請求書日付 2005/08/31 通貨コード USD

請求先/連絡先 Geoff Allen

市外局番 電話番号

**統計**

支払までの平均日数 8.50605965 最高残高 129,376.30

遅延支払額の比率(%) 98.92 最高残高日付 2005/05/31

**与信**

与信限度額 25,000.00 与信限度超過金額 59,910.69

支払条件 001 次の与信検討日

**メッセージ**

与信警告 ☐

前回活動 ☐

**未決済**

年齢調べ日付 2005/06/30

**合計**

未決済 84,910.69

延滞金額 47,824.75

未充当

**年齢調べ**

将来 2,645.26 F

現行 34,440.68 C

1 - 30 21,764.86 1

31 - 60 26,059.89 2

61 - 90 3

91 - 120 4

121 - 150 5

151 - 999 6

超過 999 7

[取引状況集計] フォーム

年齢調べカテゴリの右側にあるボタンをクリックして、各年齢調べカテゴリを構成する請求書支払項目を確認します。[売掛金元帳照会の処理] フォームに請求書が表示されます。

注: 親別に取引情報を検討するように指定している場合には、請求書支払項目の確認はできません。[親] チェック ボックスがオンになっている場合、年齢調べカテゴリの右側にあるボタンは使用できません。

## 親/子勘定残高の検討

このセクションでは、親/子勘定残高の概要と、親勘定に対する子勘定および関連する孫勘定を表示する方法について説明します。

### 親/子勘定残高について

顧客勘定を検討する際、親勘定とそれに関連する子勘定の残高情報を検討することができます。たとえば、子勘定の未決済合計金額を検討したり、子勘定が割り当てられた与信限度額を超過しているかどうかなどを調査したりすることが可能です。

親勘定の残高を検討するよう指定している場合、表示される情報は直下の子勘定に制限されません。孫、ひ孫などの勘定残高も参照可能です。親勘定の未決済合計金額には、関連する子勘定の残高全てが含まれます。

親/子残高照会プログラム (P03B151) では、ツリー構造を使って親/子関係が表示されます。F03B15 テーブルに保管された情報が使用されます。

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- [顧客マスターの改訂] フォームで必要な親/子関係を設定します。
- 住所録からの売掛金元帳の更新プログラム (P03B802) を実行して、売掛金元帳 (F03B11) レコードの親番号に対する変更を更新します。

## 親/子勘定残高の検討に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[親/子表示]	W03B151A	[与信/回収管理] (G03B15)、[親/子残高照会]	親勘定に対する子勘定および関連する孫勘定情報を検討します。  00000 以外の会社については、金額は各会社レコードに割り当てられた通貨で表示されます。会社 00000 については、顧客レコードの住所録通貨コードフィールド (CRCA) に割り当てられた通貨で金額が表示されます。

## 親勘定に対する子勘定および関連する孫勘定情報の表示

[親/子表示] フォームにアクセスします。

親勘定に対する子勘定や関連する孫勘定を表示するには、[住所No.] の下に表示された該当するファイル フォルダの左にある [+] ボタンをクリックします。

## 顧客勘定の処理

このセクションでは、顧客勘定の回収処理とワークフローを使った顧客勘定管理の概要、および以下の方法について説明します。

- [取引残高照会] フォームを使用した顧客勘定の処理
- ワークフロー管理を使用した顧客勘定の処理

## 顧客勘定の回収処理について

顧客残高照会プログラム (P03B218) を使用して、顧客勘定の回収処理を行います。顧客勘定を処理する際、連絡先、連絡日付、支払約束の条件などの取引活動を詳細に記した約束メモ メッセージを入力します。約束メモ メッセージを入力することで、回収を促す通知、顧客との交信記録、および将来の活動を効率的に管理することができます。

約束メモ メッセージを入力する際、備忘日付も入力します。備忘日付が過ぎるまで全てのメッセージが保留されます。備忘日付に基づき、顧客勘定に注意を払うよう喚起するワークフロー メッセージが作成されます。

以下の各項目に該当する場合にのみ、顧客勘定は処理済みと見なされます。

- 約束メモを入力した場合 (活動タイプ 30 の場合のみ)
- 顧客勘定が備忘日付を迎えた場合
- 与信分析データの再作成プログラムを実行した場合

[取引残高照会] フォームの [処理済み] オプションを使用して、処理済みの取引をいつでも表示できます。

顧客の請求書が入力された各会社の取引レコードの他に、全ての会社の合計を示す会社 00000 の集計レコードが表示されます。顧客の全ての取引を処理するには、各会社の取引全てを処理する必要があります。会社 00000 の取引を処理してもその顧客の全ての会社の取引が処理されるわけではありませんが、会社 00000 を処理することで、その顧客の会社全てが処理済みであることを示すことができます。たとえば、会社 00000 のレコードだけを検索して、対象レコードのみを処理できます。

---

**注:** 顧客残高照会プログラムではなく顧客勘定の取引活動ログ プログラムから直接約束メモ メッセージを入力した場合でも、取引は処理済みと見なされます。

---

## ワークフローを使った顧客勘定の管理について

与信および回収の目的で顧客取引情報を管理する上で、早急な対処を要する取引に関連付けられたイベントについて通知を受ける必要があります。たとえば、顧客の支払が滞り、期限経過の請求書に対して延滞利息金を科すか、または延滞通知を作成するかを決める必要がある場合などに、回収管理者は通知を受ける必要があります。

このような通知機能を実現するために、売掛管理システムではエンタープライズ ワークフロー管理システムに複数の待ち行列が用意されていて、特定の売掛管理のタスクに関するメッセージを受信したり、それに対して返信したりすることができます。これらの自動メッセージから該当するアプリケーションへアクセスし、処理を進めることができます。これにより、与信管理者や回収管理者は、顧客勘定の処理に必要なタスクを効率的に遂行することができます。

売掛管理システムには以下の待ち行列が設定されており、与信分析データの再作成プログラムにより作成された与信および回収のワークフロー メッセージを円滑に処理できます。

待ち行列	用途
回収管理	<p>回収上の理由から、回収管理者に検討の必要がある顧客勘定を通知する警告メッセージのための待ち行列です。この待ち行列内のメッセージは、顧客に対して設定されている延滞処理方針に基づいて自動作成されたものです。回収には、以下のメッセージが使用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 回収の検討が必要</li> <li>• 外部回収機関の使用を推奨</li> </ul> <p>支払が滞っている顧客勘定に対して何らかの処置が必要かどうかを判断する基準となるルールは、延滞処理方針で定義します。具体的には、延滞利息金や延滞通知の作成、または顧客勘定に要検討のフラグを立てる処理などがあります。</p>
与信管理	<p>この待ち行列は、顧客勘定が与信限度額を超過した場合、与信限度額が変更された場合、または与信検討日付が過ぎた場合に、与信管理者に警告を発します。</p> <p>与信管理者は、受信したワークフロー メッセージから[与信情報の照会]フォームにアクセスし、顧客の与信限度額を検討および更新できます。</p>
延滞通知の承認	<p>この待ち行列により、回収管理者は自動生成された延滞通知を、顧客への送付前に確認することができます。</p> <p>回収管理者は、受信したワークフロー メッセージから詳細情報にアクセスし、通知を承認または却下できます。メッセージと共に、通知金額および支払期日を過ぎている金額の合計が保管されます。</p>
延滞利息金の承認	<p>この待ち行列により、回収管理者は、支払期日を過ぎた顧客勘定の残高に対して計算された延滞利息金を検討できます。</p> <p>与信管理者は、受信したワークフロー メッセージから詳細情報へアクセスし、延滞利息金を承認または却下できます。メッセージと共に、延滞利息金額および支払期日を過ぎている金額の合計が保管されます。</p>
支払約束	<p>この待ち行列は、備忘日付に基づいて、顧客勘定に対して入力された約束メモメッセージを与信および回収管理者へ通知します。たとえば、約束メモメッセージとして、支払期日を過ぎている請求書や予定支払日に関して回収管理者と顧客の間で交わされた会話などが記録されます。</p> <p>ワークフロー メッセージから直接約束メモメッセージにアクセスして、メッセージを更新することはできません。メッセージの更新には、[取引活動ログ]フォームを使用します。</p>

顧客勘定に備忘メッセージはあるが、期日超過の残高がない場合には、その取引は検討対象として表示されません。支払期日超過の残高が支払されると、その取引は決済済みと見なされます。

**関連項目:**

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

**顧客勘定の処理に使用するフォーム**

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[取引活動ログ]	W03B31A	[与信/回収管理] (G03B15)、[顧客残高照会] [取引残高照会] フォームで顧客勘定を選択し、[ロー]メニューの[支払約束]をクリックします。	[活動メッセージ] フォームで顧客勘定を処理し、このフォームに戻ったら、[検索]をクリックしてフォームに表示される顧客勘定の情報をリフレッシュしてください。  注: 金額フィールドは、延滞通知や延滞利息金など、支払約束以外の活動に使用されます。これらのフィールドは、ブランクのままにしておくことも、または必要に応じて入力することもできます。
[活動メッセージ]	W03B31G	[取引活動ログ] フォームで、[追加]をクリックします。	連絡先、連絡日付、支払約束の条件などの取引活動を詳細に記した約束メモメッセージを入力して、顧客勘定の回収処理を行います。
[ワーク・センター]	W012503F	[ワークフロー管理] (G02)、[従業員ワーク・センター]	ワークフロー管理を使って、顧客勘定の処理を行います。

**[取引残高照会] フォームを使った顧客勘定の処理**

[活動メッセージ] フォームにアクセスします。

**[活動項目タイプ]**                      活動項目タイプ 30 が表示されます。顧客勘定の処理を行うには、この活動項目タイプを使用する必要があります。

**[活動日付]**                              与信分析データの再作成の実行時に使用される備忘日付を入力します。顧客勘定は、備忘日付まで処理済みとして更新されます。備忘日付以降に与信分析データの再作成を実行すると、顧客勘定は未処理状況に戻り、再び検討することが可能になります。

**[活動優先度]**                              [取引活動ログ] フォームで活動を表示する順番を管理する番号を入力します。

**テキスト ボックス**                      約束メモ メッセージの内容を入力します。

**ワークフロー管理を使用した顧客勘定の処理**

[ワーク・センター] フォームにアクセスします。

ワークフロー管理を使用して顧客勘定を処理するには、次の手順に従います。

1. 与信および回収管理者宛てのメールがあるメールボックスの待ち行列を検索するために、[ワーク・センター] フォームの [関連付けられた住所 No.] および [備忘日付] フィールドに値を入力し、[検索] をクリックします。
2. 与信管理の待ち行列を展開し、全ての与信メッセージを表示します。  
最初の与信メッセージが表示されます。
3. 作業項目マネージャで顧客勘定の処理を行うには、メッセージを選択し、詳細メディア オブジェクト ボタンをクリックします。  
メッセージの内容に基づいて、適切なフォームが表示されます。たとえば、与信承認が必要な場合は、[ワークフローの承認] フォームが表示されます。顧客が与信限度額を超過している場合は、[与信情報の照会] フォームが表示されます。  
処理が終了したら、ワークフロー メッセージを削除できます。

---

## 回収レポートの印刷

このセクションでは、回収レポートの概要と以下の方法について説明します。

- 回収レポート プログラムの実行
- 回収レポート (R03B461) の処理オプションの設定

### 回収レポートについて

支払期日を過ぎた取引のある顧客の未入金項目を検討するには、回収レポートを印刷します。このレポートを使用して、特定の請求書または顧客を外部の回収機関に委託するかどうかを決定します。

請求書の外部回収を可能にするには、顧客マスター レコードの 回収レポート オプションを有効にする必要があります。さらに、住所録からの売掛金元帳の更新プログラム (R03B802) を実行して、顧客の既存の未決済請求書レコード (F03B11) の 回収レポート フィールド (RPCOLL) の値を "Y" に更新する必要があります。回収レポートでは、このフィールドの値に基づいて請求書が選択されます。顧客マスター レコードの回収レポート オプションが有効になっている顧客に対し新規に入力される請求書のこのフィールドは、自動的に "Y" に更新されます。

この回収レポートは、テスト モードまたは最終モードで実行できます。最終モードで実行する場合は、処理オプションで回収理由コードを入力する必要があります。回収理由コード フィールド (RPCORC) は、レポートに印刷するように選択した請求書レコードに入力した理由コードに更新されます。データ選択を使用して、レポートに出力される請求書を限定したり、出力対象の顧客を除外したりできます。

レポートには、請求書の総額と未決済金額の両方が国内通貨と外貨で出力されます。

---

**注:** 回収レポートの印刷後も、顧客レコードの 回収レポート オプションは自動的には無効になりません。必要に応じてオプションを手動で無効にする必要があります。

---

### 回収レポート プログラムの実行

[売掛管理レポート] メニュー (G03B14) の [回収レポート] をクリックします。

### 回収レポート (R03B461) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## 処理

この処理オプションでは、プログラムをテスト モードまたは最終モードのどちらで実行するか、および顧客レコードに割り当てる回収理由コードを指定します。

1. モード
 

プログラムをテスト モードと最終モードのどちらで実行するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モードで実行する。レポートが印刷されるだけで、テーブルは更新されません。

1: 最終モードで実行する。レポートが印刷され、F03B11 テーブルの選択したレコードが回収理由コード処理オプションで指定した回収理由コードで更新されます。
2. 回収理由コード
 

処理の対象として選択した F03B11 テーブルのレコードに割り当てる回収理由コードを指定します。指定する回収理由コードは、ユーザー定義コード 03B/CL (回収理由コード) に設定されている必要があります。取引をこの回収理由コードで更新するには、レポートを最終モードで実行します。

## 与信情報の検討と改訂

このセクションでは、与信情報の改訂の概要とその方法について説明します。

### 与信情報の改訂について

与信情報の検討および改訂を行う場合、顧客勘定を検索して、その勘定が与信限度額を超過していないか、または与信検討日付を過ぎていないかを判断します。

QBE ローのフィールドを使用して、与信限度額が指定額以上の全ての顧客レコードを検索できます。与信検討日付が今月に設定されている顧客レコードや、特定の与信メッセージが設定されている顧客レコードを検索することもできます。

F03012 テーブルの情報が [与信情報の照会] フォームに表示されます。会社別に設定された各レコードが表示されます。業種別処理を使用しない場合は、会社 00000 のレコードのみの情報が表示されます。

### 与信情報の検討と改訂に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[与信情報の照会]	W03B305C	[与信/回収管理] (G03B15)、[与信承認/管理]	顧客の与信情報を確認します。
[顧客マスターの改訂]	W03013B	[与信情報の照会] フォームで、顧客を選択して [選択] をクリックします。	顧客の与信情報を改訂したり、新しい与信情報を入力したりします。

### 与信情報の改訂

[顧客マスターの改訂] フォームにアクセスします。



与信承認/管理 - 顧客マスターの改訂

与信情報の照会 顧客マスターの改訂

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

顧客No. 3333

詳細住所No.

タブを選択: 2-与信

与信限度額	25,000.00	与信検討日付	2005/09/30
与信管理者	CR02 与信管理者 2	前回与信検討日付	2005/06/30
与信メッセージ		顧客レコード作成日付	1998/10/12
一時与信メッセージ			
顧客情報設定者	BW5482707	ABCコード - 売上	C C級
最終与信チェック者		ABCコード - 粗利益	C C級
財務諸表受領日		ABCコード - 平均日数	C C級
Dun Bradstreet日付			
Experian日付			

[顧客マスターの改訂] - [与信] タブ

## [与信限度額]

顧客に対する掛売り販売の限度額を入力します。この金額を超えるとワークフローメッセージが送信されます。この値は、与信管理プログラム全体で使用されます。与信限度額は子（顧客）レベルで管理され、親レベルでは管理されません。与信限度額を超過した場合、その顧客に対してワークフローメッセージが個別に送信されます。与信限度額を設定または変更すると、与信管理者宛てに承認待ちの限度額変更があることを知らせるワークフローメッセージが送信されます。与信限度額の変更は、与信管理者により承認されるまで顧客レコードには反映されません。

## [与信メッセージ]

顧客または仕入先の与信状況を示すユーザー定義コード テーブル 00/CM の値を入力します。入力例を以下に示します。

- 1: 与信限度額超過
- 2: 購買オーダー必要
- 3: メンテナンス契約上がない

この与信メッセージは、買掛管理、受注管理、調達管理の各システムの照会フォームや取引入力フォームに表示されます。売掛管理システムでは一時与信メッセージが表示されます。

## [一時与信メッセージ]

暫定的な与信状況を示すユーザー定義コードを入力します。通常、このコードは、勘定の支払期日が過ぎた場合に手動で割り当てます。顧客に割り当てられた方針に設定されている延滞通知指示に基づいて、一時与信メッセージが自動的に更新されます。延滞方針で一時与信メッセージのリセット オプションが有効に設定されている場合、一時与信メッセージは自

動的に与信メッセージにリセットされます。顧客レコードに対し、一時与信メッセージの入力および更新を手動で行うことも可能です。

このフィールドをブランクにすると、与信分析データの再作成 (R03B525) の実行時に、[与信メッセージ] フィールドの値が割り当てられます。

一時与信メッセージは、売掛管理システムと受注管理システムの取引入力フォームに表示されます。

<b>[与信検討日付]</b>	顧客の与信情報の検討日を入力します。
<b>[顧客レコード作成日付]</b>	顧客レコードが作成された日付が表示されます。
<b>[顧客情報設定者]</b>	顧客レコード作成者のユーザー ID が表示されます。ユーザー ID はシステムにより自動的に入力されます。
<b>[財務諸表受領日]</b>	会社の信用価値を評価するための財務諸表が受領された日付を入力します。
<b>[Dun Bradstreet 日付]</b>	Dun & Bradstreet 格付が付与された日付を入力します。
<b>[Experian 日付]</b>	Experian 格付が付与された日付を入力します。

与信限度額を変更して [OK] をクリックすると、[ワークフロー保留検討通知] ウィンドウが表示されます。[OK] をクリックして、承認を申請するワークフロー メッセージを送信します。

---

## (Rapid Start) Processing Statements and Managing Collections

This section discusses:

- How to process statements and manage collections.
- Preconfigured processing options for Update AR from Address Book (R03B802).
- Preconfigured processing options for Statement Notification Refresh (R03B500X).
- Preconfigured processing options for Statement Print Program (R03B5001).
- Preconfigured processing options for Review Statement (P03B202).
- Preconfigured processing options for Credit Analysis Refresh – Update F03B15 Table (R03B525).
- Preconfigured processing options for Open A/R Summary Analysis (R03B155).
- Preconfigured processing options for Print Activity Log (R03B31).
- Preconfigured processing options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16).
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Collection Report (R03B461).
- Preconfigured processing options for Great Britain Delinquency Notices (R03B525).
- Preconfigured processing options for Great Britain Delinquency Notice Print (R03B20).

## Processing Statements and Managing Collections

This table lists the tasks for processing statements:

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data
Update invoices from address book.	Credit and Collections Processing Update AR from Address Book	R03B802/RIS0001	None.
Generate customer statements.	Credit and Collections Processing Process Statements	R03B500X/RIS0001 R03B5001/RIS0001	None.
Review customer statements.	Credit and Collections Processing Review Statements	P03B202/RIS0001	None.
Update customer balances.	Credit and Collections Processing Refresh Credit and Collection Information.	R03B525/RIS0001	None.
Review customer balances online	Credit and Collections Processing Manage Customer Balances.	P03B218/No version	None.
Review customer balances using a report.	Credit and Collections Processing Print Customer Balances and Credit Report.	R03B155/RIS0001	None.
Review customer balances by parent/child.	Credit and Collections Processing Review Parent/Child Balances.	P03B151/No version	None.
Review customer activities online.	Credit and Collections Processing Review Account Activity Log.	P03B131/No version	None.
Print customer activities.	Credit and Collections Processing Print Activity Log.	R03B31/RIS0002	None.
Review customer credit.	Credit and Collections Processing Review and Revise Customer Credit.	P03B305/No version	None.

Task	Navigation	Program and Version	Preconfigured Data
Generate statistical information.	Credit and Collections Processing Refresh Statistical History	R03B16/RIS0001	Credit and collections date pattern is set up with periods for each calendar month.
Review statistical information online.	Credit and Collections Processing Review Statistical Information	P03B16/No version	None.
Print statistical information.	Credit and Collections Processing Print Statistical Calculations	R03B1691/RIS0001	None.
Review outstanding items for customers with past-due accounts.	Credit and Collections Processing Collection Report	R03B461 RIS0001	None.
(Rapid Start GBR) Generate delinquency notices.	Credit and Collections Processing Print Delinquency Notices	R03B525/RIS1001 R03B20/RIS1001	None.
(Rapid Start GBR) Review delinquency notices.	Credit and Collections Processing Review Delinquency Notices	P03B202/RIS0001	None.
(Rapid Start GBR) Approve delinquency notices.	Credit and Collections Processing Approve Delinquency Notices.	P03B201/No version	None.

Data reports provide additional information about data that has been preconfigured for Rapid Start.

#### 関連項目:

第 19 章、「延滞通知と延滞利息金の処理」、559ページ

## Preconfigured Processing Options for Update AR from Address Book (R03B802)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Payor	1
2. Alpha Name	1

## Preconfigured Processing Options for Statement Notification Refresh (R03B500X)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Consolidation**

Processing Option Description	Value or Status
1. Company	blank

**Aging**

Processing Option Description	Value or Status
1. Company Constants	blank
2. Statement Date	4/1/2005
3. Date Type	D
4. Aging Categories	1
5. Aging Category 1	-30
6. Aging Category 2	0
7. Aging Category 3	30
8. Aging Category 4	60
9. Aging Category 5	90
10. Aging Category 6	120
11. Credits	blank
12. Exclude Future Amounts	blank
13. Multi-Currency	blank
14. Draft Flag	blank

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Remit To Address	blank
2. Print Statement by Due Date	blank
3. Print Program	R03B5001
4. Version of Print Program	BONNIE
5. Letter Name	blank
6. Letter Type	blank

**Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Date – As Of	blank
2. Statement Number Update	blank
3. Summarize Invoices	blank

## Preconfigured Processing Options for Statement Print Program (R03B5001)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Aging Information	1
2. Suppress Account Summary	blank
3. Print Date	blank
4. Print Statement Number	1
5. Print ' Remit to ' Address	1
6. Print Summarized Invoices Blank	1

## Preconfigured Processing Options for Review Statement (P03B202)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Version**

Processing Option Description	Value or Status
1. Version of the Statement Notification Reset (R03B5015) for the statement to be reset. Blank	RIS0001

## Preconfigured Processing Options for Credit Analysis Refresh – Update F03B15 Table (R03B525)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Aging**

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Company Constants	1
2. Aging Date	blank
3. Date Type	blank
4. Aging Method (1,2,3)	blank
5. Aging Category 1	-30
6. Aging Category 2	0
7. Aging Category 3	30
8. Aging Category 4	60
9. Aging Category 5	90
10. Aging Category 6	120
11. Aging Category 7	150
12. Aging Category 8	999
13. Unapplied Receipts Aging	1
14. Credit Amount Aging	1

**Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Credit Cash Management Table (F03B15)	blank

## Notices

Processing Option Description	Value or Status
1. Generate Delinquency Notices	blank
2. Notice Print Program	blank
3. Version for Notices	blank
4. Remit To Address	blank
5. Consolidate Companies	blank
6. Determine Severity Level	blank

## Fees

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Fee Report	blank
2. Version for Fee Processing	blank
3. G/L Date	blank
4. Late Payment Delinquency Fees	blank
5. Version for Late Payment	blank
6. Payment Terms Code	blank
7. Currency of Fees	blank

## Preconfigured Processing Options for Open A/R Summary Analysis (R03B155)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Insured Credit Limit

Processing Option Description	Value or Status
1. Open Amount to be Exceeded	blank
2. Currency Code of Open Amount	blank
3. Standard or Insured Credit Limit	blank

## Preconfigured Processing Options for Print Activity Log (R03B31)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.



**Attachments**

Processing Option Description	Value or Status
1. Attachments	1

**Preconfigured Processing Options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**DSO**

Processing Option Description	Value or Status
1. DSO Calculation Method	blank
2. Number of Periods	0

**Calculations**

Processing Option Description	Value or Status
1. Calculate DSO	blank
2. Calculate High Balance	blank

**Summary Record**

Processing Option Description	Value or Status
1. Number of Days for Summary	365
2. Thru Date	blank

**Preconfigured Processing Options for Collection Report (R03B461)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Mode	blank
2. Collection Reason Code.	blank

**Preconfigured Processing Options for Great Britain Delinquency Notices (R03B525)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS1001.

**Aging**

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Company Constants	1
2. Aging Date	blank
3. Date Type	blank
4. Aging Method (1,2,3)	blank
5. Aging Category 1	-30
6. Aging Category 2	0
7. Aging Category 3	30
8. Aging Category 4	60
9. Aging Category 5	90
10. Aging Category 6	120
11. Aging Category 7	150
12. Aging Category 8	999
13. Unapplied Receipts Aging	blank
14. Credit Amount Aging	blank

**Update**

Processing Option Description	Value or Status
1. Update Credit Cash Management Table (F03B15)	blank

**Notices**

Processing Option Description	Value or Status
1. Generate Delinquency Notices	1
2. Notice Print Program	R03B20
3. Version for Notices	RIS1001
4. Remit To Address	blank
5. Consolidate Companies	blank
6. Determine Severity Level	blank

**Fees**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Fee Report	blank
2. Version for Fee Processing	blank
3. G/L Date	blank
4. Late Payment Delinquency Fees	blank
5. Version for Late Payment	blank
6. Payment Terms Code	blank
7. Currency of Fees	blank

## Preconfigured Processing Options for Great Britain Delinquency Notice Print (R03B20)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS1001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Remit to Address	1
2. Account Aging	1
3. Currency Type	1
4. Number of sent reminders	1

## 信用報告テープの作成

このセクションでは、信用報告テープとその要件の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- Experian 信用報告テープの作成プログラムと Creditel 信用報告テープの作成プログラムの実行
- Experian 信用報告テープの作成 (R03B920) の処理オプションの設定
- Creditel 信用報告テープの作成 (R03B920C) の処理オプションの設定

## 信用報告テープについて

顧客の与信情報管理の一環として、売掛金情報の磁気テープを外部信用調査機関に送付する場合があります。その場合、信用報告テープを作成する必要があります。

信用報告テープの作成時に、システムにより以下の処理が実行されます。

- 処理オプションの設定に基づいた与信/資金管理テーブル (F03B15) の更新
- F03B15 テーブルに保管された情報の読み込み
- 特定の信用調査機関の標準様式に合わせた顧客の売掛金情報のフォーマット
- Experian 信用報告テープ テーブル (F03B920) または Creditel 信用報告テープ テーブル (F03B920C) の更新

信用報告テープ テーブルの情報を適切なメディアにコピーして、以下の信用調査機関のいずれか（複数可）に送付します。

- Experian
- Dun & Bradstreet
- Creditel

これらの信用調査機関は、受領したテープの情報を処理して顧客の信用格付けを行います。

プログラムが実行されるたびに、信用報告テーブルのデータは削除されます。レコードがテーブルに追加されることはありません。

### 複数のバージョンの同時実行

信用報告テープの作成プログラムで複数のバージョンを同時に実行しようとする、バージョン間で信用テープ テーブル (F03B902 または F03B902C) へのアクセス競合が発生し、エラー メッセージが表示されます。

### 複数の会社の信用テープの作成

複数の会社に対して信用テープを作成する場合、信用報告テープの作成プログラムのバージョンを個別に設定してください。

## 信用報告テープの要件について

以下の表は、各信用調査機関によって指定されている信用報告テープの要件を説明しています。

信用調査機関	信用報告テープの要件
Experian	<p>この信用調査機関では、以下の事項が要求されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>残高に関係なく、全ての顧客を信用報告テープに含める。残高がゼロの顧客も含まれるように処理オプションを設定できます。これにより、期日通りに支払を済ませている顧客や、残高がゼロの顧客の漏れがなくなります。</li> <li>報告テープに含まれる会社の SIC (標準産業コード) を指定する。顧客の SIC は、顧客マスターレコードで設定します。</li> <li>Experian から入手した 4 桁のビジネスコードを処理オプションに入力する。</li> <li>顧客の支払条件を示す 7 桁のビジネスコードを使用する。そのためには、Experian 定義と、ユーザー定義コードリスト (03B/PT) の 3 桁の支払条件フィールドとの相互参照を設定する必要があります。</li> </ul>
Dun & Bradstreet	<p>この信用調査機関では、Experian の要件を満たすテープが受理されます。Dun &amp; Bradstreet テープの処理には、Experian 信用報告テープの作成プログラムを使用します。</p>
Creditel	<p>この信用調査機関では、特に要件の指定はありません。</p>

### Experian 信用報告テープ テーブル (F03B920) の値

以下の表は、Experian 信用報告テープの作成プログラム (R03B920) の実行時に、F03B920 テーブルに書き込まれる値の一覧です。情報は 3 つのレコード タイプにまとめられます。

#### A レコード

次の表に、レコード タイプ A の各フィールドの値を示します。

内容	サイズ
"A"	1
処理オプションの提供者番号	6
"C75001"	6
スペース	157
システム日付	6
"TRW CONTRIBUTOR FILE"	20
スペース	154

## C レコード

次の表に、レコード タイプ C の各フィールドの値を示します。

内容	サイズ
"C"	1
処理オプションの提供者番号	6
処理オプションのビジネス カテゴリコード	4
顧客名	40
親名称	40
顧客住所行 1	30
顧客住所行 2	30
会社の SIC コード	4
スペース	1
2	1
顧客の市町村	40
顧客の郵便番号	10
顧客の州/都道府県	2
スペース	3
処理オプションの締切日付	6
顧客の住所番号	8
産業分類コード	4
顧客の電話番号	12
スペース	4
取引年数	2
前回請求日付 (YYMM)	4
支払条件	7
0	1

内容	サイズ
最高残高	8
処理オプションの金額印刷形式	1
未決済金額	8
スペース	1
将来金額 + 現行金額	7
スペース	1
経過金額 1	7
スペース	1
経過金額 2	7
スペース	1
経過金額 3	7
スペース	1
経過金額 4 + 経過金額 5 + 経過金額 6 + 経過金額 7	7
スペース	1
000000	6
スペース	2
000000000	9
スペース	13

## Z レコード

次の表に、レコード タイプ Z の各フィールドの値を示します。

内容	サイズ
"Z"	1
C レコードの件数	7
0000000000	10
未決済金額	10

内容	サイズ
将来金額 + 現行金額	10
経過金額 1	10
経過金額 2	10
経過金額 3	10
経過金額 4 + 経過金額 5 + 経過金額 6 + 経過金額 7	10
スペース	272

### Creditel 信用報告テープ テーブル (F03B920C) の値

以下の表は、Creditel 信用報告テープの作成プログラム (R03B920C) の実行時に、F03B920C テーブルに書き込まれる値の一覧です。情報は 3 つのレコードタイプにまとめられます。

#### A レコード

次の表に、レコードタイプ A の各フィールドの値を示します。

内容	サイズ
" "	1
"A"	1
処理オプションの提供者番号	6
" "	1
締切日付	6
システム日付	6
"CREDITEL MEMBER A/R"	19
スペース	219

#### D レコード

次の表に、レコードタイプ D の各フィールドの値を示します。

内容	サイズ
"D"	1
"3"	1
住所番号	20



内容	サイズ
名前	40
住所行 1	40
市町村	40
州/都道府県	40
郵便番号	40
取引年数	2
” “	1
”00000”	5
” ”	1
未決済金額	7
” ”	1
将来金額 + 現行期日金額	7
” ”	1
経過金額 1	7
” ”	1
経過金額 2	7
” ”	1
経過金額 3	7
スペース	5
電話番号	10
”0000000000”	10
スペース	3

## Z レコード

次の表に、レコード タイプ Z の各フィールドの値を示します。

内容	サイズ
" "	1
"Z"	1
Cレコードの件数	7
000000000000	12
未決済金額	10
将来金額+現行金額	10
経過金額 1	10
経過金額 2	10
経過金額 3	10
スペース	224

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- ・住所録からの売掛金元帳の更新プログラム (R03B802) を実行します。
- ・信用調査機関に連絡して、必要な情報を入手します。
- ・磁気テープ作成用のドライブを準備します。
- ・与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行します。別の方法として、テープの作成に先立ち、信用報告テープの作成プログラムの処理オプションを設定して与信分析データの再作成を実行することができます。

## Experian 信用報告テープの作成プログラムおよび Creditel 信用報告テープの作成プログラムの実行

[与信/回収管理] メニュー (G03B15) から [Experian 信用報告テープ] (R03B920) または [Creditel 信用報告テープ] (R03B920C) を選択します。

## Experian および Dun & Bradstreet 信用報告テープの作成 (R03B920) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### オプション

1. 提供者番号      テープに記録されたレコードが正しく識別されるように、信用調査機関から割り当てられた提供者番号を指定します。
2. ビジネス カテゴリ コード      信用調査機関から割り当てられた 4 桁のコードを指定します。

- 3. 処理日付** 信用報告テープに使用する日付を指定します。blankにすると、システム日付が使用されます。
- 4. 金額印刷形式** 信用報告書に印刷する金額のフォーマットに使用するコードを指定します。ユーザー定義コード 03B/AC (金額印刷形式) に設定されている値を入力してください。有効値は以下のとおりです。
- 0: 入力したとおりに金額を印刷する。これはデフォルト値です。
  - 1: 勘定残高が 100,000 を超える場合、+100,000 と印刷する。
  - 2: 勘定残高が 200,000 を超える場合、+200,000 と印刷する。
  - 3: 勘定残高が 300,000 を超える場合、+300,000 と印刷する。
  - 4: 勘定残高が 400,000 を超える場合、+400,000 と印刷する。
  - 5: 勘定残高が 500,000 を超える場合、+500,000 と印刷する。
- 5. 与信分析データの再作成 (R03B525) のバージョン** 使用する与信分析データの再作成プログラム (R03B525) のバージョンを指定します。

## Creditel 信用報告テープの作成 (R03B920C) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 情報の送信

以下の処理オプションで、信用報告テープに書き込まれる情報を指定します。

- 1. メンバー番号** テープに記録されたレコードが正しく識別されるように、信用調査機関から割り当てられたメンバー番号を指定します。
- 2. 処理日付** Creditel 信用報告テープに使用する日付を指定します。blankにすると、システム日付が使用されます。

### 与信/資金管理

この処理オプションで、与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行するかどうかを指定します。

- 1. 与信分析データの再作成 (R03B525) のバージョン** F03B920C テーブルの更新に先立って実行する与信分析データの再作成プログラム (R03B525) のバージョンを指定します。与信分析データの再作成プログラムは、バージョンを指定した場合にのみ実行されます。

---

## (FRA) Managing Bad Debts for France

This section provides an overview of bad debts and discusses how to enter an unrecoverable loss.

### Understanding Bad Debts

When an Accounts Receivable (A/R) trade account becomes a solvency risk (for example, legal rectification), the A/R trade account is recognized as a Doubtful A/R trade account, regardless of the invoice due date. You create an entry in a Doubtful A/R trade account every time that a posted invoice, or several invoices, represents a risk.

In the French chart of accounts, a special account exists in class 4 as a subset of account 411000 – Trade Accounts Receivable, and is used for doubtful clients and client accounts in litigation.

When you recognize a client account as a bad debt, you transfer the receivable amount, including any value added tax (VAT), to account 416000 – Bad Debts. You also create the necessary accounting entries between account 416000 – Bad Debts and account 411000 – Trade Accounts Receivable. In addition, you must create the necessary accounting entry in account 491000 – Provision for Doubtful Trade Account.

### G/L Offset Transfer Method

Use the G/L Offset Transfer method to transfer invoices from the Trade Accounts Receivable account to the Bad Debts account. To do this transfer, use the chargeback procedure in the receipts entry program. When you use the chargeback procedure, you close the invoice by opening a new document (document type RB). You can manually change the G/L offset for the new document to the Bad Debts account (416000).

You can use this method to create one new document per invoice or one new document for all the invoices that you want to transfer to the Bad Debts account.

If you create one document for multiple invoices, you can associate bad debts with document type RB. Otherwise, remembering that document type RB might identify other types of chargebacks, in addition to bad debts, is important.

To further identify clients with bad debts, you can specify the credit message D (for bad debts) on the customer master record for the client.

---

**注:** The disadvantage of the G/L Offset Transfer method is that the system does not include the original data relative to that client's invoices on any A/R reports that you print. However, this situation might not be a disadvantage if you are accustomed to tracking this information by using online inquiries.

---

### Payment Status Modification Method

You can modify the payment status for invoices that are considered bad debts. For this action, you must create a specific payment status code, such as X, for bad debts. To further identify clients with bad debts, you can specify credit message D (bad debts) on the client's Customer Master record.

If you use the payment status modification method and indicate the credit message D on the Customer Master record, you must:

- Modify the data selection for the A/R Open Detail and Summary reports so that invoices identified as bad debts (payment status X) are excluded.
- Create report versions to report on clients who are identified as bad debts.
- Manually enter a reversing journal entry at the end of the month to offset the difference between the A/R Trade Accounts and the Doubtful A/R Trade Account. You can print this information on the Trial Balance report by G/L Offset. Use data selections to include only records with the payment status for bad debts (X).

---

**注:** The advantage of the Payment Status Modification method is that you can maintain the information in the system relative to the original invoice, and you can easily access and update bad debt information. The disadvantages are that the setup phase is more complex and you are required to make a monthly manual entry. This solution is recommended if you need to keep the original invoice information to process delinquency notices.

---

After you have made the entries to the A/R trade account as a doubtful account, you must enter an A/R Doubtful Provision.

## A/R Doubtful Provision Method

Use the Customer Ledger Inquiry program (P03B2002) to enter the negative provision. You must set the G/L Offset code to this account:

491000 – Provisions pour créances douteuses (A/R doubtful provision).

---

**注:** The advantage of the A/R Doubtful Provision method is that you can maintain the information in the A/R Trade accounts as required by French law.

---

If the invoice is paid after you enter the doubtful provision, you must void the invoice for that doubtful provision using the Customer Ledger Inquiry program.

If the invoice will never be paid, you must enter an unrecoverable A/R loss.

## Forms Used to Manage Bad Debts for France

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
Work with Customer Ledger Inquiry	W03B2002A	Customer Invoice Entry (G03B11), Standard Invoice Entry	Enter unrecoverable losses.

## Entering an Unrecoverable Loss

Access the Work With Customer Ledger Inquiry form.

To enter an unrecoverable loss:

1. Cancel the original revenue by entering a loss (and corresponding VAT) in account 654000 – Pertes sur créances irrécouvrables (unrecoverable loss).
2. Close the A/R Doubtful Trade account (416000) by entering the correct G/L Offset code.

---

**重要:** Do not forget to void the A/R Doubtful Trade account (416000) and then calculate the net.

---



## 第 19 章

# 延滞通知と延滞利息金の処理

この章では、以下の方法について説明します。

- 延滞通知の作成
- 延滞通知の処理
- 延滞料金の作成
- 延滞料金の処理

**関連項目:**

第 6 章、「与信/回収管理の設定」、103ページ

---

## 延滞通知の作成

このセクションでは、延滞通知の作成の概要と、延滞通知の印刷プログラムの実行方法について説明します。

### 延滞通知の作成について

与信分析データの再作成プログラム (R03B525) の延滞通知の印刷バージョンを実行して延滞通知レコードを作成します。このバージョンには、延滞通知の印刷用に設定された事前定義済みの処理オプションがあります。通知は、顧客に割り当てられた延滞方針に基づいて作成されます。

#### 年齢調べカテゴリ/重要度

延滞通知の印刷プログラム用の重要度の決定処理オプションによって、年齢調べカテゴリまたは重要度に基づいて方針情報（延滞通知指示）を読み込むかどうかは制御されます。

- 年齢調べカテゴリを選択した場合は、売掛管理固定情報に設定されている年齢調べカテゴリを使用するか、処理オプション（年齢調べタブ）に設定されている年齢調べカテゴリを使用するかを選択することができます。

年齢調べ日付、日付タイプ、指定された年齢調べ方法によって請求書に使用する適切な年齢調べカテゴリが決定され、その年齢調べカテゴリに関連付けられている延滞通知指示が読み込まれます。

たとえば、期限超過請求書が年齢調べカテゴリ 2 にある場合、年齢調べカテゴリ 2 の延滞通知が読み込まれます。

- 重要度を選択した場合は、延滞通知送付回数フィールド (RMDS) の値によって、使用する延滞通知指示が決定されます。

たとえば、請求書が延滞通知 2 件に記載されている場合 (RMDS の値が2)、重要度 3 に設定されている延滞通知指示が読み込まれます。

## 階層型延滞方針

方針定義時に階層型延滞方針を使用するかどうかは、階層型延滞方針使用オプションを選択して指定します。

- 階層型延滞方針を使用すると、請求書が割り当てられている年齢調ベカテゴリー（または重要度）に対して方針が設定されている場合に限り通知が生成されます。

年齢調ベカテゴリーまたは重要度が定義されていない場合は、通知は生成されません。

たとえば、請求書が年齢調ベカテゴリー 5 にあり、延滞通知指示が年齢調ベカテゴリー 5 ではなく 4 に設定されている場合、延滞通知は生成されません。

- 階層型延滞方針を使用しない場合は、通知が生成されるように請求書を指定された年齢調ベカテゴリーに入れる必要はありません。

請求書が方針で指定されている年齢調ベカテゴリーよりも大きい年齢調ベカテゴリー内にある場合も通知は生成されます。

たとえば、請求書が年齢調ベカテゴリー 5 にあり、延滞通知指示が年齢調ベカテゴリー 5 ではなく 4 に設定されている場合は、延滞通知が生成されます。

## 規定値 (%)、猶予日数、支払期限までの日数

方針の通知指示に年齢調ベカテゴリーまたは重要度を使うのとは別に、延滞通知が生成されるかどうかを決めるのに、この追加基準が使用されます。

- 規定値 (%)

規定値 (%) を使って、生成する延滞通知の数を金額によって制限します。特定の年齢調ベカテゴリー（または重要度）用の請求書の合計は、顧客の全未決済請求書の規定値 (%) 以上である必要があります。

たとえば、顧客の未決済残高が 7500.00 で規定値 (%) が 20 の場合、年齢調ベカテゴリーの請求書の合計は 1500.00 以上である必要があります。1500.00 に満たない場合は延滞通知が生成されません。

- 猶予日数

最初の延滞通知に限り、請求書の支払期日が猶予日数分延長されます。2 回目以降の延滞通知では猶予日数は使用しません。督促状前回送付日フィールド (RDDJ) の値に前回の延滞通知からの日数が追加されます。請求書がその期日にまだ未収（かつ方針の他の要件を満たす）場合、さらに通知が生成されます。

- 支払期限までの日数

国によっては、延滞通知時に通知支払期日（新期日）を顧客に知らせることが法律によって定められている場合があります。顧客は通知支払期日までに支払う必要があります。このような場合は、通知方針の支払期限までの日数フィールド (PBDY) を使用します。この値が年齢調べ日付に加算され、通知支払期日 (DTPB) の値が決定されて、延滞通知に印刷されます。猶予日数とは異なり、支払期限までの日数は、最初の延滞通知だけではなく、生成される全ての延滞通知に使われます。

猶予日数および支払期限までの日数の両方を使うことができます。たとえば、期日が 2005/6/15、年齢調べ日付が 2005/6/30 で猶予日数を 3 日、支払期限までの日数を 5 日に指定した場合、期日が 2005/6/18 に延長されて年齢調べカテゴリー（および通知方針）が決定され、その後、通知支払期日が 2005/7/15 に更新されます。階層化延滞通知の印刷プログラム (R03B21) を選択した場合のみ、延滞通知に通知支払期日が印刷されます。



**注:** 方針に設定されている通知指示の要件に合う請求書が 1 つでもある場合は、生成される延滞通知に期限超過の請求書が全て印刷されます。ただし、年齢調べカテゴリ（重要度）に設定されている最低金額に満たない請求書は除きます。通知指示で指定されている最低金額に満たない請求書は一切印刷されません。

複数の年齢調べカテゴリまたは重要度にある請求書から延滞通知を 1 件生成する場合は、最も古い年齢調べカテゴリまたは最も高い重要度の通知指示が使用されます。たとえば、年齢調べカテゴリ 2 と 4 にある請求書が方針の要件に合う場合、年齢調べカテゴリ 4 に設定されている通知指示のみが使用されます。

## 延滞通知の承認と却下

方針の [回収管理者の承認必須] チェック ボックスをオンにした場合は、顧客に送付する延滞通知の作成前に、回収管理者の承認が必要になります。顧客レコードで指定された回収管理者に、ワークフローメッセージが送信されます。回収管理者はこのメッセージから [延滞承認の処理] フォームにアクセスするか、メニューから延滞通知の承認プログラム (P03B201) にアクセスし、延滞通知を承認または却下することができます。

管理者の承認が必要ない場合は、印刷用のスプール ファイルが作成されます。

## 延滞通知の印刷

顧客に通知を送信するかは、方針を使用して決定されます。

延滞通知の印刷には次の 2 つのプログラムを使用できます。

- R03B20 – 延滞通知の印刷
- R03B21 – 階層化延滞通知の印刷

次の表は、この 2 つのプログラムの相違点を示しています。

相違点	R03B20	R03B21
印刷されるカラム	通知には以下の情報が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝票番号</li> <li>• 請求書日付</li> <li>• 期日</li> <li>• 備考</li> <li>• 外貨未決済金額</li> <li>• 通貨コード</li> <li>• 未決済金額</li> <li>• 基本通貨コード</li> <li>• 延滞通知送付回数</li> </ul>	通知には、R03B20 の全情報に加えて、以下の情報が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 支払項目</li> <li>• 外貨総額</li> <li>• 総額</li> <li>• 通知日付</li> </ul>
人名録連絡先情報の印刷	NA	タイプコードに基づいて人名録レコードから印刷する連絡先名を指定する処理オプションがあります。

相違点	R03B20	R03B21
請求書の集計または明細の印刷	通知には、各請求書支払項目が印刷されます(明細)。	各請求書の支払項目を印刷(明細)する、または各請求書の伝票を印刷(集計)する処理オプションがあります。
集計手数料	NA	<p>全ての手数料請求書レコードを通知の 1 明細行に集計する処理オプションがあります。</p> <p>集計された手数料レコードの伝票番号には、* が印刷されます。</p>

選択したプログラムに関係なく、延滞通知の印刷はテスト モードでも最終モードでも実行できます。

- テスト モード

テストに指定された通知が印刷されます。売掛金通知実績テーブル (F03B20) と売掛金通知実績明細テーブル (F03B21) から通知を印刷するために一時的に生成されたレコードは削除されます。

- 最終モード

通知が印刷され、レコードが F03B20 テーブルと F03B21 テーブルに作成されます。また、売掛金元帳 (F03B11) の請求書レコードの次のフィールドが更新されます。

- 督促状前回送付日 (RDDJ)
- 延滞通知送付件数 (RMDS)
- 通知支払期日 (DTPB)

延滞通知を印刷する際には、次の処理が行われます。

- 期日が過ぎ、最小金額の条件にあう請求書のみが延滞通知に含まれます。
- それぞれ別の年齢調べカテゴリに入る複数の請求書がある場合は、最新の年齢調べカテゴリに該当するレターが印刷されます。

たとえば、期限を 30 日過ぎていてる場合にレター 1 が印刷される請求書と、期限を 90 日過ぎていてる場合にレター 3 が印刷される請求書がある場合は、レター 3 が印刷され、このレターに期限を過ぎていてる両方の請求書が記載されます。

## データ選択およびデータ順序

データ選択を使用して特定の顧客の通知を印刷するには、延滞通知の印刷プログラム (R03B525) を使用します。売掛金延滞通知の印刷プログラム (R03B20) や階層化延滞通知の印刷プログラム (R03B21) は使用しません。

**重要:** 特定の通知を印刷するようにデータ選択を変更するには、処理オプションを設定して与信/資金管理テーブル (F03B15) の更新を不可にします。この設定を行わないと、指定したデータ選択に応じてテーブルが更新されるため、回収管理者が日々行う回収活動に影響が出ることがあります。

通知に印刷される合計は適切なデータ順序に依存しています。このため、通知生成時に印刷プログラム (R03B20 または R03B21) や延滞通知の印刷プログラム (R03B525) のデータ順序は変更しないでください。

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 延滞通知に印刷するテキストを設定します。
- 方針が定義済みであること、その方針が顧客に割り当てられていること、与信および回収情報が設定されていることを確認します。
- [売掛管理固定情報] フォームおよび [顧客マスターの改訂] フォーム ([回収] タブ) で、[延滞通知] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。

## 延滞通知の印刷プログラムの実行

[計算書/延滞通知処理] メニュー (G03B22) から [延滞通知の印刷] を選択します。

---

## 延滞通知の使い方

このセクションでは、以下の方法について説明します。

- 延滞通知の印刷 (R03B20) の処理オプションの設定
- 階層化延滞通知の印刷 (R03B21) の処理オプションの設定
- 延滞通知の検討 (P03B202) の処理オプションの設定
- 延滞通知の検討
- 年齢調べカテゴリによる請求書の集計情報の検討
- 延滞通知の検討、承認、却下
- 延滞通知の再印刷

### 関連項目:

第 17 章、「計算書の処理」、「計算書/延滞通知の除去」、514ページ

## 延滞通知の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[計算書の処理]	W03B202D	[計算書/延滞通知処理] (G03B22)、[計算書の検討]	延滞通知を再印刷します。 [計算書の処理] フォームを閉じると、プログラムが実行されます。
[延滞通知の検討 (詳細)]	W03B201C	[計算書の処理] フォームで延滞通知を選択し、[選択] をクリック、または [ロー] メニューから [検討] を選択します。	延滞通知が生成されている期限超過請求書を検討します。期限超過請求書を検討するときに、紛失した通知の代わりに最初の延滞通知を印刷したり、顧客用に追加のコピーを印刷することができます。
[印刷情報]	W03B202J	[計算書の処理] フォームで、[ロー] メニューから [印刷情報の変更] を選択します。	計算書を印刷する際に使用する情報を変更します。たとえば、計算書の再印刷に使用する印刷プログラムやバージョンを変更できます。
[通知の要約]	W03B20B	[延滞通知の検討 (詳細)] フォームで、[フォーム] メニューから [集計] を選択します。	年齢調べカテゴリによる請求書の要約情報を検討します。
[延滞承認の処理]	W03B201A	[計算書/延滞通知処理] (G03B22)、[延滞通知の承認]	検索条件に合う F03B20 テーブルの延滞通知を全て表示します。
[延滞通知の検討 (詳細)]	W03B201C	[延滞承認の処理] フォームで延滞通知を選択し、[選択] をクリックします。	延滞通知の検討、承認、却下を行います。

## 延滞通知の印刷 (R03B20) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 印刷

特定の情報を延滞通知に印刷するかどうかを指定します。

#### 1. 支払先住所

支払先住所を延滞通知に印刷するかどうかを指定します。与信分析データの再作成プログラム (R03B525) の処理オプション (延滞通知タブの支払先住所オプション) で指定された住所が印刷されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 印刷しない。

1: 印刷する。

#### 2. 売掛金の年齢調べ

延滞通知に年齢情報を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 印刷しない。

- 1: 印刷する。
- 3. 通貨タイプ** 延滞通知に通貨コードを印刷するか、“TOTAL CURRENCY BALANCE DUE” (合計延滞金額) をスタティック テキストとして印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: TOTAL CURRENCY BALANCE DUE を印刷する。  
 1: 通貨コードを印刷する。
- 4. 延滞通知送付回数** 延滞通知に以前送付した延滞通知送付回数を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 印刷しない。  
 1: 印刷する。

## 階層化延滞通知の印刷 (R03B21) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 印刷

特定の情報を延滞通知に印刷するかどうか、および印刷する情報の形式を指定します。

- 1. 支払先住所** 支払先住所を延滞通知に印刷するかどうかを指定します。与信分析データの再作成プログラム (R03B525) の処理オプション (延滞通知タブの支払先住所オプション) で指定された住所が印刷されます。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 印刷しない。  
 1: 印刷する。
- 2. 人名録連絡先レコードタイプ** 住所録 - 人名録テーブル (F0111) 内のどの名前を延滞通知に印刷するかを決定するために使用するタイプ コードを指定します。“Attention”: (宛先) という言葉の後に指定された名前が印刷されます。顧客の会社のこの特定の相手に送付されます。ブランクの場合、延滞通知に宛名行は印刷されません。
- 3. 年齢調べ** 延滞通知に年齢調べ情報を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 印刷しない。  
 1: 印刷する。
- 4. 通貨タイプ** 延滞通知に通貨コードを印刷するか、“TOTAL CURRENCY BALANCE DUE” (合計延滞金額) をスタティック テキストとして印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: TOTAL CURRENCY BALANCE DUE を印刷する。  
 1: 通貨コードを印刷する。
- 5. 延滞通知送付回数** 延滞通知に以前送付した延滞通知送付回数を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 印刷しない。  
 1: 印刷する。

**6. 明細/集計形式**

延滞通知に各請求書支払項目を印刷するか、全請求書支払項目の集計レコードを印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 明細を印刷する。各請求書の支払項目が別行で延滞通知に印刷されます。

1: 集計を印刷する。各請求書が 1 行で印刷され、金額が集計されます。

**7. 延滞利息金の合算**

延滞通知に、各延滞利息金レコードを印刷するか、全ての延滞利息金額を集計したレコードを 1 件印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 集計しない。延滞利息金の各レコードが別行で通知に印刷されます。

1: 集計する。全ての延滞利息金額を集計したレコードが 1 件印刷されます。

## 延滞通知の検討 (P03B202) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### バージョン

**1. 計算書通知再設定  
バージョン**

使用する計算書通知再設定プログラム (R03B5015) のバージョンを指定します。このオプションをブランクにした場合は、ZJDE0001 がデフォルト値として使用されます。

## 延滞通知の検討

[延滞通知の検討 (詳細)] フォームにアクセスします。

**延滞通知の承認 - 延滞通知の検討(詳細)**

延滞承認の処理   **延滞通知の検討(詳細)**

OK(O) 検索(I) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

顧客 3333 通知日付 2005/09/30

未決済金額 82,401.83

☐ 集計請求書

**承認済み**

☐ 処理済み   ☐ 保留   ☒ 承認済み   ☐ 却下

レコード 1 - 5   [グリッドのカスタマイズ](#)

	伝票 No.	伝票 タイプ	伝票 会社	支払 項目	請求書 日付	支払期日 通知	備考	支払 期日	外貨 未決済金
<input checked="" type="radio"/>	1017	R5	00001	001	2005/07/02	2005/09/30	freight	2005/07/02	
<input type="radio"/>	3574	RI	00001	001	2005/06/25	2005/09/30	computer supplies	2005/07/25	
<input type="radio"/>	3575	RI	00001	001	2005/06/26	2005/09/30	supplies	2005/07/26	
<input type="radio"/>	3575	RI	00001	003	2005/06/26	2005/09/30	service pack upgrades	2005/07/26	
<input type="radio"/>									

[延滞通知の検討(詳細)] フォーム

### [集計請求書]

請求書支払項目を 1 レコードに集計する場合に、オンにします。

請求書支払項目が集計されると "\*" が [支払項目] フィールドに表示されます。

## 年齢調べカテゴリによる集計請求書情報の検討

[通知の要約] フォームにアクセスします。

延滞通知の検討 - 通知の要約

計算書の処理通知の要約

OK(O) キャンセル(L) 前へ 次へ ツール(T)

通知日付

2005/08/31

住所No.

3333

Continental Incorporated

支払条件

Net 30 Days

新規請求書

82,401.83

通貨コード

USD

U.S. Dollar

年齢調べ情報

将来金額	
現行	
1 - 30	1,960.15
31 - 60	34,440.68
61 - 90	19,951.00
91 - 120	21,300.00
121 - 150	4,750.00
超過 150	

[通知の要約] フォーム

延滞通知の検討、承認、却下

[延滞通知の検討（詳細）] フォームにアクセスします。

注: 延滞通知を検討する必要がある場合は、[ロー] メニューから [承認] を選択して、[延滞通知の承認] フォームで延滞通知を承認または却下できます。



計算書の検討 - 延滞通知の検討(詳細)

検索①    キャンセル(L)    フォーム(F)    ツール(T)

顧客3333    通知日付2005/09/30

未決済金額82,401.83

☐ 集計請求書

承認済み

☐ 処理済み    ☐ 保留    ☒ 承認済み    ☐ 却下

レコード 1 - 5

グリッドのカスタマイズ

	伝票 No.	伝票 タイプ	伝票 会社	支払 項目	請求書 日付	支払期日 通知	備考	支払 期日	外貨 未決済金額	未決済 金額
<input checked="" type="radio"/>	1017	R5	00001	001	2005/07/02	2005/09/30	freight	2005/07/02		
<input type="radio"/>	3574	RI	00001	001	2005/06/25	2005/09/30	computer supplies	2005/07/25		
<input type="radio"/>	3575	RI	00001	001	2005/06/26	2005/09/30	supplies	2005/07/26		
<input type="radio"/>	3575	RI	00001	003	2005/06/26	2005/09/30	service pack upgrades	2005/07/26		
<input type="radio"/>										

[延滞通知の検討 (詳細)] フォーム

延滞通知を承認/却下するには、次の手順に従います。

1. [集計請求書] チェック ボックスをオンにして、[検索] をクリックし、請求書支払項目を 1 レコードに集計します。

2. 延滞通知の情報を検討し、[承認済み] または [却下] オプションのいずれかを選択します。

重要:

[OK] をクリックして通知を承認または却下した後は、別のオプションを選択することはできません。

3. [OK] をクリックします。

延滞通知を承認した場合、延滞通知を生成するには [延滞通知の検討 (詳細)] フォームおよび [延滞通知の承認] フォームを終了する必要があります。通知生成時に延滞通知の印刷プログラム (R03B525) の処理オプションで指定されている通知印刷プログラムのバージョンが実行されます。延滞通知の検討プログラム (P03B202) を選択すると、[計算書の処理] フォームで確認できます。

F03B11 テーブルの該当フィールドと、却下された通知の状況が更新されます。

- [承認済み]

管理者承認が必要な延滞利息金または延滞通知承認する場合に選択します。
- [却下]

管理者承認が必要な延滞利息金または延滞通知を却下する場合に選択します。

延滞通知の再印刷

- [計算書の処理] フォームにアクセスします。
- 再印刷する延滞通知を選択し、[ロー] メニューから [再印刷] を選択します。
- または、[延滞通知の検討 (詳細)] フォームにアクセスします。
- [フォーム] メニューから [再印刷] を選択し、[キャンセル] をクリックします。

## 延滞利息金の作成

このセクションでは、延滞利息金の作成とアルゼンチン共和国固有機能の延滞支払用利息請求書の概要、事前設定および以下の方法について説明します。

- 延滞利息金の作成プログラムの実行
- 延滞利息金の作成 (R03B525) の処理オプションの設定
- (ARG) Set processing options for PO Interest Invoice (R76A03B2)
- 延滞利息金明細 (R03B22) の処理オプションの設定
- 延滞利息金 (R03B221) の処理オプションの設定

## 延滞利息金の生成について

回収処理の一環として、延滞利息金の作成と承認ができます。延滞利息金は、支払期日を過ぎている未入金 of 請求書や、期日後に入金された請求書に対して課す利息金のことです。

与信分析データの再作成プログラム (R03B525) の延滞利息金の作成バージョンを実行して、延滞利息金レコードを作成します。このバージョンの処理オプションは延滞利息金を作成するように設定されています。このバージョンは、テスト モードまたは最終モードで実行できます。

延滞利息金の作成時には、次の処理が行われます。

- 請求書の支払期日と方針の有効日付が比較され、延滞利息金を計算するためのレートを取得する際に使用する方針指示が決定されます。

請求書が支払済みの場合は、入金 of 元帳日付を使って延滞支払日数が計算されます。

延滞支払日数は入金元帳日付と基準日 of 日数差です。

- 方針 of 年齢調べ開始日数と年齢調べ終了日数を使用して、請求書の支払期日を経過した日数 (必要に応じて猶予日数を加算) が決定され、利息金と、利息金の計算に使用するレートと固定料金の作成が開始されます。

後続 of 利息金 が作成される際に請求書が未払いである場合は、請求書レコード of 前回利息金日付 (LFCJ) と年齢調べ開始日数を使用して、利息金作成 of 開始日付が決定されます。後続 of 利息金 には猶予日数は使用されません。

- 方針 of 延滞利息金指示 of 設定に基づいて、未決済金額に対して計算するか、延滞支払額に対して計算するか、または複合延滞利息金など、以前作成した利息金に対して計算するかが決定されます。
- 方針を使用して、年率、固定金額、またはこの両方 of どれに基づいて利息金を計算するかを決定します。
- 次の計算式を使用し、年間延滞利息率を使用して利息金が計算されます。

$$((\text{年間延滞利息率} \div \text{YYY}) \times .01) \times \text{請求書金額} \times \text{延滞日数}$$

YYY = 365 日 (または年間日数)

- 対象となる請求書をまとめて、顧客と通貨ごとに延滞利息金を 1 つ作成します。
- 延滞利息金明細 (R03B22) を印刷します。

このプログラムをテスト モードで実行すると、最終モードを実行した場合に作成される対象請求書の延滞利息金の額の詳細情報が記載される、延滞利息金仕訳が作成されます。

最終モードで実行すると、次の処理が行われます。

- F03B11 テーブルに延滞利息金伝票 (伝票タイプ RF) が作成され、顧客の全ての有効な請求書に対して利息金の合計が計算されます。
- 延滞利息金仕訳テーブル (F03B22) と延滞利息金仕訳明細テーブル (F03B23) にレコードが作成されます。
- F03B11 テーブルと入金明細 (F03B14) テーブルの最終料金日付 (LFCJ) フィールドが更新されます。

利息金請求書レコードは、作成後に転記する必要があります。利息金を転記すると、使用する収益勘定と売掛金勘定を決定するために AAI(自動仕訳) 項目 RFC と RFD を使用して取引明細テーブル (F0911) にレコードが作成されます。

方針の [回収管理者の承認必須] チェック ボックスをオンにした場合は、顧客に送付する延滞利息金が発生される前に、回収管理者の承認が必要になります。顧客レコードで指定された回収管理者に、ワークフロー メッセージが送信されます。回収管理者は、このメッセージから [延滞利息金の処理] フォームへアクセスし、延滞利息金を承認または却下することができます。

## クレジット メモおよび未充当入金

延滞利息金の処理では、クレジット メモと未充当入金も考慮されます。ただし、顧客の全未決済金額の残高がマイナスの場合、延滞利息金は処理されません。クレジット メモまたは未充当入金に対して計算された延滞利息金は、通常の請求書に対して計算された延滞利息金と相殺されます。これにより、顧客に対してクレジット メモと相殺されている請求書について過剰請求することがなくなり、また、延滞利息金を計算する前にクレジット メモと請求書を手作業で突き合わせる必要もなくなります。

## 税金

延滞利息金明細プログラム (R03B22) の処理オプションを使用して、延滞利息金請求書レコードに税情報を含めることができます。

## 延滞利息金

延滞利息金の作成プログラムの該当処理オプションを指定するか、バッチ バージョンから延滞利息金プログラム (R03B221) を実行することで延滞利息金を作成できます (メニューから延滞利息金プログラム (R03B221) を実行することはできません)。

延滞利息金を作成する際には、入金レコード (F03B14) の請求書支払期日と方針の有効日付が比較され、利息金計算に使用するレートを取得するための方針が決定されます。

## 延滞利息金のデータ選択

特定の顧客の利息金を作成する場合、またはその他の基準に基づいて利息金を作成する場合は、延滞利息金明細プログラム (R03B22) ではなく延滞利息金の作成プログラム (R03B525) のデータ選択を変更します。

---

**重要:** データ選択で変更して特定の顧客の利息金を作成する場合は、処理オプションで与信/資金管理テーブル (F03B15) の更新を不可に設定する必要があります。この設定を行わないと、指定されたデータ選択に応じてテーブルが更新されるため、回収管理者が日々行う回収活動に影響が出る場合があります。

---

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 延滞利息金処理に使用する AAI (自動仕訳) 項目 RFC と RFD を設定します。
- [顧客マスターの改訂] フォームの [回収] タブにある [延滞利息金] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。

## (ARG) Understanding Interest for Delinquent Payments for Argentina

You can run the Generate Delinquency Fees program (R03B525) to generate debit memos for the interest that has accrued during the time that an invoice is delinquent. You must set up the Late Payment Delinquency Fees processing option on the Generate Delinquency Fees program to calculate late payment delinquency fees. You must also set up the PO Interest Invoice program (R76A03B2) with the same version name as the version of the Generate Delinquency Fees program that you are running.

Generating debit memos for interest fulfills the legal invoice issuance requirements of Administración Federal de Ingresos Público (AFIP).

## 延滞利息金の作成プログラムの実行

[計算書/延滞通知処理] メニュー (G03B22) から [延滞利息金の作成] (画面上では [延滞通知の生成]) を選択します。

## 延滞利息金の作成 (R03B525) の処理オプションの設定

延滞利息金の作成と延滞通知の印刷は、それぞれ同じプログラムのバージョンです。そのため、処理オプションは同じです。処理オプションは、バージョンごとに処理オプションを設定する必要があります。

## (ARG) Setting Processing Options for PO Interest Invoice (R76A03B2)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### General

1. **Issue Place** Specify the issue place.

### RG 100

1. **RG 100 Processing** Specify whether the invoices that you enter correspond to general resolution 100 (RG 100) regulations. Values are:  
Blank: Invoices do not correspond to RG 100 regulations.  
1: Invoices correspond to RG 100 regulations.

## 延滞利息金明細 (R03B22) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 税金

延滞利息金の税金情報の処理方法を指定します。

1. **延滞利息金に消費税を加える** 延滞利息金に税を含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 税を含む延滞利息金を作成しない。  
1: 税を含む延滞利息金を作成する。
2. **税目コード** 延滞利息金レコード (F03B11、伝票タイプ RF) に割り当てる税目コードを指定します。この処理オプションをブランクにすると、業種別顧客マスター

(F03012) の顧客マスター レコードに割り当てられている税目コードが使用されます。

### 3. 税率/税域

延滞利息金レコード (F03B11、伝票タイプ RF) に割り当てる税率と税域を指定します。この処理オプションを空白にすると、顧客マスター レコード (F03012) に割り当てられている税率と税域が使用されます。

## 延滞利息金 (R03B221) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 延滞

延滞利息金をテスト モードで処理するか最終モードで処理するかどうか、および利息金請求書レコードに割り当てる日付を指定します。

#### 1. 延滞利息金レポートの印刷

プログラムをテスト モードで実行するか、最終モードで実行するかを指定します。テスト モードの場合、延滞利息金を課す顧客とその対象の請求書がレポートに印刷されます。最終モードの場合、レポートが生成され、F03B22、F03B23、F03B14 テーブルが更新されます。有効値は以下のとおりです。

空白: テスト モード。レポートの印刷のみ、テーブルを更新しない。

1: 最終モード。レポートを印刷し、テーブルを更新する。

#### 2. 延滞利息金処理のバージョン

延滞利息金計算に使用する延滞利息金明細プログラム (R03B22) のバージョンを指定します。空白の場合、デフォルト バージョン ZJDE0001 が使用されます。

---

**注:** 延滞利息金明細プログラムには、処理オプションが関連付けられています。

---

#### 3. 元帳日付

請求書延滞レコード (RF) に割り当てる元帳日付を指定します。最終モードで延滞利息金を処理すると作成されます。空白の場合、現在日付が使用されます。

#### 4. 支払条件コード

請求書延滞レコード (RF) に割り当てる支払条件コードを指定します。最終モードで延滞利息金を処理すると作成されます。

#### 5. 延滞利息金の通貨

延滞利息金レコード (RF) の通貨を決定するのに使用するレコードを指定します。延滞利息金レコードは、最終モードでの実行時に作成されます。空白の場合、デフォルト値の 1 (会社) が使用されます。有効値は以下のとおりです。

1: 会社。請求書に入力した会社に割り当てられている通貨で延滞利息金を作成します。会社の通貨は F0010 テーブルに定義されています。

2: 顧客。F03012 テーブルの顧客レコードの住所録通貨コード フィールド (CRCA) に指定されている通貨で延滞利息金を作成します。

3: 請求書。F03B11 テーブルの請求書レコードの通貨フィールド (CRCD) で指定されている通貨で延滞利息金を作成します。

## 延滞利息金の処理

このセクションでは、延滞利息金の削除の概要と以下の方法について説明します。

- 延滞利息金の検討 (P03B22) の処理オプションの設定
- 延滞利息金の検討、承認、却下
- 延滞利息金の削除
- 延滞通知の除去 (R03B222) の処理オプションの設定

### 延滞利息金の削除について

延滞利息金の除去プログラム (R03B222) を実行して、F03B22 テーブルと F03B23 テーブルから選択したレコードを除去します。このプログラムでは、別のテーブルにアーカイブする処理は行われません。削除する情報を保持するには、削除前にテーブルをバックアップする必要があります。

処理オプションに入力した日付に基づいて利息金レコードが削除されます。また、日付に関係なく、却下された利息金レコードも全て削除されます。処理オプションに加えデータ選択を使用して、選択したレコードを削除することもできます。

削除されたレコードのレポートは作成されません。

注: 削除プログラムでは、将来の日付を持つレコードは削除されません。F03B22 テーブルおよび F03B23 テーブルの全てのレコードを削除する場合は、データ ファイル ユーティリティを使用することをお勧めします。

### 延滞利息金の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[延滞利息金明細]	W03B22B	<p>[計算書/延滞通知処理] (G03B22)、[延滞利息金の検討]</p> <p>[延滞利息金の処理] フォームで検討する利息金を選択し、[選択] をクリックします。</p>	[延滞利息金明細] フォームには、各請求書と、その各請求書の延滞利息金が表示されます。クレジットメモに対してはマイナスの延滞利息金が計算され、延滞利息金の合計からその分が差し引かれます。

### 延滞利息金の検討 (P03B22) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

#### バージョン

バージョン 延滞利息金の処理時に使用される延滞利息金明細プログラム (R03B22) のバージョンを指定します。ブランクにした場合、デフォルトとして ZJDE0001 が使用されます。

### 延滞利息金の検討、承認、却下

[延滞利息金明細] フォームにアクセスします。

延滞利息金の検討 - 延滞利息金明細

延滞利息金の処理

延滞利息金明細

OK(O) キャンセル(L) フォーム(F) 前へ 次へ ツール(T)

住所No. 3333 Continental Incorpor... 延滞利息金 21.18

会社 00075 Cascades, Ltd 延滞利息金対象額 2,843.09

元帳日付 2005/08/31 通知日付 2005/08/31

承認

☒ 保留

☐ 承認済み

☐ 却下

☐ エラー

レコード 1-3

グリッドのカスタマイズ

	延滞利息金	延滞利息金対象額	基本通貨	会社	外貨延滞	外貨延滞対象額
<input checked="" type="radio"/>	9.73	1,306.29	CAD	00075		
<input type="radio"/>	11.45	1,536.80	CAD	00075		
<input type="radio"/>						

[延滞利息金明細] フォーム

フォームの見出し部分に、F03B22 テーブルの延滞利息金レコードに関する情報が表示されます。

- [延滞利息金]

利息金レコード (伝票タイプ RF) の金額が表示されます。
- [延滞利息金対象額]

利息金の計算に使用される未決済請求書の合計金額が表示されます。
- [通知日付]

利息金が作成された日付が表示されます。
- [延滞利息金]

個々の請求書レコードの利息金が表示されます。
- [延滞利息金対象額]

利息金の計算に使用される請求書の金額が表示されます。
- [承認済み] および [却下]

いずれかのオプションを選択し、延滞利息金を承認または却下します。
- [エラー]

エラーが表示されます。自分でエラー オプションを選択することはできません。エラー オプションが選択されている場合は、ワーク センターにアクセスしてエラーを修正してください。エラーを修正すると、[延滞利息金明細] フォームで利息金の承認が可能になります。

延滞利息金の削除

[計算書/延滞通知処理] メニュー (G03B22) から [延滞利息金の除去] を選択します。

延滞利息金の除去 (R03B222) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## 日付

削除するレコードを指定します。

### 1. 除去日付

F03B22 テーブルと F03B23 テーブルから削除する延滞利息金レコードを決定するために使用する日付を指定します。指定した日付と同じかそれより古いレコードが全て削除されます。この処理オプションをブランクにすると、却下された延滞利息金処理オプションの設定のみに基づいてレコードが削除されます。

### 2. 却下された延滞利息金

却下された延滞利息金を削除する方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 除去日付を使用して、削除する却下済み延滞利息金を決定します。

1: 却下された延滞利息金を全て削除します。除去日付処理オプションの除去日付は無視されます。



## 第 20 章

# 顧客分析のための売掛管理統計の更新

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、売掛管理統計の概要を示し、以下の作業を行う方法について説明します。

- 統計情報の更新
- 統計情報の分析
- 実績の年次締め処理
- 統計実績レコードの除去
- (Rapid Start) Analyze accounts receivable

---

## 売掛管理統計について

複数の会計期間にわたる取引活動や、延滞売掛金回収平均日数 (DSO)、加重平均延滞日数、平均請求書金額、入金遅れ請求書率などの統計を検討する場合は、統計実績更新プログラム (R03B16A) を実行します。このプログラムによって、一定期間にわたる回収のパフォーマンスに関する統計情報を収集したり、複数顧客の取引情報を同時に検討して比較することができます。

### 少額消込額と不良債権額

統計実績更新プログラムを実行すると、売掛金統計履歴テーブル (F03B16) と売掛金統計サマリ テーブル (F03B16S) の少額消込額フィールド (MWO) と不良債権額フィールド (BDBT) の金額が累計されます。UDC (03B/RC) の 特殊取扱コード フィールドの値に基づき、それらのフィールドを更新する少額消込額が決定されます。

- UDC テーブルの特殊取扱コード フィールドの値が 1 である場合、少額消込フィールドの少額消込額が累計されます。
- 特殊取扱コード フィールドの値がブランクである場合、不良債権額フィールドの少額消込額が累計されます。

UDC テーブルの特殊取扱コード フィールドを更新して、各フィールドと関連付ける理由コードを指定します。

参照: 第 2 章、「売掛管理システムの設定」、「売掛管理のユーザー定義コード (UDC) の設定」、14 ページ

参照: EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Foundation

## 統計情報の更新

このセクションでは、統計実績更新プログラム、期間統計計算、期間統計上の年齢調べ情報の概要と、事前設定の一覧を示し、以下の作業を行う方法について説明します。

- 統計実績更新プログラムの実行
- 統計実績更新 (R03B16A) の処理オプションの設定

### 統計実績更新プログラムについて

顧客分析の一環として統計実績更新プログラムを実行し、顧客勘定の統計情報を更新することができます。これにより、特定の期間における顧客との取引を検討し、傾向分析や資金予測に役立てることができます。更新の対象は、以下の決済済み取引と未決済取引です。

- 請求書金額
- 売掛金回収平均日数 (DSO)

このバッチ処理を実行すると、転記済み情報のみが対象になります。顧客勘定の開始日以降累計も更新されます。この情報は、顧客勘定の作成時以降の統計情報を累計している点を除いて、期間統計と同じです。以下のデータが含まれます。

- 初回請求書と前回請求書の日付
- 前回入金日

このバッチ プロセスの実行には時間がかかります。業務のピーク時を避けてこのプロセスを実行してください。

統計情報の更新時に、以下のテーブルから情報が収集されます。

- 売掛金元帳 (F03B11)
- 請求書改訂履歴 (F03B112)
- 入金見出し (F03B13)
- 入金明細 (F03B14)

情報の収集後に、F03B16 テーブルと F03B16S テーブルが更新されます。F03B16S のレコードには、F03B16 のレコードのサブセットが集計されています。このサブセットは、処理オプションを使用して定義します。集計情報は、親/子レベルで保存されます。親レコードには、親顧客とそれに関連する全ての子顧客の情報が含まれています。

業種別顧客マスター (F03012) の以下のフィールドも更新されます。

- 今年度請求額 (ASTY)  
請求書に適用可能な税の有無にかかわらず、売掛金元帳 (F03B11) の総額 (AG) の値でこのフィールドが更新されます。
- 前年度請求額 (SPYE)
- 年累計延滞利息 (AFCY)
- 前回支払金額 (ALP)
- 初回請求書日付 (DFIJ)
- 前回請求書日付 (DLIJ)

- 前回支払日付 (DLP)

F03B16 テーブルに請求書情報と入金情報が入力されると、処理済みのレコードの ISTC (資金管理への売掛金転記) フィールドが 1 に更新されます。これによって同じレコードが 2 回以上処理されることがなくなります。転記済みの取引データをテーブルに含めないようにするには、データ ファイル ユーティリティを使用して ISTC フィールドの値を 1 に変更してください。ISTC フィールドは、F03B11、F03B112、F03B13、および F03B14 テーブルにあります。

F03B14 テーブルの R5 損金レコードや、F03B11 テーブルの RU (未充当入金) レコードや R1 (手形) レコードは処理されません。

統計実績更新プログラムを正常に実行するには、以下の手順に従います。

- システムに請求書や入金を入力した全ての会計年度について会社 00000 の与信/回収期間パターンを設定します。
- 処理対象の請求書と入金は全て転記します。
- このプログラムのデータ選択やデータ順序を変更しないでください。
- 統計実績更新プログラム実行後は、最高残高の計算以外の処理オプションを変更しないでください。

## 期間統計計算について

顧客分析の一環として、処理オプションの設定に基づいて顧客勘定の統計情報を更新できます。この更新を行うには、統計実績更新プログラムを実行します。これにより、特定の期間における顧客勘定の動きを検討し、傾向分析と資金予測に役立てることができます。

このセクションでは、設定に関する考慮事項、トラブルシューティングのヒント、システム内で行われる計算のクイック リファレンスを示します。

### 設定に関する考慮事項

設定時には以下の点に注意してください。

- 与信/回収期間パターンを少なくとも会社 00000 には指定して、全ての請求書と入金の元帳日付が設定されるようにしておく必要があります。
- 統計実績更新プログラムを実行する場合、データ選択の設定は変更しないでください。
- F03B16S テーブルのレコードは、F03B16 テーブルのレコードのサブセットの集計です。  
このサブセットは、R03B16A の処理オプション 5 と 6 で定義します。

### トラブルシューティングのヒント

トラブルシューティングのヒントを以下に示します。

- 顧客間の親子関係で、親を子の子として設定することはできません。  
これはループ エラーになります。
- 以下のいずれかの条件を満たすレコードのみが統計実績更新プログラムの処理対象になります。  
F03B11:RPPOST = D、RPSTC != 1、RPDCT != RU、RPAN8 != 0 の場合  
F03B112:RWPOST = D、RWSTC != 1、RWAN8 != 0 の場合  
F03B13:RYNFVD = N、RYSTC != 1、RYAN8 != 0 の場合  
F03B14:RZPOST = D、RZSTC != 1、RZAN8 != 0 の場合

- F03B11 テーブルの R5 レコードは ISTC = 1 で作成されるため、統計実績更新プログラムの処理対象には含まれません。

## 計算

[与信/回収管理] メニュー (G03B15) から [期間別統計] フォームにアクセスして、統計的 (期間) 計算結果を検討できます。次の表には、システム内で行われるこの情報の計算方法が示されています。

ページ フィールド	計算情報
[不良債権金額]	少額消込理由コードフィールドに値が自動入力され、03B/RC UDC テーブルの特殊取扱コードフィールドがブランクの場合、少額消込金額は不良債権の合計に加算されます。それ以外の場合、金額は少額消込合計に加算されます。
[少額消込]	03B/RC UDC テーブルの特別取扱コードフィールドが 1 の場合、消込金額がこの合計に加算されます。
[不良債権比率]	不良債権額が期間合計売上高で除算されます。 計算方法は、“不良債権額 ÷ 期間合計売上高”です。
[少額消込合計]	このフィールドは、不良債権額と少額消込額の合計です。 計算方法は、“不良債権額 + 少額消込額”です。
[平均日数]	<p>以下の計算が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 合計日数 = 請求書の支払期日と入金日付との差 入金日付と請求書支払期日との日数差が計算され、計算結果が合計日数に加算されます。</li> <li>• 平均日数 = 合計日数 ÷ 支払請求書数 平均日数は、合計日数を支払済み請求書数で割ることで算出されます。</li> </ul> <p>請求書を締める入金、または決済済みの請求書のみが支払済み請求書数に含まれます。</p> <p>たとえば、期日に 1 日遅れて 100,000 が入金されたと想定します。それとは別に、期日に 30 日遅れて 500 が入金されたとします。それぞれの入金は 1 つの請求書に対して行われています。</p> <p>非加重の平均支払日数の計算を使用すると、平均支払日数は 15.5 日になります。</p> <p>請求書数 ÷ 支払日数 = 非加重平均支払日数 (31 ÷ 2 = 15.5)</p>

ページ フィールド	計算情報
[加重平均日数]	<p>現時点での全入金額の比率に基づいて、平均支払日数の計算に対して重み付けが行われます。入金額が大きいと、平均支払日数に対する影響が増します。</p> <p>以下の計算が実行されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延滞日数 = 請求書の支払期日と入金日付との差</li> <li>前の入金額 = 最後に受領した支払の金額</li> <li>現在の入金の日数 = <math>\text{入金額} \div (\text{入金額} + \text{前の入金額})</math></li> </ul> <p>たとえば、100,000 の入金が期日に 1 日遅れ、500 の入金が期日に 30 日遅れたと想定します。それぞれの入金は 1 つの請求書に対して行われています。</p> <p>加重平均延滞日数の計算を使用する場合、平均延滞日数は 1.1 日になります。前の入金額 <math>\div (\text{入金額} + \text{前の入金額}) + \text{現在の入金の日数} (\text{入金額} \div (\text{入金額} + \text{前の入金額}))</math></p> $100,000 \div (500 + 100,000) + 30 (500 \div (500 + 100,000)) = 1.1$ <p>加重平均日数を求める F03B16 と F03B16S レベルの計算は以下のとおりです。</p> <p>前の平均支払日数 <math>(\text{前の入金額} \div (\text{入金額} + \text{前の入金額合計})) = \text{現在の平均支払日数} (\text{現在の入金額} \div (\text{現在の入金額合計} + \text{前の入金額}))</math></p>
[延滞日数]	<p>DSO の値は、F03B16 に期間レベルで保存されます。DSO の計算方法は以下のとおりです。</p> <p>逆算方式を使用し、現在の未回収残高が売上高合計よりも少ない場合は、“<math>\text{DSO} = (\text{現行残高} \div \text{売上高合計}) \times \text{指定した期間に含まれる日数}</math>”です。</p> <p>それ以外の場合の計算は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行残高から現在の期間の合計売上高を差し引いて、指定した期間に含まれる日数で DSO を増分します。</li> <li>未回収残高から直前期間の売上高合計を差し引きします。 直前期間の売上高が未回収残高を上回るまでこの計算を続けます。</li> <li>未回収残高が直前期間を下回った場合、“<math>\text{DSO} = \text{累積 DSO} (\text{基準期間残高} \div \text{売上合計}) \times \text{期間内の日数}</math>”です。</li> </ul> <p>基準期間残高を売上高で割る方式での DSO の計算は以下のようになります。</p> $\text{DSO} = (\text{現行売掛金残高} \times n \text{ 期間の日数}) \div n \text{ 期間内の請求書合計金額}$ <p><math>n =</math> 処理オプションで指定された期間数</p> <p>平均残高を売上高で割る場合の計算は以下のようになります。</p> $\text{DSO} = ((\text{期末残高} \times n \text{ 期間数}) \times \text{平均日数}) \div n \text{ 期間の合計売上高}$ <p>値の定義は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>“売上金額” は請求書の課税対象額です。このフィールドを空白にした場合は、総額が使用されます。</li> <li>“期末残高” は、その期間の最終日付における未決済売掛金の金額です。</li> <li>“日数” は対象期間の日数です。この値は、与信/回収期間パターンテーブル (F03B08) で定義されます。</li> <li><math>n</math> は、処理オプションで指定した期間数です。</li> </ul> <p>例:</p> <p>1 月は、売上が 7,570.00 で、期末残高が 10,825.00 で、期間日数は 31 です。</p>

## DSO の例

次の表には、ここでの DSO の各種の計算に使用される金額が示されています。

期間	売上金額	期末残高	期間日数
1 月	7570	10825	31
2 月	4566	10596	28
3 月	5538	10869	31

## 逆算方式

次の表には、逆算方式による DSO の計算方法が示されています。

3 月	$10869 - 5538 = 5331$	累計 DSO = 31
2 月	$5331 - 4566 = 765$	累計期間日数 = $31 + 28 = 59$
1 月	$(765 \div 7570) \times 31 = 3.1$	
		$DSO = 59 + 3.1 = 62.1$

## 平均残高を売上高で割る方式

この例では、平均残高を売上高で割る方式で DSO を計算します。

$$((10869 + 10596 + 10825) \times 30) \div (5538 + 4566 + 7570)$$

$$DSO = 54.81$$

## 基準期間残高を売上高で割る方式

この例では、基準期間残高を売上高で割る方式で DSO を計算します。

$$(10869 \times 90) \div (5538 + 4566 + 7570)$$

$$DSO = 55.35$$

次の表には、その他の金額の計算方法が示されています。

ページ フィールド	計算情報
[与信日数]	DSO と同じ計算方法を使用します。ただし、現在期間の期末残高ではなく、現在または将来期日における残高を使用して計算される点が異なります。 計算方法は、“未決済金額 - 期日超過金額”です。
[延滞日数]	与信日数を超えて支払が滞納されている日数です。 計算方法は、“DSO - 与信日数”です。

ページ フィールド	計算情報
[延長日数]	顧客との間で取り決めた支払条件を超えた日数です。 計算方法は、“与信日数 - 支払条件”です。 結果:セールス担当者が支払条件を超えて顧客に与える猶予日数
[請求金額]	請求書の総額です。
[売上高]	請求書の課税対象額です。
[延滞支払率]	計算方法は、“請求金額 ÷ 延滞合計”です。

### 技術上の考慮事項

統計実績更新プログラムを実行すると、各顧客について、F03B16S テーブルに少なくとも 4 つのレコードが作成されます。たとえば、会社 00001 の顧客 1234 に対して 1 件の請求書を入力した場合は、テーブルに以下のレコードが作成されます。

- 請求書が入力された会社 (RTCO = 00001) の子情報 (RSPART = C) について 1 レコード
- 会社 00000 の子情報 (RSPART = C) について 1 レコード  
会社 00000 のレコードを使用して、全ての会社レコードの情報が合計されます。
- 請求書が入力された会社 (RSCO = 00001) の親情報 (RSPART = P) について 1 レコード  
親/子関係を使用しない場合でも、親レコードは作成されます。
- 会社 00000 (RSCO = 00000) の親情報 (RSPART = P) について 1 レコード  
会社 00000 のレコードを使用して、全ての会社レコードの情報が合計されます。

複数の会社に対して入力された請求書がある場合は、親と子の両方に、各会社に 1 つの追加のレコードが作成されます。

### 期間統計の年齢調べ情報について

[取引残高照会] フォームや [取引状況集計] フォームなどとは異なる様式で [期間別統計] フォームに表示される年齢調べ情報が取得されます。

統計実績更新プログラムを実行すると、年齢調べ請求書に以下の基準が適用され、各期間の年齢調べ情報が表示されます。

条件	説明
年齢調べ方法	与信/回収期間パターンで定義する会計期間別に年齢が調べられます。
年齢調べ日付	与信/回収日付パターンで定義する各会計期間の最終日を使用されます。
年齢調べ基準日	売掛管理固定情報の値が使用されます (支払期日、請求書日付、元帳日付、または計算書日付)。

## 年齢調べの例

この例には以下の情報を使用します。

- ・ 与信/回収期間パターン:カレンダー年度用に定義
- ・ 年齢調べ基準日:請求書支払期日
- ・ 支払期日が 2005 年 6 月 15 日で請求額が 2000 の請求書

2005 年 6 月 15 日以降に統計実績更新プログラムを実行すると、請求書の金額 (2000) は 2005 年 6 月 30 日に終了する期間の最初の年齢調べカテゴリに表示されます。

7 月に統計実績更新プログラムを実行する際に請求書が未処理である場合、2005 年 6 月 30 日に終了する期間と 2005 年 7 月 31 日に終了する期間の両方の最初の年齢調べカテゴリに "2000" が表示されます。8 月に統計実績更新プログラムを実行する際に請求書が未処理である場合は、以下のように表示されます。

- ・ 2005 年 8 月 31 日に終了する期間の第 3 の年齢調べカテゴリに 2000 が含まれます。
- ・ 2005 年 7 月 31 日に終了する期間の第 2 の年齢調べカテゴリに 2000 が含まれます。
- ・ 2005 年 6 月 30 日に終了する期間の第 1 の年齢調べカテゴリに 2000 が含まれます。

次の表には、2005 年 6 月 15 日に統計実績更新プログラムを実行した後、[期間別統計] フォームに年齢調べ情報がどのように表示されるかが示されています。

[期末日付]	[経過金額 1]	[経過金額 2]	[経過金額 3]	[経過金額 4]
2005/06/30	2000			

次の表には、2005 年 7 月 15 日に統計実績更新プログラムを実行した後、[期間別統計] フォームに年齢調べ情報がどのように表示されるかが示されています。

[期末日付]	[経過金額 1]	[経過金額 2]	[経過金額 3]	[経過金額 4]
2005/07/31		2000		
2005/06/30	2000			

次の表には、2005 年 8 月 15 日に統計実績更新プログラムを実行した後、[期間別統計] フォームに年齢調べ情報がどのように表示されるかが示されています。

[期末日付]	[経過金額 1]	[経過金額 2]	[経過金額 3]	[経過金額 4]
2005/08/31			2000	
2005/07/31		2000		
2005/06/30	2000			

次の表には、2005 年 9 月 15 日に統計実績更新プログラムを実行した後、[期間別統計] フォームに年齢調べ情報がどのように表示されるかが示されています。



[期末日付]	[経過金額 1]	[経過金額 2]	[経過金額 3]	[経過金額 4]
2005/09/30				2000
2005/08/31			2000	
2005/07/31		2000		
2005/06/30	2000			

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 会社 00000 の与信/回収期間パターンを設定します。
- 全ての請求書と入金を転記します。
- 不良債権と少額消込の金額の累計に使用する UDC の値が指定済みであることを確認します。
- 別のシステムから情報を変換する場合は、実績の年次締めプログラム (R03B16A1) を実行して前年度請求金額を更新することができます。

## 統計実績更新プログラムの実行

[与信/回収管理] メニュー(G03B15) から [与信履歴の更新] を選択します。

## 統計実績更新 (R03B16A) の処理オプションの設定

処理オプションを使用して、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 売掛金回収平均日数 (DSO)

以下の処理オプションで、DSO を計算する方法を指定します。

1. DSO の計算方法  
売掛金平均回収日数フィールド (DSO) の値の計算方法を指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク:逆算方式  
1: 平均残高  
2: 現行残高
2. 期間数  
与信/回収期間パターンに基づき、売掛金回収平均日数フィールド (DSO) の値の計算に使用される会計期間の数を指定します。

### 計算

以下の処理オプションで、売掛金回収平均日数と最高残高の金額を計算するかどうかを決定します。

1. DSO の計算  
この処理オプションを使用して、売掛金回収平均日数フィールド (DSO) の値を計算するかどうかを指定します。この値の計算には、処理オプション "DSO の計算方法" と "期間数" にそれぞれ指定した値が使用されます。DSO の数値を得るためにシステム内で複雑な計算が行われるため、毎日夜間に DSO の計算を実行するよりも、定期的 (週次や月次など) に実行した方が全体の処理時間を短縮できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:DSO は計算されません。

1: DSO タブで処理オプションに入力した値に基づいて DSO が計算されます。

## 2. 最高残高の計算

この処理オプションを使用して、最高残高を計算するかどうかを指定します。この処理オプションを選択すると、最高残高の計算プログラム (R03B162) が実行されます。与信履歴を更新するたびに最高残高を計算する必要がない場合は、この処理オプションをブランクにして、必要時にのみこの処理オプションを選択することで、処理時間を節約できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク:最高残高は計算されません。

1: 最高残高が計算されます。最高残高は、期首残高(直前期間の期末残高)に対して、直前期間の末日付からプログラム実行日の間に発生した請求額の加算と入金(入金)の減算を行うことによって計算されます。今日の残高が前日の残高を超えた場合は、それが新規の最高残高になります。

## レコード集計

以下の処理オプションで、F03B16S テーブルの更新に使用されるレコードを指定します。

### 1. 集計日数

このオプションを処理オプション“終了日付”と併用し、情報をレコードに集計して F03B16S テーブルに保存するための、F03B16 テーブルから取得する明細レコードのサブセットを指定します。

たとえば、処理オプション“集計日数”を 365、“終了日付”を 2006 年 9 月 30 日とした場合、F03B16 テーブルに保存されている 2005 年 10 月 1 日から 2006 年 9 月 30 日までのレコードで F03B16S テーブルが更新されます。

日数を指定しない場合は、終了日付に入力した日付より前の全てのレコード(開始日以降累計)が選択されます。この処理オプションの設定は、システムが計算に要する処理時間に大きく影響します。開始日以降累計情報を管理する必要がない場合は、集計日数を指定して、プログラムの全体の処理時間を短縮してください。集計レコードの金額を更新するには、与信/回収期間パターンで定義した 1 期間の日数を入力する必要があります。日数を入力しない場合、集計レコードは日付の値のみ更新されます。

F03B16S テーブルは、与信/回収期間パターンで定義済みの、完了した期間に対してのみ更新されます。たとえば、与信/回収期間パターンが通常のカレンダー年に合わせて設定されている場合、終了日付フィールドで 4 月 15 日を指定すると、F03B16S テーブルは期間 3 (3 月) までの情報しか更新されません。このテーブルの情報を毎日更新するには、終了日付を次の期間の開始日付より前に設定するか、または会計年度末に設定します。

### 2. 終了日付

このオプションを処理オプション“集計日数”と併用し、情報をレコードに集計して F03B16S テーブルに保存するための、F03B16 テーブルから取得する明細レコードのサブセットを指定します。

たとえば、処理オプション“集計日数”を 365、“終了日付”を 2006 年 9 月 30 日とした場合、F03B16 テーブルに保存されている 2005 年 10 月 1 日から 2006 年 9 月 30 日までのレコードで F03B16S テーブルが更新されます。

日数を指定しない場合は、終了日付に入力した日付より前の全てのレコード(開始日以降累計)が選択されます。この処理オプションの設定は、システムが計算に要する処理時間に大きく影響します。開始日以降累計情報を管理する必要がない場合は、集計日数を指定して、プログラムの全体の

処理時間を短縮してください。集計レコードの金額を更新するには、与信/回収期間パターンで定義した 1 期間の日数を入力する必要があります。日数を入力しない場合、集計レコードは日付の値のみ更新されます。

F03B16S テーブルは、与信/回収期間パターンで定義済みの、完了した期間についてのみ更新されます。たとえば、与信/回収期間パターンが通常のカレンダー一年に合わせて設定されている場合、この処理オプションで 4 月 15 日と指定すると、F03B16S テーブルは期間 3 (3 月) までの情報しか更新されません。このテーブルの情報を毎日更新するには、終了日付を次の期間の開始日付より前に設定するか、または会計年度末に設定します。

---

## 統計情報の分析

このセクションでは、統計情報の概要、事前設定の一覧を示し、以下の作業を行う方法について説明します。

- 統計情報の検討
- 顧客勘定の期間別統計の検討

### 統計情報について

与信/回収活動の一環として、特定期間内における顧客の支払傾向を分析できます。たとえば、顧客の請求書の支払遅延平均日数や、顧客に請求した合計金額を検討できます。また、以下のタイプの統計実績も検討できます。

- 顧客勘定が設定された日付
- 支払遅延請求書の金額と件数
- 顧客の最高残高の金額と日付
- DSO

統計情報は、与信/回収期間パターンで定義した会計期間別に検討できます。また、統計実績更新プログラムの実行時に設定した処理オプションに基づいて集計された統計情報を検討することもできます。

各顧客の統計情報が会社別に表示され、会社 00000 レコードに含まれる全ての会社の合計が示されます。

集計された統計情報は F03B16S テーブルに保存され、期間別の情報は F03B16 テーブルに保存されます。

**注:** 1 つ以上の請求書が次の期間に転記されない限り、前の期間から次の期間への情報の更新は行われません。たとえば、2006 年 6 月 30 日で終了する期間の年齢調べカテゴリで請求書が表示される場合、その（それらの）請求書が未決済であっても、少なくとも 1 つの請求書が 7 月期に転記されない限り、2006 年 7 月 31 日の年齢調べカテゴリでは表示されません。

---

## 事前設定

統計実績更新プログラムを実行して、F03B16 テーブルと F03B16S テーブルを更新します。

## 統計情報の分析に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[会社別取引履歴照会]	W03B16E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [与信/回収管理] (G03B15)、[顧客取引履歴の照会]</li> <li>・ [顧客および請求書の入力] (G03B11)、[顧客取引履歴の照会]</li> </ul>	顧客の請求書の支払遅延平均日数などの統計情報を検討したり、顧客に請求した合計金額を検討することができます。
[期間別統計]	W03B16F	[会社別取引履歴照会] フォームで顧客勘定を選択し、[選択] をクリックします。	[期間別統計] フォームでは、各期間の情報が個別の明細行に表示されます。合計は最終行の 1 行上に表示されます。最終行の黒い太字で表示されている数値は、その列の平均値です。この平均には活動のない期間も含まれています。

## 統計情報の検討

[会社別取引履歴照会] フォームにアクセスします。

顧客取引履歴の照会 - 会社別取引履歴照会

選択(S) 検索(I) 閉じる(L) ロー(R) ツール(T)

顧客No. \*

☐ 親

レコード 1 - 10

顧客No.	顧客名	会社	会社名	残高	最高残高	最高残高日付
<input checked="" type="radio"/> 150	Property Management Company	00000	Worldwide Comp	16,716.66	21,026.46	2005/05/0
<input type="radio"/> 150	Property Management Company	00050	Project Managen	16,716.66	26,630.50	2005/06/3
<input type="radio"/> 1001	Doe, John	00000	Worldwide Comp	36,092.80	74,055.85	2005/05/0
<input type="radio"/> 1001	Doe, John	00001	Financial/Distrib	36,092.80	100,966.90	2005/06/3
<input type="radio"/> 1540	DeAnna's Deli	00000	Worldwide Comp	3,500.00	3,500.00	2005/07/0
<input type="radio"/> 1540	DeAnna's Deli	00150	Real Estate Man	3,500.00	7,000.00	2005/07/3
<input type="radio"/> 3001	Global Enterprises	00000	Worldwide Comp	53,108.95	678,138.74	2005/05/0
<input type="radio"/> 3001	Global Enterprises	00001	Financial/Distrib	35,431.26	67,443.26	2005/05/3
<input type="radio"/> 3001	Global Enterprises	00050	Project Managen	17,677.69	619,907.48	2005/07/0
<input type="radio"/> 3002	Atlantic Corporation	00000	Worldwide Comp	47,426.47	92,323.30	2005/06/3

[会社別取引履歴照会] フォーム

親レコードのみの情報を検討するには、[親] チェック ボックスをオンにして [検索] をクリックします。

# 顧客勘定の期間別統計の検討

[期間別統計] フォームにアクセスします。

顧客取引履歴の照会 - 期間別統計

会社別取引履歴照会

期間別統計

選択(S)

検索(I)

閉じる(L)

フォーム(F)

ツール(T)

顧客No.

3333

Continental Incorporated

会社

00000

Worldwide Company

日付範囲

\*

~

\*

レコード 1 - 9

グリッドのカスタマイズ

	期末日付	残高	延滞合計	未回収日数	与信日数	延滞日数	延長日数	加重平均日数	平均日数
<input checked="" type="radio"/>	2005/11/30						30.00-		
<input type="radio"/>	2005/09/30	84,396.79	83,711.68	168	61	107	31.00		
<input type="radio"/>	2005/08/31	84,396.79	83,711.68	194	2	192	28.00-	25.939634552	24.80
<input type="radio"/>	2005/07/31	88,994.94	87,899.68	116	1	115	29.00-	11.0000000000	9.000
<input type="radio"/>	2005/06/30	89,461.30	47,860.85	84	39	45	9.00	9.116071429	9.00
<input type="radio"/>	2005/05/31	98,061.30	26,059.85	103	75	28	45.00	1.0000000000	
<input type="radio"/>	2005/04/30	99,036.45		110	110		80.00		
<input type="radio"/>									
<input type="radio"/>		77,763.94	47,034.82						

[期間別統計] フォーム

## 実績の年次締め処理

このセクションでは、実績の年次締め処理の概要、事前設定の一覧を示し、以下の作業を行う方法について説明します。

- 実績の年次締めプログラムの実行
- 実績の年次締め (R03B161) の処理オプションの設定

## 実績の年次締めについて

実績の年次締めプログラムは、以下のような場合に実行します。

- 与信/回収期間パターンで定義した会計年度が完了した場合
- 別のシステムの請求書情報を変換した後で、前年度請求額フィールド (SPYE) に値を設定する場合実績の年次締めプログラムを実行すると、以下の処理が行われます。
- 年累計請求額が再計算され、前年度請求額フィールド (SPYE) が更新されます。  
会計年度の処理オプションに入力した値によって、その年度の請求金額が計算されます。
- 今年度請求額フィールド (ASTY) の金額がクリアされます。
- 与信/回収期間パターン テーブルの現行年度を示す期間パターンが変更されます。  
現行年度を示す会計期間パターンの値は 2 (前年度) に変更されます。次会計年度に設定されている期間パターンは 1 (現行年度) に変更されます。

今年度請求額フィールドと前年度請求額フィールドは、以下のフォームで検討できます。

- [会社別取引履歴照会] フォーム (顧客与信履歴プログラムからアクセス)
- 顧客追加情報フォーム (顧客マスター情報プログラムからアクセス)

## 事前設定

会社の与信/回収期間パターンが次の会計年度について設定されていることを確認します。会社 00000 に期間パターンを設定しておく必要があります。

## 実績の年次締めプログラムの実行

[期末処理] メニュー (G03B21) から [年次締め] を選択します。

## 実績の年次締め (R03B161) の処理オプションの設定

処理オプションの設定により、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### 年度

この処理オプションで、除去されるレコードが決まります。

1. 会計年度  
設定した与信/回収期間パターンに基づいて、締め処理の対象の年度を入力します。指定した会計年度の年累計請求額が再計算され、前年度請求額フィールド (SPYE) が更新されます。

---

## 統計実績レコードの除去

このセクションでは、統計実績の除去の概要を示し、以下の作業を行う方法について説明します。

- 統計除去データの再転記プログラムの実行
- 統計除去データの再転記 (R03B163) の処理オプションの設定

## 統計実績の除去について

統計除去データの再転記プログラムを実行すると、以下の処理が行われます。

- データ選択の設定に基づいて、F03B16 テーブルからレコードが除去されます。

---

**重要:** F03B16 テーブルは会社別の合計と全ての会社（会社 00000）の合計で構成されているため、データ選択で “Company” は使用しないでください。

---

- F03B11 テーブルにある請求レコードと F03B14 テーブルにある入金レコードの “資金管理への売掛金転記” フィールド (ISTC) の値が 1 から 0 にリセットされます。請求書に対する変更は F03B11 テーブルに反映されるため、F03B112 テーブルにあるレコードの ISTC フィールドの値はリセットされません。

処理オプションの設定変更などによって、処理を最初からやり直す必要がある場合は、F03B16 テーブルのレコードを除去します。処理オプションでバージョンを指定した場合は、F03B16 テーブルの情報が除去され、ISTC フィールドの状況がリセットされた後、統計実績更新プログラム (R03B16A) が自動的に再実行されます。このため、統計除去データの再転記プログラムの処理オプションでバージョンを指定する場合、除去を実行して再転記するには、統計実績更新プログラムの処理オプションを適切に設定しておく必要があります。F03B16 テーブル用に作成する新規の値に基づいて、F03B16S テーブルの情報の再計算が行われます。

## 統計除去データの再転記プログラムの実行

[売掛管理システムの上級/技術的操作] メニュー (G03B31) から [統計除去データの再転記] を選択します。

## 統計除去データの再転記 (R03B163) の処理オプションの設定

処理オプションの設定により、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定できます。

### オプション

この処理オプションで、F03B16S テーブルを再作成するために除去処理の完了時に実行される統計実績更新プログラムのバージョンが決まります。

- 1. R03B16A のバージョン** レコードの除去または再転記処理の完了後に実行される統計実績更新プログラムのバージョンを指定します。バージョンを指定しない場合、統計実績更新プログラムは実行されません。

### 日付

以下の処理オプションで、F03B16 テーブルからの除去処理の対象に選択されるレコードを指定します。

- 1. 開始日付 、 2. 終了日付** これらの処理オプションを使用して、F03B16 テーブルから除去されるレコードの日付範囲を指定します。

---

## (Rapid Start) Analyzing Accounts Receivable

This section discusses:

- How to analyze accounts receivable
- Preconfigured processing options for Open A/R Summary with Aging – Company 00001 (R03B413A)
- Preconfigured processing options for Open AR Details with Remarks (R03B4201A)
- Preconfigured processing options for Open A/R Details with Aging (R03B4201B)

- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand AR Summary by Company with Currency (R03B413B)
- Preconfigured processing options for Australian and New Zealand Build Netting Report (R03B465)
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Netting Report (R03B466)

## Analyzing Accounts Receivable

This table lists the tasks for analyzing AR.

Task	Navigation	Program and Version
Review open accounts receivable balances.	Accounts Receivable Reports Open AR Summary with Aging	R03B413A/RIS0001
Review open invoices.	Accounts Receivable Reports Open AR Details with Remarks	R3B4201A/RIS0001
Review open invoices with aging.	Accounts Receivable Reports Open AR Details with Aging	R03B4201B/RIS0001
Review AR statistical information.	Accounts Receivable Reports Statistical Trend Analysis	R03B165/RIS0001
Review AR statistical information.	Accounts Receivable Reports Aging Trend Analysis	R03B166/RIS0001
Review customer invoice trends.	Accounts Receivable Reports Receipt Trend Analysis	R03B167/RIS0001
Review customer payment trends.	Accounts Receivable Reports Invoice Trend Analysis	R03B168/RIS0001
(Rapid Start AUS and NZL) Review open customer summary information.	Accounts Receivable Reports Open AR Summary with Currency	R03B413B/RIS3001
(Rapid Start AUS and NZL) Review AR to AP netting	Accounts Receivable Reports Build Netting Report	R03B465/RIS0001
(Rapid Start AUS and NZL) Review AR to AP netting	Accounts Receivable Reports Print Netting Report	R03B466/RIS0001

Data reports provide additional data that has been preconfigured for Rapid Start.



## Preconfigured Processing Options for Open A/R Summary with Aging – Company 00001 (R03B413A)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Aging

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter a 1 to retrieve the aging specifications from the A/R constants.If left blank, the processing options will be used for aging.NOTE: If selected, all other aging processing options will be ignored.	blank
Age From Constants	1
2. Enter the Aging date to age open balances.If left blank, the current date is used as the default.	blank
Aging Date	blank
3. Specify one of the following dates to aging accounts from:	blank
Date to Aging Accounts From	blank
4. Specify one of the following methods for aging calculations:	blank
Aging Method	1

### Aging Days

Processing Option Description	Value or Status
5. Enter the aging days for each category (for aging method 1 only). Beginning 1:	blank
Thru	0
Thru	30
Thru	60
Thru	90
Thru	120

### Age Credits

Processing Option Description	Value or Status
6. Enter a 1 to age credits.If left blank, credits will be applied to the Current Aging Column.	blank
Age Credits	blank

**Print Options**

Processing Option Description	Value or Status
7. Enter a 1 to print the parent number on the report.If left blank, the parent number will not print.	blank
Print Parent Number	1

**Preconfigured Processing Options for Open AR Details with Remarks (R03B4201A)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Print**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Receipts	blank
2. Include Receipts in Total	blank
3. Date – As of	blank
4. Currency Code –Restatement	blank

**Preconfigured Processing Options for Open A/R Details with Aging (R03B4201B)**

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Aging**

Processing Option Description	Value or Status
1. Aging Specifications	1
2. Aging Date	blank
3. Date Type	blank
4. Aging Method	1
5. Aging Category 1	0
6. Aging Category 2	30
7. Aging Category 3	60
8. Aging Category 4	90
9. Aging Category 5	120

Processing Option Description	Value or Status
10. Aging Category 6	999
11. Age Credits	blank

**Receipts**

Processing Option Description	Value or Status
1. Print Receipts	blank
2. Original Total	blank

**Date**

Processing Option Description	Value or Status
1. Date – As Of	blank
2. Pre-Activity As Of	blank

**Currency**

Processing Option Description	Value or Status
1. Currency Code – Re-calculated	blank

**Insured Credit Limit**

Processing Option Description	Value or Status
1. Amount Open to be Exceeded	0
2. Currency Code of Amount Open	blank
3. Standard or Insured Credit Limit	blank

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand AR Summary by Company with Currency (R03B413B)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001.

**Aging**

Processing Option Description	Value or Status
1. Age From Constants	blank
2. Aging Date	blank

Processing Option Description	Value or Status
3. Date Type	blank
4. Aging Method	blank

### Aging Categories

Processing Option Description	Value or Status
1. Aging Category 1	0
2. Aging Category 2	0
3. Aging Category 3	0

### Age Credits

Processing Option Description	Value or Status
1. Age Credits	blank

### Print Options

Processing Option Description	Value or Status
1. Parent Number	blank

## Preconfigured Processing Options for Australian and New Zealand Build Netting Report (R03B465)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Version

Processing Option Description	Value or Status
1. Netting Workfile Build for A/R (R03B4651).	RIS0001
2. Netting Workfile Build for A/P (R03B4652).	RIS0001

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Netting Report (R03B466)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Format Control**

Processing Option Description	Value or Status
1. Foreign and domestic currency	blank
2. Supplier's invoice number	blank

**Aging**

Processing Option Description	Value or Status
3. A/R Company Constants	blank
4. Aging Date	blank
5. Date Type	blank
6. Aging Method (1,2,3)	blank
7. Aging Category 1	0
8. Aging Category 2	0
9. Aging Category 3	0
10. Aging Category 4	0
11. Aging Category 5	0
12. Age Credits	blank

**Maximum Days**

Processing Option Description	Value or Status
13. Maximum number of aging days	0

**Rounding**

Processing Option Description	Value or Status
14. Rounding Factor:	blank

**File Build**

Processing Option Description	Value or Status
15. File Build Options:	blank

Processing Option Description	Value or Status
16. A/R Build Version (R03B4651)	RIS0001
17. A/P Build Version (R03B4652)	RIS0001

## 第 21 章

# 払戻し処理

この章では、払戻しの概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 払戻しの作成
- 払戻しの転記

---

## 払戻しについて

払戻しを使って売掛管理システムで過入金を再分類し、買掛管理システムで未払伝票を作成します。たとえば、リポートを出して顧客に過入金を返金できます。払戻しを作成すると、未決済のクレジットメモに対して支払が行われ、顧客への払戻し伝票が作成されます。

払戻し処理は、顧客、会社および通貨の組み合わせに基づいて行うことができます。

---

**注:** 払戻し処理の他に、売掛/買掛相殺プロセスを使用して、売掛管理と買掛管理の取引を相殺することもできます。

---

参照: [第 22 章、「売掛金と買掛金の相殺」、607ページ](#)

---

## 事前設定

このセクションで説明されているタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 売掛管理システムと買掛管理システム間の仮勘定（決済勘定）について、AAI（自動仕訳）項目 NC を設定します。
- 顧客の仕入先マスター レコードが住所録にあることを確認します。
- ユーザー定義コード 00/DV（伝票）と 00/DT（請求書）に有効な伝票タイプ NO が設定されていることを確認します。

---

## 払戻しの作成

このセクションでは、払戻しの作成の概要と、以下の方法について説明します。

- 払戻しの作成プログラムの実行
- 払戻しの作成 (R03B610) の処理オプションの設定

## 払戻しの作成について

払戻しの作成プログラム (R03B610) には、テスト モードと最終モードの 2 つのバージョンがあります。払戻し可能な伝票リストを印刷するには、テスト モードのバージョンを使用します。顧客、会社、通貨の組み合わせごとに個別の払戻しレコードが作成され、レポートに印刷されます。

払戻しを処理するには、払戻し可能な伝票のリストから伝票を選択し、最終モードでバージョンを実行します。以下の処理が行われます。

- 入金レコードが入金見出しテーブル (F03B13) と入金明細テーブル (F03B14) に作成され、選択した請求書が決済済みになります。
- 入金バッチ (バッチ タイプ RB) が作成されます。このバッチは転記する必要があります。  
入金バッチを転記すると、売掛金勘定に借方記入され、AAI 項目 NC で指定した仮勘定に貸方記入されます。
- 請求書の支払状況が P (支払済み) に変更されます。
- 買掛金元帳テーブル (F0411) に伝票タイプ NO の買掛伝票が作成されます。

---

**注:** クレジット メモの税情報が記された伝票は作成されません。

---

- 伝票バッチ (バッチ タイプ V) が作成されます。このバッチは転記する必要があります。  
伝票バッチを転記すると、買掛金勘定に貸方記入され、AAI 項目 NC で指定した仮勘定に借方記入されます。

両方のバッチが正常に転記されると、仮勘定の残高はゼロになります。残高がゼロにならない場合は、この 2 つのバッチのいずれかの転記に問題があります。

---

**注:** 次の請求書伝票は払戻し処理に含まれません。

---

未充当入金 (RU)

手形 (R1)

損金 (R5)

---

### 未充当入金

払戻しの作成プログラムでは、未充当入金 (伝票タイプ RU) は処理されません。未充当入金の伝票は顧客に払戻しする必要がありますが、これらの伝票は入金プログラムによって作成されるため、F03B13 テーブルと F03B14 にもレコードが作成されています。

未充当入金について顧客に払戻しを行うには、入金を決済済みにして、返金請求書を作成する必要があります。返金請求書を作成するには、以下の作業を行います。

- 金額ゼロの請求書を作成します。
- 入金入力で、未充当入金を選択します。
- フォーム メニューの [選択] をクリックします。請求書の選択で、金額がゼロの請求書を検索して選択します。
- 入力タイプ コード フィールドに「10」を入力し、支払金額フィールドに未充当金額を指定します。
- [OK] をクリックします。



未充当入金を請求書と突き合わせる前に転記すると、未決済金額がゼロ（ブランク）になり、この入金は決済済みになります。請求書の未決済金額は、ゼロ（ブランク）から消し込まれた入金額をマイナスにした金額に変わります。

未充当入金が転記されなかった場合、F03B14 テーブルと売掛金元帳テーブル（F03B11）の未充当レコードが削除され、マイナスの金額で請求書が更新されます。これにより、払戻しの作成プログラムで請求書にアクセスし、買掛管理システムで伝票を作成して顧客に払戻しできるようになります。

## 自動採番

NO 伝票の伝票番号は、システム 04 の自動採番テーブルの伝票入力行（行 1）から割り当てられます。払戻し用に作成した伝票に個別の自動採番を割り当てるには、次のいずれかの方法を使用します。

### • 自動採番

ユーザー定義コード 00/DV のコード NO の記述 2フィールドに、行番号を指定する必要があります。次に、システム 04（買掛管理）の行に自動採番を指定します。

### • 会社/会計年度別自動採番

このフォームは、該当する会計年度について伝票タイプ NO に別個の行を作成する場合に使用します。

## 例: 払戻し用の伝票の選択

データ選択で指定したレコードの金額がマイナスの場合、払戻し伝票が作成されます。たとえば、次のレコードが F03B11 テーブルにあるとします。

顧客	会社	伝票タイプ	金額	通貨コード
4272	00001	RM	-100.00	USD
4272	00001	RI	50.00	USD
4272	00001	RI	100.00	USD
4272	00001	RM	-200.00	USD
4272	00010	RI	80.00	USD
4272	00010	RM	-150.00	USD
4272	00010	RI	180.00	USD

データ選択で次のように指定します。

- データ選択で顧客番号 4272 とだけ指定した場合、顧客 4272、会社 00001、通貨コード USD のグループに基づいて 150.00 ドル (USD) の払戻しが作成されます。

払戻し処理が行われるのは、グループ分けに基づいた顧客勘定の残高がマイナスのときだけです。会社 00010 の払戻しは、残高がプラスのため作成されません。

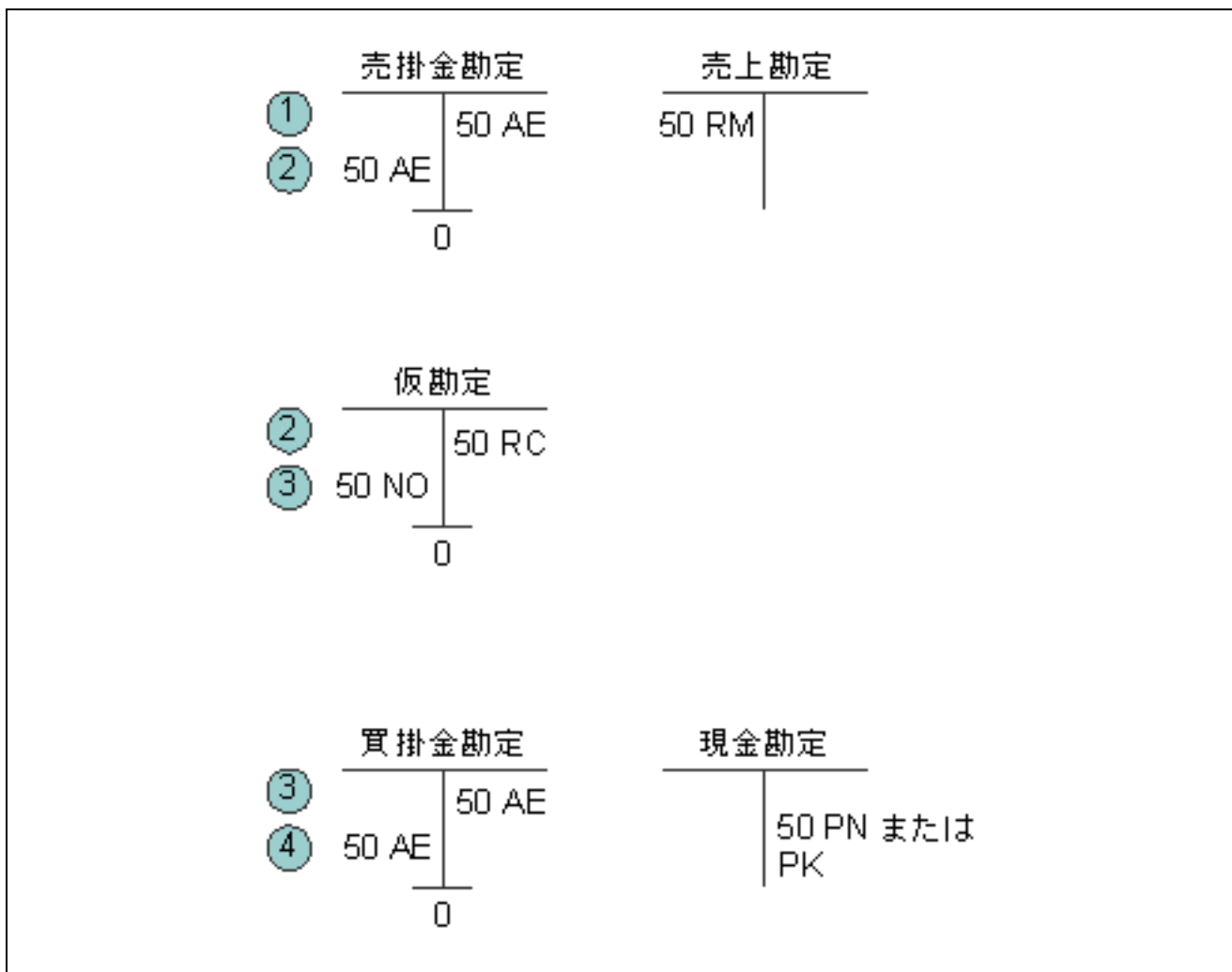
- データ選択で顧客番号 4272、伝票タイプ RM を指定した場合、顧客 4272 に次の 2 つの払戻しが作成されます。
  - 300.00 ドル (USD)。顧客番号 4272、会社 00001、通貨コード USD に基づいた 300.00 ドルの払戻し
  - 150.00 ドル (USD)。顧客番号 4272、会社 00010、通貨コード USD に基づいた 150.00 ドルの払戻し
- 伝票タイプ RM を指定したため、顧客の売掛金勘定の残高は考慮されません。

### 例: 払戻し金の会計処理

この例では、以下の情報を使用します。

1. 顧客に対する破損品分 50 ドルのクレジット メモを作成して取引を転記します。システムによって次の処理が行われます。
  - 売上（収益）勘定の借方記入
  - 売掛金勘定の貸方記入
2. 払戻し処理を行います。次の処理が行われます。
  - 貸方金額の売掛金勘定への借方記入および伝票タイプ NO の割り当て
  - 仮勘定の貸方記入
3. また、次の処理も行われます。
  - 買掛管理システム（買掛金勘定の貸方記入）での、顧客に対する払戻し伝票（NO）の作成および転記
  - 伝票の仮勘定への借方記入および貸方金額の消し込み
4. 買掛管理システムで顧客に対する払戻しのための支払伝票（伝票タイプ PK または PN）を貸方金額で作成して転記します。次の処理が行われます。
  - 買掛金勘定の借方記入
  - 現金勘定の貸方記入

次の図は、上記の各手順についての会計処理を示しています。



払戻し処理の会計処理の例

## 払戻しの作成プログラムの実行

[期末処理] メニュー (G03B21) の [払戻しの作成] をクリックします。

## 払戻しの作成 (R03B610) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

払戻し処理を行う際のデフォルト情報を指定します。

### 元帳日付

払戻しレコードに割り当てる元帳日付を指定します。この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。

### 元帳クラス

自動作成される伝票の元帳クラスを指定します。ここで指定した元帳クラスと AAI 項目 PC の値を組み合わせ、買掛金勘定が特定されます。この処理オプションをブランクにすると、仕入先マスター (F0401) で設定されている元帳クラスが使用されます。

**仕入先住所番号** 払戻し伝票に割り当てる住所番号を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 顧客の住所番号が割り当てられます。

1: 業種別顧客マスター (F03012) の支払人番号を割り当てます。

2: 業種別顧客マスター (F03012) の親番号を割り当てます。

## 処理

払戻しの実行モード (テスト モードまたは最終モード) と伝票の作成モード (集計モードまたは明細モード) を指定します。

**実行モード** プログラムをテスト モードまたは最終モードのどちらで実行するかを指定します。テスト モードでは、レポートのみ印刷されます。最終モードでは、レポートが印刷され、払戻し伝票が作成されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: テスト モード

1: 最終モード

**明細/集計モード** 支払項目 (クレジット メモ) を 1 つに集計した払戻し伝票を作成するか、クレジット メモごとに個別に支払項目を持つ払戻し伝票を作成するかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 集計。払戻し額の合計金額を 1 つの支払項目とする払戻し伝票が作成されます。

1: 明細。顧客のクレジット メモごとに個別の支払項目を持つ払戻し伝票が作成されます。

## バージョン

払戻しの作成に使用するプログラムのバージョンを指定します。

**1. 入金入力 (P03B102) バージョン** 入金レコードの作成に使用する入金入力プログラム (P03B102) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**2. 伝票入力 (P0400047) バージョン** 伝票レコードの作成に使用する伝票入力 MBF 処理オプション プログラム (P0411) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**3. 仕訳入力 (P0900049) バージョン** 伝票レコードの作成に使用する仕訳入力 MBF 処理オプション プログラム (P0900049) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

---

## 払戻しの転記

このセクションでは、払戻しの転記の概要、事前設定、および払戻しの転記プログラムの実行方法について説明します。

**関連項目:**

第 9 章、「入金処理」、「入金の承認および転記」、268 ページ

**払戻しの転記について**

払戻し処理の最終ステップは、生成された仕訳の転記です。入金と伝票を転記すると、F03B13、F03B14、および F0411 の各テーブルが更新され、必要な仕訳が作成されます。

**事前設定**

伝票バッチと入金バッチを確認して承認します。

**払戻しの転記プログラムの実行**

[期末処理] メニュー (G03B21) の [入金の転記] または [伝票の転記] をクリックします。



## 第 22 章

# 売掛金と買掛金の相殺

この章では、売掛金/買掛金相殺の概要、事前設定、および以下の作業を行う方法について説明します。

- 売掛金と買掛金の相殺
- 売掛金/買掛金相殺取引の処理

---

## 売掛金/買掛金相殺について

取引先との間に仕入れと販売の両方に大量の取引がある場合、売掛金相殺および買掛金相殺（売掛金/買掛金相殺）を行って売掛管理システムと買掛管理システムでの取引を集約することにより、業務効率を上げ、運用コストを削減することができます。

EnterpriseOne で売掛金/買掛金相殺を実行する場合、取引を買掛金から売掛金に、また売掛金から買掛金に再分類します。たとえば、買掛金のデビット メモを売掛金の請求書に再分類したり、売掛金のクレジット メモを買掛金伝票に再分類できます。

以下に示すとおり、どちらのシステムへ再分類するかによって、売掛金相殺または買掛金相殺を実行することになります。

- 売掛金相殺を行う場合は、買掛金取引を売掛金勘定に再分類します。
- 買掛金相殺を行う場合は、売掛金取引を買掛金勘定に再分類します。

売掛金/買掛金相殺は EnterpriseOne の払戻し処理に似ていますが、売掛金/買掛金相殺には以下の追加機能があり、手動で処理を行う点が異なります。

- 仮受金 (RU) の相殺機能
- 売掛金と買掛金間での取引の再分類機能
- 相殺取引の監査証跡機能

## この章で使用する共通フィールド

顧客/仕入先	売掛金/買掛金相殺を実行する顧客および仕入先の住所番号を入力します。
会社	売掛金/買掛金相殺を実行するソース伝票の会社番号を入力します。
通貨コード	売掛金/買掛金相殺を実行するソース伝票の通貨コードを入力します。売掛金/買掛金相殺は、同じ通貨コードの取引にのみ実行できます。

## 事前設定

このセクションのタスクを実行するには、事前に以下の作業を行う必要があります。

- 売掛管理システムおよび買掛管理システム間の仮勘定に対して、AAI（自動仕訳）項目“NC”を設定します。
- 仕入れと販売の両方を行う取引先の住所録レコードの売掛金/買掛金相殺フィールドに“Y”（はい）が設定されていることを確認します。

## 売掛金と買掛金の相殺

このセクションでは、売掛金/買掛金相殺処理の概要と以下の方法について説明します。

- 手動相殺機能（P03B455）の処理オプションの設定
- 売掛金相殺取引の入力
- 買掛金相殺取引の入力

### 売掛金/買掛金相殺処理について

売掛金/買掛金相殺を実行する際、以下の 3 種類の伝票を使用します。

- ソース伝票は、売掛管理システムまたは買掛管理システムに再分類される伝票です。
- 振替伝票は、ソース伝票を締めるために作成される伝票です。
- 結果伝票は、ソース伝票を相殺するために作成される伝票です。

たとえば、売掛金のクレジット メモを再分類する場合、マイナスの入金と伝票が作成されます。この場合、クレジット メモがソース伝票、マイナスの入金が振替伝票、そして伝票が結果伝票となります。

以下の表は、主なソース伝票と、各ソース伝票の再分類時に作成される振替伝票および結果伝票を示しています。

ソース伝票	振替伝票	結果伝票
請求書 (RI)	入金 (RC)	デビット メモ (PD)
クレジット メモ (RM)	マイナスの入金 (RC)	伝票 (PV)
仮受金 (RU)	該当なし	伝票 (PV)
伝票 (PV)	手動支払 (PN)	クレジット メモ (RM)
デビット メモ (PD)	手動支払 (PN)	請求書 (RI)

注: 伝票入力 MBF 処理オプション (P0400047) および請求書入力 MBF 処理オプション (P03B0011) の各プログラムで、結果伝票に割り当てられる独自の伝票タイプを指定できます。そのため、結果伝票に割り当てられる伝票タイプは、前述の表に示す伝票タイプとは異なる場合があります。



---

注: 以下の伝票に対しては、売掛金/買掛金相殺を実行できません。

手形 (R1、P1)

再請求 (RB)

損金 (R5)

一部支払済みの取引

---

売掛金/買掛金相殺を実行するには、手動相殺機能プログラム (P03B455) を使用して相殺取引を作成します。相殺取引の作成には、再分類する売掛金または買掛金のいずれかの取引を選択し、振替伝票および結果伝票を転記します。転記済み伝票処理オプションを使って、転記済みの取引のみを相殺対象とするか、または転記済みおよび未転記の両方の取引を相殺対象とするかを指定できます。

相殺取引を作成すると、以下の処理が実行されます。

- ソース伝票を締めるための振替伝票が振替バッチに作成されます。  
振替伝票バッチを転記すると、AAI 項目 NC で指定された勘定科目に基づいて、買掛金勘定または売掛金勘定が相殺されます。
- ソース伝票の支払状況が "P" (支払済み) に更新され、未決済額がゼロになります。
- ソース伝票を相殺するための結果伝票が結果バッチに作成されます。  
結果伝票バッチを転記すると、AAI 項目 NC で指定された勘定科目に基づいて、買掛金勘定または売掛金勘定が相殺されます。
- ソース伝票、振替伝票、結果伝票の相殺取引 ID、相殺伝票番号、および相殺行 ID の各フィールドに値が割り当てられます。
- 結果伝票の相殺状況フィールドの値が "0" (相殺無効) に更新され、この取引に対する売掛金/買掛金相殺が無効に設定されます。
- 売掛金結果伝票の入力システム フィールドの値が、売掛金/買掛金相殺処理によって作成されたことを示す "5" (売掛金/買掛金相殺) に更新されます。

---

注: ソース伝票に税金や割引額が含まれている場合、これらの金額は結果伝票に振り替えられません。税金および割引はソース システムで処理されます。

---

売掛金相殺または買掛金相殺にかかわらず、両方のシステムから取引を選択して、それらの取引の正味合計を表示させることができます。ただし、再分類されるのは、実行する相殺方法に適用される取引のみです。

たとえば、売掛金相殺を実行する場合、買掛金と売掛金の両方の取引を選択できます。相殺入力をする、と、選択した買掛金取引は売掛金に再分類されますが、売掛金で選択した取引は再分類されず、決済または改訂されます。買掛金相殺を実行すると、選択した売掛金取引は買掛金に再分類されますが、選択した買掛金取引は再分類されません。両方のシステムの取引を選択することで、どちら側に負債があるか、つまり、選択した売掛金取引と買掛金取引のどちらの残高が多いかを判断できます。これは、売掛金/買掛金相殺を実行するかどうかを判断するのに役立ちます。

---

注: 相殺状況フィールドに "1" が設定されている取引のみが売掛金/買掛金相殺の対象となります。顧客/仕入先の住所録レコードの売掛金/買掛金相殺フィールドに "Y" が設定されている場合、このフィールドの値が自動的に "1" に更新されます。売掛金/買掛金相殺フィールドが "N" (いいえ) に設定されている売掛金取引および買掛金取引を入力した場合には、スピード リリース プログラム (P03B114 および P0411S) を使って、これらの取引の相殺状況フィールドの値を "1" に変更できます。

---

参照: JD Edwards EnterpriseOne 買掛管理 8.11 SP1 PeopleBook、「支払伝票の準備」、「スピードリリース プログラムを使用した伝票の検討と改訂」

参照: 第 7 章、「請求書の処理」、「スピードリリースを使用した個々の請求書の更新」、183ページ

参照: 第 7 章、「請求書の処理」、「スピードリリースを使用した請求書のグループの更新」、183ページ

売掛金相殺の会計入力の例

以下の例を使って、売掛金相殺処理と、売掛金相殺の各ステップで行われる勘定項目への転記について説明します。

この例のシナリオは以下のとおりです。

- ある顧客に対し、請求書 (RI 101) を作成し、1,500 の請求を行います。
- 仕入先でもある同一の顧客から請求書を受領し、1,000 の伝票 (PV 001) を入力します。
- その顧客から 500 の支払を受け、これを入金 (RC 201) として入力します。

ステップ 1

金額 1,500 の請求書 RI 101 と、金額 1,000 の伝票 PV 001 を入力します。取引を転記すると、以下の勘定項目に仕訳が転記されます。

買掛金勘定		売掛金勘定	
PV001	1,000	1,500	RI 101

請求書と伝票の仕訳の転記

ステップ 2

顧客が 2 つの取引を相殺し、支払金額 500 を送金してきます。入金を入力するには、まず売掛金相殺を実行する必要があります。売掛金相殺を実行するには、伝票 PV 001 を選択し、売掛金勘定に再分類します。金額 1,000 の手動支払伝票 (PN 211) が作成され、伝票 PV 001 の未決済額がゼロ、支払状況が “P” に更新されます。手動支払伝票を転記すると、買掛金勘定の借方と、AAI 項目 NC で定義された相殺仮勘定の貸方に仕訳が転記されます。

買掛金勘定		売掛金勘定		相殺仮勘定	
PV001	1,000	1,500	RI 101		
PN 211	1,000				1,000
					PN 211

振替伝票の仕訳の転記

ステップ 3

また、手動支払伝票を相殺するためのクレジット メモ (RM 102) も作成されます。クレジット メモを転記すると、売掛金勘定の貸方、および相殺仮勘定の借方に仕訳が転記されます。

買掛金勘定		売掛金勘定		相殺仮勘定	
PV001		1,500	RI 101	1,000	PN 211
PN 211	1,000	1,000	RM 102	1,000	

結果伝票の仕訳の転記

相殺仮勘定の残高がゼロになり、顧客に対する未決済の正味請求額は 500 となります。この額は顧客からの支払額と一致します。

買掛金勘定		売掛金勘定		相殺仮勘定	
PV001		1,500	RI 101	1,000	PN 211
PN 211	1,000	1,000	RM 102	1,000	
		500			

売掛金勘定の正味残高

ステップ 4

入金として金額 500 の支払を入力し、その入金で取引 RI 101 と RM 102 を消し込みます。

買掛金勘定		売掛金勘定		相殺仮勘定	
PV001		1,500	RI 101	1,000	PN211
PN 211	1,000	1,000	RM 102	1,000	
		500	RC 201		

現金勘定	
RC 201	500

入金の仕訳の転記

## 売掛金および買掛金相殺に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[相殺照会の処理]	W03B455B	<ul style="list-style-type: none"> <li>買掛金相殺を実行するには、[相殺処理] (G03B23)、[手動相殺機能] の順にクリックします。</li> <li>売掛金相殺を実行するには、[相殺処理] (G0423)、[手動相殺機能] の順にクリックします。</li> </ul>	売掛金および買掛金の相殺済伝票と未相殺伝票を確認します。相殺済伝票については、関連するソース伝票、結果伝票、および振替伝票を確認し、相殺取引を削除したり無効にしたりすることもできます。
[買掛金相殺の入力]	W03B455D	[相殺照会の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	売掛金取引を買掛金勘定に再分類します。
[売掛金相殺の入力]	W03B455D	[相殺照会の処理] フォームで、[追加] をクリックします。	買掛金取引を売掛金勘定に再分類します。

## [手動相殺機能] (P03B455) の処理オプションの設定

処理オプションの選択によって、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### デフォルト

以下の処理オプションで、売掛金/買掛金相殺のデフォルト処理を指定します。

- 1. 支払手段の一時変更**

結果伝票に割り当てる支払手段として、業種別顧客マスター (F03012) および仕入先マスター (F0401) のレコードに定義されているデフォルトの支払手段の代わりに、支払手段処理オプションで指定した手段を使うかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 支払手段処理オプションで定義された支払手段を割り当てません。業種別顧客マスターおよび仕入先マスターのレコードに定義されている支払方法が割り当てられます。業種別顧客マスターと仕入先マスターのレコードに支払手段が定義されていない場合は、データ辞書のデフォルト値が割り当てられます。

1: 支払手段処理オプションで定義された支払手段が結果伝票に割り当てられます。
- 2. 支払手段**

結果伝票に割り当てる支払手段コード (ユーザー定義コード 00/PY) を指定します。支払手段の一時変更処理オプションがブランクの場合、この処理オプションは無視されます。
- 3. 備考**

結果伝票および振替伝票に割り当てる備考を指定します。
- 4. 支払状況コード**

結果伝票に割り当てる支払状況コード (ユーザー定義コード 00/PS) を指定します。この処理オプションをブランクにすると、データ辞書でデータ項目 PST (支払状況) に設定されている値が使用されます。

**注:** 売掛金相殺では、“E”、“G”、“P” および “S” の支払状況コードは無効です。買掛金相殺では、“#”、“D” および “P” の支払状況コードは無効です。

- 5. 買掛金勘定元帳クラス** 結果伝票の勘定に使用する元帳クラスを指定します。この処理オプションを空白にすると、売掛金相殺処理には業種別顧客マスター (F03012) で指定した値が、買掛金相殺処理には仕入先マスター (F0401) で指定した値がそれぞれデフォルトとして使用されます。
- 6. 仮勘定元帳クラス** 振替伝票および結果伝票の仮勘定 (相殺仮勘定) に使用する元帳クラスを指定します。ここで指定した元帳クラスの値と AAI 項目 NC の組み合わせで、仮勘定が特定されます。この処理オプションを空白にすると、売掛金相殺処理には業種別顧客マスター (F03012) で指定した値が、買掛金相殺処理には仕入先マスター (F0401) で指定した値がそれぞれデフォルトとして使用されます。
- 7. 受取人番号** 相殺処理の結果伝票に割り当てる受取人番号を指定します。このオプションは買掛金相殺処理でのみ使用されます。有効値は以下のとおりです。  
空白: 売掛金元帳テーブル (F03B11) の顧客番号が割り当てられます。  
1: 住所録のファクター/代理受取人フィールドの住所番号が割り当てられます。ファクター/代理受取人フィールドが空白の場合には、F03B11 テーブルの顧客番号が割り当てられます。

## プロセス

以下の処理オプションで、売掛金/買掛金相殺取引の処理方法を指定します。

- 1. 相殺方向** 売掛金相殺または買掛金相殺のどちらを実行するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 買掛金相殺が実行されます。売掛管理システムの取引が買掛管理システムに再分類されます。[買掛金相殺の入力] フォームの [買掛金] タブで取引を選択すると、これらの取引は売掛金勘定には再分類されず、決済または改訂されます。選択された取引の合計額が [買掛金相殺の入力] フォームのヘッダー領域に表示され、選択された売掛金および買掛金の取引の正味残高を確認できます。  
1: 売掛金相殺が実行されます。買掛管理システムの取引が売掛管理システムに再分類されます。[売掛金相殺の入力] フォームの [売掛金] タブで取引を選択すると、これらの取引は買掛金勘定には再分類されず、決済または改訂されます。選択された取引の合計額が [売掛金相殺の入力] フォームのヘッダー領域に表示され、選択された買掛金および売掛金の取引の正味残高を確認できます。
- 2. 実行モード** 相殺取引の処理を、追加/更新モードまたは照会モードのいずれで行うかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 追加/更新モードで取引を処理します。  
1: 照会モードで取引を処理します。
- 3. 転記済み伝票** 転記済みおよび未転記のソース伝票の相殺の可否を指定します。有効値は以下のとおりです。  
空白: 転記済みと未転記の両方のソース伝票の相殺を実行できます。  
1: 転記済みのソース伝票のみ相殺を実行できます。
- 4. 仮伝票** 仮伝票の相殺の可否を指定します (売掛金相殺のみ)。有効値は以下のとおりです。  
空白: 仮伝票の相殺が可能です。

1: 仮伝票の相殺は許可されません。

## 5. マイナス金額の相殺

相殺取引において相殺額の合計がマイナスになるのを許可するかどうかを指定します。買掛金相殺でこの処理オプションを“1”にすると、選択された買掛伝票の合計金額が選択された売掛伝票の合計金額より少ない場合にエラーが表示されます。逆に、売掛金相殺でこの処理オプションを“1”にすると、選択された売掛伝票の合計金額が選択された買掛伝票の合計金額より少ない場合にエラーが表示されます。

たとえば、買掛金相殺処理で、合計額 12,000 の売掛金取引と合計額 5,000 の買掛金取引を選択した場合、[買掛金相殺の入力] フォームのヘッダー領域にある [正味] カラムに計算結果として相殺額 -7,000 (5,000 - 12,000) が表示されます。この処理オプションが“1”に設定されている場合には、エラーメッセージが表示され、相殺額がマイナスになる買掛金相殺取引の入力を防止できます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: マイナス金額の相殺が許可されます。

1: マイナス金額の相殺は許可されません。

## 自動転記 (将来使用)

この処理オプションは将来使用するために用意されています。

## 割引

以下の処理オプションで、割引の処理方法を指定します。

### 1. 割引

選択したソース伝票の割引可能額フィールドの金額を 割引フィールドにロードするかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 割引フィールドに割引可能額フィールドが金額をロードされます。

1: 割引フィールドに割引可能額フィールドの金額はロードされません。

### 2. 割引認識方法

全ての割引を処理するか、または有効な割引のみ処理するかを指定します。割引を有効にするには、振替伝票の相殺元帳日付がソース伝票の割引期日以前である必要があります。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 全ての割引が処理されます。

1: 有効な割引のみが処理されます。

## バージョン

以下の処理オプションで、売掛金/買掛金相殺の伝票作成に使用するプログラムのバージョンを指定します。

### 1. 請求書入力バージョン

請求書レコードの作成に使用する請求書入力 MBF 処理オプション プログラム (P03B0011) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

**注:** 標準請求書伝票タイプおよびクレジット メモ伝票タイプ処理オプションで、相殺結果伝票固有の伝票タイプが設定されているバージョンを指定することをお勧めします。

### 2. 伝票入力バージョン

伝票レコードの作成に使用する伝票入力 MBF 処理オプション プログラム (P0400047) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。

注: 買掛伝票の伝票タイプおよびデビット メモの伝票タイプ処理オプションで、相殺結果伝票固有の伝票タイプが設定されているバージョンを指定することをお勧めします。

3. 入金入力バージョン

入金レコードの作成に使用する入金入力プログラム (P03B102) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
4. 仕訳バージョン

相殺結果伝票の作成に使用する仕訳入力 MBF 処理オプション プログラム (P0900049) のバージョンを指定します。この処理オプションをブランクにすると、バージョン ZJDE0001 が使用されます。
5. 請求書転記バージョン (将来使用)

この処理オプションは将来使用するために用意されています。
6. 支払転記バージョン (将来使用)

この処理オプションは将来使用するために用意されています。
7. 伝票転記バージョン (将来使用)

この処理オプションは将来使用するために用意されています。
8. 入金転記バージョン (将来使用)

この処理オプションは将来使用するために用意されています。

売掛金相殺取引の入力

[売掛金相殺の入力] フォームにアクセスします。

手動相殺機能 - 売掛金相殺の入力

OK(O) 検索(I) キャンセル(L) ツール(T)

相殺元帳日付2005/06/30相殺支払期日

結果バッチ番号7471売掛金合計買掛金合計正味

振替バッチ番号7472指定項目7,368.007,168.00200.00

取引ID16表示項目38,975.7128,261.0010,714.71

データ選択

顧客/仕入先3333元帳日付

会社通貨コードUSD支払期日

[売掛金相殺の入力] フォーム (1/2)

売掛金
買掛金

レコード 1 - 10

☐	☑	伝票 No.	伝票 タイプ	伝票 会社	請求書 日付	元帳日付	支払 期日	総額	未決済 金額	金額 (外貨)
<input type="checkbox"/>		354	PA	00060	2005/09/06	2005/07/12	2005/09/20	43,521.00	43,521.00	
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1562	PV	00001	2005/06/06	2005/06/30	2005/07/06	35.00	35.00	
<input type="checkbox"/>		1564	PV	00001	2005/06/05	2005/06/30	2005/06/15	1,500.00	1,500.00	
<input type="checkbox"/>		1565	PV	00001	2005/06/15	2005/06/30	2005/07/15	2,500.00	2,500.00	
<input type="checkbox"/>		1565	PV	00001	2005/06/15	2005/06/30	2005/08/14	2,500.00	2,500.00	
<input type="checkbox"/>		1570	PV	00001	2005/05/05	2005/05/31	2005/05/15	3,000.00	3,000.00	
<input type="checkbox"/>		1571	PV	00001	2005/05/10	2005/05/31	2005/05/20	2,700.00	2,700.00	
<input type="checkbox"/>		1572	PV	00001	2005/05/26	2005/05/31	2005/06/05	5,000.00	5,000.00	
<input type="checkbox"/>		1573	PV	00001	2005/04/23	2005/04/30	2005/05/03	1,200.00	1,200.00	
<input type="checkbox"/>		1577	PV	00001	2005/06/18	2005/06/30	2005/06/28	100.00	100.00	

指定番号

[売掛金相殺の入力] フォーム (2/2)

売掛金相殺取引を入力するには、次の手順に従います。

1. [通貨コード] フィールドに値を入力します。
2. (省略可) [相殺元帳日付] および [相殺支払期日] フィールドに値を入力します。
3. (省略可) [顧客/仕入先]、[会社]、[元帳日付] および [支払期日] の各フィールドに値を入力し、表示する取引の選択条件を絞り込みます。
4. [検索] をクリックします。  
 選択条件を満たし、かつ [相殺状況] フィールドに "1" が設定されている全ての未決済取引が表示されます。
5. [買掛金] タブに表示された取引の中から売掛金勘定に再分類する取引を選択し、[選択/選択解除] をクリックします。  
 選択した取引の横に、その取引が売掛金勘定に再分類されることを示すチェック マークが表示されます。再度 [選択/選択解除] をクリックすると、取引の選択状態が切り替わります。  
 また、[売掛金相殺の入力] フォームのヘッダー領域にある [買掛金合計] フィールドに、選択した取引の合計金額が表示され、詳細グリッドの下にある [選択番号] (画面上では [指定番号]) フィールドに選択した伝票の数が表示されます。
6. (省略可) 選択した買掛金取引と特定の売掛管理取引の相殺結果を確認するには、[売掛金] タブをクリックして、相殺結果を確認する取引を選択し、[選択/選択解除] をクリックします。  
 選択した取引の横にチェック マークが表示され、[売掛金相殺の入力] フォームのヘッダー領域にある [売掛金合計] フィールドに選択した取引の合計金額が表示されます。
7. [OK] をクリックします。



[相殺照会の処理] フォームが表示されます。さらに同じ振替伝票および結果伝票のバッチ番号に相殺取引を追加する場合は、[追加] をクリックして上記手順に従って売掛金相殺取引を入力します。

注: 振替バッチおよび結果バッチの状況は、手動相殺機能プログラムを終了するまで“使用中”のままになります。振替および結果バッチを転記するには、手動相殺機能プログラムを終了して、買掛管理および売掛管理の入力に対する管理者承認が必要かどうかに応じてバッチ状況が“承認済み”または“保留”に更新されるようにする必要があります。

## 買掛金相殺取引の入力

[買掛金相殺の入力] フォームにアクセスします。

買掛管理システムへ再分類する取引を、[買掛金] タブではなく[売掛金] タブから選択する点以外は、売掛金相殺を実行するのと同じ手順に従います。選択した売掛金取引と特定の買掛管理取引の相殺結果を確認するには、[買掛金] タブから取引を選択します。

<b>[相殺元帳日付]</b>	振替伝票の元帳日付フィールドに割り当てる日付を入力します。 このフィールドをブランクにすると、現在の日付が割り当てられます。
<b>[相殺支払期日]</b>	結果伝票の支払期日フィールドに割り当てる日付を入力します。 このフィールドをブランクにすると、ソース伝票に割り当てられている相殺支払期日が割り当てられます。
<b>[結果バッチ番号]</b>	結果伝票が作成されるバッチ番号が表示されます。

注: 手動相殺機能プログラムを終了するまで、相殺取引は同一の結果バッチ番号および振替バッチ番号に追加されます。

<b>[振替バッチ番号]</b>	振替伝票が作成されるバッチ番号が表示されます。
------------------	-------------------------

注: 手動相殺機能プログラムを終了するまで、相殺取引は同一の結果バッチ番号および振替バッチ番号に追加されます。

<b>[取引 ID]</b>	自動採番プログラム (P0002) から売掛金元帳 (F03B11)、入金見出し (F03B13)、入金明細 (F03B14)、買掛金元帳 (F0411)、買掛金照合伝票 (F0413)、および買掛金照合伝票明細 (F0414) の各テーブルの売掛金/買掛金相殺伝票に割り当てられる番号が表示されます。この番号により、売掛金/買掛金相殺取引を構成するソース伝票、振替伝票、結果伝票を識別することが可能となるため、監査証跡となります。
----------------	--

<b>[指定項目]</b>	<p>[売掛金] および [買掛金] の各タブで選択した取引の累計額が表示されます。</p> <p>[売掛金] タブで選択した取引については、算出された取引の合計額が [売掛金合計] の下に表示されます。</p> <p>[買掛金] タブで選択した取引については、算出された取引の合計額が [買掛金合計] の下に表示されます。</p> <p>さらに、売掛金相殺を実行する場合には、売掛金合計額から買掛金合計額が差し引かれ、正味合計額が算出されます。逆に、買掛金相殺を実行する場合には、買掛金合計額から売掛金合計額が差し引かれ、正味合計額が算出されます。</p>
---------------	---

たとえば、買掛金相殺を実行する場合、[売掛金] タブで選択した取引の合計額が 5,000、[買掛金] タブで選択した取引の合計額が 8,000 だとすると、[指定項目] の各フィールドには以下の金額が表示されます。

- [売掛金合計]: 5,000
- [買掛金合計]: 8,000
- [正味]: 3,000

#### [表示項目]

指定した選択条件に基づき [売掛金] および [買掛金] の各タブに表示された全ての取引の合計額が表示されます。さらに、売掛金相殺を実行する場合には、売掛金合計額から買掛金合計額が差し引かれ、正味合計額が算出されます。逆に、買掛金相殺を実行する場合には、買掛金合計額から売掛金合計額が差し引かれ、正味合計額が算出されます。

たとえば、買掛金相殺を実行する場合、[売掛金] タブに表示された取引の合計額が 20,000、[買掛金] タブに表示された取引の合計額が 35,000 だとすると、[表示項目] の各フィールドには以下の金額が表示されます。

- [売掛金合計]: 20,000
- [買掛金合計]: 35,000
- [正味]: 15,000

#### [元帳日付]

売掛金/買掛金相殺の実行対象となるソース伝票に割り当てる元帳日付を入力します。

#### [支払期日]

売掛金/買掛金相殺の実行対象となるソース伝票に割り当てる支払期日を入力します。

## 売掛金/買掛金相殺取引の処理

このセクションでは、売掛金/買掛金相殺取引の改訂の概要と以下の方法について説明します。

- 売掛金/買掛金相殺取引に関連付けられた伝票の確認
- 売掛金/買掛金相殺取引の無効化と削除

### 売掛金/買掛金相殺取引の改訂について

売掛金/買掛金相殺取引の入力が済んだら、手動相殺機能プログラムを使って、取引に関連付けられたソース伝票、振替伝票、結果伝票を確認したり、相殺済みや未相殺の取引を確認したりすることができます。

さらに、関連付けられた結果伝票が未払いの相殺取引を削除、または無効にすることができます。相殺取引の削除と無効化は同一の手順に従って行います。振替伝票と結果伝票が未転記の場合、結果レコードおよび振替レコードが削除されます。振替伝票と結果伝票が転記済みの場合には、新しい逆仕訳レコードが作成されます。

相殺取引を削除または無効にするには、結果伝票を選択して削除、または無効化の処理を開始する必要があります。結果伝票を削除または無効にすると、対応する振替伝票が自動的に削除または無効化されます。

結果伝票を削除する場合、以下の処理が行われます。

- ・ソース伝票の未決済金額が復元されます。
- ・“P”（支払済み）に設定されているソース伝票の支払状況が、ソース伝票が売掛金取引の場合には顧客マスター レコードに割り当てられた値に、ソース伝票が買掛金取引の場合には仕入先マスター レコードに割り当てられた値に変更されます。顧客マスターおよび仕入先マスターのレコードに支払状況の値が設定されていない場合には、データ辞書の値が割り当てられます。
- ・ソース伝票の相殺取引 ID、相殺伝票番号、および相殺行 ID の各フィールドの値が削除されます。
- ・振替伝票および結果伝票が削除されます。

結果伝票を無効にする場合、以下の処理が行われます。

- ・ソース伝票の未決済金額が復元されます。
- ・“P” に設定されているソース伝票の支払状況が、ソース伝票が売掛金取引の場合には顧客マスター レコードに割り当てられた値に、ソース伝票が買掛金取引の場合には仕入先マスター レコードに割り当てられた値に変更されます。
- ・ソース伝票の相殺取引 ID、相殺伝票番号、および相殺行 ID の各フィールドの値が削除されます。
- ・振替伝票および結果伝票に無効の印が付けられます。
- ・相殺取引 ID、相殺伝票番号、および相殺行 ID の各フィールドの値がそのままの振替伝票と結果伝票に対して取り消しレコードが作成されます。

**注:** 相殺伝票の削除や無効化は、手動相殺機能プログラムで行う必要があります。伝票が属するアプリケーションで、相殺伝票を削除したり無効にしたりすることはできません。たとえば、伝票入力プログラムで結果伝票を削除したり無効にしたりすることはできません。

## 売掛金/買掛金相殺取引の処理に使用するフォーム

フォーム名	フォーム ID	ナビゲーション	用途
[相殺照会の処理]	W03B455B	[相殺処理] (G03B23 または G0423)、[手動相殺機能]	相殺済みおよび未相殺の取引や、関連付けられたソース伝票、振替伝票、結果伝票を確認したり、売掛金/買掛金相殺取引の削除および無効化を実行します。

## 売掛金/買掛金相殺取引に関連付けられた伝票の確認

[相殺照会の処理] フォームにアクセスします。

[「相殺照会の処理」フォーム](#)

1. (省略可) [顧客/仕入先]、[会社]、[通貨コード]、[元帳日付]、[支払期日]、および [トランザクションID] の各フィールドに値を入力し、表示する取引の選択条件を絞り込みます。
2. [相殺済伝票] オプションを選択し、[検索] をクリックして相殺済み伝票を確認します。  
詳細グリッドに相殺済みのソース伝票と結果伝票が表示されます。

注: ソース伝票は「相殺状況」フィールドに「1」が設定されています。結果伝票は「相殺状況」フィールドに「0」が設定されています。

- Copyright © 2005, Oracle. All rights reserved.

ソース伝票が、伝票の種類に応じたフォームで表示されます。

5. ソース伝票と関連付けられた結果伝票を確認するには、[相殺照会の処理] フォームでソース伝票を選択し、[ソース/結果伝票] をクリックします。

結果伝票が、伝票の種類に応じたフォームで表示されます。

## 売掛金/買掛金相殺取引の無効化と削除

[相殺照会の処理] フォームにアクセスします。

売掛金/買掛金相殺取引を無効にしたり削除したりするには、次の手順に従います。

1. 削除または無効にする相殺取引と関連付けられた結果伝票を選択します。
2. [削除/無効] をクリックします。
3. [削除の確認] フォームが表示されます。[OK] をクリックします。
  - 買掛金相殺取引を無効にする際、結果伝票と振替伝票が転記済みの場合には、[無効情報の入力] フォームが表示されます。[無効日付] および [理由コード] (03B/VR) のフィールドにそれぞれ日付と理由コードを入力し、[OK] をクリックします。
  - 売掛金相殺取引を無効にする際、結果伝票と振替伝票が転記済みの場合には、[無効情報の入力] フォームが表示されます。[無効日付] および [請求書改訂コード] (03B/AR) の各フィールドに日付と理由コードを入力します。

**[未相殺伝票]**                      まだ売掛金/買掛金相殺を実行していない取引のみを表示する場合に選択します。

**[相殺済伝票]**                      売掛金/買掛金相殺を実行済みの取引を表示する場合に選択します。

### 詳細グリッドに表示されるフィールド

以下のフィールドは、[相殺照会の処理] フォームの詳細グリッドに表示されます。

**[相殺取引 ID]**                      相殺取引を識別するために、ソース伝票、振替伝票、および結果伝票に割り当てられる番号が表示されます。取引 ID には 1 つ以上の相殺伝票が含まれます。

**[相殺伝票 No.]**                      相殺振替伝票および相殺結果伝票を作成する際に元となる相殺ソース伝票を相互参照するために割り当てられる番号が表示されます。この番号は自動採番プログラム (P0002) によって割り当てられます。

**[相殺行 ID]**                      このフィールドは、将来使用するために用意されています。現時点では、全ての相殺伝票において、このフィールドの値は "1" に設定されます。



## 第 23 章

# 売掛管理レポートの印刷

この章では、以下の作業手順について説明します。

- 相殺レポートの印刷
- 顧客/仕入先残高レポートの印刷
- キャッシュ フローの予測

**関連項目:**

付録 D, 「EnterpriseOne 売掛管理レポート」 719 ページ

---

## 相殺レポートの印刷

このセクションでは、相殺レポートの概要、売掛金相殺ワークファイル、売掛金/買掛金の相殺レポート、年齢調べ相殺レポート、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 相殺レポート ファイルの作成プログラムの実行
- 相殺レポート ファイルの作成 (R03B465) の処理オプションの設定
- 売掛金/買掛金の相殺レポートの印刷
- 年齢調べ相殺レポートの印刷
- 年齢調べ相殺レポート (R03B466) の処理オプションの設定

## 相殺レポートについて

取引先との間で仕入と販売の両方に大量の取引がある場合、売掛金と買掛金を相殺できます。取引を相殺する場合、相互の未決済請求額を計算します。その結果、双方とも未決済の取引が 1 回の支払または入金処理で済みます。

相殺レポートを印刷して、支払額または請求額を確認できます。これらのレポートでは勘定元帳に対する調整は行われませんが、売掛金と買掛金の差を確認できるので、次の状況で役立ちます。

- 売掛金の貸方に残高がある。
- 買掛金の借方に残高がある。
- 顧客または仕入先に売掛金と買掛金の両方の残高がある。

この情報を使用して売掛金残高と買掛金残高を相殺できます。

---

**注:** この章で説明する相殺レポートは、売掛金/買掛金の相殺処理には関連しません。

---

## 売掛金相殺ワークファイルについて

相殺レポートを印刷するには、レポートに使用するワークファイルを更新する必要があります。相殺レポートファイルの作成プログラムを実行すると、売掛金元帳テーブル (F03B11) と買掛金元帳テーブル (F0411) にある最新の情報に基づいて、売掛金相殺ワークファイル テーブル (F03B465) が再作成されます。

相殺レポート ファイルの作成プログラム (R03B465) を実行すると、次の 2 つのプログラムが実行されます。

- 売掛金相殺ファイルの再作成 (R03B4651)
- 買掛金相殺ファイルの再作成 (R03B4652)

これらの 2 つのプログラムには、処理オプションはありません。

### データ選択

デフォルトでは、F03B465 テーブルから未決済の請求書と伝票のみが読み込まれます。データ選択を使用して、テーブルサイズを限定できます。たとえば、会社と会計期間に基づいてレコードを選択できます。

データ選択は、次のように変更します。

- 売掛管理の場合は、売掛金相殺ファイルの再作成プログラム (R03B4651) でデータ選択を変更します。
- 買掛管理の場合は、買掛金相殺ファイルの再作成プログラム (R03B4652) でデータ選択を変更します。

## 売掛金/買掛金の相殺レポートの印刷

買掛金と売掛金の未決済残高の相殺額を自動的に計算するには、売掛金/買掛金の相殺レポートを印刷します。

このレポートには、F03B11 テーブルと F0411 テーブルの情報がリストされます。

このレポートを印刷すると、次の処理が実行されます。

1. 売掛金勘定および買掛金勘定の未決済額の残高がそれぞれ合計されます。
2. 2 つの合計が比較されます。
3. 相殺金額が計算されます。

たとえば、未決済売掛金残高が 50,000 ドル、未決済買掛金残高が 30,000 ドルの場合、相殺の結果 20,000 ドルの売掛金が残ります。この逆の場合は相殺の結果、買掛金が残ります。

4. 2 つの相殺金額フィールドの金額を計算して、該当するカラムに総合計をリストします。

このレポートには処理オプションはありません。

このレポートを実行する前に、相殺レポート ファイルの作成プログラム (R03B465) を実行して、売掛金相殺ワークファイル テーブルを更新してください。

### データ選択

各データ選択フィールドは、\*ALL に等しくなるように設定します。これによって、全てのデータがレポートに含まれ、正確な相殺額が把握できます。

### データ順序

このレポートは住所番号別と会社別の順序になっています。この順序は変更しないでください。



## 年齢調べ相殺レポートについて

残高の年齢を調べるには、年齢調べ相殺レポートを印刷します。このレポートには、通貨別に年齢を調べた顧客と仕入先による取引がリストされます。

このレポートを異なるバージョンで作成すると、明細情報と集計情報を印刷できます。また、多通貨または国内通貨用のバージョンでレポートを作成することもできます。

このレポートには、F03B465 テーブルの情報がリストされます。

このレポートを印刷すると、次の処理が実行されます。

- 売掛金勘定および買掛金勘定の未決済額の残高がそれぞれ合計されます。
- 処理オプションで指定した勘定科目ごとに残高の年齢調べが行われます。

このレポートを実行する前に、相殺レポート ファイルの作成プログラム (R03B465) を実行して、売掛金相殺ワークファイル テーブルを更新してください。

### データ選択

データ選択を使用して、レポートに表示するデータを絞り込むことができます。たとえば、F03B11 テーブルと F0411 テーブルで共有している多くのフィールドの他に、住所録マスター (F0101) のフィールドを指定することができます。

### データ順序

このレポートは、会社番号別と住所番号別の順序になっています。順序を追加することはできますが、住所番号と会社の順序は変更はしないでください。

## 事前設定

F03B465 テーブルがあることを確認します。他のプログラムとは異なり、相殺レポート ワークファイルの作成プログラムでは、テーブルが存在しない場合、テーブルの作成は行われません。

## 相殺レポート ファイルの作成プログラムの実行

[売掛管理レポート] メニュー (G03B14) の [売掛金/買掛金相殺結果のリフレッシュ] をクリックします。

## 相殺レポート ファイルの作成 (R03B465) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### バージョン

この処理オプションでは、相殺レポート ファイルの作成プログラム (R03B465) の実行時に使用するプログラムのバージョンを指定します。

- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| <b>1. 売掛金相殺ワークファイルの作成 (R03B4651)</b> | 実行する売掛金相殺ファイルの再作成プログラム (R03B4651) のバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、デフォルトバージョンとして ZJDE0001 が使用されます。 |
| <b>2. 買掛金相殺ワークファイルの作成 (R03B4652)</b> | 実行する買掛金相殺ファイルの再作成プログラム (R03B4652) のバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、デフォルトバージョンとして ZJDE0001 が使用されます。 |

## 売掛金/買掛金の相殺レポートの印刷

[売掛管理レポート] メニュー (G03B14) の [売掛金/買掛金の相殺] をクリックします。

## 年齢調べ相殺レポートの印刷

[売掛管理レポート] メニュー (G03B14) の [年齢調べ相殺レポート] をクリックします。

## 年齢調べ相殺レポート (R03B466) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 形式

1. 外貨と国内通貨  
 年齢調べ情報を国内通貨のみで印刷するか、国内通貨と外貨の両方で印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 国内通貨のみで年齢調べ情報が印刷されます。  
 1: 国内通貨と外貨の両方で年齢調べ情報が印刷されます。
2. 仕入先の請求書番号  
 レポートに仕入先ごとの請求書番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 仕入先請求書番号はレポートに印刷されません。  
 1: 仕入先請求書番号がレポートに印刷されます。

### 年齢調べ

3. 売掛管理会社固定情報  
 売掛管理固定情報と年齢調べ処理オプションのどちらから年齢調べ設定を読み込むかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 年齢調べ処理オプションで指定した値が使用されます。  
 1: 売掛管理固定情報で指定した値が使用されます。売掛管理固定情報の基準日フィールドがブランクの場合、年齢調べ日付処理オプションで指定した日付が使用されます。この値もブランクの場合は、現在の日付が使用されます。このオプションを選択すると、処理オプションの 3 から 12 までは無視されます。
4. 年齢調べ日付  
 未決済請求書を割り当てる年齢調べカテゴリを決定する際に使用する日付を指定します。入力した日付と請求書の日付 (日付タイプ処理オプションで指定した日付) を比較して、請求書の延滞日数が計算されます。  
 この処理オプションをブランクにすると、システム日付を使用して未決済請求書の年齢調べが行われます。
5. 日付タイプ  
 年齢調べカテゴリの決定に使用する請求書の日付を指定します。ここで指定した日付と年齢調べ日付処理オプションの値を比較して、請求書の延滞日数が計算されます。有効値は以下のとおりです。  
 D: 支払期日。この値がデフォルト値です。  
 I: 請求書日付。  
 G: 元帳日付。

**6. 年齢調べ方法 (1、2、3)**

請求書の割り当てに使用する年齢調べカテゴリを指定します。年齢調べ日付処理オプションで指定した日付と日付タイプ処理オプションで指定した値によって各請求書の経過日数が計算され、この処理オプションで指定した年齢調べカテゴリに割り当てられます。有効値は以下のとおりです。

1: 経過日数。処理オプションの年齢調べカテゴリ 1 から年齢調べカテゴリ 5 で指定した年齢調べカテゴリに請求書が割り当てられます。年齢調べカテゴリには、自由に日数を設定することができます。

2: 会計期間。会社レコードの会計期間パターンで定義されている会計期間を使用して、年齢調べカテゴリが作成されます。

3: カレンダー。カレンダーの各月を年齢調べカテゴリとして使用します。

**7. 年齢調べカテゴリ 1 ~  
11. 年齢調べカテゴリ 5**

年齢調べカテゴリに使用する期間を指定します。

**12. マイナス金額の年齢調べ**

金額がマイナスの年齢調べ方法を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 金額がマイナスの請求書の年齢調べは実行されません。マイナスの金額は現行年齢調べカラムに算入されます。

1: 年齢調べタブの日付タイプ処理オプションで指定した年齢調べの方法が使用されます。

**最高日数****13. 最高経過日数**

このレポートに含める取引の最高経過日数を指定します。この処理オプションをブランクにすると、経過日数に関係なく全ての取引が含まれます。

**四捨五入****14. 四捨五入単位**

このレポートの金額に使用する四捨五入単位を指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 四捨五入は行われません。

0: 小数点以下が四捨五入されます。

1: 10 で除算されます。

2: 100 で除算されます。

3: 1000 で除算されます。

4: 10000 で除算されます。

5: 100000 で除算されます。

**ファイル作成****15. ファイル作成オプション**

売掛金ファイル作成のバージョンおよび買掛金ファイル作成のバージョンの処理オプションと組み合わせて、ワークファイルを作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: ワークファイルは作成されません。

1: 保存用ワークファイルが作成されます。

2: 一時ワークファイルが作成されます。一時ワークファイルは、このレポートが作成されるとクリアされます。

#### 16. 売掛金ファイル作成 (R03B4651) のバージョン

実行する売掛金相殺ファイルの再作成プログラム (R03B4651) のバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、デフォルトバージョンとして ZJDE0001 が使用されます。

#### 17. 買掛金ファイル作成 (R03B4652) のバージョン

実行する買掛金相殺ファイルの再作成プログラム (R03B4652) のバージョンを指定します。この処理オプションを空白にすると、デフォルトバージョンとして ZJDE0001 が使用されます。

## 顧客/仕入先残高レポートの印刷

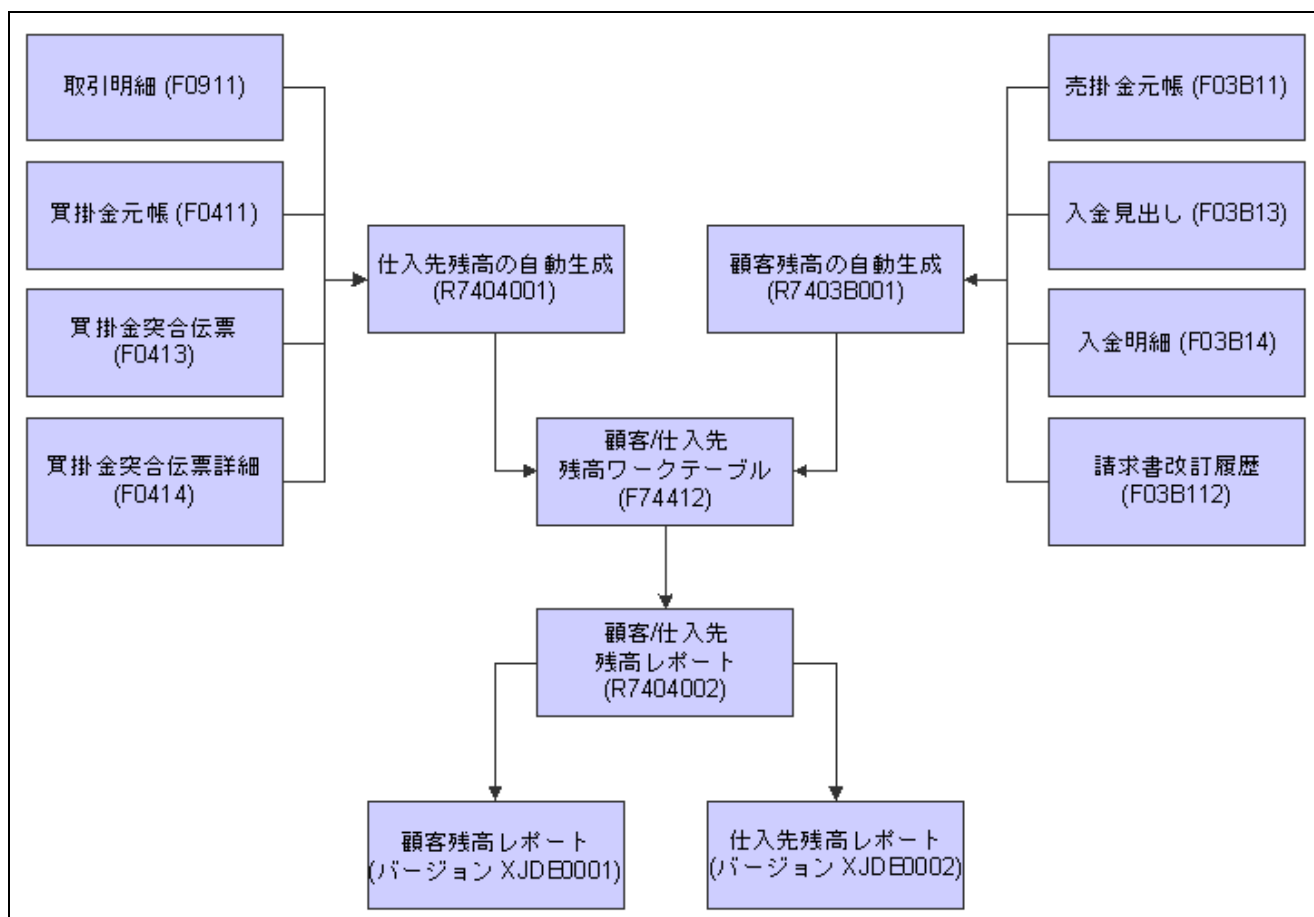
このセクションでは、顧客/仕入先残高ワークテーブルの概要、顧客残高レポートと仕入先残高レポートの概要、および以下方法について説明します。

- 顧客/仕入先残高ワークテーブルの作成
- 仕入先残高の自動生成 (R7404001) の処理オプションの設定
- 顧客残高の自動生成 (R7403B001) の処理オプションの設定
- 顧客残高レポートと仕入先残高レポートの印刷
- 顧客/仕入先残高レポート (R7404002) の処理オプションの設定

### 顧客/仕入先残高ワークテーブルについて

顧客/仕入先残高ワークテーブル (買掛金/売掛金) (F74412) には、顧客および仕入先の取引に関する情報が含まれます。F74412 テーブルは、仕入先残高の自動生成 (R7404001) プログラムと顧客残高の自動生成 (R7403B001) プログラムを実行して作成します。F74412 テーブルには、顧客/仕入先残高レポート (R7404002) に関する情報が格納されます。

次の図は、顧客/仕入先残高レポートに適用される F74412 テーブルの作成プロセスを示しています。



顧客および仕入先残高レポート プロセス

F74412 テーブルの情報をどのようにグループ化するかによって、顧客残高レポートと仕入先残高レポートでの情報の表示方法が異なります。F74412 テーブルの情報は次のようにグループ化できます。

- 元帳クラスおよび顧客/仕入先番号別
- 元帳クラスおよび顧客/仕入先の親番号別
- 買掛/売掛勘定および顧客/仕入先番号別
- 買掛/売掛勘定および顧客または仕入先の親番号別
- 顧客/仕入先番号別
- 顧客/仕入先の親番号別

F74412 テーブルの情報をグループ化する方法を指定するには、仕入先残高の自動生成プログラムと顧客残高の自動生成プログラムの処理オプションを設定します。

元帳クラス別に F74412 テーブルの情報をグループ化すると、手形と損金は顧客/仕入先残高レポートから除外されます。他のグループ化では、手形はレポートに含まれます。

仕入先残高の自動生成プログラムでは、次のテーブルから情報を取得します。

- F0411
- F0413
- F0414
- F0911

顧客残高の自動生成プログラムでは、次のテーブルから情報を取得します。

- F03B11
- F03B112
- F03B13
- F03B14

F74412 テーブルは、仕入先残高の自動生成プログラムと顧客残高の自動生成プログラムを実行するたびに再作成されます。仕入先残高の自動生成プログラムは買掛金レコードのみを再作成し、顧客残高の自動生成プログラムは売掛金レコードのみを再作成します。

## 顧客残高レポートと仕入先残高レポートについて

仕入先残高レポートと顧客残高レポートは、同一のプログラム (R7404002) の異なるバージョンです。プログラムのバージョンが仕入先残高レポートを作成するか顧客残高レポートを作成するかは処理オプションによって決まります。

仕入先残高レポートと顧客残高レポートを印刷して、会社と顧客/仕入先間の取引の明細を確認します。このレポートには、指定した日付範囲と選択した会社について、顧客/仕入先ごとに次の情報が出力されます。

- 初期残高
- 借方/貸方の残高
- 終了残高

仕入先残高レポートと顧客残高レポートには、他に次のような特徴があります。

- 取引は、借方と貸方の金額が個別に印刷されます。
- 手形額を含む取引金額をユーロまたは別の通貨でレポートに印刷できます。
- このレポートを集計モードまたは明細モードで印刷できます。
- 顧客/仕入先残高ワークテーブル (買掛金および売掛金) (F74412) の作成時に元帳クラス別でグループ化すると、データ選択、順序設定、小計で元帳クラスを使用できます。
- 仕入先残高の自動生成プログラム (R7404001) と顧客残高の自動生成プログラム (R7403B001) の処理オプションで指定した開始日付と終了日付に基づいて、特定の日付の顧客/仕入先の残高を算出できます。
- 仕入先残高の自動生成プログラムと顧客残高の自動生成プログラムの処理オプションで指定した期間内の取引が印刷されます。
- 元帳クラスまたは売掛金/買掛金勘定別に、顧客と仕入先の残高を各勘定の残高と比較できます。

仕入先残高レポートと顧客残高レポートは、顧客/仕入先残高ワークテーブル (買掛金および売掛金) (F74412) の情報に基づいて作成されます。顧客残高レポートと仕入先残高レポートを実行する前に、仕入先残高の自動生成プログラム (R7404001) と顧客残高の自動生成プログラム (R7403B001) を使用してワークテーブルを作成する必要があります。

初期残高は、仕入先残高の自動生成プログラムと顧客残高の自動生成プログラムの開始日付処理オプションで指定した日付の前日に基づいて計算されます。

---

**注:** 源泉徴収の対象となる仕入先の伝票を支払うと、仕入先残高の自動生成プログラムの処理オプションの設定に応じて、仕入先残高レポートの支払行の直後に源泉徴収額が印刷されます。

---

## 顧客/仕入先残高ワークテーブルの作成

次のナビゲーションのいずれかまたは両方を使用します。

[買掛管理レポート] メニュー (G0414) の [仕入先残高の自動生成] をクリックします。

[売掛管理レポート] メニュー (G03B14) の [顧客残高の自動生成] をクリックします。

**注:** 仕入先残高の自動生成 (R7404001) と顧客残高の自動生成 (R7403B001) は、次のメニューからでも利用できます。

Spanish Reports (スペイン語レポート) (G74S09)

French Reports (フランス語レポート) (G093151)

Italian Reports (イタリア語レポート) (G093152)

## 仕入先残高の自動生成 (R7404001) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 選択

取引の選択に使用する日付を指定します。

- |  |   |
|--|---|
| 1. Date From (開始日付)<br>および 2. Thru Date (終了日付) | 選択する取引明細の元帳日付範囲の開始日付と終了日付を入力します。この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。 |
|--|---|

**注:** 初期残高は、入力した日付の 1 日前の値を基に算出されます。

### 処理

取引をグループ化する方法と源泉徴収を個別に出力するかどうかを指定します。

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. Group Mode (グループモード) | 元帳クラスまたは売掛/買掛勘定別に情報をグループ化するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 |
|-------------------------|---|

ブランク: グループ化は行われません。

1: 元帳クラス別にグループ化されます。

2: 売掛金/買掛金勘定別にグループ化されます。

**注:** 元帳クラス別にグループ化する場合、手形と損金は除外されます。

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| 2. Process Mode (処理モード) | 親仕入先番号別または仕入先番号別のどちらで情報をグループ化するかを指定します。有効値は以下のとおりです。 |
|-------------------------|--|

ブランク: 仕入先番号別にグループ化されます。

1: 親仕入先番号別にグループ化されます。

- |                            |   |
|----------------------------|---|
| 3. Withholding Tax (源泉徴収税) | 源泉徴収税に対して支払伝票ごとに個別の行を作成するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 |
|----------------------------|---|

ブランク: 支払伝票ごとに 1 行が作成されます。

1: 源泉徴収税ごとに個別の行が作成されます。

## 顧客残高の自動生成 (R7403B001) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 選択

取引の選択に使用する日付を指定します。

- |  |   |
|--|---|
| 1. <b>Date From</b> (開始日付)<br>および 2. <b>Thru Date</b> (終了日付) | 選択する取引明細の元帳日付範囲の開始日付と終了日付を入力します。この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。 |
|--|---|

---

注: 初期残高は、入力した日付の 1 日前の値を基に算出されます。

---

### 処理

取引をグループ化する方法を指定します。

- |                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1. <b>Group Mode</b> (グループモード) | 元帳クラスまたは売掛/買掛勘定別に情報をグループ化するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 |
|--------------------------------|---|

ブランク: グループ化されません。

1: 元帳クラス別にグループ化されます。

2: 売掛/買掛勘定別にグループ化されます。

---

注: 元帳クラス別にグループ化する場合、手形と損金は除外されます。

---

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| 2. <b>Process Mode</b> (処理モード) | 親仕入先番号別または仕入先番号別のどちらで情報をグループ化するかを指定します。有効値は以下のとおりです。 |
|--------------------------------|--|

ブランク: 仕入先番号別にグループ化されます。

1: 親仕入先番号別にグループ化されます。

## 顧客/仕入先残高レポートの印刷

次のいずれかのナビゲーションを使用します。

- [買掛管理レポート] メニュー (G0414) の [仕入先残高レポート] をクリックします。
- [売掛管理レポート] メニュー (G03B14) の [顧客残高レポート] をクリックします。
- [Spanish Reports] メニュー (G74S09) の [Customer/Supplier Balance Report] をクリックします。
- [French Reports] メニュー (G093151) の [Customer/Supplier Balance Report] をクリックします。

## 顧客/仕入先残高レポート (R7404002) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 選択

- |                             |  |
|-----------------------------|--|
| 1. <b>Balance from</b> (残高) | 買掛金 (仕入先) 残高レポートを印刷するか、売掛金 (顧客) 残高レポートを印刷するかを指定します。有効値は以下のとおりです。 |
|-----------------------------|--|

ブランク: 買掛金レポートが印刷されます。



1: 売掛金レポートが印刷されます。

## 印刷

1. **Print Mode (印刷モード)**    印刷モードを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク: 初期残高、終了残高、および選択した期間の全ての伝票などの明細が印刷されます。  
 1: 終了残高のみが印刷されます。

## 通貨

1. **As-If Currency (仮定通貨)**    システムに保管されている金額の通貨以外の通貨に金額を換算して出力するかどうかを指定します。国内通貨建ての金額がこの仮定通貨に換算されます。  
 たとえば、仏フラン (FRF) 建ての金額をユーロ (EUR) で出力できます。この処理オプションをブランクにすると、国内通貨建ての金額が印刷されます。  


---

 注: この処理オプションによって出力される仮定通貨の金額は一時的に算出されたものです。この金額は保存されません。
2. **As-If Currency Date (仮定通貨日付)**    仮定通貨処理オプションで通貨コードを指定する場合は、基準日を指定する必要があります。ここで指定した日付の為替レートで換算が行われます。この処理オプションをブランクにすると、システム日付が使用されます。  


---

 注: 基準日時点の為替レートが為替レート テーブルに設定されている必要があります。

## キャッシュ フローの予測

このセクションでは、資金予測データのリフレッシュ プログラムの概要と実行方法について説明します。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「資金予測データの処理」

## 資金予測データのリフレッシュ プログラムについて

資金予測データのリフレッシュ プログラム (R00522) を実行する場合は、以下のプログラムのバージョンを指定します。

- 売掛金予測データの抽出 (R03B522)
- 買掛金予測データの抽出 (R04522)

---

注: 資金予測データのリフレッシュ プログラムには、G/L 資金予測データの抽出プログラム (R09522) のバージョンも含まれます。

---

参照: JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「資金予測データの処理」、「資金予測データのリフレッシュ」

売掛金予測データの抽出プログラムと買掛金予測データの抽出プログラムでは、以下の処理が実行されます。

- 資金タイプ規則テーブル (F09521) から、売掛金と買掛金の有効な資金タイプ規則が取得されます。
- F03B11 テーブルから、金額が 0 以外、支払状況が A (承認済み)、転記済みコードが D (転記済み) の未決済請求書と、転記済みコードが D 以外で改訂が 1 の未決済請求書が抽出されます。
- F0411 テーブルから、金額が 0 以外で支払状況が P (支払済み) 以外の未決済伝票が抽出されます。

どの未決済請求書と未決済伝票を資金予測データに含めるかは、開始日付と終了日付の処理オプションによって決まります。開始日付は、基準日処理オプションで指定します。終了日付は、将来日数処理オプションで指定した値に基づいて計算されます。支払期日が開始日付と終了日付の間にある請求書と伝票が、資金予測データに含まれます。

- 資金タイプの期限超過オプションが有効になっているかどうかによって、以下の処理のいずれかが実行されます。
- 資金タイプの期限超過オプションが有効な場合は、処理オプションで指定した基準日より前の支払期日のデータが次のように選択されます。

期限超過日数の開始日数および終了日数に指定された値 (共にマイナスの値) を基に基準日が調整され、データを取得する期限超過期間の開始日と終了日が算出されます。支払期日が期限超過期間の開始日と終了日の間にある取引が選択され、新しい売掛金レコードおよび買掛金レコードが F09522 テーブルに書き込まれます。

- 資金タイプの期限超過オプションが有効でない場合は、処理オプションで指定した基準日から終了日付までの支払期日のデータが選択され、新しい売掛金予測レコードと買掛金予測レコードが F09522 テーブルに書き込まれます。
- どの資金タイプコードでも、F09522 テーブルは新しい資金予測レコードでリフレッシュされます。この資金予測レコードには、銀行口座と支払期日別の集計金額が含まれています。

抽出プログラムでは、従来の方法で資金予測を行います。買掛金予測データの抽出プログラムでは、見積割引を含まない金額が予測されます。

## 資金予測データのリフレッシュ プログラムの実行

[資金予測] メニュー (G09319) の [資金予測データのリフレッシュ] をクリックします。

## 第 24 章

# 売掛管理データの整合性の確認

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、売掛金整合性レポートの概要と、以下の方法について説明します。

- 売掛金元帳 – 総勘定元帳 (バッチ別) レポートの実行
- 売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) レポートの実行
- 売掛金元帳 – 総勘定元帳入金レポートの実行
- (Rapid Start) Process Accounts Receivable Period End

---

## 売掛金整合性レポートについて

整合性レポートによって EnterpriseOne のデータに関する問題や不整合を発見し、解決することにより、システム間の整合性を保つことができます。このレポートを使用して、売掛金データと総勘定元帳データが一致していること、および売掛金取引の支払状況が正しいことを確認します。

整合性レポートには、基準日機能はありません。このため、月末など特定の日付を指定してその日付におけるレポートを実行し、データの不一致を確認することはできません。このレポートは現行日付でのみ実行できます。

整合性レポートを実行する場合には、次の点を考慮する必要があります。

- 他のユーザーがシステムにアクセスしていないことを確認して実行します。
- 頻繁に実行することによって会計システムのデータを常に正確に保ちます。
- ソフトウェアの新規導入時のデータ移行やトレーニング段階で必要に応じて実行します。これにより、導入初期のミスやエラーをすばやく見つけて修正できます。移行したデータの整合性に問題がある場合にも、問題を発見することができます。

整合性の問題の削減および解決のため、次の点に留意する必要があります。

- ネットワークが安定していて、通信障害による問題がないことを確認します。
- ソフトウェアのカスタマイズを行った場合、データの整合性への影響がないか確認します。
- 整合性問題の原因を調査する際には、裏付けとなる情報をできるだけ多く文書化します。文書化した情報は、製品の追加サポートを受ける場合に役立ちます。
- JD Edwards EnterpriseOne ソフトウェアを使用して問題を解決します。その他のデータベース ユーティリティソフトウェアを使用すると、問題の解決がより困難になる場合があります。

整合性テストを実行している間にデータが変更されないように、整合性レポートは、ピーク時を避けて実行するようにしてください。

## 売掛金元帳 – 総勘定元帳（バッチ別）レポートの実行

このセクションでは、売掛金元帳 – 総勘定元帳（バッチ別）レポートの概要と以下の方法について説明します。

- 売掛金元帳 – 総勘定元帳（バッチ別）レポートの印刷
- 売掛金元帳 – 総勘定元帳（バッチ別）レポートの処理オプションの設定

### 売掛金元帳 – 総勘定元帳（バッチ別）レポートについて

売掛金元帳 – 総勘定元帳（バッチ別）整合性レポート（R03B701）を実行すると、F03B11 テーブルの取引のバッチ金額と、それに対応する F0911 テーブルのレコードのバッチ金額を比較することができます。この整合性テストでは、以下の処理が行われます。

- 税タイプと税額に基づいて、F03B11 テーブルの各バッチおよび勘定科目の総額（転記済み）が合計されます。
- F0911 テーブルの転記済みバッチの支払項目が合計されます。
- F03B11 の金額と F0911 の金額が比較されます。差額はゼロになります。
- F03B11 の金額と自動相殺額が比較されます。差額はゼロになります。

不整合が見つかった場合は、レポートに印刷されます。

また、このレポートを実行すると、F03B11 の各取引の支払状況が正しいかどうかを確認できます。支払状況と未決済金額が以下のようにになっている請求書がないか検証されます。

- 請求書の未決済金額がゼロなのに、支払状況が P（支払済み）になっていない。
- 請求書に未決済金額があるのに、支払状況が P（支払済み）になっている。

このような請求書がある場合、その請求書レコードは整合性レポートに印刷されます。

このプログラムを実行する前に、全ての請求書バッチ（バッチ タイプ IB）を転記する必要があります。整合性レポートでは、未転記または除外されたバッチは無視されます。バッチの一時変更フォームでオプションを選択して、バッチを処理の対象から除外することができます。

### 金額不一致の解決

金額の合わない請求書バッチが検出されると、その原因調査のため、対象となるバッチの金額がレポートに印刷されます。次のような状況が考えられます。

1. 売掛金元帳（F03B11）の請求金額（税込み）が取引明細テーブル（F0911）の金額と一致しない。  
金額が一致しない請求書を調べるには、請求仕訳帳または仕訳帳でそのバッチの仕訳を印刷するか、オンラインで請求書を照会して請求金額と仕訳の金額を比較します。  
この金額の不一致は、次のような場合に起こります。
  - 請求書入力で意図的に異なる金額を入力した場合
  - 仕訳入力プログラム（P0911）で請求書仕訳の金額を変更した場合

- 無効にした請求書の支払項目を転記していない場合

注: これは、請求書に複数の支払項目が含まれる場合にのみ起こります。請求書に支払項目が 1 つしかなく、それが無効で未転記の場合、整合性レポートでは、この請求書は金額不一致ではないと見なされます。請求書が無効にすると請求書全体から転記コードが削除されるので、その請求書はレポートの対象とはなりません。ただし、複数ある支払項目のうちの 1 つが無効で未転記の場合、整合性レポートでは、この請求書は金額不一致であると見なされます。

この問題を解決するには、バッチに含まれる全ての取引が転記されていることを確認します。全ての取引が転記済みの場合は、金額不一致の請求書を検索して、請求額と一致するように仕訳の金額を修正します。ただし、請求額が正しくない場合は、取引の金額を一致させてからその請求書が無効にします。

## 2. 取引明細テーブル (F0911) の売上勘定と売掛金勘定の金額が一致しない。

この状況は、転記プログラムの処理が完了していない場合にのみ起こります。

この問題を解決するには、売掛金勘定の足りない金額を突き止め、その金額で片側仕訳を作成して貸借不一致のまま転記します。

また、データレコードが損傷を受けている場合にも、上記のいずれかの状況がレポートに出力される場合があります。データレコードは、ハードウェア障害を含む、さまざまな理由で損傷を受ける可能性があります。破損したレコードを特定するには、F03B11 テーブルおよび F0911 テーブルに対して会社番号や元帳日付、伝票番号、会計年度、西暦などのキー フィールドでクエリーを実行し、NULL やブランクのフィールドがないか、またはシステムで認識できない特殊文字が含まれていないかを確認してください。

この問題を解決するには、キー フィールドを修復するか、破損したレコードをテーブルから削除します。破損したレコードの特定と修復の詳細については、データベース管理者に連絡してください。

### 無効な支払状況

請求書の支払状況が正しくない場合、支払状況が無効であることを示すエラー メッセージと共にレポートの右側に請求書の情報が印刷されます。請求書を調べて、支払状況と未決済金額のどちらが正しいかを判断する必要があります。データ ファイル ユーティリティを使用して、必要なフィールドを更新してください。詳しくは、データベース管理者に連絡してください。

## 売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別) レポートの印刷

[期末処理] (G03B21)、[売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別)]

## 売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別) レポート (R03B701) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 日付

請求書選択のための日数または日付を指定します。

#### 1. 日数

何日前までの転記済み請求書バッチ (IB) を選択するかを指定します。バッチ日付が指定した日数を遡った日付以降の全ての転記済み請求書が処理されます。たとえば、今日の日付が 2005 年 6 月 15 日で、指定した日数が 45 である場合、2005 年 5 月 1 日から 2005 年 6 月 15 日までの全ての転記済み請求書バッチが処理されます。この処理オプションがブラン

クのまま、[日付範囲] 処理オプションに値を指定していない場合は、全ての転記済み請求書バッチが処理されます。

日付範囲を指定する場合は、この処理オプションに値を入力しないでください。

#### 開始日付、終了日付

処理対象の請求書バッチ (IB) の選択に使用する日付範囲を指定します。指定した日付範囲内 (指定した日付を含む) の請求書バッチが処理対象として選択されます。

[日数] 処理オプションに値を入力した場合は、日付範囲を指定しないでください。

## 売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) レポートの実行

このセクションでは、売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) レポートの概要と以下の方法について説明します。

- 売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) レポートの印刷
- 売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) レポートの処理オプションの設定
- 売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) レポートのデータ選択とデータ順序の設定

### 売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) レポートについて

売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) レポート (R03B707) を実行すると、略式 ID 別の相殺勘定ごとに、勘定残高テーブル (F0902) で更新された金額と以下の取引テーブルの転記済み金額を比較することができます。

- F03B11
- F03B112
- F03B13
- F03B14

請求書改訂履歴テーブルにある未転記の取引は、転記済みと見なして計算されます。

このレポートの対象となる売掛金取引に関する勘定科目は以下のとおりです。

- 売掛金 (AAI 項目 RC)
- 少額消込 (AAI 項目 RA)
- 損金 (AAI 項目 RN)
- 割引実施額 (AAI 項目 RKD)
- 銀行勘定 (AAI 項目 RB)
- 延滞利息金 (AAI 項目 RFC および RFD)
- 為替差損益 (AAI 項目 RG および RL)
- 代替為替差損益勘定 (RY および RZ)
- 端数調整勘定 (AAI 項目 R8)

取引 (F03B11、F03B13、および F03B14) 入力時に、勘定科目の略式 ID が自動的に設定されます。

このレポートを実行すると、次のフィールドをキーにして売掛管理システムの各取引テーブルの金額が集計されます。

- 略式 ID
- 会社
- 会計年度
- 西暦上2桁
- 会計期間
- 基本通貨コード

レポートには、上記の計算結果とそれに対応する F0902 の残高が印刷されます。

---

注: さまざまな売掛金勘定の金額を計算するために各種のテーブルが使用されます。たとえば、売掛金勘定金額の計算には F03B11、F03B112、および F03B14 の各テーブルの金額が使用されますが、銀行勘定の金額の計算には F03B13 テーブルの金額だけが使用されます。

---

このレポートでは、F03B11 テーブルの以下の伝票タイプは考慮されません。

- R1 (手形請求書)
- RU (未充当入金)
- RB (再請求)
- R5 (損金)

### 金額不一致の解決

取引テーブル (F03B11、F03B112、F03B13、および F03B14) の金額と勘定残高テーブル (F0902) の金額に不一致が検出されると、差異金額が印刷されます。不一致がある場合は、調べて修正する必要があります。以下のレポートを実行して、金額不一致の問題を解決します。

- 請求書 - 総勘定元帳 (バッチ別) 整合性レポート (R03B701)
- 入金 - 総勘定元帳 (バッチ別) 整合性レポート (R890911BI)
- 取引明細の再転記レポート (R099102)

通常、他の整合性レポートで問題がない場合、不一致が起こるのは以下の場合のみです。

- 売掛管理システム以外で作成した仕訳の転記による売掛金勘定の更新

売掛金 AAI で指定されている売掛金勘定を通常の仕訳入力で使用した場合、その仕訳を転記すると勘定残高テーブル (F0902) が更新されます。売掛管理システム以外で作成した仕訳は、売掛管理システムには対応する取引がないため、不一致のレポートが出力されます。

この問題を解決するには、仕訳を無効にして、売掛金 AAI で使用していない勘定科目を使って仕訳を再入力します。

- 他システムとの勘定科目の共有

銀行勘定などの売掛金勘定が買掛管理システムでも更新される場合、F0902 勘定残高は、この勘定科目の売掛金取引残高と等しくなりません。

この問題を解決するには、処理オプションでこのような勘定科目をレポートの処理対象から除外します。

- 転記プログラム未完了による差額の未調整

転記プログラムが実行中の場合、取引レコードの転記状況が転記済みとなっても、対応する勘定残高テーブル (F0902) がまだ更新されていない場合があります。取引明細の再転記プログラム (R099102) を実行して、このような状況で発生した勘定残高の差異を調べることができます。

- 会計期間パターンの変更

一般会計システムで会計期間パターンを変更すると、売掛管理システムの各レコードの期間と勘定残高テーブル (F0902) の期間の同期がとれなくなり、不一致が生じます。

この問題を解決するには、売掛管理システムの各取引テーブル (F03B11、F03B13、F03B14) の期間を新しい期間パターンに合わせて変更します。詳しくは、データベース管理者に連絡してください。

- 前期間日付で無効にした請求書がある場合の現行期間でのレポートの実行

以下の例を参照してください。

7 月の元帳日付 (期間 7) で金額 100 の請求書を 2 件入力しました。これらの請求書を転記すると、F0902 テーブルの期間 7 の残高は 200 になりました。

1 つの請求書しか入力すべきでなかったことに気づき、請求書の 1 つを無効にすることにしました。ただし、7 月に請求書を無効にするのではなく、6 月 (期間 6) の元帳日付を使用して無効にします。これにより売掛金元帳 (F03B11) のこの請求書レコードの元帳日付は 6 月に更新されます。

処理オプションで期間 7 を指定してレポートを実行しました。

勘定残高テーブル (F0902) の 7 月の残高は 200 ですが、F03B11 テーブルには 7 月の元帳日付の請求書は 1 件 (100) しかないため、100 が不一致としてレポートに印刷されます。処理オプションで期間 7 を指定したため、6 月に記録されている 100 (マイナス) は無視されます。

この場合、レポートには不一致と表示されますが、実際の勘定残高と売掛金元帳の金額は一致しています。レポートを修正するには、処理オプションで期間 6 を指定するか、ブランク (全ての期間) にして再度実行します。

会計年度でも同じ状況が発生します。前年度日付で請求書を無効にした場合に、現行年度でレポートを実行すると、この問題が発生します。

- 請求書支払時の割引実施額/消込の VAT 調整

仕訳の転記プログラム (R09801) の税規則と処理オプションの設定に応じて、入金転記時に VAT 調整のために割引実施額/消込勘定科目に対して調整が行われる場合があります。

VAT 調整を行う場合は、割引実施額/消込の勘定科目を手作業で調整するか、これらの勘定科目をレポートの印刷対象から除外する必要があります。VAT 調整では、その他の勘定科目の金額不一致はレポートされません。

- データレコードの破損

このエラーは、ハードウェアの障害を含むさまざまな理由によって、どの整合性レポートでも発生する可能性があります。破損したレコードを特定するには、各テーブルに対して会社番号や元帳日付、伝票番号、会計年度、西暦などのキー フィールドでクエリーを実行し、NULL やブランクのフィールドがないか、またはシステムで認識できない特殊文字が含まれていないかを確認します。

この問題を解決するには、キー フィールドを修復するか、破損したレコードをテーブルから削除します。F0902 テーブルにレコードがある場合、F0911 テーブルへの再転記が必要な場合があります。

破損したレコードの特定と修復の詳細については、データベース管理者に連絡してください。

- データレコードの移行の問題

システム導入時に既存のシステムから全てのデータを売掛管理システムに移行していない場合、たとえば、総勘定元帳と請求書レコードのみ移行して、入金レコードを移行していない場合、不一致が生じる可能性があります。



整合性の問題が生じた際に問題を特定できるよう、全ての売掛管理レコードを移行できない場合は、データ移行直後に実行した整合性レポートを残しておき、後で問題が生じたときに比較対象として使用してください。

## 売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別) レポートの印刷

[期末処理] (G03B21)、[売掛金元帳 - 勘定残高(略式ID別)]

## 売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別) レポート (R03B707) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 選択

以下の処理オプションによって、F03B11 テーブルからのデータ選択を指定します。

#### 略式 ID

ここで指定した勘定科目のみがレポートに印刷されます。自動生成された 8 桁の略式 ID を入力します。ゼロも含めて正しい値を入力してください。たとえば、売掛勘定 1.1210 の略式 ID が 6251 の場合は、「00006251」と入力します。

この処理オプションをブランクにすると、他の処理オプションの設定に基づいて、該当する全ての勘定科目が印刷されます。

#### 西暦上2桁

西暦上 2 桁がここで指定した値のレコードのみがレポートに印刷されます。西暦上 2 桁が指定した値と同じかそれより大きいレコードが印刷されます。たとえば「19」と入力すると、1900 年から現行年度までのレコードが印刷されます。「20」と入力すると、2000 年から現行年度までのレコードが印刷されます。

#### 会計年度

指定した会計年度のレコードのみレポートに印刷します。会計年度が指定した値と同じかそれより大きいレコードが含まれます。この処理オプションを使用するには、「西暦上2桁」処理オプションも指定する必要があります。指定しない場合、ここで入力した値は無視されます。たとえば、西暦上 2 桁を 20、会計年度を 05 と指定すると、会計期間パターンの定義に基づいて 2005 年からの全てのレコードが含まれます。

#### 期間

ここで指定した会計期間のレコードのみがレポートに印刷されます。指定した期間およびそれより後のレコードが印刷されます。この処理オプションを使用するには、[会計年度] と [西暦上2桁] 処理オプションも指定する必要があります。これらの処理オプションを併せて指定しない場合、ここで入力した値は無視されます。たとえば、[西暦上 2 桁] を「20」、[会計年度] を「05」、[期間] を「6」と指定すると、会計期間パターンの定義に基づいて 2005 年第 6 期間以降の全てのレコードが印刷されます。

### 処理

以下の処理オプションによって、整合性の検証対象とし、レポートに含める勘定科目を指定します。

#### F03B11 と F03B14 の売掛金勘定

F03B11 テーブルの RPAID フィールドと F03B14 テーブルの RZAID フィールドで指定された売掛金勘定をレポートに印刷するかどうかを指定します。F03B14 テーブルの再請求取引勘定 (RZAIDC) もレポートに印刷されます。

ブランク = 売掛金勘定を印刷しない。

	1 = 売掛金勘定を印刷する。
<b>割引勘定</b>	F03B14 テーブルの割引実施額勘定 (RZAIDD) をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 空白 = 印刷しない。 1 = 印刷する。
<b>損金勘定</b>	F03B14 テーブルの損金勘定 (RZDAID) をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 空白 = 印刷しない。 1 = 印刷する。
<b>少額消込勘定</b>	F03B14 テーブルの少額消込勘定 (RZAIDW) をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 空白 = 印刷しない。 1 = 印刷する。
<b>為替差損益勘定</b>	F03B14 テーブルの為替差損益勘定 (RZAIDT) をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 空白 = 印刷しない。 1 = 印刷する。
<b>代替通貨為替差損益勘定</b>	F03B14 テーブルの代替通貨為替差損益勘定 (RZAIDA) をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 空白 = 印刷しない。 1 = 印刷する。
<b>銀行勘定</b>	F03B13 テーブルの銀行勘定 (RYGLBA) をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 空白 = 印刷しない。 1 = 印刷する。
<b>四捨五入差異勘定</b>	F03B14 テーブルの四捨五入差異勘定 (RZRASI) をレポートに印刷するかどうかを指定します。 空白 = 印刷しない。 1 = 印刷する。

## 表示

以下の処理オプションによって、レポートに表示する詳細レベルを指定します。

<b>集計形式</b>	F03B13 テーブルの銀行勘定 (RYGLBA) をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。 空白 = 印刷しない。 1 = 印刷する。
-------------	--

## 売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別) レポートのデータ選択とデータ順序の設定

このレポートのデータ選択とデータ順序は変更しないでください。データの範囲や特定のレコードを指定するには、処理オプションを使用してください。

---

## 売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポートの実行

このセクションでは、売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポートの概要と以下の方法について説明します。

- 売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポートの印刷
- 売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポートの処理オプションの設定

### 売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポートについて

売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポート (R890911BI) を実行すると、F03B14 テーブルの転記済みレコードの各バッチの金額が F0911 テーブルの対応する総勘定元帳入金額と一致しているかどうか、および売掛金勘定への自動仕訳 (AE レコード) と一致しているかどうかを検証することができます。レポートには不一致のみが表示されます。

---

**注:** 整合性の問題がないことを断定することが、プログラムの難しい場合があります。レポートには、存在しない不一致が印刷される場合があります。レポートされた問題は調査し、それが実際に存在していることが確認できたら修正する必要があります。プログラムによりこのような不確定な状況のレポートが行われなければ、整合性の問題が未報告のまま残る可能性が発生しています。

---

---

**重要:** このプログラムには、不一致が見つかった場合に貸借一致仕訳を F0911 テーブルに作成する処理オプションがあります。ただし、このオプションは、通貨換算にのみ使用することを推奨します。このオプションには、使用にあたっての前提条件があります。

---

このプログラムを実行する前に、全ての入金バッチ (バッチ タイプ RB) を転記する必要があります。未転記または除外されたバッチは無視されます。また、バッチの一時変更フォームでオプションを選択して、バッチを処理の対象から除外することができます。

### 金額不一致の解決

金額の合わない入金バッチがあると、調査が必要なそのバッチの金額がレポートに印刷されます。次のような状況がレポートされます。

- 入金明細テーブル (F03B14) の入金額が取引明細テーブル (F0911) の金額と一致しない

この状況は、転記プログラムの処理が完了していない場合にのみ起こります。

この問題を解決するには、転記プログラムをもう一度実行して、全ての自動仕訳を削除します。不一致のバッチがあった場合、F0911 テーブルの全ての仕訳が削除されます。その後、再度 (3 回目) 転記プログラムを実行して正しい仕訳を作成してください。

- 入金明細テーブル (F03B14) の入金額が取引明細テーブル (F0911) の売掛金勘定の金額と一致しない
- この状況は、転記プログラムの処理が完了していない場合にのみ起こります。

この問題を解決するには、転記プログラムをもう一度実行して、全ての自動仕訳を削除します。不一致のバッチがあった場合、F0911 テーブルの全ての仕訳が削除されます。その後、再度（3 回目）転記プログラムを実行して正しい仕訳を作成してください。

また、データレコードが損傷を受けている場合にも、上記のいずれかの状況がレポートに出力される場合があります。データレコードは、ハードウェア障害を含む、さまざまな理由で損傷を受ける可能性があります。破損したレコードを特定するには、F03B14 テーブルおよび F0911 テーブルに対して会社番号や元帳日付、伝票番号、会計年度、西暦などのキー フィールドでクエリーを実行し、NULL やブランクのフィールドがないか、またはシステムで認識できない特殊文字が含まれていないかを確認してください。

この問題を解決するには、キー フィールドを修復するか、破損したレコードをテーブルから削除します。破損したレコードの特定と修復の詳細については、データベース管理者に連絡してください。

**関連項目:**

JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「取引明細の再転記と会計年度の再計算」

## 売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポートの印刷

[期末処理] (G03B21)、[売掛金元帳 - 総勘定元帳入金]

## 売掛金元帳 - 総勘定元帳入金レポート (R890911BI) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## 处理

以下の処理オプションによって、このプログラムを実行する際のモードを指定します。

1. F0911 の更新 プログラムを実行するモードを指定します。有効値は以下のとおりです。  
 ブランク = テスト モード。F0911 テーブルは更新されません。  
 1 = 最終モード。F0911 テーブルは更新されます。

(Rapid Start) Processing Accounts Receivable Period End

This section lists prerequisites and discusses:

- How to process accounts receivable period end
- Preconfigured processing options for Batch Header to Transaction (R007031)
- Preconfigured processing options for Canada and the United States for Transaction to Batch Header (R007021)
- Preconfigured processing options for Batches Out of Balance – AR Only (R007032)
- Preconfigured processing options for A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701)
- Preconfigured processing options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI)
- Preconfigured processing options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707)
- Preconfigured processing options for Australia and New Zealand Unrealized Gain/Loss (R03B426)

- Preconfigured processing options for Statistics Annual Close (R03B161)

## Prerequisite

Run AR integrity reports

参照: 第 24 章、「売掛管理データの整合性の確認」、「Processing Accounts Receivable Period End」、[645 ページ](#)

## Processing Accounts Receivable Period End

This table lists the tasks to complete the AR period end.

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data Selection	Preconfigured Data
Verify that transactions exist for batch header records.	Accounts Receivable Integrity Reports Batch Header to Transaction	R007031/RIS0002	None.	None.
Locate unposted transactions with a posted batch header record.	Accounts Receivable Integrity Reports Transaction to Batch Header	R007021/RIS0002	None.	None.
Locate unposted batches.	Accounts Receivable Integrity Reports Unposted Batches	R007011/RIS0002	Data selection is set to validate only AR batches.	None.
Locate posted batches that are out of balance.	Accounts Receivable Integrity Reports Batches Out of Balance	R07032/RIS0002	Data selection is set to validate only AR batches.	None.
Verify that batch amounts in the F03B11 and F0911 tables balance.	Accounts Receivable Integrity Reports Invoices to General Ledger by Batch	R03B701/RIS0001	None.	None.
Verify that batch amounts in the F03B14 and F0911 tables balance.	Accounts Receivable Integrity Reports Receipts to General Ledger by Batch	R890911BI/RIS0001	None.	None.
Verify that open amounts in the F03B11 table and offsetting trade amounts in the F0902 table balance.	Accounts Receivable Integrity Reports AR to Account Balance by Account ID	R03B707/RIS0001	None.	None.

Task	Navigation	Program Number and Version	Preconfigured Data Selection	Preconfigured Data
(Rapid Start AUS and NZL) Compute and post the unrealized gain or loss on open foreign currency items	Accounts Receivable Reports AR Unrealized Gain/Loss Report	R03B426/RIS3001	None.	None.
(Rapid Start FRA) Print AR movement history.	Close Financial Period/Year and Annual Processes Generate Customer Balances	R7403B001 /RIS2001	None.	None.
(Rapid Start FRA) Print AR movement history	Close Financial Period/Year and Annual Processes Customer Balances Report	R7404002/RIS2001	None.	None.
Close the period.	Close Financial Period/Year and Annual Processes Change Accounting Period or Year	P0010/No version	None.	None.
Update AR statistics for year-end.	Close Financial Period/Year and Annual Processes Statistics Annual Close	R03B161/RIS0001	None.	Date patterns are set up for years 04 – 10. The current year is 05. This data is also set up for Refresh Statistical History.

Data reports provide additional data that has been preconfigured for Rapid Start.

## Preconfigured Processing Options for Batch Header to Transaction (R007031)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Date Range

Processing Option Description	Value or Status
1. From Date	blank
2. Thru Date	blank
3. Prior Days	0

**A/R**

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Integrity Check Flag	1
NOTE: A default of blank will only evaluate Batch Header (F0011) to Detail(F0911) records.	blank

**A/P**

Processing Option Description	Value or Status
1. A/P Integrity Check Flag	blank
NOTE: A default of blank will only evaluate Batch Header (F0011) to Detail (F0911) records.	blank

**Batch**

Processing Option Description	Value or Status
1. Batch Type	blank
2. Starting Range Of Batch Numbers	0
3. Ending Range Of Batch Numbers	0

## Preconfigured Processing Options for Canada and the United States for Transaction to Batch Header (R007021)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

**Post/Unposted**

Processing Option Description	Value or Status
1. Posted/Unposted Transactions	blank

**Select**

Processing Option Description	Value or Status
1. Date Range	blank
From Date:	blank
Thru Date :	blank
2. Prior Days	60
3. Batch Type Range	blank

Processing Option Description	Value or Status
From Batch Type:	blank
Thru Batch Type:	blank
4. Batch Number Range	blank
From Batch Number:	0
Thru Batch Number:	0
5. User ID Range	blank
From User ID:	blank
Thru User ID:	blank

## G/L

Processing Option Description	Value or Status
1. G/L Integrity check Flag	blank

## A/R

Processing Option Description	Value or Status
1. A/R Ledger File F03B11 Flag	1
2. A/R Receipts Header File F03B13 Flag	1
3. Compare Receipts Header and Detail Flag	1

## A/P

Processing Option Description	Value or Status
1. A/P Ledger File F0411 Flag	blank
2. A/P Matching Document File F0413 Flag	blank
3. Compare A/P Header and Detail Flag	blank

## Options

Processing Option Description	Value or Status
1. Rebuild Missing Batch Header F0011 Flag	1
2. Manager Approval Flag	blank



## Preconfigured Processing Options for Batches Out of Balance – AR Only (R007032)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0002.

### Date Range

Processing Option Description	Value or Status
1. From Date	blank
2. Thru Date	blank
3. Prior Days	0

### Ledger Type

Processing Option Description	Value or Status
1. Ledger Types	blank

## Preconfigured Processing Options for A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Dates

Processing Option Description	Value or Status
1. Number of days	blank
2. Date Range	blank
Beginning date	blank
Ending date	blank

## Preconfigured Processing Options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Update	blank

## Preconfigured Processing Options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

### Select

Processing Option Description	Value or Status
1. Enter an account ID to print only that account ID on the report. A blank value will cause all accounts to print on the report.	blank
Account ID	blank
2. Enter century, fiscal year and period number information to have the report include records with century, fiscal year and period number greater than or equal to the specified values.	blank
Century	20
Fiscal Year	5
Period Number	0

### Process

Processing Option Description	Value or Status
1. Specify which type of accounts should be included on the report.	blank
Include Trade Account from F03B11 and F03B14	1
Include Discount Account	1
Include Deduction Account	1
Include Write-Off Account	1
Include Gain/Loss Account	blank
Include Alternate Currency Gain/Loss Account	blank
Include Bank Account	1
Include Rounding Account	blank

**Display**

Processing Option Description	Value or Status
1. Indicate whether the report will print in detail or summary mode. Blank or	blank
Report Mode	1

## Preconfigured Processing Options for Australia and New Zealand Unrealized Gain/Loss (R03B426)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS3001.

**Process**

Processing Option Description	Value or Status
1. Exchange Rate Date	blank
2. Create JEs for Gains and Losses Blank – Do not create journal entries. 1 – Create journal entries for accounts with a calculated gain or loss. 2 – Create journal entries for accounts with a calculated loss only. 3 – Create journal entries for ac	blank
3. G/L Date	blank
4. Batch Status	blank
5. Ledger Type	blank
6. Date – As of	blank

## Preconfigured Processing Options for Statistics Annual Close (R03B161)

These processing options show the values that are preconfigured for version RIS0001.

**Year**

Processing Option Description	Value or Status
1. Fiscal Year	blank



## 第 25 章

# 請求書および入金の除去

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この章では、請求書および入金の除去の概要、事前設定、および以下の方法について説明します。

- 請求取引の除去
- (BRA) Purge invoice transactions for Brazil
- 入金取引の除去

---

## 請求書および入金の除去について

現行の取引用のディスク スペースを確保するために、取引の履歴レコードを除去することが必要な場合があります。

売掛金除去プログラムにより、次のテーブルから請求書と入金を除去することができます。

- 売掛金元帳 (F03B11)
- 入金見出し (F03B13)
- 入金明細 (F03B14)

上記レコードは次の各テーブルに移されます。

- 売掛金元帳除去 (F03B11P)
- 入金見出し除去 (F03B13P)
- 入金明細除去 (F03B14P)

取引レコードを除去した後、除去テーブルの名前を変更し、他の環境や媒体にコピーして保存しておくことができます。

### 総勘定元帳取引

売掛金取引を除去する場合、対応する取引明細テーブル (F0911) のレコードを除去するまで、各バッチのデータは不一致になります。対応するレコードを同時に除去しない場合は、整合性レポートのデータ選択を変更して、特定の日付前の取引をレポートの対象外にする必要があります。

### 請求書と入金の除去の調整

売掛管理システムには除去プログラムがいくつかありますが、それぞれのプログラムは関連していません。このため、関連している入金を除去せずに請求書を除去したり、その逆を行ったりする可能性があります。請求書と関連する入金を両方とも除去しないと、照会時にエラー メッセージが表示されたり、整合性の問題がレポートされる可能性があります。

---

## 事前設定

除去する取引のバックアップをとってください。

---

## 請求取引の除去

このセクションでは、請求取引の除去プログラムの概要と以下の方法について説明します。

- 請求取引の除去プログラムの実行
- 請求取引の除去 (R03B800) および入金取引の除去 (R03B801) の処理オプションの設定

### 請求取引の除去プログラムについて

請求取引を除去する場合、除去する請求書を決定する際に次の条件が使用されます。

- 元帳日付が請求取引の除去プログラムの処理オプションで指定した日付以前の請求書
- 転記済みの請求書
- 入金済みの請求書
- 未決済金額がない請求書

除去処理が完了した後、関連テーブルを最適化してインデックスを再作成することができます。この処理の詳細については、データベース管理者に問い合わせてください。

請求取引の除去プログラム (R03B800) により、以下のテーブルからレコードが削除されます。

- Invoice Total - ARG - 03B (F76A09)
- Taxes - Tax Amounts by Invoice Suffix - ARG - 03B (F76A19)
- Credit Invoice Header - F76A21 - 03B (F76A21)
- Credit Invoice Detail - F76A22 - 03B (F76A22)
- Credit Invoice Withholdings - F76A23 - 03B (F76A23)
- Taxes - Tax Amounts by Sales Order Line - ARG - 03B (F76A18)
- Header & Footer Invoice/Shipment Note History WF - ARG - 42 (F76A0209)
- Detail Lines Invoice/Shipment Note History WF - ARG - 42 (F76A0219)

このプログラムにより、除去された情報は以下のテーブルに保存されます。

- Taxes - Tax Amounts by Invoice Suffix Purge ARG - 03B (F76A19P)
- Invoice Total Purge - ARG - 03B (F76A09P)
- Credit Invoice Header Purge (F76A21P)
- Credit Invoice Detail Purge (F76A22P)
- Credit Invoice Withholdings Purge (F76A23P)
- Taxes - Tax Amounts by Sales Order Line Purge (F76A18P)
- Header & Footer Invoice/Shipment Note History WF Purge (F76A020P)

- Detail Lines Invoice/Shipment Note History WF Purge (F76A021P)

注: F76A09 テーブルに保存されていて F03B11 テーブルには保存されていない売上レコードがある場合は、Invoice Total Purge -Argentine プログラム (R76A09P) を実行して、これらのレコードを除去する必要があります。

除去処理は常に最終モードで実行します。

## 請求取引の除去プログラムの実行

[売掛管理システムの上級/技術的操作] (G03B31) の [請求取引の除去] (R03B800) をクリックします。

## 請求取引の除去 (R03B800) および入金取引の除去 (R03B801) の処理オプションの設定

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 選択

以下の処理オプションでは、F03B11、F03B13、および F03B14 テーブルから除去するレコードの選択に使用する日付を指定します。

1 = 元帳日付

除去対象の請求書レコードの選択に使用する元帳日付を指定します。ここで指定した日付以前の元帳日付を持つ全ての請求書レコードが F03B11 テーブルから除去されます。

## (BRA) Purging Invoice Transactions for Brazil

This section provides an overview of the invoice purge process for Brazil and discusses how to:

- Run the Purge A/R Additional Information - Brazil program.
- Set processing options for Purge A/R Additional Information - Brazil.

## (BRA) Understanding the Invoice Purge Process for Brazil

You run the Purge A/R Additional Information - Brazil program (R7603B11) after you run the Invoice Transaction Purge program (R03B800). When you run the Purge A/R Additional Information - Brazil program, the system purges from the A/R Additional Information - Brazil table (F7603B1) all records that do not have a corresponding record in the F03B11 table. The system then writes a record to the Archive A/R Additional Information - Brazil table (F7603B1P) for each record that it purges from table F7603B1. Tables F7603B1 and F7603B1P contain identical fields.

## (BRA) Running the Purge A/R Additional Information - Brazil Program

From the Brazilian Purges menu (G76B41P), select Purge A/R Additional Information - Brazil (R7603B11).

## (BRA) Setting Processing Options for Purge A/R Additional Information – Brazil (R7603B11)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Display

Although processing options are set up during PeopleSoft EnterpriseOne implementation, you can change processing options each time you run a program.

**Report output:** Specify whether the report lists the records that are archived. If you do not select to list the records, the report contains only the number of records purged. Values are:

Blank: Do not list records.

1: List records.

---

## 入金取引の除去

このセクションでは、入金取引の除去プログラムの概要とその実行方法について説明します。

### 入金取引の除去プログラムについて

入金取引を除去する場合、除去する入金を決定する際に次の条件が使用されます。

- 元帳日付が入金取引の除去の処理オプションで指定した日付以前の入金
- 転記済みの入金

除去処理が完了した後、関連テーブルを最適化してインデックスを再作成することができます。この処理の詳細については、データベース管理者に問い合わせてください。

### 入金取引の除去プログラムの実行

[売掛管理システムの上級/技術的操作] (G03B31) の [入金取引の除去] (R03B801) をクリックします。



## 付録 A

# バッチ請求書処理のためのフィールドのマッピング

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この付録では、以下のバッチ請求書処理テーブルのフィールドのマッピングについて説明します。

- バッチ請求書テーブル (F03B11Z1)
- 仕訳アップロード テーブル (F0911Z1)
- (ARG) Taxes – Tax Amounts by Invoice Suffix Batch Entry A A – 03B table (F76A19Z1)
- (CHL and PER) F76H3B10 EDI Tag File – CHI – 03B table (F76H3B1Z)
- (CHL and PER) F76H3B15 EDI Tag File – CHI – 03B table (F76H3B5Z).

---

## バッチ請求書テーブル (F03B11Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F03B11Z1 テーブルのフィールドの一覧を記載します。バッチ請求処理プログラム (R03B11Z1A) を実行するには、いくつかのフィールドの入力が必須となります。また、フィールドによっては、値をブランクにしておくことができます。全てのフィールドが、売掛管理のフォームに表示されたり、売掛管理システムで使用されたりするわけではありません。

これらのテーブルのフィールド名は、対話型フォームのフィールド名に対応しています。

### 必須フィールド

以下の F03B11Z1 テーブルのフィールドは、バッチ請求書処理で必須のフィールドです。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
EDI-ユーザー ID	VJEDUS	文字	10	<p>プロセスを実行する人のユーザー ID、または従業員ワークセンターでメッセージを受け取る人のユーザー ID を入力します。</p> <p>このフィールドと EDI-トランザクション番号 (VJEDTN)、EDI-バッチ番号 (VJEDBT)、EDI-行番号 (VJEDLN) の各フィールドを組み合わせ、請求書を一意に識別します。</p>
EDI-トランザクション番号	VJEDTN	文字	22	<p>トランザクションを相互参照できるように、ソースシステムの伝票番号を入力します。</p> <p>EDI-行番号フィールド (VJEDLN) と組み合わせ、各取引を一意に識別します。各トランザクション番号はそれぞれ別の請求書を示します。行番号が異なる場合を除き、1つのバッチに同じ番号のトランザクションを置くことはできません。</p>
EDI-行番号	VJEDLN	数字	7	<p>取引に複数の支払項目が含まれている場合にのみ支払項目番号を入力します。トランザクションに支払項目が1つしかない場合は、このフィールドはブランクにすることができます。</p> <p>EDI-トランザクション番号フィールド (VJEDTN) と組み合わせ、請求書の各支払項目を識別します。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
EDI-処理済み	VJEDSP	文字	1	このフィールドはブランクにします。  レコードが正常にアップロードされた場合、自動的に値が入力されます。ゼロ (0) は、未処理か、処理中にエラーが発生したことを示します。トランザクションが正常に処理されると、このフィールドの値は 1 に変更されます。
EDI-トランザクションアクション	VJEDTC	文字	1	このフィールドには "A" と入力します。その他の値は無効です。
EDI-トランザクションタイプ	VJEDTR	文字	1	このフィールドには "I" (請求書) と入力します。  トランザクションタイプを特定するコードです。
EDI-バッチ番号	VJEDBT	文字	15	処理するトランザクションをグループ化する番号を入力します。  このフィールドと EDI-トランザクション番号 (VJEDTN)、EDI-ユーザー ID (VJEDUS)、EDI-行番号 (VJEDLN) の各フィールドを組み合わせ、バッチの中でトランザクションを一意に識別します。また、このフィールドではレベル区切りも指定します。この値が変わるごとに新しいバッチ番号が割り当てられます。1 回に処理するトランザクショングループごとにバッチ番号を割り当てると、パフォーマンスが向上します。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
住所番号	VJAN8	数字	8	請求書取引に関連付けられている顧客の住所録番号を入力します。  住所録マスター (F0101)にある番号を入力してください。
元帳日付	VJDGJ	日付	6	データベースと同じ日付形式で元帳日付を入力します。データベースによって、グレゴリオ暦の日付形式 (mm/dd/yy) が入力できる場合と、ユリウス暦の日付形式による入力が必要な場合があります。  ユリウス暦の日付は、cyyddd (c は世紀数下 1 桁) という形式で表します。トランザクションの日付が 20 世紀の場合は "0" (ゼロ)、21 世紀の場合は "1" を入力します。たとえば、99/06/01 (1999 年 6 月 1 日) はユリウス暦では 099152 になります。04/06/01 (2004 年 6 月 1 日) は、2004 年がうるう年で 2 月 29 日まであるため、104153 になります。  別の方法として、このフィールドをブランクにして、VJDGM (mm)、VJDGD (dd)、VJDGY (yy)、VJDG# (cc) の各フィールドに月/日/年/世紀の形式で値を入力することもできます。西暦上 2 桁フィールド (VJDG#) には年度の上 2 桁を入力します。たとえば、1999 年の場合は "19"、2005 年の場合は "20" と入力します。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
請求書日付	VJDIVJ	日付	6	<p>データベースと同じ日付形式で請求書日付を入力します。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、元帳日付が使用されます。入力例については、元帳日付 (VJDGJ) の項を参照してください。</p> <p>別の方法として、このフィールドをブランクにして、VJDIVM (mm)、VJDIVD (dd)、VJDIVY (yy)、VJDIV# (cc) の各フィールドに月/日/年/世紀の形式で値を入力することもできます。西暦上 2 桁フィールド (VJDIV#) には年度の上 2 桁を入力します。たとえば、1999 年の場合は "19"、2005 年の場合は "20" と入力します。</p>
会社	VJCO	数字	5	<p>請求書が属する組織を識別する番号。この番号は、会社固定情報テーブル (F0010) に存在し、適切な貸借対照表を保持した企業を表す番号である必要があります。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
元帳クラス	VJGLC	文字	4	<p>このフィールドの値と会社フィールド(VJCO)の組み合わせにより、転記する売掛金(相殺)勘定を指定します。AAI 項目 RCxxxx (xxxx は元帳クラスフィールドの値)で設定した勘定科目が、転記処理で使用されます。AAI は会社別に、または会社 00000 (デフォルト)に対して設定できます。</p> <p>取引によって異なる相殺勘定科目を割り当てる場合を除き、このフィールドには値を入力する必要はありません。</p>
総額	VJAG	数字	15	<p>データベースと同じ形式で金額を入力します。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。</p> <p>外貨建て(通貨モードF)で入力する場合は、このフィールドをブランクにして外貨建て金額フィールド(VJACR)を使用します。</p>
勘定科目形式	VJAM	文字	1	<p>全てのレコードに対して"2"を入力します。</p>
ビジネスユニット	VJMCU	文字	12	<p>ビジネスユニットマスター(F0006)にある値を入力してください。このフィールドをブランクにすると、顧客住所録レコードのセキュリティビジネスユニットフィールド(MCU)の値が使用されます。</p>

## バッチ請求書処理（割引あり）の必須フィールド

割引のあるバッチ請求書の処理では、前述の一覧表に示したフィールドに加え、以下の F03B11Z1 テーブルのフィールドへの入力が必要です。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
支払条件コード	VJPTC	文字	3	<p>支払条件コードを入力するか、このフィールドをブランクのままにします。</p> <p>支払条件テーブル (F0014) に存在する値を入力してください。支払条件に割引の計算が設定されている場合、それに応じて売掛金元帳テーブル (F03B11) の割引可能額 (VJADSC)、割引期日 (VJDDNJ)、支払期日 (VJDDJ) の各フィールドが更新されます。</p> <p>このフィールドと割引可能額フィールド (VJADSC) がブランクで、業種別顧客マスター (F03012) に支払条件が設定されている場合、その支払条件を使用して割引額と割引期日が計算されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
割引可能額	VJADSC	数字	15	<p>支払条件コードを入力した場合は、このフィールドはブランクのままにします。</p> <p>支払条件コードを入力しなかった場合は、データベースと同じ形式で割引額を入力してください。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。割引額を入力する場合、割引期日フィールド(VJDDNJ)にも値を入力する必要があります。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、支払条件コードフィールド(VJPTC)の値に基づいて割引額と割引期日が計算されます。支払条件コードフィールドがブランクの場合、F03012 テーブルに支払条件が設定されていれば、その支払条件を使用して割引額と割引期日が計算されます。</p> <p>このフィールドに割引率(%)を指定することはできません。たとえば、米ドルを使用する場合、".05"と入力すると、割引額は5セントと見なされます。</p>



フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
支払期日	VJDDJ	日付	6	<p>支払条件コードフィールド(VJPTC)に値を入力した場合は、このフィールドはブランクのままにします。請求書の処理時に支払期日が自動的に計算されます。</p> <p>支払条件を使用しない場合、データベースと同じ日付形式で支払期日を入力してください。入力例については、元帳日付(VJDGJ)の項を参照してください。</p> <p>別の方法として、このフィールドをブランクにして、VJDDM(mm)、VJDDD(dd)、VJDDY(yy)、VJDD#(cc)の各フィールドに月/日/年/世紀の形式で値を入力することもできます。西暦上2桁フィールド(VJDD#)には年度の上2桁を入力します。たとえば、1999年の場合は“19”、2005年の場合は“20”と入力します。</p> <p>割引の有無にかかわらず、このフィールドによって請求書の支払期日が指定されます。支払条件コードフィールドがブランクで、F03012テーブルに支払条件が設定されている場合、その支払条件を使用して割引額と割引期日が決定されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
割引期日	VJDDNJ	日付	6	<p>支払条件コードフィールド(VJPTC)に値を入力した場合は、このフィールドはブランクのままにします。請求書の処理時に割引期日が自動的に計算されます。</p> <p>支払条件を使用せずに割引可能額を使用する場合は、データベースと同じ日付形式で日付を入力してください。入力例については、元帳日付(VJDGJ)の項を参照してください。</p> <p>別の方法として、このフィールドをブランクにして、VJDDNM(mm)、VJDDND(dd)、VJDDNY(yy)、VJDDN#(cc)の各フィールドに月/日/年/世紀の形式で値を入力することもできます。西暦上2桁フィールド(VJDDN#)には年度の上2桁を入力します。たとえば、1999年の場合は“19”、2005年の場合は“05”と入力します。</p> <p>このフィールドには、入金後の割引を適用できる最後の日付を入力します。このフィールドは、請求書の処理時に、支払条件の定義に基づいて自動的に更新されます。</p> <p>支払条件コードフィールド(VJPTC)と割引可能額フィールド(VJADSC)がブランクで、F03012テーブルに支払条件が設定されている場合、その支払条件を使用して割引可能額(VJADSC)と割引期日(VJDDNJ)が決定されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
バッチ ファイル 割引 処理フラグ	VJEDDH	文字	1	このフィールドはブランクにします。請求書の処理時に、支払条件コード (VJPTC) と割引可能額 (VJADSC) に基づいて自動的に更新されます。
割引実施額	VJADSA	数字	15	このフィールドはブランクにします。割引が行われる場合、入金消込時に F03B11 テーブルのこのフィールドが更新されます。

## 任意フィールド

以下の F03B11Z1 テーブルのフィールドは、バッチ請求書処理を行う上で任意のフィールドです。これらのフィールドを使用して、請求書に関する情報を追加することができます。

システムによって更新される特定のフィールドはブランクにしておくことをお勧めします。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
EDI - 処理済み明細 行数	VJEDDL	数字	5	特定のトランザクションに含まれる明細行数です。ユーザー検証専用です。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
伝票番号	VJDOC	数字	8	<p>F03B11 テーブルの取引を識別する番号です。このフィールドがブランクの場合、システム 03B の自動採番を使用して伝票番号が自動的に割り当てられます。</p> <p>このフィールドに値を入力する場合は、F03B11 テーブルに存在しない値を入力します。既存の値を入力すると、取引が重複しているとみなされ、処理されません。また、このフィールドに値を入力する場合は、仕訳アップロードテーブル (F0911Z1) の対応するフィールドに同じ値を入力する必要があります。</p> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
伝票タイプ	VJDCT	文字	2	<p>取引タイプを指定するコードです。このフィールドをblankにすると、請求書入力 MBF 処理オプションプログラム (P03B0011) の処理オプションによって値が指定されます。</p> <p>このフィールドに値を入力する場合、ユーザー定義コードの 00/DT (伝票タイプ - 全ての伝票) と 00/DI (伝票タイプ - 請求書のみ) に設定されている値を入力する必要があります。また、このフィールドに値を入力する場合は、F0911Z1 の対応するフィールドにも同じ値を入力する必要があります。</p> <p>このフィールドは、blankにしておくことをお勧めします。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
伝票会社	VJKCO	文字	5	<p>取引を行った会社を指定するコードです。このフィールドは、トランザクション番号を会社別に区別する場合にのみ使用します。このフィールドがブランクの場合、会社フィールド(VJCO)に入力した値が使用されます。</p> <p>このフィールドに値を入力する場合、F0010テーブルに存在する値を入力してください。</p> <p>このフィールドに値を入力して、F0911Z1テーブルの対応するフィールド(VNKCO)に値を入力しないと、このフィールドの値が自動的にコピーされます。</p> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>
伝票支払項目	VJSFX	文字	3	<p>請求書の支払項目番号を指定するコードです。このフィールドをブランクにすると、支払項目に“001”から始まる番号が割り当てられます。支払項目が複数ある取引を指定するには、EDI-行番号フィールド(VJEDLN)を使用します。</p> <p>EDI-トランザクション番号(VJEDTN)とEDI-行番号(VJEDLN)の組み合わせが重複していると、伝票支払項目フィールド(VJSFX)の指定の有無にかかわらず、以降の取引は全て無視されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
バッチタイプ	VJICUT	文字	2	請求書や伝票など、処理中の取引のタイプを指定するコードです。入力する場合には、“IB”（請求書バッチ）を入力する必要があります。このフィールドをブランクにすると、請求書の処理時に自動的に“IB”に更新されます。
バッチ番号	VJICU	数字	8	同時に処理する請求書をグループ化するために使用する番号です。このフィールドをブランクにすると、システム 00 の自動採番を使用してバッチ番号が生成されます。  このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
バッチ日付	VJDICJ	日付	6	<p>バッチが入力された日付です。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、バッチ処理プログラムが実行された日付が使用されます。入力する場合は、データベースと同じ日付形式の値を入力します。詳しくは元帳日付 (VJDGJ) のフィールド定義を参照してください。</p> <p>別の方法として、このフィールドをブランクにして、VJDICM (mm)、VJDICD (dd)、VJDICY (yy)、VJDIC# (cc) の各フィールドに月/日/年/世紀の形式で値を入力することもできます。西暦上 2 桁フィールド (VJDIC#) には年度の上 2 桁を入力します。たとえば、1999 年の場合は "19"、2005 年の場合は "20" と入力します。</p>
会計年度	VJFY	数字	2	<p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。このフィールドは、元帳日付と会社に基づいて自動的に更新されます。</p>
西暦上 2 桁	VJCTRY	数字	2	<p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。このフィールドは、元帳日付と会社に基づいて自動的に更新されます。</p>



フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
期間	VJPN	数字	2	このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。このフィールドは、元帳日付と会社に基づいて自動的に更新されます。
略式 ID	VJAID	数字	8	<p>売掛金勘定に対応する略式 ID です。</p> <p>このフィールドは、請求書の処理時に、AAI 項目 RCxxxx (xxxxは元帳クラスフィールドの値) の勘定科目に関連付けられた略式 ID に自動的に更新されます。略式 ID は勘定科目マスター (F0901) に保管されています。</p> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>
親住所番号	VJPA8	数字	8	<p>顧客の親住所番号です。</p> <p>住所録マスター (F0101) にある値を入力してください。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、F03012 テーブルで顧客に割り当てられた親番号が使用されます。F03012 テーブルに親番号がない場合は、顧客の住所番号が使用されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
代替支払人住所番号	VJAN8J	数字	8	<p>顧客の代替支払人の住所番号です。</p> <p>請求書に対して顧客以外から入金される場合、このフィールドに支払人の住所録番号を入力してください。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、F03012 テーブルの計算書送付先フィールドの値に自動的に更新されます。</p> <p>このフィールドに値を入力する場合、住所録マスター (F0101) にある値を入力してください。</p>
支払人住所番号	VJPYR	数字	8	<p>顧客の代替支払人の住所番号です。</p> <p>請求書に対して顧客以外から入金される場合、このフィールドに支払人の住所録番号を入力してください。</p> <p>入力した値は住所録マスター (F0101) と自動的に照合されます。住所録マスターにある値を入力してください。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、代替支払人住所番号フィールド (VJAN8J) の値が使用されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
転記コード	VJPOST	文字	1	<p>取引の転記状況を指定するコードです。</p> <p>このフィールドはブランクにします。このフィールドの値は、仕訳の転記プログラム(R09801)の実行によって更新されます。</p> <p>既に過去のデータを仕訳入力として処理している場合、関連する取引を仕訳アップロードテーブル(F0911Z1)に作成し、売掛金勘定を勘定科目として使用することをお勧めします。その場合、取引を転記しても会計に影響を与えません。</p> <p>残高の一致しない転記済みの請求書取引(つまり仕訳アップロードテーブルに対応するレコードがない請求書)を処理する場合は、このフィールドに"D"と入力します。ただし、その場合、後でこれらの取引を無効にすることができなくなり、売掛金バッチ整合性レポートに不整合が生じます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
売掛金転記状況	VJISTR	文字	1	このフィールドはブランクにします。このフィールドの値によって、該当の請求書に対する変更レコードが請求書改訂履歴テーブル (F03B112) に存在するかどうかわかります。バッチ請求書処理 (R03B11Z1A) では、請求書の変更を処理することはできません。転記済みの請求書を変更するには、請求書入力 (P03B2002) を使用します。
仕訳の貸借一致	VJBALJ	文字	1	このフィールドは、請求書の総額と取引に関連付けられた仕訳の金額が一致するかどうかを示します。  このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。
支払状況コード	VJPST	文字	1	請求書の状況 (未決済、支払済み、保留中) を示します。ユーザー定義コードの 00/PS (支払状況コード) に設定されている値を入力してください。  このフィールドをブランクにすると、請求書入力 MBF 処理オプションプログラム (P03B0011) の処理オプションの設定に基づいてフィールドが更新されます。処理オプションが設定されていない場合、データ辞書項目 PST のデフォルト値が使用されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
未決済金額	VJAAP	数字	15	値が指定されているかどうかにかかわらず、未決済金額フィールド(VJAAP)は総額フィールド(VJAG)の値で更新されます。このアプリケーションでは、一部入金処理されません。  このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。
主科目	VJOB	文字	6	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
補助科目	VJSUB	文字	8	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
補助元帳タイプ	VJSBLT	文字	1	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
補助元帳	VJSBL	文字	8	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
延滞通知送付回数	VJRMDS	数字	3	顧客に送付した延滞通知の合計数を入力します。このフィールドをブランクにすると、請求書の延滞通知を作成するたびに、自動的に更新されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
回収レポート	VJCOLL	文字	1	<p>このフィールドで、顧客を回収レポートに含めるかどうかを指定します。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、F03012 テーブルで顧客に割り当てられた規定値に自動的に更新されます。</p>
回収理由コード	VJCORC	文字	2	<p>このフィールドは、回収レポート (R03B461) の実行時に自動的に更新されます。</p> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>
延滞金利息金の適用	VJAFC	文字	1	<p>このフィールドをブランクにすると、F03012 テーブルで顧客に割り当てられた値に自動的に更新されます。</p>
当初伝票	VJODOC	文字	8	<p>このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、F03B11 テーブルの伝票番号フィールドに割り当てられた値に自動的に更新されます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
当初伝票タイプ	VJODCT	文字	2	<p>このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、F03B11 テーブルの伝票タイプフィールドに割り当てられた値に自動的に更新されます。</p>
伝票会社(当初オーダー)	VJOKCO	文字	5	<p>このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、F03B11 テーブルの伝票会社フィールドに割り当てられた値に自動的に更新されます。</p>
当初伝票支払項目	VJOSFX	文字	3	<p>このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、F03B11 テーブルの支払項目フィールドに割り当てられた値に自動的に更新されます。</p>
仕入先請求書番号	VJVINV	文字	25	<p>このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
購買オーダー	VJPO	文字	8	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
伝票タイプ (購買オーダー)	VJPDCT	文字	2	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
伝票会社 (購買オーダー)	VJPKCO	文字	5	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
オーダータイプ	VJDCTO	文字	2	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
行番号	VJLNID	数字	6	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
受注伝票番号	VJSDOC	数字	8	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。



フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
受注伝票タイプ	VJSDCT	文字	2	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
伝票会社 (受注オーダー)	VJSKCO	文字	5	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
オーダー サフィックス	VJSFXO	文字	3	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
コミッション コード 1	VJCMC1	数字	8	コミッションを受け取るセールス担当者の住所番号を入力することができます。通常、これは受注管理システムでトラッキングされます。このフィールドに入力した値は、妥当性チェックなしで読み込まれます。
参照	VJVR01	文字	25	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
ユニット	VJUNIT	文字	8	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
ビジネスユニット 2	VJMCU2	文字	12	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
備考	VJRMK	文字	30	このフィールドには、請求書の支払項目に関する記述を入力します。これはユーザー定義のフィールドで、[請求書入力] フォームに表示されます。
名称	VJALPH	文字	40	このフィールドを空白にすると、住所録マスター (F0101) の住所録番号に関連付けられた名称が使用されます。  住所録マスターにある名称と異なる値を入力すると、問題が発生する場合があります。
定期頻度	VJRF	文字	2	この表の後の注を参照してください。
定期支払回数	VJDRF	数字	3	この表の後の注を参照してください。
制御/計算書フィールド	VJCTL	文字	13	この請求書に対して最後に作成した計算書の計算書番号を入力します。  このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
略式品目番号	VJITM	数字	8	在庫品目番号を入力します。  このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
数量	VJU	数字	15	このフィールドに入力する値は全て、F03B11 テーブルに書き込まれます。このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
計量単位	VJUM	文字	2	このフィールドで、計量単位を指定します。ユーザー定義コードの 00/UM(計量単位)に設定されている値を入力してください。
転記コード - 代替 6	VJALT6	文字	1	このフィールドは空白にします。このフィールドは入金処理時に自動的に更新されます。
支払手段	VJRYIN	文字	1	ユーザー定義コードの 00/PY(支払手段)に設定されている値を入力してください。このフィールドを空白にすると、請求書の処理時に F03012 テーブルの対応する値に更新されます。
無効日付	VJVDGJ	日付	6	このフィールドは空白にします。このフィールドは、請求書を無効にすると自動的に更新されます。
無効理由コード	VJVRE	文字	3	このフィールドは空白にします。このフィールドは、請求書を無効にすると自動的に更新されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
売掛/買掛 - その他 コード 1	VJRP1	文字	1	このフィールドはブランクにします。このフィールドは、受注オーダー処理システムによって自動的に更新されます。
売掛/買掛 - その他 コード 2	VJRP2	文字	1	このフィールドはブランクにします。このフィールドは、受注オーダー処理システムによって自動的に更新されます。
コード	VJRP3	文字	1	このフィールドはブランクにします。このフィールドは、受注管理システムによって更新されます。
売掛管理レポート コード 1 ~ 10	VJAR01、VJAR02、 VJAR03、VJAR04、 VJAR05、VJAR06、 VJAR07、VJAR08、 VJAR09、VJAR10	文字	3	このフィールドをブランクにすると、この顧客の住所録カテゴリコード (AC01 ~ AC10) の値が使用されます。  顧客の住所録カテゴリコードが既にある場合でも、F03B11Z1 テーブルに入力した値が使用されます。  このフィールドに入力する値の妥当性はチェックされません。
入力者	VJTORG	文字	10	このフィールドはブランクにします。このフィールドは取引の処理時に更新されます。
ユーザー ID	VJUSER	文字	10	このフィールドはブランクにします。このフィールドは取引の処理時に更新されます。
プログラム ID	VJPID	文字	10	このフィールドはブランクにします。このフィールドは取引の処理時に更新されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
更新日付	VJUPMJ	日付	6	このフィールドはブランクにします。このフィールドは取引の処理時に更新されます。
最終更新時刻	VJUPMT	数字	6	このフィールドはブランクにします。このフィールドは取引の処理時に更新されます。
ワークステーション ID	VJJOB	文字	10	このフィールドはブランクにします。このフィールドは取引の処理時に更新されます。

**注:** 定期頻度フィールド (VJRF) および定期支払回数フィールド (VJDRF) への入力は、請求書が定期的に再作成される場合にのみ行います。定期的に反復する情報を使用して作成する伝票のタイプは、“RR”になります。定期頻度フィールド (VJRF) には、ユーザー定義コードの H00/RF (定期頻度) に設定されている値を入力してください。

支払回数は、請求書を再作成する回数に対応します。支払回数が “1” の場合は、請求書を再作成することはできません。

## 無視されるフィールド

次の表に示す F03B11Z1 テーブルのフィールドは無視されます。入力された値はどこにも渡されません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
レコードタイプ	VJEDTY	文字	1
レコード順序	VJEDSQ	数字	2
EDI - 伝票タイプ	VJEDCT	文字	2
EDI - トランザクション セット番号	VJEDTS	文字	6
EDI - 変換フォーマット	VJEDFT	文字	10
EDI - アップロード日付	VJEDDT	日付	6
EDI - 送受信インジケータ	VJEDER	文字	1
バッチ ファイル - 取引明細レコード作成	VJEDGL	文字	1
ユーザー住所番号	VJEDAN	数字	8

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
銀行勘定科目	VJGLBA	文字	8
略式 ID 2	VJAID2	文字	8
勘定科目形式 2	VJAM2	文字	1
延滞通知前回送付日付	VJRDDJ	日付	6
延滞通知送付再開日付	VJRDSJ	日付	6
計算書日付	VJSMTJ	日付	6
延滞通知内容	VJNBRR	文字	1
前回送付した延滞通知のレベル	VJRDL	文字	1
少額消込理由コード	VJRSCO	文字	2
入金番号	VJCKNU	文字	25
決済日付	VJVLDT	日付	6
決済済み	VJFNLP	文字	1
計算書日付 - 月	VJSMTM	数字	2
計算書日付 - 日	VJSMTD	数字	2
計算書日付 - 年	VJSMTY	数字	2
計算書日付 - 世紀	VJSMT#	数字	2
延滞通知前回送付日 - 月	VJRDDM	数字	2
延滞通知前回送付日 - 日	VJRDDD	数字	2
延滞通知前回送付日 - 年	VJRDDY	数字	2
延滞通知前回送付日 - 世紀	VJRDD#	数字	2
延滞通知送付再開日付 - 月	VJRDSM	数字	2
延滞通知送付再開日付 - 日	VJRDSJ	数字	2
延滞通知送付再開日付 - 年	VJRDSY	数字	2

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ
延滞通知送付再開日付 - 世紀	VJRDS#	数字	2
実績通貨換算レート	VJHCRR	数字	15
実績日付 - ユリウス暦	VJHDGJ	日付	6
実績日付 - 月	VJHDGM	数字	2
実績日付 - 日	VJHDGD	数字	2
実績日付 - 年	VJHDGY	数字	2
実績日付 - 世紀	VJHDG#	数字	2

## ユーザー予約フィールド

以下に示す F03B11Z1 テーブルのフィールドは、ユーザー用に予約されたフィールドです。これらのフィールドは、プログラムで更新されたり、売掛管理システムのフォームに表示されたりすることはありません。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
ユーザー予約コード	VJURC1	文字	3	3 文字以内の英数字を入力します。
ユーザー予約日付	VJURDT	日付	6	このフィールドには、日付を入力します。データベースと同じ日付形式で入力してください。  入力例については、元帳日付 (VJDGJ) の項を参照してください。
ユーザー予約金額	VJURAT	数字	15	このフィールドには金額を入力します。データベースと同じ形式で入力してください。
ユーザー予約番号	VJURAB	数字	8	8 桁以内の数字を入力します。
ユーザー予約参照	VJURRF	文字	15	15 文字以内の英数字を入力します。

## 仕訳アップロード テーブル (F0911Z1) のフィールドのマッピング

以下の一覧表に、バッチ請求書进行处理するうえで入力が必要となる F0911Z1 テーブルのフィールドを示します。その他の必須フィールドは、レコードの処理時に自動的に更新されます。残りの必須フィールドには、F03B11Z1 テーブルの情報に基づいて値がロードされます。

### 関連項目:

JD Edwards EnterpriseOne 一般会計 8.11 SP1 PeopleBook、「バッチ仕訳処理のフィールドのマッピング」

### 必須フィールド

以下の F0911Z1 テーブルのフィールドは、バッチ請求書処理で必須のフィールドです。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
EDI-ユーザー ID	VNEDUS	文字	10	この表の後の注を参照してください。
EDI-トランザクション番号	VNEDTN	文字	22	この表の後の注を参照してください。
EDI-処理済み	VNEDSP	文字	1	この表の後の注を参照してください。
EDI-トランザクションアクション	VNEDTC	文字	1	この表の後の注を参照してください。
EDI-トランザクションタイプ	VNEDTR	文字	1	この表の後の注を参照してください。
EDI-バッチ番号	VNEDBT	文字	15	この表の後の注を参照してください。
EDI-行番号	VNEDLN	数字	7	請求書を転記する勘定科目(明細行)ごとに値が1つずつ増えます。たとえば、1件の請求書で勘定科目の明細行が10行ある場合、行番号は1から10までとなります。EDI-トランザクション番号フィールド(VNEDTN)の値が同じである限り、同じ請求書に対して計上する勘定科目のレコードはまとめて処理されます。



フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
伝票会社	VNKCO	文字	5	このフィールドに値を入力する場合、F03B11Z1 テーブルの対応するフィールドに入力した値と同一の値を入力する必要があります。  このフィールドをブランクにすると、F03B11Z1 テーブルの対応するフィールド(VJKCO)に入力した値が使用されます。
伝票タイプ	VNDCT	文字	2	この表の後の注を参照してください。
伝票番号	VNDOC	数字	8	この表の後の注を参照してください。
バッチ番号	VNICU	数字	8	この表の後の注を参照してください。
バッチタイプ	VNICUT	文字	1	この表の後の注を参照してください。
元帳日付	VNDGJ	日付	6	このフィールドには、F03B11Z1 テーブルの対応するフィールドに入力した値と同一の値を入力する必要があります。
勘定科目コード	VNANI	数字	29	標準形式(ビジネスユニット.主科目.補助科目)で勘定科目コードを入力します。
勘定科目モード	VNAM	数字	1	勘定科目コードフィールド(VNANI)に入力した値に対応するように"2"を入力します。
元帳タイプ	VNLT	文字	2	このフィールドには"AA"と入力します。この値はユーザー定義コードの09/LT(元帳タイプ)で設定されている必要があります。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
金額	VNAA	数字	15	入力した勘定科目コードに対応する金額を入力します。データベースと同じ形式で入力してください。データベースによって、小数を入力できる場合とできない場合があります。
摘要	VNEXA	文字	30	顧客の名称を入力します。  このフィールドをブランクにすると、住所録マスター (F0101) から名称が取り込まれます。このフィールドに値を入力すると、処理のパフォーマンスが向上します。

注: 以下のフィールドには、F03B11Z1 テーブルの対応する各フィールドに入力した値と同一の値を入力する必要があります。

EDI - ユーザー ID (VNEDUS)

EDI - トランザクション番号 (VNEDTN)

EDI - 処理済み (VNEDSP)

EDI - トランザクション アクション (VNEDTC)

EDI - トランザクション タイプ (VNEDTR)

EDI - バッチ番号 (VNEDBT)

以下のフィールドに値を入力する場合、F03B11Z1 テーブルの対応する各フィールドに入力した値と同一の値を入力する必要があります。

伝票タイプ (VNDCT)

伝票番号 (VNDOC)

バッチ番号 (VNICU)

バッチ タイプ (VNICUT)

これらのフィールドをブランクにする場合、F03B11Z1 テーブルの対応する各フィールドもブランクにする必要があります。

## 収益性分析システムを使用したバッチ請求書処理の必須フィールド

収益性分析システム（システム 16）を使用する場合は、F0911Z1 テーブルのその他の必須フィールドの入力が必要となります。システムによりこれらのフィールドが処理され、取引明細テーブル（F0911）に保存されます。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	入力する値/定義
コストオブジェクトタイプ 1 ～ 4	VNABT1、VNABT2、VNABT3、VNABT4	文字	1	最大で4つまでのコストオブジェクトタイプを入力します。これらのフィールドを使用して、対応するコストオブジェクトフィールド（VNABR1 ～ VNABR4）に入力する値が検証されます。このフィールドのどれか1つに値を入力した場合は、対応するコストオブジェクトフィールドにも値を入力する必要があります。コストオブジェクトタイプフィールドの値は、コストオブジェクトタイプテーブル（F1620）に存在している必要があります。
コストオブジェクト 1 ～ 4	VNABR1、VNABR2、VNABR3、VNABR4	文字	12	最大で4つまでのコストオブジェクトを入力します。コストオブジェクトの各フィールドに入力する値は、対応するコストオブジェクトタイプフィールド（VNABT1 ～ VNABT4）の編集ルールに準拠している必要があります。
転記コード 1 ～ 10	VNPM01 – VNPM10	文字	1	これらのフィールドはブランクにします。
品目番号	VNITM	数字	8	入力する値は、品目マスター（F4101）と照合されます。

## (ARG) Mapping Fields in the Taxes – Tax Amounts by Invoice Suffix Batch Entry A – 03B Table (F76A19Z1) for Argentina

These fields in the Taxes – Tax Amounts by Invoice Suffix Batch Entry A – 03B table (F76A19Z1) are required for processing batch invoices for Argentina:

Field Name	Alias	Type	Length	Values to Enter /Definition
EDI – User ID	VKEDUS	Alpha	10	<p>Enter the user ID of the person who is running the process or the person who is receiving messages in the Employee Work Center.</p> <p>This field, with the EDI – Transaction Number (VKEDTN), the EDI – Batch Number (VKEDBT), and the EDI – Line Number (VKEDLN) fields, uniquely identifies an invoice.</p>
EDI – Transaction Number	VKEDTN	Alpha	22	<p>Enter the source system's document number so that the transaction can be cross-referenced.</p> <p>This field, with the EDI – Line number field (VKEDLN), uniquely identifies each transaction. Each new transaction number identifies a new invoice. You cannot have more than one transaction with the same number in a batch unless the line number is different.</p>

Field Name	Alias	Type	Length	Values to Enter /Definition
EDI – Line Number	VKEDLN	Number	7	<p>Enter the pay item number only if a transaction has multiple pay items. If a transaction has only one pay item, you can leave this field blank.</p> <p>This field, with the EDI – Transaction Number field (VKEDTN), identifies each pay item of the invoice.</p>
EDI – Transaction Action	VKEDTC	Alpha	1	<p>Enter A in this field. No other values are valid.</p> <p>A code that specifies what the system must do with the transaction during final processing.</p>
EDI – Transaction Type	VKEDTR	Alpha	1	<p>Enter I (for invoices) in this field.</p> <p>A code that identifies a particular kind of transaction.</p>

Field Name	Alias	Type	Length	Values to Enter /Definition
EDI – Batch Number	VKEDBT	Alpha	15	<p>Enter a number to group transactions for processing.</p> <p>This field, with the EDI – Transaction Number (FKEDTN), the EDI – USER ID (VKEDUS), and the EDI – Line Number (VKEDLN) fields, uniquely identifies a transaction within a specific batch. This field also specifies a level break and causes the assignment of a new batch number each time that the value changes. To increase performance, assign one batch number for each group of transactions that is processed at one time.</p>
Document Company	VKKCO	Alpha	5	<p>Enter the same value that is entered in the corresponding field in the F03B11Z1 table.</p> <p>If you leave this field blank, the system uses the value entered the corresponding field (VJKCO) in the F03B11Z1 table.</p>
Document Type	VKDCT	Alpha	2	<p>Enter the same value that is entered in the corresponding field in the F03B11Z1 table.</p> <p>If you leave this field blank, you must also leave the corresponding field (VJDCT) blank in the F03B11Z1 table.</p>

Field Name	Alias	Type	Length	Values to Enter /Definition
Document Suffix	VKSFX	Alpha	3	Enter 1 in this field if the invoice has only one line. If the invoice has more than one line, enter consecutive numbers beginning with 1.
Tax Code	VKATXC	Alpha	10	Enter the description of the corresponding tax code.
Company	VKCO	Alpha	5	Enter the number of company to which the invoice belongs. This number must exist in the F0010 table and identify a reporting entity that has a complete balance sheet.
Address Number	VKAN8	Number	8	Enter the address book number of the customer who is associated with the invoice transaction.  The number that you enter must exist in the Address Book Master table (F0101).
Tax Amount in National Currency	VKATDA	Number	15	Enter the tax amount.
Tax Rate	VKTXR1	Number	7	Enter the value of the tax rate.

## (CHL and PER) Mapping Fields in the F76H3B10 EDI Tag File —CHI – 03B table (F76H3B1Z) for Chile and Peru

This section contains a list of required and optional fields in the F76H3B1Z table that are used for batch invoice processing for Chile and Peru.

### Required Fields

These fields in the F76H3B1Z table are required for processing batch invoices for Chile and Peru:

Field Name	Alias	Type	Length	Values to Enter /Definition
EDI—User ID	ZTEDUS	Alpha	10	<p>Enter the user ID of the person who is running the process or the person who is receiving messages in the Employee Work Center.</p> <p>This field, with the EDI – Transaction Number (ZTEDTN) and the EDI – Batch Number (ZTEDBT), uniquely identifies an invoice.</p>
EDI—Transaction Number	ZTEDTN	Alpha	22	<p>Enter the source system's document number so that the transaction can be cross-referenced.</p> <p>Each new transaction number identifies a new invoice.</p>
EDI – Batch Number	ZTEDBT	Alpha	15	<p>Enter a number to group transactions for processing.</p> <p>This field, with the EDI – Transaction Number (ZTEDTN) and the EDI – USER ID (ZTEDUS) fields, uniquely identifies a transaction within a specific batch. This field also specifies a level break and causes the assignment of a new batch number each time that the value changes. To increase performance, assign one batch number for each group of transactions that is processed at one time.</p>



## Optional Fields

These fields in the F76H3B1Z table are optional for batch invoice processing for Chile and Peru. You can use the fields to provide additional information about invoices:

Field Name	Alias	Type	Length	Vales to Enter /Definition
Legal Company	ZTH76LECO	Alpha	5	Enter the same value that is in the corresponding field (VJCO) in the F03B11Z1 table.
Legal Document Type	ZTH76LEDT	Alpha	3	Enter a value that corresponds to an invoice.
Emission Serial	ZTH76EMS	Alpha	4	Enter a value that corresponds to CB if the processing option is set to verify sequence numbers.
Legal Number	ZTH76LENU	Number	10	Enter the legal number.
Printed Invoice Flag	ZTH76IPRT	Alpha	1	Enter Y to require a value in the Printed Invoice Date field (ZTH76IDPT). Enter N to not require a date.
Printed Invoice Date	ZTH76IDPT	Date	6	Enter the date that the invoice was printed.
Entered Invoice Flag in Vat Sales Subledger	ZTH76IRPT	Alpha	1	Enter Y to require a value in the Date Invoice Reported field (ZTH76IDPR). Enter N to not require a date.
Date Invoice Reported	ZTH76IDPR	Date	6	Enter the date that the invoice was included in the VAT sales ledger.
Entered Invoice Flag in the magnetic support	ZTH76IRMA	Alpha	1	Enter Y to require a value in the Date Invoice Magnetic Reported field (ZTH76IDRM). Enter N to not require a date.

Field Name	Alias	Type	Length	Vales to Enter /Definition
Date Invoice Magnetic Reported	ZTH76IDRM	Date	6	Enter the date that the invoice was reported on magnetic media.
Transaction Originator	ZTTORG	Alpha	10	This field should be left blank. The system updates this field when the transaction is processed.
User ID	ZTUSER	Alpha	10	This field should be left blank. The system updates this field when the transaction is processed.
Program ID	ZTPID	Alpha	10	This field should be left blank. The system updates this field when the transaction is processed.
Date – Updated	ZTUPMJ	Date	6	This field should be left blank. The system updates this field when the transaction is processed.
Time – Last Updated	VJUPMT	Number	6	This field should be left blank. The system updates this field when the transaction is processed.
Work Station ID	VJJOBN	Alpha	10	This field should be left blank. The system updates this field when the transaction is processed.

## (CHL and PER) Mapping Fields in the F76H3B15 EDI Tag File — CHI —03B table (F76H3B5Z) for Chile and Peru

These fields in the F76H3B15 EDI Tag File —CHI —03B table (F76H3B5Z) are required for processing batch invoices for Chile and Peru:

Field Name	Alias	Type	Length	Values to Enter /Definition
EDI – User ID	IREBUS	Alpha	10	<p>Enter the user ID of the person who is running the process or the person who is receiving messages in the Employee Work Center.</p> <p>This field, with the EDI – Transaction Number (IREDTN), the EDI – Batch Number (IREDBT), and the EDI – Line Number (IREDLN) fields, uniquely identifies an invoice.</p>
EDI – Transaction Number	IREDTN	Alpha	22	<p>Enter the source system's document number so that the transaction can be cross-referenced.</p> <p>This field, with the EDI – Line number field (IREDLN), uniquely identifies each transaction. Each new transaction number identifies a new invoice. You cannot have more than one transaction with the same number in a batch unless the line number is different.</p>

Field Name	Alias	Type	Length	Values to Enter /Definition
EDI – Batch Number	IREDBT	Alpha	15	<p>Enter a number to group transactions for processing.</p> <p>This field, with the EDI – Transaction Number (IREDTN), the EDI – USER ID (IREBUS), and the EDI – Line Number (IREDLN) fields, uniquely identifies a transaction within a specific batch. This field also specifies a level break and causes the assignment of a new batch number each time that the value changes. To increase performance, assign one batch number for each group of transactions that is processed at one time.</p>
EDI – Line Number	IREDLN	Number	7	<p>Enter the pay item number only if a transaction has multiple pay items. If a transaction has only one pay item, you can leave this field blank.</p> <p>This field, with the EDI – Transaction Number field (IREDTN), identifies each pay item of the invoice.</p>
Legal Company	IRH76LECO	Alpha	5	<p>Enter the same value that is in the corresponding field (VJCO) in the F03B11Z1 table.</p>
Legal Document Type	IRH76LEDT	Alpha	3	<p>Enter a value that corresponds to an invoice.</p>

Field Name	Alias	Type	Length	Values to Enter /Definition
Emission Serial	IRH76EMS	Alpha	4	Enter a value that corresponds to CB if the processing option is set to verify sequence numbers.
Legal Number	IRH76LENU	Number	10	Enter a legal number. <b>注:</b> This field is required if the processing option is set to require legal numbers.



## 付録 B

# 自動入金処理のためのフィールドのマッピング

この付録では、自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) のフィールドのマッピングについて説明します。

## 自動入金アップロード テーブル (F03B13Z1) のフィールドのマッピング

このセクションでは、F03B13Z1 テーブルのフィールドの一覧を記載します。これらのフィールドには、必須のものがあります。また、フィールドによっては、ブランクが指定可能なものもあります。必須フィールドおよび任意フィールドは、銀行のデータ テープから値がロードされる入力フィールドです。自動更新フィールドは、入金見出しの更新（画面上は“入金明細の更新”）プログラム (R03B551) の実行時に、システムによって自動的に値がロードされます。

### 必須フィールド

以下の F03B13Z1 テーブルのフィールドは、自動入金処理で必須のフィールドです。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
EDI-ユーザー ID	RUEDUS	文字	10	<p>プロセスを実行する人のユーザー ID、または従業員ワークセンターでメッセージを受け取る人のユーザー ID を入力します。</p> <p>このフィールドと EDI-トランザクション番号 (RUEDTN)、EDI-バッチ番号 (RUEDBT)、EDI-行番号 (RUEDLN) の各フィールドを組み合わせて、入金を一意に識別します。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
EDI-バッチ番号	RUEDBT	文字	15	<p>処理するトランザクションをグループ化する番号を入力します。</p> <p>このフィールドとEDIユーザーID (RUEDUS)、EDI-トランザクション番号 (RUEDTN)、EDI-行番号 (RUEDLN) の各フィールドを組み合わせて、バッチの中でトランザクションを一意に識別します。また、このフィールドではレベル区切りも指定します。この値が変わるごとに新しいバッチ番号が割り当てられます。</p> <p>一度に処理するトランザクショングループごとにバッチ番号を割り当てると、パフォーマンスが向上します。</p>
EDI-トランザクション番号	RUEDTN	文字	22	<p>トランザクションを相互参照できるように、ソースシステムの伝票番号を入力します。</p> <p>このフィールドによって、入金レコードが識別されます。新しいトランザクション番号は新しい入金レコードを示します。EDI-行番号 (RUEDLN) の値が異なる場合を除き、1つのバッチに同じ番号のトランザクションを複数置くことはできません。</p> <p>アップロード元のトランザクションを簡単に識別できるように、通常はソースシステムの伝票番号が使用されます。</p>
EDI-行番号	RUEDLN	数字	7	<p>1件の入金で複数の請求書に対応する場合に、入金の各支払項目を区別するために使用します。</p>
入金番号	RUCKNU	文字	25	<p>EDI-トランザクション番号フィールド (RUEDTN) と同じ値を入力します。</p> <p>このフィールドによって、バッチに含まれる各入金が識別されます。この値は、顧客または支払人が商品やサービスに対する支払に使用する小切手番号と対応します。</p>



フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
バッチタイプ	RUICUT	文字	2	バッチタイプを識別します。自動入金処理のバッチタイプを表す“9B”を入力してください。これ以外の値は無効です。
住所番号	RUAN8	数字	8	<p>顧客の住所番号を入力します。住所録マスター (F0101) に存在する番号を入力してください。</p> <p>このフィールドをブランクにして、顧客銀行口座フィールド (RUCBNK) および銀行/支店フィールド (RUTNST) に値を入力すると、これらの銀行口座情報から取得された支払人番号が顧客に割り当てられます。</p> <p>RUAN8、RUCBNK、RUTNST の各フィールドがブランクで、伝票番号フィールド (RUDOC) または汎用照合フィールド (RUGMFD) のどちらかに値が入力されている場合、これらのフィールドの請求書情報によって特定された支払人番号が顧客に割り当てられます。伝票番号フィールドと汎用照合フィールドもブランクの場合、入金見出しの更新プログラムの処理オプションで設定したデフォルト値を使用して支払人番号および顧客番号が取得されるか、または仮入金レコードが作成されます。</p> <p>パフォーマンスを向上させるには、他のテーブルから値を取得しなくても済むように顧客の住所番号を入力します。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
元帳日付	RUDGJ	日付	6	<p>データベースと同じ日付形式で元帳日付を入力します。データベースによって、グレゴリオ暦の日付形式 (mm/dd/yy) が入力できる場合と、ユリウス暦の日付形式による入力が必要な場合とがあります。</p> <p>ユリウス暦の日付は、cyyddd (c は世紀数下 1 桁) という形式で表します。日付が 20 世紀の場合は "0" (ゼロ)、21 世紀の場合は "1" を入力します。たとえば、1999 年 6 月 1 日はユリウス暦では 099152 になります。2004 年はうるう年なので、2004 年 6 月 1 日は 104153 になります。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、この値は入金見出しの更新プログラムの処理オプションで指定した値になります。</p>
入金額	RUCKAM	数字	15	<p>入金された金額を入力します。複数の請求書、または複数の支払項目がある 1 件の請求書に対する入金の場合、最初の入金トランザクションに対してのみこの金額を入力します。同じ入金の金額が複数のトランザクションに含まれていると、処理が正しく行われません。</p> <p>マイナスの金額は入力しないでください。</p>
伝票番号	RUDOC	数字	8	この表の後の注を参照してください。
伝票タイプ	RUDCT	文字	2	この表の後の注を参照してください。
伝票会社	RUKCO	数字	5	この表の後の注を参照してください。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
伝票支払項目	RUSFX	数字	3	<p>支払項目が複数ある請求書に対する入金に対し、金額付き既知請求書照合プログラム (R03B50D) のアルゴリズムを使用する場合、支払項目番号を指定する必要があります。そうしないと、その請求書の支払項目は1件だけと見なされ、最初の支払項目に対してしか入金処理されなくなります。</p> <p>支払項目番号は、000ではなく001から始まります。</p>
総額	RUAG	数字	15	<p>金額付き既知請求書照合プログラムのアルゴリズムを使用する場合にのみ、このフィールドに値を入力します。請求書または請求書の支払項目に対して適用する入金の金額を指定します。たとえば、入金された金額が100でも、50しかその請求書に支払わない場合は50と指定します。</p> <p>支払項目が1つしかない請求書の全額に対する入金の場合、このフィールドの金額は入金額フィールド (RUCKAM) の金額と同じになります。</p> <p>クレジットメモに対する支払の場合は、マイナスの金額を入力してください。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
銀行勘定科目	RUGLBA	数字	8	<p>銀行への振込(入金)を記録するために使用する銀行勘定科目の略式IDを入力します。略式IDが8桁に満たない場合、足りない桁に0を入力してください。たとえば、108の場合は00000108と入力します。勘定科目マスター(F0901)に登録されている勘定科目コードを入力する必要があります。</p> <p>また、このフィールドがblankで、銀行口座フィールド(RUEHBK)および銀行/支店フィールド(RUEHTN)に値が入力されていると、その銀行口座の勘定科目と銀行/支店コードが銀行勘定科目プログラム(P0030G)によって設定されている場合、これらの値に基づいて略式IDが特定されます。</p> <p>RUGLBA、RUEHBK、RUEHTNの全てのフィールドがblankの場合、このフィールドの値は入金見出しの更新プログラムの処理オプションに基づいて更新されます。</p>
会社	RUCO	文字	5	<p>入金に割り当てられている会社番号を入力します。会社固定情報テーブル(F0010)に存在する値を入力する必要があります。この会社番号は、未充当入金および仮入金を計上する売掛金勘定に対するAAIの取得に使用されます。</p> <p>このフィールドをblankにすると、銀行勘定科目が指定されている場合はその勘定科目から会社番号が取得されます。銀行勘定科目が指定されていない場合は、入金見出しの更新プログラムの処理オプションで設定した値が使用されます。</p>
顧客銀行口座	RUCBNK	数字	20	この表の後の注を参照してください。
銀行/支店	RUTNST	数字	20	この表の後の注を参照してください。

注: 伝票番号 (RUDOC)、伝票タイプ (RUDCT)、伝票会社 (RUKCO) の各フィールドによって、支払の対象となる売掛金元帳テーブル (F03B11) の請求書が識別されます。

金額付き既知請求書照合プログラム (R03B50D) または金額なし既知請求書照合プログラム (R03B50E) のアルゴリズムを使用する場合、これらのフィールドか汎用照合フィールド (RUGMFD) を使って請求書を指定する必要があります。

これらのフィールドが必須ではないアルゴリズムもありますが、これらのフィールドに値を入力すると、パフォーマンスを向上させることができます。

注: 手形を処理する場合、これらのフィールドには顧客または支払人の銀行口座情報を入力します。

また、これらのフィールドをブランクにして、顧客または支払人の銀行口座名を備考フィールドに入力すると、F0030 テーブルから銀行口座情報を特定することができます。顧客または支払人の銀行口座情報を特定できない場合、手形トランザクションは処理されません。

手形を処理しない場合、これらのフィールドは必須ではありません。これらのフィールドに値を入力すると、その情報から F0030 テーブルの住所番号が特定され、F03B13 テーブルの支払人フィールド (PYR) に使用されます。同じ銀行/支店の口座のレコードが 2 件ある場合、支払人レコード (レコード タイプ P) が使用されます。そうでない場合は、顧客レコード (レコード タイプ C) が使用されます。

## 任意フィールド、無視されるフィールド、自動更新フィールド

以下の F03B13Z1 テーブルのフィールドは、入力が任意のフィールド、システムによって無視されるフィールド、またはシステムによって更新されるためブランクにしておくフィールドです。

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
バッチ番号	RUICU	数字	8	<p>同時に処理する入金をグループ化するために使用される番号です。この番号は、F03B13Z1 テーブル内で固有な番号にする必要があります。</p> <p>このフィールドがブランクの場合、バッチ番号は入金見出しの更新プログラムの実行時に自動採番によって割り当てられます。</p> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
計算書番号	RUCTL	文字	13	<p>このフィールドはblankにしてください。 このフィールドに値が含まれていると、請求書照合処理が実行できません。</p> <p>請求書に対する入金を計算書番号別に処理するには、汎用照合フィールド(RUGMFD)に計算書番号を入力します。</p>
汎用照合	RUGMFD	文字	50	<p>このフィールドは、金額付き既知請求書照合プログラム(R03B50D)または金額なし既知請求書照合プログラム(R03B50E)のアルゴリズムで請求書を参照および特定するために使用されます。次の値の中から1つを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 伝票番号</li> <li>• 受注オーダー番号</li> <li>• 顧客参照番号</li> <li>• 計算書番号</li> </ul> <p>このフィールドまたはRUDOCフィールドに入力された値によって請求書が特定されます。</p>
参照番号	RUVR01	文字	25	<p>入金のあった請求書に関する情報を入力するためのテキストフィールドです。これは参考用のフィールドです。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
支払 ID	RUPYID	数字	15	<p>入金の識別に使用されるフィールドです。</p> <p>このフィールドには、入金処理時に自動的に番号が割り当てられます。この値は、入金を特定するための内部参照用の値として使用されます。</p> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>
自動入金アップロード状況	RUEUPS	文字	1	<p>自動入金処理中のトランザクションの状況を示すフィールドです。有効値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ブランク: 未処理</li> <li>• B: 処理可能</li> <li>• E: エラー発生</li> <li>• H: 入金見出しの更新プログラムは実行済みだが、請求書の自動突合せプログラム (R03B50) で突き合わせる請求書がない</li> <li>• Y: 正常終了</li> </ul> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>
バッチ日付 - 西暦上 2 桁	RUDIC#	数字	2	<p>バッチ日付の西暦上 2 桁を入力するフィールドです。</p> <p>このフィールドをブランクにすると、入力したバッチ日付に基づいて自動的に値が入力されます。</p> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
バッチ日付	RUIDCJ	日付	6	F03B13Z1 テーブルにトランザクションが入力された日付です。  このフィールドをblankにすると、トランザクションが処理された日付に自動的に更新されます。
ユーザー ID	RUUSER	文字	10	トランザクションを処理したユーザーのユーザー ID です。
元帳日付 - 西暦上 2 桁	RUDG#	数字	2	元帳日付の西暦上 2 桁です。  このフィールドは、blankにしておくことをお勧めします。
入金日付 - 月	RUDMTM	数字	2	この表の後の注を参照してください。
入金日付 - 日	RUDMTD			この表の後の注を参照してください。
入金日付 - 年	RUDMTY			この表の後の注を参照してください。
入金日付 - 西暦上 2 桁	RUDMT#			このフィールドはblankにしてください。 入金日付に基づいて自動的に値が入力されます。



フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
入金日付	RUDMTJ	日付	6	<p>入金日付(実際に入金された日付や小切手の日付)です。入金日付は、参照およびレポート作成のためにのみ使用されます。</p> <p>データベースと同じ日付形式で入金日付を入力します。データベースによって、グレゴリオ暦の日付形式(mm/dd/yy)が入力できる場合と、ユリウス暦の日付形式による入力が必要な場合があります。</p> <p>ユリウス暦の日付は、cyyddd(cは世紀数下1桁)という形式で表します。世紀のフィールドには、日付が20世紀の場合は"0"(ゼロ)、21世紀の場合は"1"を入力します。たとえば、1999年6月1日はユリウス暦で099152、2004年6月1日は104153になります。</p> <p>また、このフィールドをブランクにして、RUDMTM(mm)、RUDMTD(dd)、RUDMTY(yy)の各フィールドに値を入力することもできます。</p>

フィールド名	エイリアス	タイプ	長さ	定義
備考	RURMK	文字	30	<p>入金に関する情報を入力するためのテキストフィールドです。</p> <p>また、手形を処理するときに顧客銀行口座フィールド (RUCBNK) および銀行/支店フィールド (RUTNST) に値を入力していない場合、このフィールドに支払人の銀行名を入力することができます。この銀行名を使用して、銀行/支店マスター (F0030) から銀行口座情報が特定されます。支払人の銀行口座情報が特定できない場合、トランザクションは処理されません。</p>
勘定科目モード	RUAM	文字	1	<p>入力した銀行勘定科目の勘定科目形式を指定するフィールドです。</p> <p>このフィールドは、ブランクにしておくことをお勧めします。</p>
銀行口座	RUEHBK	文字	20	この表の後の注を参照してください。
銀行/支店	RUEHTN	文字	20	この表の後の注を参照してください。
支払手段	RUPYIN	文字	1	顧客の支払方法を指定するフィールドです。ユーザー定義コードの 00/PY (支払手段) に設定されている値を入力してください。
入金タイプコード	RUTYIN	文字	1	このフィールドはブランクにしてください。このフィールドには、入金処理時に自動的に値が割り当てられます。

---

**注:** 入金日付 - 月 (RUDMTM)、入金日付 - 日 (RUDMTD)、入金日付 - 年 (RUDMTY) の各フィールドを使用して、入金日付 (実際に入金された日付や小切手の日付) を入力します。入金日付は、参照およびレポート作成のためにのみ使用されます。

入力する場合は、mm/dd/yy の日付形式で入力してください。また、これらのフィールドを空白にして、入金日付フィールド (RUDMTJ) に値を入力することもできます。

入金日付が特定できない場合、元帳日付が使用されます。

---

---

**注:** 銀行勘定科目フィールド (RUGLBA) が空白の場合、銀行口座フィールド (RUEHBK) および銀行/支店 (RUEHTN) フィールドを使用して、銀行勘定科目を識別することができます。これらのフィールドに入力された値に基づいて銀行勘定科目を特定するには、F0030 テーブルに銀行勘定科目が設定されている必要があります。

RUEHBK、RUEHTN、RUGLBA の全てのフィールドが空白の場合、入金見出しの更新プログラムの処理オプションで設定された、デフォルトの略式銀行勘定 ID フィールドの値が使用されます。

銀行勘定科目が特定できない場合、該当の入金は処理されません。

---



## 付録 C

# EnterpriseOne 売掛管理の標準ワークフロー

この付録では、EnterpriseOne 売掛管理の標準ワークフローについて説明します。

### 関連項目:

PeopleSoft EnterpriseOne Tools 8.95 PeopleBook: Workflow Tools

---

## EnterpriseOne 売掛管理の標準ワークフロー

このセクションでは、EnterpriseOne 売掛管理の標準ワークフローについて説明します。

### 与信限度額変更の承認

このセクションでは、与信限度額変更の承認ワークフローについて説明します。

#### 説明

ワークフローの概要	ユーザー(カスタマサービス担当者など)によって顧客の与信限度額が変更されると、与信管理者にワークフローメッセージが送信されます。与信管理者が承認するまで、与信限度額の変更は顧客マスターレコードに反映されません。また、与信管理者には、新規に追加された顧客に対する初期与信限度額の承認を求めるワークフローメッセージも送信されます。
ワークフלוートリガ	顧客マスターへの新規レコードの追加、または既存レコードの与信限度額フィールドの更新により、トリガが起動されます。
ワークフローアクション	与信限度額が変更された顧客の与信管理者に、変更の承認を要請するワークフローメッセージを送信します。与信管理者がアクセスする承認フォームには、変更前の与信限度額、新しい与信限度額、および新しい与信限度額を承認または却下するオプションが表示されます。

#### ワークフロー オブジェクト

システム	01
ワークフロー オブジェクト名	CREDLIMIT
オブジェクトID	N0100042
イベント記述/関数名	MBFCustomerMaster
順序/行番号	2442、2531



## 付録 D

# EnterpriseOne 売掛管理レポート

(注: 日本語版では対応していない機能に関する記述については、英語で表記されています)

この付録では、売掛管理レポートの概要について説明し、以下の情報を提供します。

- 売掛管理の全レポートの一覧表
- 売掛管理レポートの詳細

---

## EnterpriseOne 売掛管理レポート

このセクションでは、以下の 2 種類の売掛管理レポートの概要を説明します。

- 標準
- 分析

### 標準レポート

標準レポートを印刷する目的は、次の事項に関する未決済売掛金残高と年齢調べ情報を検討および管理することです。

- 全ての顧客
- 特定の顧客
- 特定のカテゴリ コード
- 多通貨金額

これらのレポートを印刷する際、以下のテーブルから情報が読み込まれます。

- 業種別顧客マスター (F03012)
- 売掛金元帳 (F03B11)
- 入金見出し (F03B13)
- 入金明細 (F03B14)

レポートの処理時間は、これらのテーブルに保管されたデータの件数によって異なります。標準レポートは、ピーク時を避けて印刷することをお勧めします。

### 分析レポート

分析レポートを印刷する目的は、次の事項に関する情報を検討および分析することです。

- 顧客別および支払状況別合計

- 至急の対応を要する顧客や未解決の問題などの回収情報
- 割り当て与信限度額を超過している場合などの与信限度額
- 最高残高および売掛金回収平均日数 (DSO) などの顧客の傾向と統計

EnterpriseOne では、顧客の取引履歴や支払傾向の分析に役立つさまざまな分析レポートを提供しています。過去の支払実績に基づいて支払傾向を判断することができます。たとえば、ある顧客に対するこれまでの再請求の件数や、残高不足 (NSF) 入金の件数を示すレポートを印刷できます。分析レポートを利用して、取引を続けることに問題がある顧客を見極めることができます。

レポートの処理時間は、対応する各テーブルに保管されたデータの件数によって異なります。分析レポートはピーク時を避けて印刷することをお勧めします。

## EnterpriseOne 売掛管理レポート (アルファベット順)

以下の表は、売掛管理のレポートをレポート ID でアルファベット順にまとめたものです。各レポートに関する詳細については、この付録の後のレポート詳細を参照してください。

レポート ID およびレポート名	内容	ナビゲーション
R00314 (FRA) Bank Account Validation Report	Lists any drafts with an invalid bank transit number, customer bank account number, or control digit.	Draft Remittance and Collection (G03B162), Bank Account Exception Report
R03B155 未決済売掛金集計分析レポート	顧客の売掛金勘定の状況を一覧表示します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[未決済売掛金集計分析]
R03B165 履歴傾向分析レポート	特定の期間内における顧客の傾向情報を印刷します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[履歴傾向分析]
R03B166 年齢調べ傾向分析レポート	一定期間内における顧客の支払傾向を印刷します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[年齢調べ傾向分析]
R03B167 入金傾向分析レポート	特定の期間内における顧客の支払実績を印刷します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[入金傾向分析]
R03B168 請求書傾向分析レポート	特定の期間内における顧客の請求書実績を印刷します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[請求書傾向分析]
R03B1691 統計計算 (会社別) レポート	売掛金統計履歴テーブル (F03B16) の期間情報を会社別に集計します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[統計計算 (会社別)]
R03B1692 統計計算 (与信管理者別) レポート	売掛金統計履歴テーブル (F03B16) の期間情報を与信管理者ごとに集計します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[統計計算 (与信管理者別)]



レポート ID およびレポート名	内容	ナビゲーション
R03B1693 統計計算 (回収管理者別) レポート	売掛金統計履歴テーブル (F03B16) の期間情報を回収管理者ごとに集計します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[統計計算 (回収管理者別)]
R03B305 請求仕訳帳	請求書仕訳情報を印刷します。	[顧客および請求書の入力] (G03B11)、[請求仕訳帳]
R03B311 入金仕訳帳	入金仕訳情報を印刷します。	以下のメニューのいずれかで [入金仕訳帳] または [入金仕訳レポート] を選択します。  [入金処理] (G03B12) [自動入金処理] (G03B13) [入金処理] (G1513)
R03B408 入金明細	特定のバッチ日付、または特定のバッチ日付の期間において処理した全ての入金を印刷します。このレポートには、無効入金と NSF (残高不足) 入金も表示されます。	[入金処理] (G03B12)、[入金明細]
R03B413A 未決済売掛金明細 (集計) レポート	顧客の売掛金勘定に関する現在の集計情報を印刷します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[未決済売掛金明細 (集計)]
R03B4201A 未決済売掛金 (備考) レポート	顧客ごとに請求書、クレジットメモ、仮受金などの未決済項目のリストを印刷します。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[未決済売掛金 (備考)]
R03B4201B 未決済売掛金 (年齢調べ) レポート	特定の年齢調べカテゴリの未決済売掛金項目を印刷します。このレポートには、会社ごとの合計と全ての会社の総合計が表示されます。	[売掛管理レポート] (G03B14)、[未決済売掛金 (年齢調べ)]
R03B450 売掛金/買掛金の相殺レポート	買掛金と売掛金の未決済残高の相殺額を印刷します。  <u>参照: 第 23 章、「売掛管理レポートの印刷」、「相殺レポートについて」、623 ページ</u>	[売掛管理レポート] (G03B14)、[売掛金/買掛金の相殺]
R03B461 回収レポート	期限超過の勘定がある顧客について、未回収項目のリストを印刷します。  <u>参照: 第 18 章、「与信および回収管理」、「回収レポートの印刷」、535 ページ</u>	[売掛管理レポート] (G03B14)、[回収レポート]

レポート ID およびレポート名	内容	ナビゲーション
R03B466 年齢調べ相殺レポート	通貨別に年齢調べを行った顧客と仕入先ごとの取引が表示されます。  <u>参照: 第 23 章、「売掛管理レポートの印刷」、「年齢調べ相殺レポートについて」、625 ページ</u>	[売掛管理レポート] (G03B14)、[年齢調べ相殺レポート]
R03B560 自動入金明細	全ての処理済み項目のリストを印刷します。	[自動入金処理] (G03B13)、[自動入金明細]
R03B574 NSF (残高不足) 手形通知	残高不足のために戻された手形の合計額を印刷します。  <u>参照: 第 12 章、「受取手形の処理」、「NSF 手形通知レポートについて」、402 ページ</u>	[手形の取立/回収] (G03B162)、[NSF (残高不足) 手形通知]
R7404002 顧客/仕入先残高レポート	会社と顧客または仕入先との間の取引の詳細を印刷します。	次のいずれかのナビゲーションを使用します。  [買掛管理レポート] (G0414)、[仕入先残高レポート]  [売掛管理レポート] (G03B14)、[顧客残高レポート]  [Spanish Reports] (G74S09)、[Customer / Supplier Balance Report]  [French Reports] (G093151)、[Customer / Supplier Balance Report]
R74P03B61 (POL) AR Trial Balance Report	Lists all accounts receivable transactions by currency, company, account, and supplier.	[General Ledger] (G74P09)、[AR Trial Balance]
R74R5005 (RUS) Cash Receipt Note Report	Prints a cash receipt note for each transaction that increases petty cash.	[Cash Desk Transactions] (G74RCASH)、[Cash Receipt Note]
R74S540 (ESP) Stamp Fees Report	Prints a list of the total amount and the fee amount for each draft.	Print the Stamp Fee report as part of draft remittance by entering the program and version numbers of the report on the Custom Report processing option of the Draft Remittance program (R03B672)
R7503420 (JPN) 受取手形レポート	銀行割り当ての手形番号を含む処理済みの手形のリストを印刷します。	[ローカライゼーション (日本)] (G75J)、[受取手形レポート]

レポート ID およびレポート名	内容	ナビゲーション
R76A0024 (ARG) Credit Invoice Ledger	Prints a report that lists the credit invoices that you have issued for customers.	Argentinean Localization (G74A), Accounts Payable – Argentina Localization, Credit Invoice System Set Up, AR SOP Credit Invoice Ledger
R76A8510 (ARG) Report Control Draft – ARG – 03B	Prints a list of all receipts with the Lecops payment instrument.	You must add this report

## EnterpriseOne 売掛管理の主要レポート

このセクションでは、個々のレポートについて処理オプションなどの詳細情報を説明します。説明は、レポート ID のアルファベット順に記載されています。

### 関連項目:

第 20 章、「顧客分析のための売掛管理統計の更新」、577ページ

## R03B155 – 未決済売掛金集計分析

このレポートを利用して、以下の情報を検討することができます。

- 親レベルまたは子レベルの勘定残高
- 未決済金額とそれに関連する年齢調べカテゴリ
- 顧客および会社レベルで標準与信限度額を超過している顧客 (処理オプションの設定に基づく)
- 保証与信限度額を超過している顧客
- 与信限度額を下回っている顧客
- 未決済金額の顧客通貨
- 会社レベルの集計情報

該当する日付情報を更新するには、与信分析データの再作成プログラム (R03B525) を実行する必要があります。未決済売掛金集計分析レポートを印刷する際に、与信/資金管理テーブル (F03B15) と与信保険テーブル (F03B29) から情報が読み込まれます。

## 未決済売掛金集計分析 (R03B155) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 保証与信限度額

次の処理オプションにより、レポート上での保証与信限度額の表示方法が指定されます。

#### 1. 表示する最低未決済金額

顧客残高の比較対象となる金額を指定し、レポートにその顧客を含めるかどうかを決定します。この処理オプションで指定した金額の通貨には、[未決済金額] 処理オプションで指定された通貨が使用されます。為替レ

トテーブル (F0015) から取り込んだ為替レートを使って換算した顧客の未決済残高が、この処理オプションで指定した金額と比較され、その顧客をレポートに含めるかどうか決定されます。顧客の残高が、この処理オプションで指定した金額以上の場合のみレポートに印刷されます。

注: 印刷される残高の通貨は、[未決済金額の通貨コード] 処理オプションで指定された通貨ではなく、顧客マスター レコード (F03012) の住所録通貨コード フィールド (CRCA) で指定された通貨です。

## 2. 未決済金額の通貨コード

[表示する最低未決済金額] 処理オプションで入力した金額の通貨を指定します。指定した通貨に基づいて計算された顧客の未決済残高が [表示する最低未決済金額] 処理オプションで入力した金額と比較され、その顧客をレポートに含めるかどうか決定されます。

この処理オプションをブランクにした場合、米ドル (USD) が使用されます。

注: 指定した通貨はデータを選択するためのみに使用されます。印刷される金額はその通貨で表示されるわけではありません。

## 3. 標準または保証与信限度額

レポートに含める顧客レコードを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 全てのレコードが印刷されます。

1: 未決済金額が顧客マスター レコード (F03012) で設定された与信限度額以上のレコードが印刷されます。

2: 未決済金額が保証与信限度額以上のレコードが印刷されます。

注: [表示する最低未決済金額] 処理オプションで金額を指定した場合、この処理オプションは無視されます。

# R03B165 – 履歴傾向分析レポート

顧客管理および回収活動の一環として、履歴傾向分析レポートを印刷します。このレポートにより、特定期間内の顧客の傾向を分析できます。データ選択に応じて、このレポートには顧客に関する以下の履歴情報が表示されます。

- 期間別未決済残高
- 売掛金回収平均日数 (DSO) と延滞 DSO
- 与信日数
- 加重平均延滞日数
- 非加重平均延滞日数

履歴傾向分析レポートを印刷する際、以下のテーブルから情報が読み込まれます。

- 売掛金統計履歴 (F03B16)
- 売掛金統計サマリ (F03B16S)

このレポートに処理オプションはありません。

最新の統計情報をレポートに出力できるよう、まず与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行してからこのプログラムを実行してください。

## R03B166 – 年齢調べ傾向分析レポート

年齢調べ傾向分析レポートを印刷して、顧客の支払傾向を分析します。このレポートでは、長期にわたる顧客の支払傾向を確認することができます。たとえば 2 年間の月次合計に基づいて、顧客からの入金 が年々遅延傾向にあるかどうかを判断できます。

年齢調べ傾向分析レポートを印刷する際、以下のテーブルから情報が読み込まれます。

- F03B16
- F03B16S

このレポートに処理オプションはありません。

最新の統計情報をレポートに出力できるよう、まず与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行してからこのプログラムを実行してください。

## R03B167 – 入金傾向分析レポート

入金傾向分析レポートを印刷して、特定期間内の顧客の支払実績を分析します。データ選択に応じて、このレポートには以下の情報が表示されます。

- 終了日付と支払金額
- 延滞支払
- 割引実施額、割引可能額、無効割引額
- NSF (残高不足) 支払の入金件数と金額
- 再請求の件数と金額

入金傾向分析レポートを印刷する際、以下のテーブルから情報が読み込まれます。

- F03B16
- F03B16S

このレポートに処理オプションはありません。

最新の統計情報をレポートに出力できるよう、まず与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行してからこのプログラムを実行してください。

## R03B168 – 請求書傾向分析レポート

請求書傾向分析レポートを印刷して、特定期間内の顧客の請求書実績を分析します。データ選択に応じて、このレポートには以下の情報が表示されます。

- 終了日付と終了残高
- 総額
- 請求書件数
- 売上金額
- 割引実施額とクレジット (マイナス) 金額
- 延滞利息金

請求書傾向分析レポートを印刷する際、以下のテーブルから情報が読み込まれます。

- F03B16

- F03B16S

このレポートに処理オプションはありません。

最新の統計情報をレポートに出力できるよう、まず与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行してからこのプログラムを実行してください。

## R03B1691 – 統計計算（会社別）レポート

このレポートには、F03B16 テーブルの期間情報が会社別に集計され、出力されます。顧客情報は会社レベルで表示されます。会社 00000 に属する全ての会社の統計情報が集計されます。このように、会社 00000 を使用して組織の統計情報をまとめることができます。

データ選択を設定してレポートの対象範囲を絞ることができますが、データ順序は変更しないでください。レポートの合計は決まったデータ順序で計算されるため、データ順序を変更すると正しい集計結果を得られません。

このレポートに処理オプションはありません。

最新の統計情報をレポートに出力できるよう、まず与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行してからこのプログラムを実行してください。

## R03B1692 – 統計計算（与信管理者別）レポート

このレポートには、F03B16 テーブルの期間情報が与信管理者別に集計され、出力されます。全ての顧客情報を与信管理者と会社に基づいて見ることができます。

データ選択を設定してレポートの対象範囲を絞ることができますが、データ順序は変更しないでください。レポートの合計は決まったデータ順序で計算されるため、データ順序を変更すると正しい集計結果を得られません。

このレポートに処理オプションはありません。

最新の統計情報をレポートに出力できるよう、まず与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行してからこのプログラムを実行してください。

## R03B1693 – 統計計算（回収管理者別）レポート

このレポートには、F03B16 テーブルの期間情報が集計され、出力されます。全ての顧客情報を回収管理者と会社に基づいて見ることができます。

データ選択を設定してレポートの対象範囲を絞ることができますが、データ順序は変更しないでください。レポートの合計は決まったデータ順序で計算されるため、データ順序を変更すると正しい集計結果を得られません。

このレポートに処理オプションはありません。

最新の統計情報をレポートに出力できるよう、まず与信履歴の更新プログラム (R03B16A) を実行してからこのプログラムを実行してください。

## R03B305 – 請求仕訳帳

通常、請求書仕訳情報はオンラインで検討する方が簡単です。ただし、貸借不一致の問題がある場合や、バッチの取引件数が多い場合には、印刷された請求仕訳帳が便利です。

請求書仕訳情報を印刷する際に、F03B11 テーブルと取引明細テーブル (F0911) から取引が選択されます。

このレポートには、右端のカラムの横の空白部分にメッセージが表示されます。メッセージの内容は次のとおりです。

- ・ 残高差異（総額/割引額の合計が勘定科目の合計金額と一致しない場合）
- ・ 会社間取引（1 件の伝票に複数の会社の会計取引が含まれる場合）

## 請求仕訳帳（R03B305）のデータ選択

通常、データ選択ではバッチ番号、ユーザー ID およびバッチ日付が使用されます。

このレポートのバージョンを追加作成する場合、データ順序を以下に示す順序に設定する必要があります。

1. ユーザー ID（アルファベット順）
2. バッチ日付
3. バッチ No.（日付の新しい順）
4. 伝票会社
5. 伝票タイプ
6. 伝票 No.（昇順）
7. 支払項目

## R03B311 - 入金仕訳帳

オンラインでの入金確認に代わる手段として、入金仕訳帳（R03B311）を実行することができます。いくつかの異なるバージョンを作成し、特定の情報を表示することができます。たとえば、特定の日付やユーザーに基づく特定のバッチを表示するレポートのバージョンを設定することができます。

入金仕訳帳を実行すると、各銀行勘定科目に入力された入金の一覧と、各入金により支払済みとなった請求書（該当する請求書がある場合）が表示されます。手形の場合には、手形が偶発債務となるか回収済み状況になるまで、レポートのヘッダーに銀行勘定科目 No. は表示されません。レポートには、データ選択を使って転記コード "D" を指定しない限り、未転記取引が印刷されます。

このレポートには、入金見出しテーブル（F03B13）および入金明細テーブル（F03B14）の情報が含まれます。

### カラム見出し

カラム見出し "TI" は、入金の入力時にシステムによって F03B13 テーブルの TYIN フィールドに割り当てられる入金タイプコードを表します。割り当てられるコードは、以下のユーザー定義コード 03B/TI のいずれか 1 つです。

入金タイプコード	コードの名称
A	突合せ済み入金
D	手形
G	総勘定元帳入金
L	仮入金

入金タイプ コード	コードの名称
R	端数処理レコード
U	仮受金

## データ順序

取引データは次の順序で表示されます。

1. ユーザー ID
2. バッチ No.
3. バッチ日付
4. 銀行勘定科目
5. 会社
6. 住所 No.
7. 入金 No.

注: レポートに出力される金額合計は、この順序に基づいて計算されます。順序を変更する場合には、合計額の計算方法を決めるプログラム ロジックも併せて変更する必要があります。

## 入金仕訳帳 (R03B311) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 印刷

以下の処理オプションにより、レポートに勘定科目コードを印刷する際に使用する形式を指定できます。

#### 1. 勘定科目コード形式 - 総勘定元帳入金および手形

レポートに勘定科目コードを印刷する際に使用する形式を指定します。総勘定元帳入金および手形の場合のみ、レポートの詳細セクションに勘定科目コードが印刷されます。それ以外の場合には、支払済みの請求書の伝票番号が印刷されます。この処理オプションをブランクにすると、勘定科目コードは印刷されません。有効値は以下のとおりです。

- 1: 標準形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で勘定科目コードを印刷します。
- 2: 勘定科目マスター (F0901) で勘定科目コードに割り当てられる 8 桁の勘定科目 ID を印刷します。
- 3: 勘定科目マスター (F0901) の自由形式 (第 3 勘定科目 No.) フィールドで割り当てた勘定科目コードを印刷します。

#### 2. 勘定科目コード形式 - 銀行勘定科目

レポートに銀行勘定科目コードを印刷する際に使用する形式を指定します。銀行勘定科目コードはレポートのヘッダー セクションに印刷されます。手形を処理する際、手形がまだ受け入れ段階にあり、登録が済んでいない場合には、レポートに銀行勘定科目コードは印刷されません。この処理オプションをブランクにすると、銀行勘定科目コードは印刷されません。有効値は以下のとおりです。

- 1: 標準形式 (ビジネスユニット.主科目.補助科目) で勘定科目コードを印刷します。



- 2: 勘定科目マスター (F0901) で勘定科目コードに割り当てられる 8 桁の勘定科目 ID を印刷します。
- 3: 勘定科目マスター (F0901) の自由形式 (第 3 勘定科目 No.) フィールドで割り当てた勘定科目コードを印刷します。

## R03B408 - 入金明細

入金入力時に指定した元帳日付や入金日付にかかわらず、バッチ日付には常にシステム日付が割り当てられます。このため、このレポートを実行して期待したデータが得られなかった場合、バッチ日付に基づいて正しい日付範囲を入力したかどうかを確認してください。

このレポートには F03B13 テーブルの情報のみが印刷されます。

## 入金明細 (R03B408) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### バッチ日付

以下の処理オプションにより、レポートに出力するレコードの選択に使用する日付範囲を指定できます。

1. 開始日付、および 2. 終了日付 F03B13 テーブルからレポートに出力する入金または手形レコードを選択するためのバッチ日付の範囲を指定します。バッチ日付が指定日または指定日以降のレコードが選択されます。この処理オプションをブランクにした場合、現在の日付が使用されます。

## R03B560 - 自動入金明細

自動入金明細 (R03B560) を印刷して、全ての処理済み項目を検討することができます。このレポートでは、未充当入金レコードと突合せ済み入金レコードを確認できます。レポートには、入金見出しテーブル (F03B13) および入金明細テーブル (F03B14) の情報が印刷されます。

## 自動入金明細 (R03B560) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 一時変更

1. 外貨建て金額の表示 レポートに、国内通貨建て金額に加えて外貨建て金額を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 国内通貨建て入金額のみ印刷  
1: 国内通貨と外貨両方の入金額を印刷
2. 各入金ごとに改ページ 改ページを顧客ごとに行うか、または入金ごとに行うかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 顧客ごとに改ページ  
1: 入金ごとに改ページ

## R03B413A - 未決済売掛金明細 (集計) レポート

レポートには、以下の項目別に情報を集計するための複数のバージョンがあります。

- 会社
- 親番号
- 住所録カテゴリ コード 01
- 住所録カテゴリ コード 01 および会社
- 売掛管理カテゴリ コード 01
- 売掛管理カテゴリ コード 01 および会社
- 会社合計のみ

合計金額と年齢調べ金額には、データ選択で指定した取引が反映されます。

## 未決済売掛金明細（集計）(R03B413A) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

### 年齢調べ

- 1. 固定情報の設定を使用** 売掛管理固定情報または処理オプションのいずれの年齢調べ設定を使用するかを指定します。有効値は以下のとおりです。  
ブランク: 処理オプションを使用する。  
1: 売掛管理固定情報を使用する。
- 2. 年齢調べ基準日** 未決済残高の年齢調べに使用する日付を指定します。この処理オプションをブランクにした場合、現在の日付が使用されます。
- 3. 年齢調べ勘定科目に対する日付** 勘定科目の年齢調べを開始する日付を指定します。有効値は以下のとおりです。  
D: 支払期日（デフォルト）  
I: 請求書日付  
G: 元帳日付  
S: 計算書日付
- 4. 年齢調べ方法** 請求書の割り当てに使用する年齢調べカテゴリを指定します。年齢調べ基準日処理オプションで指定した日付と、日付タイプ処理オプションで指定した値を使って各請求書の経過期間が計算され、ここで指定する年齢調べカテゴリに割り当てられます。有効値は以下のとおりです。  
1: 経過日数。処理オプションの「年齢調べカテゴリ 1」から「年齢調べカテゴリ 6」で指定した年齢調べカテゴリに請求書が割り当てられます。年齢調べカテゴリには、自由に日数を設定することができます。  
2: 会計期間。会社レコードに割り当てられた期間パターンによって定義されている会計期間が、年齢調べカテゴリとして使用されます。  
3: カレンダー。カレンダーの各月が年齢調べカテゴリとして使用されます。

### 経過日数

この処理オプションでは、年齢調べ設定を指定します。

## 5. 経過日数

勘定科目の年齢調べに使用する経過日数を指定します。[固定情報の設定を使用] 処理オプションに“1”を入力した場合には、この処理オプションは無視されます。

## マイナス金額の年齢調べ

この処理オプションでは、マイナス金額の年齢調べを行うかどうかを指定します。

## 6. マイナス金額の年齢調べ

マイナス金額の年齢調べを行うかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: マイナス金額の年齢調べを行わない。マイナス金額は現行年齢調べカラムに表示されます。

1: マイナス金額の年齢調べを行う。

## 印刷

この処理オプションでは、レポートに親番号を印刷するかどうかを指定します。

## 7. 親番号印刷

レポートに親番号を印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: レポートに親番号を印刷しない。

1: レポートに親番号を印刷する。

## R03B4201A – 未決済売掛金（備考）レポート

このレポートには、各支払項目に関連付けられた備考が表示されます。たとえば、請求書入力時に、顧客に請求するサービスや製品のタイプを備考として入力することができます。このレポートには、会社ごとの合計と全ての会社の総合計が表示されます。

以下の情報を含むバージョンのレポートを実行できます。

- 割引情報（割引付き売掛金明細、正味金額、備考）
- 留保金（未収留保金）
- 入金履歴（顧客入金履歴）。このバージョンには、各顧客の支払済みと未決済両方の支払項目が含まれます。このレポート バージョンの情報は、[顧客入金の照会] でオンライン参照できる情報と類似しています。

このレポートを実行して、月末など特定の日付時点での情報の一覧を出力することができます。その場合、適切な処理オプションで基準日を指定してください。

## 未決済売掛金（備考）レポート（R03B4201A）の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

## 印刷

以下の処理オプションで、レポートに印刷する情報を指定します。

## 1. 入金の印刷

レポートに入金情報を含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 未充当入金以外の入金情報はレポートに含めない。

- 1: 入金情報を含める。
- 2. 入金を合計に含める** レポートに表示する合計に入金額を含めるかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。
- ブランク: 入金額を合計に含めない。
- 1: 入金額を合計に含める。“1”を入力した場合、[入金の印刷] 処理オプションも“1”に設定する必要があります。そうしないと合計には入金額が含まれません。
- 3. 基準日** 未決済請求金額を再計算し、レポートに印刷するために使用する日付を指定します。ここで入力した日付と入金の元帳日付を比較して、指定した日付時点で請求書が未決済、または入金済みのどちらであったかが判断されます。入力した基準日より入金の元帳日付が後の場合、請求書は未決済と見なされ、レポートに印刷されます。入金の元帳日付が基準日と同日以前の場合、請求書は決済済みと見なされ、レポートには含まれません。
- たとえば、元帳日付が 2005 年 6 月 15 日の請求書を入力し、入金の元帳日付が 2005 年 7 月 15 日だったとします。基準日を 2005 年 6 月 30 日とした場合、請求書は未決済としてレポートに表示されます。このように基準日を指定すると、顧客から指定された日付でレポートを印刷する必要がある場合や、一度処理した日付とは別の日付で印刷する場合に便利です。
- この処理オプションをブランクにすると、基準日の処理は実行されません。
- 
- 注:** 指定した基準日において請求書が未決済かどうかは正しく判断されるよう、データ選択で支払状況や未決済金額を指定しないでください。基準日処理のための適切なデータ選択が設定されているレポートのデモバージョンが用意されています。
- 
- 警告:** 基準日機能を使用するとレポートの処理時間が非常に長くなります。
- 
- 4. 通貨コード - 再換算** レポートに表示する金額を再換算する際に使用する通貨を指定します。有効な通貨コードを入力します。為替レートは、為替レート テーブル (F0015) から取り込まれます。為替レートが設定されていない場合、レポートには何も印刷されません。この処理オプションをブランクにすると、金額は国内通貨で表示されます。

## R03B4201B - 未決済売掛金 (年齢調べ) レポート

このレポートを実行して、月末など特定の日付時点での情報の一覧を出力することができます。その場合、適切な処理オプションで基準日を指定してください。

### 未決済売掛金 (年齢調べ) レポート (R03B4201B) の処理オプション

処理オプションにより、プログラムとレポートのデフォルト処理を指定することができます。

#### 年齢調べ

以下の処理オプションで、売掛管理システムで顧客の請求書の年齢調べを行う方法を指定します。

- 1. 年齢調べ設定** 年齢調べ設定を売掛管理固定情報から取り込むか、または年齢調べの処理オプションで指定した値を使うかを指定します。

注: “1” を入力して売掛管理固定情報から年齢調べ設定を取り込む場合、[年齢調べ日付] 処理オプション以外の全ての年齢調べの処理オプションは無視されます。固定情報の [指定日付] フィールドがブランクの場合のみ、[年齢調べ日付] 処理オプションの値が使用されます。システム日付を使用するために固定情報の [指定日付] フィールドをブランクにしている場合は、[年齢調べ日付] オプションには何も入力しないでください。

## 2. 年齢調べ日付

未決済の請求書を割り当てる年齢調べカテゴリの決定に使用する日付を指定します。入力した日付と請求書の日付 ([日付タイプ] 処理オプションで指定された日付) が比較され、請求書の経過期間が計算されます。

この処理オプションをブランクにすると、未決済請求書の年齢調べにはシステム日付が使用されます。

## 3. 日付タイプ

年齢調べカテゴリの決定に使用する請求書の日付を指定します。ここで指定した日付と [年齢調べ日付] 処理オプションの値を比較して、請求書の経過期間の日数が計算されます。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 請求書の支払期日が使用されます。

1: 請求書の日付が使用されます。

2: 元帳日付が使用されます。

3: 計算書日付が使用されます。

## 4. 年齢調べ方法

請求書の割り当てに使用する年齢調べカテゴリを指定します。[年齢調べ日付] 処理オプションで指定した日付と [日付タイプ] 処理オプションで指定した値を使って、各請求書の経過日数が計算され、このコードで指定した年齢調べカテゴリに割り当てられます。有効値は以下のとおりです。

1: 経過日数。年齢調べカテゴリ 1 から年齢調べカテゴリ 6 の処理オプションで指定した年齢調べカテゴリに請求書が割り当てられます。年齢調べカテゴリには、自由に日数を設定することができます。

2: 会計期間。会社レコードに割り当てられた期間パターンによって定義されている会計期間が、年齢調べカテゴリとして使用されます。

3: カレンダー。各カレンダー月が年齢調べカテゴリとして使用されます。

## 5. 年齢調べカテゴリ 1 ~ 10. 年齢調べカテゴリ 6

レポートに印刷する年齢調べカテゴリの間隔を指定します。

## 11. マイナス金額の年齢調べ

年齢調べの設定に従ってクレジット メモの年齢調べを行うか、またはマイナス金額を現行年齢調べカラムに適用してレポートに印刷するかを指定します。

## 入金

以下の処理オプションで、レポートおよび合計に入金額を含めるかどうかを指定します。

### 1. 入金の印刷

入金情報をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 請求書および未充当金額情報のみが印刷されます。

1: 入金情報を印刷します。

## 2. 当初合計

入金情報をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 当初金額のみがこのカラムに合計表示されます。

1: レポートの当初金額合計カラムに入金額を含めて表示します。

## 日付

この処理オプションは、基準日処理機能を有効にするために使用します。

### 1. 基準日

特定の日を基準日としてレポートを作成する必要がある場合に基準日を指定します。誤ってこの日付を年齢調べ日付として使用すると、レポートの処理時間が非常に長くなります。

基準日を使用した処理を行うと、入力した日付を基準として未決済請求書の金額が再計算されます。システムは入金元帳日付に基づいて請求書が入金済みかどうかを判断します。入力した基準日より入金の元帳日付が後の場合、請求書は未決済と見なされ、レポートに印刷されます。入金の元帳日付が基準日と同日以前の場合、請求書は決済済みと見なされ、レポートには含まれません。

たとえば、元帳日付が 2005 年 6 月 15 日の請求書を入力し、入金の元帳日付が 2005 年 7 月 10 日だったとします。基準日を 2005 年 6 月 30 日とした場合、請求書は未決済としてレポートに表示されます。このように基準日を指定すると、顧客から指定された日付でレポートを印刷する必要がある場合や、一度処理した日付とは別の日付で印刷する場合に便利です。

---

注: 指定した基準日において請求書が未決済かどうかは正しく判断されるよう、データ選択で支払状況や未決済金額を指定しないでください。これにはデモバージョンが用意されています。

---

### 2. 前払基準日処理

前払入金情報をレポートに印刷するかどうかを指定します。有効値は以下のとおりです。

ブランク: 通常の基準日処理

1: 選択された請求書が基準日処理の対象となり、請求書の元帳日付より前の支払活動は全て未決済金額カラムに当初金額と反対の符号で表示されます。

## 通貨

この処理オプションは、別の通貨で再換算を行う場合に使用します。

### 1. 通貨コード - 再計算

再計算に使用する通貨を指定します。為替レートテーブル (F0015) に有効な為替レートが存在する場合のみ、再計算が行われます。たとえば、米ドルで入力した金額をカナダドルでレポートに印刷する場合、この処理オプションで "CAD" と入力します。為替レートが検索され、金額が再計算されます。国内通貨を使用する場合、この処理オプションはブランクにしてください。

## 保証与信限度額

以下の処理オプションで、レポートでの保証与信限度額の表示方法を指定します。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| <b>1. 印刷する最低未決済金額</b> | レポートに含める顧客レコードを指定します。金額を入力します。未決済金額がこの金額以上のレコードだけがレポートに印刷されます。この処理オプションをブランクにすると、全ての保証与信限度額レコードがレポートに印刷されます。  |
| <b>2. 未決済金額の通貨</b>    | [印刷する最低未決済金額] 処理オプションで入力した金額の通貨を指定します。この処理オプションをブランクにすると、デフォルト通貨の米ドル (USD) が使用されます。   |
| <b>3. 標準/保証与信限度額</b>  | <p>レポートに含める顧客レコードを指定します。有効値は以下のとおりです。<br/>ブランク: 全てのレコードが印刷されます。</p> <p>1: 未決済金額が与信限度額以上のレコードが印刷されます。<br/>2: 未決済金額が保証与信限度額以上のレコードが印刷されます。</p> <p>[印刷する最低未決済金額] 処理オプションでブランク以外の値を入力している場合、その値が優先され、この処理オプションで指定する値は無効となります。</p> |

## R74P03B61 – (POL) AR Trial Balance Report

The AR Trial Balance report (R74P03B61) lists all accounts receivable transactions by currency, company, account, and supplier. You use this report to verify data in offset and vendor accounts. You can print the report in summary or detail mode.

When you run the AR Trial Balance report, the system writes data from the F03B11 and F03B14 tables to the F74P03BW table, and then prints the formatted data on the report.

### Summary Mode

When you run the report in summary mode, the system prints this information in the report header:

- Reporting period
- Company number
- Company description
- Currency code

The system prints this information in the report detail section:

- Vendor's address book number.
- Vendor name.
- Opening balance for the report period (debit or credit).
- Opening balance for the year (debit or credit).
- Account turnover.
- Year to date debit or credit.
- Cumulative balance (debit or credit).

### Detail Mode

When you run the report in detail mode, the system prints this information in the report header:

- Reporting period

- Company number
- Company description
- Currency code

For each detail line, the system prints this information in the report detail section:

- Document type
- Document number
- Document date
- Transaction amount
- Transaction description

Additionally, the detailed report lists a subheading that precedes the list of transactions for an account. The subheading shows the supplier's address book number and name. The report also has a summary line for each account that lists the year opening balance, the net change in the account for the month, the year to date balance and the accumulated balance.

## Prerequisite

Post accounts receivable transactions.

## Processing Options for AR Trial Balance (R74P03B61)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Select

<b>Fiscal Year</b>	Specify the fiscal year for which the system selects records to process.
<b>Fiscal Period From</b>	Specify the first period in a range of periods that the system uses to select records to process.
<b>Fiscal Period Thru</b>	Specify the end period in a range of periods that the system uses to select records to process.
<b>Company Number</b>	Specify the company number for which the system selects records to process.
<b>Date From</b>	Specify the first date in a range of dates that the system uses to select records to process. The system uses this processing option if you leave the Fiscal Period From and the Fiscal Period Thru processing options blank.
<b>Date Thru</b>	Specify the last date in a range of dates that the system uses to select records to process. The system uses this processing option if you leave the Fiscal Period From and the Fiscal Period Thru processing options blank.

### Process

<b>Report Appearance</b>	Enter 1 to print all detail lines for the accounts. Leave this processing option blank to print account totals.
<b>Rebuild Work Table</b>	Enter 1 to clear the table before writing new records to the table. Leave this processing option blank to append new records to the table.



## Print

<b>Account Print Format</b>	Specify the format in which the system prints account numbers on the report. Values are: 1: Account number 2: Short Account ID 3: Unstructured account
<b>Account Suppress Mode</b>	Enter 1 to suppress printing accounts which have no transactions since the beginning of the current year. Enter 2 to suppress printing accounts which have no transactions in the current period. Leave this processing option blank to print information for all accounts.

## R74R5005 – (RUS) Cash Receipt Note Report

Many transactions in Russia, including payroll and reimbursement for expenses, are paid in cash. Because of the transitory nature of cash, the Russian government requires additional steps to assure accurate accounting of cash transactions.

You print a cash receipt note for each transaction that increases petty cash. The system prints cash receipt notes with sequential numbering, starting from 1, within each financial year for each cash account.

Before you print a cash receipt note, you use the Petty Cash Transactions program (P74R0101) to add petty cash information to the records that the system uses for the Petty Cash Issue report, the Petty Cash Receipts report, and the Cash Desk Transaction report.

## Processing Options for Cash Receipt Note Report (R74R5005)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Printing

These processing options specify how the system processes records.

<b>1. Business Unit</b>	Enter Y to print the business unit of the person completing the cash receipt note on the cash receipt note. Leave this processing option blank to print the business unit of the company being credited with the receipt.
<b>2. Suppress Printing</b>	Leave this option blank or enter N to print the document number, batch number, and batch type. Enter Y to suppress printing.
<b>3. Reference to Original Document</b>	Enter Y to print the original document number on the attachments line. Leave this option blank or enter N to suppress the printing of the document number.
<b>4. CEO Address Number</b> (chief executive officer address number)	Specify the address book number of the CEO. The system uses this number to determine the mailing name in F74R101T table. The system prints the mailing name on the petty cash issue document.
<b>5. CEO Position</b>	Enter the title that prints with the name that is associated with the code that you entered in the CEO Address Number processing option.
<b>6. Chief Accountant Address Number</b>	Specify the address book number of the chief accountant. The system uses this number to determine the mailing name in the F74R101T table. The system prints the mailing name on the petty cash issue document.

## Settings

These processing options specify how the system processes records.

- |                              |   |
|------------------------------|---|
| <b>1. Currency</b>           | Enter Y to print the document in the domestic currency. Leave the processing option blank or enter N to print the document using the original currency. |
| <b>2. Format of Accounts</b> | Specify the format in which the system prints the account number. The value that you enter must exist in the Account Type (74R/AT) UDC table.           |
| <b>3. Language</b>           | Specify the language in which the system prints the document. The value that you enter must exist in the Language (00/LP) UDC table.                    |
| <b>4. Mode</b>               | Enter Y to print in final mode. Leave the option blank or enter N to print in proof mode.   |

## R74S540 – (ESP) Stamp Fees Report

Spanish law enables you to collect payment on multiple invoices by combining invoices on a draft. The government charges a fee for processing drafts. The amount of the fee depends upon the total amount of the draft. Spanish businesses can print drafts on special paper that is stamped with the correct fee amount. Alternatively, Spanish businesses can pay an additional fee to the bank to have the bank print the drafts.

The Stamp Fees Report (R74S540) lists the total amount and the fee amount for each draft. You can use this report to verify that the bank is charging the correct fee for each draft. The report includes only the fee that is charged by the government, not any additional fees that the bank might charge for the service.

You print the Stamp Fee report as part of draft remittance by entering the program and version numbers of the report on the Custom Report processing option of the Draft Remittance program (R03B672).

## Processing Options for Stamp Fees Report (R74S540)

Processing options enable you to specify the default processing for programs and reports.

### Total

- |                                    |   |
|------------------------------------|---|
| <b>1. Total by Register Number</b> | Specify whether to total draft amounts by register number. Values are:<br>Blank: Total by register number.<br>1: Do not total by register number. |
|------------------------------------|---|

## R76A0024 – (ARG) Credit Invoice Ledger

You use the AR SOP Credit Invoice Ledger program (R76A0024) to print a report that lists the credit invoices that you have issued for customers. You specify the date range to print in the processing options.

# EnterpriseOne 用語集

DNT - 変換なし	BLOB データの制約のため、iSeries サーバーに必要なデータソースのタイプです。
EnterpriseOne オブジェクト	アプリケーションのビルドに使用される再利用可能なコードです。オブジェクトタイプには、テーブル、フォーム、ビジネス関数、データ辞書項目、バッチ処理、ビジネスビュー、イベントルール、バージョン、データ構造体、メディアオブジェクトなどがあります。
EnterpriseOne プロセス	EnterpriseOne クライアントと EnterpriseOne サーバーでのプロセスリクエストの処理とトランザクションの実行のためのソフトウェア プロセスです。クライアントでは 1 つのプロセスが実行され、サーバーでは 1 つのプロセスの複数のインスタンスを処理することができます。EnterpriseOne プロセスをワークフロー メッセージやデータレプリケーションなどの特定のタスク専用指定することで、サーバーが大量のタスクを処理する場合でも重要なプロセスの実行を確保することができます。
FTP サーバー	ファイル転送プロトコルを通じてファイルへのリクエストに応答するサーバーです。
IServer サービス	JD Edwards 独自のサービスです。このインターネット サーバー サービスは Web サーバーに常駐し、データベースからクライアントへの Java クラスのファイル配信を高速化するために使用されます。
Java アプリケーション サーバー	サーバー中心のアーキテクチャの中間層に置かれるコンポーネントベースのサーバーです。このサーバーは、データアクセスや永続性と共に、セキュリティとステータスの管理を行うためのミドルウェア サービスを提供します。
JDBNET	異種サーバー間でのデータアクセスを行うためのデータベースドライバです。
JDEBASE データベースミドルウェア	クライアント/サーバー間のアクセスとプラットフォーム非依存型の API を提供する JD Edwards 独自のデータベースミドルウェア パッケージです。
JDECallObject	ビジネス関数から他のビジネス関数を呼び出すための API です。
JD Edwards EnterpriseOne データベース	“JDEBASE データベースミドルウェア”を参照してください。
jde.ini	EnterpriseOne の初期設定に必要なランタイム設定を提供する JD Edwards EnterpriseOne のファイル (または iSeries 用のメンバー) です。EnterpriseOne を実行する各マシンには、ファイルまたはメンバーの特定バージョンを常駐させる必要があります。これには、ワークステーションとサーバーが含まれます。
JDEIPC	サーバーコードによって使用される通信プログラミングツールであり、マルチプロセス環境における同一データへのアクセス制限、プロセス間の通信と調整、新規プロセスの作成を行います。
jde.log	EnterpriseOne の主要な診断ログ ファイルです。このファイルは常に主ドライブのルートディレクトリに置かれ、EnterpriseOne の起動時からの状況とエラー メッセージが書き込まれます。
JDENET	JD Edwards 独自の通信ミドルウェア パッケージです。このパッケージは、ピアツーピア、メッセージベース、ソケットベースのマルチプロセス通信ミドルウェアソリューションです。EnterpriseOne の全てのサポート対象プラットフォームでクライアント/サーバー間、サーバー/サーバー間の通信を処理します。
Nota Fiscal	ブラジルでは、税務処理のために全ての商取引についてこの書式を作成し、税法で指定された情報を含めることが義務付けられています。
Nota Fiscal Factura	ブラジルで使用する書式です。伝票情報を伴う “Nota Fiscal” です。

	Nota Fiscal の説明も参照してください。
<b>QBE</b>	Query by Example (例示照会) の略語です。EnterpriseOne では、QBE 行は、詳細グリッドの最上段にあり、データのフィルタリングに使用されます。
<b>wchar_t</b>	ワイド文字の内部タイプです。国際市場向けの移植可能プログラムの記述に使用します。
<b>Web アプリケーション サーバー</b>	Web アプリケーションと、バックエンドシステムおよび電子商取引に使用されているデータベースとの間のデータ交換を可能にする Web サーバーです。
<b>Web サーバー</b>	ブラウザから送信されたリクエストに応じて、TCP/IP プロトコルを使用して情報を送信するサーバーです。Web サーバーでは、ブラウザからのリクエストへの対応以外にも、アプリケーションやデータの格納など、通常のサーバーが行うあらゆるタスクを処理することができます。どのようなコンピュータでも、サーバー ソフトウェアをインストールし、インターネットに接続すれば、Web サーバーとして使用できます。
<b>Windows ターミナル サーバー</b>	マルチ ユーザー機能を持つサーバーであり、このサーバーに接続することで、それ自体では Windows ソフトウェアを実行できない端末や最小限構成のコンピュータでも Windows アプリケーションを使用することができます。全てのクライアント処理は、Windows ターミナル サーバーで集中的に実行され、画面表示、キー入力、およびマウス操作のコマンドのみがネットワーク経由でクライアントの端末機器とターミナル サーバー間で転送されます。
<b>XAPI イベント</b>	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムを呼び出すサービスです。
<b>XML CallObject</b>	ビジネス関数の呼び出しを行うためのインタオペラビリティ機能です。
<b>XML サービス</b>	EnterpriseOne システムからイベントをリクエストし、別の EnterpriseOne システムから応答を受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。
<b>XML ディスパッチ</b>	EnterpriseOne で受信する全ての XML ドキュメントへの応答のための、単一のエン트리 ポイントを提供するインタオペラビリティ機能です。
<b>XML トランザクション</b>	事前定義済みのトランザクション タイプを使用して EnterpriseOne にデータをリクエストしたり、EnterpriseOne からデータを受信することを可能にするインタオペラビリティ機能です。XML トランザクションではインターフェイス テーブル機能が使用されます。
<b>XML トランザクション サービス (XTS)</b>	EnterpriseOne のフォーマットではない XML ドキュメントを EnterpriseOne で処理可能なフォーマットに変換するサービスです。このサービスでは、応答時に、変換されたドキュメントが元の (発信側の) XML フォーマットに戻されます。
<b>XML リスト</b>	EnterpriseOne データベース情報のチャンク単位でのリクエスト/受信を可能にするインタオペラビリティ機能です。
<b>Z イベント</b>	インターフェイス テーブル機能を使用して EnterpriseOne トランザクションを取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
<b>Z テーブル</b>	EnterpriseOne 以外のデータを保存し、EnterpriseOne 用に変換することができるワークテーブルです。EnterpriseOne データの取得にも Z テーブルを使用できます。Z テーブルはインターフェイス テーブルとも呼ばれます。
<b>Z トランザクション</b>	EnterpriseOne データベースへの更新のためにインターフェイス テーブルで正しくフォーマットされたサードパーティのデータです。
<b>アクティビティ ルール</b>	フロー内でオブジェクトがあるポイントから次のポイントに進むための条件です。

<b>アプリケーション一時変更</b>	代替的なデータ辞書項目の記述であり、現在のオブジェクトのシステムコードに基づいて EnterpriseOne や World で表示されます。
<b>アプリケーション サーバー</b>	ネットワーククライアントに共有されるアプリケーションを含む、ローカル エリア ネットワーク内のサーバーです。
<b>イベントルール</b>	フォームの入力や、フィールド間の移動など、特定のアプリケーションで実行される操作に基づく処理(複数可)の実行をシステムに指示する論理ステートメントです。
<b>イベントルールビジネス関数 (NER)</b>	C 言語ではなく、イベントルールを使用して作成され、カプセル化された再利用可能なビジネスロジックです。イベントルールビジネス関数は、“NER” とも呼ばれます。NER は、複数のプログラムの複数の場所で再利用することができます。このモジュラー性の高さによって、コードの合理性や再利用性が高まり、必要な作業がより少なくなります。
<b>インターフェイス テーブル</b>	“Z テーブル” を参照してください。
<b>インタオペラビリティ モデル</b>	サードパーティシステムから EnterpriseOne への接続やアクセスを行うための機能です。
<b>インテグレーション サーバー</b>	コンピュータが内部および外部のネットワークで接続されたシステム環境で、各種のオペレーティングシステムやアプリケーション間でのデータの交換を行うための機能を提供するサーバーです。
<b>埋め込みイベントルール</b>	特定のテーブルやアプリケーションのためのイベントルールです。たとえば、フォーム間の呼び出し、処理オプションの値に基づくフィールドの非表示化、ビジネス関数の呼び出しなどが含まれます。“イベントルールビジネス関数”とは機能的に対照を成すルールです。
<b>エスカレーション モニター</b>	処理待ちのリクエストや活動を監視し、それらが非アクティブの状態のまま指定した時間が経過すると、再実行するか、または次のステップやユーザーに処理を進めるバッチプロセスです。
<b>エラー表示の有効化</b>	EnterpriseOne におけるフォームレベルのプロパティであり、有効時にはアプリケーション エラーのエラー メッセージがフォーム上に表示されます。
<b>エンタープライズ サーバー</b>	EnterpriseOne や World のデータベースとロジックを格納するサーバーです。
<b>オープン データ アクセス (ODA)</b>	データの集計とレポートの作成のために、SQL ステートメントを使用して EnterpriseOne のデータを抽出することができるインタオペラビリティ モデルです。
<b>オブジェクト構成マネージャ (OCM)</b>	EnterpriseOne では、ランタイム環境のオブジェクトリクエストブローカーおよび制御センターとして機能します。OCM によって、ビジネス関数、データ、バッチアプリケーションのランタイム ロケーションを追跡します。これらのオブジェクトのいずれかが呼び出されると、OCM では、指定された環境/ユーザーのデフォルト値と一時変更情報に基づいて、そのオブジェクトにアクセス先が指定されます。
<b>オブジェクトライブラリアン</b>	アプリケーションのビルドに再利用可能な全てのバージョン、アプリケーション、ビジネス関数のリポジトリです。オブジェクトライブラリアンによって、開発者にチェックアウト機能とチェックイン機能が提供されます。また、EnterpriseOne オブジェクトの作成、変更、使用の制御も行われます。オブジェクトライブラリアンは複数の環境(生産環境や開発環境など)に対応しているため、異なる環境間でオブジェクトを簡単に移動することができます。
<b>オブジェクトライブラリアン マージ</b>	前のリリースでオブジェクトライブラリアンに加えられた全ての変更を新規リリースのオブジェクトライブラリアンに統合するプロセスです。
<b>オフライン機能</b>	サーバーと接続されていないユーザーがトランザクションを入力し、後にサーバーに接続してそれらのトランザクションをアップロードすることができる処理モードです。

拡張プランニング エージェント (APAg)	業務データの抽出、加工、読み込みに使用できる EnterpriseOne のツールです。APAg は、リレーショナル データベース、フラットファイル フォーマットおよび XML のような他のデータまたはメッセージ エンコーディング形式によるデータソースへのアクセスをサポートしています。
活動	EnterpriseOne の Form Design Aid で使用される、スケジュール機能をもつエンティティであり、カレンダー上で指定した時間の量を表します。
仮定処理	取引に実際に使用されている通貨とは異なる通貨で入力されたように、取引の金額を表示することができる処理です。
環境ワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、各環境の環境情報とオブジェクト構成マネージャテーブルを、プランナ データソースからシステム リリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、環境プラン詳細レコードも更新されます。
期間パターン	標準の会計処理と 52 期間会計で、会計年度の開始日とその会計年度内の各期間の終了日を表すカレンダーです。
基準日処理	ある時点を指定して、その日付までの取引を集計する処理です。たとえば、日付を指定して EnterpriseOne の各種のレポートを実行し、その時点での勘定科目やビジネスユニットなどの残高や金額を確認することができます。
計画ファミリ	設計と製造に類似点があるため、まとめて計画することが合理的である複数の最終品目をグループ化する手段です。
原価要素	EnterpriseOne 製造管理において、特定の品目（資材費、人件費、間接費など）の原価の一要素を表します。
コスト割当	EnterpriseOne 収益性分析のプロセスであり、リソースのトレースや、活動やコストオブジェクトへの配賦に使用されます。
コネクタ	EnterpriseOne とサードパーティアプリケーションの間でのロジックとデータの共有を可能にするコンポーネントベースのインタオペラビリティ（相互運用）モデルです。EnterpriseOne コネクタアーキテクチャには Java コネクタと COM コネクタが含まれています。
コントロール テーブル マージ	顧客が変更したコントロール テーブルを新規リリースのデータに統合するプロセスです。
コントロール テーブル ワークベンチ	インストール ワークベンチの処理中に、プランで指定したデータ辞書、ユーザー定義コード、メニュー、ユーザー時変更テーブルを更新するバッチアプリケーションを実行するアプリケーションです。
サーバー ワークベンチ	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、サーバー設定ファイルを、プランナ データソースからシステム リリース番号データソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、サーバープラン詳細レコードも更新されます。
差異	<p>キャピタル アセット マネジメントでは、1 つの設備で発生した収益と、その設備に関連して発生した原価の差を意味します。</p> <p>JD Edwards EnterpriseOne プロジェクト原価管理と JD Edwards EnterpriseOne 製造管理では、同じ品目に対する 2 つの原価計算方式の間に生じる差異を意味します。たとえば、凍結標準原価と現行原価の差は設計差異です。凍結標準原価は原価要素テーブルから取得され、現行原価は資材、工程、間接費の各レートを使用して計算されます。</p>
最終モード	データレコードの更新や作成を行うプログラムの処理モードのレポート処理モードの 1 つです。
作業日カレンダー	JD Edwards EnterpriseOne 製造管理で、計画の作成に使用されるカレンダーです。稼働可能な日数に基づいて構成部品と作業指示のスケジュールを設定

	できるように、このカレンダーには作業日のみが連続的に表示されます。作業日カレンダーは、計画カレンダー、製造カレンダー、または製造現場カレンダーと呼ばれる場合もあります。
<b>差し込み印刷ワークベンチ</b>	業務文書を自動的に印刷するために、Microsoft Word 6.0(またはそれ以上のバージョン)の文書と EnterpriseOne のレコードをマージするアプリケーションです。雇用の証明に関する書式などの文書の印刷に、差し込み印刷ワークベンチを使用することができます。
<b>サブスクリバテーブル</b>	F98DRSUB テーブルを指しています。このテーブルは F98DRPUB テーブルと共にパブリッシャサーバーに置かれ、各パブリッシュ済みテーブルの全てのサブスクリバマシンの識別に使用されます。
<b>3 方向伝票突合せ</b>	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、入荷情報と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。3 方向突合せでは、入荷レコードを使用して伝票を作成します。
<b>施設</b>	原価のトラッキング対象となる業務の単位の 1 つです。たとえば、倉庫所在地、ジョブ、プロジェクト、ワークセンター、事業所などがあります。施設は、ビジネスユニットと呼ばれる場合もあります。
<b>指定通貨</b>	会社の財務レポートで基準として使用される通貨です。
<b>従業員ワークセンター</b>	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。各ユーザーには、アクティブ メッセージなど、ワークフローやその他のメッセージを含むメールボックスが割り当てられます。
<b>出力ストリーム アクセス (OSA)</b>	EnterpriseOne のインターフェイスを設定し、別のソフトウェア パッケージ (Microsoft Excel など) にデータを渡して処理を実行することができるインタオペラビリティ モデルです。
<b>処理オプション</b>	このデータ構造によって、ユーザーはバッチ プログラムやレポートの実行を制御するパラメータを指定することができます。たとえば、処理オプションを使用して、特定のフィールドのデフォルト値の指定、情報の表示および印刷の方法、日付範囲の指定、プログラムの実行を制御するランタイム値の入力などがあります。
<b>スペック</b>	EnterpriseOne オブジェクトの完全な説明です。各オブジェクトには固有の仕様またはアプリケーションのビルドに使用される名称があります。
<b>スペックテーブル マージ ワークベンチ</b>	インストール ワークベンチ プロセスの実行時に、スペックテーブルを更新するバッチ アプリケーションを実行するアプリケーションです。
<b>スペック マージ</b>	オブジェクトライブラリアン マージ、バージョンリスト マージ、およびセントラル オブジェクト マージで構成されるマージ機能です。この機能を使用して、顧客が変更したデータを新規リリースのデータに統合することができます。
<b>スポットレート</b>	トランザクションレベルで入力される為替レートです。このレートは、2 つの通貨の間に設定されている為替レートより優先されます。
<b>3 ステップ処理</b>	EnterpriseOne でのバッチトランザクションの入力、検討と承認、転記のタスクを指します。
<b>整合性テスト</b>	社内の貸借一致手順を補足するために使用するプロセスであり、問題のある残高情報やデータ不整合の特定とレポート作成を行うことができます。
<b>セグメント間編集</b>	コンフィギュレーション品目セグメント間の関係を設定する論理ステートメントです。セグメント間編集を使用して、製造不可能のコンフィギュレーションのオーダーを防ぐことができます。
<b>選択</b>	メニューに表示される選択項目は、メニューからアクセスできる各機能を表します。選択するには、関連する番号を選択フィールドに入力して Enter キーを押します。

セントラルオブジェクト マージ	現行のリリースで顧客がオブジェクトに加えた変更を、次の（新規の）リリースのオブジェクトに統合する処理です。
セントラル サーバー	クライアントマシンに配布されるソフトウェアの、最初にインストールされたバージョン（セントラルオブジェクト）の格納用に指定されたサーバーです。EnterpriseOne の典型的なインストールでは、ソフトウェアは1つのマシン（セントラルサーバー）にロードされます。次に、セントラルサーバーにつながっている各種のワークステーションに向けてソフトウェアのコピーがプッシュアウトされます（またはワークステーションからダウンロードされます）。このような構成にすることで、ワークステーション上での使用によってソフトウェアが変更されたり、破損した場合には、常にセントラルサーバー上にある変更前のオブジェクトのセット（セントラルオブジェクト）にアクセスすることができます。
相殺/仮勘定	EnterpriseOne Financial Management の一般会計勘定科目であり、仕訳入力 of 相殺（貸借一致）処理に使用されます。たとえば、相殺/仮勘定を使用して、EnterpriseOne 一般会計の配賦によって作成された会計入力の貸借一致を行うことができます。
即時バッチオブワン	処理をクライアントワークステーション上で実行してから、後続の処理のために全てを一度にサーバーアプリケーションに投入するトランザクションの方式です。バッチ処理はサーバー上で実行されるため、クライアントアプリケーションは引き続き他のタスクを実行できます。 “ダイレクト接続”と“オフライン処理”も参照してください。
ターミナル サーバー	このサーバーを使用して、端末、マイクロコンピュータ、その他の機器を、ネットワーク、ホストコンピュータ、または特定のコンピュータに取り付けられたデバイスに接続することができます。
代替通貨	取引通貨（国内のみの取引の場合は国内通貨）として指定した通貨と異なる通貨です。 EnterpriseOne Financial Management では、代替通貨を使用して、領収書や支払の入力を発行時と異なる通貨で行うことができます。
ダイレクト接続	クライアントアプリケーションとサーバーアプリケーションが対話形式で直接通信するトランザクション方式です。 “即時バッチオブワン”、“オフライン処理”の説明も参照してください。
チャート	EnterpriseOne の情報の表形式の表示であり、ソフトウェアのフォームに表示されます。
追加モード	ユーザーによるデータの入力可能なフォームの状態です。
通貨再換算	通貨を別の通貨に換算するプロセスであり、一般的にはレポートに使用されます。たとえば、通貨再換算のプロセスを使用して、さまざまな通貨を単一の通貨に換算する必要がある連結レポートの作成に対応することができます。
突き合わせ伝票	取引を完了または変更するために、当初伝票と関連付けられる伝票です。たとえば、EnterpriseOne Financial Management では、入金請求書の突き合わせ伝票であり、支払が支払伝票の突き合わせ伝票です。
データソースワークベンチ	インストールワークベンチの処理中に、インストールプランに定義された全てのデータソースを、プランナのデータソースに含まれるデータソースマスターとテーブル/データソースサイジングテーブルから、システムのリリース番号のデータソースにコピーするアプリケーションです。コピーされたデータを反映するため、データソースプラン詳細レコードも更新されます。
データベース サーバー	データベースの管理やクライアントマシンの検索を実行するローカルエリアネットワーク内のサーバーです。



<b>テーブルアクセス管理 (TAM)</b>	ユーザー定義データの保存と取得を処理する EnterpriseOne コンポーネントです。TAM には、データ辞書定義、アプリケーション/レポート仕様、イベントルール、テーブル定義、ビジネス関数入力パラメータ、ライブラリ情報などの情報と、アプリケーション、レポート、ビジネス関数を実行するためのデータ構造体の定義が保存されます。
<b>テーブルイベントルール</b>	データベーストリガに添付されるロジックであり、トリガに指定されたアクションがテーブルに対して発生した場合に起動します。EnterpriseOne では、イベントルールをアプリケーションイベントに添付できますが、この機能はアプリケーション固有です。テーブルイベントルールでは、テーブルレベルでの埋め込みロジックを提供します。
<b>テーブル変換</b>	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
<b>テーブル変換ワークベンチ</b>	EnterpriseOne と、EnterpriseOne 以外のテーブルを使用するサードパーティシステムとの間でデータ交換を行うためのインタオペラビリティモデルです。
<b>デプロイメントサーバー</b>	複数のエンタープライズサーバーとクライアントマシンへのソフトウェアのインストールや、それらのソフトウェアの管理、配布に使用されるサーバーです。
<b>電子データ交換 (EDI)</b>	EnterpriseOne システムとサードパーティシステムの間で、コンピュータ間の業務トランザクションデータの交換をペーパーレスに行うことを可能にするインタオペラビリティモデルです。EDI を使用する会社は、EDI 標準フォーマットからその会社のシステムで使用されているフォーマットにデータを変換するためのソフトウェアを備えている必要があります。
<b>トランザクション処理 (TP) モニター</b>	ローカル端末およびリモート端末と、それらを設定したアプリケーションの間でのデータ交換を制御するモニター機能です。また、TP モニターによって、分散環境でのデータの整合性が守られます。TP モニターには、データの検証と端末画面のフォーマットのプログラムが含まれる場合もあります。
<b>トランザクションセット</b>	複数のセグメントで構成されている電子的ビジネストランザクション (電子データ交換標準ドキュメント) です。
<b>トリガ</b>	データ辞書項目に固有の複数のイベントの 1 つです。イベントの発生時にシステム内で自動的に処理されるデータ辞書項目にロジックを添付することができます。
<b>トリガ イベント</b>	特殊なアクションが必須であるか、または結果アクションが定義済みの、特定のワークフローイベントです。
<b>2 重価格設定</b>	商品やサービスに 2 つの通貨で価格を設定するプロセスです。
<b>2 方向伝票突合せ</b>	EnterpriseOne 調達管理および外注管理で、購買明細行と仕入先の請求書を比較して伝票を作成するプロセスです。入荷情報は記録しません。
<b>バックツール バックプロセス</b>	EnterpriseOne ワークフロー管理で使用されるプロセスであり、別のプロセスで使用されるキーと同じキーが含まれています。
<b>パッケージ</b>	EnterpriseOne オブジェクトは、デプロイメントサーバーからのパッケージとしてワークステーションにインストールされます。パッケージは、部品表やキットに例えることができ、ワークステーションに必要なオブジェクトと、インストールプログラムがそれらのオブジェクトを検出できるようにデプロイメントサーバー上の位置情報を含んでいます。パッケージは、デプロイメントサーバー上のセントラルオブジェクトの特定時点のスナップショットでもあります。
<b>パッケージビルド</b>	ソフトウェアの変更や新規アプリケーションの既存ユーザーへの反映を容易に行うことができるソフトウェアアプリケーションです。また、EnterpriseOne では、パッケージビルドとは、ソフトウェアのコンパイル済みバージョンを指す場合もあります。たとえば、使用中の ERP ソフトウェアのアップグレード時に、パッケージビルドの実行を指示されたとします。

	<p>“パッケージビルド”という用語について、以下のコンテキストを検討してください。“パッケージビルド時に実行されるビジネス関数のグローバルビルドでは新規の関数が自動的に含められるため、配布の準備が整うまでビジネス関数を本稼働用パスコードに転送しないでください。”このように、パッケージビルドを作成するプロセスが“パッケージビルド”と呼ばれる場合もあります。</p>
パッケージ ロケーション	<p>パッケージとそのパッケージのレプリケート(複製)オブジェクトのセットが格納されるディレクトリ構造上の位置です。通常は、¥¥deployment server¥release¥path_code¥package¥package name に置かれます。このパスの下サブディレクトリに、パッケージ用のレプリケートオブジェクトが格納されます。パッケージがビルドまたは格納される場所を指す場合もあります。</p>
パッケージ ワークベンチ	<p>インストール ワークベンチプロセスの実行時に、パッケージ情報テーブルを、プランナ データソースからシステムリリース番号データソースに転送するアプリケーションです。処理の結果を反映するため、パッケージプラン詳細レコードも更新されます。</p>
バッチ サーバー	<p>バッチ処理リクエストの実行用に指定されたサーバーです。通常、バッチサーバーにデータベースは格納されず、対話型アプリケーションも実行されません。</p>
バッチ処理	<p>サードパーティシステムから EnterpriseOne にレコードを転送する処理です。</p> <p>EnterpriseOne Financial Management では、バッチ処理を使用して、EnterpriseOne 以外のシステムで入力された請求書や伝票のデータを EnterpriseOne 売掛管理や EnterpriseOne 買掛管理のシステムに転送することができます。また、顧客レコードや仕入先レコードを含む住所録情報を EnterpriseOne に転送することも可能です。</p>
パブリッシャ	<p>パブリッシュされたテーブルを受け持つサーバーです。F98DRPUB テーブルでは、企業内の全てのパブリッシュ済みテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャの識別が行われます。</p>
パブリッシュされたテーブル	<p>マスターテーブルとも呼ばれ、他のマシンにレプリケートされる元のテーブルです。パブリッシャマシンに格納される F98DRPUB テーブルにより、企業内の全てのパブリッシュされたテーブルとそれらに関連付けられたパブリッシャが識別されます。</p>
バージョン リスト マージ	<p>バージョンリストマージを実行すると、新規リリースにおいて有効なオブジェクトとそれらの処理オプションデータの、非 XJDE および非 ZJDE バージョンの仕様が維持されます。</p>
ビジネス関数	<p>ユーザーによって作成される命名済みの再利用可能なビジネスルールとログのセットであり、イベントルールを通じて呼び出すことができます。ビジネス関数では、トランザクションやそのサブセット(在庫チェック、作業オーダーの発行など)を実行することができます。また、ビジネス関数には API も含まれているため、フォーム、データベーストリガ、または EnterpriseOne 以外のアプリケーションからも呼び出すことができます。ビジネス関数は、他のビジネス関数、フォーム、イベントルール、その他の構成要素と組み合わせてアプリケーションを構成することができます。ビジネス関数の作成には、イベントルール、または C などの第 3 世代言語を使用します。ビジネス関数の例としては、Credit Check (与信チェック) や Item Availability (在庫照会) が挙げられます。</p>
ビジネスビュー	<p>アプリケーションやレポートでデータが使用されている複数の EnterpriseOne テーブルから特定の列を選択するための手段として使用される機能です。ビジネスビュー自体には特定の行を選択する機能はありません。また、ビジネスビューには実際のデータは含まれていません。ビジネスビューは、情報の表示専用の機能であり、このビューを介してデータを操作することができます。</p>
ビジュアル アシスト	<p>ユーザーがコントロールに属するデータを判別できるように、コントロールからトリガーを介して起動できるフォームです。</p>

ファイル サーバー	ネットワーク上で他のコンピュータからアクセスされるファイルを保存するサーバーです。ユーザーにはリモート ディスクドライブとして表示されるディスクサーバーと異なり、ファイル サーバーには、単にファイルを保存するだけでなく、保存しているファイルを管理し、要求をユーザー リクエスト ファイルとして維持して、それらのファイルの更新も行う高度な機能が備えられています。
プリスティン環境	EnterpriseOne のデモ データを使用した未変更オブジェクトのテストに使用する EnterpriseOne 環境です。研修環境にも使用されます。変更したオブジェクトと変更前のオブジェクトを比較するには、この環境が必要です。
プリント サーバー	ネットワークとプリンタの間のインターフェイスであり、ネットワーククライアントはこれを利用してプリンタに接続し、印刷ジョブを送信することができます。コンピュータ、独立したハードウェア デバイス、またはプリンタ内部のハードウェアでもプリンタサーバーとして使用することができます。
プルレプリケーション	データを個別のワークステーションにレプリケートする方法の 1 つです。プルレプリケーションのレプリケーション先のマシンは、EnterpriseOne のデータレプリケーション ツールを使用して、プル サブスクライバとしてセットアップされます。プル サブスクライバに変更、更新、削除が通知されるのは、その情報を要求した場合のみです。要求は、通常は起動時に、プル サブスクライバから F98DRPCN テーブルが置かれているサーバーにメッセージの形式で送信されます。
プロキシサーバー	企業などがセキュリティ管理、管理統制、サービスのキャッシュ化を確実に行うことができるように、ワークステーションとインターネットの間で防壁として機能するサーバーです。
プログラム一時修正 (PTF)	磁気テープやディスクで提供される、JD Edwards ソフトウェアの変更です。
プロジェクト	EnterpriseOne で使用される、オブジェクト管理ワークベンチで開発されたオブジェクトのための仮想コンテナです。
プロモーション パス	ワークフロー内でオブジェクトやプロジェクトが進む、指定された工程です。標準的なプロモーション サイクル (パス) は以下のとおりです。 11>21>26>28>38>01 このパスでは、11 は検討待ちの新規プロジェクト、21 はプログラミング、26 は品質管理テスト/検討、28 は品質管理テスト/検討の完了、38 は本稼働、01 はサイクルの完了を表します。標準的なプロジェクト プロモーション サイクルの工程内で、開発者は、開発パスコードからオブジェクトをチェックアウトし、チェックインしてから、それらのオブジェクトをプロトタイプ パスコードにプロモートします。次に、オブジェクトは、工程の完了の前に、本稼働用のパスコードに移されます。
編集コード	レポートやフォームの特定の値がどのように表示/フォーマットされるかを示すコードです。レポートに属するデフォルトの編集コードは大量の情報に関連しているため、使用時には注意が必要です。
編集モード	ユーザーによるデータの変更が可能なフォームの状態です。
編集ルール	ユーザー入力を事前に定義されたルールやルールのセットに照合して、フォーマットや検証を行うための方法です。
補足データ	マスターで管理されない全ての情報のタイプを指す用語です。補足データは、通常、従業員、応募者、購買要求、作業 (従業員の技能、取得学位、語学力など) に関する追加情報です。補足データを使用して、組織が要求するあらゆる情報を追跡管理することができます。 たとえば、標準のマスター (住所録マスター、顧客マスター、仕入先マスター) とは別に、それらのテーブルでは管理されない情報を汎用データベースで管理することができます。このような汎用データベースを使用すると、EnterpriseOne システム全体にわたって、標準的な方法で補足データの入力と管理を行うことができます。
本稼働用環境	ユーザーが EnterpriseOne ソフトウェアを実務使用する EnterpriseOne 環境です。

本稼働レベル ファイル サーバー	通常はユーザー サポート サービスと共に提供される、品質保証付きの商品化されたファイル サーバーです。
マスター テーブル	“パブリッシュされたテーブル”を参照してください。
マスター ビジネス関数 (MBF)	データベース内の情報の追加、変更、更新のための中心のロケーションとして機能する対話型のマスター ファイルです。マスター ビジネス関数によって、データ入力フォームとテーブル間でのデータの交換が行われます。マスター 関数によって、全ての必要なデフォルト値と編集ルールを含む関数の共通セットが、関連するプログラムに提供されます。MBF には、データベースの情報の追加、更新、削除の整合性を確保するロジックが含まれています。
見出し情報	テーブルやフォームの先頭に表示される情報です。見出し情報を使用して、後続のレコード グループの制御情報が識別または提供されます。
見積オーダー	EnterpriseOne 調達管理および外注管理では、仕入先からの品目情報と価格情報のリクエストであり、そこから購買オーダーを作成できます。  EnterpriseOne 受注管理では、受注オーダーに対してまだ引当を行っていない顧客の品目情報と価格情報を指します。
明細情報	たとえば、伝票支払品目や受注オーダー明細行など、EnterpriseOne のトランザクションの個別の行に関連する情報です。
メッセージアダプタ	サードパーティ システムから EnterpriseOne に接続し、メッセージング キューを使用したデータの交換を行うためのインタオペラビリティ モデルです。
メッセージ センター	発信側のアプリケーションやユーザーに関係なく、システム生成メッセージとユーザー作成メッセージを含む全ての EnterpriseOne メッセージを送受信するための中心のロケーションです。
メッセージング サーバー	メッセージング API を使用して、他のプログラムで使用するために送信されるメッセージを処理するサーバーです。メッセージング サーバーには、通常、関数を実行するためにミドルウェア プログラムが配備されます。
メディア ストレージ オブジェクト	テーブル フォーマットにまとめられていない、Gxxx、xxxGT、または GTxxx のいずれかの命名規則を使用するファイルです。
ユーザー一時変更のマージ	新規のユーザー一時変更レコードを顧客のユーザー事変更テーブルに追加するプロセスです。
優先プロファイル	品目、品目グループ、顧客、および顧客グループについて、ユーザー定義の階層 (順序) に基づいて指定したフィールドのデフォルト値を定義する機能です。
用語一時変更	特定の EnterpriseOne または World のフォームやレポートに表示される、データ辞書項目の代替的な説明です。
リアルタイム イベント	システム呼び出しを使用して EnterpriseOne のトランザクションを発生時に取得し、特定のトランザクションが発生した時点での通知を要求したサードパーティ ソフトウェア、エンドユーザー、およびその他の JD Edwards システムに通知を提供するサービスです。
リフレッシュ	EnterpriseOne ソフトウェアまたはそのサブセット (テーブルや業務データなど) を、新規リリースや PTF/Cum アップデートリリース (B73.2 や B73.2.1 など) に正しく対応させるための変更機能です。
略式コマンド	特定のコマンドを使用することで、メニューやアプリケーション間を迅速に移動できるコマンド プロンプト機能です。
レプリケーション サーバー	セントラル オブジェクトのクライアント マシンへのレプリケーションを受け持つサーバーです。

ロケーションワークベンチ	インストールワークベンチプロセスの実行時に、インストールプランに定義された全てのロケーションを、プランナデータソースの保管場所マスターからシステムデータソースにコピーするアプリケーションです。
ロジックサーバー	アプリケーションプログラムにビジネスロジックを提供する、分散ネットワーク内のサーバーです。典型的なコンフィギュレーションでは、プリスティンオブジェクトは、セントラルサーバーからロジックサーバーに複製されます。EnterpriseOneやWorldソフトウェアの実行時に、ロジックサーバーでは、ワークステーションと連動して、必要な処理が実際に実行されます。
ワークグループサーバー	マスターネットワークサーバーからレプリケートされたデータのサブセットが通常置かれるサーバーです。ワークグループサーバーでは、アプリケーションやバッチ処理は実行されません。
ワークフロー	ビジネスプロセスの一部または全体の自動化を意味する用語です。自動化されたプロセス(ワークフロー)の実行時には、ドキュメント、情報、タスクは、手順規則に従ってユーザーからユーザーへ渡されます。
ワークベンチ	関連のあるプログラムのグループに対する1つのエントリポイントからのアクセスを可能にするプログラムです。通常、ワークベンチからアクセスするプログラムは、大規模な業務プロセスに使用されています。たとえば、JD Edwards EnterpriseOne 支払サイクルワークベンチ(P07210)を使用して、給与計算、支払レポートの印刷、給与レポートの作成、仕訳入力の作成、給与履歴の更新に使用される全てのプログラムにアクセスすることができます。EnterpriseOneには、サービス管理ワークベンチ(P90CD020)、ラインスケジューリングワークベンチ(P3153)、計画ワークベンチ(P13700)、監査人ワークベンチ(P09E115)、支払サイクルワークベンチなどが用意されています。



# 索引

- AAI, 参照: 自動仕訳 (AAI)
- account information for Argentina
  - current 297
  - summarized 297
- activity codes setup for Argentina 38
- Add Invoice – PO program (P7433B11)
  - processing options 171
  - usage 169
- Additional A/B Information program (P760101A) 47
- AEB 19 390
- AEB 32 390
- AEB 58 390
- Amount Difference Generation program (R74R3010)
  - processing options 499
  - usage 499
- amount difference invoices for Russia 499
- A/R doubtful provision 557
- Argentina
  - automatic receipts processing 315
  - batch invoice processing
    - mapping fields 692
    - overview 200
  - Credit Invoice Ledger report (R76A0024) 738
  - customer master 47, 51
  - delinquent payment interest 572
  - entering receipts 227
  - invoices 160
  - legal numbers for invoices 160
  - printing invoices 488
  - receipts entry 241
  - recurring invoices 154
  - related credit notes 160
  - reviewing account information 297
  - setup
    - activity codes 38
    - draft processing 65
    - perception certificates 37
    - perception codes 39
    - print invoices 32
    - tax categories 38
- AR Magnetic RIBA Draft Remittance Paper Format program (R03B672IP) 389
- A/R Magnetic RIBA Draft Remittance Tape Format program (R03B672IT)
  - processing options 396
  - usage 389
- A/R Magnetic RID Draft Remittance Tape Format program (R03B672IR)
  - processing options 397
  - usage 389
- AR SOP Credit Invoice Ledger (R76A0024) 738
- AR Trial Balance program (R74P03B61)
  - processing options 736
  - usage 735
- Australia
  - Rapid Start
    - analyzing accounts receivable 592
    - business processes for accounts receivable 3
    - entering receipts 276
    - preconfigured processing options for AR Speed Status Update (P03B114) 277
    - preconfigured processing options for AR Speed Status Update version (P03B114) 190
    - preconfigured processing options for AR Summary by Company with Currency (R03B413B) 595
    - preconfigured processing options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707) 650
    - preconfigured processing options for A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701) 649
    - preconfigured processing options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI) 649
    - preconfigured processing options for Batches Out of Balance – AR Only (R007032) 649

- preconfigured processing options  
for Batch Header to Transaction  
(R007031) 646
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Cash Receipt  
Posting (R09801) 285
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Invoice Journal  
Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Receipts Journal  
Review (P0011) 285
- preconfigured processing options  
for Build Netting Report  
(R03B465) 596
- preconfigured processing options  
for Cash Receipt Posting  
(R09801) 483
- preconfigured processing options for  
Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for  
Credit Analysis Refresh – Update  
F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options  
for Default Invoice MBF  
(P03B0011) 188
- preconfigured processing options for  
Default Journal Entry MBF Options  
(P0900049) 188
- preconfigured processing options for  
Enter Deductions without Receipt  
(P03B2002) 479
- preconfigured processing options  
for Enter Deductions with Receipt  
(P03B102) 480
- preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187
- preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options for  
Netting Report (R03B466) 596
- preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594
- preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544
- preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options  
for Receipts Deposit Journal  
(R03B408) 285
- preconfigured processing options  
for Receipts Journal – Enter  
Batch Number/Batch Date  
(R03B311) 284
- preconfigured processing options  
for Review and Post Deduction  
Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for  
Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options  
for Speed Receipts Entry  
(P03B0001) 283
- preconfigured processing options  
for Statement Notification Refresh  
(R03B500X) 541
- preconfigured processing options  
for Statement Print Program  
(R03B5001) 542
- preconfigured processing options for  
Statistical Refresh – No DSO, No  
High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options  
for Statistics Annual Close  
(R03B161) 651
- preconfigured processing options  
for Unrealized Gain/Loss  
(R03B426) 651
- preconfigured processing options  
for Update AR from Address Book  
(R03B802) 540



- Processing Accounts Receivable
  - Period End 645
  - processing customer
    - deductions 478
  - processing invoices 185
  - processing statements and managing
    - collections 538
- Austria
  - automatic debits formats 435
- Austrian Bank Diskette Format and Statement program (R03B575AD)
  - processing options 438
  - usage 435
- Austrian Format Diskette Cover Page
  - Auto Debit program (R03B575AD1) 435
- automatic accounting instructions (AAIs)
  - RAxx 226
- automatic debits 436
  - bank automated clearing system
    - (BACS) 436
  - direct debit authority 435
  - formats
    - Austria 435
    - Belgium 435
    - France 435
    - Germany 435
    - Great Britain 436
    - Ireland 436
    - Netherlands 436
    - Switzerland 436
  - transfer instruction 435
- Automatic Debits Belgian Format 128
  - program (R03B575BD)
    - processing options 438
    - usage 435
- Automatic Debits Dutch Format program (R03B575DH)
  - processing options 440
  - usage 436
- Automatic Debits French Format program (R03B575FD)
  - processing options 439
  - usage 435
- Automatic Receipts Denmark program (R74M001)
  - processing options 302
  - usage 301
- Automatic Receipts Finland program (R74V001)
  - processing options 304
- usage 303
- Automatic Receipts Norway program (R74O001)
  - processing options 306
  - usage 306
- automatic receipts processing
  - Argentina 315
- Automatic Receipts Sweden BG AA program (R74W003)
  - processing options 308
  - usage 308
- Automatic Receipts Sweden BG OCR program (R74W001)
  - processing options 308
  - usage 308
- Automatic Receipts Sweden PG OCR program (R74W002)
  - processing options 308
  - usage 308
- BACS, 参照: bank automated clearing system (BACS)
- bad debt for France
  - managing 555
- bank automated clearing system
  - (BACS) 436
- Bank Cover Sheet – Germany program (R03B575DD1) 435
- batch invoice processing
  - for Argentina 200
  - mapping fields
    - for Argentina 692
    - for Chile and Peru 695, 699
- Belgium
  - automatic debits format 435
  - customer master 52
- Brazil
  - invoice processing 134
  - purge invoices 655
- Canada
  - Rapid Start
    - analyzing accounts receivable 592
    - business processes for accounts
      - receivable 3
    - entering receipts 276
    - preconfigured processing options
      - for AR Speed Status Update (P03B114) 277
    - preconfigured processing options for
      - AR Speed Status Update version (P03B114) 190

- preconfigured processing options for  
A/R to Account Balance by Acct  
ID Integrity (R03B707) 650
- preconfigured processing options for  
A/R to G/L by Batch Integrity –  
F03B11 (R03B701) 649
- preconfigured processing options for  
A/R to G/L Receipts by Batch  
Integrity (R890911BI) 649
- preconfigured processing options for  
Batches Out of Balance – AR Only  
(R007032) 649
- preconfigured processing options  
for Batch Header to Transaction  
(R007031) 646
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Cash Receipt  
Posting (R09801) 285
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Invoice Journal  
Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Receipts Journal  
Review (P0011) 285
- preconfigured processing options  
for Cash Receipt Posting  
(R09801) 483
- preconfigured processing options for  
Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for  
Credit Analysis Refresh – Update  
F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options  
for Default Invoice MBF  
(P03B0011) 188
- preconfigured processing options for  
Default Journal Entry MBF Options  
(P0900049) 188
- preconfigured processing options for  
Enter Deductions without Receipt  
(P03B2002) 479
- preconfigured processing options  
for Enter Deductions with Receipt  
(P03B102) 480
- preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187
- preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594
- preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544
- preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options  
for Print and Reprint A/R Invoices  
(R03B505) 191
- preconfigured processing options for  
Print A/R Invoices (R03B505) 191
- preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options  
for Receipts Deposit Journal  
(R03B408) 285
- preconfigured processing options  
for Receipts Journal – Enter  
Batch Number/Batch Date  
(R03B311) 284
- preconfigured processing options  
for Review and Post Deduction  
Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for  
Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options  
for Speed Receipts Entry  
(P03B0001) 283
- preconfigured processing options  
for Standard Receipts Entry  
(P03B102) 277
- Preconfigured Processing options  
for Statement Notification Refresh  
(R03B500X) 541

- preconfigured processing options
  - for Statement Print Program (R03B5001) 542
- preconfigured processing options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options for Statistics Annual Close (R03B161) 651
- preconfigured processing options for Transaction to Batch Header (R007021) 647
- preconfigured processing options for Update AR from Address Book (R03B802) 540
- processing accounts receivable
  - period end 645
- processing customer
  - deductions 478
- processing invoices 185
- processing statements and managing collections 538
- Cancel Invoice Print program (R75C09Z1)
  - processing options 497
  - usage 497
- Cash Desk Transaction program (P74P9101)
  - usage 170
- Cash Receipt Note Report (R74R5005)
  - processing options 737
  - usage 737
- certificates (ARG)
  - print perception 37
- Chile
  - field mapping for batch invoice
    - processing 695
  - invoice dates 152
  - invoice processing 165
  - Lot of Printing Date (P76H3B53)
    - processing options 153
- Chilean Add Invoices – PO program (P76H3B11)
  - processing options 166
  - usage 165
- China
  - invoice print setup 39
  - printing invoices 495
- CIF codes 35
- ClieOp2 automatic debit format (NLD) 436
- ClieOp3 automatic debit format (NLD) 436
- Copy Bank File to Interface File A/R program (R74W0010)
  - processing options 311
  - usage 310
- Create GUI Interface File from A/R program (R75C03B1)
  - processing options 496
- Create Swiss Bank Diskette Format program (R03B575SD)
  - processing options 441
  - usage 436
- \$C record type 35
- Creditel 信用報告テープ 547, 548
- Creditel 信用報告テープ プログラム (R03B920)
  - 処理オプション 554
- Creditel 信用報告テープ プログラム (R03B920C)
  - 処理オプション 555
  - 要件 548
  - 用途 547
- credit invoices (ARG)
  - ledger 738
- Customer Connection Web サイト xxxii
- customer master
  - for Argentina 51
  - for Belgium 52
- debt
  - managing bad debts for France 556
- delinquent payment interest (ARG) 572
- Denmark
  - printing invoices 497
  - processing automatic receipts 301
- direct debit authority 435
- Download JinSui Return File into JDE program (R75C01Z2) 495
- draft collection (ITA) 406
- draft origination
  - Spain 346
- draft processing (ESP)
  - origination for Spain 346
  - overview 334
  - reprinting 351
  - setup 70
- draft processing (ITA)
  - overview 334
- draft remittance
  - formats (ESP) 389

- formats (ITA) 389
- France 390
- Draft Remittance File Format AEB 19 –
  - Spain program (R74S6729)
    - processing options 398
    - usage 389
- Draft Remittance File Format AEB 32 –
  - Spain program (R74S6722)
    - processing options 399
    - usage 389
- Draft Remittance File Format AEB 58 –
  - Spain program (R74S6728)
    - processing options 400
    - usage 389
- Draft Remittance program (R03B672)
  - Italian formats 389
  - usage 391
- drafts
  - formats (FRA) 391
- Dun & Bradstreet
  - 信用報告テーブル 547, 548
  - マッピング 549
- EDI, 参照: 電子データ交換 (EDI)
- EDI 入荷通知 (受信) の照会プログラム (P47110)
  - 処理オプション 461
  - 用途 459
- EFT, 参照: 電子資金決済 (EFT)
- electronic drafts (FRA)
  - draft remittance 391
  - référence tiré 390
- encashment
  - defined 226
  - factoring method 226
  - parent/child method 226
  - processing 226
  - reason code 226
- ESR payment slips 488
- Experian 信用報告テーブル 547, 548, 549
- Experian 信用報告テーブル プログラム (R03B920)
  - 処理オプション 554
  - 要件 548
  - 用途 547
- F0009 テーブル 9
- F0010 テーブル 9
- F00165 テーブル 118
- F007101 table 495
- F007111 table 495
- F03012A テーブル 54, 55
- F03012 テーブル 43, 54
- F03B08 テーブル 106
- F03B112 テーブル 292
- F03B11 テーブル 53, 58, 133
- F03B13 テーブル 213
- F03B14 テーブル 213
- F03B16S テーブル 578, 587
- F03B16 テーブル 578, 587
- F03B20 テーブル 501, 562
- F03B21 テーブル 501
- F03B28 テーブル 118
- F03B465 テーブル 624
- F03B571 テーブル 426
- F03B575 テーブル 426
- F03B57OW テーブル 426
- F0401 table 437
- F47111 テーブル 450, 459
- F47112 テーブル 450, 459
- F47113 テーブル 450, 459
- F47114 テーブル 450, 459
- F7430030 table 169
- F7430032 table 169
- F74412 テーブル 628
- F74S502 table 71, 347, 352
- F74S505 table 71, 347, 352
- F7603B11 table 655
- F7603B1 table 655
- F76A19 table 200
- F76A19Z1 table 200
- F76A60Z1 table 315
- factoring method for encashments 226
- Finland
  - calculating the Finnish reference number 39
  - printing invoices 497
  - processing automatic receipts 301
- Finnish reference number 39
- France
  - automatic debits format 435
  - bad debts 555
  - draft remittance 390
- Rapid Start
  - analyzing accounts receivable 592
  - business processes for accounts receivable 3
  - entering receipts 276
  - preconfigured processing options for AR Batch Draft Creation (R03B671) 415

- preconfigured processing options  
for AR Draft Collection – Final  
(R03B680) 419
- preconfigured processing options  
for AR Draft Remittance  
(R03B672) 417
- preconfigured processing options  
for AR Speed Status Update  
(P03B114) 277
- preconfigured processing options for  
AR Speed Status Update version  
(P03B114) 190
- preconfigured processing options for  
A/R to Account Balance by Acct  
ID Integrity (R03B707) 650
- preconfigured processing options for  
A/R to G/L by Batch Integrity –  
F03B11 (R03B701) 649
- preconfigured processing options for  
A/R to G/L Receipts by Batch  
Integrity (R890911BI) 649
- preconfigured processing options for  
Batches Out of Balance – AR Only  
(R007032) 649
- preconfigured processing options  
for Batch Header to Transaction  
(R007031) 646
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Cash Receipt  
Posting (R09801) 285
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Drafts Journal  
Review (P0011) 416
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Invoice Journal  
Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Receipts Journal  
Review (P0011) 285
- preconfigured processing options  
for Cash Receipt Posting  
(R09801) 483
- preconfigured processing options for  
Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for  
Credit Analysis Refresh – Update  
F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options  
for Default Invoice MBF  
(P03B0011) 188
- preconfigured processing options for  
Default Journal Entry MBF Options  
(P0900049) 188
- preconfigured processing options  
for Draft Entry Processing Option  
(P03B602) 412
- preconfigured processing options  
for Enter Customer Draft  
(P03B602) 420
- preconfigured processing options for  
Enter Deductions without Receipt  
(P03B2002) 479
- preconfigured processing options  
for Enter Deductions with Receipt  
(P03B102) 480
- preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187
- preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594
- preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544
- preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for  
Post AR Drafts (R09801) 416
- preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options  
for Print and Reprint A/R Invoices  
(R03B505) 191
- preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190

- preconfigured processing options
  - for Receipts Deposit Journal (R03B408) 285
- preconfigured processing options for Receipts Journal – Enter Batch Number/Batch Date (R03B311) 284
- preconfigured processing options for Review and Post Deduction Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options for Speed Receipts Entry (P03B0001) 283
- preconfigured processing options for Statement Notification Refresh (R03B500X) 541
- preconfigured processing options for Statement Print Program (R03B5001) 542
- preconfigured processing options for Statement Print with Drafts by Due Date (R03B500X) 410
- preconfigured processing options for Statement Print with Drafts (R03B506) 411
- preconfigured processing options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options for Statistics Annual Close (R03B161) 651
- preconfigured processing options for Text File Processor (P007101) 418
- preconfigured processing options for Update AR from Address Book (R03B802) 540
- processing accounts receivable
  - period end 645
- processing customer
  - deductions 478
- processing drafts 409
- processing invoices 185
- processing statements and managing
  - collections 538
- free goods invoices (ITA) 134
- General Resolution 3434 32
- German Bank File Format and Statement Diskette program (R03B575DD)
  - processing options 439
  - usage 435
- Germany
  - automatic debits format 435
  - encashments 226
- G/L offset transfer method to manage bad debt (FRA) 556
- Great Britain
  - automatic debits format 436
  - bank automated clearing system (BACS) 436
- Rapid Start
  - analyzing accounts receivable 592
  - business processes for accounts receivable 3
  - entering receipts 276
  - preconfigured processing options for AR Speed Status Update (P03B114) 277
  - preconfigured processing options for AR Speed Status Update version (P03B114) 190
  - preconfigured processing options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707) 650
  - preconfigured processing options for A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701) 649
  - preconfigured processing options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI) 649
  - preconfigured processing options for Batches Out of Balance – AR Only (R007032) 649
  - preconfigured processing options for Batch Header to Transaction (R007031) 646
  - preconfigured processing options for Batch Options for Invoice Journal Review (P0011) 190
  - preconfigured processing options for Batch Options for Receipts Journal Review (P0011) 285
  - preconfigured processing options for Cash Receipt Posting (R09801) 483
  - preconfigured processing options for Cash Receipt Post (R09801) 286

preconfigured processing options for  
Collection Report (R03B461) 545

preconfigured processing options for  
Credit Analysis Refresh – Update  
F03B15 Table (R03B525) 543

preconfigured processing options  
for Default Invoice MBF  
(P03B0011) 188

preconfigured processing options for  
Default Journal Entry MBF Options  
(P0900049) 188

preconfigured processing options  
for Delinquency Notice Print  
(R03B20) 547

preconfigured processing options  
for Delinquency Notices  
(R03B525) 545

preconfigured processing options for  
Enter Deductions without Receipt  
(P03B2002) 479

preconfigured processing options  
for Enter Deductions with Receipt  
(P03B102) 480

preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187

preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189

preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187

preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190

preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594

preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594

preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544

preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593

preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544

preconfigured processing options  
for Print and Reprint A/R Invoices  
(R03B505) 191

preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190

preconfigured processing options  
for Receipts Deposit Journal  
(R03B408) 285

preconfigured processing options for  
Receipts Entry (P03B102) 280

preconfigured processing options  
for Receipts Journal – Enter  
Batch Number/Batch Date  
(R03B311) 284

preconfigured processing options  
for Review and Post Deduction  
Batches (P0011) 482

preconfigured processing options for  
Review Statement (P03B202) 542

preconfigured processing options  
for Speed Receipts Entry  
(P03B0001) 283

preconfigured processing options  
for Statement Notification Refresh  
(R03B500X) 541

preconfigured processing options  
for Statement Print Program  
(R03B5001) 542

preconfigured processing options for  
Statistical Refresh – No DSO, No  
High Balance (R03B16) 545

preconfigured processing options  
for Statistics Annual Close  
(R03B161) 651

preconfigured processing options  
for Update AR from Address Book  
(R03B802) 540

processing accounts receivable  
period end 645

processing customer  
deductions 478

processing invoices 185

processing statements and managing  
collections 538

Great Britain Bank File and Statement  
Diskette program (R03B575GB)  
processing options 442  
usage 436

- GUI Interface File from A/R program (R75C03B1)
  - usage 39, 495
- invoice dates
  - Chile 152
- Invoice Group by Draft program (R03B5052)
  - processing options 348
  - usage 347
- Invoice Inquire on GUI Number program (P75C001) 495
- Invoice Print Sweden - 03B program (R74W0030)
  - processing options 498
  - usage 498
- invoice processing
  - Brazil 134
  - Chile 165
  - Italy 134
  - Peru 165
  - Poland 168
  - Russia 168
  - Venezuela 167
- Invoice Related Information program (P7430011) 168
- Invoice Related to CN/DN program (P7430015) 168
- invoices
  - adding additional information for Poland and Russia 168
  - Argentina 154, 160
  - reprinting for Poland and Russia 169
- IPI, 参照: 国際支払指示 (International Payment Instruction)
- IPI 付き請求書の印刷プログラム (R03B5053)
  - 処理オプション 492
  - データ選択 492
- Ireland
  - automatic debits format 436
- Ireland Domestic Debit Bank Format program (R03B575IE)
  - processing options 440
  - usage 436
- Italian Statement Print program (R03B5002) 503
- Italy
  - draft collection 406
  - draft processing 334
  - draft remittance formats 389
  - invoice processing 134
  - statement format 503
- JD Edwards EnterpriseOne アプリケーションの基礎 xxxi
- JinSui processing
  - downloading JinSui return files into EnterpriseOne system 495
  - updating GUI numbers 495
- legal numbers (ARG) 160
- Lot of Printing Date (P76H3B53)
  - processing options 153
- Maintenance of Stamp Fees program (P74S505) 71
- manual receipts processing
  - Argentina 227, 242
- matching versions for Accounts Receivable for China 39
- MMA Partners xxxii
- Netherlands
  - automatic debits format 436
- New Zealand
  - Rapid Start
    - analyzing accounts receivable 592
    - business processes for accounts receivable 3
    - entering receipts 276
    - preconfigured processing options for AR Speed Status Update (P03B114) 277
    - preconfigured processing options for AR Speed Status Update version (P03B114) 190
    - preconfigured processing options for AR Summary by Company with Currency (R03B413B) 595
    - preconfigured processing options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707) 650
    - preconfigured processing options for A/R to G/L by Batch Integrity - F03B11 (R03B701) 649
    - preconfigured processing options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI) 649
    - preconfigured processing options for Batches Out of Balance - AR Only (R007032) 649
    - preconfigured processing options for Batch Header to Transaction (R007031) 646



- preconfigured processing options for  
Batch Options for Cash Receipt  
Posting (R09801) 285
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Invoice Journal  
Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Receipts Journal  
Review (P0011) 285
- preconfigured processing options  
for Build Netting Report  
(R03B465) 596
- preconfigured processing options  
for Cash Receipt Posting  
(R09801) 483
- preconfigured processing options for  
Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for  
Credit Analysis Refresh – Update  
F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options  
for Default Invoice MBF  
(P03B0011) 188
- preconfigured processing options for  
Default Journal Entry MBF Options  
(P0900049) 188
- preconfigured processing options for  
Enter Deductions without Receipt  
(P03B2002) 479
- preconfigured processing options  
for Enter Deductions with Receipt  
(P03B102) 480
- preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187
- preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options for  
Netting Report (R03B466) 596
- preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594
- preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544
- preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options  
for Receipts Deposit Journal  
(R03B408) 285
- preconfigured processing options  
for Receipts Journal – Enter  
Batch Number/Batch Date  
(R03B311) 284
- preconfigured processing options  
for Review and Post Deduction  
Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for  
Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options  
for Speed Receipts Entry  
(P03B0001) 283
- preconfigured processing options  
for Statement Notification Refresh  
(R03B500X) 541
- preconfigured processing options  
for Statement Print Program  
(R03B5001) 542
- preconfigured processing options for  
Statistical Refresh – No DSO, No  
High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options  
for Statistics Annual Close  
(R03B161) 651
- preconfigured processing options  
for Unrealized Gain/Loss  
(R03B426) 651
- preconfigured processing options  
for Update AR from Address Book  
(R03B802) 540
- processing accounts receivable  
period end 645

- processing customer deductions 478
- processing invoices 185
- processing statements and managing collections 538
- Norway
  - printing invoices 497
  - processing automatic receipts 301
- NSF, 参照: 残高不足 (NSF)
- NSF (残高不足) 手形通知プログラム (R03B574)
  - 処理オプション 404
  - 用途 402
- P0000 プログラム 9
- P0100042 プログラム 46
- P03013 プログラム 47
  - 処理オプション 45
  - 用途 44
- P03B0001 プログラム
  - 処理オプション 260
  - 用途 209
- P03B0011 プログラム
  - 処理オプション 143
  - 用途 137
- P03B08 プログラム 105
- P03B102 プログラム
  - 処理オプション 233
  - 用途 209
- P03B114 プログラム
  - 処理オプション 182
  - 用途 179
- P03B11SI プログラム
  - 処理オプション 142
  - 用途 138
- P03B11Z1 プログラム
  - 処理オプション 196
  - 用途 194
- P03B11 プログラム
  - 処理オプション 142
  - 用途 135
- P03B120 プログラム 157
- P03B121 プログラム 325, 328, 329
- P03B151 プログラム 530
- P03B16 プログラム 583, 587
- P03B2002 プログラム
  - 概要 289
  - 処理オプション 295
  - 入金明細の検討 293
  - 用途 292
- P03B201 プログラム 568
- P03B202 プログラム 566
  - 処理オプション 511, 566
  - 用途 509, 510
- P03B218 プログラム 529, 532
- P03B22 プログラム
  - 処理オプション 574
  - 用途 574
- P03B2501 プログラム 110, 114
- P03B2801 プログラム 118
- P03B2901 プログラム 120, 121
- P03B30 プログラム 108
- P03B31 プログラム 524
- P03B40 プログラム 473
- P03B42 プログラム 30
- P03B455 プログラム
  - 処理オプション 612
  - 用途 609
- P03B52 プログラム 78
- P03B571 プログラム
  - 処理オプション 429
  - 用途 427
- P03B602 プログラム
  - 処理オプション 363
  - 用途 354
- P03B675 プログラム 392
- P0457D プログラム
  - 処理オプション 445
  - 用途 444
- P15103 プログラム 250
- P47110 プログラム
  - 処理オプション 461
  - 用途 459
- P7430011 program 168
- P7430015 program 168
- P7430031 program 169
- P7433B11 program
  - processing options 171
  - usage 169
- P74P9101 program
  - usage 170
- P74S505 program 71
- P75C001 program 495
- P760101A program 47
- P76A03B1 program 162
  - usage 161
- P76A103D program
  - processing options 241
  - usage 227
- P76H3B11 program
  - processing options 166

- usage 165
- PeopleBook
  - 注文 xxxii
- PeopleCode の表記規則 xxxiv
- perception codes setup (ARG) 39
- Perception Report -ARG - 03B program (R76A8050)
  - processing options 38
  - usage 37
- Peru
  - invoice processing 165
  - mapping fields for batch invoice processing 695
- PO Interest Invoice program (R76A03B2)
  - processing options 572
  - usage 572
- PO - Invoice Batch Processor - ARG - 03B program (R76A03BZ)
  - processing options 205
  - usage 200
- PO Invoice Entry (P03B11) - ARG - 03B program (P76A03B1) 162
  - usage 161
- PO Invoice Print program (R76A03B5)
  - processing options 490
  - usage 37
- Poland
  - AR Trial Balance report (R74P03B61) 735
  - invoice processing 168
- PO Receipt Entry program (P76A103D)
  - processing options 241
  - usage 227
- PO - Update Receipt Register from Electronic Input-AR - 03B program (R76A551D)
  - processing options 322
  - usage 315
- Print Draft (R1) by Receipt program (R74S521)
  - processing options 353
  - usage 351
- Print Draft (R1) by Receipt with Letter program (R74S520)
  - processing options 352
  - usage 351
- Print Drafts from Invoices program (R74S502)
  - processing options 350
  - usage 347
- Print Drafts from R1 by Efecto program (R74S522)
  - processing options 353
  - usage 351
- printing
  - drafts from R1 documents 351
- printing drafts
  - from R1 documents 351
  - from receipts 351
- printing invoices
  - Argentina 488
  - China 495
  - Denmark 497
  - Finland 497
  - Norway 497
  - Sweden 497
- Print Invoice program (R7430030) 173
- Print Receipt with Letter program (R74S500)
  - processing options 349
  - usage 347
- purge
  - invoices for Brazil 655
- Purge A/R Additional Information - Brazil program (R7603B11)
  - processing options 656
  - usage 655
- R00314 プログラム 72
  - 処理オプション 73
  - 用途 72
- R00522 プログラム 633
- R03012A プログラム
  - 処理オプション 57
  - データ選択とデータ順序 57
  - 用途 52, 53, 54
- R03012B プログラム
  - 処理オプション 57
  - 用途 54, 55
- R03B0041A プログラム
  - 処理オプション 331
  - 用途 330
- R03B11Z1A プログラム
  - 処理オプション 203
  - 用途 198
- R03B155 プログラム
  - 処理オプション 723
  - 用途 723
- R03B161 プログラム
  - 処理オプション 590
  - 用途 589

- R03B163 プログラム
  - 処理オプション 591
  - 用途 590
- R03B165 プログラム 724
- R03B166 プログラム 725
- R03B167 プログラム 725
- R03B168 プログラム 725
- R03B1691 プログラム 726
- R03B1692 プログラム 726
- R03B1693 プログラム 726
- R03B16A プログラム
  - 処理オプション 585
  - 用途 577, 578, 579
- R03B20 プログラム
  - 処理オプション 564
  - 用途 561
- R03B21 プログラム
  - 処理オプション 565
  - 用途 561
- R03B221 プログラム
  - 処理オプション 573
  - 用途 571
- R03B222 プログラム
  - 処理オプション 575
  - 用途 574
- R03B22 プログラム
  - 処理オプション 572
  - 用途 570
- R03B305 プログラム
  - 処理オプション 158
  - データ順序 158
  - データ選択 727
  - 用途 154, 726
- R03B311 プログラム
  - 処理オプション 728
  - データ順序 728
  - 用途 727
- R03B312 プログラム 524
- R03B31 プログラム
  - 処理オプション 525
  - 用途 524
- R03B408 プログラム
  - 処理オプション 729
  - 用途 729
- R03B413A プログラム
  - 集計オプション 729
  - 処理オプション 730
- R03B4201A プログラム
  - 処理オプション 731
  - 用途 731
- R03B4201B プログラム
  - 処理オプション 732
  - 用途 732
- R03B450 プログラム 624
- R03B461 プログラム
  - 処理オプション 535
  - 用途 535
- R03B4652 プログラム 624
- R03B465 プログラム
  - 処理オプション 625
  - 用途 624
- R03B466 プログラム
  - 処理オプション 626
  - 用途 625
- R03B5001JP プログラム
  - 処理オプション 513
  - 用途 503
- R03B5001 プログラム
  - 処理オプション 508
  - 用途 503
- R03B5002 プログラム 503
- R03B5003 プログラム 503
- R03B500X プログラム
  - 処理オプション 341, 504
  - データ選択とデータ順序 341
  - 用途 501
- R03B5010 プログラム
  - 処理オプション 515
  - 用途 514
- R03B5051 プログラム
  - 処理オプション 340
  - データ選択とデータ順序 340
  - 用途 339
- R03B5052 program
  - processing options 348
  - usage 347
- R03B5053 プログラム
  - 処理オプション 492
  - データ選択 492
- R03B505 program
  - usage 495
- R03B505 プログラム
  - 処理オプション 489
  - 用途 487
- R03B506 プログラム
  - 処理オプション 345
  - 用途 503
- R03B50A プログラム
  - 処理オプション 94
  - 用途 80

- R03B50B プログラム
  - 処理オプション 93
  - 用途 80
- R03B50D プログラム
  - 処理オプション 86
  - 用途 79
- R03B50E プログラム
  - 処理オプション 91
  - 用途 80
- R03B50F プログラム
  - 処理オプション 97
  - 用途 82
- R03B50 プログラム
  - 処理オプション 324
  - 用途 323
- R03B525 プログラム
  - 処理オプション 519
  - 用途 517, 559, 570
- R03B551 プログラム
  - 処理オプション 315
  - 用途 314
- R03B560 プログラム
  - 処理オプション 729
  - 用途 729
- R03B571 プログラム
  - 処理オプション 430
  - 用途 428
- R03B574 プログラム
  - 処理オプション 404
  - 用途 402
- R03B575AD1 program 435
- R03B575AD program
  - processing options 438
  - usage 435
- R03B575BD program
  - processing options 438
  - usage 435
- R03B575DD1 program 435
- R03B575DD program
  - processing options 439
  - usage 435
- R03B575DH program
  - processing options 440
  - usage 436
- R03B575FD program
  - processing options 439
  - usage 435
- R03B575GB program
  - processing options 442
  - usage 436
- R03B575IE program
  - processing options 440
  - usage 436
- R03B575SD program
  - processing options 441
  - usage 436
- R03B610 プログラム
  - 処理オプション 603
  - 用途 599, 600
- R03B671 プログラム
  - 処理オプション 375
  - データ順序 375
  - 用途 361
- R03B672IP program 389
- R03B672IR program
  - processing options 397
  - usage 389
- R03B672IT program
  - processing options 396
  - usage 389
- R03B672 program
  - usage 391
- R03B672 プログラム
  - 処理オプション 394
  - データ選択 393
  - 用途 392
- R03B680 プログラム
  - 処理オプション 406
- R03B701 プログラム
  - 残高不一致 636
  - 用途 636
- R03B707 プログラム
  - 残高不一致 639
  - 処理オプション 641
  - データ選択とデータ順序 643
  - 用途 638
- R03B800 プログラム
  - 処理オプション 655
  - 用途 653, 654
- R03B801 プログラム
  - 処理オプション 655
  - 用途 653, 656
- R03B802 プログラム
  - 処理オプション 291
  - 用途 54, 291
- R03B803 program
  - processing options 313
  - usage 312, 489
- R03B8101 プログラム
  - 処理オプション 160

- 用途 155
- R03B920C プログラム
  - 処理オプション 555
  - 要件 548
  - 用途 547
- R03B920 プログラム
  - 処理オプション 554
  - 要件 548
  - 用途 547
- R09801 プログラム
  - 請求書処理の概要 174
  - 入金処理概要 268
- R47111 プログラム
  - 処理オプション 458
  - 用途 457
- R7403B001 プログラム
  - 処理オプション 632
  - 用途 628
- R7404001 プログラム
  - 処理オプション 631
  - 用途 628
- R7404002 プログラム
  - 処理オプション 632
  - 用途 630
- R7430030 program 173
- R74M001 program
  - processing options 302
  - usage 301
- R74O001 program
  - processing options 306
  - usage 306
- R74P03B61 program
  - processing options 736
  - usage 735
- R74R3010 program
  - processing options 499
  - usage 499
- R74R5005 report
  - processing options 737
  - usage 737
- R74S500 program
  - processing options 349
  - usage 347
- R74S502 program
  - processing options 350
  - usage 347
- R74S520 program
  - processing options 352
  - usage 351
- R74S521 program
  - processing options 353
  - usage 351
- R74S522 program
  - processing options 353
  - usage 351
- R74S540 report
  - processing options 738
  - usage 738
- R74S6722 program
  - processing options 399
  - usage 389
- R74S6728 program
  - processing options 400
  - usage 389
- R74S6729 program
  - processing options 398
  - usage 389
- R74V001 program
  - processing options 304
  - usage 303
- R74W0010 program
  - processing options 311
  - usage 310
- R74W001 program
  - processing options 308
  - usage 308
- R74W002 program
  - processing options 308
  - usage 308
- R74W0030 program
  - processing options 498
  - usage 498
- R74W003 program
  - processing options 308
  - usage 308
- R75C01Z2 program 495
- R75C03B1 program
  - processing options 496
  - usage 39, 495
- R75C09Z1 program
  - processing options 497
  - usage 497
- R7603B11 program
  - processing options 656
  - usage 655
- R76A0024 program 738
- R76A03B2 program
  - processing options 572
  - usage 572
- R76A03B5 program

- processing options 490
- usage 37
- R76A03BZ program
  - processing options 205
  - usage 200
- R76A551D program
  - processing options 322
  - usage 315
- R76A8050 program
  - processing options 38
  - usage 37
- R890911BI プログラム
  - 処理オプション 644
  - 用途 643
- Rapid Start
  - Australia
    - analyzing accounts receivable 592
    - business processes for accounts receivable 3
    - entering receipts 276
    - preconfigured processing options for AR Speed Status Update (P03B114) 277
    - preconfigured processing options for AR Speed Status Update version (P03B114) 190
    - preconfigured processing options for AR Summary by Company with Currency (R03B413B) 595
    - preconfigured processing options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707) 650
    - preconfigured processing options for A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701) 649
    - preconfigured processing options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI) 649
    - preconfigured processing options for Batches Out of Balance – AR Only (R007032) 649
    - preconfigured processing options for Batch Header to Transaction (R007031) 646
    - preconfigured processing options for Batch Options for Cash Receipt Posting (R09801) 285
    - preconfigured processing options for Batch Options for Invoice Journal Review (P0011) 190
    - preconfigured processing options for Batch Options for Receipts Journal Review (P0011) 285
    - preconfigured processing options for Build Netting Report (R03B465) 596
    - preconfigured processing options for Cash Receipt Posting (R09801) 483
    - preconfigured processing options for Collection Report (R03B461) 545
    - preconfigured processing options for Credit Analysis Refresh – Update F03B15 Table (R03B525) 543
    - preconfigured processing options for Default Invoice MBF (P03B0011) 188
    - preconfigured processing options for Default Journal Entry MBF Options (P0900049) 188
    - preconfigured processing options for Enter Deductions without Receipt (P03B2002) 479
    - preconfigured processing options for Enter Deductions with Receipt (P03B102) 480
    - preconfigured processing options for Enter, Review, and Revise Invoices (P03B2002) 187
    - preconfigured processing options for Enter Speed Invoices (P03B11SI) 189
    - preconfigured processing options for Invoice Entry (P03B11) 187
    - preconfigured processing options for Invoice Journal – Batch# or Batch Date (R03B305) 190
    - preconfigured processing options for Netting Report (R03B466) 596
    - preconfigured processing options for Open A/R Details with Aging (R03B4201B) 594
    - preconfigured processing options for Open A/R Details with Remarks (R03B4201A) 594
    - preconfigured processing options for Open A/R Summary Analysis (R03B155) 544

- preconfigured processing options for
  - Open A/R Summary with Aging – Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options for Process Recurring Invoices – All Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options for Receipts Deposit Journal (R03B408) 285
- preconfigured processing options for Receipts Journal – Enter Batch Number/Batch Date (R03B311) 284
- preconfigured processing options for Review and Post Deduction Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options for Speed Receipts Entry (P03B0001) 283
- preconfigured processing options for Statement Notification Refresh (R03B500X) 541
- preconfigured processing options for Statement Print Program (R03B5001) 542
- preconfigured processing options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options for Statistics Annual Close (R03B161) 651
- preconfigured processing options for Unrealized Gain/Loss (R03B426) 651
- preconfigured processing options for Update AR from Address Book (R03B802) 540
- processing accounts receivable
  - period end 645
- processing customer
  - deductions 478
- processing invoices 185
- processing statements and managing collections 538
- Canada
  - analyzing accounts receivable 592
- business processes for accounts
  - receivable 3
- entering receipts 276
- preconfigured processing options for AR Speed Status Update (P03B114) 277
- preconfigured processing options for AR Speed Status Update version (P03B114) 190
- preconfigured processing options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707) 650
- preconfigured processing options for A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701) 649
- preconfigured processing options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI) 649
- preconfigured processing options for Batches Out of Balance – AR Only (R007032) 649
- preconfigured processing options for Batch Header to Transaction (R007031) 646
- preconfigured processing options for Batch Options for Cash Receipt Posting (R09801) 285
- preconfigured processing options for Batch Options for Invoice Journal Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for Batch Options for Receipts Journal Review (P0011) 285
- preconfigured processing options for Cash Receipt Posting (R09801) 483
- preconfigured processing options for Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for Credit Analysis Refresh – Update F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options for Default Invoice MBF (P03B0011) 188
- preconfigured processing options for Default Journal Entry MBF Options (P0900049) 188
- preconfigured processing options for Enter Deductions without Receipt (P03B2002) 479



- preconfigured processing options
  - for Enter Deductions with Receipt (P03B102) 480
- preconfigured processing options for Enter, Review, and Revise Invoices (P03B2002) 187
- preconfigured processing options
  - for Enter Speed Invoices (P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for Invoice Journal – Batch# or Batch Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options
  - for Open A/R Details with Aging (R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for Open A/R Details with Remarks (R03B4201A) 594
- preconfigured processing options
  - for Open A/R Summary Analysis (R03B155) 544
- preconfigured processing options for Open A/R Summary with Aging – Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options
  - for Print and Reprint A/R Invoices (R03B505) 191
- preconfigured processing options for Print A/R Invoices (R03B505) 191
- preconfigured processing options for Process Recurring Invoices – All Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options
  - for Receipts Deposit Journal (R03B408) 285
- preconfigured processing options
  - for Receipts Journal – Enter Batch Number/Batch Date (R03B311) 284
- preconfigured processing options
  - for Review and Post Deduction Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options
  - for Speed Receipts Entry (P03B0001) 283
- preconfigured processing options
  - for Standard Receipts Entry (P03B102) 277
- preconfigured processing options
  - for Statement Notification Refresh (R03B500X) 541
- preconfigured processing options
  - for Statement Print Program (R03B5001) 542
- preconfigured processing options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options
  - for Statistics Annual Close (R03B161) 651
- preconfigured processing options
  - for Transaction to Batch Header (R007021) 647
- preconfigured processing options
  - for Update AR from Address Book (R03B802) 540
- processing accounts receivable
  - period end 645
- processing customer
  - deductions 478
- processing invoices 185
- processing statements and managing collections 538
- France
  - analyzing accounts receivable 592
  - business processes for accounts receivable 3
  - entering receipts 276
  - preconfigured processing options
    - for AR Batch Draft Creation (R03B671) 415
  - preconfigured processing options
    - for AR Draft Collection – Final (R03B680) 419
  - preconfigured processing options
    - for AR Draft Remittance (R03B672) 417
  - preconfigured processing options
    - for AR Speed Status Update (P03B114) 277

- preconfigured processing options for  
AR Speed Status Update version  
(P03B114) 190
- preconfigured processing options for  
A/R to Account Balance by Acct  
ID Integrity (R03B707) 650
- preconfigured processing options for  
A/R to G/L by Batch Integrity –  
F03B11 (R03B701) 649
- preconfigured processing options for  
A/R to G/L Receipts by Batch  
Integrity (R890911BI) 649
- preconfigured processing options for  
Batches Out of Balance – AR Only  
(R007032) 649
- preconfigured processing options  
for Batch Header to Transaction  
(R007031) 646
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Cash Receipt  
Posting (R09801) 285
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Drafts Journal  
Review (P0011) 416
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Invoice Journal  
Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Receipts Journal  
Review (P0011) 285
- preconfigured processing options  
for Cash Receipt Posting  
(R09801) 483
- preconfigured processing options for  
Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for  
Credit Analysis Refresh – Update  
F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options  
for Default Invoice MBF  
(P03B0011) 188
- preconfigured processing options for  
Default Journal Entry MBF Options  
(P0900049) 188
- preconfigured processing options  
for Draft Entry Processing Option  
(P03B602) 412
- preconfigured processing options  
for Enter Customer Draft  
(P03B602) 420
- preconfigured processing options for  
Enter Deductions without Receipt  
(P03B2002) 479
- preconfigured processing options  
for Enter Deductions with Receipt  
(P03B102) 480
- preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187
- preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594
- preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544
- preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for  
Post AR Drafts (R09801) 416
- preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options  
for Print and Reprint A/R Invoices  
(R03B505) 191
- preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options  
for Receipts Deposit Journal  
(R03B408) 285
- preconfigured processing options  
for Receipts Journal – Enter  
Batch Number/Batch Date  
(R03B311) 284
- preconfigured processing options  
for Review and Post Deduction  
Batches (P0011) 482

- preconfigured processing options for Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options for Speed Receipts Entry (P03B0001) 283
- preconfigured processing options for Statement Notification Refresh (R03B500X) 541
- preconfigured processing options for Statement Print Program (R03B5001) 542
- preconfigured processing options for Statement Print with Drafts by Due Date (R03B500X) 410
- preconfigured processing options for Statement Print with Drafts (R03B506) 411
- preconfigured processing options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options for Statistics Annual Close (R03B161) 651
- preconfigured processing options for Text File Processor (P007101) 418
- preconfigured processing options for Update AR from Address Book (R03B802) 540
- processing accounts receivable period end 645
- processing customer deductions 478
- processing drafts 409
- processing invoices 185
- processing statements and managing collections 538
- Great Britain
  - analyzing accounts receivable 592
  - business processes for accounts receivable 3
  - entering receipts 276
  - preconfigured processing options for AR Speed Status Update (P03B114) 277
  - preconfigured processing options for AR Speed Status Update version (P03B114) 190
- preconfigured processing options for A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707) 650
- preconfigured processing options for A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701) 649
- preconfigured processing options for A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI) 649
- preconfigured processing options for Batches Out of Balance – AR Only (R007032) 649
- preconfigured processing options for Batch Header to Transaction (R007031) 646
- preconfigured processing options for Batch Options for Invoice Journal Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for Batch Options for Receipts Journal Review (P0011) 285
- preconfigured processing options for Cash Receipt Posting (R09801) 483
- preconfigured processing options for Cash Receipt Post (R09801) 286
- preconfigured processing options for Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for Credit Analysis Refresh – Update F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options for Default Invoice MBF (P03B0011) 188
- preconfigured processing options for Default Journal Entry MBF Options (P0900049) 188
- preconfigured processing options for Delinquency Notice Print (R03B20) 547
- preconfigured processing options for Delinquency Notices (R03B525) 545
- preconfigured processing options for Enter Deductions without Receipt (P03B2002) 479
- preconfigured processing options for Enter Deductions with Receipt (P03B102) 480

- preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187
- preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594
- preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544
- preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options  
for Print and Reprint A/R Invoices  
(R03B505) 191
- preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options  
for Receipts Deposit Journal  
(R03B408) 285
- preconfigured processing options for  
Receipts Entry (P03B102) 280
- preconfigured processing options  
for Receipts Journal – Enter  
Batch Number/Batch Date  
(R03B311) 284
- preconfigured processing options  
for Review and Post Deduction  
Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for  
Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options  
for Speed Receipts Entry  
(P03B0001) 283
- preconfigured processing options  
for Statement Notification Refresh  
(R03B500X) 541
- preconfigured processing options  
for Statement Print Program  
(R03B5001) 542
- preconfigured processing options for  
Statistical Refresh – No DSO, No  
High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options  
for Statistics Annual Close  
(R03B161) 651
- preconfigured processing options  
for Update AR from Address Book  
(R03B802) 540
- processing accounts receivable  
period end 645
- processing customer  
deductions 478
- processing invoices 185
- processing statements and managing  
collections 538
- New Zealand
  - analyzing accounts receivable 592
  - business processes for accounts  
receivable 3
  - entering receipts 276
  - preconfigured processing options  
for AR Speed Status Update  
(P03B114) 277
  - preconfigured processing options for  
AR Speed Status Update version  
(P03B114) 190
  - preconfigured processing options  
for AR Summary by Company with  
Currency (R03B413B) 595
  - preconfigured processing options for  
A/R to Account Balance by Acct  
ID Integrity (R03B707) 650
  - preconfigured processing options for  
A/R to G/L by Batch Integrity –  
F03B11 (R03B701) 649
  - preconfigured processing options for  
A/R to G/L Receipts by Batch  
Integrity (R890911BI) 649
  - preconfigured processing options for  
Batches Out of Balance – AR Only  
(R007032) 649

- preconfigured processing options  
for Batch Header to Transaction  
(R007031) 646
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Cash Receipt  
Posting (R09801) 285
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Invoice Journal  
Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Receipts Journal  
Review (P0011) 285
- preconfigured processing options  
for Build Netting Report  
(R03B465) 596
- preconfigured processing options  
for Cash Receipt Posting  
(R09801) 483
- preconfigured processing options for  
Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for  
Credit Analysis Refresh – Update  
F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options  
for Default Invoice MBF  
(P03B0011) 188
- preconfigured processing options for  
Default Journal Entry MBF Options  
(P0900049) 188
- preconfigured processing options for  
Enter Deductions without Receipt  
(P03B2002) 479
- preconfigured processing options  
for Enter Deductions with Receipt  
(P03B102) 480
- preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187
- preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options for  
Netting Report (R03B466) 596
- preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594
- preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544
- preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options  
for Receipts Deposit Journal  
(R03B408) 285
- preconfigured processing options  
for Receipts Journal – Enter  
Batch Number/Batch Date  
(R03B311) 284
- preconfigured processing options  
for Review and Post Deduction  
Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for  
Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options  
for Speed Receipts Entry  
(P03B0001) 283
- preconfigured processing options  
for Statement Notification Refresh  
(R03B500X) 541
- preconfigured processing options  
for Statement Print Program  
(R03B5001) 542
- preconfigured processing options for  
Statistical Refresh – No DSO, No  
High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options  
for Statistics Annual Close  
(R03B161) 651
- preconfigured processing options  
for Unrealized Gain/Loss  
(R03B426) 651
- preconfigured processing options  
for Update AR from Address Book  
(R03B802) 540

- processing accounts receivable
  - period end 645
- processing customer
  - deductions 478
- processing invoices 185
- processing statements and managing
  - collections 538
- United States
  - analyzing accounts receivable 592
  - business processes for accounts
    - receivable 3
  - entering receipts 276
  - preconfigured processing options
    - for AR Speed Status Update (P03B114) 277
  - preconfigured processing options for
    - AR Speed Status Update version (P03B114) 190
  - preconfigured processing options for
    - A/R to Account Balance by Acct ID Integrity (R03B707) 650
  - preconfigured processing options for
    - A/R to G/L by Batch Integrity – F03B11 (R03B701) 649
  - preconfigured processing options for
    - A/R to G/L Receipts by Batch Integrity (R890911BI) 649
  - preconfigured processing options for
    - Batches Out of Balance – AR Only (R007032) 649
  - preconfigured processing options
    - for Batch Header to Transaction (R007031) 646
  - preconfigured processing options for
    - Batch Options for Cash Receipt Posting (R09801) 285
  - preconfigured processing options for
    - Batch Options for Invoice Journal Review (P0011) 190
  - preconfigured processing options for
    - Batch Options for Receipts Journal Review (P0011) 285
  - preconfigured processing options
    - for Cash Receipt Posting (R09801) 483
  - preconfigured processing options for
    - Collection Report (R03B461) 545
  - preconfigured processing options for
    - Credit Analysis Refresh – Update F03B15 Table (R03B525) 543
  - preconfigured processing options
    - for Default Invoice MBF (P03B0011) 188
  - preconfigured processing options for
    - Default Journal Entry MBF Options (P0900049) 188
  - preconfigured processing options for
    - Enter Deductions without Receipt (P03B2002) 479
  - preconfigured processing options
    - for Enter Deductions with Receipt (P03B102) 480
  - preconfigured processing options for
    - Enter, Review, and Revise Invoices (P03B2002) 187
  - preconfigured processing options
    - for Enter Speed Invoices (P03B11SI) 189
  - preconfigured processing options for
    - Invoice Entry (P03B11) 187
  - preconfigured processing options for
    - Invoice Journal – Batch# or Batch Date (R03B305) 190
  - preconfigured processing options
    - for Open A/R Details with Aging (R03B4201B) 594
  - preconfigured processing options for
    - Open A/R Details with Remarks (R03B4201A) 594
  - preconfigured processing options
    - for Open A/R Summary Analysis (R03B155) 544
  - preconfigured processing options for
    - Open A/R Summary with Aging – Company 00001 (R03B413A) 593
  - preconfigured processing options for
    - Print Activity Log (R03B31) 544
  - preconfigured processing options
    - for Print and Reprint A/R Invoices (R03B505) 191
  - preconfigured processing options for
    - Print A/R Invoices (R03B505) 191
  - preconfigured processing options for
    - Process Recurring Invoices – All Frequencies (R03B8101) 190
  - preconfigured processing options
    - for Receipts Deposit Journal (R03B408) 285
  - preconfigured processing options
    - for Receipts Journal – Enter

- Batch Number/Batch Date (R03B311) 284
- preconfigured processing options for Review and Post Deduction Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options for Speed Receipts Entry (P03B0001) 283
- preconfigured processing options for Standard Receipts Entry (P03B102) 277
- preconfigured processing options for Statement Notification Refresh (R03B500X) 541
- preconfigured processing options for Statement Print Program (R03B5001) 542
- preconfigured processing options for Statistical Refresh – No DSO, No High Balance (R03B16) 545
- preconfigured processing options for Statistics Annual Close (R03B161) 651
- preconfigured processing options for Transaction to Batch Header (R007021) 647
- preconfigured processing options for Update AR from Address Book (R03B802) 540
- processing accounts receivable period end 645
- processing customer deductions 478
- processing invoices 185
- processing statements and managing collections 538
- receipts
  - Argentina 242
- record type \$C 35
- réf  rence tir   390
- related credit notes
  - Argentina 160
- remitting drafts
  - formats (ESP) 389
  - formats (FRA) 391
  - formats (ITA) 389
- Reprint Invoice program (P7430031) 169
- Russia
  - amount difference invoices 499
  - Cash Receipt Note Report (R74R5005) 737
  - invoice processing 168
  - setting up
    - ESR payment slips (CHE) 39
    - invoice print (CHN) 39
    - perception certificate print (ARG) 37
    - print invoices (ARG) 32
    - shipment notes (ARG) 32
  - shipment notes setup (ARG) 32
  - Spain
    - draft origination 346
    - draft processing setup 66
    - draft process overview 334
    - draft remittance formats 389
    - draft stamps setup 70
    - reprint drafts 351
  - Stamp Fees Report (R74S540)
    - processing options 738
    - usage 738
  - statements
    - formats
      - Italy 503
  - summarized account information review (ARG) 297
  - Sweden
    - printing invoices 497
    - processing automatic receipts 301
  - Switzerland
    - automatic debits format 436
    - ESR payment slips 488
    - setup ESR payment slips 39
    - user-defined codes (UDCs) 21
  - system setup
    - matching versions for Accounts Receivable for China 39
  - tax categories (ARG) 38
  - UDC, 参照: ユーザー定義コード (UDC)
  - United Kingdom, 参照: Great Britain
  - United States
    - Rapid Start
      - analyzing accounts receivable 592
      - business processes for accounts receivable 3
      - entering receipts 276
      - preconfigured processing options for AR Speed Status Update (P03B114) 277

- preconfigured processing options for  
AR Speed Status Update version  
(P03B114) 190
- preconfigured processing options for  
A/R to Account Balance by Acct  
ID Integrity (R03B707) 650
- preconfigured processing options for  
A/R to G/L by Batch Integrity –  
F03B11 (R03B701) 649
- preconfigured processing options for  
A/R to G/L Receipts by Batch  
Integrity (R890911BI) 649
- preconfigured processing options for  
Batches Out of Balance – AR Only  
(R007032) 649
- preconfigured processing options  
for Batch Header to Transaction  
(R007031) 646
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Cash Receipt  
Posting (R09801) 285
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Invoice Journal  
Review (P0011) 190
- preconfigured processing options for  
Batch Options for Receipts Journal  
Review (P0011) 285
- preconfigured processing options  
for Cash Receipt Posting  
(R09801) 483
- preconfigured processing options for  
Collection Report (R03B461) 545
- preconfigured processing options for  
Credit Analysis Refresh – Update  
F03B15 Table (R03B525) 543
- preconfigured processing options  
for Default Invoice MBF  
(P03B0011) 188
- preconfigured processing options for  
Default Journal Entry MBF Options  
(P0900049) 188
- preconfigured processing options for  
Enter Deductions without Receipt  
(P03B2002) 479
- preconfigured processing options  
for Enter Deductions with Receipt  
(P03B102) 480
- preconfigured processing options for  
Enter, Review, and Revise Invoices  
(P03B2002) 187
- preconfigured processing options  
for Enter Speed Invoices  
(P03B11SI) 189
- preconfigured processing options for  
Invoice Entry (P03B11) 187
- preconfigured processing options for  
Invoice Journal – Batch# or Batch  
Date (R03B305) 190
- preconfigured processing options  
for Open A/R Details with Aging  
(R03B4201B) 594
- preconfigured processing options for  
Open A/R Details with Remarks  
(R03B4201A) 594
- preconfigured processing options  
for Open A/R Summary Analysis  
(R03B155) 544
- preconfigured processing options for  
Open A/R Summary with Aging –  
Company 00001 (R03B413A) 593
- preconfigured processing options for  
Print Activity Log (R03B31) 544
- preconfigured processing options  
for Print and Reprint A/R Invoices  
(R03B505) 191
- preconfigured processing options for  
Print A/R Invoices (R03B505) 191
- preconfigured processing options for  
Process Recurring Invoices – All  
Frequencies (R03B8101) 190
- preconfigured processing options  
for Receipts Deposit Journal  
(R03B408) 285
- preconfigured processing options  
for Receipts Journal – Enter  
Batch Number/Batch Date  
(R03B311) 284
- preconfigured processing options  
for Review and Post Deduction  
Batches (P0011) 482
- preconfigured processing options for  
Review Statement (P03B202) 542
- preconfigured processing options  
for Speed Receipts Entry  
(P03B0001) 283
- preconfigured processing options  
for Standard Receipts Entry  
(P03B102) 277



preconfigured processing options  
   for Statement Notification Refresh  
   (R03B500X) 541  
 preconfigured processing options  
   for Statement Print Program  
   (R03B5001) 542  
 preconfigured processing options for  
   Statistical Refresh – No DSO, No  
   High Balance (R03B16) 545  
 preconfigured processing options  
   for Statistics Annual Close  
   (R03B161) 651  
 preconfigured processing options  
   for Transaction to Batch Header  
   (R007021) 647  
 preconfigured processing options  
   for Update AR from Address Book  
   (R03B802) 540  
 processing accounts receivable  
   period end 645  
 processing customer  
   deductions 478  
 processing invoices 185  
 processing statements and managing  
   collections 538  
 Upload ESR Payments program (R03B803)  
   processing options 313  
   usage 312, 489  
 user-defined codes (UDCs)  
   03/AR 226  
   03B/DP 66  
   03B/UP 21  
   76A/BK 65  
   76A/CI 38  
   76A/CL 65  
   76A/CR 38  
   76A/PE 39  
 Venezuela  
   assigning control numbers to  
   invoices 168  
   processing invoices 167

## あ

アプリケーションの基礎 xxxi  
 アルゴリズム  
   既知請求書照合 – 金額あり  
   (R03B50D) 79  
   既知請求書照合 – 金額なし  
   (R03B50E) 80

組合せ請求書照合プログラム  
   (R03B50F) 82  
 残高繰越照合 (R03B50B) 80  
 実行リストでの定義 99  
 請求書選択照合プログラム  
   (R03B50A) 80  
 定義 78

## い

印刷・製本されたドキュメンテーション xxxii

## う

売掛/買掛の相殺, 参照: 売掛金/買掛  
 金相殺  
 売掛管理固定情報  
   会社制御 10  
   概要 9  
   拡張固定情報  
     業種別処理 9  
     有効日付カテゴリ コード 9  
   システム固定情報 10  
   設定 9  
 売掛管理システム制御  
   設定 12  
 売掛管理の設定, 参照: システム設定  
 売掛管理レポートの印刷 719  
 売掛金/買掛金相殺  
   売掛金相殺 615  
   買掛金相殺 617  
   会計入力の例 610  
   概要 607  
   相殺伝票の確認 619  
   相殺取引の改訂、削除、無効化 618  
   ソース伝票、振替伝票、結果伝票に  
   ついて 608  
 売掛金/買掛金の相殺プログラム  
   (R03B450) 624  
 売掛金相殺ファイルの再作成  
   (R03B4651) 624  
 売掛金元帳 – 勘定残高 (略式 ID 別) プ  
 ログラム (R03B707)  
   残高不一致 639  
   処理オプション 641  
   データ選択とデータ順序 643  
   用途 638  
 売掛金元帳照会プログラム (P03B2002)  
   概要 289  
   処理オプション 295

請求書改訂履歴の検討 292  
 請求書明細の検討 296  
 入金明細の検討 293, 297  
 用途 292  
 売掛金元帳 - 総勘定元帳入金プログラム (R890911BI)  
   残高不一致 643  
   処理オプション 644  
   用途 643  
 売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別) プログラム (R03B701)  
   残高不一致 636  
   用途 636

## え

延滞通知  
   延滞通知指示の設定 115  
   概要 559  
   検討 566  
   再印刷 569  
   承認 568  
   除去 514  
   方針の設定 110  
   レターテキストの設定 118  
 延滞通知の印刷 559, 569  
 延滞通知の印刷プログラム (R03B20)  
   処理オプション 564  
   用途 561  
 延滞通知の検討プログラム (P03B202) 566  
 延滞通知の承認 568  
 延滞通知の承認プログラム (P03B201) 568  
 延滞通知プログラム (P03B202)  
   処理オプション 566  
 延滞通知レターテキストプログラム (P03B2801) 118  
 延滞方針の設定 110  
 延滞方針の定義プログラム (P03B2501) 110, 114, 115  
 延滞利息金  
   延滞利息金指示の設定 114  
   削除 574  
   作成 570  
   自動仕訳 (AAI) 29  
   承認、却下、検討 574  
   方針の設定 110  
 延滞利息金の却下 574  
 延滞利息金の検討プログラム (P03B22)  
   処理オプション 574

用途 574  
 延滞利息金の承認 574  
 延滞利息金の除去プログラム (R03B222)  
   処理オプション 575  
   用途 574  
 延滞利息金プログラム (R03B221)  
   処理オプション 573  
   用途 571  
 延滞利息金明細プログラム (R03B22)  
   処理オプション 572  
   用途 570

## お

親/子勘定残高 530, 531  
 親/子残高照会プログラム (P03B151) 530

## か

買掛金相殺ファイルの再作成 (R03B4652) 624  
 会社の年齢調べ設定 13  
 回収管理者 UDC (01/CM) 18  
 回収理由コード 19  
 回収レポート プログラム (R03B461)  
   処理オプション 535  
   用途 535  
 階層化延滞通知の印刷プログラム (R03B21)  
   処理オプション 565  
   用途 561  
 改訂  
   仮入金 267  
   実行リスト 99  
   自動入金 325  
   請求書  
     定期 159  
     転記済み 181  
     未転記 180  
   手形 361  
   手形明細 392  
   入金 266  
   バッチ請求書 194  
   与信情報 536  
 鑑請求書 (JPN) 512  
   印刷 513  
   入金タイプ設定 23  
 鑑請求書の印刷 513  
 鑑請求書プログラム (R03B5001JP)  
   処理オプション 513

用途 503  
 カスタマ セルフサービス 290  
 活動コード  
   活動コードの追加 109  
   損金処理用 30  
   損金への適用 476  
   追加 108  
 活動タイプ コードの追加 109  
 活動ログの印刷プログラム (R03B31)  
   処理オプション 525  
   用途 524  
 カテゴリ コード  
   顧客マスター 52  
   有効日 53  
 仮入金  
   改訂 267  
   仮入金 (入力タイプ コード 3) の入  
   力 265  
   顧客への割り当て 265  
 仮入金 (入力タイプ コード 3) の追  
 加 265  
 管理者承認 10  
 関連ドキュメンテーション xxxii

## き

期間パターン  
   与信/回収のための設定 106  
 基準日機能 292  
 既知請求書照合 - 金額あり (R03B50D)  
   処理オプション 86  
   用途 79  
 既知請求書照合 - 金額なし (R03B50E)  
   処理オプション 91  
   用途 80  
 業種別処理  
   概要 9  
   設定 11  
 共通フィールド xxxvi  
 銀行口座例外プログラム (R00314) 72  
   処理オプション 73  
   用途 72  
 銀行ファイルのフロッピー ディスクへのコ  
 ピー プログラム (P0457D)  
   処理オプション 445  
   用途 444  
 銀行への自動引落としバッチの転送 444

## く

組合せ請求書照合の例 82

組合せ請求書照合プログラム (R03B50F)  
   処理オプション 97  
   用途 82  
 繰越残高入金 (入力タイプ コード 2) 264  
 クレジット カード計算書の印刷プログラ  
 ム (R03B5003) 503  
 クレジット メモ  
   請求書の消込 248  
   損金への適用 474, 477  
   入力 138, 150  
 クレジット メモの入力 150

## け

警告 xxxv  
 計算書  
   印刷 (手形あり) 339, 341  
   印刷プログラム 504  
   検討 509, 511  
   再印刷 512  
   再設定 510, 512  
   作成 502  
   除去 514  
   処理の概要 501  
   日本 512  
   フォーマット  
     クレジットカード 503  
     日本 503  
   レター テキストの設定 118  
 計算書/延滞通知の除去プログラム  
 (R03B5010)  
   処理オプション 515  
   用途 514  
 計算書データの再作成 (R03B500X)  
   処理オプション 341, 504  
   データ選択とデータ順序 341  
   用途 501  
 計算書の印刷 (手形あり) プログラム  
 (R03B506)  
   処理オプション 345  
   用途 503  
 計算書の印刷プログラム (R03B5001)  
   処理オプション 508  
   用途 503  
 計算書の検討プログラム (P03B202)  
   処理オプション 511  
   用途 509, 510  
 計算書の再設定 510, 512  
 計算書の処理の印刷プログラム 504  
 検討  
   延滞通知 566

延滞利息金 574  
 親/子勘定残高 530, 531  
 計算書 509, 511  
 顧客勘定情報 526, 528  
 顧客勘定 ([取引状況集計] を使  
 用) 527, 529  
 再請求、損金、未充当入金、手形請求  
 書レコード 293  
 請求書 180  
 請求書明細 296  
 定期請求書 154  
 統計情報 588  
 入金入力結果 297  
 与信/回収情報 524

## こ

ご意見 xxxvi  
 更新手形 402  
 顧客カテゴリ コード  
   住所録からの自動更新 52  
   手動追加 52  
   割り当て 52  
 顧客からの自動資金回収 425  
 顧客勘定  
   オンラインの検討 289  
   関連項目: 売掛金元帳照会プログラ  
   ム (P03B2002)  
   管理 524  
   検討 526, 528  
   処理 532, 534  
 顧客勘定取引活動  
   検討と削除 525  
   追加 108, 526  
 顧客勘定取引活動ログの除去プログラ  
 ム (R03B312) 524  
 顧客勘定の取引活動ログ プログラム  
 (P03B31) 524  
   取引活動の検討 525  
   取引活動の追加 526  
 顧客残高照会プログラム  
 (P03B218) 529, 532  
   概要 526  
 顧客残高の自動生成プログラム  
 (R7403B001)  
   処理オプション 632  
   用途 628  
 顧客/仕入先残高レポート プログラム  
 (R7404002)  
   処理オプション 632  
   用途 630

顧客統計, 参照: 統計情報  
 顧客に割り当てられた延滞方針 129  
 顧客の追加 47  
 顧客の統計の更新 577  
 顧客分析のための統計, 参照: 統計情報  
 顧客への実行リストの割り当て 101  
 顧客への払戻し処理 599, 600  
 顧客への与信/回収情報の割り当  
 て 124  
 顧客マスター MBF 処理オプション プロ  
 グラム (P0100042) 46  
 顧客マスター情報 43  
   関連項目: 顧客レコード  
   概要 43  
 顧客マスター情報プログラム  
 (P03013) 47  
   処理オプション 45  
   与信情報 125  
 顧客マスター プログラム (P03013)  
   用途 44  
 顧客マスター レコード  
   検討 58  
   削除 58  
   追加 47  
   入力 45  
 顧客与信履歴プログラム (P03B16) 583,  
 587  
 顧客レコード  
   改訂 58  
   入力 47  
   与信/回収管理者の設定 123  
   与信/回収情報の追加 125  
   与信/回収情報の割り当て 124  
   割り当て済みの延滞方針の相互参  
   照 129  
 顧客レコードへの与信情報の追加 125  
 国際支払指示 (IPI) 491  
 ご要望 xxxvi

## さ

再請求  
   作成 220  
   損金からの作成 474  
 再請求理由コード 19  
 残高繰越照合 (R03B50B)  
   処理オプション 93  
   用途 80  
 残高不足 (NSF) 274, 275  
   全額または部分指定 403  
   手形の指定 401

## し

仕入先残高の自動生成プログラム  
(R7404001)  
  処理オプション 631  
  用途 628  
資金予測データのリフレッシュ プログラム  
(R00522) 633  
システム設定  
  機能 7  
  固定情報 9  
  自動採番 23  
  自動仕訳 (AAI) 25  
    関連項目: 自動仕訳 (AAI)  
  支払条件 30  
  損金処理 30  
  ユーザー定義コード (UDC) 14  
システム セットアップ プログラム  
(P0000) 9  
事前承認手形プログラム (R03B671)  
  処理オプション 375  
  データ順序 375  
  用途 361  
実行リスト  
  改訂 99  
  顧客への割り当て 101  
  定義 99  
実行リストの作成 99  
実行リストの定義 99  
実行リストの定義プログラム  
(P03B50) 99  
実績の年次締めプログラム (R03B161)  
  処理オプション 590  
  用途 589  
自動処理のための入金のマッピング  
グ 77, 703  
自動仕訳 (AAI)  
  売掛管理 AAI の概要 25  
  売掛金勘定 (RC) 27  
  延滞利息金 (RFC と RFD) 29  
  仮入金 (RCLC) 28  
  銀行勘定 (RB) 27  
  少額消込 (RAxx) 28  
  相殺 (NC) 29  
  損金 (RN) 29  
  手形処理 (RDxx) の設定 66  
  未充当入金 (RCUC) 28  
  割引実施額 (RKD) 28  
自動手形処理 360  
自動入金

自動処理のための入金のマッピング  
グ 77  
  除去 330  
自動入金処理  
  概要 299  
  顧客入金情報のアップロード 301  
  自動入金の検討、改訂、および追  
  加 325  
  自動入金の削除 326  
  自動入金の除去 330  
  請求書の突き合わせ  
    自動 323  
    手動 330  
設定  
  アルゴリズム 78  
  概要 75  
  銀行勘定 76  
  実行リスト 99, 101  
入金レコードの自動作成 314  
入金レコードのマッピング  
  概要 77  
  入金のマッピングのための任意  
  フィールド、無視されるフィールド、  
  自動更新フィールド 709  
  入金のマッピングのための必須  
  フィールド 703  
  バッチのアップロード状況の変更 329  
自動入金の検討プログラム  
(P03B121) 325, 328, 329  
自動入金の削除 326  
自動入金の除去プログラム (R03B0041A)  
  処理オプション 331  
  用途 330  
自動入金の追加 325, 328  
自動入金明細プログラム (R03B560)  
  処理オプション 729  
  用途 729  
自動引落し  
  概要 425  
  銀行への転送 444  
  作成 427, 433  
  バッチの削除 428  
  バッチの承認 433  
  バッチの除去 447  
  バッチの転記 433  
  バッチのフォーマット 442  
自動引落しの処理 427  
自動引落しの処理プログラム (P03B571)  
  処理オプション 429  
  用途 427

自動引落としバッチの作成  
   概要 427  
   最終モード 433  
   テスト モード 433  
 自動引落としバッチの作成プログラム  
   (R03B571)  
   処理オプション 430  
   用途 428  
 自動引落としバッチの承認 433  
 自動引落としバッチの転記 433  
 自動引落としバッチのフォーマット 442  
 支払手段  
   手形用の設定 70  
 支払条件の設定 30  
 集計方式  
   B 177  
   S 176  
   Y 176  
 住所録  
   売掛金情報更新 291  
   与信/回収管理者の設定 123  
 住所録からの売掛管理更新プログラム  
   (R03B802)  
   処理オプション 291  
   用途 54, 291  
 手動相殺機能プログラム (P03B455)  
   処理オプション 612  
   用途 609  
 少額消込  
   自動/手動 221  
   理由コード 20  
 除去  
   延滞通知 514  
   計算書 514  
   自動引落としバッチ 447  
   請求書および入金 653  
   バッチ請求書 207  
 処理済みバッチ請求書の除去プログラム  
   (R03B11Z1P) 207  
 仕訳の転記プログラム (R09801)  
   請求書処理の概要 174  
   手形処理の概要 378  
   入金処理概要 268  
   バッチ請求書処理の概要 206  
   払戻し処理の概要 605  
 仕訳用モデルの選択 150  
 信用報告テープ  
   Creditel マッピング 552  
   Dun & Bradstreet マッピング 549  
   Experian マッピング 549

作成 547, 548

## す

スピード請求書入力プログラム  
   (P03B11SI)  
   処理オプション 142  
   用途 138  
 スピード請求書の追加 152  
 スピード入金  
   仮入金の顧客への割り当て 265  
   入力  
     仮入金 (入力タイプ コード 3) 265  
     繰越残高入金 (入力タイプ コード  
       2) 264  
     総勘定元帳入金 (入力タイプ コー  
       ド 4) 265  
     未充当入金 (入力タイプ コード  
       1) 264  
   入力タイプ コード 258  
 スピード入金入力プログラム (P03B0001)  
   処理オプション 260  
   用途 209  
 スピード リリース プログラム (P03B114)  
   個々の請求書の更新 183  
   処理オプション 182  
   請求書の一括更新 183  
   用途 179

## せ

請求書 131  
   関連項目: 請求書の処理  
   印刷 487  
   印刷 (手形あり) 339, 340  
   鑑 (かがみ) (JPN) 23, 513  
   勘定科目情報の検討および改訂 180  
   勘定科目情報の入力 148  
   クレジット メモの入力 138, 150  
   検索 145  
   検討 145  
     改訂 292  
     概要 289  
     詳細 296  
     特定の日付 292  
   合計請求書 23  
   削除 173  
   システムからの除去 653, 654  
   支払の選択 242  
   住所録からの情報の更新 291  
   処理の概要 131

- スピード請求書の入力 152
- スピードリリースを使用した更新  
(P03B114) 179, 183
- 請求書仕訳情報の印刷 726
- 請求書スピードリリースを使用した一  
括更新 183
- 請求書入力 135, 147
- 整合性レポート 636
- 損金の入力 472
- 貸借不一致での入力 138, 150
- 定期
  - 改訂 155, 159
  - 概要 154
  - キャンセル 155
  - 検討 154, 157
  - 再作成 159
  - 再作成処理 155
  - 入力 156
- 定期再作成 155
- 転記済み支払項目の無効化 182
- 転記済みの改訂 178, 181
- 転記済みの無効化 178, 181
- 添付の追加 137
- 入金消込用請求書の選択 245
- 入金消込用請求書のロード 244
- 入金と請求書の自動突き合わせ 323
- 入力方法 132
- バッチ請求書処理, 参照: バッチ請求  
書処理
- 未充当手形と請求書の突き合わ  
せ 372
- 未転記の改訂 139
- 未転記の検討および改訂 180
- モデル仕訳の使用 150
- 割引の入力 136, 151
- 請求書および入金の伝票タイプ 214
- 請求書傾向分析プログラム  
(R03B168) 725
- 請求書照合入金の追加 (入力タイプ コー  
ド 10) 246, 250, 251, 256
- 請求書仕訳の検討プログラム  
(P03B11A) 180
- 請求書選択照合  
例 80
- 請求書選択照合の例 80
- 請求書選択照合プログラム (R03B50A)  
処理オプション 94
- 用途 80
- 請求書転記によって作成される自動仕  
訳 175
- 請求書転記の集計方式 175
- 請求書伝票タイプ コード 15
- 請求書に対するクレジット メモの配  
賦 248
- 請求書入力
  - 概要 132
  - スピード 152
  - 定期 156
  - 標準 135
  - 割引の適用 151
- 請求書入力 MBF 処理オプション プロ  
グラム (P03B0011)
  - 処理オプション 143
  - 用途 137
- 請求書入力プログラム (P03B11)
  - 処理オプション 142
  - 用途 135
- 請求書の印刷
  - 国際支払指示 (International Payment  
Instruction) 付き 491
  - 標準 487
- 請求書の印刷 (手形あり) プログラム  
(R03B5051)
  - 処理オプション 340
  - データ選択とデータ順序 340
  - 用途 339
- 請求書の印刷プログラム (R03B505)
  - 処理オプション 489
  - 用途 487
- 請求書の勘定科目情報の改訂 180
- 請求書の検索 145
- 請求書の自動突合せプログラム (R03B50)
  - 処理オプション 324
  - 用途 323
- 請求書の処理
  - 概要 131
  - カテゴリ コードの更新 135
  - 請求書転記によって作成される自動  
仕訳 175
  - 請求書入力 135
  - 請求書入力とスピード請求書入力の  
比較 132
  - デフォルトの収益勘定 136
  - 転記処理 174
  - パーセント仕訳の入力 136
  - モデル仕訳 136
  - 割引の適用 136
- 請求書の転記 174
- 請求書への勘定科目情報の追加 148
- 請求書への勘定科目情報の入力 148

## 請求仕訳帳プログラム (R03B305)

データ選択 727

用途 726

## 請求取引の除去プログラム (R03B800)

処理オプション 655

用途 653, 654

## 整合性レポート

売掛金元帳 - 勘定残高 (略式 ID 別)  
プログラム (R03B707) 638売掛金元帳 - 総勘定元帳入金プログラ  
ム (R890911BI) 643売掛金元帳 - 総勘定元帳 (バッチ別)  
プログラム (R03B701) 636

## 設定

業種別処理 11

顧客マスター カテゴリコード 52

顧客マスター レコード 43

固定情報 8

会社制御 13

拡張固定情報 11

集計方法 12

バッチ制御 12

自動採番 23

自動仕訳 (AAI) 25

関連項目: 自動仕訳 (AAI)

自動入金処理 75

関連項目: 自動入金処理

支払条件 30

損金活動コード 30

単一方針 120

手形 63

ユーザー定義コード (UDC) 14

与信/回収管理 103

関連項目: 与信/回収の設定

全額 NSF 手形の入力 401

前提知識 xxxi

## そ

## 総勘定元帳入金

概要 252

[スピード入金入力] を使用した入  
力 265総勘定元帳入金による未充当入金の  
作成 253入金入力プログラムを使った入  
力 252

総勘定元帳入金の追加 252, 265

相互参照 xxxv

顧客と延滞方針 129

## 相殺

売掛管理/買掛管理 607

売掛金相殺ワークファイル テーブル  
の作成 (F03B465) 624

相殺レポート 623

相殺レポートの印刷 623

相殺レポート ファイルの作成プログラム  
(R03B465)

処理オプション 625

用途 624

## 損金

解決のための活動コードの適用 476

活動コード 30

クレジット メモの適用 477

自動仕訳 (AAI) 29

損金活動の無効化 485

損金を伴う入金入力 222

調査および解決 474

入金に対する入力 474

入力 471

請求書 472

入金 472

無効化 484, 485

損金解決のための活動コードの適  
用 476損金活動マスター プログラム  
(P03B42) 30

損金処理 469

関連項目: 損金

概要 469

設定 30

損金の原因追求 470

損金の逆仕訳 474

損金へのクレジット メモの適用 474, 477

損金理由コード 20

## た

貸借不一致の請求書入力 138

## 単独レコード

概要 253

再請求 (入力タイプ コード 26) 254

少額消込 (入力タイプ コード 25) 254

請求書照合を伴わない 257

損金 (入力タイプ コード 27) 255

## 単独レコードの入力

再請求 (入力タイプ コード 26) 254,  
256少額消込 (入力タイプ コード 25) 254,  
256

損金 (入力タイプ コード 27) 255, 256



## ち

注 xxxiv  
注意事項 xxxiv

## つ

追加ドキュメンテーション xxxii  
突合せ伝票タイプ コード 16

## て

定期請求書  
改訂 155, 159  
概要 154  
キャンセル 155  
検討 154  
再作成 155  
支払の改訂 159  
入力 156  
定期請求書の再作成プログラム  
(R03B8101)  
処理オプション 160  
用途 155  
定期請求書の照会 (P03B120) 159  
定期請求書用の再作成処理 155  
定期請求書履歴の処理プログラム  
(P03B120) 157  
定期請求書レポート プログラム  
(R03B305)  
処理オプション 158  
データ順序 158  
用途 154  
手形  
NSF 手形通知レポート (R03B574) の  
印刷 402  
計算書の印刷 503  
更新手形の作成 402  
自動仕訳 (AAI) 29  
手形入力結果の検討 293  
入金の高不足 (NSF) 指定 401,  
403  
明細の作成 392  
手形処理  
受取 354  
回収 405  
改訂 361  
概要 333  
偶発債務 388  
自動手形 360  
設定  
銀行/支店情報の検証 72

自動採番 70  
自動仕訳 (AAI) 66  
支払手段 70  
手形タイプ別 AAI 68  
ユーザー定義コード (UDC) 63  
総勘定元帳への影響 337  
手形状況の変更 (前の状況に戻  
す) 384  
手形タイプ 334  
手形の削除および無効化 384  
手形の承認と転記 377  
手形の取立 387  
手入力手形の入力 354  
入力タイプ コード 354  
バッチの転記 378  
振り出し 338  
関連項目: 手形の振り出し  
未充当手形と請求書の突き合わ  
せ 372  
明細 392  
明細の作成と改訂 392  
手形処理 (JPN)  
概要 334  
設定 66  
手形処理ステップ  
受取 335  
回収 337  
取立 336  
振り出し 335  
手形入力 (顧客) プログラム (P03B602)  
処理オプション 363  
用途 354  
手形入力 (自社) プログラム (P03B602)  
処理オプション 363  
用途 354  
手形の受取 354  
手形の回収 405  
手形の回収 (状況更新) プログラム  
(R03B680)  
処理オプション 406  
手形の銀行/支店情報の検証 72  
手形の偶発債務 388  
手形の取立  
エラー処理 388  
概要 387  
手形の取立プログラム (R03B672)  
処理オプション 394  
データ選択 393  
用途 392  
手形の振り出し

計算書の印刷(手形あり) 339, 341  
 請求書の印刷(手形あり) 339, 340  
 手形バッチの転記 378  
 手形明細の作成 392  
 手形明細の作成と検討プログラム  
 (P03B675) 392  
 転記の集計方式  
   B 177  
   S 176  
   Y 176  
   概要 175  
 電子資金決済(EFT) 425  
 電子データ交換(EDI)  
   概要 449  
   受信データの検討と改訂 459  
   受信データの除去 468  
   受信データの転送 457  
   マッピング要件 450  
   ロックボックス転送データの追加 466  
   ロックボックス トランザクションの受  
   信 450  
 伝票タイプ コード 15  
 添付  
   請求書への追加 137

## と

統計計算 580  
 統計計算(会社別)プログラム  
 (R03B1691) 726  
 統計計算(回収管理者別)プログラム  
 (R03B1693) 726  
 統計計算(与信管理者別)プログラム  
 (R03B1692) 726  
 統計実績更新(R03B16A)  
   処理オプション 585  
   用途 577, 578, 579  
 統計情報  
   検討 587, 588  
   更新 578, 583  
   実績の年次締めプログラムの実  
   行 589  
   除去 590  
   年齢調べ 583  
 統計除去データの再転記プログラム  
 (R03B163)  
   処理オプション 591  
   用途 590  
 ドキュメンテーション  
   印刷・製本 xxxii  
   関連 xxxii

取引活動  
   検討と削除 525  
   損金の無効化 484, 485  
   追加 526

## に

日本  
   鑑請求書の処理 512  
   計算書フォーマット 503  
   手形処理 334  
   手形処理の設定 66  
   ユーザー定義コード(UDC) 23  
 入荷通知の更新プログラム(R47111)  
   処理オプション 458  
   用途 457  
 入金 209  
   関連項目: 入金処理  
   NSF として指定 274, 275  
   クレジット メモと請求書の消込 251  
   削除または無効化 273  
   システムからの除去 653, 656  
   自動 75, 299  
   関連項目: 自動入金処理  
   詳細確認 297  
   請求書のロード 244  
   整合性の検証 643  
   総勘定元帳 252  
   損金の入力 472  
   単独 253  
   入金自動処理のための実行リストの  
   定義 99  
   入金入力結果の検討 293  
   入金の請求書支払項目の削除または  
   無効化 273  
 入力  
   再請求を伴う入力(入力タイプ 11  
   と 16) 220  
   自動少額消込を伴う入力(入力タイ  
   プ 10) 221  
   手動少額消込を伴う入力(入力タイ  
   プ 15) 221  
   スピード入金入力(P03B0001)を使  
   用 258  
   請求書照合(入力タイプ 10) 219  
   損金を伴う入金(入力タイプ コー  
   ド 17) 222  
   マイナス 224  
   未充当 232  
   割引を伴う入力(入力タイプ  
   10) 220

- 標準入金入力 227
- 複数の入力タイプコードを使った請求書照合 224
- 未決済請求書の表示 242
- 未充当入金と請求書の消込 251
- 入金傾向分析プログラム (R03B167) 725
- 入金消込アルゴリズムの定義プログラム (P03B52) 78
- 入金消込用請求書の選択 242
- 入金消込用請求書のロード 242
- 入金処理
  - 概要 209
  - 仮入金の改訂 267
  - クレジット メモと請求書の消込 248
  - 削除および無効化 272
  - スピード入金入力 258
  - 請求書照合 (入力タイプコード 10) 入力 246, 251, 256
  - 請求書照合を伴わない単独取引の入力 257
  - 請求書の選択 245
  - 請求書のロード 244
  - 総勘定元帳入金 252
  - 単独再請求 (入力タイプコード 26) 254
  - 単独少額消込 (入力タイプコード 25) 254
  - 単独損金 (入力タイプコード 27) 255
  - 転記 268
  - 転記済みおよび未転記の改訂 266
  - 入力タイプコード
    - 10 219, 221
    - 11 220
    - 15 221
    - 16 220
    - 17 222
  - 概要 217
- 入力方法 209
- 日付、伝票タイプ、入力タイプ 214
- 標準入金入力 227
- 複数の入力タイプコードを使った請求書照合 224
- プロセスの概要 213
- マイナスの入金 224
- 未決済請求書の表示 242
- 未充当入金 232
- 未充当入金と請求書の消込 248, 251
- 入金仕訳プログラム (R03B311)
  - 処理オプション 728
  - データ順序 728
- 用途 727
- 入金調整 (損金) 処理プログラム (P03B40) 473
- 入金転記
  - 概要 268
  - 作成される自動仕訳 271
- 入金転記自動仕訳 271
- 入金伝票タイプコード 16
- 入金取引の除去プログラム (R03B801)
  - 処理オプション 655
  - 用途 653, 656
- 入金入力
  - 再請求を伴う入力 (入力タイプ 11 と 16) 220
  - 少額消込を伴う入力 (入力タイプ 10 と 15) 221
  - 請求書照合 (入力タイプコード 10) 246, 250, 251, 256
  - 総勘定元帳 252
  - 損金を伴う入金 (入力タイプコード 17) 222
  - 入力タイプコード 10 を使用 219
  - 複数の入力タイプコードを使った入金入力 224
  - マイナス 224
  - 未充当 232, 240
  - 割引を伴う入力 (入力タイプ 10) 227
- 入金入力プログラム (P03B102)
  - 処理オプション 233
  - 用途 209
- 入金の削除 272
- 入金の承認 268
- 入金の請求書支払項目の削除 273
- 入金見出しの更新プログラム (R03B551)
  - 処理オプション 315
  - 用途 314
- 入金明細プログラム (P03B103) 297
- 入金明細プログラム (R03B408)
  - 処理オプション 729
  - 用途 729
- 入力タイプコード
  - 1 258
  - 2 258
  - 3 258
  - 4 258
  - スピード入金 21, 258
  - 手形処理 354
  - 標準入金 21
  - 例 214

## ね

年齢調べ傾向分析プログラム  
(R03B166) 725  
年齢調べ相殺レポート プログラム  
(R03B466)  
処理オプション 626  
用途 625

## は

バッチ請求書処理  
概要 193  
除去処理済み請求書 207  
請求書の改訂 194  
請求書の削除 194  
請求書の追加 194  
請求書の転記 206  
フィールドのマッピング 657  
F03B11Z1 657  
F0911Z1 688  
概要 194  
収益性分析用 691  
バッチ請求書の改訂プログラム  
(P03B11Z1)  
処理オプション 196  
用途 194  
バッチ請求書の削除 194  
バッチ請求書の処理プログラム  
(R03B11Z1A)  
処理オプション 203  
用途 198  
バッチ請求書の追加 194  
バッチ制御必須 10  
払戻し  
概要 599  
作成 600, 603  
転記 605  
払戻しの作成 599, 600  
払戻しの作成プログラム (R03B610)  
処理オプション 603  
用途 599, 600

## ひ

備忘メッセージ 534  
備忘メッセージの追加 534  
表記規則 xxxiv  
標準レポート 719

## ふ

不動産管理の入金入力プログラム  
(P15103)  
売掛金元帳の全ての未決済請求書  
のロード 250  
自動少額消込による入金の追加 250  
部分残高不足 (NSF) 手形の入力 401  
分析レポート 719

## ほ

方針  
延滞通知指示の設定 115  
延滞利息金指示の設定 114  
顧客への割り当て 124  
与信保険契約 120  
与信保険の設定 120, 121  
方針相互参照プログラム  
(P03B2502) 129

## ま

マイナスの入金 224

## み

未決済売掛金集計分析プログラム  
(R03B155)  
処理オプション 723  
用途 723  
未決済売掛金 (年齢調べ) レポート  
(R03B4201B)  
処理オプション 732  
用途 732  
未決済売掛金プログラム (R03B4201A)  
処理オプション 731  
用途 731  
未決済売掛金明細 (集計) レポート プロ  
グラム (R03B413A)  
集計オプション 729  
処理オプション 730  
未充当手形  
請求書の消込 372  
入力 370  
未充当手形と請求書の突き合わせ 372  
未充当手形の入力 370  
未充当入金  
スピード入金入力 264  
請求書の消込 248, 251  
総勘定元帳入金による作成 253  
払戻しの作成 600  
標準的な入金入力 232, 240

未充当入金と請求書の消込 248, 251  
 未充当入金の請求書への配賦 248, 251  
 未充当入金の追加 240  
 未転記の請求書  
   改訂 139

## む

無効化  
   損金 474, 484, 485  
   損金活動 484, 485  
   転記済み請求書 181  
   転記済み請求書支払項目 182  
   入金 272, 273  
   入金の請求書支払項目 273

## も

モデル仕訳 136

## ゆ

有効日付カテゴリ コード  
   アクティブ化 9, 53  
   改訂 53  
   削除 57  
   追加 54, 56  
   入力 52  
 有効日付カテゴリ コードの更新プログラム (R03012A)  
   処理オプション 57  
   データ選択とデータ順序 57  
   用途 52, 53, 54  
 有効日付カテゴリ コードの除去プログラム (R03012B)  
   処理オプション 57  
   用途 54, 55  
 有効日付カテゴリ コードの追加 56  
 有効日付カテゴリ コードの入力 56  
 ユーザー定義コード (UDC)  
   00/CM 14  
   00/DE 15  
   00/DI 15  
   00/DT 15, 16  
   00/IA 16  
   00/IC 17  
   00/IF 17  
   00/IL 17  
   00/IP 18  
   00/PS 18, 65  
   00/PY 18, 64

01/CM 18  
 01/CR 18  
 01/DB 18  
 01/LP 19  
 01/TR 19  
 03B/AG 19  
 03B/CB 19  
 03B/CL 19  
 03B/CR 20  
 03B/DS 63  
 03B/PL 20  
 03B/PR 20  
 03B/RC 20, 577  
 03B/RE 21  
 03B/SA 21  
 03B/VR 21  
 04/RC 22  
 04/SC 23  
 75/PS 66  
 75/RE 23  
 H00/AG 19

## よ

与信/回収活動コード プログラム  
 (P03B30) 108  
 与信/回収管理者の UDC の追加 124  
 与信/回収期間パターンの設定 105  
 与信/回収期間パターン プログラム  
 (P03B08) 105, 106  
 与信/回収処理  
   売掛管理統計の更新 577  
   関連項目: 統計情報  
   延滞通知の生成 559  
   延滞利息金の作成 570  
   親/子勘定残高の検討 530, 531  
   顧客勘定の管理 524  
   顧客勘定の検討 526, 528  
   顧客勘定の処理 532  
   顧客勘定の取引活動の管理 524  
   顧客勘定の取引活動ログの削除 524  
   信用報告テープの作成 547, 548  
   請求書の印刷 487  
   年齢調べ統計情報 583  
   備忘メッセージの追加 534  
   与信情報の改訂 536  
   与信分析データの再作成プログラム  
   (R03B525) の利用 517  
   ワークフロー管理を使用した顧客勘定  
   の処理 532, 534  
 与信/回収の設定

延滞通知指示 115  
 延滞通知と計算書のレター テキスト 118  
 延滞方針 110  
 延滞利息金指示 114  
 概要 103  
 活動コード 108  
 期間パターン 105, 106  
 顧客レコード 124  
 保険契約 120  
 与信/回収管理者 123, 124  
 与信保険契約 119, 121  
 ワークフロー メッセージ 129  
 与信管理者 UDC (01/CR) 18  
 与信承認/管理プログラム  
 (P03B305) 536  
 与信分析データの再作成プログラム  
 (R03B525)  
   概要 570  
   処理オプション 519  
   用途 517, 559  
 与信保険契約  
   概要 120  
   設定 121  
 与信保険の処理プログラム  
 (P03B2901) 120, 121  
 与信メッセージ コード 14

## リ

理由コード  
   回収 19  
   再請求 19  
   少額消込 20  
   損金 20  
   無効/NSF (残高不足) 21  
 履歴傾向分析レポート (R03B165) 724

## れ

レター テキスト  
   延滞通知と計算書のための設定 118  
 レポート  
   標準 719  
   分析用 719  
 連絡先 xxxvi

## ろ

ロックボックス処理 450

## わ

割引  
   請求書の計算 136  
   請求書の入力 151  
   損金からの作成 474  
   無効割引に対する再請求の作成 220  
 割引理由コード 15  
 ワークフロー メッセージ  
   顧客勘定の管理 532, 534  
   与信/回収管理者へのワークフロー  
   メッセージの有効化 129  
   与信限度額承認の有効化/無効  
   化 129